

医歯学総合研究科
修士課程
医歯理工保健学専攻
履修要項

2024年度
(2024. 4. 1)

東京医科歯科大学大学院

※東京医科歯科大学は東京工業大学と令和6（2024）年10月1日に統合し、
東京科学大学となります。

目 次

1. 医歯学総合研究科修士課程医歯理工保健学専攻の概要	01
2. 「科目ナンバリング」について	06
3. 修了要件及び履修方法 Requirements and Registration	08
開設科目及び修得単位一覧表 List of Courses and Units	22
4. 2024年度修士課程医歯理工保健学専攻授業 (MPH 科目含む) 時間割 Class Schedule	25
5. 授業科目の講義内容 Course Syllabus	34
○修士課程医歯理工保健学専攻講義	
(1) 医歯学総合概論 : 31-3001 Philosophy of Medicine and Dentistry	35
(2) 初期研究研修 : 31-3002、31-3102 Initial Research Training	39
(3) 医歯理工学先端研究特論 : 31-3003 Special Lectures for Advanced Research on Life Science and Technology	43
(4) 課題研究 : 31-3004、31-3104 Research for Thesis	47
(5) 医科学演習 : 31-3005 Seminar of Medical Science	50
(6) 医科学実習 : 31-3006 Practice of Medical Science	52
(7) 歯科学演習 : 31-3007 Seminar of Dental Science	54
(8) 歯科学実習 : 31-3008 Practice of Dental Science	56
(9) 口腔保健学演習 : 31-3009 Seminar of Oral Health Science	58
(10) 口腔保健学実習 : 31-3010 Practice of Oral Health Science	60
(11) 生命理工学演習 : 31-3061、 Seminar of Life Science and Engineering	62
(12) 生命理工学実習 : 31-3062、 Practice of Life Science and Engineering	65

(13) 保健学演習 : 31-3113	
Seminar of Medical Laboratory Science·····	68
(14) 保健学実習 : 31-3114	
Practice of Medical Laboratory Science·····	70
(15) 人体形態学 : 31-3013	
Human Anatomy, Histology and Embryology	72
(16) 口腔形態学 : 31-3014	
Oral Anatomy, Histology and Embryology	
(17) 人体機能学 : 31-3015	
Functional Organization of the Human Body·····	78
(18) 病理病態学 : 31-3016	
Pathology ·····	82
(19) 環境社会医歯学 : 31-3017	
Environmental/Social Health ·····	86
(20) 口腔保健工学特論 : 31-3043	
Oral Health Engineering ·····	90
(21) 口腔保健臨地実習 : 31-3018	
Oral Health Care Clinical Training·····	94
(22) 病院実習 : 31-3019	
Visit Experience and Practice at Hospital Departments·····	96
(23) 生化学 : 31-3020	
Molecular and Cellular Biology·····	98
(24) 薬理学 : 31-3021	
Pharmacology ·····	102
(25) 免疫学 : 31-3022	
Immunology ·····	104
(26) 発生・再生科学 : 31-3023	
Developmental and Regenerative Bioscience·····	108
(27) 細胞生物学特論 : 31-3024	
Molecular Cell Biology ·····	112
(28) 神経疾患特論 : 31-3025	
Introduction to Medical Neurosciences·····	114
(29) 遺伝医学特論 : 31-3026	
Introduction to Human Molecular Genetics·····	118
(30) 口腔保健福祉学 : 31-3027	

Oral Health Generic Care Sciences	121
(31) ビッグデータ解析学 : 31-3057	
Big Data Analytics	125
(32) 疾患オミックス情報学特論 : 31-3078	
Disease OMICS Informatics	129
(33) 機能分子化学 : 31-3030	
Introduction to Chemistry and Biology of Biofunctional Molecules	133
(34) ケミカルバイオロジー特論 : 31-3031	
Chemical Biology	137
(35) ケミカルバイオロジー技術特論 : 31-3032	
Practical Chemical Biology	141
(36) 分子構造学特論 : 31-3033	
Special Lectures on Molecular Structures	143
(37) 生体材料学 : 31-3034	
Advanced Biomaterials Science	147
(38) 応用生体材料学 : 31-3036	
Applied Biomaterials	151
(39) バイオメディカルデバイス理工学 I : 31-3063	
Biomedical Device Science and Engineering I	155
(40) バイオメディカルシステム理工学 I : 31-3064	
Biomedical System Science and Engineering I	159
(41) 医歯薬産業技術特論 : 31-3037	
Medical, Dental and Pharmaceutical Industrial Engineering	163
(42) 英語交渉・ディベート特論 : 31-3038	
Critical Thinking and Debate (Spring・Fall)	167
(43) 研究倫理・医療倫理学 : 31-3039	
Medical and Research Ethics	169
(44) トランスレーショナルリサーチ特論 : 31-3040	
Translational Research	172
(45) 産学リンケージ特論 : 31-3042	
Practice in Global Linkage between University and Industry	174
(46) 先制医療学実習 : 31-3058	
Clinical Research and Development training course of Anticipating Medicine	176

(47) 先制医療学基礎実習 : 31-3059	
Preemptive Medicine Basic Training Course	180
(48) 保健医療情報学 : 31-3052	
Health Care Informatics	183
(49) Basic Human Pathology for Graduate Students : 31-3053	186
(50) 生体検査科学特論 I : 31-3060	
Medical Technology I	187
(51) 生体検査科学特論 II : 31-3049	
Medical Technology II	191
(52) 生体検査科学セミナー I : 31-3051	
Biomedical Laboratory Sciences Seminar I	195
(53) 臨床実践特別演習入門 : 31-3054	
Introductory Exercises for Medical Technologist Internship	199
(54) 臨床実践特別演習 I : 31-3067	
Medical Technologist Internship I	203
(55) 臨床実践特別演習 II : 31-3068	
Medical Technologist Internship II	207
(56) 医療データ科学概論 : 31-3074	
Medical Data Science	211
(57) 時間・空間の分子生命科学 : 31-3075	
Molecular life science in time and space domain	213
(58) 疫学基礎 : 31-3079	
Epidemiology: Basic	217
(59) 生物統計学基礎 : 31-3080	
Biostatistics: Basic	219
(60) 生物統計学応用 I : 31-3081	
Biostatistics: Advanced I	223
(61) 生物統計学応用 II : 31-3082	
Biostatistics: Advanced II	227
(62) 臨床試験方法論基礎 : 31-3083	
Clinical Trial Methodology: Basic	231
(63) 臨床試験方法論応用 : 31-3084	
Clinical Trial Methodology: Advanced	233
(64) 口腔疫学基礎 : 31-3085	
Oral epidemiology: Basic	235

(65) 疫学応用 : 31-3086	
Epidemiology: Basic	237
(66) 臨床疫学解析演習 : 31-3087	
Statistical Analysis of Clinical Data	240

グローバルヘルスリーダー養成 (MPH) コース授業科目

Master of Public Health in Global Health (MPH) Course

→Please check the MPH syllabus.

遺伝カウンセリングコース授業科目<※GCC 所属の学生のみ履修可能>

Limited for the Students in GCC	
.....	242

(67) 人類遺伝学 : 31-3069	
Human Genetics	243
(68) 臨床遺伝学 : 31-3070	
Clinical Genetics	245
(69) 遺伝カウンセリング学 : 31-3076	
Genetic Counseling	247
(70) 遺伝カウンセリング実習 : 31-3072	
Genetic Counseling Practice	251
(71) 研究倫理演習 : 31-3073	
Research Ethics Practice	253

秋学期英語開講科目 (10 月入学者向け)

Courses held in Fall Semester (Mainly for students enrolled in October)

.....	255
(71) 生命理工学概論 (Fall) : 31-3077	
Introduction to Biomedical Sciences and Engineering	256
(73) 医歯理工学先端研究特論 (Fall) : 31-3003	
Special Lectures for Advanced Research on Life Science and	
Technology	259
(74) 免疫学 (Fall) : 31-3260	
Immunology	261
(75) 発生・再生科学 (Fall) : 31-3262	
Developmental and Regenerative Bioscience	263

(76) 神経疾患特論(Fall) : 31-3259	
Introduction to Medical Neurosciences	264
(77) 疾患オミックス情報学特論(Fall) : 31-3278	
Disease OMICS Informatics	266
(78) 機能分子化学(Fall) : 31-3263	
Introduction to Chemistry and Biology of Biofunctional	
Molecules	267
(79) ケミカルバイオロジー特論(Fall) : 31-3264	
Chemical Biology	269
(80) 分子構造学特論(Fall) : 31-3266	
Special Lectures on Molecular Structures	270
(81) 生体材料学(Fall) : 31-3267	
Advanced Biomaterials Science	271
(82) 応用生体材料学(Fall) : 31-3036E	
Applied Biomaterials	272
(83) バイオメディカルデバイス理工学Ⅱ(Fall) : 31-3065	
Biomedical Device Science and Engineering Ⅱ	273
(84) バイオメディカルシステム理工学Ⅱ(Fall) : 31-3066	
Biomedical System Science and Engineering Ⅱ	275
(85) トランスレーショナルリサーチ特論(Fall) : 31-3270	
Translational Research	277
6. 諸規則 University Rules	278
(1) 東京医科歯科大学大学院学則	279
(2) 東京医科歯科大学大学院履修規則	306
(3) 東京医科歯科大学学位規則	338
(4) 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科委員会修士	
(医科学・歯科学・口腔保健学・理学・工学・保健学)に係る	
学位論文審査及び試験内規	351
(5) 学位論文の様式	358
(6) 東京医科歯科大学大学院学位論文審査基準	363
(7) 東京医科歯科大学大学院GPA制度に関する要項	364
(8) 東京医科歯科大学における学生の懲戒に関する申合せ	366
7. 学生周知事項 Information for Students	376
8. 諸手続きについて Various procedures	381

○履修登録科目取消願	
Request for Cancelling Registered Subject	385
○授業欠席届	386
○成績評価異議申し立て書	387
9. 学内主要施設 Major facilities.....	388
10. 校内案内図 Campus Map.....	388

1. 医歯学総合研究科修士課程医歯理工保健学専攻の概要

人材育成目標

医学、歯学、生命理工学、保健学を中心とする多分野融合を実現した体系的な教育課程を基に、生命科学領域の相互連携を図り、人類の健康と福祉に関する幅広い知識および高い倫理観を有する医学、歯学、生命理工学、保健学分野の教育者、研究者、技術者等を育成する。

アドミッションポリシー

《求める学生像》

本学の掲げる幅広い教養と豊かな人間性、高い倫理観、自ら考え解決する創造性と開拓力、国際性と指導力を備えた人材を育成するという教育理念の下、本学大学院修士課程医歯理工保健学専攻のディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーに示す教育を行っている。このような教育を受ける者として、次に掲げる意欲・目的意識と知識・技能等を備えた学生を求める。

1) 入学に際して明確な目的意識を持ち、各専門領域の学習を体系的、集中的に行う意欲を有している。

2) 各専門領域の学習に必要な学士レベルの基礎知識・技能を有している。

3) 研究活動に必要な論理的思考力、英語力、コミュニケーション能力を備えている。

《入学者選抜の基本方針》

筆記試験により英語力や専門領域の基礎的知識を評価し、面接試験及び出願書類により適性や意欲、コミュニケーション能力を見ることで、総合的に判定する。

筆記試験により英語力や専門領域の基礎的知識を評価し、面接試験及び出願書類により適性や意欲、コミュニケーション能力を見ることで、総合的に判定する。

カリキュラムポリシー

本学大学院医歯学総合研究科医歯理工保健学専攻では、ディプロマポリシーに掲げる目標を達成するために、教育課程を編成するにあたっては、教育内容、教育方法、学習成果の評価方法を以下のように設定する。

修士（医科学）

- 1) 生命倫理などの医科学全般の基礎や研究遂行に必要な方法論の教育のために、初期研究研修プログラムを設定する。
- 2) 医科学領域の高度な専門知識を習得するための専門科目を設ける。
- 3) 幅広い高度専門知識を獲得できるように、医科学に関連した多様な専門科目を設ける。
- 4) 本学の附属病院における先端的な実際の医療活動の現場を体験する科目、臨床分野の医療活動の考え方を学ぶ科目を用意する。
- 5) 研究実習は、生命倫理、利益相反、遺伝子組み換え、病原体等に関する各委員会の承認のもとで行う。
- 6) 専門分野における最先端の知識と技術を身につけ、科学的思考力と倫理観に根ざす高度な実践を展開できる能力を養うため、演習・実習・研究科目を設ける。
- 7) 客観的で学際的な研究指導および論文作成指導のため複数指導体制を用意する。
- 8) 国際性の向上のため、英語での学習にも対応する。
- 9) 成績評価は、定期試験、レポートの提出、講義への参加状況などに基づき、各履修科目において学修達成度を適切に反映する基準を定めた上で行う。
- 10) 本研究科の博士課程への進学希望に対して、そのアドミッションポリシーに十分に対応するカリキュラム構成とする。
- 11) 学位論文については、ディプロマ・ポリシーに基づき厳格な評価を行い、修士論文の審査及び最終試験を

適切に行う。

修士（歯科学）

- 1) 生命倫理などの生命科学全般の基礎や研究遂行に必要な方法論の教育のために、初期研修プログラムを設定する。
- 2) 歯科学領域の高度な専門知識を習得するための専門科目を設ける。
- 3) 幅広い高度専門知識を獲得できる様に、歯科学に関連した多様な専門科目を設ける。
- 4) 専門分野における高度な知識と技術を身につけ、科学的思考力と倫理観に根ざす高度な実践を展開できる能力を養うため、演習・実習・研究科目を設ける。
- 5) 成績評価は、定期試験、レポートの提出、講義への参加状況などに基づき、各講義において学修達成度を適切に反映する基準を定めた上で行う。
- 6) 学位論文については、ディプロマ・ポリシーに基づき厳格な評価を行い、修士論文の審査及び最終試験を適切に行う。

修士（口腔保健学）

- 1) 生命倫理などの生命科学全般の基礎や研究遂行に必要な方法論の教育のために、初期研修プログラムを設定する。
- 2) 口腔保健学領域の高度な専門知識を習得するための専門科目を設ける。
- 3) 幅広い高度専門知識を獲得できる様に、口腔保健学に関連した多様な専門科目を設ける。
- 4) 専門分野における高度な知識と技術を身につけ、科学的思考力と倫理観に根ざす高度な実践を展開できる能力を養うため、演習・実習・研究科目を設ける。
- 5) 成績評価は、定期試験、レポートの提出、講義への参加状況などに基づき、各講義において学修達成度を適切に反映する基準を定めた上で行う。
- 6) 学位論文については、ディプロマ・ポリシーに基づき厳格な評価を行い、修士論文の審査及び最終試験を適切に行う。

修士（理学）

- 1) 生命倫理などの生命科学全般の基礎や研究遂行に必要な方法論の教育のために、初期研究研修プログラムを設定する
- 2) 生命科学領域の高度な専門知識を習得するための専門科目を設ける。
- 3) 幅広い高度専門知識を獲得できるように、生命科学に関連した多様な専門科目を設ける。
- 4) 専門分野における最先端の知識と技術を身につけ、科学的思考力と倫理観に根ざす高度な実践を展開できる能力を養うため、演習・実習・研究科目を設ける。
- 5) 複数指導体制により客観的で学際的な研究指導および論文作成指導を行う。
- 6) 成績評価は、定期試験、レポートの提出、講義への参加状況などに基づき、各講義において学修達成度を適切に反映する基準を定めた上で行う。
- 7) 学位論文については、ディプロマ・ポリシーに基づき厳格な評価を行い、修士論文の審査及び最終試験を適切に行う。

修士（工学）

- 1) 生命倫理などの生命科学全般の基礎や研究遂行に必要な方法論の教育のために、初期研究研修プログラムを設定する
- 2) 生体工学領域の高度な専門知識を習得するための専門科目を設ける。

- 3) 幅広い高度専門知識を獲得できるように、生体工学に関連した多様な専門科目を設ける。
- 4) 専門分野における最先端の知識と技術を身につけ、科学的思考力と倫理観に根ざす高度な実践を展開できる能力を養うため、演習・実習・研究科目を設ける。
- 5) 複数指導体制により客観的で学際的な研究指導および論文作成指導を行う。
- 6) 成績評価は、定期試験、レポートの提出、講義への参加状況などに基づき、各講義において学修達成度を適切に反映する基準を定めた上で行う。
- 7) 学位論文については、ディプロマ・ポリシーに基づき厳格な評価を行い、修士論文の審査及び最終試験を適切に行う。

修士（保健学）

- 1) 生命倫理などの生命科学全般の基礎や、研究遂行に必要な方法論の教育のために、初期研修プログラムを設定する。
- 2) 臨床検査学領域の専門的知識と研究力を身につけるために、講義、演習、研究実習を設定する。
- 3) 臨床検査技師としての技能、倫理感、対人関係を研修する仕組みを設ける。
- 4) 幅広い視野からの学習を促進するため、医歯理工系も含めた多彩な科目を履修できるようにする。
- 5) 医療系大学院生として習得すべき教養科目を設定する。
- 6) 学生のプレゼンテーション力を養成し、客観的・学際的な研究指導を充実させるために、教員と学生が研究の進捗状況について分野の枠を超えて討論する場を設ける。
- 7) 国際性向上のため、学生の国際学会発表、海外研修、海外留学、外国人留学生の受け入れなどを推進する。
- 8) 成績は各科目の特性に応じた基準を定めて、多面的に評価する。
- 9) 学位論文については、ディプロマ・ポリシーに基づき厳格な評価を行い、修士論文の審査及び最終試験を適切に行う。

修士（グローバル健康医学）

本学大学院医歯学総合研究科医歯理工保健学専攻グローバルヘルスリーダー養成コースでは、ディプロマポリシーに掲げる目標を達成するために、教育課程を編成するにあたっては、教育内容、教育方法、学習成果の評価方法等を以下のように設定する。

- 1) グローバルに公衆衛生学分野で活躍するために必須である5分野（疫学、生物統計学、医療管理学、行動科学、環境保健学）をカバーするために「疫学Ⅰ」、「生物統計Ⅰ」、「医療システム」、「行動科学」、「環境保健学」の授業科目を設け必修とする。医師・歯科医師の経験がない学生は、医学・健康科学全般の知識を修得させるため「基礎医学概論」も必修とする。グローバルな健康課題に関する知識についても必修とする。フィールド調査による現場経験も必修とする。より高度または専門性の高い分野については選択とする。
- 2) 地球規模の課題を解決するための国際性を身につけさせるために、グローバル健康医学科目は全て英語により授業を行う。また、ケースを用いた実践的な講義を行う。
- 3) 学習成果の評価は、各授業科目のシラバスにおいて、到達目標、授業計画、成績評価基準・方法を明確に示し、科目ごとの小テストあるいはレポート、試験により評価する。また、修士論文の内容につき最終試験を実施する。
- 4) 学位論文については、ディプロマ・ポリシーに基づき厳格な評価を行い、修士論文の審査及び最終試験を適切に行う。

ディプロマポリシー

本専攻では、次のような能力・資質を身につけていると認められた者で、かつ所定の単位を収め、本専攻が行う修士論文の審査及び最終試験に合格した者に修士の学位を授与する。

修士（医科学）

- 1) 学術的な研究成果を有し、次世代の医科学の発展を担える研究・開発の能力を有している。
- 2) 医科学に関する専門的な知識と技術を身につけ、医科学領域にて高度な実践を展開できる能力を有している。
- 3) 研究成果や思考過程を的確に伝え、また、理解する能力を有している。

修士（歯科学）

- 1) 学術的な研究成果を有し、次世代の歯科学の発展を担える研究・開発の能力を有している。
- 2) 歯科学に関する専門的な知識と技術を身につけ、歯科学領域にて高度な実践を展開できる能力を有している。
- 3) 研究成果や思考過程を的確に伝える能力を有している。

修士（口腔保健学）

- 1) 学術的な研究成果を有し、次世代の口腔保健学の発展を担える研究・開発の能力を有している。
- 2) 口腔保健学に関する専門的な知識と技術を身につけ、口腔保健学領域における高度な実践を展開できる能力を有している。
- 3) 研究成果や思考過程を的確に伝える能力を有している。

修士（理学）

- 1) 学術的な研究成果を有し、次世代の生命科学の発展を担える研究・開発の能力を有している。
- 2) 生命科学に関する専門的な知識と技術を身につけ、医療・バイオ産業界にて高度な実践を展開できる能力を有している。
- 3) 研究成果や思考過程を的確に伝える能力を有している。

修士（工学）

- 1) 学術的な研究成果を有し、次世代の生体工学の発展を担える研究・開発の能力を有している。
- 2) 生体工学に関する専門的な知識と技術を身につけ、医療・バイオ産業界にて高度な実践を展開できる能力を有している。
- 3) 研究成果や思考過程を的確に伝える能力を有している。

修士（保健学）

- 1) 臨床検査学および関連領域における専門的な知識と技術を身につけ、科学的能力と倫理観に根ざす実践的能力を有している。
- 2) 臨床検査学および関連領域における将来の指導者、教育者、研究者となるための基盤を有している。

修士（グローバル健康医学）

本コースでは、次のような能力・資質を見につけていると認められた者で、かつ所定の単位を収め、本専攻が行う修士論文の審査及び最終試験に合格した者に修士（グローバル健康医学）の学位を授与する。

- 1) 公衆衛生学、疫学、生物統計学、ヘルスシステム、母子保健、環境保健、産業保健などグローバルな観点に

おける公衆衛生学について習熟し、統計解析ができる。

- 2) 本学の持つ海外拠点等を活用し、グローバルヘルスについて現場のデータを収集し、予防戦略を立案し実行できる。
- 3) 疾患予防戦略を社会に展開する上で必要な論理的表現能力を有し、研究成果を社会に還元できる。
- 4) 本コース終了後も、継続して知識を習得する能力および問題解決能力を備えている。
- 5) 組織における公衆衛生のリーダーとしての素養および組織の意思決定・業務遂行でのコミュニケーション能力を有している。
- 6) 国際協力を含めて、社会全般に対してのグローバルな公衆衛生学に関する情報収集および発信能力を有している。

標準修業年限

標準修業年限：2年

2. 「科目ナンバリング」について

1. 科目ナンバリングとは

科目ナンバリングは、授業科目に適切な番号を付けて分類することで、学修の段階や順序等を表し、教育課程の体系性を明示する仕組みのことです。

本学大学院では、科目ナンバリングにより授業科目に付された特定の記号及び数字のことを「科目ID」と呼び、シラバスの各科目のページに掲載しています。

なお、同じく各科目のページに掲載されている「科目コード」は、主に履修登録の際などに使用されます。

2. 「科目ID」の構成

G H — a 3 0 0 1 — L

① ② ③ ④ ⑤

各桁の意味

①授業開設部局名

部局名	コード
大学院	G

②専攻・コース名等

専攻・コース名等	コード
医歯理工保健学専攻	H
医歯理工保健学専攻医療管理政策学コース	A
医歯理工保健学専攻グローバルヘルスリーダー養成コース	P
医歯学専攻	M
生命理工医療科学専攻	B
東京医科歯科大学・チリ大学国際連携医学系専攻	J
東京医科歯科大学・チュラロンコーン大学国際連携歯学系専攻	I
東京医科歯科大学・マヒドン大学国際連携医学系専攻	S
看護先進科学専攻	N
共同災害看護学専攻	D
大学院共通科目	C

③レベル

レベル	コード
大学院共通科目 学部生先取履修対象科目	a
修士課程における発展的な内容の科目、または 修士論文の作成にあたり履修する論文(研究)指導等の科目	b
博士課程における発展的な内容の科目、または 博士論文の作成にあたり履修する論文(研究)指導等の科目	c
5年一貫制博士課程における発展的な内容の科目、または 博士論文の作成にあたり履修する論文(研究)指導等の科目	d

その他	e
-----	---

④科目コード

各専攻で開講している授業科目の通し番号(4桁)

⑤授業形態

授業形態	コード
講義	L
演習	S
実習	E
論文指導・研究指導	T
その他	Z

3. 修了要件及び履修方法

3. Requirements and Registration

1. 修了要件

1. Requirements of Completion

医歯理工保健学専攻に2年以上在学し、授業科目を30単位以上修得し、修士論文の審査及び最終試験に合格すること。

Students need to be enrolled in Master's Program : Health Sciences and Biomedical Engineering for two or more years, to obtain 30 or more units, and to pass the thesis defense and final examination.

2. 履修方法

2. Registration

履修登録は、指導教員と相談のうえ、履修する科目を決定し、前期及び後期の所定の期間内に登録の手続きを行わなければならない。履修登録の受付は学務企画課にて行う。

同じ時間帯に開講する2つの科目を履修登録することはできない。

※取得する学位により、履修科目が異なるため、履修登録にあたっては事前に指導教員と授業の履修方法等について相談のうえ行うこと。履修登録する科目の講義時間が重なっていないか、履修条件を満たしているかを必ず確認すること。

After talking with one's supervisor, students need to register for courses during the registration period. Please submit the registration form to Educational Planning Section.

Students cannot register the courses which are held at the same time. Please make sure to check if the class schedule doesn't have a time conflict.

***Depending on the desired field of Master's degree, the courses the one needs to take differ. Please make sure to talk with one's supervisor before registering courses.**

It is students' responsibility to check the time conflict of each lectures and prerequisites of the courses before submitting the registration form.

1) 履修科目について

1) Registering Courses

【医科学、歯科学、理学、工学、口腔保健学、保健学の学位修得を目指す者】

取得学位の必修科目と選択科目と合わせて30単位以上を履修すること。

「初期研究研修」「課題研究」は、6つの学位に共通する必修科目である。必ず履修すること。

なお、「開設科目及び修得単位一覧表」は、取得学位別の必修科目と選択科目、及びその単位数を示している。◎は必修科目、斜線が入っているものは受講できない科目である。必要単位数(30単位以上)に達するように科目登録を行うこと。

[Students who wish to earn the Master's degree on Medical Science, Dental Science, Science, Engineering, Oral Health Care Science, Medical Laboratory Science]

Students should register courses with the total of 30 or more units combining the core courses and electives. The courses, "Initial Research Training" and "Research for Thesis" are the common core courses for the students who desired to earn degree on any of above six fields. Please make sure to register for them.

From the List of Courses and Units, please find which courses are core courses/electives to your desired degree field. The courses with "◎" are the core courses. And the courses with slash are the ones you cannot register.

☆先制医療学コースについて☆

先制医療学コースの学生については、必修科目以外の選択科目について、ビッグデータ解析学、バイオメディカルデバイス理工学Ⅰ、研究倫理・医療倫理学、先制医療学実習、先制医療学基礎実習、医療データ科学概論、疫学Ⅰ、生物統計Ⅰの合計11単位を履修すること。なお、疫学Ⅰおよび生物統計Ⅰについては、全編英語により行われる。（必修科目とスケジュールが重複する選択科目は2年次に履修すること。）

☆Medical Sciences Program for Preemptive Medicine☆

Students in Medical Sciences Program for Preemptive Medicine have to take “Big Data Analytics,” “Biomedical Device Science and Engineering I,” “Medical and Research Ethics,” “Clinical Research and Development training course of Anticipating Medicine,” “Medical Data Science,” “Preemptive Medicine Basic Training Course,” “Epidemiology I,” and “Biostatistics I,” in total of 11 units, in addition to the core courses of the desired degree filed. “Epidemiology I” and “Biostatistics I” will be held all in English. (If your class schedule has time conflict. Please take elective courses in your 2nd year of Master’s Program.)

☆遺伝カウンセリングコースについて☆

先進倫理医科学分野に所属し、遺伝カウンセリングコースを受講する学生については、修士（医科学）の必須科目のほかにコース指定の11科目21単位（遺伝医学特論、生化学、研究倫理・医療倫理学、MMA医療提供政策論、MMA医療とコミュニケーション、先制医療学基礎実習、人類遺伝学、臨床遺伝学、研究倫理演習、遺伝カウンセリング学、遺伝カウンセリング実習）を履修すること。

☆Genetic Counseling Course☆

This course is limited to the students belong to Department of Life Sciences and Bioethics and enrolled in this course.

☆臨床疫学プログラムについて☆

臨床疫学プログラムに参加する学生については、必修科目以外の選択科目について、疫学基礎、生物統計学基礎、生物統計学応用Ⅰ、生物統計学応用Ⅱ、臨床試験方法論基礎、臨床試験方法論応用、口腔疫学基礎、疫学応用のうち5単位以上を履修したうえで、臨床疫学解析演習（プログラム必修科目）を履修すること。

☆Clinical Epidemiology Program☆

Students in Clinical Epidemiology Program must take at least 5 units from “Epidemiology: Basic”, “Biostatistics: Basic”, “Biostatistics: Advanced I”, “Biostatistics: Advanced II”, “Clinical Trial Methodology : Basic”, “Clinical Trial Methodology : Advanced”, “Oral epidemiology: Basic”, and “Epidemiology: Advanced” in addition to the core courses of the desired degree field and yet “Statistical Analysis of Clinical Data” (compulsory subjects in the program).

【グローバル健康医学の学位修得を目指す者（グローバルヘルスリーダー養成（MPH）コースの学生に限る。）】

「開設科目及び修得単位一覧表」に示す必修科目28単位および選択科目2単位を含む合計30単位以上を履修すること。なお、医師免許または歯科医師免許のない学生は基礎医学概論が必須である。

	【Students wishing to obtain Master of Public Health in Global Health (MPH) (only those in MPH Course)】 As the List of Courses and Units shows, students have to take 30 or more units including 28 units of core courses and 2 units of electives. Students without medical or dental doctor license must take Public Health Biology (3306).
2) 履修科目の追加について 2) Adding Courses	履修科目を追加する場合は、各年度の前期及び後期の所定の期間内に履修登録を受け付ける。追加履修をする場合も、学務企画課へ申し出ること。 (履修科目の取消については、3. 2) II の*2 を参照のこと。) Students can add courses during the predefined periods in Spring / Fall semester by submitting the form to register courses additionally. (To drop one's registered courses, please refer to *2 in 3. 2) II.)
3) 医療管理政策学 (MMA) コースの講義について 3) Courses of Master of Medical Administration (MMA) Course	「開設科目及び修得単位一覧表」に記載されている選択科目のほかに、医療管理政策学 (MMA) コースの科目を年間10単位まで、受講することができる(*1)。 なお、修得した単位は修了要件単位及び GPA にも算入されるものとする。医療管理政策学 (MMA) コースの開設科目については、MMA のシラバスを参照すること。 Beside the courses on the List of Courses and Units, students can take courses of Master of Medical Administration (MMA) Courses (*1) up to 10 units per year. The units and GP gained from MMA courses will be added to your units for completion of Master's Program and GPA. For the details, please refer to the syllabus.
4) 学際生命科学東京コンソーシアムの講義について 4) Tokyo Interdisciplinary Life Science Consortium	上記3)と同様に学際生命科学東京コンソーシアムの他大学の科目を15単位まで、受講することができる(*1)。 学際生命科学東京コンソーシアムの共通シラバスは以下の URL を参照。 http://dpssc.cf.ocha.ac.jp/DPSC/syllabus/ Students also can register for courses from Tokyo Interdisciplinary Life Science Consortium (*1) up to 15 units per year. Its syllabus is available from the following URL. http://dpssc.cf.ocha.ac.jp/DPSC/syllabus/ (*1): MMA科目とコンソーシアム科目合わせて年間15単位まで履修可能。 (*1): Students can register the courses in total of 15 units per year at the maximum from MMA courses and Tokyo Interdisciplinary Life Science Consortium together.
5) 授業・試験の休講措置等について 5) Cancelling a lecture/exam	台風等の自然災害や交通機関運休に伴う授業の休講・試験の延長を決定した場合は、本学のホームページ「学部・大学院」ニュース欄に掲載する。 http://www.tmd.ac.jp/faculties-news/index.html When a lecture or an exam is cancelled due to natural or weather related disasters such as typhoons or cancellation of transportation, the notice will be up on the news section of “学生・大学院” on the TMDU HP http://www.tmd.ac.jp/faculties-news/index.html

6) 授業欠席について

6) Missing a lecture

授業を欠席する（した）場合は、授業欠席届（様式はホームページ「教育・研究」→「大学院医歯学総合研究科」→「統合教育機構学務企画課」→「諸手続」）を学務企画課に提出すること。原則として、遅刻・欠席の教員への連絡取次は受付けない。

When students need to miss or missed a lecture, please submit “授業欠席届” (Notification of Absence) to Educational Planning Section. The form can be found on TMDU website (「学部・大学院」→「大学院医歯学総合研究科」→「統合教育機構学務企画課」→「諸手続」). Please note that an administrative staff only pass the form, 欠席届, to the main instructor at the end of semester and he/she will decide what to do with one's absence. Also, an administrative staff will not relay student's being-late nor absence to the instructor.

7) 取得学位別履修例について

7) Samples of course registration

以下は、取得学位別の履修例を示している。必修科目はもれなく受講すること。なお、選択科目についてはあくまで例なので、受講する科目は指導教員と相談のうえ、決めること。また、履修登録する科目の講義時間が重なっていないか、履修条件を満たしているかを必ず確認すること。

The followings are the sample of course registration based on the desired field of Master's degree. Students have to take all the core courses according to one's desired field of Master's degree. Please consult with your supervisor which electives to take. **It is student's responsibility to check the time conflict of each lectures and check the prerequisites of the courses before submitting the registration form.**

学位別履修例

Samples

I. 医科学

I. Medical

Sciences

必修科目		選択科目	
科目名	単位数	科目名	単位数
医歯学総合概論	2	細胞生物学特論	1
初期研究研修	1	研究倫理・医療倫理学	1
医歯理工学先端研究特論	1	生化学	2
課題研究	4	遺伝医学特論	2
医科学演習	4	神経疾患特論	2
医科学実習	4	薬理学	2
人体形態学	1		
人体機能学	1		
病理病態学	1		
環境社会医歯学	1		
(必修科目単位合計)	20	(選択科目単位数合計)	10
合計単位数		30単位	

Ⅱ. 歯科学
Ⅱ. Dental
Sciences

必修科目		選択科目	
科目名	単位数	科目名	単位数
歯科学総合概論	2	細胞生物学特論	1
初期研究研修	1	歯薬産業技術特論	1
歯理工学先端研究特論	1	免疫学	2
課題研究	4	発生・再生科学	2
歯科学演習	4	神経疾患特論	2
歯科学実習	4	機能分子化学	2
口腔形態学	1		
人体機能学	1		
病理形態学	1		
環境社会歯科学	1		
(必修科目単位数合計)	20	(選択科目単位数合計)	10
合計単位数		30単位	

Ⅲ. 口腔保健学
Ⅲ. Oral
Health
Sciences

必修科目		選択科目	
科目名	単位数	科目名	単位数
歯科学総合概論	2	研究倫理・医療倫理学	1
初期研究研修	1	細胞生物学特論	1
歯理工学先端研究特論	1	口腔保健福祉学	2
課題研究	4	ケミカルバイオロジー特論	2
口腔保健学演習	4	生体材料学	2
口腔保健学実習	4		
口腔形態学	1		
人体機能学	1		
病理形態学	1		
環境社会歯科学	1		
口腔保健臨地実習	2		
(必修科目単位数合計)	22	(選択科目単位数合計)	8
合計単位数		30単位	

※モデルは口腔保健衛生系である

※The above sample is for students wishing to study oral health care sciences.

Ⅳ. 理学
Ⅳ. Science

必修科目		選択科目	
科目名	単位数	科目名	単位数
歯科学総合概論	2	生化学	2
初期研究研修	1	免疫学	2
歯理工学先端研究特論	1	発生・再生科学	2
課題研究	4	機能分子化学	2
生命理工学演習	4	ケミカルバイオロジー特論	2
生命理工学実習	4	分子構造学特論	2
		バイオメディカルデバイス理工学Ⅰ	1
		バイオメディカルシステム理工学Ⅰ	1
(必修科目単位数合計)	16	(選択科目単位数合計)	14
合計単位数		30単位	

V. 工学
V. Engineering

必修科目		選択科目	
科目名	単位数	科目名	単位数
医歯学総合概論	2	生体材料学	2
初期研究研修	1	応用生体材料学	2
医歯理工学先端研究特論	1	医歯薬産業技術特論	1
課題研究	4	バイオメディカルデバイス理工学Ⅰ	1
生命理工学演習	4	機能分子化学	2
生命理工学実習	4	ケミカルバイオロジー特論	2
		薬理学	2
		生化学	2
(必修科目単位合計)	16	(選択科目単位数合計)	14
合計単位数		30単位	

VI. 保健学
VI. Medical
Laboratory
Science

必修科目		選択科目	
科目名	単位数	科目名	単位数
初期研究研修	1	薬理学	2
生体検査科学特論Ⅰ	2	疾患オミックス情報学特論	1
生体検査科学特論Ⅱ	2	細胞生物学特論	1
生体検査科学セミナーⅠ	1	保健医療情報学	2
保健学演習	4	臨床実践特別演習入門	1
保健学実習	4	臨床実践特別演習Ⅰ	2
課題研究	4	臨床実践特別演習Ⅱ	2
		ビッグデータ解析学	1
(必修科目単位合計)	18	(選択科目単位数合計)	12
合計単位数		30単位	

VII. グローバル健康
医学
VII. Public
Health in
Global
Health

必修科目		選択科目	
科目名	単位数	科目名	単位数
疫学Ⅰ	2	疫学Ⅱ	2
生物統計Ⅰ	2	生物統計Ⅱ	2
医療システム	2	基礎医学概論	2
プラネタリーヘルス	2	母子保健学	2
グローバルヘルス	4	医療ビジネス論	2
行動科学	2	疫学基礎	1
環境保健学	2	生物統計学基礎	1
課題研究Ⅰ	6	生物統計学応用Ⅰ	1
課題研究Ⅱ	6	生物統計学応用Ⅱ	1
		臨床試験方法論基礎	1
		臨床試験方法論応用	1
		口腔疫学基礎	1
		疫学応用	1
		臨床疫学解析演習	1
(必修科目単位合計)	28	(選択科目単位数合計)	2
合計単位数		30単位	

左記14
科目から
2単位

医師、歯
科医師の
経験の無
い学生は、
基礎医学
概論を選
択すること

※先制医療学
コース
Medical
Sciences
Program for
Preemptive
Medicine

先制医療学コースを受講する学生は、必ず以下の8科目（計11単位）を履修すること。

Students who wants to take Medical Sciences Program for Preemptive Medicine have to take the following 8 courses in total of 11 units.

科目名	単位数	科目名	単位数
ビッグデータ解析学	1	先制医療学実習	2
バイオメディカルデバイス理工学 I	1	先制医療学基礎実習	1
研究倫理・医療倫理学	1	疫学 I (Epidemiology 1)	2
医療データ科学概論	1	生物統計 I (Biostatistics 1)	2
合計		11	

※遺伝カウ
ンセリングコ
ース
Genetic
Counseling
Course

遺伝カウンセリングコースに入学した学生は、医科学の必修科目と以下の11科目（計22単位）を履修すること。Students in the Genetic Counseling Course has

to take the core courses for Master's Degree in Medical Sciences and the following 11 electives courses of the total of 21 units.

必修科目		選択科目（コース指定科目）	
科目名	単位数	科目名	単位数
医歯学総合概論	2	遺伝医学特論	2
初期研究研修	1	生化学	2
医歯理工学先端研究特論	1	研究倫理・医療倫理学	1
課題研究	4	MMA医療提供政策論	1
医科学演習	4	MMA医療とコミュニケーション	1
医科学実習	4	先制医療学基礎実習（先制医療学コース、カ ウンセリングコース限定）	1
人体形態学	1	人類遺伝学（カウンセリングコース限定）	2
人体機能学	1	臨床遺伝学（カウンセリングコース限定）	2
病理病態学	1	研究倫理演習（カウンセリングコース限定）	1
環境社会医歯学	1	遺伝カウンセリング学（カウンセリングコ ース限定）	3
		遺伝カウンセリング実習（カウンセリング コース限定）	6
（必修科目単位合計）		（選択科目単位数合計）	
20		22	
合計単位数		42単位	

※臨床疫学プログラム
Clinical
Epidemiology
Program

臨床疫学プログラムを受講する学生は、以下の選択科目から5科目（5単位）以上かつ必修科目を履修すること。

Students who want to take Clinical Epidemiology Program have to take at least 5 subjects (5 credits) from the following elective courses, and also compulsory courses.

必修科目		選択科目	
科目名	単位数	科目名	単位数
臨床疫学解析演習	1	疫学基礎	左記8科目 から5科目 5単位 (各科目 1単位)
		生物統計学基礎	
		生物統計学応用Ⅰ	
		生物統計学応用Ⅱ	
		臨床試験方法論基礎	
		臨床試験方法論応用	
		口腔疫学基礎	
		疫学応用	
必修科目単位数合計	1	選択科目単位数合計	5
合計単位数 6単位			

3. 成績 Grades

1) 成績評価について

1) Grading System

【2024年度以降入学者】

授業科目の成績は、以下の基準に従い、60～100を合格、59以下を不合格とする。

According to the evaluation criteria, students will be graded with 60 to 100 as passing, 59 or below as failing.

評価／評点 Grade		GP	評価基準 Standards for Specific Behavioral Objectives (SBOs)
合格 Pass	90～ 100	3.5～ 4.5	当該科目の到達目標を期待された水準を超えて達成した All SBOs were achieved beyond expectation.
	80～ 89	2.5～ 3.4	当該科目の到達目標を全て達成した All SBOs were achieved.
	70～ 79	1.5～ 2.4	当該科目の到達目標を概ね達成した Most SBOs were achieved.
	60～ 69	0.5～ 1.4	当該科目の到達目標のうち最低限を達成した The minimum SBOs necessary were achieved.
不合格 Fail	0～59	0	当該科目の到達目標を達成していない The minimum SBOs necessary were not achieved.

【2023年度以前入学者】

授業科目の成績は、以下の基準に従い、A+、A、B、C、D、Fとする。

According to the evaluation criteria, students will be graded with “A+, A, B, C, D, F.”

※ GPAについては2)を参照のこと。 Please refer to 2) about GPA.

	評価 Grade	GP	評価基準 Standards for Specific Behavioral Objectives (SBOs)
合格 Pass	A+	4.0	当該科目の到達目標を期待された水準を超えて達成した All SBOs were achieved beyond expectation.
	A	3.5	当該科目の到達目標を全て達成した All SBOs were achieved.
	B	3.0	当該科目の到達目標を概ね達成した Most SBOs were achieved.
	C	2.0	当該科目の到達目標のうち最低限を達成した The minimum SBOs necessary were achieved.
不合格 Fail	D	1.0	当該科目の到達目標を達成していない The minimum SBOs necessary were not achieved.
	F	0.0	当該科目の到達目標を評価できない Unable to evaluate based on insufficient SBOs.

2) GPAについて

2) GPA

GPAとは、履修した各科目の成績評価に対して、それぞれポイント（GP）を定め、成績の平均値を示す成績評価結果の表示方法のひとつである。GPAは当該年度のものと累積のものを算出するが、成績証明書には累積GPAを表示するものとする。

GPA is one of the grading methods and which is the average of one's grade point (GP) given to one's each courses. GPA will be calculated each year and the accumulated GPA will be on one's transcript.

I. GPA算出方法

I. Calculating GPA

累積 GPA	=	$\frac{\text{(修得科目のGP(※1)×単位数)の総和}}{\text{(履修登録単位数)の総和}}$
<2024年度以降入学者> ※1 GP = (科目の評価 - 55) × 0.1 ただし、科目の評価が59点以下の場合は、GP = 0.0 とする ※2 小数点第3位を四捨五入する		
<2023年度までの在学生> ※1 GP = A+:4.0, A:3.5, B:3.0, C:2.0, D:1.0, F:0.0 ※2 小数点第3位を四捨五入する		

II. 履修取消について	履修取消とは、一旦履修登録した科目のうち履修を継続しない科目を、 大学の定める一定期間内(*2)に本人からの請求により、履修登録を取り消すことをいう。履修取消を行った科目に関しては、GPAには算入されず、成績証明書にも記載されない。
II. Cancelling courses (Dropping courses)	履修取消の手続きは、履修登録科目取消願（様式はホームページ「教育・研究」→「大学院医歯学総合研究科」→「統合教育機構学務企画課」→「諸手続」）により学務企画課に提出する。 <u>なお、履修を継続しない科目について期間内に履修取消の手続きを行わず、自ら履修を放棄した場合は「不合格：59～0点（2023年度までの入学者はDまたはF）」とする。</u>

Cancelling/dropping the registered courses means that after registering courses, students drop the registered courses during the predefined period (*2) upon their request with the form, “履修登録科目取消願 Request of Cancelling Registered Subject,” to the section in charge. If a student appropriately follows the procedure and one's request is accepted, the course will be cancelled/dropped from the list of one's registered courses. Then, the student will not be given any grades on the cancelled courses and those courses will not be on one's transcript.
The form, “履修登録科目取消願 Request of Cancelling Registered Subject,” can be downloaded from TMDU website (「教育・研究」→「大学院医歯学総合研究科」→「統合教育機構学務企画課」→「諸手続」). Please submit the form to Educational Planning Section (1st floor of Bldg. 1 West) during the predefined period. If a student did not submit the request form and did not follow the right procedure during the right period to cancel the course, then one will be given “Fail” (59~0 points)(“D” or “F” for students enrolled before 2023) to the course for not appropriately attending the course.

※履修取消が可能な期間

***2: 履修取消の期間は、各授業科目の第5回目講義開始前まで、
MMA 及び MPH 科目は3日目講義開始前まで、
31-3038 英語交渉・ディベート特論は3回目講義開始前までとする。**
なお、夏期休業期間中等に行われる集中講義については、当該科目の履修確定日の翌日から授業開始日の1週間前までとする。
***2: To cancel/ drop the registered courses, students have to submit the “履修登録科目取消願 Request of Cancelling Registered Subject” before the 5th lecture of the course starts.
For MMA and MHP courses, it is before the 3rd day's lecture starts.
For intensive courses held during summer, it is from the next day of the confirmation of students' course registration to a week before the course starts.
For 31-3038 Critical Thinking and Debate, it is before the 3rd lecture starts.**

4. 講義時間

4. Lecture Period

講義は次の時間帯に行う

Lectures will be held as the following lecture period.

時 限	1	2	3	4	5	6	7
Lecture Period	8 : 5 0	1 0 : 3 0	1 3 : 0 0	1 4 : 4 0	1 6 : 2 0	1 8 : 0 0	1 9 : 4 0
授業時間	5	5	5	5	5	5	5
Time	1 0 : 2 0	1 2 : 0 0	1 4 : 3 0	1 6 : 1 0	1 7 : 5 0	1 9 : 3 0	2 1 : 1 0

※講義室入口横に設置されている出席管理端末に、学生証をタッチすることで出席としてカウントされる。学生証を忘れた場合は欠席扱いとなるので、留意すること。また、2コマ続きの講義の際は、各講義開始時に毎回タッチすること。

学生証は他の磁気カード等と一緒にせず、単独でタッチすること。

※Students need to scan one's student ID card over the card reader of the attendance system in the lecture room. Often the card reader is on the wall by the door of the room. If students did not scan it over the system or could not do so for not having your student ID card, then one's attendance will not be counted and recorded as "absence." Then please make sure to scan the card over the system every time before the each lecture starts. Even if the two lectures of the same course are held in a row, students need to scan the ID card for each lectures. Also, please scan your student ID card along over the system separating from other cards with an IC tip, otherwise the system cannot read your students ID card correctly.

5. 講義室、実習室

5. Lecture room, Practical room

講義は主に下記の講義室で行われます。講義室の場所を把握しておくこと。

科目により、下記以外の講義室で行う場合もあるので、その都度、確認すること。

また、講義室、実習室に個人の所有物などを放置しないこと。

時間外使用を希望する場合は、学務企画課（03-5803-4534）に申し出て許可を得る必要があります。

Lectures will be held mainly the following lecture rooms. Some of the courses will be held at other room irregularly. Please make sure to check the lecture room each time. Also, please do not leave your personal belongings at the lecture/practical room. If students want to use the room overtime, they need to get a permission from Educational Planning Section.

湯島地区 Yushima Campus	3号館6階 6th floor of Building 3	大学院特別講義室
	D棟南4階 4th floor of Building D South	歯学部特別講堂
	M&Dタワー4階 4th floor of M&D Tower	※図書館情報検索室 Library Information Search Room
	M&Dタワー11階 11th floor of M&D Tower	大学院講義室3
	M&Dタワー21階 21st floor of M&D Tower	大学院講義室1
	M&Dタワー23階 23rd floor of M&D Tower	共用セミナー室3
駿河台地区 Surugadai Campus	22号館1階 1st floor of Building 22	第2会議室

※M&Dタワー3階（図書館入口）から入り、4階の情報検索室1に入室する。

※To access to Library Information Search Room on the 4th floor, please use the library entrance on 3rd floor of M&D Tower.

※2024 年度授業方針

医歯理工保健学専攻においては、以下のとおり実施します。

- ・授業は対面を基本としつつ、ハイフレックス型授業を積極的に活用し、感染状況等に応じた柔軟な参加形態を確保する。科目責任者の判断のもと、教育内容、事情に応じて授業の編成を行う。
- ・対面講義を行う場合には、「感染予防に係る留意事項」に十分留意の上、実施する。

この方針は今後の情勢により変更することもあります。

今後更新があった場合には大学ウェブサイト等で最新情報をお知らせする予定です。

実際の授業実施方法については Web Classでご確認いただくか、授業担当教員にお問い合わせください。

【感染予防に係る留意事項】

・手洗い、換気、マスクの効果的な場面での着用、咳エチケットなど、基本的な感染対策の徹底をお願いします。

・下記出席停止基準に抵触する、または抵触しないものの体調がすぐれない場合は登校せず、すみやかに「学部生・大学院生向けの登校を控える症状・状況と報告と対応方法」に従って「登校を控える状況発生報告Forms」から大学および指導教員に報告を行ってください。後日、欠席届を大学院教務第二係へ提出してください。なお、新型コロナウイルス感染症以外の学校感染症（インフルエンザなど）の診断を受けている場合は、「学校感染症 初回報告Forms」の回答を行い、Formsに示された内容に沿ってください。

【出席停止の判断基準】

1. 体温 37.5℃以上があり、咽頭痛（違和感を含む）・咳のどちらかがある
 2. 周囲に COVID-19 陽性者がいて、自身にも風邪症状（発熱・咽頭痛・咳・倦怠感・鼻汁・頭痛など）がある
 3. 症状があり、検査にて COVID-19 陽性が判明した
 4. 無症状だが、定期検査などで検査受けたら COVID-19 陽性が判明した
- ※周囲に COVID-19 陽性がいるが、自身は無症状の場合
無症状の間は、通常登校可です。大学への報告は不要です。健康観察に留意し、症状が出た際は、登校を控えて、下記沿って報告してください。

各種HPは以下のとおりです。

新型コロナウイルスの感染拡大に伴う大学の対応：

<https://www1.tmd.ac.jp/others/soumusoumu/soumu/cov/>

保健管理センター「新型コロナウイルス感染症関連」：

<https://www.tmd.ac.jp/hsc/covid/>

「学部生・大学院生向けの登校を控える症状・状況における報告と対応方法」：

https://www.tmd.ac.jp/files/topics/55184_ext_19_4.pdf

「登校を控える状況発生報告Forms」

「学校感染症 初回報告Forms」



The lectures will be provided as follows in Health Sciences and Biomedical Engineering.

- Lectures will be held basically face-to-face learning, but high-flex classes will be actively used to ensure a flexible form of participation according to the infection situation and other factors. Lectures will be organized in the judgment of the chief Instructor according to the educational content and situations.
- Face to face learning will be provided while paying close attention to “Precautions for infection prevention”.

This policy may change according to circumstances. In such cases, we're planning to notify the latest information on the web page of TMDU. Please make sure how lectures are given actually on Dream Campus and/or on Web Class or ask your instructor(s) about it.

【Precautions for infection prevention】

- Please take basic infection control measures such as hand washing, ventilation, wearing masks in effective situations, and cough etiquette.
- If you do not feel well, please do not come to school and promptly report to the university and your academic advisor via the "登校を控える状況発生報告Forms" in accordance with "学部生・大学院生向けの登校を控える症状・状況と報告と対応方法" for undergraduate and graduate students. Please submit the absence report to Graduate Education Team 2 later.

If you have been diagnosed with a school infectious disease other than COVID-19 (such as influenza), please respond to the "学校感染症 初回報告Forms" and follow the instructions provided in the Forms.

【Criteria for Suspension of Attendance】

1. Having a fever over 37 degrees Celsius and either a sore throat (including a feeling of discomfort) or cough.
2. With COVID-19 positive patient around you and having cold symptoms (fever, sore throat, cough, fatigue, nasal discharge, headache, etc.)
3. Having symptoms and found to be COVID-19 positive on examination.
4. Without any symptoms but found to be COVID-19 positive at periodic checkups.

*If someone around you is COVID-19 positive but you have no symptoms, you can attend school as long as you are asymptomatic. No need to report to the University. If you have symptoms after paying attention to your health,, please refrain from attending school and report them as follows.

The various HPs are as follows,

新型コロナウイルスの感染拡大に伴う本学の対応：

<https://www1.tmd.ac.jp/others/soumusoumu/soumu/cov/>

保健管理センター「新型コロナウイルス感染症関連」：

<https://www.tmd.ac.jp/hsc/covid/>

「学部生・大学院生向けの登校を控える症状・状況における報告と対応方法」：

https://www.tmd.ac.jp/files/topics/55184_ext_19_4.pdf

「登校を控える状況発生報告Forms」

「学校感染症 初回報告Forms」



6. 授業料

6. Tuition Fee

授業料は1年に2回、前期・後期の各学期開始2か月めの月（5月、11月）に納付する必要があります。未納の場合は学則により除籍処分になりますので、ご注意ください。

Students should pay tuition fee twice a year; by the end of May and November (the second month of each semester). Or students will be expelled from university for not paying tuition fees.

7. MMA 科目 Courses of MMA Course

MMAの講義は主に大学院講義室2（M&Dタワー13階）で次の時間に行われる。

学外で行われる講義もあるので注意すること。

Lectures of MMA Courses will be held at 大学院講義室2（13th Floor of M&D Tower）.

Some lectures are held in outside of TMDU campus. Please check the syllabus carefully.

※科目および時間割、講義場所の詳細はMMAのシラバス参照のこと。

※Please check the MMA Syllabus for details of each course and class schedule.

時限	MMA 1時限目	MMA 2時限目
授業時間 Lecture Time	18:00～19:30	19:40～21:10

<大学院シラバス>

履修要項は以下のウェブページにPDFが掲載されています。

Syllabi are available in PDF format from the following website.

【日本語URL】 <http://www.tmd.ac.jp/campuslife/syllabus2/index.html>

（TMDUのHPホーム > 学生生活 > 授業・カリキュラム > 履修要項（大学院シラバス）
医歯学総合研究科修士課程履修要項および医療管理政策学（MMA）コース履修要項

【英語URL】:

http://www.tmd.ac.jp/english/faculties/graduate_school/master/syllabus/index.html

（TMDU HP > Education > Graduate School of Medical and Dental Sciences > Master's Program : Health Sciences and Biomedical Engineering > Master's Program (syllabus)）

Syllabi of Master's Program: Health Sciences and Biomedical Engineering are only available in English.

2024年度開設科目及び修得単位一覧表
FY2024 List of Courses and Units

No.	時間割コード Class Code	科目コード Course Code (00科目コードと併 用・2019年度から)	科目名	Course Title	単位数 Unit(s)	医科学 Medical Science	歯科学 Dental Science	口腔保健学 Oral Health Care Science	理学 Science	工学 Engineering	保健学 Medical Laboratory Science	グローバル健康 学 Public Health in Global Health	科目責任者 Instructor
1	031001	31-3001	医歯学総合概論	Philosophy of Medicine and Dentistry	2	◎	◎	◎	◎	◎	選択科目 Electives		医歯学総合研究科教育委員会 修士課程教育担当委員
2	031002 (日本語) 031908 (英語)	31-3002/31-3102	初期研究研修	Initial Research Training	1	◎	◎	◎	◎、▲	◎、▲	◎		医歯学総合研究科教育委員会 修士課程教育担当委員
3	031003	31-3003	医歯理工学先端研究特論 (*3)	Special Lectures for Advanced Research on Life Science and Technology (*3)	1	◎	◎	◎	◎	◎	選択科目 Electives		医歯学総合研究科教育委員会 修士課程教育担当委員
4	031004 (日本語) 031012 (英語)	31-3004/31-3104	課題研究	Research for Thesis	4	◎	◎	◎	◎、▲	◎、▲	◎		指導教員 Supervisor
5	031005	31-3005	医科学演習	Seminar of Medical Science	4	◎							指導教員 Supervisor
6	031006	31-3006	医科学実習	Practice of Medical Science	4	◎							指導教員 Supervisor
7	031007	31-3007	歯科学演習	Seminar of Dental Science	4		◎						指導教員 Supervisor
8	031008	31-3008	歯科学実習	Practice of Dental Science	4		◎						指導教員 Supervisor
9	031009	31-3009	口腔保健学演習	Seminar of Oral Health Science	4			◎					指導教員 Supervisor
10	031010	31-3010	口腔保健学実習	Practice of Oral Health Science	4			◎					指導教員 Supervisor
11	031892	31-3061/31-3161	生命理工学演習	Seminar of Life Science and Engineering	4				◎、▲	◎、▲			指導教員 Supervisor
12	031893	31-3062/31-3162	生命理工学実習	Practice of Life Science and Engineering	4				◎、▲	◎、▲			指導教員 Supervisor
13	031894	31-3113	保健学演習	Seminar of Medical Laboratory Science	4						◎		指導教員 Supervisor
14	031895	31-3114	保健学実習	Practice of Medical Laboratory Science	4						◎		指導教員 Supervisor
15	031013	31-3013	人体形態学	Human Anatomy, Histology and Embryology	1	◎			いずれか一科目履修可能 Either one of the courses	いずれか一科目履修可能 Either one of the courses	いずれか一科目履修可能 Either one of the courses		寺田 純雄 Sumio Terada
16	031014	31-3014	口腔形態学	Oral Anatomy, Histology and Embryology	1		◎	◎					岩永 謙 Iwanaga Jo
17	031015	31-3015	人体機能学	Functional Organization of the Human Body	1	◎	◎	◎					福村 寛和 Yoshikazu Isomura
18	031016	31-3016	病理病態学	Pathology	1	◎	◎	Oa					岡澤 均 Hitoshi Okazawa
19	031017	31-3017	環境社会医歯学	Environmental/Social Health	1	◎	◎	◎					岡田 就博 Shuushou Okada
20	031028	31-3043	口腔保健工学特論	Oral Health Engineering	2			Ob					金澤 亨 Masaru Kanazawa
21	031018	31-3018	口腔保健臨床実習	Oral Health Care Clinical Training	2			Oa					横沢 晋司 Yuji Kabasawa
22	031019	31-3019	病院実習 (開講予定)	Visit Experience and Practice at Hospital Departments	1								医歯学総合研究科教育委員会 修士課程教育担当委員
23	031020	31-3020	生化学 (*2)	Molecular and Cellular Biology (*2)	2								渡原 弘嗣 Hiroshi Asahara
24	031021	31-3021	薬理学	Pharmacology	2								永田 将司 Masashi Nagata
25	031022	31-3022	免疫学	Immunology	2								瀬川 博徳 Katsunori Segawa
26	031023	31-3023	発生・再生科学	Developmental and Regenerative Bioscience	2								仁科 博史 Hiroshi Nishina
27	031024	31-3024	細胞生物学特論	Molecular Cell Biology	1								徳大 敏聡 Toshiaki Ohtaki
28	031025	31-3025	神経疾患特論	Introduction to Medical Neurosciences	2								保岡 透樹 Itsuki Ajioka
29	031026	31-3026	遺伝医学特論 (*2)	Introduction to Human Molecular Genetics (*2)	2								高橋 雄太 Yuta Kouchi
30	031027	31-3027	口腔保健福祉学	Oral Health Generic Care Sciences	2								津沢 勇司 Yuji Kabasawa
31	031029	31-3057	ビッグデータ解析学 (*1)	Big Data Analytics (*1)	1								田中 敬博 Toshihiro Tanaka
32	031913	31-3078	疾患オミックス情報学特論	Disease OMICS Informatics	1								一瀬 崇 Itsushi Ikusado
33	031031	31-3030	機能分子化学	Introduction to Chemistry and Biology of Biofunctional Molecules	2					☆			玉村 智和 Hirokazu Tamamura
34	031032	31-3031	ケミカルバイオロジー特論	Chemical Biology	2					☆			新近 弘之 Hiroyuki Kageshika
35	031033	31-3032	ケミカルバイオロジー技術特論 (2024年度休講)	Practical Chemical Biology (Not offered in FY2024)	2					☆、★			細谷 孝亮 Takamitsu Hosoya
36	031034	31-3033	分子構造学特論	Special Lectures on Molecular Structures	2					☆			伊藤 暢聡 Nobutoshi Ito
37	031035	31-3034	生体材料科学	Advanced Biomaterials Science	2					☆			川下 将一 Masakazu Kawashita
38	031037	31-3036	応用生体材料科学	Applied Biomaterials	2					☆			松元 亮 Mira Matsumoto
39	031036	31-3063	バイオメディカルデバイス理工学Ⅰ (*1)	Biomedical Device Science and EngineeringⅠ (*1)	1					☆			三株 浩二 Kohji Mitsuhashi
40	031038	31-3064	バイオメディカルシステム理工学Ⅰ	Biomedical System Science and EngineeringⅠ	1					☆			中島 義和 Yoshikazu Nakajima
41	031039	31-3037	医薬産業技術特論	Medical, Dental and Pharmaceutical Industrial Engineering	1					☆			池内 真志 Masashi Ikeuchi
42	031040 (Spring) 031906 (Fall)	31-3038	英語交渉・ディベート特論 Critical Thinking and Debate (2024年度休講)	Critical Thinking and Debate (Not offered in FY2024)	2								伊藤 暢聡 Nobutoshi Ito
43	031041	31-3039	研究倫理・医療倫理学 (*1、*2)	Medical and Research Ethics (*1、*2)	1								吉田 雅幸 Masayuki Yoshida
44	031042	31-3040	トランスレーショナルリサーチ特論 Translational Research (2024年度休講)	Translational Research (Not offered in FY2024)	2								
45	031043	31-3042	産学リンケージ特論	Practice in Global Linkage between University and Industry	2								玉村 智和 Hirokazu Tamamura
46	031869	31-3058	先制医療学実習 (*1)	Clinical Research and Development training course of Anticipating Medicine (*1)	2	先制医療学コースの学生に限る Only for the students in Medical Sciences Program for Preemptive Medicine							小池 竜也・石川 幹也 Ryuji Koike, Kiyoa Ishikawa
47	031870	31-3059	先制医療学基礎実習 (*1、*2)	Preemptive Medicine Basic Training Course (*1、*2)	1	先制医療学コース、遠隔カウンセリングコースの学生に限る Only for the students in Medical Sciences Program for Preemptive Medicine and some particular students in Department of Life Sciences and Bioethics							吉田 雅幸 Masayuki Yoshida
48	031871	31-3052	保健医療情報学	Health Care Informatics	2								伊藤 南 Minami Ito
49	031872	31-3053	Basic Human Pathology for Graduate Students	Basic Human Pathology for Graduate Students	1								大川 龍之介 Ryunosuke Okawa
50	031874	31-3060	生体検査科学特論Ⅰ	Medical TechnologyⅠ	2						◎		斎藤 将一 Ryoichi Saito
51	031875	31-3049	生体検査科学特論Ⅱ	Medical TechnologyⅡ	2						◎		斎藤 将一 Ryoichi Saito
52	031876	31-3051	生体検査科学セミナーⅠ	Biomedical Laboratory Sciences SeminarⅠ	1						◎		鈴木 嘉晴 Nobuharu Suzuki

2024年度開設科目及び修得単位一覧表
FY2024 List of Courses and Units

No.	時間割コード Class Code	科目コード Course Code (※科目コードと開 講・2019年度から)	科目名	Course Title	単位数 Unit(s)	医科学 Medical Science	歯科学 Dental Science	口腔保健学 Oral Health Care Science	理学 Science	工学 Engineering	保健学 Medical Laboratory Science	グローバル健康 学 Public Health in Global Health	科目責任者 Instructor																																																																													
53	031877	31-3054	臨床実践特別演習入門	Introductory Exercises for Medical Technologist Internship	1	選択科目 Electives	選択科目 Electives	選択科目 Electives	選択科目 Electives	選択科目 Electives	選択科目 Electives	選択科目 Electives	大川 龍之介 Ryunosuke Ohkawa																																																																													
54	031878	31-3067	臨床実践特別演習Ⅰ	Medical Technologist InternshipⅠ	2								大川 龍之介 Ryunosuke Ohkawa																																																																													
55	031879	31-3068	臨床実践特別演習Ⅱ	Medical Technologist InternshipⅡ	2								大川 龍之介 Ryunosuke Ohkawa																																																																													
56	031909	31-3074	医療データ科学概論 (*1)	Medical Data Science (*1)	1								高橋 邦彦 Kunihiko Takahashi																																																																													
57	031910	31-3075	時間・空間の分子生命科学	Molecular life science in time and space domain	1								奈良 基之 Masayuki Nara																																																																													
58	031915	31-3079	疫学基礎	Epidemiology: Basic	1								藤原 武男 Takeo Fujiwara																																																																													
59	031916	31-3080	生物統計学基礎	Biostatistics: Basic	1								高橋 邦彦 Kunihiko Takahashi																																																																													
60	031917	31-3081	生物統計学応用Ⅰ	Biostatistics: AdvancedⅠ	1								高橋 邦彦 Kunihiko Takahashi																																																																													
61	031918	31-3082	生物統計学応用Ⅱ	Biostatistics: AdvancedⅡ	1								高橋 邦彦 Kunihiko Takahashi																																																																													
62	031919	31-3083	臨床試験方法論基礎	Clinical Trial Methodology: Basic	1								平川 寛弘 Akihiro Hirakawa																																																																													
63	031920	31-3084	臨床試験方法論応用	Clinical Trial Methodology: Advanced	1								平川 寛弘 Akihiro Hirakawa																																																																													
64	031921	31-3085	口腔疫学基礎	Oral epidemiology: Basic	1								相田 潤 Jun Aida																																																																													
65	031922	31-3086	疫学応用	Epidemiology: Advanced	1								相田 潤 Jun Aida																																																																													
66	031923	31-3087	臨床疫学解析演習 (*4)	Statistical Analysis of Clinical Data	1	臨床疫学プログラムの学生に限る Only for the students in Clinical Epidemiology Program						藤原 武男 Takeo Fujiwara																																																																														
67 MPH	031880	31-3302	疫学Ⅰ (*1) EpidemiologyⅠ (*1)	EpidemiologyⅠ (*1)	2	選択科目 Electives	選択科目 Electives	選択科目 Electives	選択科目 Electives	選択科目 Electives	選択科目 Electives	選択科目 Electives	◎ 野波 伸敏 Nobutoshi Nawa																																																																													
68 MPH	031881	31-3303	疫学Ⅱ EpidemiologyⅡ	EpidemiologyⅡ	2								相田 潤 Jun Aida																																																																													
69 MPH	031882	31-3304	生物統計Ⅰ (*1) BiostatisticsⅠ (*1)	BiostatisticsⅠ (*1)	2								◎ 高橋 邦彦 Kunihiko Takahashi																																																																													
70 MPH	031883	31-3305	生物統計Ⅱ BiostatisticsⅡ	BiostatisticsⅡ	2								■ 藤原 武男 Takeo Fujiwara																																																																													
71 MPH	031884	31-3306	基礎医学概論 Public Health Biology	Public Health Biology	2								■ 藤原 武男 Takeo Fujiwara																																																																													
72 MPH	031885	31-3307	医療システム Health System and Management	Health System and Management	2								◎ 藤原 武男 Takeo Fujiwara																																																																													
73 MPH	031886	31-3308	プラネタリーヘルス Planetary Health	Planetary Health	2								◎ 中村 桂子 Keiko Nakamura																																																																													
74 MPH	031887	31-3309	グローバルヘルス Global Health	Global Health	4								◎ 藤原 武男 Takeo Fujiwara																																																																													
75 MPH	031888	31-3310	母子保健学 Maternal and Child Health	Maternal and Child Health	2								■ 藤原 武男 Takeo Fujiwara																																																																													
76 MPH	031889	31-3311	医療ビジネス論 Healthcare Business	Healthcare Business	2								■ 藤原 武男 Takeo Fujiwara																																																																													
77 MPH	031890	31-3312	行動科学 Behavioral Sciences	Behavioral Sciences	2								◎ 森田 彩子 Ayako Morita																																																																													
78 MPH	031891	31-3313	環境保健学 Environmental Health (2024年度休講)	Environmental Health (Not offered in FY2024)	2								◎ 藤原 武男 Takeo Fujiwara																																																																													
79 MPH	031044	31-3300	課題研究Ⅰ Public Health PracticeⅠ	Public Health PracticeⅠ	6								△ 選択科目 Electives	△ 選択科目 Electives	△ 選択科目 Electives	△ 選択科目 Electives	△ 選択科目 Electives	△ 選択科目 Electives	◎ 指導教員 Supervisor																																																																							
80 MPH	031045	31-3301	課題研究Ⅱ Public Health PracticeⅡ	Public Health PracticeⅡ	6	◎ 指導教員 Supervisor																																																																																				
81 GOC	031899	31-3069	人類遺伝学 (*2) (2024年度休講)	Human Genetics (*2) (Not offered in FY2024)	2	※選択科目に指定する 科目を履修し修得する Not offered	吉田 雅幸 Masayuki Yoshida																																																																																			
82 GOC	031900	31-3070	臨床遺伝学 (*2) (2024年度休講)	Clinical Genetics (*2) (Not offered in FY2024)	2	※選択科目に指定する 科目を履修し修得する Not offered	吉田 雅幸 Masayuki Yoshida																																																																																			
83 GOC	031911	31-3076	遺伝カウンセリング学 (*2) (2024年度休講)	Genetic Counseling (*2) (Not offered in FY2024)	3	※選択科目に指定する 科目を履修し修得する Not offered	吉田 雅幸 Masayuki Yoshida																																																																																			
84 GOC	031902	31-3072	遺伝カウンセリング実習 (*2)	Genetic Counseling Practice (*2)	6	※選択科目に指定する 科目を履修し修得する Not offered	吉田 雅幸 Masayuki Yoshida																																																																																			
85 GOC	031903	31-3073	研究倫理演習 (*2)	Research Ethics Practice (*2)	1	※選択科目に指定する 科目を履修し修得する Not offered	吉田 雅幸 Masayuki Yoshida																																																																																			
86	031912	31-3077 (Every Fall)	生命理工学概論 Introduction to Biomedical Sciences and Engineering	生命理工学概論 Introduction to Biomedical Sciences and Engineering	2	△ 選択科目 Electives	△ 選択科目 Electives	△ 選択科目 Electives	△ 選択科目 Electives	△ 選択科目 Electives	△ 選択科目 Electives	△ 選択科目 Electives							野近 弘之 Hiroyuki Kagochika																																																																							
87	031907	31-3103	医歯理工学先端研究特論 (*3) Special Lectures for Advanced Research on Life Science and Technology	医歯理工学先端研究特論 (*3) Special Lectures for Advanced Research on Life Science and Technology	1														△ 選択科目 Electives	△ 選択科目 Electives	△ 選択科目 Electives	△ 選択科目 Electives	△ 選択科目 Electives	△ 選択科目 Electives	△ 選択科目 Electives	医歯学部総合研究科教育委員会 修士課程教育担当委員																																																																
88	031852	31-3260 (Fall/2024)	免疫学 Immunology	免疫学 Immunology	2																					△ 選択科目 Electives	△ 選択科目 Electives	△ 選択科目 Electives	△ 選択科目 Electives	△ 選択科目 Electives	△ 選択科目 Electives	△ 選択科目 Electives	瀬川 勝博 Katsunori Segawa																																																									
89	031853	31-3262 (Fall/2025)	発生・再生科学 Developmental and Regenerative Bioscience	発生・再生科学 Developmental and Regenerative Bioscience	2																												△ 選択科目 Electives	△ 選択科目 Electives	△ 選択科目 Electives	△ 選択科目 Electives	△ 選択科目 Electives	△ 選択科目 Electives	△ 選択科目 Electives	仁科 博史 Hirosaki Nishina																																																		
90	031851	31-3259 (Fall/2024)	神経疾患特論 Introduction to Medical Neurosciences	神経疾患特論 Introduction to Medical Neurosciences	2																																			△ 選択科目 Electives	△ 選択科目 Electives	△ 選択科目 Electives	△ 選択科目 Electives	△ 選択科目 Electives	△ 選択科目 Electives	△ 選択科目 Electives	伊崎 透樹 Itsuki Ajioka																																											
91	031914	31-3278 (Fall/2025)	疾患オミックス情報学特論 Disease OMICS Informatics	疾患オミックス情報学特論 Disease OMICS Informatics	1																																										△ 選択科目 Electives	△ 選択科目 Electives	△ 選択科目 Electives	△ 選択科目 Electives	△ 選択科目 Electives	△ 選択科目 Electives	△ 選択科目 Electives	二階堂 晃 Itoshi Mikado																																				
92	031854	31-3263 (Fall/2024)	機能分子化学 Introduction to Chemistry and Biology of Biofunctional Molecules	機能分子化学 Introduction to Chemistry and Biology of Biofunctional Molecules	2								△ 選択科目 Electives	△ 選択科目 Electives	△ 選択科目 Electives	△ 選択科目 Electives	△ 選択科目 Electives	△ 選択科目 Electives																																				△ 選択科目 Electives	玉村 啓和 Hirokazu Tamamura																																			
93	031855	31-3264 (Fall/2025)	ケミカルバイオロジー特論 Chemical Biology	ケミカルバイオロジー特論 Chemical Biology	2																																																		△ 選択科目 Electives	△ 選択科目 Electives	△ 選択科目 Electives	△ 選択科目 Electives	△ 選択科目 Electives	△ 選択科目 Electives	△ 選択科目 Electives	野近 弘之 Hiroyuki Kagochika																												
94	031857	31-3266 (Fall/2025)	分子構造学特論 Special Lectures on Molecular Structures	分子構造学特論 Special Lectures on Molecular Structures	2																																																									△ 選択科目 Electives	△ 選択科目 Electives	△ 選択科目 Electives	△ 選択科目 Electives	△ 選択科目 Electives	△ 選択科目 Electives	△ 選択科目 Electives	伊藤 暢聡 Nobutoshi Ito																					
95	031858	31-3267 (Fall/2025)	生体材料学 Advanced Biomaterials Science	生体材料学 Advanced Biomaterials Science	2																																																																△ 選択科目 Electives	△ 選択科目 Electives	△ 選択科目 Electives	△ 選択科目 Electives	△ 選択科目 Electives	△ 選択科目 Electives	△ 選択科目 Electives	川下 将一 Masakazu Kawashita														
96	031898	31-3036E (Fall/2025)	応用生体材料学 Applied Biomaterials	応用生体材料学 Applied Biomaterials	2																																																																							△ 選択科目 Electives	△ 選択科目 Electives	△ 選択科目 Electives	△ 選択科目 Electives	△ 選択科目 Electives	△ 選択科目 Electives	△ 選択科目 Electives	松元 亮 Akira Matsumoto							
97	031036E	31-3065 (Every Fall)	バイオメディカルデバイス理工学Ⅱ Biomedical Device Science and EngineeringⅡ	バイオメディカルデバイス理工学Ⅱ Biomedical Device Science and EngineeringⅡ	1																																																																														△ 選択科目 Electives	△ 選択科目 Electives	△ 選択科目 Electives	△ 選択科目 Electives	△ 選択科目 Electives	△ 選択科目 Electives	△ 選択科目 Electives	三林 浩二 Koichi Mitabayashi
98	031038E	31-3066 (Every Fall)	バイオメディカルシステム理工学Ⅱ Biomedical System Science and EngineeringⅡ	バイオメディカルシステム理工学Ⅱ Biomedical System Science and EngineeringⅡ	1																																																																																					△ 選択科目 Electives
99	031861	31-3270 (Every Fall)	トランスレーショナルリサーチ特論 Translational Research (Not Offered in FY2024)	Translational Research (Not offered in FY2024)	2	△ 選択科目 Electives	△ 選択科目 Electives	△ 選択科目 Electives	△ 選択科目 Electives	△ 選択科目 Electives	△ 選択科目 Electives	△ 選択科目 Electives																																																																														

2024年度開設科目及び修得単位一覧表
FY2024 List of Courses and Units

No.	時間割コード Class Code	科目コード Course Code (00科目コードと開 講・2019年度から)	科目名	Course Title	単位数 Unit(s)	医科学 Medical Science	歯科学 Dental Science	口腔保健学 Oral Health Care Science	理学 Science	工学 Engineering	保健学 Medical Laboratory Science	グローバル健康医学 Public Health in Global Health	科目責任者 Instructor
100 MMA	031601	31-4011	医療政策概論 (*2)	Health Care System	1	選択科目 Electives (10単位まで履修可能 Up to 10 units)							MMAシラバス参照
101 MMA	031602	31-4012	医療社会政策論	Health Care Policy	1								MMAシラバス参照
102 MMA	031603	31-4013	世界の医療制度	Health Care System in foreign Countries	1								MMAシラバス参照
103 MMA	031604	31-4014	医療保険論	Health Insurance Policy	2								MMAシラバス参照
104 MMA	031606	31-4016	医療政策各論	Health Care Plan	2 +								MMAシラバス参照
105 MMA	031607	31-4017	医療産業論	Health Care Industry	2								MMAシラバス参照
106 MMA	031608	31-4018	医療経済論	Health Economics	2								MMAシラバス参照
107 MMA	031628	31-4019	先端医療技術・産学連携	Medical Research and Development・Academia-Industry	1								MMAシラバス参照
108 MMA	031610	31-4022	医療機関リスク管理	Risk Management in Medical Institutions	1								MMAシラバス参照
109 MMA	031611	31-4023	医療のTQM	Total Quality Management in Health Care	1								MMAシラバス参照
110 MMA	031612	31-4024	医療機能評価	Evaluation of quality and reliability of health care system	1								MMAシラバス参照
111 MMA	031638	31-4025	ポストコロナ社会における感染症対策 (2024年度休講)	Infectious disease control in the post-Covid-19 society (Not offered in FY2024)	1								MMAシラバス参照
112 MMA	031613	31-4031	医療制度と法	Health Care System and Law	1								MMAシラバス参照
113 MMA	031614	31-4032	医事紛争と法	Medical Disputes and the Law	1								MMAシラバス参照
114 MMA	031615	31-4033	生命倫理と法	Bioethics and Law	1								MMAシラバス参照
115 MMA	031617	31-4042	診療情報管理学	Health Information Management	1								MMAシラバス参照
116 MMA	031618	31-4043	IT時代の医療診断システムとセキュリティー	Medical Diagnosis and Information Security in IT Era	1								MMAシラバス参照
117 MMA	031619	31-4051	医療思想史	History of Medical Thoughts	1								MMAシラバス参照
118 MMA	031620	31-4052	世界の文化と医療	Medical Systems of the World from Cultural Perspective	1								MMAシラバス参照
119 MMA	031621	31-4053	世界の宗教と死生観	World Religion and the View of Life and Death	1								MMAシラバス参照
120 MMA	031622	31-4061	病院設計・病院設備	Design of Medical Facilities and Services	1								MMAシラバス参照
121 MMA	031623	31-4062	衛生工学・汚染管理	Health Engineering and Contamination Control	1								MMAシラバス参照
122 MMA	031640	31-4104	医療とリーダーシップ	Leadership in Health Care Services	1								MMAシラバス参照
123 MMA	031624	31-4071	戦略と組織	Business Strategy and Organization	1								MMAシラバス参照
124 MMA	031625	31-4072	財務・会計	Finance / Accounting	1								MMAシラバス参照
125 MMA	031626	31-4073	医療の人間工学	Ergonomics for Health Care	1								MMAシラバス参照
126 MMA	031627	31-4081	人的資源管理 (2024年度休講)	Human Resource Management (Not offered in FY2024)	1								MMAシラバス参照
127 MMA	031630	31-4091	医療とコミュニケーション (*2)	Communication in Medical Discourse	1								MMAシラバス参照
128 MMA	031633	31-4101	臨床研究・治験	Clinical Research・Clinical Trial	1								MMAシラバス参照
129 MMA	031637	31-4103	DPCデータ分析概論	DPC data analytics	1								MMAシラバス参照

No. 67-78及びNo. 86-99は完全英語講義

Courses from No. 67 to 78 and No. 86 to 99 are held only in English.

- ◎ : 必修科目 (目指す学位により異なる。)
: Core Courses (Differ based on the desired degree)
○ : 口腔保健学の学位を目指す学生は、「Oa: 病理病態学と口腔保健臨床実習」もしくは「Ob: 口腔保健工学特論」を必ず履修すること。
: Students who are trying to obtain the degree on Oral Health Care Science must take "Oa: "Pathology" AND "Oral Health Care Clinical Training" or "Ob: "Oral Health Engineering"".
☆ : 工学の学位を目指す学生は、9科目15単位の中から、4単位以上必ず履修すること。
: Students who are trying to obtain degree on Engineering must take 4 units or more from the nine courses (15 units)
■ : グローバルヘルスリーダー養成 (MPH) コースの学生は、5科目10単位の中から、必ず2単位以上履修すること。(医師、歯科医師の経験の無い学生は、基礎医学概論が必修。)
: Students in the MPH Course must take 2 units or more from the five courses (10 units).
(Students without clinical experience in medicine or dentistry must take Public Health Biology (3306))
(*)1 : 先制医療学コースの学生は必ず履修すること。
: Students in Medical Sciences Program for Preemptive Medicine must take the courses with "s1"
(*)2 : 先進倫理医科学分野に所属する遠征カウンセリングコースの学生は必ず受講すること。
: Particular students in Department of Life Sciences and Bioethics need to take the courses with "s2"
▲ : 10月入学者必修科目 (英語での開講科目)
△ : 10月入学者向け開講科目 (英語での開講科目)
★ : 10月入学者のうち工学の学位を希望する学生は、"★"の科目から4単位以上履修すること。(英語での開講科目)
: Students who enrolled in October and trying to obtain the degree on Engineering must take 4 units or more from the courses with "★" (held in English)
(*)3 : 10月入学者は"▲"の秋開講のものを受講すること。
: Students enrolled in October should take the courses with "▲" which are held in Fall semester.
(*)4 : 臨床疫学プログラムの学生のうち、臨床疫学プログラム選択科目より5単位以上単位修得した後に履修可能となる。

4. 修士課程医歯理工保健学専攻授業時間割 Class Schedule

【講義場所】
△：M&Dタワー2階鈴木章夫記念講堂 M&D Tower, 2F, Suzuki Akio Memorial Hall ☆：D棟南4階特別講堂 Building D South, 4F特別講堂 ◇：3号館6階大学院特別講義室 Bldg.3, 6F大学院特別講義室
♣：M&Dタワー4階図書館内情報検索室1 M&D Tower, 4F, Library Information Search Room □：M&Dタワー21階大学院講義室1 M&D Tower, 21F大学院講義室1 ■：1号館7階口腔保健学科第1講義室 Bldg.1, 7F口腔保健学科第1講義室
◆：22号館1階第2会議室 Bldg.22, 1F第2会議室 ◆(8)：22号館8階第3会議室 Bldg.22, 8F第3会議室 ★：2号館3階 Bldg.2, 3F (共2)：M&Dタワー2階共用講義室2 M&D Tower, 2F, 共用講義室2 (G)：M&D Tower, 8F, G-lab
♡：3号館15階大学院講義室2 Bldg.3, 15F大学院講義室2 ♥：M&Dタワー2階共用講義室1 M&D Tower, 2F, 共用講義室1 (AL)：M&Dタワー4階アクティブラーニング教室 M&D Tower, 4F, アクティブラーニング教室 (情1)：M&Dタワー4階 情報検索室1 M&D Tower, 4F, 情報検索室1

月日	曜日	1 8:50-10:20	2 10:30-12:00	3 13:00-14:30	4 14:40-16:10	5 16:20-17:50	6 18:00-19:30	7 19:40-21:10
		先制医療学コース 必須科目	遺伝カウンセリングコース（日程は担当者に要確認）	修士(医歯理工) 修了必須科目	修士(口腔、保健) 修了必須科目	MPH科目	担当部署に要確認	祝日
2024/4/1	月							
4月2日	火							
4月3日	水							
4月4日	木							
4月5日	金							
4月6日	土							
4月7日	日							
4月8日	月	【予定】14：00-15：30 2024年度修士4月入学者 新入生ガイダンス						
4月9日	火	【予定】13：00 2024年度大学院入学式						
4月10日	水	3039：研究倫理・医療倫理学1◇	3013/14：人体/口腔形態学1◇	3013/14：人体/口腔形態学2◇			4011医療政策概論1、2（MMAシラバス参照してください）	
4月11日	木	3031：ケミカルバイオロジー特論1◆	3001：医歯学総合概論1(共2)		3001：医歯学総合概論2(共2)		4011医療政策概論3、4（MMAシラバス参照してください）	
4月12日	金		3001：医歯学総合概論3(共2)	3001：医歯学総合概論4(共2)	3001：医歯学総合概論5(共2)			
4月13日	土							
4月14日	日							
4月15日	月	3002：初期研究研修△/3102：Initial Research Training（for international students）♥ 4/15-4/18(10：00～17：00)					4011医療政策概論5、6（MMAシラバス参照してください）	
4月16日	火	3002：初期研究研修△/3102：Initial Research Training（for international students）♥ 4/15-4/18(10：00～17：00)						
4月17日	水	3002：初期研究研修△/3102：Initial Research Training（for international students）♥ 4/15-4/18(10：00～17：00)					4011医療政策概論7、8（MMAシラバス参照してください）	
4月18日	木	3002：初期研究研修△/3102：Initial Research Training（for international students）♥ 4/15-4/18(10：00～17：00)						
4月19日	金	3016：病理病態学1◇	3016：病理病態学2◇	3001：医歯学総合概論6(共2)	3001：医歯学総合概論7(共2)			
4月20日	土							
4月21日	日							
4月22日	月	3016：病理病態学3◇	3016：病理病態学4◇	3001：医歯学総合概論8(共2)	3001：医歯学総合概論9(共2)			
				3308：Planetary Health 1 (G)				
4月23日	火	3039：研究倫理・医療倫理学2◇	3013/14：人体/口腔形態学3◇	3013/14：人体/口腔形態学4◇				
4月24日	水	3039：研究倫理・医療倫理学3◇	3013/14：人体/口腔形態学5◇	3013/14：人体/口腔形態学6◇	3001：医歯学総合概論10(共2)			
		3308：Planetary Health 2 (G)	3308：Planetary Health 3 (G)	3308：Planetary Health 4 (G)	3308：Planetary Health 5 (G)			
4月25日	木	3031：ケミカルバイオロジー特論2◆	3031：ケミカルバイオロジー特論3◆	3001：医歯学総合概論11(共2)	3001：医歯学総合概論12(共2)			
		3308：Planetary Health 6 (G)	3308：Planetary Health 7 (G)	3308：Planetary Health 8 (G)	3308：Planetary Health 9 (G)			
4月26日	金	3016：病理病態学5◇	3016：病理病態学6◇	3001：医歯学総合概論13(共2)	3001：医歯学総合概論14(共2)	3001：医歯学総合概論15(共2)		
			3308：Planetary Health 10 (G)	3308：Planetary Health 11 (G)	3308：Planetary Health 12 (G)			
4月27日	土							
4月28日	日							
4月29日	月							
4月30日	火	3039：研究倫理・医療倫理学4◇	3013/14：人体/口腔形態学7◇	3013/14：人体/口腔形態学8◇	3078：疾患オミックス情報学特論1□	3078：疾患オミックス情報学特論2□		
		3308：Planetary Health 13 (G)	3308：Planetary Health 14 (G)	3308：Planetary Health 15 (G)	3308：Planetary Health 16 (G)			

↑
時間
↓

4. 修士課程医歯理工保健学専攻授業時間割 Class Schedule

【講義場所】
△：M&Dタワー2階鈴木章夫記念講堂 M&D Tower, 2F, Suzuki Akio Memorial Hall ☆：D棟南4階特別講堂 Building D South, 4F特別講堂 ◇：3号館6階大学院特別講義室 Bldg.3, 6F大学院特別講義室
♣：M&Dタワー4階図書館内情報検索室1 M&D Tower, 4F, Library Information Search Room □：M&Dタワー21階大学院講義室1 M&D Tower, 21F大学院講義室1 ■：1号館7階口腔保健学科第1講義室 Bldg.1, 7F口腔保健学科第1講義室
◆：22号館1階第2会議室 Bldg.22, 1F第2会議室 ◆(8)：22号館8階第3会議室 Bldg.22, 8F第3会議室 ★：2号館3階 Bldg.2, 3F (共2)：M&Dタワー2階共用講義室2 M&D Tower, 2F, 共用講義室2 (G)：M&D Tower, 8F, G-lab
♡：3号館15階大学院講義室2 Bldg.3, 15F大学院講義室2 ♥：M&Dタワー2階共用講義室1 M&D Tower, 2F, 共用講義室1 (AL)：M&Dタワー4階アクティブラーニング教室 M&D Tower, 4F, アクティブラーニング教室 (情1)：M&Dタワー4階 情報検索室1 M&D Tower, 4F, 情報検索室1

月日	曜日	1 8:50-10:20	2 10:30-12:00	3 13:00-14:30	4 14:40-16:10	5 16:20-17:50	6 18:00-19:30	7 19:40-21:10
5月1日	水	3039：研究倫理・医療倫理学5◇		3034：生体材料学1◆	3034：生体材料学2◆			
5月2日	木	3031：ケミカルバイオロジー特論4◆	3031：ケミカルバイオロジー特論5◆	3034：生体材料学3◆	3034：生体材料学4◆		4091：医療とコミュニケーション1、2 (MMAシラバス参照してください)	
					3049：生体検査科学特論Ⅱ1◇	3049：生体検査科学特論Ⅱ2◇		
5月3日	金							
5月4日	土							
5月5日	日							
5月6日	月							
5月7日	火	3039：研究倫理・医療倫理学6◇	3057：ビッグデータ解析学1◇		3078：疾患オミックス情報学特論3□	3078：疾患オミックス情報学特論4□	3080：生物統計学基礎1 (AL)	
							3087：臨床疫学解析演習1 (情1)	
		3306：Public Health Biology 1 (G)	3306：Public Health Biology 2 (G)					
5月8日	水	3039：研究倫理・医療倫理学7◇		3034：生体材料学5◆	3034：生体材料学6◆		3079：疫学基礎1 (AL)	
5月9日	木	3031：ケミカルバイオロジー特論6◆	3031：ケミカルバイオロジー特論7◆	3034：生体材料学7◆	3034：生体材料学8◆	3053：Basic Human Pathology 1◇		
					3049：生体検査科学特論Ⅱ3◇	3049：生体検査科学特論Ⅱ4◇	3087：臨床疫学解析演習2 (情1)	
				3306：Public Health Biology 3 (G)	3306：Public Health Biology 4 (G)		4091：医療とコミュニケーション3、4 (MMAシラバス参照してください)	
5月10日	金	3016：病理病態学7◇	3016：病理病態学8◇	3017：環境社会医歯学1◇	3017：環境社会医歯学2◇			
					3049：生体検査科学特論Ⅱ5◇	3049：生体検査科学特論Ⅱ6◇		
		3306：Public Health Biology 5 (G)	3306：Public Health Biology 6 (G)					
5月11日	土							
5月12日	日							
5月13日	月		3057：ビッグデータ解析学2◇	3020：生化学1◇	3020：生化学2◇			
		3306：Public Health Biology 7		3306：Public Health Biology 8	3306：Public Health Biology 9			
5月14日	火	3039：研究倫理・医療倫理学8◇	3015：人体機能学1◇	3020：生化学3◇	3020：生化学4◇	3078：疾患オミックス情報学特論5□	3080：生物統計学基礎2 (AL)	
							3087：臨床疫学解析演習3 (情1)	
				3306：Public Health Biology 10	3306：Public Health Biology 11			
5月15日	水		3015：人体機能学2◇	3034：生体材料学9◆	3034：生体材料学10◆		3079：疫学基礎2 (AL)	
5月16日	木	3031：ケミカルバイオロジー特論8◆	3031：ケミカルバイオロジー特論9◆	3034：生体材料学11◆	3034：生体材料学12◆		3087：臨床疫学解析演習4 (情1)	
				3053：Basic Human Pathology2◇	3049：生体検査科学特論Ⅱ7◇	3052：保健医療情報学1♡	3052：保健医療情報学2♡	
		3306：Public Health Biology 12 (G)	3306：Public Health Biology 13 (G)	3306：Public Health Biology 14 (G)	3306：Public Health Biology 15 (G)			
5月17日	金	3026：遺伝医学特論1◇	3015：人体機能学3◇	3017：環境社会医歯学3◇	3017：環境社会医歯学4◇			
					3049：生体検査科学特論Ⅱ8◇	3049：生体検査科学特論Ⅱ9◇		
		3306：Public Health Biology 16	3306：Public Health Biology 17					
5月18日	土							
5月19日	日							
5月20日	月	3057：ビッグデータ解析学3◇	3057：ビッグデータ解析学4◇	3020：生化学5◇	3020：生化学6◇	3074：医療データ科学概論1		
5月21日	火		3026：遺伝医学特論2◇	3020：生化学7◇	3020：生化学8◇	3078：疾患オミックス情報学特論6□	3080：生物統計学基礎3 (AL)	
		3043：口腔保健工学特論1★	3043：口腔保健工学特論2★				3087：臨床疫学解析演習5 (情1)	
5月22日	水			3034：生体材料学13◆	3034：生体材料学14◆		3079：疫学基礎3 (AL)	
		3043：口腔保健工学特論3★	3043：口腔保健工学特論4★	3026：遺伝医学特論3◇	3026：遺伝医学特論4◇			
5月23日	木	3031：ケミカルバイオロジー特論10◆	3031：ケミカルバイオロジー特論11◆	3034：生体材料学15◆	3015：人体機能学4◇		3087：臨床疫学解析演習6 (情1)	
			3026：遺伝医学特論5◇					
				3053：Basic Human Pathology3◇	3049：生体検査科学特論Ⅱ10◇	3052：保健医療情報学3♡	3052：保健医療情報学4♡	
5月24日	金			3017：環境社会医歯学5◇	3017：環境社会医歯学6◇	3074：医療データ科学概論2		
5月25日	土							
5月26日	日							
5月27日	月	3057：ビッグデータ解析学5◇	3057：ビッグデータ解析学6◇	3020：生化学9◇	3020：生化学10◇	3074：医療データ科学概論3		
					3053：Basic Human Pathology4◇	3052：保健医療情報学5♡	3052：保健医療情報学6♡	
					3064：バイオメディカルシステム理工学Ⅰ 1◆			
		3304：BiostatisticsⅠ1 (Online Video-WebClass)	3304：BiostatisticsⅠ2 (Online Video-WebClass)					
5月28日	火	3026：遺伝医学特論6◇	3026：遺伝医学特論7◇	3020：生化学11◇	3020：生化学12◇	3078：疾患オミックス情報学特論7□	3080：生物統計学基礎4 (AL)	
		3043：口腔保健工学特論5★	3043：口腔保健工学特論6★				3087：臨床疫学解析演習7 (情1)	
		3304：BiostatisticsⅠ3 (G) (Online Video-WebClass)	3304：BiostatisticsⅠ4 (Online Video-WebClass)					
5月29日	水			3026：遺伝医学特論8◇	3026：遺伝医学特論9◇		3079：疫学基礎4 (AL)	
		3043：口腔保健工学特論7★	3043：口腔保健工学特論8★		3064：バイオメディカルシステム理工学Ⅰ 2◆			
5月30日	木	3031：ケミカルバイオロジー特論12◆	3031：ケミカルバイオロジー特論13◆	3021：薬理学1◇	3021：薬理学2◇		3087：臨床疫学解析演習8 (情1)	
		3025：神経疾患特論1◇	3025：神経疾患特論2◇	3053：Basic Human Pathology5◇	3049：生体検査科学特論Ⅱ11◇	3052：保健医療情報学7♡	3052：保健医療情報学8♡	
		3304：BiostatisticsⅠ5 (Online Video-WebClass)	3304：BiostatisticsⅠ6 (Online Video-WebClass)	3304：BiostatisticsⅠOptional 1 (Online Video-WebClass)	3304：BiostatisticsⅠOptional 2 (Online Video-WebClass)			
5月31日	金	3015：人体機能学5◇		3017：環境社会医歯学7◇	3017：環境社会医歯学8◇	3074：医療データ科学概論4		
					3064：バイオメディカルシステム理工学Ⅰ 3◆	3049：生体検査科学特論Ⅱ12◇		
		3304：BiostatisticsⅠ7 (Online Video-WebClass)	3304：BiostatisticsⅠ8 (Online Video-WebClass)	3304：BiostatisticsⅠOptional 3 (Online Video-WebClass)	3304：BiostatisticsⅠOptional 4 (On-site)			

4. 修士課程医歯理工保健学専攻授業時間割 Class Schedule

【講義場所】
△：M&Dタワー2階鈴木章夫記念講堂 M&D Tower, 2F, Suzuki Akio Memorial Hall ☆：D棟南4階特別講堂 Building D South, 4F特別講堂 ◇：3号館6階大学院特別講義室 Bldg.3, 6F大学院特別講義室
♣：M&Dタワー4階図書館内情報検索室1 M&D Tower, 4F, Library Information Search Room □：M&Dタワー21階大学院講義室1 M&D Tower, 21F大学院講義室1 ■：1号館7階口腔保健学科第1講義室 Bldg.1, 7F口腔保健学科第1講義室
◆：22号館1階第2会議室 Bldg.22, 1F第2会議室 ◆(8)：22号館8階第3会議室 Bldg.22, 8F第3会議室 ★：2号館3階 Bldg.2, 3F (共2)：M&Dタワー2階共用講義室2 M&D Tower, 2F, 共用講義室2 (G)：M&D Tower, 8F, G-lab
♡：3号館15階大学院講義室2 Bldg.3, 15F大学院講義室2 ♥：M&Dタワー2階共用講義室1 M&D Tower, 2F, 共用講義室1 (AL)：M&Dタワー4階アクティブラーニング教室 M&D Tower, 4F, アクティブラーニング教室 (情1)：M&Dタワー4階 情報検索室1 M&D Tower, 4F, 情報検索室1

月日	曜日	1 8:50-10:20	2 10:30-12:00	3 13:00-14:30	4 14:40-16:10	5 16:20-17:50	6 18:00-19:30	7 19:40-21:10
6月1日	土							
6月2日	日							
6月3日	月	3057：ビッグデータ解析学7◇	3057：ビッグデータ解析学8◇	3020：生化学13◇	3020：生化学14◇	3074：医療データ科学概論5		
		3025：神経疾患特論3◇	3025：神経疾患特論4◇			3052：保健医療情報学9♡	3052：保健医療情報学10♡	
		3036：応用生体材料学1◆	3036：応用生体材料学2◆		3064：バイオメディカルシステム理工学Ⅰ 4◆		4091：医療とコミュニケーション5、6（MMAシラバス参照してください）	
		3304：BiostatisticsⅠ9 (Online Video-WebClass)	3304：BiostatisticsⅠ10 (Online Video-WebClass)	3304：BiostatisticsⅠOptional 5 (Online Video-WebClass)	3304：BiostatisticsⅠOptional 6 (Online Video-WebClass)			
6月4日	火	3026：遺伝医学特論10◇		3020：生化学15◇		3078：疾患オミックス情報学特論8□	3080：生物統計学基礎5(AL)	
		3043：口腔保健工学特論9★	3043：口腔保健工学特論10★					
		3304：BiostatisticsⅠ11 (Online Video-WebClass)	3304：BiostatisticsⅠ12 (Online Video-WebClass)	3304：BiostatisticsⅠOptional 7(Online Video-WebClass)	3304：BiostatisticsⅠOptional 8 (Online Video-WebClass)			
6月5日	水			3026：遺伝医学特論11◇	3026：遺伝医学特論12◇	3015：人体機能学6◇	3079：疫学基礎5(AL)	
		3043：口腔保健工学特論11★	3043：口腔保健工学特論12★		3064：バイオメディカルシステム理工学Ⅰ 5◆			
6月6日	木	3031：ケミカルバイオロジー特論14◆	3031：ケミカルバイオロジー特論15◆		3053：Basic Human Pathology6◇	3052：保健医療情報学11♡	3052：保健医療情報学12♡	
		3025：神経疾患特論5◇	3025：神経疾患特論6◇	3021：薬理学3◇	3021：薬理学4◇			
		3304：BiostatisticsⅠ13 (Online Video-WebClass)	3304：BiostatisticsⅠ14 (Online Video-WebClass)	3304：BiostatisticsⅠOptional 9 (Online Video-WebClass)	3304：BiostatisticsⅠOptional 10 (On-site)			
6月7日	金	3015：人体機能学7◇	3015：人体機能学8◇		3064：バイオメディカルシステム理工学Ⅰ 6◆	3074：医療データ科学概論6		
				3021：薬理学5◇	3021：薬理学6◇	3049：生体検査科学特論Ⅱ13◇		
		3304：BiostatisticsⅠ15 (Online Video-WebClass)	3304：BiostatisticsⅠ16 (Online Video-WebClass)					
6月8日	土							
6月9日	日							
6月10日	月	3025：神経疾患特論7◇	3025：神経疾患特論8◇		3064：バイオメディカルシステム理工学Ⅰ 7◆	3074：医療データ科学概論7		
		3036：応用生体材料学3◆	3036：応用生体材料学4◆	3026：遺伝医学特論13◇	3026：遺伝医学特論14◇			
6月11日	火			3024：細胞生物学特論1◇	3024：細胞生物学特論2◇		3080：生物統計学基礎6(AL)	
		3043：口腔保健工学特論13★	3043：口腔保健工学特論14★					
6月12日	水	3043：口腔保健工学特論15★		3026：遺伝医学特論15◇	3064：バイオメディカルシステム理工学Ⅰ 8◆		3079：疫学基礎6(AL)	
6月13日	木	3025：神経疾患特論9◇	3025：神経疾患特論10◇	3021：薬理学7◇	3021：薬理学8◇			
		3036：応用生体材料学5◆	3036：応用生体材料学6◆	3053：Basic Human Pathology7◇	3049：生体検査科学特論Ⅱ14◇	3052：保健医療情報学13♡	3052：保健医療情報学14♡	
6月14日	金			3021：薬理学9◇	3021：薬理学10◇	3049：生体検査科学特論Ⅱ15◇		
		3036：応用生体材料学7◆	3036：応用生体材料学8◆	3063：バイオメディカルデバイス理工学Ⅰ 1◆	3063：バイオメディカルデバイス理工学Ⅰ 2◆	3074：医療データ科学概論8		
6月15日	土							
6月16日	日							
6月17日	月	3025：神経疾患特論11◇	3025：神経疾患特論12◇	3024：細胞生物学特論3◇	3024：細胞生物学特論4◇			
		3036：応用生体材料学9◆	3036：応用生体材料学10◆	3063：バイオメディカルデバイス理工学Ⅰ 3◆	3063：バイオメディカルデバイス理工学Ⅰ 4◆			
6月18日	火			3024：細胞生物学特論5◇	3024：細胞生物学特論6◇		3080：生物統計学基礎7(AL)	
				3063：バイオメディカルデバイス理工学Ⅰ 5◆	3063：バイオメディカルデバイス理工学Ⅰ 6◆			
6月19日	水						3079：疫学基礎7(AL)	
6月20日	木	3025：神経疾患特論13◇	3025：神経疾患特論14◇	3021：薬理学11◇	3021：薬理学12◇			
		3036：応用生体材料学11◆	3036：応用生体材料学12◆	3053：Basic Human Pathology8◇		3052：保健医療情報学15♡	3052：保健医療情報学16♡	
6月21日	金	3036：応用生体材料学13◆	3036：応用生体材料学14◆	3063：バイオメディカルデバイス理工学Ⅰ 7◆	3063：バイオメディカルデバイス理工学Ⅰ 8◆			
			3021：薬理学13◇	3021：薬理学14◇	3021：薬理学15◇			
6月22日	土							
6月23日	日							
6月24日	月	3036：応用生体材料学15◆	3025：神経疾患特論15◇	3024：細胞生物学特論7◇	3024：細胞生物学特論8◇			
		3302：EpidemiologyⅠ1 (G)	3302：EpidemiologyⅠ2 (G)	3302：EpidemiologyⅠ3 (G)	3302：EpidemiologyⅠ4 (G)			
6月25日	火	3019：病院実習(8：50～17：50) ※2024.6.25-2024.7.2					3080：生物統計学基礎8(AL)	
		3302：EpidemiologyⅠ5 (G)	3302：EpidemiologyⅠ6 (G)	3302：EpidemiologyⅠ7 (G)	3302：EpidemiologyⅠ8 (G)			
6月26日	水	3019：病院実習(8：50～17：50) ※2024.6.25-2024.7.2					3079：疫学基礎8(AL)	
6月27日	木	3019：病院実習(8：50～17：50) ※2024.6.25-2024.7.2					3083：臨床試験方法論基礎1(AL)	
		3302：EpidemiologyⅠ9 (G)	3302：EpidemiologyⅠ10 (G)	3302：EpidemiologyⅠ11 (G)	3302：EpidemiologyⅠ12 (G)			
6月28日	金	3019：病院実習(8：50～17：50) ※2024.6.25-2024.7.2						
		3302：EpidemiologyⅠ13 (G)	3302：EpidemiologyⅠ14 (G)	3302：EpidemiologyⅠ15 (G)	3302：EpidemiologyⅠ16 (G)			
6月29日	土							
6月30日	日							

4. 修士課程医歯理工保健学専攻授業時間割 Class Schedule

【講義場所】
△：M&Dタワー2階鈴木章夫記念講堂 M&D Tower, 2F, Suzuki Akio Memorial Hall ☆：D棟南4階特別講堂 Building D South, 4F特別講堂 ◇：3号館6階大学院特別講義室 Bldg.3, 6F大学院特別講義室
♣：M&Dタワー4階図書館内情報検索室1 M&D Tower, 4F, Library Information Search Room □：M&Dタワー21階大学院講義室1 M&D Tower, 21F大学院講義室1 ■：1号館7階口腔保健学科第1講義室 Bldg.1, 7F口腔保健学科第1講義室
◆：22号館1階第2会議室 Bldg.22, 1F第2会議室 ◆(8)：22号館8階第3会議室 Bldg.22, 8F第3会議室 ★：2号館3階 Bldg.2, 3F (共2)：M&Dタワー2階共用講義室2 M&D Tower, 2F, 共用講義室2 (G)：M&D Tower, 8F, G-lab
♡：3号館15階大学院講義室2 Bldg.3, 15F大学院講義室2 ♥：M&Dタワー2階共用講義室1 M&D Tower, 2F, 共用講義室1 (AL)：M&Dタワー4階アクティブラーニング教室 M&D Tower, 4F, アクティブラーニング教室 (情1)：M&Dタワー4階 情報検索室1 M&D Tower, 4F, 情報検索室1

月日	曜日	1 8:50-10:20	2 10:30-12:00	3 13:00-14:30	4 14:40-16:10	5 16:20-17:50	6 18:00-19:30	7 19:40-21:10
7月1日	月	3019：病院実習(8：50～17：50) ※2024.6.25-2024.7.2					3085：口腔疫学基礎1(AL)	
							4091：医療とコミュニケーション7、8 (MMAシラバス参照してください)	
7月2日	火	3019：病院実習(8：50～17：50) ※2024.6.25-2024.7.2					3083：臨床試験方法論基礎2(AL)	
7月3日	水	3058：先制医療学実習 ※2024.7.3-2024.7.24 (詳細はシラバスの科目ページ参照)					3085：口腔疫学基礎2(AL)	
7月4日	木	3058：先制医療学実習 ※2024.7.3-2024.7.24 (詳細はシラバスの科目ページ参照)					3083：臨床試験方法論基礎3(AL)	
7月5日	金	3058：先制医療学実習 ※2024.7.3-2024.7.24 (詳細はシラバスの科目ページ参照)						
7月6日	土							
7月7日	日							
7月8日	月	3058：先制医療学実習 ※2024.7.3-2024.7.24 (詳細はシラバスの科目ページ参照)					3085：口腔疫学基礎3(AL)	
		3311：Healthcare Business 1 (G)	3311：Healthcare Business 2 (G)	3311：Healthcare Business 3 (G)	3311：Healthcare Business 4 (G)			
7月9日	火	3058：先制医療学実習 ※2024.7.3-2024.7.23 (詳細はシラバスの科目ページ参照)					3083：臨床試験方法論基礎4(AL)	
		3311：Healthcare Business 5 (G)	3311：Healthcare Business 6 (G)	3311：Healthcare Business 7 (G)	3311：Healthcare Business 8 (G)			
7月10日	水	3058：先制医療学実習 ※2024.7.3-2024.7.24 (詳細はシラバスの科目ページ参照)					3085：口腔疫学基礎4(AL)	
7月11日	木	3058：先制医療学実習 ※2024.7.3-2024.7.24 (詳細はシラバスの科目ページ参照)					3083：臨床試験方法論基礎5(AL)	
		3311：Healthcare Business 9 (G)	3311：Healthcare Business 1 0 (G)	3311：Healthcare Business 1 1 (G)	3311：Healthcare Business 1 2 (G)			
7月12日	金	3058：先制医療学実習 ※2024.7.3-2024.7.24 (詳細はシラバスの科目ページ参照)						
		3311：Healthcare Business 1 3 (G)	3311：Healthcare Business 1 4 (G)	3311：Healthcare Business 1 5 (G)	3311：Healthcare Business 1 6 (G)			
7月13日	土							
7月14日	日							
7月15日	月							
7月16日	火	定期試験 (7/16-7/22)						
7月17日	水							
7月18日	木							
7月19日	金							
7月20日	土							
7月21日	日							
7月22日	月	定期試験 (7/16-7/22)					3085：口腔疫学基礎5(AL)	
7月23日	火	3058：先制医療学実習 ※2024.7.3-2024.7.24 (詳細はシラバスの科目ページ参照)					3083：臨床試験方法論基礎6(AL)	
7月24日	水	3058：先制医療学実習 ※2024.7.3-2024.7.24 (詳細はシラバスの科目ページ参照)					3085：口腔疫学基礎6(AL)	
7月25日	木	3059：先制医療学基礎実習 ※2024.7.25-2024.8.1 (詳細はシラバスの科目ページ参照)					3083：臨床試験方法論基礎7(AL)	
7月26日	金	3059：先制医療学基礎実習 ※2024.7.25-2024.8.1 (詳細はシラバスの科目ページ参照)						
7月27日	土							
7月28日	日							
7月29日	月	3059：先制医療学基礎実習 ※2024.7.25-2024.8.1 (詳細はシラバスの科目ページ参照)					3085：口腔疫学基礎7(AL)	
7月30日	火	3059：先制医療学基礎実習 ※2024.7.25-2024.8.1 (詳細はシラバスの科目ページ参照)					3083：臨床試験方法論基礎8(AL)	
7月31日	水	3059：先制医療学基礎実習 ※2024.7.25-2024.8.1 (詳細はシラバスの科目ページ参照)					3085：口腔疫学基礎8(AL)	
				3051：生体検査科学セミナーⅠ 1 回目 (13：00～19：00) ♥ or 保健衛生学科講義室1				

4. 修士課程医歯理工保健学専攻授業時間割 Class Schedule

【講義場所】
△：M&Dタワー2階鈴木章夫記念講堂 M&D Tower, 2F, Suzuki Akio Memorial Hall ☆：D棟南4階特別講堂 Building D South, 4F特別講堂 ◇：3号館6階大学院特別講義室 Bldg.3, 6F大学院特別講義室
♣：M&Dタワー4階図書館内情報検索室1 M&D Tower, 4F, Library Information Search Room □：M&Dタワー21階大学院講義室1 M&D Tower, 21F大学院講義室1 ■：1号館7階口腔保健学科第1講義室 Bldg.1, 7F口腔保健学科第1講義室
◆：22号館1階第2会議室 Bldg.22, 1F第2会議室 ◆(8)：22号館8階第3会議室 Bldg.22, 8F第3会議室 ★：2号館3階 Bldg.2, 3F (共2)：M&Dタワー2階共用講義室2 M&D Tower, 2F, 共用講義室2 (G)：M&D Tower, 8F, G-lab
♡：3号館15階大学院講義室2 Bldg.3, 15F大学院講義室2 ♥：M&Dタワー2階共用講義室1 M&D Tower, 2F, 共用講義室1 (AL)：M&Dタワー4階アクティブラーニング教室 M&D Tower, 4F, アクティブラーニング教室 (情1)：M&Dタワー4階 情報検索室1 M&D Tower, 4F, 情報検索室1

月日	曜日	1 8:50-10:20	2 10:30-12:00	3 13:00-14:30	4 14:40-16:10	5 16:20-17:50	6 18:00-19:30	7 19:40-21:10
8月1日	木	3059：先制医学基礎実習 ※2024.7.25-2024.8.1（詳細はシラバスの科目ページ参照）						
		8～9月 3018：口腔保健臨地実習（詳細はシラバス参照）						
8月2日	金							
8月3日	土							
8月4日	日							
8月5日	月							
8月6日	火							
8月7日	水							
8月8日	木							
8月9日	金	夏季一斉休業期間						
8月10日	土	夏季一斉休業期間						
8月11日	日	夏季一斉休業期間						
8月12日	月	夏季一斉休業期間						
8月13日	火	夏季一斉休業期間						
8月14日	水							
8月15日	木							
8月16日	金							
8月17日	土							
8月18日	日							
8月19日	月	3309：Global Health 1 (On-demand)	3309：Global Health 2 (On-demand)	3309：Global Health 3 (G)	3309：Global Health 4 (G)			
8月20日	火	3309：Global Health 5 (On-demand)	3309：Global Health 6 (On-demand)	3309：Global Health 7 (G)	3309：Global Health 8 (G)			
8月21日	水	3309：Global Health 9 (G)	3309：Global Health 10 (G)	3309：Global Health 11 (G)	3309：Global Health 12 (G)			
8月22日	木	3309：Global Health 13 (G)	3309：Global Health 14 (G)	3309：Global Health 15 (G)	3309：Global Health 16 (G)			
8月23日	金							
8月24日	土							
8月25日	日							
8月26日	月	3309：Global Health 17 (G)	3309：Global Health 18 (G)	3309：Global Health 19 (G)	3309：Global Health 20 (G)			
8月27日	火	3309：Global Health 21 (G)	3309：Global Health 22 (G)	3309：Global Health 23 (G)	3309：Global Health 24 (G)			
8月28日	水							
8月29日	木	3309：Global Health 25 (G)	3309：Global Health 26 (G)	3309：Global Health 27 (G)	3309：Global Health 28 (G)			
8月30日	金	3309：Global Health 29 (G)	3309：Global Health 30 (G)	3309：Global Health 31 (G)	3309：Global Health 32 (G)			
8月31日	土							
9月1日	日							
9月2日	月							
9月3日	火							
9月4日	水							
9月5日	木							
9月6日	金							
9月7日	土							
9月8日	日							
9月9日	月							
9月10日	火							
9月11日	水							
9月12日	木							
9月13日	金							
9月14日	土							
9月15日	日							
9月16日	月							
9月17日	火						3082：生物統計学応用Ⅱ1 (AL)	
9月18日	水						3081：生物統計学応用Ⅰ1 (AL)	
9月19日	木						3084：臨床試験方法論応用1 (AL)	
9月20日	金							
9月21日	土							
9月22日	日							
9月23日	月							
9月24日	火						3082：生物統計学応用Ⅱ2 (AL)	
9月25日	水			3051：生体検査科学セミナーⅠ 2回目（13：00～17：00）♥ or保健衛生学科講義室1			3081：生物統計学応用Ⅰ2 (AL)	
9月26日	木						3084：臨床試験方法論応用2 (AL)	
9月27日	金							
9月28日	土							
9月29日	日							
9月30日	月							

4. 修士課程医歯理工保健学専攻授業時間割 Class Schedule

【講義場所】
△：M&Dタワー2階鈴木章夫記念講堂 M&D Tower, 2F, Suzuki Akio Memorial Hall ☆：D棟南4階特別講堂 Building D South, 4F特別講義 ◇：3号館6階大学院特別講義室 Bldg.3, 6F大学院特別講義室
♣：M&Dタワー4階図書館内情報検索室1 M&D Tower, 4F, Library Information Search Room □：M&Dタワー21階大学院講義室1 M&D Tower, 21F大学院講義室1 ■：1号館7階口腔保健学科第1講義室 Bldg.1, 7F口腔保健学科第1講義室
◆：22号館1階第2会議室 Bldg.22, 1F第2会議室 ◆(8)：22号館8階第3会議室 Bldg.22, 8F第3会議室 ★：2号館3階 Bldg.2, 3F (共2)：M&Dタワー2階共用講義室2 M&D Tower, 2F, 共用講義室2 (G)：M&D Tower, 8F, G-lab
♡：3号館15階大学院講義室2 Bldg.3, 15F大学院講義室2 ♥：M&Dタワー2階共用講義室1 M&D Tower, 2F, 共用講義室1 (AL)：M&Dタワー4階アクティブラーニング教室 M&D Tower, 4F, アクティブラーニング教室 (情1)：M&Dタワー4階 情報検索室1 M&D Tower, 4F, 情報検索室1

月日	曜日	1 8:50-10:20	2 10:30-12:00	3 13:00-14:30	4 14:40-16:10	5 16:20-17:50	6 18:00-19:30	7 19:40-21:10	←10月入学者 Registration Period for Students Enrolled in October → 履修登録受付期間→
10月1日	火			3022：免疫学1◇	3022：免疫学2◇		3037：医歯薬産業技術特論1◆		
10月2日	水	3023：発生・再生科学1□	3023：発生・再生科学2□				3082：生物統計学応用Ⅱ3(AL)		
10月3日	木	3027：口腔保健福祉学1■	3027：口腔保健福祉学2■				3081：生物統計学応用Ⅲ3(AL)		
		3060：生体検査科学特論Ⅰ1◇	3060：生体検査科学特論Ⅰ2◇				3084：臨床試験方法論応用3(AL)		
10月4日	金	3023：発生・再生科学3□	3023：発生・再生科学4□	3075：時間・空間の分子生命科学1	3075：時間・空間の分子生命科学2		3086：疫学応用1(AL)		
				3022：免疫学3◇	3022：免疫学4◇				
10月5日	土								
10月6日	日								
10月7日	月	3023：発生・再生科学5□	3023：発生・再生科学6□	3033：分子構造学特論1□	3033：分子構造学特論2□				
		3305：BiostatisticsⅡ1♣(Library Information Search Rm. 1, M&D Tower 4F)	3305：BiostatisticsⅡ2♣(Library Information Search Rm. 1, M&D Tower 4F)	3305：BiostatisticsⅡ3♣(Library Information Search Rm. 1, M&D Tower 4F)	3305：BiostatisticsⅡ4♣(Library Information Search Rm. 1, M&D Tower 4F)				
10月8日	火	3027：口腔保健福祉学3■	3027：口腔保健福祉学4■	3033：分子構造学特論3□	3033：分子構造学特論4□		3037：医歯薬産業技術特論2◆		
		3060：生体検査科学特論Ⅰ3◇	3060：生体検査科学特論Ⅰ4◇	3022：免疫学5◇	3022：免疫学6◇		3082：生物統計学応用Ⅱ4(AL)		
		3065：Biomedical Device Science and EngineeringⅡ1◆(英：バイオメディカルデバイス)	3065：Biomedical Device Science and EngineeringⅡ2◆(英：バイオメディカルデバイス)	3077：Introduction to Biomedical Sciences and Engineering(英：生命理工学概論)1□	3077：Introduction to Biomedical Sciences and Engineering(英：生命理工学概論)2□				
		3305：BiostatisticsⅡ5♣(Library Information Search Rm. 1, M&D Tower 4F)	3305：BiostatisticsⅡ6♣(Library Information Search Rm. 1, M&D Tower 4F)	3305：BiostatisticsⅡ7♣(Library Information Search Rm. 1, M&D Tower 4F)	3305：BiostatisticsⅡ8♣(Library Information Search Rm. 1, M&D Tower 4F)				
10月9日	水	3023：発生・再生科学7□	3023：発生・再生科学8□	3077：Introduction to Biomedical Sciences and Engineering(英：生命理工学概論)3□	3077：Introduction to Biomedical Sciences and Engineering(英：生命理工学概論)4□		3081：生物統計学応用Ⅳ4(AL)		
10月10日	木	3027：口腔保健福祉学5■	3027：口腔保健福祉学6■				3084：臨床試験方法論応用4(AL)		
		3060：生体検査科学特論Ⅰ5◇	3060：生体検査科学特論Ⅰ6◇	3077：Introduction to Biomedical Sciences and Engineering(英：生命理工学概論)5□	3077：Introduction to Biomedical Sciences and Engineering(英：生命理工学概論)6□	3077：Introduction to Biomedical Sciences and Engineering(英：生命理工学概論)7□			
		3305：BiostatisticsⅡ9♣(Library Information Search Rm. 1, M&D Tower 4F)	3305：BiostatisticsⅡ10♣(Library Information Search Rm. 1, M&D Tower 4F)	3305：BiostatisticsⅡ11♣(Library Information Search Rm. 1, M&D Tower 4F)	3305：BiostatisticsⅡ12♣(Library Information Search Rm. 1, M&D Tower 4F)				
10月11日	金	3023：発生・再生科学9□	3023：発生・再生科学10□	3075：時間・空間の分子生命科学3	3075：時間・空間の分子生命科学4		3086：疫学応用2(AL)		
				3022：免疫学7◇	3022：免疫学8◇				
		3077：Introduction to Biomedical Sciences and Engineering(英：生命理工学概論)8□	3077：Introduction to Biomedical Sciences and Engineering(英：生命理工学概論)9□	3077：Introduction to Biomedical Sciences and Engineering(英：生命理工学概論)10□					
		3305：BiostatisticsⅡ13♣(Library Information Search Rm. 1, M&D Tower 4F)	3305：BiostatisticsⅡ14♣(Library Information Search Rm. 1, M&D Tower 4F)	3305：BiostatisticsⅡ15♣(Library Information Search Rm. 1, M&D Tower 4F)	3305：BiostatisticsⅡ16♣(Library Information Search Rm. 1, M&D Tower 4F)				
10月12日	土								
10月13日	日								
10月14日	月								
10月15日	火	3027：口腔保健福祉学7■	3027：口腔保健福祉学8■	3033：分子構造学特論5□	3033：分子構造学特論6□		3037：医歯薬産業技術特論3◆		
		3060：生体検査科学特論Ⅰ7◇	3060：生体検査科学特論Ⅰ8◇	3022：免疫学9◇	3022：免疫学10◇		3082：生物統計学応用Ⅴ5(AL)		
		3065：Biomedical Device Science and EngineeringⅡ3◆(英：バイオメディカルデバイス)	3065：Biomedical Device Science and EngineeringⅡ4◆(英：バイオメディカルデバイス)	3077：Introduction to Biomedical Sciences and Engineering(英：生命理工学概論)11□	3077：Introduction to Biomedical Sciences and Engineering(英：生命理工学概論)12□				
10月16日	水	3023：発生・再生科学11□	3023：発生・再生科学12□	3077：Introduction to Biomedical Sciences and Engineering(英：生命理工学概論)13□	3077：Introduction to Biomedical Sciences and Engineering(英：生命理工学概論)14□		3081：生物統計学応用Ⅵ5(AL)		
10月17日	木	3027：口腔保健福祉学9■	3027：口腔保健福祉学10■	3077：Introduction to Biomedical Sciences and Engineering(英：生命理工学概論)15□			3084：臨床試験方法論応用5(AL)		
		3060：生体検査科学特論Ⅰ9◇	3060：生体検査科学特論Ⅰ10◇						
10月18日	金			3075：時間・空間の分子生命科学5	3075：時間・空間の分子生命科学6		3086：疫学応用3(AL)		
		3023：発生・再生科学13□	3023：発生・再生科学14□	3022：免疫学11◇	3022：免疫学12◇				
10月19日	土								
10月20日	日								
10月21日	月	3023：発生・再生科学15□	3022：免疫学13	3033：分子構造学特論7□	3033：分子構造学特論8□		3086：疫学応用4(AL)		
		3312：Behavioral Sciences 1(G)	3312：Behavioral Sciences 2(G)	3312：Behavioral Sciences 3(G)	3312：Behavioral Sciences 4(G)				
10月22日	火	3027：口腔保健福祉学11■	3027：口腔保健福祉学12■	3033：分子構造学特論9□	3033：分子構造学特論10□		3037：医歯薬産業技術特論4◆		
		3065：Biomedical Device Science and EngineeringⅡ5◆(英：バイオメディカルデバイス)	3065：Biomedical Device Science and EngineeringⅡ6◆(英：バイオメディカルデバイス)		3022：免疫学14◇		3082：生物統計学応用Ⅵ6(AL)		
		3060：生体検査科学特論Ⅰ11◇	3060：生体検査科学特論Ⅰ12◇						
		3312：Behavioral Sciences 5(G)	3312：Behavioral Sciences 6(G)	3312：Behavioral Sciences 7(G)	3312：Behavioral Sciences 8(G)				
10月23日	水			3051：生体検査科学セミナーⅠ 3回目(13:00~19:00)♥ or 保健衛生学科講義室1					
							3081：生物統計学応用Ⅶ6(AL)		
		3312：Behavioral Sciences 9(G)	3312：Behavioral Sciences 10(G)	3312：Behavioral Sciences 11(G)	3312：Behavioral Sciences 12(G)				
10月24日	木	3027：口腔保健福祉学13■	3027：口腔保健福祉学14■				3084：臨床試験方法論応用6(AL)		
		3060：生体検査科学特論Ⅰ13◇	3060：生体検査科学特論Ⅰ14◇						
10月25日	金	3030：機能分子化学1◆	3030：機能分子化学2◆	3075：時間・空間の分子生命科学7	3075：時間・空間の分子生命科学8		3086：疫学応用5(AL)		
				3022：免疫学15◇					
		3312：Behavioral Sciences 13(G)	3312：Behavioral Sciences 14(G)	3312：Behavioral Sciences 15(G)					
10月26日	土								
10月27日	日								
10月28日	月	3260：Immunology1□(英：免疫学)	3260：Immunology2□(英：免疫学)	3033：分子構造学特論11□	3033：分子構造学特論12□		3086：疫学応用6(AL)		
10月29日	火	3030：機能分子化学3◆	3030：機能分子化学4◆	3033：分子構造学特論13□	3033：分子構造学特論14□		3037：医歯薬産業技術特論5◆		
		3027：口腔保健福祉学15■							
		3060：生体検査科学特論Ⅰ15◇							
10月30日	水	3065：Biomedical Device Science and EngineeringⅡ7◆(英：バイオメディカルデバイス)	3065：Biomedical Device Science and EngineeringⅡ8◆(英：バイオメディカルデバイス)						
		3030：機能分子化学5◆	3030：機能分子化学6◆						
10月31日	木	3260：Immunology3□(英：免疫学)	3260：Immunology4□(英：免疫学)	3259：Introduction to Medical Neurosciences1□(英：神経疾患特論)	3259：Introduction to Medical Neurosciences2□(英：神経疾患特論)				
		3260：Immunology5□(英：免疫学)	3260：Immunology6□(英：免疫学)				3084：臨床試験方法論応用7(AL)		

4. 修士課程医歯理工保健学専攻授業時間割 Class Schedule

【講義場所】
△：M&Dタワー2階鈴木章夫記念講堂 M&D Tower, 2F, Suzuki Akio Memorial Hall ☆：D棟南4階特別講堂 Building D South, 4F特別講堂 ◇：3号館6階大学院特別講義室 Bldg.3, 6F大学院特別講義室
♣：M&Dタワー4階図書館内情報検索室1 M&D Tower, 4F, Library Information Search Room □：M&Dタワー21階大学院講義室1 M&D Tower, 21F大学院講義室1 ■：1号館7階口腔保健学科第1講義室 Bldg.1, 7F口腔保健学科第1講義室
◆：22号館1階第2会議室 Bldg.22, 1F第2会議室 ◆(8)：22号館8階第3会議室 Bldg.22, 8F第3会議室 ★：2号館3階 Bldg.2, 3F (共2)：M&Dタワー2階共用講義室2 M&D Tower, 2F, 共用講義室2 (G)：M&D Tower, 8F, G-lab
♡：3号館15階大学院講義室2 Bldg.3, 15F大学院講義室2 ♥：M&Dタワー2階共用講義室1 M&D Tower, 2F, 共用講義室1 (AL)：M&Dタワー4階アクティブラーニング教室 M&D Tower, 4F, アクティブラーニング教室 (情1)：M&Dタワー4階 情報検索室1 M&D Tower, 4F, 情報検索室1

月日	曜日	1 8:50-10:20	2 10:30-12:00	3 13:00-14:30	4 14:40-16:10	5 16:20-17:50	6 18:00-19:30	7 19:40-21:10
11月1日	金	3030：機能分子化学7◆	3030：機能分子化学8◆	3259：Introduction to Medical Neurosciences3□（英：神経疾患特論）	3259：Introduction to Medical Neurosciences4□（英：神経疾患特論）		3086：疫学応用7（AL）	
11月2日	土							
11月3日	日							
11月4日	月							
11月5日	火	3030：機能分子化学9◆	3030：機能分子化学10◆	3033：分子構造学特論15□			3037：医歯薬産業技術特論6◆	
							3082：生物統計学応用Ⅱ 7（AL）	
11月6日	水	3260：Immunology7□（英：免疫学）	3260：Immunology8□（英：免疫学）					
		3030：機能分子化学11◆	3030：機能分子化学12◆	3259：Introduction to Medical Neurosciences5□（英：神経疾患特論）	3259：Introduction to Medical Neurosciences6□（英：神経疾患特論）		3081：生物統計学応用Ⅱ 7（AL）	
11月7日	木	3260：Immunology9□（英：免疫学）	3260：Immunology10□（英：免疫学）	3066：Biomedical System Science and EngineeringⅡ 1◆（英：バイオメディカルシステム）	3066：Biomedical System Science and EngineeringⅡ 2◆（英：バイオメディカルシステム）		3084：臨床試験方法論応用8（AL）	
11月8日	金	3030：機能分子化学13◆	3030：機能分子化学14◆	3259：Introduction to Medical Neurosciences7□（英：神経疾患特論）	3259：Introduction to Medical Neurosciences8□（英：神経疾患特論）		3086：疫学応用8（AL）	
		3303：EpidemiologyⅡ 1（G）	3303：EpidemiologyⅡ 2（G） Online Video-WebClass)	3303：EpidemiologyⅡ 3（G）				
11月9日	土							
11月10日	日							
11月11日	月	3260：Immunology11□（英：免疫学）	3260：Immunology12□（英：免疫学）					
		3303：EpidemiologyⅡ 4（G）	3303：EpidemiologyⅡ 5（G）	3303：EpidemiologyⅡ 6（G）	3303：EpidemiologyⅡ 7（G）			
11月12日	火	3030：機能分子化学15◆					3037：医歯薬産業技術特論7◆	
							3082：生物統計学応用Ⅱ 8（AL）	
		3303：EpidemiologyⅡ 8（G）	3303：EpidemiologyⅡ 9（G）	3303：EpidemiologyⅡ 10（G）	3303：EpidemiologyⅡ 11（G）			
11月13日	水	定期試験（11/13-11/15）						
11月14日	木							
		3303：EpidemiologyⅡ 12（G）	3303：EpidemiologyⅡ 13（G）	3303：EpidemiologyⅡ 14（G）	3303：EpidemiologyⅡ 15（G）			
11月15日	金	定期試験（11/13-11/15）						
11月16日	土							
11月17日	日							
11月18日	月	3260：Immunology13□（英：免疫学）	3260：Immunology14□（英：免疫学）	3260：Immunology15□（英：免疫学）				
11月19日	火	3263：Introduction to Chemistry andBiology of Biofunctional Molecules1◆（英：機能分子科学）	3263：Introduction to Chemistry andBiology of Biofunctional Molecules2◆（英：機能分子科学）				3037：医歯薬産業技術特論8◆	
11月20日	水	3263：Introduction to Chemistry andBiology of Biofunctional Molecules3◆（英：機能分子科学）	3263：Introduction to Chemistry andBiology of Biofunctional Molecules4◆（英：機能分子科学）	3259：Introduction to Medical Neurosciences9□（英：神経疾患特論）	3259：Introduction to Medical Neurosciences10□（英：神経疾患特論）		3081：生物統計学応用Ⅱ 8（AL）	
11月21日	木	3066：Biomedical System Science and EngineeringⅡ 3◆（英：バイオメディカルシステム）	3066：Biomedical System Science and EngineeringⅡ 4◆（英：バイオメディカルシステム）					
11月22日	金	3263：Introduction to Chemistry andBiology of Biofunctional Molecules5◆（英：機能分子科学）	3263：Introduction to Chemistry andBiology of Biofunctional Molecules6◆（英：機能分子科学）	3259：Introduction to Medical Neurosciences11□（英：神経疾患特論）	3259：Introduction to Medical Neurosciences12□（英：神経疾患特論）			
11月23日	土							
11月24日	日							
11月25日	月							
11月26日	火	3263：Introduction to Chemistry andBiology of Biofunctional Molecules7◆（英：機能分子科学）	3263：Introduction to Chemistry andBiology of Biofunctional Molecules8◆（英：機能分子科学）					
11月27日	水	3263：Introduction to Chemistry andBiology of Biofunctional Molecules9◆（英：機能分子科学）	3263：Introduction to Chemistry andBiology of Biofunctional Molecules10◆（英：機能分子科学）	3259：Introduction to Medical Neurosciences13□（英：神経疾患特論）	3259：Introduction to Medical Neurosciences14□（英：神経疾患特論）			
11月28日	木	3066：Biomedical System Science and EngineeringⅡ 5◆（英：バイオメディカルシステム）	3066：Biomedical System Science and EngineeringⅡ 6◆（英：バイオメディカルシステム）					
11月29日	金	3263：Introduction to Chemistry andBiology of Biofunctional Molecules11◆（英：機能分子科学）	3263：Introduction to Chemistry andBiology of Biofunctional Molecules12◆（英：機能分子科学）	3259：Introduction to Medical Neurosciences15□（英：神経疾患特論）				
11月30日	土							

4. 修士課程医歯理工保健学専攻授業時間割 Class Schedule

【講義場所】
△：M&Dタワー2階鈴木章夫記念講堂 M&D Tower, 2F, Suzuki Akio Memorial Hall ☆：D棟南4階特別講堂 Building D South, 4F特別講堂 ◇：3号館6階大学院特別講義室 Bldg.3, 6F大学院特別講義室
♣：M&Dタワー4階図書館内情報検索室1 M&D Tower, 4F, Library Information Search Room □：M&Dタワー21階大学院講義室1 M&D Tower, 21F大学院講義室1 ■：1号館7階口腔保健学科第1講義室 Bldg.1, 7F口腔保健学科第1講義室
◆：22号館1階第2会議室 Bldg.22, 1F第2会議室 ◆(8)：22号館8階第3会議室 Bldg.22, 8F第3会議室 ★：2号館3階 Bldg.2, 3F (共2)：M&Dタワー2階共用講義室2 M&D Tower, 2F, 共用講義室2 (G)：M&D Tower, 8F, G-lab
♡：3号館15階大学院講義室2 Bldg.3, 15F大学院講義室2 ♥：M&Dタワー2階共用講義室1 M&D Tower, 2F, 共用講義室1 (AL)：M&Dタワー4階アクティブラーニング教室 M&D Tower, 4F, アクティブラーニング教室 (情1)：M&Dタワー4階 情報検索室1 M&D Tower, 4F, 情報検索室1

月日	曜日	1 8:50-10:20	2 10:30-12:00	3 13:00-14:30	4 14:40-16:10	5 16:20-17:50	6 18:00-19:30	7 19:40-21:10
12月1日	日							
12月2日	月	3307：Health System and Management 1 (G)	3307：Health System and Management 2 (G)	3307：Health System and Management 3 (G)	3307：Health System and Management 4 (G)			
12月3日	火	3263：Introduction to Chemistry andBiology of Biofunctional Molecules 1 3◆ (英：機能分子科学)	3263：Introduction to Chemistry andBiology of Biofunctional Molecules 1 4◆ (英：機能分子科学)	3263：Introduction to Chemistry andBiology of Biofunctional Molecules 1 5◆ (英：機能分子科学)				
		3307：Health System and Management 5 (G)	3307：Health System and Management 6 (G)	3307：Health System and Management 7 (G)	3307：Health System and Management 8 (G)			
12月4日	水	3307：Health System and Management 9 (G)	3307：Health System and Management 1 0 (G)	3307：Health System and Management 1 1 (G)	3307：Health System and Management 12 (G)			
12月5日	木	3066：Biomedical System Science and EngineeringⅡ 7◆ (英：バイオメディカルシステム)	3066：Biomedical System Science and EngineeringⅡ 8◆ (英：バイオメディカルシステム)					
		3307：Health System and Management 1 3 (G)	3307：Health System and Management 1 4 (G)	3307：Health System and Management 1 5 (G)	3307：Health System and Management 1 6 (G)	3307：Health System and Management 1 7 (G)		
12月6日	金	3307：Health System and Management 1 8 (G)	3307：Health System and Management 1 9 (G)	3307：Health System and Management 2 0 (G)	3307：Health System and Management 2 1 (G)			
12月7日	土							
12月8日	日							
12月9日	月							
12月10日	火	Examination of English Courses (tentative)12/10-12/12 英語開講科目試験						
12月11日	水	Examination of English Courses (tentative)12/10-12/12 英語開講科目試験						
12月12日	木	Examination of English Courses (tentative)12/10-12/12 英語開講科目試験						
12月13日	金							
12月14日	土							
12月15日	日							
12月16日	月							
12月17日	火							
12月18日	水							
12月19日	木							
12月20日	金							
12月21日	土							
12月22日	日							
12月23日	月							
12月24日	火							
12月25日	水							
12月26日	木							
12月27日	金							
12月28日	土							
12月29日	日							
12月30日	月							
12月31日	火							

4. 修士課程医歯理工保健学専攻授業時間割 Class Schedule

【講義場所】
△：M&Dタワー2階鈴木章夫記念講堂 M&D Tower, 2F, Suzuki Akio Memorial Hall ☆：D棟南4階特別講堂 Building D South, 4F特別講堂 ◇：3号館6階大学院特別講義室 Bldg.3, 6F大学院特別講義室
♣：M&Dタワー4階図書館内情報検索室1 M&D Tower, 4F, Library Information Search Room □：M&Dタワー21階大学院講義室1 M&D Tower, 21F大学院講義室1 ■：1号館7階口腔保健学科第1講義室 Bldg.1, 7F口腔保健学科第1講義室
◆：22号館1階第2会議室 Bldg.22, 1F第2会議室 ◆(8)：22号館8階第3会議室 Bldg.22, 8F第3会議室 ★：2号館3階 Bldg.2, 3F (共2)：M&Dタワー2階共用講義室2 M&D Tower, 2F, 共用講義室2 (G)：M&D Tower, 8F, G-lab
♡：3号館15階大学院講義室2 Bldg.3, 15F大学院講義室2 ♥：M&Dタワー2階共用講義室1 M&D Tower, 2F, 共用講義室1 (AL)：M&Dタワー4階アクティブラーニング教室 M&D Tower, 4F, アクティブラーニング教室 (情1)：M&Dタワー4階 情報検索室1 M&D Tower, 4F, 情報検索室1

月日	曜日	1 8:50-10:20	2 10:30-12:00	3 13:00-14:30	4 14:40-16:10	5 16:20-17:50	6 18:00-19:30	7 19:40-21:10
1月1日	水							
1月2日	木							
1月3日	金							
1月4日	土							
1月5日	日							
1月6日	月							
1月7日	火							
1月8日	水							
1月9日	木							
1月10日	金							
1月11日	土	3051：生体検査科学セミナーⅠ 4回目（9：00～17：00）♥ or 保健衛生学科講義室1						
1月12日	日							
1月13日	月							
1月14日	火							
1月15日	水							
1月16日	木							
1月17日	金							
1月18日	土							
1月19日	日							
1月20日	月	3310：Maternal and Child Health 1 (G)	3310：Maternal and Child Health 2 (G)	3310：Maternal and Child Health 3 (G)	3310：Maternal and Child Health 4 (G)			
1月21日	火	3310：Maternal and Child Health 5 (G)	3310：Maternal and Child Health 6 (G)	3310：Maternal and Child Health 7 (G)	3310：Maternal and Child Health 8 (G)			
1月22日	水							
1月23日	木	3310：Maternal and Child Health 9 (G)	3310：Maternal and Child Health 10 (G)	3310：Maternal and Child Health 11 (G)	3310：Maternal and Child Health 12 (G)			
1月24日	金	3310：Maternal and Child Health 13 (G)	3310：Maternal and Child Health 14 (G)	3310：Maternal and Child Health 15 (G)	3310：Maternal and Child Health 16 (G)			
1月25日	土							
1月26日	日							
1月27日	月							
1月28日	火							
1月29日	水							
1月30日	木							
1月31日	金							
2月1日	土							
2月2日	日							
2月3日	月							
2月4日	火							
2月5日	水							
2月6日	木							
2月7日	金							
2月8日	土							
2月9日	日							
2月10日	月							
2月11日	火							
2月12日	水							
2月13日	木							
2月14日	金							
2月15日	土							
2月16日	日							
2月17日	月							
2月18日	火							
2月19日	水							
2月20日	木							
2月21日	金							
2月22日	土							
2月23日	日							
2月24日	月							
2月25日	火							
2月26日	水							
2月27日	木							
2月28日	金							
3月1日	土							
3月2日	日							
3月3日	月							
3月4日	火							
3月5日	水							
3月6日	木							
3月7日	金							
3月8日	土							
3月9日	日							
3月10日	月							
3月11日	火							
3月12日	水							
3月13日	木							
3月14日	金							
3月15日	土							
3月16日	日							
3月17日	月							
3月18日	火							
3月19日	水							
3月20日	木							
3月21日	金							
3月22日	土							
3月23日	日							
3月24日	月							
3月25日	火							
3月26日	水							
3月27日	木							
3月28日	金							
3月29日	土							
3月30日	日							
3月31日	月							

※1 産学リンケージ特論、臨床実践特別演習系は時間割から除く。Courses such as 産学リンケージ特論 and any practical lectures are not on the above schedule.
※2 英語表記科目：全編英語開講。Courses with the English title in above schedule will be held in English.

5. 授業科目の講義内容

Course Syllabus

時間割番号	031001				
科目名	医歯学総合概論			科目ID	GH-b3001-L
担当教員	大橋 健一, 山本 正英, 野崎 浩佑, 塩飽 裕紀, 末永 光邦, 道 泰之, 田澤 立之, 金兼 弘和, 伊藤 真以, 宮坂 尚幸, 松倉 遊, 宮崎 晋介, 川島 伸之, 小宮 力, 並木 剛, 岩井 秀之[OOHASHI Kennichi, YAMAMOTO MASAHIDE, NOZAKI KOSUKE, SHIWAKU Hiroki, SUENAGA Mitsukuni, MICHU YASUYUKI, TAZAWA Ryuushi, KANEGANE HIROKAZU, ITO MAI, MIYASAKA NAUYUKI, MATSUKURA Yuu, MIYAZAKI Shinnsuke, KAWASHIMA NOBUYUKI, KOMIYA Chikara, NAMIKI TAKESHI, IWAH Hideyuki]				
開講時期	2024 年度前期	対象年次	1～	単位数	2
実務経験のある教員による授業					
連絡先:学務企画課大学院教務第二係 TEL:03-5803-4534、Email: grad02@ml.tmd.ac.jp 英語による授業:全て日本語で行う。					
授業の目的、概要等					
授業目的:様々な学問的背景を持つ修士課程の学生に対して、現代の医歯学の学問体系について全体像の概要、臨床分野における疾病予防を含めた医療活動の概要とその意義を授業する。 概要:医療活動の重要性、主要な疾患に関する疫学、診断、治療、およびリハビリテーションの基礎的知識、社会に貢献する医歯学研究のあり方と進め方について授業する。疾病の診断、治療、予防及び疫学の基本的戦略、臨床医学・歯学の診断、治療における基本的原理に加え、医歯学を支える学際的な学問分野領域の重要性と可能性及び生命倫理とリスクマネジメントについても授業する。					
授業の到達目標					
様々な学問的背景を持ち医学修士・歯学修士の取得を目指す学生が、課題研究の遂行や、課程修了後の研究・社会活動に役立つように、現代の医歯学の学問体系の全体像を理解するとともに、各臨床医学・歯学分野における疾患の診断、治療、予防及び疫学の基本的戦略方法を理解し、生命倫理とリスクマネジメントについて理解する。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/11	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	顎口腔外科学	道 泰之
2	4/11	14:40-16:10	遠隔授業(非同期型)	統合呼吸器病学	田澤 立之
3	4/12	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	生体補綴歯科学	野崎 浩佑
4	4/12	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	生殖機能協同学	宮坂 尚幸
5	4/12	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	膠原病・リウマチ内科学	岩井 秀之
6	4/19	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	臨床検査医学	伊藤 真以
7	4/19	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	血液内科学	山本 正英
8	4/22	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	皮膚科学	並木 剛
9	4/22	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	小児地域成育医療学	金兼 弘和
10	4/24	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	内分泌・代謝内科学	小宮 力
11	4/25	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	整形外科科学	松倉 遊
12	4/25	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	臨床腫瘍学	末永 光邦
13	4/26	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	精神行動医科学	塩飽 裕紀
14	4/26	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	循環制御内科学	宮崎 晋介
15	4/26	16:20-17:50	遠隔授業(同期型)	歯髄生物学	川島 伸之
授業方法					
本学医学部・歯学部臨床主要分野の教員による講義形式の授業である。出席管理システムを使用する。					
成績評価の方法					
【成績評価方法】 参加状況と受講姿勢(75%、ただし 2/3 以上の出席が必要)、レポート(25%)から評価する。 (以下に記載)					
【レポート提出】 出席した授業のうち 4 回を選び、それぞれの要旨をまとめる。					

レポートは電子媒体(pdf または MSWord で、全体を単一のファイルにすること)で作成する。
全体で A4 用紙 4 ページ以内(4 回分まとめて 4 ページ以内)。

提出先:WebClass のレポート提出用コースにアクセスし、課題レポートをアップロードして提出する。

提出期限:この科目の最終授業から 1 か月後の週の金曜日

※ただし、期限を過ぎても提出は可能である(評価には影響する)。レポート提出は、合格のためには必須とする。

準備学習等についての具体的な指示

下記参考書その他により予習してから受講することを勧める。

参考書

教科書・参考書等は授業中に指示される場合がある。

Lecture No	031001				
Subject title	Philosophy of Medicine and Dentistry			Subject ID	GH—b3001—L
Instructors	大橋 健一, 山本 正英, 野崎 浩佑, 塩飽 裕紀, 末永 光邦, 道 泰之, 田澤 立之, 金兼 弘和, 伊藤 真以, 宮坂 尚幸, 松倉 遊, 宮崎 晋介, 川島 伸之, 小宮 力, 並木 剛, 岩井 秀之[OOHASHI Kennichi, YAMAMOTO MASAHIDE, NOZAKI KOSUKE, SHIWAKU Hiroki, SUENAGA Mitsukuni, MICHY YASUYUKI, TAZAWA Ryuushi, KANEGANE HIROKAZU, ITO MAI, MIYASAKA NAOYUKI, MATSUKURA Yuu, MIYAZAKI Shinnsuke, KAWASHIMA NOBUYUKI, KOMIYA Chikara, NAMIKI TAKESHI, Iwai Hideyuki]				
Semester	Spring 2024	Level	1st – year	Units	2
Course by the instructor with practical experiences					
Contact: Educational Planning Section. Availability in English: All classes are taught in Japanese.					
Course Purpose and Outline					
Course Purpose: This course teaches the whole image of modern medical and dental sciences and clinical activities including disease prevention for students who may have various academic backgrounds.					
Outline: Knowledge of a wide range of bio-related science is needed to fully understand and utilize results of latest biosciences. This series of lectures covers basic ideas of molecular biology, protein chemistry, organic chemistry and bioengineering, and is expected to widen intellectual horizons of students and improve their understanding of the complex nature of current biosciences.					
Course Objective(s)					
Students who may have various academic backgrounds to acquire a certain level of understanding of the whole image of medical and dental sciences, and strategies and logics of clinical activities, which will be helpful in research for thesis and in research, and social activities after graduation.					
Lecture plan					
No	Date	Time	Room	Lecture theme	Staff
1	4/11	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)		MICHY YASUYUKI
2	4/11	14:40-16:10	遠隔授業(非同期型)		TAZAWA Ryuushi
3	4/12	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)		NOZAKI KOSUKE
4	4/12	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)		MIYASAKA NAOYUKI
5	4/12	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)		Iwai Hideyuki
6	4/19	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)		ITO MAI
7	4/19	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)		YAMAMOTO MASAHIDE
8	4/22	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)		NAMIKI TAKESHI
9	4/22	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)		KANEGANE HIROKAZU
10	4/24	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)		KOMIYA Chikara
11	4/25	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)		MATSUKURA Yuu
12	4/25	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)		SUENAGA Mitsukuni
13	4/26	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)		SHIWAKU Hiroki
14	4/26	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)		MIYAZAKI Shinnsuke
15	4/26	16:20-17:50	遠隔授業(同期型)		KAWASHIMA NOBUYUKI
Lecture Style					
Lecture					
Grading System					
【Grade evaluation method】					
Evaluation is based on the participation status and attendance attitude (75% score), and report (25% score). Besides, attendance of more than 2/3 of individual classes (lectures) and submission of the report is required for passing.					
【Report】					

Pick up 4 classes (lectures) that you have attended. Summarize the contents of each of them. The total length of the four reports should be within four pages of A4 size sheet. Make a single digital file (pdf or MSWord, single file) of four reports.

【Submission】

Access the report submission course of the WebClass system. Upload your report.

【Submission deadline】

The Friday in the week when it is one month after the last class (lecture) of this course.

Late submission after the deadline is possible. Although a late submission is considered in the evaluation. The submission of the report is mandatory for passing.

Prerequisite Reading

It is recommended that one refers to the textbook (below) before the lecture.

Reference Materials

English textbook to be announced

時間割番号	031002																				
科目名	初期研究研修		科目 ID	GC—a3002-L																	
担当教員																					
開講時期	2024 年度前期	対象年次	1～	単位数	1																
実務経験のある教員による授業																					
※2024 年度より初期研究研修を受講したことによる「基礎研究 ID および受講証番号」の発行は行わない。 「基礎研究 ID および研究倫理講習会受講証番号」についての詳細及び問い合わせ先は、以下の大学ホームページをご確認いただく。なお、2024 年度版の開講については、順次 info メール等でお知らせがある。 home > 研究・連携 > 研究手続き > 研究に必要な講習会案内 https://www.tmd.ac.jp/tmd-research/safety/koushoukaianai/																					
授業の目的、概要等 研究開始に当たり、種々の研究分野における基本的な研究概念や具体的な研究方法の必要知識および研究実施上の注意事項を学習する。																					
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/15</td> <td>10:00-17:00</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/16</td> <td>10:00-17:00</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/17</td> <td>10:00-17:00</td> <td>遠隔授業(同期型)</td> </tr> </tbody> </table>						回	日付	時刻	講義室	1	4/15	10:00-17:00	遠隔授業(同期型)	2	4/16	10:00-17:00	遠隔授業(同期型)	3	4/17	10:00-17:00	遠隔授業(同期型)
回	日付	時刻	講義室																		
1	4/15	10:00-17:00	遠隔授業(同期型)																		
2	4/16	10:00-17:00	遠隔授業(同期型)																		
3	4/17	10:00-17:00	遠隔授業(同期型)																		
成績評価の方法 授業の参加状況と授業中に与えられた課題の達成度(合計 100%、課題の達成度は 50%以内)に基づいて総合的に評価を行う。 初期研究研修の単位を修得するためには、必修課題として「必須 IT 基礎研修」の受講を完了することが必要です。 受講方法等の詳細は、全学 info メール等の通知をご確認ください。 <対象講義> 日本語開講:「文献検索 / 図書館の利用 / 必修 IT 基礎研修」 英語開講:「Literature Search / Utilization of Library / Compulsory IT Basics」 ※やむを得ず対象講義に参加できない場合も、必ず「必須 IT 基礎研修」を受講完了してください。																					
準備学習等についての具体的な指示																					

2024年度大学院医歯学総合研究科
初期研究研修プログラム

日 時:2024年4月15日(月)～4月17日(水)
場 所:遠隔講義(同期型または非同同期型)(予定)

講義スケジュール:

月 日 (曜)		1 時 限 (10:00～11:00)	2 時 限 (11:15～12:15)	3 時 限 (13:30～14:30)	4 時 限 (14:45～15:45)	5 時 限 (16:00～17:00)
4月15日 (月)		信頼ある研究の進め方 How to make scientific researches reliable and successful 田賀 哲也 幹細胞制御分野 教授	研究における統計 Statistical method in designing medical research 高橋 邦彦 M&Dデータ科学センター 教授	RI及び放射線の利用と取扱い Use and Handling of Radionuclides and Radiations 仁科 博史 発生再生生物学分野 教授	文献検索 / 図書館の利用 / 必修IT基礎研修 Literature Search / Utilization of Library / Compulsory IT Basics 木下 淳博 統合教育機構 教授	APRIN eラーニングプログラム (CITI Japan) APRIN e-learning program (CITI Japan) 江花 有亮 生命倫理研究センター 講師

月 日 (曜)	1 時 限 (8:45～9:45)	2 時 限 (10:00～11:00)	3 時 限 (11:15～12:15)	4 時 限 (13:30～14:30)	5 時 限 (14:45～15:45)	6 時 限 (16:00～17:00)
4月16日 (火)	研究に必要となる環境安全管理 Environment and safety in research 玉村 啓和 メタインシナルケミストリー分野 教授	診療活動における感染制御の 理論と実際 Theory and practice of infection control 具 芳明 TMDU感染症センター 教授	研究発表・論文作成 Thesis Writing and Presenting Research Cannell David Richard 統合国際機構 准教授	産学連携 Industry-University Cooperation 飯田 香緒里 オーブンイノベーションセンター 教授	バイオバンク事業と疾患研究 TMDU Bioresource Research Center and Biobank Project on the implementation of precision medicine 永田 有希 疾患バイオリソースセンター 助教	共通施設リサーチコアセンターの 利用 Utilizing Research Core Facilities and Introduction to Installed Equipment 荒川 聡子 リサーチコアセンター 教授

月 日 (曜)	1 時 限 (8:45～9:45)	2 時 限 (10:00～11:00)	3 時 限 (11:15～12:15)	4 時 限 (13:30～14:30)		5 時 限 (16:00～17:00)
4月17日 (水)	研究者の倫理 Ethics of Researcher 井関 祥子 分子発生・口腔組織学分野 教授	バイオセーフティと微生物実 験法の基本 Biosafety and basic microbiological techniques 鈴木 敏彦 細菌感染制御学分野 教授	動物実験の進め方 The Design of Animal Experiments 金井 正美 実験動物センター 教授	遺伝子研究法 Study of Functional gene and genome 田中 敏博 疾患バイオリソースセンター 教授		生命倫理 Bioethics 吉田 雅幸 生命倫理研究センター 教授

Lecture No	031908				
Subject title	Initial Research Training		Subject ID	GC—a3102—	
Instructors					
Semester	Spring 2024	Level	1st year	Units	1
Course by the instructor with practical experiences					
※Basic Research ID don't get to take the course from 2024. Please contact the Research Safety Unit about details on “Basic Research ID,”. The 2024 edition of the course will be announced by info mail. So please check it. home > 研究・連携 > 研究手続き > 研究に必要な講習会案内 https://www.tmd.ac.jp/tmd-research/safety/koushoukaianai/					
Course Purpose and Outline					
Research work should be done in accordance with various rules and regulations including those related to ethics, and those related to handling of toxic substances, radioactive materials and animals. This series of lectures introduce rules and regulations that the students should follow during research work. Also, the students learn how to use libraries and data bases, and how to avoid scientific misconducts.					
Lecture plan					
No	Date	Time	Room		
1	4/15	10:00-17:00	遠隔授業(同期型)		
2	4/16	10:00-17:00	遠隔授業(同期型)		
3	4/17	10:00-17:00	遠隔授業(同期型)		
Grading System					
Attendance (more than 50%), and achievement of assignments given in the course (less than 50%).					
In order to earn credits for “Initial Research Training”, it is necessary to complete the “必須 IT 基礎研修” as a compulsory subject. For details on how to take the course, etc., please check the info mail or other notifications. <Target Lectures> Courses in Japanese: 「文献検索 / 図書館の利用 / 必修 IT 基礎研修」 Courses in English:「Literature Search / Utilization of Library / Compulsory IT Basics」 ※Even if you are unable to attend a lecture due to unavoidable circumstances, please be sure to complete the “必須 IT 基礎研修”.					
Prerequisite Reading					
Important Course Requirements					
When you register for “Initial Research Training” in English, you must choose Code: 31-3102. If you are the Japanese or the international students who are fluent speakers of Japanese, you should be advised to take part in “Initial Research Training for Japanese” (Code: 31-3002).					

Initial Research Training FY2024 Graduate School of Medical and Dental Sciences

Date: Mon. 15th April to Wed. 17th April 2024

Venue: The lecture classes will be conducted by ZOOM (web remote lecture system) or onsite.

Timetable :

date		First (10:00~11:00)	Second (11:15~12:15)	Third (13:30~14:30)	Fourth (14:45~15:45)	Fifth (16:00~17:00)
15-Apr Mon.		Statistical method in designing medical research TAKAHASHI Kunihiko M&D Data Science Center Professor	How to make scientific researches reliable and successful TAGA Tetsuya Professor	APRIN e-learning program (CITI Japan) EBANA Yusuke Life Science and Bioethics Research Center Junior Associate Professor	Use and Handling of Radioisotopes and Radiations NISHINA Hiroshi Developmental and Regenerative Biology Professor	Literature Search / Utilization of Library / Compulsory IT Basics KINOSHITA Atsunhiro Institute of Education Professor

date	First (8:45~9:45)	Second (10:00~11:00)	Third (11:15~12:15)	Fourth (13:30~14:30)	Fifth (14:45~15:45)	Sixth (16:00~17:00)
16-Apr Tue.	Ethics of Researcher ISEKI Sachiko Molecular Craniofacial Embryology and Oral Histology Professor	Thesis Writing and Presenting Research David Richard CANNELL Institute of Global Affairs Associate Professor	Theory and practice of infection prevention and control GU Yoshiaki TMDU Center for Infectious Disease Education and Analysis Professor	TMDU Bioresource Research Center and Biobank Project on the implementation of precision medicine TANAKA Toshihiro Bioresource Research Center Professor	Environment and safety in research TAMAMURA Hirokazu Medicinal Chemistry Professor	Industry-University Cooperation IIDA Kaori Open Innovation Center Professor

date	First (8:45~9:45)	Second (10:00~11:00)	Third (11:15~12:15)		Fourth (14:45~15:45)	Fifth (16:00~17:00)
17-Apr Wed.	Utilizing Research Core Facilities and Introduction to Installed Equipment ITOH Tōhru Research Core Professor	The Design of Animal Experiments KANAI Masami Center for Experimental Animals Professor	Biosafety and basic microbiological techniques SUZUKI Toshihiko Bacterial Pathogenesis, Infection and Host Response Professor		Study of Functional gene and genome TANAKA Toshihiro Bioresource Research Center Professor	Bioethics YOSHIDA Masayuki Life Science and Bioethics Research Center Professor

時間割番号	031003				
科目名	医歯理工学先端研究特論			科目ID	GH—a3003-L
担当教員					
開講時期	2024 年度通年	対象年次	1～	単位数	1
実務経験のある教員による授業					
連絡先:学務企画課大学院教務第二係 TEL: 03-5803-4534、Email: grad02@ml.tmd.ac.jp					
主な講義場所					
主として学内の講義室。事前に、ポスター、一斉メール、本学ホームページ等にて案内される。					
授業の目的、概要等					
授業目的:学内外のトップサイエンティストによる専門的な内容を含む講演やセミナーに積極的に参加し、最先端の研究領域についての見識を広めるとともに、セミナーでの学問的議論に参加する素養を培う。					
概要:本特論は、医歯学総合研究科医歯理工保健学専攻の学生のうち、保健学の学位の取得を目指す学生以外、全ての学生に対する必修科目である。医歯理工学研究における専門的かつ最新の知見を含む講演やセミナーに参加することによって、最先端の研究領域についての見識を広め、学問的議論を行うことを目的とする。					
授業の到達目標					
8回以上の当科目の登録講義・セミナーに参加し、課題研究遂行や、課程修了後の研究・社会活動に役立つことが期待される見識を広める。					
授業方法					
事前に案内される、本科目に登録された特別講義、セミナー等に参加する。					
授業内容					
本特論の講義として該当するセミナー等は以下のとおりとする(参照 URL も示す)。					
1)学内で開催されるセミナー等					
・『大学院特別講義』 http://www.tmd.ac.jp/faculties/graduate_school/seminar/index.html					
(※「がんプロ」「ボードレス」と記載のあるセミナーは対象とならない。)					
・『大学院セミナー』 http://www.tmd.ac.jp/faculties/graduate_school/seminar/index.html					
・『難研セミナー』 http://www.tmd.ac.jp/mri/events/index.html					
・『生材研セミナー』 http://www.tmd.ac.jp/ibb/information/					
今年度の大学院特別講義は次ページ一覧表のとおりとするが、日程、会場等の詳細は決定次第、掲示板及びホームページ等で随時周知する。					
各セミナーについても、掲示板及びホームページ等で随時周知する。					
2)指導教員から推薦を受けたセミナー等(指導教員が学務企画課へ事前に照会すること。)					
※上記のセミナー等は、以下を条件とする。					
・指導教員もしくはその所属分野のスタッフがセミナーに参加し、学生の参加状況等について確認できること。					
・参加制限なし(誰でも参加可能)、事前登録不要、無料のセミナーであること。					
成績評価の方法					
8回以上の出席者が対象になる。8回出席すれば、原則的に、到達目標をすべて達成したとみなす。さらに、8回をかなり超える出席や、発言したセミナーが複数回あれば、期待された水準を超えて達成したと見なす場合もある。					
準備学習等についての具体的な指示					
個別のセミナー、講義等の案内を参照のこと。					
参考書					
個別のセミナー、講義等の案内を参照のこと。					
履修上の注意事項					
所定の出席票を必ず使用して、1年次の1月末までに到達目標回数の聴講をすませること。それ以降の当科目の講義・セミナーの参加には出席票は不要である。					

自らが専攻しようとする専門分野ばかりでなく広範な研究領域のセミナーに参加することが望ましい。講義の使用言語は各講義の案内を参照のこと。

出席票は、「出席確認欄」に自身の指導教員のサインをもらう。講義中に発言した場合（講義終了後ではなく）、出席票の「講義中に行った質問・発言記入欄」に発言した内容を記載し、セミナー担当教員よりサインをもらう。出席票は1年次の1月末までに学務企画課へ提出すること。

Zoom による開催の場合も対面開催と同様、出席票の「出席確認欄」に自身の指導教員のサインをもらい、講義中に発言した場合は「講義中に行った質問・発言記入欄」に発言した内容を記載する。ただし、セミナー担当教員のサインは空欄のまま提出する。（後ほど事務から担当教員に確認します。）

大学院特別講義に出席する際の注意事項（※MPH コース科目を履修登録する方は必ずご確認ください。）

以下の MPH コース科目を履修登録する場合は、一部の講義が大学院特別講義と重複しているため、事前に大学院特別講義一覧表に記載されている講義演目を必ず確認し、履修登録した MPH コース科目と重複していない大学院特別講義へご出席ください。なお、MPH コース科目と重複した大学院特別講義に出席した場合には、医歯理工学先端研究特論の出席回数として認められませんのでご注意ください。

＜一部の講義が大学院特別講義と重複している MPH コース科目＞

- Epidemiology II（疫学Ⅱ）
- Public Health Biology（基礎医学概論）
- Planetary Health（プラネタリーヘルス）
- Global Health（グローバルヘルス）
- Healthcare Business（医療ビジネス論）
- Behavioral Sciences（行動科学）
- Environmental Health（環境保健学）

備考

分野等で随時行うセミナー等を、当科目の登録セミナーとするには、指導教員が学務企画課へ事前に照会すること。

※上記のセミナー等は、参加制限なし（誰でも参加可能）、事前登録不要、無料のセミナーであることを原則とする。

Lecture No	031003				
Subject title	Special Lectures for Advanced Research on Life Science and Technology			Subject ID	GH—a3003-L
Instructors					
Semester	YearLong 2024	Level	1st – year	Units	1
Course by the instructor with practical experiences					
Contact: Educational Planning Section, TEL:03-5803-4534、Email: grad02@ml.tmd.ac.jp Availability in English:					
Lecture place Mainly at lecture rooms in TMDU. Announced beforehand.					
Course Purpose and Outline Course Purpose: This course requires students to attend lectures and seminars in which top scientists inside and outside TMDU talk, learn leading advances in research fields, and join in academic discussion. Outline: Students register and attend the research seminars (listed below)held at our university and presented by invited speakers. These seminars should provide students with exposure to forefront research covering a wide range of topic areas from experts in their discipline.					
Course Objective(s) Students have to attend eight or more registered lectures and seminars. Learn advances in research fields, which will be helpful in research for thesis and research, and social activities after graduation.					
Lecture Style Attending lectures and seminars that are announced in advance.					
Course Outline Lectures and seminars that are registered for this course includes: 1) Graduate School Special Lecture「大学院特別講義」 2) Graduate School Seminar「大学院セミナー」 ※「がんプロ」「ボーダレス」seminars are NOT countable. 【URL】 http://www.tmd.ac.jp/faculties/graduate_school/seminar/index.html 3) Medical Research Institute (MRI) Seminar 【URL】 http://www.tmd.ac.jp/mri/events/index.html 4) Institute of Biomaterials and Bioengineering (IBB) Seminar 【URL】 http://www.tmd.ac.jp/ibb/information/ Each lecture and seminar is announced in the poster and the TMDU home page on the following URL. Graduate School Special Lectures are listed in the following pages. Other seminars can be registered in this course if the supervisor apply for it. (They have to be open to any audience without preregistration and free of admission fee.)					
Grading System Students who attend eight or more lectures and seminars are evaluated. The attendance at eight lectures is basically considered to have achieved all the goals. In addition, if a student attends much more than eight times or participates in discussion by asking questions or giving comments, he/she may be considered to have achieved the level higher than expected.					
Prerequisite Reading Refer to the announcement of each lecture and seminar.					
Reference Materials Refer to the announcement of each lecture and seminar.					
Important Course Requirements					

Attend all lectures in the first one year. Specifically, attend the required number of lectures (cf. "Grading System" above) by the end of January of the first year with your attendance record form. In February and March, you do not need to record your attendance into the attendance record form. It is preferable to attend lectures and seminars in a wide range of research fields. Refer to the announcement of each lecture and seminar for language.

Get a signature of your supervisor in the attendance record form each time a student attends it. If you speak something during the seminar (but not after the close of the seminar), write down your remarks in the "comment" area of the attendance record form and get a signature of the host of the lecture. Submit the attendance record form by the end of January of the first one year to Educational Planning Section.

In the case of lectures held by using Zoom:

Get the signature of your supervisor in the "attendance confirmation column" of the attendance record form after attending a lecture, as in the case of the face-to-face lecture. After asking a question or making a discussion in the lecture, write down your remarks in the "comment" area of the attendance record form. The "signature of the instructor in charge of the seminar" area should be left blank. (The office staff will confirm it with the instructor in charge later.)

Important notice for students who attend Graduate School Special Lectures. (This notice is for students who register MPH courses and need to be understood well.) Students who register the following MPH courses, some lectures of which are same as Graduate School Special Lectures, have to check the topics listed in Graduate School Special Lectures in advance carefully and attend Graduate School Special Lectures which are not included in the following MPH courses. Please make sure that your attendance(s) at lectures which are overlapped between subjects in MPH course and Graduate School Special Lectures will not be counted as attendance(s) at lectures in Special Lectures for Advanced Research on Life Science and Technology.

(List of MPH courses which include same lectures as Graduate School Special Lectures)

- Epidemiology II
- Public Health Biology
- Planetary Health
- Global Health
- Healthcare Business
- Behavioral Sciences
- Environmental Health

時間割番号	031004				
科目名	課題研究			科目ID	GH—b3004—T
担当教員					
開講時期	2024 年度2年通年	対象年次	1～2	単位数	4
実務経験のある教員による授業					
担当教員:指導教員(および副指導教員) オフィスアワー:指導教員(および副指導教員)の指定による。 詳細は所属分野のシラバス及び担当教員へ確認すること。					
主な講義場所					
指導教員(および副指導教員)の分野の研究室等、指導教員(および副指導教員)が指定する。					
授業の目的、概要等					
授業目的:研究課題に関する学位論文の完成を念頭に置き、医歯理工保健学における研究とは何かを学び、基本的研究遂行能力を培う。 概要:指導教員(および副指導教員)の指導のもとで研究活動を行う。					
授業の到達目標					
教員の指導のもとに研究課題を設定し、これについての研究計画を立案する。必要な計画変更を加えつつ研究を遂行する。研究成果をまとめて考察を加え修士論文を作成する。					
授業方法					
指導教員(および副指導教員)の指定する方法					
授業内容					
指導教員(および副指導教員)の指定する内容					
成績評価の方法					
成績評価は、修士論文などから総合的に評価を行う。					
準備学習等についての具体的な指示					
指導教員(および副指導教員)の指示による。					
参考書					
指導教員(および副指導教員)の指定による。					
履修上の注意事項					
指導教員(および副指導教員)と普段からコミュニケーションを図ること。					
備考					
課題研究はすべての学生に課せられる。学位申請に関する規則に関しては、学位に関する規則等を参照のこと。					

Lecture No	031004				
Subject title	Research for Thesis		Subject ID	GH—b3004—T	
Instructors					
Semester	YearLong 2024	Level	1st – 2nd year	Units	4
Course by the instructor with practical experiences					
Instructor(s):The supervisor (and the sub-supervisor) Office hours:To be specified by the supervisor(s)					
Lecture place To be specified by the supervisor(s)					
Course Purpose and Outline Course Purpose:Students are supposed to learn what research is in the medical, dental, bioscientfic or engineering fields and to acquire basic ability to perform research. Outline:Research subject is determined in the field of medical, dental, bioscience and bioengineering through discussion with the supervisors. Students actively participate in their research projects to acquire techniques and the ability/skill for assessing the research subject by themselves.					
Course Objective(s) To create a research project, form a research plan, perform research, revise the research plan, summarize the research product, and finalize the thesis.					
Lecture Style To be specified by the supervisor(s)					
Course Outline To be specified by the supervisor(s)					
Grading System Comprehensive grading based on the thesis paper and other achievements					
Prerequisite Reading To be specified by the supervisor(s)					
Reference Materials To be specified by the supervisor(s)					
Important Course Requirements To be specified by the supervisor(s)					
Note(s) to Students This course is required for all students. Please read the article “Application for degree” in this guide book for further information on the policies and regulations of the Graduate School.					

Lecture No	031012				
Subject title	Research for Thesis			Subject ID	
Instructors					
Semester	YearLong 2024	Level	1st – 2nd year	Units	4
Course by the instructor with practical experiences					
課題研究(秋期)					
Instructor(s):The supervisor (and the sub-supervisor)					
Office hours:To be specified by the supervisor(s)					
Lecture place					
To be specified by the supervisor(s)					
Course Purpose and Outline					
Course Purpose:Students are supposed to learn what research is in the medical, dental, bioscientific or engineering fields and to acquire basic ability to perform research.					
Outline:Research subject is determined in the field of medical, dental, bioscience and bioengineering through discussion with the supervisors.					
Students actively participate in their research projects to acquire techniques and the ability/skill for assessing the research subject by themselves.					
Course Objective(s)					
To create a research project, form a research plan, perform research, revise the research plan, summarize the research product, and finalize the thesis.					
Lecture Style					
To be specified by the supervisor(s)					
Course Outline					
To be specified by the supervisor(s)					
Grading System					
Comprehensive grading based on the thesis paper and other achievements					
Prerequisite Reading					
To be specified by the supervisor(s)					
Reference Materials					
To be specified by the supervisor(s)					
Important Course Requirements					
To be specified by the supervisor(s)					
Note(s) to Students					
This course is required for all students. Please read the article “Application for degree” in this guide book for further information on the policies and regulations of the Graduate School.					

時間割番号	031005				
科目名	医科学演習			科目ID	GH—b3005-S
担当教員					
開講時期	2024 年度通年	対象年次	1～	単位数	4
実務経験のある教員による授業					
担当教員:指導教員(および副指導教員) オフィスアワー:指導教員(および副指導教員)の指定による					
主な講義場所 指導教員(および副指導教員)の分野の研究室等、指導教員(および副指導教員)が指定する。					
授業の目的、概要等 授業目的:指導教員(および副指導教員)を交えた少人数環境におけるセミナー等により、医科学研究に必要なプレゼンテーション能力、コミュニケーション能力、情報収集能力、文献検索能力、文献精読能力、論理的思考能力を身につける。 概要:指導教員(および副指導教員)の所属する分野や関連分野のセミナー、輪読会、ジャーナルクラブ、プロGRESSレポート等に参加し、医科学研究の最新知識や技術情報を学び、研究背景・方法および実験技術の基本を理解するなかで、研究に必要な基本能力を獲得する。					
授業の到達目標 医科学研究における、基本的プレゼンテーション能力、文献検索能力、文献精読能力、論理的思考能力等を身につける。					
授業方法 指導教員(および副指導教員)を交えた少人数環境におけるセミナー等					
授業内容 指導教員(および副指導教員)の指定する内容					
成績評価の方法 指導教員(および副指導教員)の指定による。					
準備学習等についての具体的な指示 指導教員(および副指導教員)の指定する内容					
参考書 指導教員(および副指導教員)の指定する参考書					
履修上の注意事項 指導教員(および副指導教員)とよく打ち合わせのこと。					

Lecture No	031005				
Subject title	Seminar of Medical Science		Subject ID	GH—b3005-S	
Instructors					
Semester	YearLong 2024	Level	1st - year	Units	4
Course by the instructor with practical experiences					
Instructor(s): Supervisor (and Vice supervisor) Office hour: To be specified by the supervisor(s)					
Lecture place To be specified by the supervisor(s)					
Course Purpose and Outline Course Purpose: The course teaches presentation skill, communication skill, information-gathering skill, literature-searching skill, and logical thinking skill, which are necessary in master course research in medicine, by attending small-group seminars run by the supervisor(s). Outline: Students attend laboratory seminars and meetings under the guidance of supervisors to acquire the basic research ability in medicine.					
Course Objective(s) A student is supposed to acquire presentation skill, communication skill, information-gathering skill, literature-searching skill, and logical thinking skill, which are necessary in master course research in medicine.					
Lecture Style Practical training in laboratory seminars and meetings under the guidance of supervisors or other staff in the department in man-to-man or a small-group environment.					
Course Outline To be specified by the supervisor(s)					
Grading System To be specified by the supervisor(s)					
Prerequisite Reading To be specified by the supervisor(s)					
Reference Materials To be specified by the supervisor(s)					
Important Course Requirements To be specified by the supervisor(s)					

時間割番号	031006				
科目名	医科学実習			科目ID	GH—b3006-E
担当教員					
開講時期	2024 年度通年	対象年次	1～	単位数	4
実務経験のある教員による授業					
担当教員:指導教員(および副指導教員) オフィスアワー:指導教員(および副指導教員)の指定による					
主な講義場所 指導教員(および副指導教員)の分野の研究室等、指導教員(および副指導教員)が指定する					
授業の目的、概要等 授業目的:医科学研究に必要な実際的な研究手法、研究技術、機器操作方法、データ解析方法、問題解決方法を身につける。 概要:一対一環境または少人数環境における実習指導により、立案した研究課題の遂行に必要な情報収集、実験、データ解析、問題解決のための情報収集法、実験技術や解析手法を学ぶ。					
授業の到達目標 医科学研究のための、情報収集法、実験手技、データ解析方法を習得し、研究遂行のための問題解決能力を培う。					
授業方法 指導教員(および副指導教員)の分野のメンバーによる一対一環境または少人数環境における実習指導による。					
授業内容 指導教員(および副指導教員)の指定する内容					
成績評価の方法 指導教員(および副指導教員)の指定による。					
準備学習等についての具体的な指示 指導教員(および副指導教員)の指定する内容					
参考書 指導教員(および副指導教員)の指定する参考書					
履修上の注意事項 指導教員(および副指導教員)とよく打ち合わせのこと					

Lecture No	031006				
Subject title	Practice of Medical Science		Subject ID	GH—b3006-E	
Instructors					
Semester	YearLong 2024	Level	1st – year	Units	4
Course by the instructor with practical experiences					
Instructor(s): Supervisor (and Vice supervisor) Office hour: To be specified by the supervisor(s)					
Lecture place To be specified by the supervisor(s)					
Course Purpose and Outline Course Purpose: The course teaches practical research methods, techniques, equipment–handling, data analysis and problem–solving, which are necessary in master course research in medical science. Outline: Students learn techniques in bioscience and bioengineering under the guidance of supervisors in man–to–man or a small–group environment.					
Course Objective(s) A student is supposed to acquire practical research methods, techniques, equipment–handling, data analysis and problem–solving, which are necessary in master course research in medical science.					
Lecture Style Practical research training in laboratories under the guidance of supervisors or other staff in the department in man–to–man or a small–group environment.					
Course Outline To be specified by the supervisor(s)					
Grading System To be specified by the supervisor(s)					
Prerequisite Reading To be specified by the supervisor(s)					
Reference Materials To be specified by the supervisor(s)					
Important Course Requirements To be specified by the supervisor(s)					

時間割番号	031007				
科目名	歯科学演習			科目ID	GH—b3007-S
担当教員					
開講時期	2024 年度通年	対象年次	1～	単位数	4
実務経験のある教員による授業					
担当教員:指導教員(および副指導教員) オフィスアワー:指導教員(および副指導教員)の指定による					
主な講義場所 指導教員(および副指導教員)の分野の研究室等、指導教員(および副指導教員)が指定する。					
授業の目的、概要等 授業目的:指導教員(および副指導教員)を交えた少人数環境におけるセミナー等により、歯科学研究に必要なプレゼンテーション能力、コミュニケーション能力、情報収集能力、文献検索能力、文献精読能力、論理的思考能力を身につける。 概要:指導教員(および副指導教員)の所属する分野や関連分野のセミナー、輪読会、ジャーナルクラブ、プロGRESSレポート等に参加し、歯科学研究の最新知識や技術情報を学び、研究背景・方法および実験技術の基本を理解するなかで、研究に必要な基本能力を獲得する。					
授業の到達目標 歯科学研究における、基本的プレゼンテーション能力、文献検索能力、文献精読能力、論理的思考能力等を身につける。					
授業方法 指導教員(および副指導教員)を交えた少人数環境におけるセミナー等					
授業内容 指導教員(および副指導教員)の指定する内容					
成績評価の方法 指導教員(および副指導教員)の指定による。					
準備学習等についての具体的な指示 指導教員(および副指導教員)の指定する内容					
参考書 指導教員(および副指導教員)の指定する参考書					
履修上の注意事項 指導教員(および副指導教員)とよく打ち合わせのこと。					

Lecture No	031007				
Subject title	Seminar of Dental Science		Subject ID	GH—b3007—S	
Instructors					
Semester	YearLong 2024	Level	1st – year	Units	4
Course by the instructor with practical experiences					
Instructor(s): Supervisor (and Vice supervisor) Office hour: To be specified by the supervisor(s)					
Lecture place To be specified by the supervisor(s)					
Course Purpose and Outline Course Purpose: The course teaches presentation skill, communication skill, information-gathering skill, literature-searching skill, and logical thinking skill, which are necessary in master course research in dentistry, by attending small-group seminars run by the supervisor(s). Outline: Students attend laboratory seminars and meetings under the guidance of supervisors to acquire the basic research ability in dentistry.					
Course Objective(s) A student is supposed to acquire presentation skill, communication skill, information-gathering skill, literature-searching skill, and logical thinking skill, which are necessary in master course research in dentistry.					
Lecture Style Practical training in laboratory seminars and meetings under the guidance of supervisors or other staff in the department in man-to-man or a small-group environment.					
Course Outline To be specified by the supervisor(s)					
Grading System To be specified by the supervisor(s)					
Prerequisite Reading To be specified by the supervisor(s)					
Reference Materials To be specified by the supervisor(s)					

時間割番号	031008				
科目名	歯科学実習			科目ID	GH—b3008-E
担当教員					
開講時期	2024 年度通年	対象年次	1～	単位数	4
実務経験のある教員による授業					
担当教員:指導教員(および副指導教員) オフィスアワー:指導教員(および副指導教員)の指定による					
主な講義場所 指導教員(および副指導教員)の分野の研究室等、指導教員(および副指導教員)が指定する。					
授業の目的、概要等 授業目的:歯科学研究に必要な実際的な研究手法、研究技術、機器操作方法、データ解析方法、問題解決方法を身につける。 概要:一対一環境または少人数環境における実習指導により、立案した研究課題の遂行に必要な情報収集、実験、データ解析、問題解決のための情報収集法、実験技術や解析手法を学ぶ。					
授業の到達目標 歯科学研究のための、情報収集法、実験手技、データ解析方法を習得し、研究遂行のための問題解決能力を培う。					
授業方法 指導教員(および副指導教員)の分野のメンバーによる一対一環境または少人数環境における実習指導による。					
授業内容 指導教員(および副指導教員)の指定する内容					
成績評価の方法 指導教員(および副指導教員)の指定による。					
準備学習等についての具体的な指示 指導教員(および副指導教員)の指定する内容					
参考書 指導教員(および副指導教員)の指定する参考書					
履修上の注意事項 指導教員(および副指導教員)とよく打ち合わせのこと					

Lecture No	031008				
Subject title	Practice of Dental Science		Subject ID	GH—b3008-E	
Instructors					
Semester	YearLong 2024	Level	1st – year	Units	4
Course by the instructor with practical experiences					
Instructor(s): Supervisor (and Vice supervisor) Office hour: To be specified by the supervisor(s)					
Lecture place To be specified by the supervisor(s)					
Course Purpose and Outline Course Purpose: The course teaches practical research methods, techniques, equipment–handling, data analysis and problem–solving, which are necessary in master course research in dental science. Outline: Students learn techniques in bioscience and bioengineering under the guidance of supervisors in man–to–man or a small–group environment.					
Course Objective(s) A student is supposed to acquire practical research methods, techniques, equipment–handling, data analysis and problem–solving, which are necessary in master course research in dental science.					
Lecture Style Practical research training in laboratories under the guidance of supervisors or other staff in the department in man–to–man or a small–group environment.					
Course Outline To be specified by the supervisor(s)					
Grading System To be specified by the supervisor(s)					
Prerequisite Reading To be specified by the supervisor(s)					
Reference Materials To be specified by the supervisor(s)					
Important Course Requirements To be specified by the supervisor(s)					

時間割番号	031009				
科目名	口腔保健学演習			科目ID	GH—b3009-S
担当教員					
開講時期	2024 年度通年	対象年次	1～	単位数	4
実務経験のある教員による授業					
担当教員:指導教員(および副指導教員) オフィスアワー:指導教員(および副指導教員)の指定による					
主な講義場所 指導教員(および副指導教員)の分野の研究室等、指導教員(および副指導教員)が指定する。					
授業の目的、概要等 授業目的:指導教員(および副指導教員)を交えた少人数環境におけるセミナー等により、口腔保健学研究に必要なプレゼンテーション能力、コミュニケーション能力、情報収集能力、文献検索能力、文献精読能力、論理的思考能力を身につける。 概要:指導教員(および副指導教員)の所属する分野や関連分野のセミナー、輪読会、ジャーナルクラブ、プロGRESSレポート等に参加し、口腔保健学研究の最新知識や技術情報を学び、研究背景・方法および実験技術の基本を理解するなかで、研究に必要な基本能力を獲得する。					
授業の到達目標 口腔保健学研究における、基本的プレゼンテーション能力、文献検索能力、文献精読能力、論理的思考能力等を身につける。					
授業方法 指導教員(および副指導教員)を交えた少人数環境におけるセミナー等					
授業内容 指導教員(および副指導教員)の指定する内容					
成績評価の方法 指導教員(および副指導教員)の指定による。					
準備学習等についての具体的な指示 指導教員(および副指導教員)の指定する内容					
参考書 指導教員(および副指導教員)の指定する参考書					
履修上の注意事項 指導教員(および副指導教員)とよく打ち合わせのこと。					

Lecture No	031009				
Subject title	Seminar of Oral Health Science			Subject ID	GH—b3009—S
Instructors					
Semester	YearLong 2024	Level	1st – year	Units	4
Course by the instructor with practical experiences					
Instructor(s): Supervisor (and Vice supervisor) Office hour: To be specified by the supervisor(s)					
Lecture place To be specified by the supervisor(s)					
Course Purpose and Outline Course Purpose: The course teaches presentation skill, communication skill, information-gathering skill, literature-searching skill, and logical thinking skill, which are necessary in master course research in oral health, by attending small-group seminars run by the supervisor(s). Outline: Students attend laboratory seminars and meetings under the guidance of supervisors to acquire the basick research ability in oral health.					
Course Objective(s) A student is supposed to acquire presentation skill, communication skill, information-gathering skill, literature-searching skill, and logical thinking skill, which are necessary in master course research in oral health.					
Lecture Style Practical training in laboratory seminars and meatings under the guidance of supervisors or other staff in the department in man-to-man or a small-group environment.					
Course Outline To be specified by the supervisor(s)					
Grading System To be specified by the supervisor(s)					
Prerequisite Reading To be specified by the supervisor(s)					
Reference Materials To be specified by the supervisor(s)					
Important Course Requirements To be specified by the supervisor(s)					

時間割番号	031010				
科目名	口腔保健学実習			科目ID	GH—b3010-E
担当教員					
開講時期	2024 年度通年	対象年次	1～	単位数	4
実務経験のある教員による授業					
担当教員:指導教員(および副指導教員) オフィスアワー:指導教員(および副指導教員)の指定による					
主な講義場所 指導教員(および副指導教員)の分野の研究室等、指導教員(および副指導教員)が指定する。					
授業の目的、概要等 授業目的:口腔保健学研究に必要な実際的な研究手法、研究技術、機器操作方法、データ解析方法、問題解決方法を身につける。 概要:一対一環境または少人数環境における実習指導により、立案した研究課題の遂行に必要な情報収集、実験、データ解析、問題解決のための情報収集法、実験技術や解析手法を学ぶ。					
授業の到達目標 口腔保健学研究のための、情報収集法、実験手技、データ解析方法を習得し、研究遂行のための問題解決能力を培う。					
授業方法 指導教員(および副指導教員)の分野のメンバーによる一対一環境または少人数環境における実習指導による。					
授業内容 指導教員(および副指導教員)の指定する内容					
成績評価の方法 指導教員(および副指導教員)の指定による。					
準備学習等についての具体的な指示 指導教員(および副指導教員)の指定する内容					
参考書 指導教員(および副指導教員)の指定する参考書					
履修上の注意事項 指導教員(および副指導教員)とよく打ち合わせのこと					

Lecture No	031010				
Subject title	Practice of Oral Health Science		Subject ID	GH—b3010-E	
Instructors					
Semester	YearLong 2024	Level	1st – year	Units	4
Course by the instructor with practical experiences					
Instructor(s): Supervisor (and Vice supervisor) Office hour: To be specified by the supervisor(s)					
Lecture place To be specified by the supervisor(s)					
Course Purpose and Outline Course Purpose: The course teaches practical research methods, techniques, equipment–handling, data analysis and problem–solving, which are necessary in master course research in oral health science. Outline: Students learn techniques in bioscience and bioengineering under the guidance of supervisors in man–to–man or a small–group environment.					
Course Objective(s) A student is supposed to acquire practical research methods, techniques, equipment–handling, data analysis and problem–solving, which are necessary in master course research in oral health science.					
Lecture Style Practical research training in laboratories under the guidance of supervisors or other staff in the department in man–to–man or a small–group environment.					
Course Outline To be specified by the supervisor(s)					
Grading System To be specified by the supervisor(s)					
Prerequisite Reading To be specified by the supervisor(s)					
Reference Materials To be specified by the supervisor(s)					
Important Course Requirements To be specified by the supervisor(s)					

時間割番号	031892				
科目名	生命理工学演習			科目ID	GH—b3061—
担当教員					
開講時期	2024 年度通年	対象年次	1	単位数	4
実務経験のある教員による授業					
担当教員:指導教員(および副指導教員) オフィスアワー:指導教員(および副指導教員)の指定による					
主な講義場所 指導教員(および副指導教員)の分野の研究室等、指導教員(および副指導教員)が指定する。					
授業の目的、概要等 授業目的:指導教員(および副指導教員)を交えた少人数環境におけるセミナー等により、生命理工学研究に必要なプレゼンテーション能力、コミュニケーション能力、情報収集能力、文献検索能力、文献精読能力、論理的思考能力を身につける。 概要:指導教員(および副指導教員)の所属する分野や関連分野のセミナー、輪読会、ジャーナルクラブ、プロGRESSレポート等に参加し、生命理工学研究の最新知識や技術情報を学び、研究背景・方法および実験技術の基本を理解するなかで、研究に必要な基本能力を獲得する。					
授業の到達目標 生命理工学研究における、基本的プレゼンテーション能力、文献検索能力、文献精読能力、論理的思考能力等を身につける。					
授業方法 指導教員(および副指導教員)を交えた少人数環境におけるセミナー等					
授業内容 指導教員(および副指導教員)の指定する内容					
成績評価の方法 指導教員(および副指導教員)の指定による。					
準備学習等についての具体的な指示 指導教員(および副指導教員)の指定する内容					
参考書 指導教員(および副指導教員)の指定する参考書					
履修上の注意事項 指導教員(および副指導教員)とよく打ち合わせのこと。					

Lecture No	031892				
Subject title	Seminar of Life Science and Engineering		Subject ID	GH—b3061—	
Instructors					
Semester	YearLong 2024	Level	1st year	Units	4
Course by the instructor with practical experiences					
Instructor(s): Supervisor (and Vice supervisor) Office hour: To be specified by the supervisor(s)					
Lecture place To be specified by the supervisor(s)					
Course Purpose and Outline Course Purpose: The course teaches presentation skill, communication skill, information-gathering skill, literature-searching skill, and logical thinking skill, which are necessary in master course research in Life Science and Engineering, by attending small-group seminars run by the supervisor(s). Outline: Students attend laboratory seminars and meetings under the guidance of supervisors to acquire the basic research ability in Life Science and Engineering.					
Course Objective(s) A student is supposed to acquire presentation skill, communication skill, information-gathering skill, literature-searching skill, and logical thinking skill, which are necessary in master course research in Life Science and Engineering.					
Lecture Style Practical training in laboratory seminars and meetings under the guidance of supervisors or other staff in the department in man-to-man or a small-group environment.					
Course Outline To be specified by the supervisor(s)					
Grading System To be specified by the supervisor(s)					
Prerequisite Reading To be specified by the supervisor(s)					
Reference Materials To be specified by the supervisor(s)					
Important Course Requirements To be specified by the supervisor(s)					

Lecture No	031904				
Subject title	Seminar of Life Science and Engineering			Subject ID	
Instructors					
Semester	YearLong 2024	Level	1st year	Units	4
Course by the instructor with practical experiences					
生命理工学演習(秋期) Instructor(s): Supervisor (and Vice supervisor) Office hour: To be specified by the supervisor(s)					
Lecture place To be specified by the supervisor(s)					
Course Purpose and Outline Course Purpose: The course teaches presentation skill, communication skill, information-gathering skill, literature-searching skill, and logical thinking skill, which are necessary in master course research in Life Science and Engineering, by attending small-group seminars run by the supervisor(s). Outline: Students attend laboratory seminars and meetings under the guidance of supervisors to acquire the basic research ability in Life Science and Engineering.					
Course Objective(s) A student is supposed to acquire presentation skill, communication skill, information-gathering skill, literature-searching skill, and logical thinking skill, which are necessary in master course research in Life Science and Engineering.					
Lecture Style Practical training in laboratory seminars and meetings under the guidance of supervisors or other staff in the department in man-to-man or a small-group environment.					
Course Outline To be specified by the supervisor(s)					
Grading System To be specified by the supervisor(s)					
Prerequisite Reading To be specified by the supervisor(s)					
Reference Materials To be specified by the supervisor(s)					
Important Course Requirements To be specified by the supervisor(s)					

時間割番号	031893				
科目名	生命理工学実習			科目ID	GH—b3062—
担当教員					
開講時期	2024 年度通年	対象年次	1	単位数	4
実務経験のある教員による授業					
担当教員:指導教員(および副指導教員) オフィスアワー:指導教員(および副指導教員)の指定による					
主な講義場所 指導教員(および副指導教員)の分野の研究室等、指導教員(および副指導教員)が指定する。					
授業の目的、概要等 授業目的:生命理工学研究に必要な実際的な研究手法、研究技術、機器操作方法、データ解析方法、問題解決方法を身につける。 概要:一対一環境または少人数環境における実習指導により、立案した研究課題の遂行に必要な情報収集、実験、データ解析、問題解決のための情報収集法、実験技術や解析手法を学ぶ。					
授業の到達目標 生命理工学研究のための、情報収集法、実験手技、データ解析方法を習得し、研究遂行のための問題解決能力を培う。					
授業方法 指導教員(および副指導教員)の分野のメンバーによる一対一環境または少人数環境における実習指導による。					
授業内容 指導教員(および副指導教員)の指定する内容					
成績評価の方法 指導教員(および副指導教員)の指定による。					
準備学習等についての具体的な指示 指導教員(および副指導教員)の指定する内容					
参考書 指導教員(および副指導教員)の指定する参考書					
履修上の注意事項 指導教員(および副指導教員)とよく打ち合わせのこと					

Lecture No	031893				
Subject title	Practice of Life Science and Engineering		Subject ID	GH—b3062—	
Instructors					
Semester	YearLong 2024	Level	1st year	Units	4
Course by the instructor with practical experiences					
Instructor(s): Supervisor (and Vice supervisor) Office hour: To be specified by the supervisor(s)					
Lecture place To be specified by the supervisor(s)					
Course Purpose and Outline Course Purpose: The course teaches practical research methods, techniques, equipment-handling, data analysis and problem-solving, which are necessary in master course research in Life science and engineering. Outline: Students learn techniques in bioscience and bioengineering under the guidance of supervisors in man-to-man or a small-group environment.					
Course Objective(s) A student is supposed to acquire practical research methods, techniques, equipment-handling, data analysis and problem-solving, which are necessary in master course research in Life science and engineering.					
Lecture Style Practical research training in laboratories under the guidance of supervisors or other staff in the department in man-to-man or a small-group environment.					
Course Outline To be specified by the supervisor(s)					
Grading System To be specified by the supervisor(s)					
Prerequisite Reading To be specified by the supervisor(s)					
Reference Materials To be specified by the supervisor(s)					
Important Course Requirements To be specified by the supervisor(s)					

Lecture No	031905				
Subject title	Practice of Life Science and Engineering			Subject ID	
Instructors					
Semester	YearLong 2024	Level	1st year	Units	4
Course by the instructor with practical experiences					
生命理工学実習(秋期) Instructor(s): Supervisor (and Vice supervisor) Office hour: To be specified by the supervisor(s)					
Lecture place To be specified by the supervisor(s)					
Course Purpose and Outline Course Purpose: The course teaches practical research methods, techniques, equipment-handling, data analysis and problem-solving, which are necessary in master course research in Life science and engineering. Outline: Students learn techniques in bioscience and bioengineering under the guidance of supervisors in man-to-man or a small-group environment.					
Course Objective(s) A student is supposed to acquire practical research methods, techniques, equipment-handling, data analysis and problem-solving, which are necessary in master course research in Life science and engineering.					
Lecture Style Practical research training in laboratories under the guidance of supervisors or other staff in the department in man-to-man or a small-group environment.					
Course Outline To be specified by the supervisor(s)					
Grading System To be specified by the supervisor(s)					
Prerequisite Reading To be specified by the supervisor(s)					
Reference Materials To be specified by the supervisor(s)					
Important Course Requirements To be specified by the supervisor(s)					

時間割番号	031894				
科目名	保健学演習			科目ID	GH—b3113—
担当教員					
開講時期	2024 年度通年	対象年次	1	単位数	4
実務経験のある教員による授業					
担当教員:指導教員(および副指導教員) オフィスアワー:指導教員(および副指導教員)の指定による					
主な講義場所					
指導教員(および副指導教員)の分野の研究室等、指導教員(および副指導教員)が指定する。					
授業の目的、概要等					
授業目的:指導教員(および副指導教員)を交えた少人数環境におけるセミナー等により、保健学研究に必要なプレゼンテーション能力、コミュニケーション能力、情報収集能力、文献検索能力、文献精読能力、論理的思考能力を身につける。 概要:指導教員(および副指導教員)の所属する分野や関連分野のセミナー、輪読会、ジャーナルクラブ、プロGRESSレポート等に参加し、保健学研究の最新知識や技術情報を学び、研究背景・方法および実験技術の基本を理解するなかで、研究に必要な基本能力を獲得する。					
授業の到達目標					
保健学研究における、基本的プレゼンテーション能力、文献検索能力、文献精読能力、論理的思考能力等を身につける。					
授業方法					
指導教員(および副指導教員)を交えた少人数環境におけるセミナー等					
授業内容					
指導教員(および副指導教員)の指定する内容					
成績評価の方法					
指導教員(および副指導教員)の指定による。					
準備学習等についての具体的な指示					
指導教員(および副指導教員)の指定する内容					
参考書					
指導教員(および副指導教員)の指定する参考書					
履修上の注意事項					
指導教員(および副指導教員)とよく打ち合わせのこと。					

Lecture No	031894				
Subject title	Seminar of Medical Laboratory Science			Subject ID	GH—b3113—
Instructors					
Semester	YearLong 2024	Level	1st year	Units	4
Course by the instructor with practical experiences					
Instructor(s): Supervisor (and Vice supervisor) Office hour: To be specified by the supervisor(s)					
Lecture place To be specified by the supervisor(s)					
Course Purpose and Outline Course Purpose: The course teaches presentation skill, communication skill, information-gatheringskill, literature-searching skill, and logical thinking skill, which are necessary in master course research in in medical laboratory science, by attedning small-groupseminars run by the supervisor(s). Outline: Students attend laboratory seminars and meetings under the guidance of supervisors to acquire the basick research ability in medical laboratory science.					
Course Objective(s) A student is supposed to acquire presentation skill, communication skill, information-gathering skill, literature-searching skill, and logical thinking skill, which are necessary in master course research in in medical laboratory science.					
Lecture Style Practical training in laboratory seminars and meatings under the guidance of supervisors or other staff in the department in man-to-man or a small-group environment.					
Course Outline To be specified by the supervisor(s)					
Grading System To be specified by the supervisor(s)					
Prerequisite Reading To be specified by the supervisor(s)					
Reference Materials To be specified by the supervisor(s)					
Important Course Requirements To be specified by the supervisor(s)					

時間割番号	031895				
科目名	保健学実習			科目ID	GH—b3114—
担当教員					
開講時期	2024 年度通年	対象年次	1	単位数	4
実務経験のある教員による授業					
担当教員:指導教員(および副指導教員) オフィスアワー:指導教員(および副指導教員)の指定による					
主な講義場所 指導教員(および副指導教員)の分野の研究室等、指導教員(および副指導教員)が指定する。					
授業の目的、概要等 授業目的:保健学研究に必要な実際的な研究手法、研究技術、機器操作方法、データ解析方法、問題解決方法を身につける。 概要:一対一環境または少人数環境における実習指導により、立案した研究課題の遂行に必要な情報収集、実験、データ解析、問題解決のための情報収集法、実験技術や解析手法を学ぶ。					
授業の到達目標 保健学研究のための、情報収集法、実験手技、データ解析方法を習得し、研究遂行のための問題解決能力を培う。					
授業方法 指導教員(および副指導教員)の分野のメンバーによる一対一環境または少人数環境における実習指導による。					
授業内容 指導教員(および副指導教員)の指定する内容					
成績評価の方法 指導教員(および副指導教員)の指定による。					
準備学習等についての具体的な指示 指導教員(および副指導教員)の指定する内容					
参考書 指導教員(および副指導教員)の指定する参考書					
履修上の注意事項 指導教員(および副指導教員)とよく打ち合わせのこと。					

Lecture No	031895				
Subject title	Practice of Medical Laboratory Science			Subject ID	GH—b3114—
Instructors					
Semester	YearLong 2024	Level	1st year	Units	4
Course by the instructor with practical experiences					
Instructor(s): Supervisor (and Vice supervisor) Office hour: To be specified by the supervisor(s)					
Lecture place To be specified by the supervisor(s)					
Course Purpose and Outline Course Purpose: The course teaches practical research methods, techniques, equipment-handling, data analysis and problem-solving, which are necessary in master course research in medical laboratory science. Outline: Students learn techniques in bioscience and bioengineering under the guidance of supervisors in man-to-man or a small-group environment.					
Course Objective(s) A student is supposed to acquire practical research methods, techniques, equipment-handling, data analysis and problem-solving, which are necessary in master course research in medical laboratory science.					
Lecture Style Practical research training in laboratories under the guidance of supervisors or other staff in the department in man-to-man or a small-group environment.					
Course Outline To be specified by the supervisor(s)					
Grading System To be specified by the supervisor(s)					
Prerequisite Reading To be specified by the supervisor(s)					
Reference Materials To be specified by the supervisor(s)					
Important Course Requirements To be specified by the supervisor(s)					

時間割番号	031013				
科目名	人体形態学			科目ID	GH—b3013-L
担当教員	寺田 純雄, 中田 隆夫, 秋田 恵一, 田畑 純, 岩永 譲[TERADA SUMIO, NAKATA TAKAO, AKITA KEIICHI, TABATA MAKOTO, IWANAGA JO]				
開講時期	2024 年度前期	対象年次	1～	単位数	1
実務経験のある教員による授業					
英語による授業:全て日本語で行う。					
授業の目的、概要等					
授業目的:医歯学研究者として必要となる、人体の形態学的な研究方法についての基礎的な知識を与えること。					
概要:					
中田教授 ヒト組織の構造と機能					
秋田教授 人体構造とその機能					
寺田教授 神経系の解剖・組織学					
田畑准教授 歯と口腔の組織学・発生学					
岩永教授 歯と口腔の解剖学					
授業の到達目標					
生命科学の研究は、構造と物質と機能の三つの側面から生命現象を理解することによって進んできた。人体の構造を理解する為に、解剖学が生まれ、それは最も古典的な医歯学研究の手法として現在まで生き続けている。一方で最先端の生命科学研究では、単分子構造の解析や分子複合体の解析などにおいて、形態学は必須の研究手法となっている。このような多様な形態学の研究手法、形態学独自のものの見方を学生諸君に伝えることを目指す。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/10	10:30-12:00	遠隔授業(非同期型)	ヒト組織の構造と機能(1)	中田 隆夫
2	4/10	13:00-14:30	遠隔授業(非同期型)	口腔解剖学(1)歯	岩永 譲
3	4/23	10:30-12:00	遠隔授業(非同期型)	口腔解剖学(2)口腔	岩永 譲
4	4/23	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	口腔組織学(1)歯	田畑 純
5	4/24	10:30-12:00	遠隔授業(非同期型)	ヒト組織の構造と機能(2)	中田 隆夫
6	4/24	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	口腔組織学 (2)口腔	田畑 純
7	4/30	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	人体構造とその機能	秋田 恵一
8	4/30	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	神経系の解剖・組織学	寺田 純雄
授業方法					
講義形式による。					
成績評価の方法					
筆記試験に基づいて評価を行う。					
成績評価の基準					
60%以上の正答率をもって合格とする。					
準備学習等についての具体的な指示					
大学の生命系学部レベルを越える特段の予備知識や準備は要求しないが、生命科学科目の履修経験が十分でない場合は、大学教養レベルの生物学の教科書(簡略なもので構わない)を通読してから授業に臨むこと。					
参考書					
細胞生物学・組織学関連					
(1) 細胞生物学・組織学の要点整理 Gartner et al. 山内訳 メディカルサイエンスインターナショナル					
(2) 最新カラー組織学 Gartner et al. 石村、井上監訳 西村書店					
(3) Molecular Cell Biology Lodish et al. Freeman and Co.					
(4) Molecular Biology of the Cell, Alberts et al. Garland					
生物顕微鏡関連					
(1) 顕微鏡の使い方ノート 羊土社					

(2) 顕微鏡フル活用イラストレイテッド 秀潤社 (3) Protein Localization by Fluorescence Microscopy Allan edit. Oxford Univ. Press 肉眼解剖学関連 (1) ラングマン 人体発生学 Sadler 安田、沢野訳 メディカルサイエンスインターナショナル (2) グレイ解剖学 原著第3版 Drake et al. 塩田、秋田監訳 エルゼビア・ジャパン (3) 人体解剖学 藤田 南江堂 神経解剖学関連 (1) 分冊解剖学アトラス3神経系と感覚器 文光堂 (2) 図説中枢神経系 医学書院 (3) The Human Brain and Spinal Cord, Heimer, Springer-Verlag 口腔組織学関連 (1) 口腔の発生と組織 第4版 南山堂 2019 (2) 口腔の機能と解剖 南山堂 2021
履修上の注意事項 講義を契機として上掲の参考書のうち気に入ったものを通読し、知識と理解を深めることを推奨する。
備考 形態学は生命体のマクロから単分子構造までを対象とする幅広い学問分野であり、生命科学を探究する上での基盤として位置づけられる。

Lecture No	031013				
Subject title	Human Anatomy, Histology and Embryology			Subject ID	GH—b3013—L
Instructors	寺田 純雄, 中田 隆夫, 秋田 恵一, 田畑 純, 岩永 譲[TERADA SUMIO, NAKATA TAKAO, AKITA KEIICHI, TABATA MAKOTO, IWANAGA JO]				
Semester	Spring 2024	Level	1st – year	Units	1
Course by the instructor with practical experiences					
Availability in English:All classes are taught in Japanese.					
Course Purpose and Outline					
Course Purpose:The aim of this course is to provide students with a basic understanding of the morphological organization of the human body, based on human anatomy, oral anatomy, histology and embryology in sufficient depth to form the basis for further research studies.					
Outline:Histology (by Prof. NAKATA), Human Anatomy and Embryology (by Prof. AKITA), Neuroanatomy (by Prof. TERADA), and Oral Anatomy (by Prof. IWANAGA) and Histology (by Associate Prof. TABATA)					
Course Objective(s)					
(1) To provide an overview of the organization of the human body and to understand its gross structures and cytoarchitectures. (2) To obtain a basic understanding of the techniques as well as viewpoints used to investigate morphological and functional aspects of the human body.					
Lecture plan					
No	Date	Time	Room	Lecture theme	Staff
1	4/10	10:30-12:00	遠隔授業(非同期型)		NAKATA TAKAO
2	4/10	13:00-14:30	遠隔授業(非同期型)		IWANAGA JO
3	4/23	10:30-12:00	遠隔授業(非同期型)		IWANAGA JO
4	4/23	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)		TABATA MAKOTO
5	4/24	10:30-12:00	遠隔授業(非同期型)		NAKATA TAKAO
6	4/24	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)		TABATA MAKOTO
7	4/30	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)		AKITA KEIICHI
8	4/30	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)		TERADA SUMIO
Lecture Style					
Lectures: open to every student interested in attending.					
Grading System					
Grading will be based on both class participation and an examination (in English or Japanese).					
Grading Rule					
Over 60 % score is necessary for accreditation.					
Prerequisite Reading					
Prerequisite: Basic undergraduate-level textbooks on biomedical sciences					
Reference Materials					
(1) Molecular Cell Biology Lodish et al. Freeman and Co.					
(2) Molecular Biology of the Cell, Alberts et al. Garland					
(3) Protein Localization by Fluorescence Microscopy Allan edit. Oxford Univ. Press					
(4) The Human Brain and Spinal Cord, Heimer, Springer-Verlag					
(5) Bones and Cartilage, Hall, Springer-Elsevier					
(6) Ten Cate’s Oral Histology Nanci, Mosby					
Important Course Requirements					
Consult your academic advisor in advance on schedule before taking the course.					

時間割番号	031014				
科目名	口腔形態学		科目ID	GH—b3014-L	
担当教員	岩永 譲, 中田 隆夫, 秋田 恵一, 寺田 純雄, 田畑 純[IWANAGA JO, NAKATA TAKAO, AKITA KEIICHI, TERADA SUMIO, TABATA MAKOTO]				
開講時期	2024 年度前期	対象年次	1～	単位数	1
実務経験のある教員による授業					
英語による授業:全て日本語で行う。					
授業の目的、概要等					
授業目的:医歯学研究者として必要となる、人体の形態学的な研究方法についての基礎的な知識を与えること。					
概要:					
中田教授 ヒト組織の構造と機能					
秋田教授 人体構造とその機能					
寺田教授 神経系の解剖・組織学					
岩永教授 歯と口腔の解剖学・					
田畑准教授 歯と口腔の組織学・発生学					
授業の到達目標					
生命科学の研究は、構造と物質と機能の三つの側面から生命現象を理解することによって進んできた。人体の構造を理解する為に、解剖学が生まれ、それは最も古典的な医歯学研究の手法として現在まで生き続けている。一方で最先端の生命科学研究では、単分子構造の解析や分子複合体の解析などにおいて、形態学は必須の研究手法となっている。このような多様な形態学の研究手法、形態学独自のものの見方を学生諸君に伝えることを目指す。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/10	10:30-12:00	遠隔授業(非同期型)	ヒト組織の構造と機能(1)	中田 隆夫
2	4/10	13:00-14:30	遠隔授業(非同期型)	口腔解剖学(1)歯	岩永 譲
3	4/23	10:30-12:00	遠隔授業(非同期型)	口腔解剖学(2)口腔	岩永 譲
4	4/23	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	口腔組織学(1)歯	田畑 純
5	4/24	10:30-12:00	遠隔授業(非同期型)	ヒト組織の構造と機能(2)	中田 隆夫
6	4/24	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	口腔組織学(2)口腔	田畑 純
7	4/30	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	人体構造とその機能	秋田 恵一
8	4/30	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	神経系の解剖・組織学	寺田 純雄
授業方法					
講義形式による。					
成績評価の方法					
筆記試験に基づいて評価を行う。					
成績評価の基準					
60%以上の正答率をもって合格とする。					
準備学習等についての具体的な指示					
大学の生命系学部レベルを越える特段の予備知識や準備は要求しないが、生命科学科目の履修経験が十分でない場合は、大学教養レベルの生物学の教科書(簡略なもので構わない)を通読してから授業に臨むこと。					
教科書					
口腔の発生と組織 = Oral Embryology and Histology／田畑純 著,田畑 純, 1961-,:南山堂, 2019					
口腔の機能と解剖 = Oral function and anatomy／田畑純 角田佳折著,田畑 純,角田 佳折,:南山堂, 2021					
参考書					
細胞生物学・組織学関連					
(1) 細胞生物学・組織学の要点整理 Gartner et al. 山内訳 メディカルサイエンスインターナショナル					
(2) 最新カラー組織学 Gartner et al. 石村、井上監訳 西村書店					
(3) Molecular Cell Biology Lodish et al. Freeman and Co.					

(4) Molecular Biology of the Cell, Alberts et al. Garland

生物顕微鏡関連

(1) 顕微鏡の使い方ノート 羊土社

(2) 顕微鏡フル活用イラストレイテッド 秀潤社

(3) Protein Localization by Fluorescence Microscopy Allan edit. Oxford Univ. Press

肉眼解剖学関連

(1) ラングマン 人体発生学 Sadler 安田、沢野訳 メディカルサイエンスインターナショナル

(2) グレイ解剖学 原著第3版 Drake et al. 塩田、秋田監訳 エルゼビア・ジャパン

(3) 人体解剖学 藤田 南江堂

神経解剖学関連

(1) 分冊解剖学アトラス3神経系と感覚器 文光堂

(2) 図説中枢神経系 医学書院

(3) The Human Brain and Spinal Cord, Heimer, Springer-Verlag

口腔組織学関連

(1) 口腔の発生と組織 第4版 南山堂 2019

(2) 口腔の機能と解剖 南山堂 2021

履修上の注意事項

講義を契機として上掲の参考書のうち気に入ったものを通読し、知識と理解を深めることを推奨する。

備考

形態学は生命体のマクロから単分子構造までを対象とする幅広い学問分野であり、生命科学を探究する上での基盤として位置づけられる。

Lecture No	031014				
Subject title	Oral Anatomy, Histology and Embryology			Subject ID	GH—b3014—L
Instructors	岩永 譲, 中田 隆夫, 秋田 恵一, 寺田 純雄, 田畑 純[IWANAGA JO, NAKATA TAKAO, AKITA KEIICHI, TERADA SUMIO, TABATA MAKOTO]				
Semester	Spring 2024	Level	1st – year	Units	1
Course by the instructor with practical experiences					
Availability in English:All classes are taught in Japanese.					
Course Purpose and Outline					
Course Purpose:The aim of this course is to provide students with a basic understanding of the morphological organization of the human body, based on human anatomy, oral anatomy, histology and embryology in sufficient depth to form the basis for further research studies.					
Outline:Histology (by Prof. NAKATA), Human Anatomy and Embryology (by Prof. AKITA), Neuroanatomy (by Prof. TERADA), Oral Anatomy (by Prof. IWANAGA) and Oral Histology (by Associate Prof. TABATA)					
Course Objective(s)					
(1) To provide an overview of the organization of the human body and to understand its gross structures and cytoarchitectures. (2) To obtain a basic understanding of the techniques as well as viewpoints used to investigate morphological and functional aspects of the human body.					
Lecture plan					
No	Date	Time	Room	Lecture theme	Staff
1	4/10	10:30-12:00	遠隔授業(非同期型)		NAKATA TAKAO
2	4/10	13:00-14:30	遠隔授業(非同期型)		IWANAGA JO
3	4/23	10:30-12:00	遠隔授業(非同期型)		IWANAGA JO
4	4/23	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)		TABATA MAKOTO
5	4/24	10:30-12:00	遠隔授業(非同期型)		NAKATA TAKAO
6	4/24	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)		TABATA MAKOTO
7	4/30	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)		AKITA KEIICHI
8	4/30	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)		TERADA SUMIO
Lecture Style					
Lectures: open to every student interested in attending.					
Grading System					
Grading will be based on both class participation and an examination (in English or Japanese).					
Grading Rule					
Over 60 % score is necessary for accreditation.					
Prerequisite Reading					
Prerequisite: Basic undergraduate-level textbooks on biomedical sciences					
TextBook					
口腔の発生と組織 = Oral Embryology and Histology／田畑純 著,田畑 純, 1961-,:南山堂, 2019					
口腔の機能と解剖 = Oral function and anatomy／田畑純, 角田佳折著,田畑 純,角田 佳折,:南山堂, 2021					
Reference Materials					
(1) Molecular Cell Biology Lodish et al. Freeman and Co.					
(2) Molecular Biology of the Cell, Alberts et al. Garland					
(3) Protein Localization by Fluorescence Microscopy Allan edit. Oxford Univ. Press					
(4) The Human Brain and Spinal Cord, Heimer, Springer-Verlag					
(5) Bones and Cartilage, Hall, Springer-Elsevier					
(6) Ten Cate’s Oral Histology Nanci, Mosby					
Important Course Requirements					
Consult your academic advisor in advance on schedule before taking the course.					

時間割番号	031015				
科目名	人体機能学			科目ID	GH-b3015-L
担当教員	磯村 宜和, 辻本 和峰, 蘇原 映誠, 永石 宇司, 田澤 立之, 杉原 泉, 吉井 俊貴, 前嶋 康浩[ISOMURA Yoshikazu, TSUJIMOTO Kazutaka, SOHARA EISEI, NAGAISHI TAKASHI, TAZAWA Ryuushi, SUGIHARA IZUMI, YOSHII TOSHITAKA, MAEJIMA YASUHIRO]				
開講時期	2024 年度前期	対象年次	1～	単位数	1
実務経験のある教員による授業					
英語による授業:留学生が履修登録した場合には英語で行う。					
主な講義場所					
同期型(Zoom)または非同期型(動画視聴)の遠隔授業を行う。事前の案内で確認すること。					
授業の目的、概要等					
授業目的:人体の各器官は生命活動を円滑に維持するために、それぞれの臓器・組織に特有な機能を発揮している。各々に特有な機能とその発現機構に関する知識を獲得、機能解析の方法論や機能破綻による障害や疾患の発症につながる基本事項を理解して、医学研究の進め方の基礎知識を習得する。					
概要:各器官系の機能的特徴、機能発現の機序、機能発現のための構造的基盤、機能破綻と障害・疾患の発症との関連、などについて講義する。生命活動を維持するために果たす人体各器官の機能とその発現機序、ならびにそれらについての機能解析の方法論などを体系的に教授する。					
授業の到達目標					
主として医学修士・歯科修士を目指す学生が、課題研究の遂行や課程終了後の研究・社会活動に必要な、人体各器官・臓器・組織の生理学的機能の基礎的知識とその解析方法を理解する。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	5/14	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	人体機能学概論(医学と生理学の歴史的背景)	杉原 泉
2	5/15	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	消化器系の機能(腸管の機能と疾患を中心に)	永石 宇司
3	5/17	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	筋骨格系の機能	吉井 俊貴
4	5/23	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	内分泌系の機能(甲状腺ホルモンによる全身調節)	辻本 和峰
5	5/31	08:50-10:20	遠隔授業(非同期型)	呼吸器系の機能(呼吸生理学)	田澤 立之
6	6/5	16:20-17:50	遠隔授業(同期型)	循環器系の機能	前嶋 康浩
7	6/7	08:50-10:20	遠隔授業(非同期型)	腎臓系の機能	蘇原 映誠
8	6/7	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	神経系の機能(脳の行動発現機構)	磯村 宜和
授業方法					
各専門分野の教員が分担して講義形式の授業を行う。同期型(Zoom)または、非同期型(動画視聴)の遠隔授業を行う。					
授業内容					
主要な器官系の機能を解説する。					
成績評価の方法					
授業の参加状況と聴講態度(50%、ただし、2/3 以上の出席が必要)、及びレポート(50%、課題は下に記載)に基づいて総合的に評価を行う。学会出席等により授業の参加が 2/3 に満たない場合には、代わりの課題を課す。					
成績評価の基準					
授業の参加状況とレポート課題による総合的評価が 60/100 点を超えること。					
準備学習等についての具体的な指示					
関連する授業(特に人体形態学)を適宜復習し、また参考書にて人体の主要な器官系の機能に関係する事項を予習しておくことを勧める。					
参考書					
ガイドン生理学／Guyton, Arthur C,Hall, John Edward, 1946-,石川, 義弘,岡村, 康司,尾仲, 達史,金子, 猛, 呼吸器内科学,北村, 義浩,藤乗, 嗣泰,ガイドン [原著],John E.Hall 著,石川義弘, 岡村康司, 尾仲達史, 河野憲二 総監訳,金子猛, 北村義浩, 藤乗嗣泰, 松嶋成志 監訳:エルゼビア・ジャパン, 2018.3					
ギャノン生理学／Barrett, Kim E,Barman, Susan M,Boitano, Scott,岡田, 泰伸,佐久間, 康夫, 1946-,岡村, 康司,Kim E.Barrett, Susan M,Barman, Scott Boitano, Heddwen L,Brooks [著],岡田泰伸 監修,佐久間康夫, 岡村康司 監訳:丸善出版, 2017.11					

標準生理学／本間, 研一, 1946-,大森, 治紀, 1950-,大橋, 俊夫, 1949-,本間研一 監修,大森治紀, 大橋俊夫 総編集:医学書院, 2019.3 臨床がわかる腎生理／Danziger, John,Zeidel, Mark,Parker, Michael J,柴垣, 有吾,上原, 温子,John Danziger, Mark Zeidel, Michael J.Parker 著, 柴垣有吾 監修,上原温子 監訳:中外医学社, 2018.10 体液異常と腎臓の病態生理／Rennke, Helmut G,Denker, Bradley M,黒川, 清, 1936-,和田, 健彦,花房, 規男,ヘルムート G.レンケ, ブラッドリー M.デンカー 著,黒川清 監修,和田健彦, 花房規男 監訳:メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2015.3 参考書の多くは図書館で閲覧可能。内容が多岐にわたるので各授業内容の担当教員にも直接相談すること。
履修上の注意事項 授業中に積極的に質問することが望ましい。
備考 【レポート課題】 人体機能学の講義のなかから1つを選び、その講義から学んだ知識や技術や考え方が各自の計画している修士課程の研究課題にどのような着想やヒントや応用を与えそうかについて、A4判2ページ以上で論じてください。 書き直しと再提出を課す場合がある。特に、講義内容から得た着想やヒントや応用を記述することが必要であり、それとは無関係に自分の研究課題について記述しているのでは評価は低い。 提出期限:授業終了から4週間後の週の金曜日 提出場所:WebClass 上の提出場所に、word ファイルまたは pdf ファイルをアップロードのこと。
連絡先(メールアドレス) 礒村 宜和isomura.phy2@tmd.c.jp
オフィスアワー 礒村 宜和:平日朝10時～夕方6時まで ※授業の内容に関する質問は、各回の担当教員に直接尋ねてください。 ※試験・レポートに関することは、なるべく科目責任者(礒村)にまとめて問い合わせ、各担当教員に直接尋ねることは極力避けてください。

Lecture No	031015				
Subject title	Functional Organization of the Human Body			Subject ID	GH—b3015-L
Instructors	磯村 宜和, 辻本 和峰, 蘇原 映誠, 永石 宇司, 田澤 立之, 杉原 泉, 吉井 俊貴, 前嶋 康浩[ISOMURA Yoshikazu, TSUJIMOTO Kazutaka, SOHARA EISEI, NAGAISHI TAKASHI, TAZAWA Ryuushi, SUGIHARA IZUMI, YOSHII TOSHITAKA, MAEJIMA YASUHIRO]				
Semester	Spring 2024	Level	1st – year	Units	1
Course by the instructor with practical experiences					
Availability in English:When an international student registers this subject for credits, this course is taught in English.					
Lecture place					
The course will be held through the internet in the synchronous (Zoom) or asynchronous way depending on the lecturer. Please confirm how each class is held in advance.					
Course Purpose and Outline					
Course Purpose: Each organ and tissue of the human body has a particular function to maintain the integrated life activity of the whole body. This course aims at understanding the particular function and its underlying mechanisms, its analysis methodologies and disorders, and diseases caused by its dysfunction.					
Outline: Each instructor makes a lecture about the function of a particular organ and tissue which is related to his/her specialty. The lecture covers the characteristics, mechanisms and morphological basis of expression of the function, and the relationship between dysfunction and its associated diseases.					
Course Objective(s)					
Students are supposed to acquire basic knowledge of physiological function and its analysis methodology of each main organ and tissue in the human body, which is helpful in their research for thesis and research, and social activities after graduation.					
Lecture plan					
No	Date	Time	Room	Lecture theme	Staff
1	5/14	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	Human Physiology: Introduction – Historical background of medicine and physiology	SUGIHARA IZUMI
2	5/15	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	Digestive system function – Focusing on function and diseases of intestinal tract	NAGAISHI TAKASHI
3	5/17	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	Musculoskeletal system function	YOSHII TOSHITAKA
4	5/23	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	Endocrine system function – Systemic regulation by thyroid hormone	TSUJIMOTO Kazutaka
5	5/31	08:50-10:20	遠隔授業(非同期型)	Respiratory system function – Respiratory physiology	TAZAWA Ryuushi
6	6/5	16:20-17:50	遠隔授業(同期型)	Circulatory system function	MAEJIMA YASUHIRO
7	6/7	08:50-10:20	遠隔授業(非同期型)	Kidney function	SOHARA EISEI
8	6/7	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	Nervous system function – Brain mechanism of behaviors	ISOMURA Yoshikazu
Lecture Style					
Lecture-style classes will be conducted by faculty members in each area of expertise. Synchronous (Zoom) or asynchronous (video viewing) remote classes will be conducted depending on the lecturer.					
Course Outline					
The functions of the major organ systems will be explained in the lectures.					
Grading System					
Evaluation is based on participation in and attitude to the lectures (50 %, but 2/3 attendance is required), and report (50 %, theme are given below). In case one cannot attend 2/3 of lectures because he/she attends academic meetings for example, other assignments may be given.					
Grading Rule					
An overall evaluation based on class participation and report assignments must exceed 60/100 points.					
Prerequisite Reading					
It is recommended that students review related courses (especially human morphology) as appropriate, and also prepare for the major organ					

systems of the human body and their functions in reference books.
Reference Materials ガイトン生理学／Guyton, Arthur C,Hall, John Edward, 1946-,石川, 義弘,岡村, 康司,尾仲, 達史,金子, 猛, 呼吸器内科学,北村, 義浩,藤乗, 嗣泰,ガイトン [原著],John E.Hall 著,石川義弘, 岡村康司, 尾仲達史, 河野憲二 総監訳,金子猛, 北村義浩, 藤乗嗣泰, 松嶋成志 監訳:エルゼビア・ジャパン, 2018.3 ギャノン生理学／Barrett, Kim E,Barman, Susan M,Boitano, Scott,岡田, 泰伸,佐久間, 康夫, 1946-,岡村, 康司,Kim E.Barrett, Susan M.Barman, Scott Boitano, Heddwon L.Brooks [著],岡田泰伸 監修,佐久間康夫, 岡村康司 監訳:丸善出版, 2017.11 標準生理学／本間, 研一, 1946-,大森, 治紀, 1950-,大橋, 俊夫, 1949-,本間研一 監修,大森治紀, 大橋俊夫 総編集:医学書院, 2019.3 臨床がわかる腎生理／Danziger, John,Zeidel, Mark,Parker, Michael J,柴垣, 有吾,上原, 温子,John Danziger, Mark Zeidel, Michael J.Parker 著, 柴垣有吾 監修,上原温子 監訳:中外医学社, 2018.10 体液異常と腎臓の病態生理／Rennke, Helmut G,Denker, Bradley M,黒川, 清, 1936-,和田, 健彦,花房, 規男,ヘルムート G.レンケ, ブラッドリー M.デンカー 著,黒川清 監修,和田健彦, 花房規男 監訳:メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2015.3 Many of the reference books can be viewed at the library. Since the content is diverse, please consult directly with the lecturer in charge of each class content.
Important Course Requirements Students are encouraged to actively ask questions during class.
Note(s) to Students Theme of Reports (Essay) Pick up one of lectures in the course that you attended. Describe how that the lecture gave you ideas, hints, or applications to your plan of research in the master's course in at least two pages (A4 size, word or pdf file). Rewriting may be required if the submitted report is not enough good. It is important to describe about the content of the lecture. Deadline: Friday of the fourth week after the end of the course. Submission place: Upload a Word file or a PDF file in the WebClass.
Email ISOMURA Yoshikazu:isomura.phy2@tmd.c.jp
Instructor's Contact Information ISOMURA Yoshikazu:10:00 to 18:00, Monday to Friday

時間割番号	031016				
科目名	病理病態学			科目 ID	GH—b3016-L
担当教員					
開講時期	2024 年度前期	対象年次	1～	単位数	1
実務経験のある教員による授業					
英語による授業:留学生が履修登録した場合には英語で行う。					
授業の目的、概要等					
授業目的:病変を形態学的に検出するための基礎的検索方法を先ず習得する。更に、色々の疾患で認められる病変の病因・発生機序を分析するための基礎となる病理学総論を理解させる。					
概要:					
大橋 教 授 循環障害とショック及び奇形					
山本 講 師 急性及び慢性炎症					
山本 講 師 免疫系の異常					
倉田 講 師 病理診断学の求める医学研究					
岡澤 教 授 細胞の損傷・細胞死 細胞の老化					
倉田 講 師 病変検出の基礎的方法・病理学概論					
布川 助 教 良性および悪性腫瘍					
明石 准教授 環境と疾患					
授業の到達目標					
特に病理学を専攻する者でなくても、研究する過程で細胞や組織の顕微鏡的或いは超微細形態学的変化の有無や性状を調べる必要が出てくると思われる。その際に、何が異常な病変なのか、その原因は何か、その原因がどのようなメカニズムで変化を引き起こしたのか、という点を判断できる基礎的能力を体系的に育てる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/19	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	1. 循環障害の病理学 2. ショックの機序と病態 3. 奇形の概論	大橋 健一
2	4/19	10:30-12:00	遠隔授業(非同期型)	1. 急性炎症の病理学 2. 慢性炎症の病理学	山本 浩平
3	4/22	08:50-10:20	遠隔授業(非同期型)	1. 免疫の概論 2. 組織傷害の免疫学的機構 3. 自己免疫疾患 4. 生体の修復機構	山本 浩平
4	4/22	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	1. 病理診断学の求める医学研究 2. 感染症の病理学	倉田 盛人
5	4/26	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	1. 細胞の損傷・細胞死の病理 2. 生体の老化の病理	岡澤 均
6	4/26	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	1. 病理学的方法の基礎 2. 病理学概論	倉田 盛人
7	5/10	08:50-10:20	遠隔授業(非同期型)	1. 良性及び悪性腫瘍の特徴 2. 腫瘍の疫学 3. 腫瘍の原因因子と発癌	布川 裕規
8	5/10	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	1. 環境汚染と化学物質による傷害 2. 物理的因子による傷害 3. 栄養障害の病理	明石 巧
授業方法					
パワーポイント等を用いて講義を行い、最後に質問等を受ける。					
成績評価の方法					
成績評価は、提出レポート内容(50 点)と参加状況(50 点)を総合して評価する。					
準備学習等についての具体的な指示					
講義内容について自発的に学習しておくことが望ましい。					
参考書					
ロビンス基礎病理学 第7版 廣川書店 (第1部 病理学総論)					
標準病理学 第4版 医学書院					
Robbins Pathologic Basis of Disease 6th Edition Saunders					
他科目との関連					
神経疾患総論とは深い関係を持つ。					

履修上の注意事項

講義内容を集中して聞き理解すること。

Lecture No	031016				
Subject title	Pathology			Subject ID	GH—b3016—L
Instructors					
Semester	Spring 2024	Level	1st – year	Units	1
Course by the instructor with practical experiences					
Availability in English:When an international student registers this subject for credits, this course is taught in English.					
Course Purpose and Outline					
Course Purpose:This course will equip you with the knowledge and means of research methods to detect lesions morphologically. Furthermore, the course will give you a core understanding of pathology theories that are fundamental in diagnosing and analyzing the causative agents and mechanisms of lesions seen in various diseases.					
Outline:					
Prof Ohashi: Circulatory disturbance and shock, deformity					
Junior Associate Prof Yamamoto: Acute and chronic inflammation					
Junior Associate Prof Yamamoto: Abnormal immune system					
Junior Associate Prof Kurata: Medical research for diagnostic pathology					
Prof Okazawa: Cell damage, death and aging					
Junior Associate Prof Kurata: Introduction to lesion detection and pathology theories					
Assistant Professor Fukawa: Benign and malignant tumor					
Associate Prof Akashi: Environment and disease					
Course Objective(s)					
When researching, or conducting experiments, the skills to examine and carry out analyses of microscopic or ultra-fine morphological changes, characteristics and properties of cells and tissues are thought to be fundamental to have for not only those major in pathology but also those who do not major.					
This course aims to provide students with the skills and in-depth knowledge to analyze what elements are abnormal, what the causes of lesions are, and how those causes are triggered.					
Lecture plan					
No	Date	Time	Room	Lecture theme	Staff
1	4/19	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	1. 循環障害の病理学 2. ショックの機序と病態 3. 奇形の概論	OOHASHI Kennichi
2	4/19	10:30-12:00	遠隔授業(非同期型)	1. 急性炎症の病理学 2. 慢性炎症の病理学	YAMAMOTO KOHEI
3	4/22	08:50-10:20	遠隔授業(非同期型)	1. 免疫の概論 2. 組織傷害の免疫学的機構 3. 自己免疫疾患 4. 生体の修復機構	YAMAMOTO KOHEI
4	4/22	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	1. 病理診断学の求める医学研究 2. 感染症の病理学	KURATA MORITO
5	4/26	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	1. 細胞の損傷・細胞死の病理 2. 生体の老化の病理	OKAZAWA HITOSHI
6	4/26	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	1. 病理学的方法の基礎 2. 病理学概論	KURATA MORITO
7	5/10	08:50-10:20	遠隔授業(非同期型)	1. 良性及び悪性腫瘍の特徴 2. 腫瘍の疫学 3. 腫瘍の原因因子と発癌	FUKAWA Yuuki
8	5/10	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	1. 環境汚染と化学物質による傷害 2. 物理的因子による傷害 3. 栄養障害の病理	AKASHI TAKUMI
Lecture Style					
Lectures using PowerPoint and Q&A sessions at the end of the lectures					
Grading System					
Course Report 50% & Course attendance 50%					
Prerequisite Reading					
Not in particular. However, self-study and preparations for lecture topics are expected.					
Reference Materials					
Robbins Pathologic Basis of Disease. 6th Edition. Saunders					

Relationship With Other Subjects

Related module: 神経疾患総論 (theories of neurological disease)

Important Course Requirements

Students are required to concentrate during lectures to deepen understanding of the contents.

時間割番号	031017				
科目名	環境社会医歯学			科目ID	GH-b3017-L
担当教員	岡田 就将, 鶴沼 香奈, 鶴田 潤, 石野 智子, 平川 晃弘, 中村 桂子, 關 奈央子, LIAO SHIN RU, 櫻田 宏一[OKADA Shuushou, UNUMA KANA, TSURUTA JIYUN, ISHINO Tomoko, HIRAKAWA Akihiro, NAKAMURA KEIKO, SEKI Naoko, LIAO Shin Ru, SAKURADA KOICHI]				
開講時期	2024 年度前期	対象年次	1～	単位数	1
実務経験のある教員による授業					
英語による授業:全て日本語で行う。					
主な講義場所 遠隔授業					
授業の目的、概要等 授業の目的:環境社会医歯学に関連する諸問題について理解するために、医学・歯学・工学に重点を置きながらも、多領域にわたる学際的なアプローチによって学習を進める。					
授業の到達目標 特に環境社会医歯学を専攻する者でなくとも、医歯理工学研究者を目指す学生が、社会と医歯理工学との接点となる内容を体系的に学習する。その際、客観的な指標を使用し、理論的・体系的に問題解決方法を議論する能力を培う。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	5/10	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	法医学と社会貢献、死因究明制度	鶴沼 香奈
2	5/10	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	日本の歯科医学教育制度とその展望	鶴田 潤
3	5/17	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	最初のマラリアワクチン開発に至るまでと今後の展望	石野 智子
4	5/17	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	臨床試験のデザインと統計解析	平川 晃弘
5	5/24	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	プラネタリーヘルス	中村 桂子
6	5/24	14:40-16:10	遠隔授業(非同期型)	医療技術の診療報酬上の評価について	岡田 就将
7	5/31	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	問題解決の基礎	關 奈央子, LIAO SHIN RU
8	5/31	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	犯罪捜査における物体検査法の実際	櫻田 宏一
授業方法 科目担当者による授業では、環境社会医歯学に関する最新の国内外の文献・資料を紹介し、その内容について分析、議論、評価する。					
授業内容 平川教授 臨床研究のデザインと統計解析 上村教授 法医学の定義と社会的役割、死因究明制度 藤原教授・那波准教授 ライフコース疫学 川淵教授 わが国で展開されている医療政策の概念的骨子 藍 教授 医療情報と情報セキュリティ 吉田教授 医歯理工学研究に必要な生命倫理と研究倫理 相田教授 口腔疾患の予防およびオーラルヘルスプロモーション 木下教授 医療系教育におけるICT活用教育の実際 石野教授 マラリアワクチン開発の経緯と今後の展望 櫻田教授 個人識別における法歯学の社会的役割 中村教授 地域の健康課題分析からヘルスプロモーションの展開 伏見教授 診療情報を用いた医療の質評価と経営分析の方法論とデータ解析の実際 鶴田准教授 医学・歯学教育における学習者評価 矢澤教授 感染症医療提供体制について 岡田教授 医療技術の診療報酬上の評価について ※ただし、今年度は授業スケジュール通りに講義を行うこととする。					

成績評価の方法 成績評価は、提出レポート内容(50点)と参加状況(50点)を総合して評価する。
成績評価の基準 8回の授業回数のうち5回以上の参加を必要とする。授業の参加が4回以下の場合は不合格とする。総合評価で60点以上を合格とする。
準備学習等についての具体的な指示 講義概要に示す各担当教員の講義内容について、下記に示す参考書や文献などを参照して事前に予習することを勧める。
参考書 ・社会疫学<上・下> パークマン、カワチ、マリア・グリモール編、高尾総司、藤原武男、近藤尚己監訳、大修館書店 ・社会医学事典、高野健人、河原和夫、他編、朝倉書店 ・医療訴訟と専門情報、福田剛久、高瀬浩造編、判例タイムズ ・医学教育の理論と実践、監訳 鈴木康人、錦織宏、篠原出版 ・テスト・スタンダード、日本テスト学会編、金子書房 ・Medical Care in Japan. Naoki Ikegami and J. C. Campbell (Chuokoron-Shinsha, Inc.) ・White papers from the Japanese Ministry of Health, Labour and Welfare ・National Health Trends 2014/2015. (Health, Labour and Welfare Statistics Association) ・Ministry of Health and Welfare: 50-year history ・50 Years of Postwar Medical Care. Jiro Arioka (Japan Medical Journal) ・Public Policy Studies, Edited by Yukio Adachi and Toshimasa Moriwaki (Minerva Shobo) ・A Primer for Policy Analysis. Edith Stokey and Richard Zeckhauser (Keiso Shobo) ・Forgotten people, forgotten diseases. Peter J. Hotez (University of Tokyo Press) ・Exploring Personal Genomics. Dudley JT & Karczewski KJ (Oxford University Press) その他、各教員が指示する。
履修上の注意事項 事前学習(動画の視聴など)が必要な場合には、事前に通知するので、必ず事前学習の上、授業に出席すること。
連絡先(メールアドレス) 岡田 就将:sokd.hcm@tmd.ac.jp
オフィスアワー 岡田 就将:毎週水曜日PM1:00-PM3:00 MDタワー16階南 事前にご連絡ください。

Lecture No	031017				
Subject title	Environmental/Social Health			Subject ID	GH—b3017-L
Instructors	岡田 就将, 鶴沼 香奈, 鶴田 潤, 石野 智子, 平川 晃弘, 中村 桂子, 關 奈央子, LIAO SHIN RU, 櫻田 宏 —[OKADA Shuushou, UNUMA KANA, TSURUTA JIYUN, ISHINO Tomoko, HIRAKAWA Akihiro, NAKAMURA KEIKO, SEKI Naoko, LIAO Shin Ru, SAKURADA KOICHI]				
Semester	Spring 2024	Level	1st – year	Units	1
Course by the instructor with practical experiences					
Availability in English: All classes are taught in Japanese.					
Course Purpose and Outline					
Course purpose: To understand the various problems related to environmental and social health, students will go through a systematic educational process integrating multiple disciplines, with a focus on medicine, dentistry, and technology.					
Course Objective(s)					
The students are expected to learn about environmental and social health issues systematically analyzing and discussing optimal theoretical solutions using objective indicators.					
Lecture plan					
No	Date	Time	Room	Lecture theme	Staff
1	5/10	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	Forensic medicine and its role in society and Inquiry of causes of death	UNUMA KANA
2	5/10	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	Japanese Dental Education System and Future Perspective	TSURUTA JIYUN
3	5/17	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	History of the first malaria vaccine development and the roadmap towards malaria eradication	ISHINO Tomoko
4	5/17	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	Designs and Analyses in Clinical Researches	HIRAKAWA Akihiro
5	5/24	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	Planetary Health	NAKAMURA KEIKO
6	5/24	14:40-16:10	遠隔授業(非同期型)	Evaluation of Medical Technology on Medical Fees	OKADA Shuushou
7	5/31	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	The basics of problem solving	SEKI Naoko, LIAO Shin Ru
8	5/31	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	Current examination methods of objects in criminal investigations	SAKURADA KOICHI
Lecture Style					
To introduce the domestic and international documents/papers on the latest environmental and social health issues. Also to analyze, discuss and evaluate these contents.					
Course Outline					
Please see the attached schedule.					
Grading System					
The grade is based on the contents of a submitted report (50%) and participation status (50%).					
Grading Rule					
At least five attendances out of eight are necessary.					
60 points out of 100 is necessary to complete the course.					
Prerequisite Reading					
The recent situation of environmental and social health should be studied through the following books, the Internet, etc. including mass media information.					
Reference Materials					
•Medical Care in Japan. Naoki Ikegami and J. C. Campbell (Chuokoron-Shinsha, Inc.)					
•White papers from the Japanese Ministry of Health, Labour and Welfare					
•National Health Trends 2014/2015. (Health, Labour and Welfare Statistics Association)					
•Ministry of Health and Welfare: 50-year history					
•50 Years of Postwar Medical Care. Jiro Arioka (Japan Medical Journal)					

•Public Policy Studies, Edited by Yukio Adachi and Toshimasa Moriwaki (Minerva Shobo) •A Primer for Policy Analysis. Edith Stokey and Richard Zeckhauser (Keiso Shobo) •Forgotten people, forgotten diseases. Peter J. Hotez (University of Tokyo Press) •Exploring Personal Genomics. Dudley JT & Karczewski KJ (Oxford University Press)
Important Course Requirements Some lectures require preparatory study (watching videos, etc.). Please follow the instructions given by the instructors and participate actively.
Email OKADA Shuushou:sokd.hcm@tmd.ac.jp
Instructor's Contact Information OKADA Shuushou:Every Wednesday 13:00-15:00

時間割番号	031028					
科目名	口腔保健工学特論			科目ID	GH—b3043-L	
担当教員	金澤 学, 池田 正臣, 塩沢 真穂, 大木 明子, 青木 和広, 上條 真吾, 土田 優美, 岩城 麻衣子, 宮安 杏奈 [KANAZAWA Manabu, IKEDA MASAOMI, SHIOZAWA Maho, OKI MEIKO, AOKI KAZUHIRO, KAMIJO SHINGO, TSUCHIDA Yuumi, IWAKI Maiko, MIYAYASU Annna]					
開講時期	2024 年度前期	対象年次	1～	単位数	2	
実務経験のある教員による授業						
・留学生が履修登録した場合は英語で行う						
授業の目的、概要等						
授業目的:口腔保健工学を支える基礎研究, 基礎技術の多彩で具体的な応用例を学ぶことにより, 幅広い問題解決についての知識を得ることを目的としている。						
概要:口腔機能再建工学分野, 口腔機材開発工学分野, 口腔基礎工学分野の教員が担当し, 口腔保健工学を支える研究・技術について各自の専門分野を基盤に講義する。						
授業の到達目標						
口腔保健工学を支える研究成果・技術について, それぞれの開発・応用・機能及び問題点の各項目について議論し, 基盤的な知識を具体的な応用に結びつける戦略について学ぶ。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	5/21	08:50-10:20	遠隔授業 (非同期型)	デジタルデンティストリーの臨床	Clinical application of digital density	金澤 学
2	5/21	10:30-12:00	遠隔授業 (非同期型)	デジタルデンチャー製作法の開発	The cutting edge of digital denture	金澤 学
3	5/22	08:50-10:20	遠隔授業 (非同期型)	無歯顎補綴における臨床研究	Clinical research for edentulous patients	宮安 杏奈
4	5/22	10:30-12:00	遠隔授業 (非同期型)	インプラントオーバーデンチャーの研究	Clinical research for implant overdenture	岩城 麻衣子
5	5/28	08:50-10:20	遠隔授業 (非同期型)	歯科臨床・教育支援用アプリケーションソフトウェアの開発	Development Application Software for Clinical and Educational Support in Dentistry	土田 優美
6	5/28	10:30-12:00	遠隔授業 (非同期型)	歯科用フェイシャルスキャナの研究	Research of Facial Scanners for Dentistry	土田 優美
7	5/29	08:50-10:20	遠隔授業 (非同期型)	コンポジットレジンの歯科技工操作	Dental laboratory procedures for indirect resin composite restoration	池田 正臣
8	5/29	10:30-12:00	遠隔授業 (非同期型)	歯科技工と接着	Dental laboratory work and adhesive materials	池田 正臣
9	6/4	08:50-10:20	遠隔授業 (非同期型)	3D プリンターを用いた歯科技工	Fabrication process with 3D printing	池田 正臣
10	6/4	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	歯冠修復物の補修	Repairing the tooth restoration	佐藤 隆明
11	6/5	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	歯の診断機器	Update the dental diagnostic devices	佐藤 隆明
12	6/5	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	顎顔面補綴における CAD/CAM 技術の利用	CAD/CAM technology for maxillofacial prosthetics	大木 明子
13	6/11	08:50-10:20	遠隔授業 (非同期型)	デジタルデンティストリー	Digital Dentistry (Conventional method / Digital method)	上條 真吾
14	6/11	10:30-12:00	遠隔授業 (非同期型)	CAD/CAM 用レジン材料の着色	Discoloration of resin materials for CAD/CAM	塩沢 真穂

15	6/12	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	顔面補綴に用いられる材料とデジタル技術	Materials and digital technology for facial prostheses	大木 明子
授業方法 複数の教員により多岐にわたる講義を行い、学生の質問を中心とした討議を行うことにより学習を深める。						
成績評価の方法 成績評価は、提出レポート内容(50点)と参加状況(50点)を総合して評価する。						
準備学習等についての具体的な指示 特になし。教科書・参考書・参考論文等が、事前に連絡される場合があるので、その際には講義の前に確認しておくこと。						
参考書 教科書・参考書・参考論文等は、事前に科目担当者が指示する。						
備考 受講者数により、授業スケジュールが一部変更する場合がある。						
連絡先(メールアドレス) 金澤 学:m.kanazawa.gerd@tmd.ac.jp						
オフィスアワー 金澤 学:火水木金 16:00- 18:00 2号館2階 口腔デジタルプロセス学分野 Lab 1						

Lecture No	031028					
Subject title	Oral Health Engineering			Subject ID	GH—b3043-L	
Instructors	金澤 学, 池田 正臣, 塩沢 真穂, 大木 明子, 青木 和広, 上條 真吾, 土田 優美, 岩城 麻衣子, 宮安 杏奈 [KANAZAWA Manabu, IKEDA MASAOMI, SHIOZAWA Maho, OKI MEIKO, AOKI KAZUHIRO, KAMIJO SHINGO, TSUCHIDA Yuumi, IWAKI Maiko, MIYAYASU Annna]					
Semester	Spring 2024	Level	1st – year	Units	2	
Course by the instructor with practical experiences						
/When an international student registers this subject for credits, this course is taught in English.						
Course Purpose and Outline						
Course Purpose:The goal of this course is to understand actual applications of various basic researchs and technique supporting oral health engineering, and to obtain knowledge for solving objects in a wide range.						
Outline:Various topics related to various basic researchs and technique supporting oral health engineering will introduced through recent textbooks and papers by instructors of Departments of Basic Oral Health Engineering, Oral Biomaterials Development Engineering, and Oral Prosthetic Engineering.						
Course Objective(s)						
Students will acquire the fundamental knowledge regarding basic researchs and technique supporting oral health engineering, discuss their development, application, function, and problems, and learn the strategy for promoting fundamental knowledge to specific application.						
Lecture plan						
No	Date	Time	Room	Lecture theme	Lecture content	Staff
1	5/21	08:50-10:20	遠隔授業 (非同期型)			KANAZAWA Manabu
2	5/21	10:30-12:00	遠隔授業 (非同期型)			KANAZAWA Manabu
3	5/22	08:50-10:20	遠隔授業 (非同期型)			MIYAYASU Annna
4	5/22	10:30-12:00	遠隔授業 (非同期型)			IWAKI Maiko
5	5/28	08:50-10:20	遠隔授業 (非同期型)			TSUCHIDA Yuumi
6	5/28	10:30-12:00	遠隔授業 (非同期型)			TSUCHIDA Yuumi
7	5/29	08:50-10:20	遠隔授業 (非同期型)			IKEDA MASAOMI
8	5/29	10:30-12:00	遠隔授業 (非同期型)			IKEDA MASAOMI
9	6/4	08:50-10:20	遠隔授業 (非同期型)			IKEDA MASAOMI
10	6/4	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)			SATOU Takaaki
11	6/5	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)			SATOU Takaaki
12	6/5	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)			OKI MEIKO
13	6/11	08:50-10:20	遠隔授業 (非同期型)			KAMIJO SHINGO
14	6/11	10:30-12:00	遠隔授業			SHIOZAWA Maho

			(非同期型)			
15	6/12	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)			OKI MEIKO
Lecture Style Several professors give series of lectures in various themes. The students learn the content of the lecture through the question and discussions.						
Grading System The grading is comprehensively evaluated based on participation (50%), question and reports (50%).						
Prerequisite Reading None. However, there may be reference texts and books announced beforehand so please check before each lesson.						
Reference Materials Some references may be introduced by instructors prior to their lectures.						
Note(s) to Students Schedule will be changed depending on the number of students.						

時間割番号	031018				
科目名	口腔保健臨地実習		科目ID	GH—b3018-E	
担当教員	樺沢 勇司, 竹内 康雄, 樺沢 勇司, 吉田 直美, 松尾 浩一郎, 伊藤 奏, 日高 玲奈, 鈴木 瞳, 安達 奈穂子 [KABASAWA YUJI, TAKEUCHI YASUO, KABASAWA YUJI, YOSHIDA Naomi, MATSUO Kouichirou, ITOU Kanade, NAKAYAMA Rena, SUZUKI Hitomi, ADACHI Naoko]				
開講時期	2024 年度通年	対象年次	1～	単位数	2
実務経験のある教員による授業					
英語による授業:一部英語で行う。					
主な講義場所					
具体的な日程、診療科、施設名は、実習前までに決定し、連絡する。					
授業の目的、概要等					
授業目的:患者の口腔内状況、生活背景、基礎疾患等および地域の状況を把握し、口腔保健に関する問題・課題を発見する。また、それらを解決するための臨床口腔保健活動および地域口腔保健活動を効果的に展開するために必要な知識・技術・実践能力・評価方法等を、実習を通して習得する。					
概要:					
1)病院の患者について歯科衛生診断・計画を立案し、口腔疾患予防や保健指導などの実践を行う。					
2)基礎疾患を有する患者や地域住民の生活上の特徴をふまえ、口腔保健に関する問題・課題およびニーズを解決するため効果的な活動方法を、実践する。					
3)口腔保健事業の具体的な展開方法と口腔保健サービスの実践力と方法論および施策化の方法を習得するために、行政機関での実習を行う。					
4)地域口腔保健活動に関連する業種との連携を推進し、地域住民との協働活動、他職種連携、活動の施策化、地域住民活動の基盤づくりの方法を検討し、発表する。					
5)その他					
授業の到達目標					
東京医科歯科大学病院における臨床実習および地域における臨地実習を行い、口腔保健に関する問題・課題を発見し、それらを解決するための臨床口腔保健活動および地域口腔保健活動を効果的に展開するために必要な知識・技術・実践能力・評価方法等を、実習を通して習得する。					
授業方法					
東京医科歯科大学病院において、周術期口腔健康管理、歯科保健指導および歯科予防処置を行う。					
授業内容					
具体的な日程、診療科、施設名は、実習前までに決定し、連絡する。					
成績評価の方法					
成績評価は、提出レポート内容(50 点)と参加状況(50 点)を総合して評価する。					
準備学習等についての具体的な指示					
事前に説明を行う。					
参考書					
担当教員が指示する。					
履修上の注意事項					
日本の歯科衛生士免許を取得した者は、東京医科歯科大学病院歯系診療科のオリエンテーションに出席すること。					
備考					
遅刻および休む場合は、実習指導教員および科目責任者に連絡する(メールまたは電話)。					
事前に実習内容を担当教員に確認し、予習しておくこと。					

Lecture No	031018				
Subject title	Oral Health Care Clinical Training		Subject ID	GH—b3018-E	
Instructors	樺沢 勇司, 竹内 康雄, 樺沢 勇司, 吉田 直美, 松尾 浩一郎, 伊藤 奏, 日高 玲奈, 鈴木 瞳, 安達 奈穂子 [KABASAWA YUJI, TAKEUCHI YASUO, KABASAWA YUJI, YOSHIDA Naomi, MATSUO Kouichirou, ITOU Kanade, NAKAYAMA Rena, SUZUKI Hitomi, ADACHI Naoko]				
Semester	YearLong 2024	Level	1st – year	Units	2
Course by the instructor with practical experiences					
Availability in English:Partial classes are taught in English.					
Course Purpose and Outline					
Course Purpose:To develop skills to provide oral health promotion.					
Outline:					
1) Development of skills to provide oral health counseling and oral health promotion					
2) Development of education system for the patients to prevent oral diseases					
3) Development of new assessment programs in technical education for oral health care					
Course Objective(s)					
Through clinical practice at Tokyo Medical and Dental University Hospital and practical training in the community, students will acquire the knowledge, skills, practical abilities, and evaluation methods necessary to discover problems and issues related to oral health and to effectively develop clinical and community oral health activities to solve them.					
Lecture Style					
Clinical training					
Course Outline					
Informe before clinical training					
Grading System					
Participation rate of clinical training: 50%, reports about clinical training: 50%					
Prerequisite Reading					
Instruct before clinical training					
Reference Materials					
Instruct before clinical training					
Important Course Requirements					
Need for receiving lectures about dental hospital and reports about each clinical training					
Note(s) to Students					
Being late and absent of clinical training, get in touch with Yuji Kabasawa					

時間割番号	031019				
科目名	病院実習			科目 ID	GH—b3019-E
担当教員	大橋 健一[OOHASHI Kennichi]				
開講時期	2024 年度前期	対象年次	1～	単位数	1
実務経験のある教員による授業					
全て日本語で行う					
主な講義場所					
オリエンテーション(ガイダンス)にて、説明する。オリエンテーション(ガイダンス)については、受講学生に学務企画課より連絡する。					
授業の目的、概要等					
(目的)					
人々が心身ともに健康な状態を維持するために、医療従事者が果たす役割及び実際の医療活動を理解することを目的として、医療現場を体験訪問する。このことにより、病と健康、ならびに病める人についての理解を深め、あわせて最先端の医療についての基本的知識を修得する。また、病院における情報セキュリティや個人情報の扱いについて学ぶ。					
(概要)					
少人数グループで各診療科において見学実習を行なう。					
授業の到達目標					
本学病院の最先端の医療現場を体験し、医療従事者との交流を通じて、医歯学研究者としての心構えを体得する。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室		
1-5	6/25	08:50-17:50			
6-10	6/26	08:50-17:50			
11-15	6/27	08:50-17:50			
16-20	6/28	08:50-17:50			
21-25	7/1	08:50-17:50			
26-30	7/2	08:50-17:50			
授業方法					
少人数グループに分かれ、グループごとに 5 日間の実習期間中に毎日1つの診療部、計 5 つの診療部を廻り、各診療部(診療科)で担当教員の指導のもとで見学実習を行なう。本科目の履修学生総数が判明した後に学務企画課で学生の班分けと診療科の割当を行なう。実習前にオリエンテーション(ガイダンス)を行い、ローテーション表を含む実習要項を配布し説明する。診療部ごとに、集合時間、集合場所が異なるので注意のこと。					
授業内容					
ガイダンス(実習開始以前に 1 時間ほどで行う)					
Ⅰ 患者の立場から病院・医療を観察する(血液浄化療法部)					
Ⅱ 診断と病院機能を支える仕組みを理解する(病理部、放射線部、輸血部)					
Ⅲ 診断と診療の実態を理解する(光学医療診療部、検査部)					
Ⅳ 歯科の診療内容を把握し、歯科医療に対する造形を深める(歯科)					
成績評価の方法					
各実習の参加、実習態度(50%、ただし 2/3 以上の参加が必要)及びレポート等(50%)から評価する。					
レポート課題(予定)は、「『病院実習』での医療現場体験を通じてあなた自身が考えたことを 1000 字以内で述べよ。」で、実習から約 1 ヶ月のうちに提出すること。具体的には、ガイダンスにおいて周知する。					
準備学習等についての具体的な指示					
オリエンテーション(ガイダンス)に必ず出席のこと。					
ガイダンスでは、情報セキュリティと個人情報の扱いに関する誓約書に署名してもらう。					
また、実習前に「ウイルス抗体価検査結果報告書」を提出してもらう。					
下の注意事項に留意のこと。					
参考書					
「国立大学法人東京医科歯科大学 大学概要 2023」から病院部分、「国立大学法人東京医科歯科大学病院 病院案内パンフレット」。					

そのほかの教科書・参考書等は授業中に指示される場合がある。
履修上の注意事項 ※当科目はその時に感染状況により中止となる場合があることをご了承ください。 (1)2024 年度授業方針の「出席停止の判断基準」を満たすときは、参加不可とする。また、「出席停止の判断基準」を満たすか否かに関わらず、少しでも体調に不安がある場合は参加しないこと。 (2) 病院実習は、実際の医療現場を使用して行うので、事前に当該実習に係る実習要項をよく読み、医療人としての自覚を持ち、責任ある行動をとること。 (3) 欠席するときは学務企画課に欠席届を提出し、各実習の責任者もしくは担当教員に事前に必ず連絡をすること。(病気その他特別な事由以外の欠席は認めない。) (4)守秘義務を守ること(事前に誓約書に署名のこと) (5) 実習上の注意事項 ① きれいな白衣を着用のこと。 ② 医療人として常識ある容姿・服装・態度で参加すること。(ジーンズ・T シャツ、脱げやすい履き物、踵のないまたは高い履き物等禁止) ③ 香水等強い臭いの出るものは控えること。 ④ 私語を慎むこと。 ⑤ ネームプレート(学生証)を着用のこと。 ⑥ 集合時間を守ること。 ⑦ 指導教員の指示に従うこと。 ⑧ 携帯電話の持ち込み禁止、または電源を OFF とすること。 ⑨ 必ずマスクを着用して参加すること。 ⑩ 体調不良の際には実習には参加せず、指導教員等の指示を仰ぐこと。 ⑪ その他(各実習先の指示に従う)
備考 履修は1年次に限る。ただし1年次に履修登録した者で出席停止基準を満たし実習に参加できなかった場合、2年次での履修希望も認める。なお、履修希望者が多数の場合は、履修者を制限することがある。

時間割番号	031020				
科目名	生化学			科目ID	GH-b3020-L
担当教員	浅原 弘嗣, 瀬川 勝盛, 千葉 朋希, 松島 隆英, 栗本 遼太, 佐々木 雄彦, 鳥居 暁, 清水 幹容, 井上 カタジナ アンナ, 小林 美穂, 松田 憲之, 内田 智士, 豊島 文子, 七田 崇[ASAHARA HIROSHI, SEGAWA Katsumori, CHIBA TOMOKI, MATSUSHIMA TAKAHIDE, KURIMOTO Ryouta, SASAKI Takehiko, TORII SATORU, SHIMIZU Masahiro, INOUE KATAJINAANNA, KOBAYASHI Miho, MATSUDA Noriyuki, UCHIDA SATOSHI, TOYOSHIMA Fumiko, Takashi Shichita]				
開講時期	2024 年度前期	対象年次	1～	単位数	2
実務経験のある教員による授業					
一部英語で行う					
授業の目的、概要等					
授業目標: 生命の基本単位である細胞とその基盤であるゲノムについて理解する。また、ゲノムの維持と情報発現の乱れが細胞や生体にいかなる病態となって現れるのか、基本的な原理を理解すると共に、医歯科学研究の進め方の基礎知識を修得する。					
概要:					
浅原 弘嗣:遺伝子発現を俯瞰する					
栗本 遼太:ゲノム情報の転写後制御および翻訳過程の制御					
瀬川 勝盛:細胞死の分子機構					
千葉 朋希:ゲノム情報の時空間的転写制御					
松島 隆英:シグナル情報伝達とタンパク質の細胞内動態					
内藤 雄樹:生化学研究のためのデータベース・ソフトウェア					
内田 智士:異物認識、免疫の分子機構とその制御					
松田 憲之:タンパク質の生涯:細胞内輸送から分解まで					
佐々木 雄彦:リン脂質の生物学					
鳥居 暁:ミトコンドリアと細胞死					
豊島 文子:組織幹細胞の機能と恒常性維持機構					
清水 幹容:ゲノム変異によるがん発生とがん幹細胞機能の制御					
七田 崇:神経化学					
井上 カタジナ アンナ:細胞外マトリックスの分子細胞生物学					
小林 美穂:血管新生・血管リモデリングにおける時空間的シグナルネットワーク制御					
授業の到達目標					
特に生化学を専攻する者でなくても、種々の研究の過程において分子生物学的・細胞生物学的手法や考え方が必要になると思われる。医歯科学研究者 を目指す学生、医薬関連企業への就職を志望する学生が習得すべき、生命の基盤である細胞とゲノムに関する知識と解析方法を教授する。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	5/13	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	遺伝子発現を俯瞰する	浅原 弘嗣
2	5/13	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	ゲノム情報の転写後制御および翻訳過程の制御	栗本 遼太
3	5/14	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	細胞死の分子機構	瀬川 勝盛
4	5/14	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	タンパク質の生涯:細胞内輸送から分解まで	松田 憲之
5	5/20	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	シグナル情報伝達とタンパク質の細胞内動態	松島 隆英
6	5/20	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	ゲノム情報の時空間的転写制御	千葉 朋希
7	5/21	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	異物認識、免疫の分子機構とその制御	内田 智士
8	5/21	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	生化学研究のためのデータベース・ソフトウェア	内藤 雄樹
9	5/27	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	リン脂質の生物学	佐々木 雄彦
10	5/27	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	ミトコンドリアと細胞死	鳥居 暁
11	5/28	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	組織幹細胞の機能と恒常性維持機構	豊島 文子
12	5/28	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	ゲノム変異によるがん発生とがん幹細胞機能の制御	清水 幹容

13	6/3	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	神経化学	七田 崇
14	6/3	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	細胞外マトリックスの分子細胞生物学	井上 カタジナアンナ
15	6/4	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	血管新生・血管リモデリングにおける時空間的シグナルネットワーク制御	小林 美穂
授業方法					
パワーポイントを用いたオンライン遠隔講義					
成績評価の基準					
参加状況と課題提出(各講義内容の選択問題)による					
準備学習等についての具体的な指示					
大学教養課程レベルの生物学の知識を前提として講義が行われるので、まったく予備知識がない学生は入門レベルの教科書を読んで、講義に出席するようにしてほしい。					
教科書					
デブリン生化学：臨床の理解のために／Thomas M. Devlin, editor；上代淑人, 澁谷正史, 井原康夫監訳Devlin, Thomas M.,上代, 淑人, 澁谷, 正史, 井原, 康夫.:丸善出版, 2012 Molecular Cell Biology／Harvey Lodish:WH Freeman, 2016 細胞の分子生物学／Bruce Alberts [ほか] 著；青山聖子 [ほか] 翻訳Alberts, Bruce,Johnson, Alexander D.,Lewis, Julian,Morgan, David Owen,Raff, Martin C.,Roberts, K. (Keith),Walter, Peter,青山, 聖子,齊藤, 英裕,滋賀, 陽子,田口, マミ子,滝田, 郁子,中塚, 公子,羽田, 裕子,船田, 晶子,宮下, 悦子,中村, 桂子,松原, 謙一.:ニュートンプレス, 2017 キャンベル生物学／Lisa A. Urry [ほか著]；池内昌彦 [ほか訳],Urry, Lisa A.,Cain, Michael Lee,Wasserman, Steven A.,Minorsky, Peter V.,Reece, Jane B.,池内, 昌彦,石浦, 章一,伊藤, 元己,上島, 励,大杉, 美穂,太田, 邦史,久保田, 康裕,嶋田, 正和,坪井, 貴司,中島, 春紫,中山, 剛(系統分類学),著本, 春樹,兵藤, 晋,増田, 建道上, 達男,吉田, 丈人,吉野, 正巳,和田, 洋(ワダ):丸善出版, 2018 Human Molecular Genetics／Tom Strachan:Garland Science, 2018					
参考書					
The emperor of all maladies : a biography of cancer／Siddhartha Mukherjee,Siddhartha, Mukherjee,:Fourth Estate, 2011 The emperor of all maladies : a biography of cancer／Siddhartha Mukherjee,Siddhartha, Mukherjee,:Fourth Estate, 2011 The gene : An intimate history／Siddhartha Mukherjee／著,Mukherjee Siddhartha,シッダータ・ムカジー,:Vintage, 2017 遺伝子医療革命ゲノム科学が私たちを変える フランシス・S・コリンズ著、矢野真千子訳、2011 (NHK 出版)					
履修上の注意事項					
講義で全てを網羅的にカバーすることは困難なので、各自、参考書欄に記載の標準的な参考書の通読を心掛けてほしい。					
備考					
学内で不定期に開催される大学院特別講義ほか各種のセミナーには幅広く出席することを薦めます。					
連絡先(メールアドレス)					
浅原 弘嗣asahara.syst@tmd.ac.jp					
オフィスアワー					
浅原 弘嗣基本的には月曜日から金曜日 PM17 時以降ですが、事前により下記アドレスまでご連絡をお願いいたします。					

Lecture No	031020				
Subject title	Molecular and Cellular Biology			Subject ID	GH—b3020—L
Instructors	浅原 弘嗣, 瀬川 勝盛, 千葉 朋希, 松島 隆英, 栗本 遼太, 佐々木 雄彦, 鳥居 暁, 清水 幹容, 井上 カタジ ナアンナ, 小林 美穂, 松田 憲之, 内田 智士, 豊島 文子, 七田 崇[ASAHARA HIROSHI, SEGAWA Katsumori, CHIBA TOMOKI, MATSUSHIMA TAKAHIDE, KURIMOTO Ryouta, SASAKI Takehiko, TORII SATORU, SHIMIZU Masahiro, INOUE KATAJINAANNA, KOBAYASHI Miho, MATSUDA Noriyuki, UCHIDA SATOSHI, TOYOSHIMA Fumiko, Takashi Shichita]				
Semester	Spring 2024	Level	1st – year	Units	2
Course by the instructor with practical experiences	Partial classes are taught in English Course Purpose and Outline Course Purpose: This course is designed to provide students with a fundamental understanding of biochemistry, genetics, and cell biology as related to human diseases. Outline: ASAHARA HIROSHI: Overview of gene expression KURIMOTO RYOTA: Post-transcriptional and translational regulation of genomic information: SEGAWA KATSUMORI : Molecular Mechanisms of Cell Death CHIBA TOMOKI: Spatiotemporal transcriptional regulation of genomic information MATSUSHIMA TAKAHIDE: Signal transduction and intracellular dynamics of proteins NAITO YUKI: Databases and software tools for biochemistry UCHIDA SATOSHI: Molecular mechanisms of foreign body recognition and immunity MATSUDA NORIYUKI: Life of Proteins: From Intracellular Transport to Degradation SASAKI TAKEHIKO: Biology of phospholipids TORII SATORU: Mitochondria and cell death TOYOSHIMA FUMIKO: Tissue stem cell function and homeostasis mechanisms SHIMIZU MASAHIRO: Regulation of oncogenesis and cancer stem cell function by genomic mutations SHICHITA TAKASHI: Neurochemistry INOUE KATAJINAANNA: Molecular cell biology of extracellular matrix KOBAYASHI MIHO: Spatiotemporal signal network regulation in angiogenesis and vascular remodeling Course Objective(s) Through completion of this course, students should be able to explain; 1) human metabolism and its alterations in diseases; 2) the sturcture of genome and epigenetic regulation; and 3) DNA repliation, DNA repair, gene transcription, translation, and protein strucutre.				
Lecture plan					
No	Date	Time	Room	Lecture theme	Staff
1	5/13	13:00–14:30	遠隔授業(同期型)		ASAHARA HIROSHI
2	5/13	14:40–16:10	遠隔授業(同期型)		KURIMOTO Ryouta
3	5/14	13:00–14:30	遠隔授業(同期型)		SEGAWA Katsumori
4	5/14	14:40–16:10	遠隔授業(同期型)		MATSUDA Noriyuki
5	5/20	13:00–14:30	遠隔授業(同期型)		MATSUSHIMA TAKAHIDE
6	5/20	14:40–16:10	遠隔授業(同期型)		CHIBA TOMOKI
7	5/21	13:00–14:30	遠隔授業(同期型)		UCHIDA SATOSHI
8	5/21	14:40–16:10	遠隔授業(同期型)		NAITOU Yuuki
9	5/27	13:00–14:30	遠隔授業(同期型)		SASAKI Takehiko
10	5/27	14:40–16:10	遠隔授業(同期型)		TORII SATORU
11	5/28	13:00–14:30	遠隔授業(同期型)		TOYOSHIMA Fumiko
12	5/28	14:40–16:10	遠隔授業(同期型)		SHIMIZU Masahiro

13	6/3	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)		Takashi Shichita
14	6/3	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)		INOUE KATAJINAANNA
15	6/4	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)		KOBAYASHI Miho
Lecture Style All lectures will be conducted online using PowerPoint slides.					
Grading Rule The final grade will be determined by the total of class participation and assignments (multiple choice questions for each lecture content).					
Prerequisite Reading The students who are not familiar with biology are requested to read through an introductory text such as "Life: The Science of Biology" by David Sadava.					
TextBook デブリン生化学：臨床の理解のために／Thomas M. Devlin, editor；上代淑人, 澁谷正史, 井原康夫監訳, Devlin, Thomas M., 上代, 淑人, 澁谷, 正史, 井原, 康夫：丸善出版, 2012 Molecular Cell Biology／Harvey Lodish：WH Freeman, 2016 細胞の分子生物学／Bruce Alberts [ほか] 著；青山聖子 [ほか] 翻訳, Alberts, Bruce, Johnson, Alexander D., Lewis, Julian, Morgan, David Owen, Raff, Martin C., Roberts, K. (Keith), Walter, Peter, 青山, 聖子, 齊藤, 英裕, 滋賀, 陽子, 田口, マミ子, 滝田, 郁子, 中塚, 公子, 羽田, 裕子, 船田, 晶子, 宮下, 悦子, 中村, 桂子, 松原, 謙一：ニュートンプレス, 2017 キャンベル生物学／Lisa A. Urry [ほか著]；池内昌彦 [ほか訳], Urry, Lisa A., Cain, Michael Lee, Wasserman, Steven A., Minorsky, Peter V., Reece, Jane B., 池内, 昌彦, 石浦, 章一, 伊藤, 元己, 上島, 励, 大杉, 美穂, 太田, 邦史, 久保田, 康裕, 嶋田, 正和, 坪井, 貴司, 中島, 春紫, 中山, 剛(系統分類学), 著本, 春樹, 兵藤, 晋, 増田, 建, 道上, 達男, 吉田, 丈人, 吉野, 正巳, 和田, 洋(ワダ)：丸善出版, 2018 Human Molecular Genetics／Tom Strachan：Garland Science, 2018					
Reference Materials The emperor of all maladies : a biography of cancer／Siddhartha Mukherjee, Siddhartha, Mukherjee, :Fourth Estate, 2011 The emperor of all maladies : a biography of cancer／Siddhartha Mukherjee, Siddhartha, Mukherjee, :Fourth Estate, 2011 The gene : An intimate history／Siddhartha Mukherjee／著, Mukherjee Siddhartha, シツダールタ・ムカジー, :Vintage, 2017					

時間割番号	031021				
科目名	薬理学			科目ID	GH-b3021-L
担当教員	永田 将司, 玉村 啓和, 影近 弘之, 加納 嘉人, 青木 和広, 井原 健介, 笹野 哲郎, 七田 崇, 岡本 耕, 平井 利典[NAGATA MASASHI, TAMAMURA HIROKAZU, KAGECHIKA HIROYUKI, KANOU Yoshihito, AOKI KAZUHIRO, IHARA KENSUKE, SASANO TETSUO, SHICHITA Takashi, OKAMOTO Koh, HIRAI Toshinori]				
開講時期	2024 年度前期	対象年次	1～	単位数	2
実務経験のある教員による授業					
英語による授業:全て日本語で行う					
授業の目的、概要等					
授業目的:薬物と標的高分子を、化学分子として認識させ、薬理作用を化合物間の相互作用として理解させる。薬物が生体に投与され作用を発揮するまでの過程を理解させる。臨床薬理学を通じて薬理作用を総合的に理解させる。					
概要:受容体理論;循環薬理学;抗感染症薬の作用機序;薬物の体内動態;医薬品の副作用;硬組織に作用する薬物開発;抗癌剤の構造と作用機序;ペプチド創薬と薬理作用;ステロイドホルモン;神経薬理学;臨床薬理学。					
授業の到達目標					
薬理学とは、薬物と生体との相互作用を研究する科学である。薬物作用を薬物と標的生体高分子(蛋白質および核酸)の分子相互作用として捕らえ、構造化学的側面から理解する。更に薬物の体内挙動を表す薬物動態学を理解する。最後に過去の薬害事件や医療ミスなどを振り返りながら、医薬品の安全性についての理解を深める。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	5/30	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	薬理学概論	永田 将司
2	5/30	14:40-16:10	遠隔授業(非同期型)	薬物動態学(1)	永田 将司
3	6/6	13:00-14:30	遠隔授業(非同期型)	薬物動態学(2)	永田 将司
4	6/6	14:40-16:10	遠隔授業(非同期型)	抗癌剤とその作用機序	加納 嘉人
5	6/7	13:00-14:30	遠隔授業(非同期型)	硬組織に作用する薬物開発(1)	青木 和広
6	6/7	14:40-16:10	遠隔授業(非同期型)	硬組織に作用する薬物開発(2)	青木 和広
7	6/13	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	ペプチド創薬と薬理作用(1)	玉村 啓和
8	6/13	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	ペプチド創薬と薬理作用(2)	玉村 啓和
9	6/14	13:00-14:30	遠隔授業(非同期型)	循環薬理学(1)	笹野 哲郎
10	6/14	14:40-16:10	遠隔授業(非同期型)	循環薬理学(2)	井原 健介
11	6/20	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	ステロイドホルモン	影近 弘之
12	6/20	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	神経薬理学	七田 崇
13	6/21	10:30-12:00	遠隔授業(非同期型)	抗感染症薬の薬理	岡本 耕
14	6/21	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	医薬品の副作用	平井 利典
15	6/21	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	臨床薬理学	平井 利典
授業方法					
授業は講義形式で行い、PC 制御プロジェクターと配付資料を用いる。					
成績評価の方法					
成績評価は、提出レポート内容(50 点)、参加状況(25 点:同期型講義)および小テスト(25 点:非同期型講義)を総合して判定する。					
準備学習等についての具体的な指示					
すでに終了している授業(特に人体機能学)の復習をすることを勧める。					
連絡先(メールアドレス)					
永田 将司:mna-mpha@tmd.ac.jp					
オフィスアワー					
永田 将司:オフィスアワーは特に定めないが、事前連絡してから訪問すること					

Lecture No	031021				
Subject title	Pharmacology			Subject ID	GH—b3021—L
Instructors	永田 将司, 玉村 啓和, 影近 弘之, 加納 嘉人, 青木 和広, 井原 健介, 笹野 哲郎, 七田 崇, 岡本 耕, 平井 利典[NAGATA MASASHI, TAMAMURA HIROKAZU, KAGECHIKA HIROYUKI, KANOU Yoshihito, AOKI KAZUHIRO, IHARA KENSUKE, SASANO TETSUO, SHICHITA Takashi, OKAMOTO Koh, HIRAI Toshinori]				
Semester	Spring 2024	Level	1st – year	Units	2
Course by the instructor with practical experiences					
Availability in English:All classes are taught in Japanese.					
Course Purpose and Outline					
Course Purpose:This course is designed to give the first year master course graduate student an understanding of how drugs (1) work to produce their therapeutic effects to diseases (2) are administered, absorbed, metabolized, excreted and (3) produce adverse effects.					
Outline:The course will consist of lectures from 13:00 to 14:30 using PowerPoint slides presentation and handouts in their classroom. The titles of topics are as follows; Overview, Pharmacokinetics, Mechanism of drug side effects, Cardiovascular Pharmacology, Pharmacology of anti-infective agent, Cenral Nervous System Pharmacology, Steroid Hormones, Peptide Drug Discovery, Neuropharmacology, Hard Tissue Pharmacology, Pharmacology of Anticancer Drugs, Clinical Pharmacology.					
Course Objective(s)					
To develop a working knowledge of pharmacology that will assist the students in pursuing fundamental biological questions.					
Lecture plan					
No	Date	Time	Room	Lecture theme	Staff
1	5/30	13:00–14:30	遠隔授業(同期型)	Overview	NAGATA MASASHI
2	5/30	14:40–16:10	遠隔授業(非同期型)	Pharmacokinetics and Pharmacodynamics(1)	NAGATA MASASHI
3	6/6	13:00–14:30	遠隔授業(非同期型)	Pharmacokinetics and Pharmacodynamics(2)	NAGATA MASASHI
4	6/6	14:40–16:10	遠隔授業(非同期型)	Pharmacology of Anticancer Drugs	KANOU Yoshihito
5	6/7	13:00–14:30	遠隔授業(非同期型)	Hard Tissue Pharmacology(1)	AOKI KAZUHIRO
6	6/7	14:40–16:10	遠隔授業(非同期型)	Hard Tissue Pharmacology(2)	AOKI KAZUHIRO
7	6/13	13:00–14:30	遠隔授業(同期型)	Peptide Drug Discovery(1)	TAMAMURA HIROKAZU
8	6/13	14:40–16:10	遠隔授業(同期型)	Peptide Drug Discovery(2)	TAMAMURA HIROKAZU
9	6/14	13:00–14:30	遠隔授業(非同期型)	Cardiovascular Pharmacology(1)	SASANO TETSUO
10	6/14	14:40–16:10	遠隔授業(非同期型)	Cardiovascular Pharmacology(2)	IHARA KENSUKE
11	6/20	13:00–14:30	遠隔授業(同期型)	Steroid Hormones	KAGECHIKA HIROYUKI
12	6/20	14:40–16:10	遠隔授業(同期型)	Neuropharmacology	SHICHITA Takashi
13	6/21	10:30–12:00	遠隔授業(非同期型)	Pharmacology of Anti-infective Agents	OKAMOTO Koh
14	6/21	13:00–14:30	遠隔授業(同期型)	Mechanism of Drug Side Effects	HIRAI Toshinori
15	6/21	14:40–16:10	遠隔授業(同期型)	Clinical Pharmacology	HIRAI Toshinori
Lecture Style					
Lectures, preparation and review, writing a report on a selected topic					
Grading System					
Grades will be calculated as follows: Attendance 25%, Small test 25% (on-demand classes) and Report 50%					
Prerequisite Reading					
Review of Physiology class					
Email					
NAGATA MASASHI:mna-mpha@tmd.ac.jp					
Instructor's Contact Information					
NAGATA MASASHI:Contact person: Masashi Nagata Mon–Fri 10:00–17:00					

時間割番号	031022				
科目名	免疫学		科目ID	GH—b3022-L	
担当教員	瀬川 勝盛, 樗木 俊聡, 鈴木 春巳, 反町 典子, 福山 英啓, 木村 元子, 竹馬 俊介, 佐藤 莊, 長谷川 温彦, 早川 清雄, 伊勢 渉, 久保 允人[SEGAWA Katsumori, OTEKI TOSHIAKI, SUZUKI Harumi, SORIMACHI NORIKO, FUKUYAMA Hidehiro, KIMURA Motoko, CHIKUMA Shunnsuke, SATOH Takashi, HASEGAWA Atsuhiko, HAYAKAWA Sumio, ISE Wataru, KUBO Masato]				
開講時期	2024 年度後期	対象年次	1～	単位数	2
実務経験のある教員による授業					
英語による授業:同じ内容の英語授業を別日程で開講している(2024 年度秋開講予定)。					
免疫は科学的にも社会的にも重要な研究分野である。免疫システムを構成する細胞とその機能を理解し、免疫応答の仕組みや制御メカニズムの基本原則を理解する。また、免疫システムの破綻が引き起こす免疫疾患やその治療基盤の仕組み、最新の免疫研究の知見について講義する。					
主な講義場所 プログラムにより異なるので受講前に担当教員への確認を要する。					
授業の目的、概要等 学部生で免疫学の講義を履修していない学生も対象として、免疫の基礎から最新知見まで幅広く含めた講義を行う。免疫システムを担う細胞とその機能、さまざまな免疫疾患の病態を理解することで、科学的なエビデンスに基づいた免疫学的思考を育成する。					
授業の到達目標 免疫の基本原則、自然免疫と獲得免疫の主軸となる細胞と機能を分子からの視点と生理機能や疾患の視点から理解することを到達目標とする。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	10/1	13:00-14:30	大学院特別講義室	免疫学概論	瀬川 勝盛
2	10/1	14:40-16:10	大学院特別講義室	免疫学概論	瀬川 勝盛
3	10/4	13:00-14:30	大学院特別講義室	B 細胞と抗体	伊勢 渉
4	10/4	14:40-16:10	大学院特別講義室	免疫記憶のしくみ	伊勢 渉
5	10/8	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	次世代ワクチン開発	福山 英啓
6	10/8	14:40-16:10	大学院特別講義室	T リンパ球の発生と分化	鈴木 春巳
7	10/11	13:00-14:30	大学院特別講義室	T リンパ球の発生と分化	鈴木 春巳
8	10/11	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	T 細胞生物学	木村 元子
9	10/15	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	サイトカインによる免疫反応の制御	久保 允人
10	10/15	14:40-16:10	大学院特別講義室	免疫チェックポイントと腫瘍免疫	竹馬 俊介
11	10/18	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	マクロファージの多様性と疾患	佐藤 莊
12	10/18	14:40-16:10	大学院特別講義室	自然免疫細胞の機能と病態制御	反町 典子
13	10/21	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	ウイルス感染と宿主免疫	長谷川 温彦
14	10/22	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	粘膜免疫	樗木 俊聡
15	10/25	13:00-14:30	大学院特別講義室	自然免疫と慢性炎症	早川 清雄
成績評価の基準 試験の結果(70%)と授業への参加状況 (30%)を総合して評価する。					
準備学習等についての具体的な指示 免疫学の基礎知識は必要としない。生化学、分子生物学の基本的な知識が必要となる。不十分な場合は、あらかじめ予習しておくこと。					
参考書 Immunobiology／Charles A. Janeway,Janeway, Charles A.,:Garland Pub.					
履修上の注意事項 講義前に高校・大学教養部で学んだ生物学、分子生物学等の基礎知識を確認しておくこと。また、講義で紹介された関連文献等を講義後に読んで理解を深めること。					

連絡先(メールアドレス)

瀬川 勝盛 segawa.mche@tmd.ac.jp

オフィスアワー

瀬川 勝盛 毎週金曜日 PM. 5:00-PM. 6:00 M&D タワー 22F_N2206

Lecture No	031022				
Subject title	Immunology		Subject ID	GH—b3022—L	
Instructors	瀬川 勝盛, 橋本 俊聡, 鈴木 春巳, 反町 典子, 福山 英啓, 木村 元子, 竹馬 俊介, 佐藤 莊, 長谷川 温彦, 早川 清雄, 伊勢 渉, 久保 允人[SEGAWA Katsumori, OTEKI TOSHIAKI, SUZUKI Harumi, SORIMACHI NORIKO, FUKUYAMA Hidehiro, KIMURA Motoko, CHIKUMA Shunnsuke, SATOH Takashi, HASEGAWA Atsuhiko, HAYAKAWA Sumio, ISE Wataru, KUBO Masato]				
Semester	Fall 2024	Level	1st – year	Units	2
Course by the instructor with practical experiences					
Availability in English:Same classes are offered in English on different schedules. (Fall 2024)					
Immunity is an essential field of study both scientifically and socially. This lecture will explain the cells that constitute the immune system, its functions, and the basic principles and control mechanisms of immune responses. The course will also cover immune diseases caused by the breakdown of the immune system, the mechanisms underlying their treatment, and the latest findings of immunological research.					
Lecture place					
Please ask instructors about the lecture room before taking the course, as it varies by program.					
Course Purpose and Outline					
The lecture will cover a wide range of topics, from the basics to the latest findings in immunology for students who have not yet taken a course in immunology. This course will develop immunological thinking based on scientific evidence by understanding the immune cells and their biological functions that play a role in the immune system and the pathogenesis of various immunological diseases.					
Course Objective(s)					
This course aims to understand the basic principles of immunity and the cells and functions that are the mainstay of innate and acquired immunity from the molecular and the physiology or disease perspective.					
Lecture plan					
No	Date	Time	Room	Lecture theme	Staff
1	10/1	13:00–14:30	大学院特別講義室	Immunology Introduction	SEGAWA Katsumori
2	10/1	14:40–16:10	大学院特別講義室	Immunology Introduction	SEGAWA Katsumori
3	10/4	13:00–14:30	大学院特別講義室	B cells and Antibody	ISE Wataru
4	10/4	14:40–16:10	大学院特別講義室		ISE Wataru
5	10/8	13:00–14:30	遠隔授業(同期型)	Next-generation vaccine development	FUKUYAMA Hidehiro
6	10/8	14:40–16:10	大学院特別講義室	Thymic selection and T cell development	SUZUKI Harumi
7	10/11	13:00–14:30	大学院特別講義室	Thymic selection and T cell development	SUZUKI Harumi
8	10/11	14:40–16:10	遠隔授業(同期型)	T cell biology	KIMURA Motoko
9	10/15	13:00–14:30	遠隔授業(同期型)	Regulation of immune responses by cytokines	KUBO Masato
10	10/15	14:40–16:10	大学院特別講義室		CHIKUMA Shunnsuke
11	10/18	13:00–14:30	遠隔授業(同期型)		SATOH Takashi
12	10/18	14:40–16:10	大学院特別講義室		SORIMACHI NORIKO
13	10/21	10:30–12:00	遠隔授業(同期型)	Host immune defenses against viral infections	HASEGAWA Atsuhiko
14	10/22	14:40–16:10	遠隔授業(同期型)	Mucosal Immunology	OTEKI TOSHIAKI
15	10/25	13:00–14:30	大学院特別講義室	Innate immunity and chronic inflammation	HAYAKAWA Sumio
Grading Rule					
Evaluation will be based on the exam results (70%) and class participation (30%).					
Prerequisite Reading					
Basic knowledge of immunology is not required. Yet, knowledge of biochemistry and molecular biology is required. If necessary, please prepare in advance.					
Reference Materials					
Immunobiology／Charles A. Janeway,Janeway, Charles A.,:Garland Pub.					

Important Course Requirements

Before the lecture, please check your basic knowledge of biology and molecular biology that you have learned in high school and undergraduate. In addition, students should read the related literature introduced in the lecture after the lecture to deepen their understanding.

Email

SEGAWA Katsumori:segawa.mche@tmd.ac.jp

Instructor's Contact Information

SEGAWA Katsumori:Every Friday from 5:00 PM to 6:00 PM M&D Tower 22F_N2206

時間割番号	031023				
科目名	発生・再生科学			科目ID	GH-b3023-L
担当教員	仁科 博史, 小藤 智史, 田賀 哲也, 金井 正美, 宮坂 尚幸, 林 聡, 浅原 弘嗣, 高木 正稔, 荒川 聡子, 関矢 一郎, 井関 祥子, 後藤 利保, 原田 理代, 佐々木 純子, 佐藤 卓[NISHINA HIROSHI, KOFUJI Satoshi, TAGA TETSUYA, KANAI MASAMI, MIYASAKA NAOYUKI, HAYASHI Satoshi, ASAHARA HIROSHI, TAKAGI MASATOSHI, ARAKAWA SATOKO, SEKIYA ICHIRO, ISEKI SACHIKO, GOTO TOSHIYASU, HARADA MASAYO, SASAKI Juniko, SATOU Taku]				
開講時期	2024 年度後期	対象年次	1～	単位数	2
実務経験のある教員による授業					
英語による授業:全て日本語で行う。					
授業の目的、概要等					
授業目的:個の発生を通して、医学生物学的知識を蓄えるだけでなく、まだ解明されていないパラダイムが何であるかを学び、それが明かされる事で期待されるインパクトを想像することで、サイエンス教育の本質に迫ることを目的とする。					
概要:生命の誕生から発達まで、最新の分子生物学、遺伝学のレベルで概説する。また、小児成長における遺伝疾患を系統的に学習し、発生学を基盤とした、将来のSTEM細胞を用いた再生医療への展望を考える。					
授業の到達目標					
発生・再生・生殖医学に関する基本的知識を学び、最先端の研究戦略を理解する。					
医学と生物学の両面から、十分な情報を得て、この分野において深い洞察力をつけることを目標とする。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	10/2	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	動物の個体と臓器サイズ	仁科 博史
2	10/2	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	脳の発生と疾患	小藤 智史
3	10/4	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	幹細胞から見た中枢神経系の発生と再生	田賀 哲也
4	10/4	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	着床と胎盤発生	金井 正美
5	10/7	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	ヒト胎児の発生と発育	宮坂 尚幸, 林 聡
6	10/7	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	Musculoskeletal system の発生・再生医学	浅原 弘嗣
7	10/9	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	血液・免疫系の発生・分化とその異常	高木 正稔
8	10/9	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	マウス胎仔期の肝臓での赤血球分化	荒川 聡子
9	10/11	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	間葉系幹細胞と再生医学(関節軟骨・半月板を例として)	関矢 一郎
10	10/11	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	頭蓋顎顔面組織の発生と再生	井関 祥子
11	10/16	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	発生の分子機構	後藤 利保
12	10/16	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	付属肢の発生	原田 理代
13	10/18	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	肝臓の発生と再生	仁科 博史
14	10/18	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	生殖器の発生と性分化	佐々木 純子
15	10/21	08:50-10:20	遠隔授業(非同期型)	組織幹細胞研究とその医療応用	佐藤 卓
授業方法					
PowerPoint を用いた講義を中心に行う。					
成績評価の方法					
授業の参加状況(50 点)及び試験(レポート)(50 点)に基づいて総合的に評価を行う。					
準備学習等についての具体的な指示					
特になし。					
参考書					
「Developmental Biology」 SINAUER 社 Scott F. Gilbert					
「わかる実験医学シリーズ 発生生物学がわかる」 羊土社 編集／上野直人, 野地澄晴					
連絡先(メールアドレス)					
仁科 博史 nishina.dbio@mri.tmd.ac.jp					
オフィスアワー					

Lecture No	031023				
Subject title	Developmental and Regenerative Bioscience			Subject ID	GH—b3023—L
Instructors	仁科 博史, 小藤 智史, 田賀 哲也, 金井 正美, 宮坂 尚幸, 林 聡, 浅原 弘嗣, 高木 正稔, 荒川 聡子, 関矢 一郎, 井関 祥子, 後藤 利保, 原田 理代, 佐々木 純子, 佐藤 卓[NISHINA HIROSHI, KOFUJI Satoshi, TAGA TETSUYA, KANAI MASAMI, MIYASAKA NAOYUKI, HAYASHI Satoshi, ASAHARA HIROSHI, TAKAGI MASATOSHI, ARAKAWA SATOKO, SEKIYA ICHIRO, ISEKI SACHIKO, GOTO TOSHIYASU, HARADA MASAYO, SASAKI Junnko, SATOU Taku]				
Semester	Fall 2024	Level	1st – year	Units	2
Course by the instructor with practical experiences					
Availability in English:All classes are taught in Japanese.					
Course Purpose and Outline Course Purpose:It is the mission of these lectures to provide a wide spectrum of knowledge covering recent advanced in developmental and regenerative biology and basic medicine that can be used by students to conduct their own research projects. Outline:This course covers the human development from the fertilization to the postnatal maturation with an emphasis on embryonic development. We will discuss how modern molecular and genetic approaches are advancing the fundamentals of perinatal medicine and developmental biology. Special emphasis will be placed on developmental genetic disorders and the prospect of using stem cells in regenerative therapy. An additional objective of the course is to learn about research techniques and their application to currently unresolved issues and envisage new paradigms in medicine.					
Course Objective(s) To acquire a wide spectrum of knowledge covering recent advanced in developmental and regenerative biology					
Lecture plan					
No	Date	Time	Room	Lecture theme	Staff
1	10/2	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)		NISHINA HIROSHI
2	10/2	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)		KOFUJI Satoshi
3	10/4	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)		TAGA TETSUYA
4	10/4	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)		KANAI MASAMI
5	10/7	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)		MIYASAKA NAOYUKI, HAYASHI Satoshi
6	10/7	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)		ASAHARA HIROSHI
7	10/9	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)		TAKAGI MASATOSHI
8	10/9	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)		ARAKAWA SATOKO
9	10/11	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)		SEKIYA ICHIRO
10	10/11	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)		ISEKI SACHIKO
11	10/16	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)		GOTO TOSHIYASU
12	10/16	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)		HARADA MASAYO
13	10/18	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)		NISHINA HIROSHI
14	10/18	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)		SASAKI Junnko
15	10/21	08:50-10:20	遠隔授業(非同期型)		SATOH Taku
Lecture Style Lecture					
Grading System Examination(report) and Attendance					
Prerequisite Reading Basic knowledge on molecular biology					
Reference Materials Scott F. Gilbert Developmental Biology					
Email					

NISHINA HIROSHI: nishina.dbio@mri.tmd.ac.jp
Instructor's Contact Information NISHINA HIROSHI: on Thursdays between 10:00–12:00 noon 21F, M&D Tower

時間割番号	031024				
科目名	細胞生物学特論			科目ID	GH-b3024-L
担当教員	樗木 俊聡, 澁谷 浩司, 仁科 博史, 田賀 哲也, 豊島 文子, 井関 祥子, 佐々木 純子, 渡部 徹郎[OTEKI TOSHIKI, SHIBUYA HIROSHI, NISHINA HIROSHI, TAGA TETSUYA, TOYOSHIMA Fumiko, ISEKI SACHIKO, SASAKI Junnko, WATABE TETSURO]				
開講時期	2024 年度前期	対象年次	1～	単位数	1
実務経験のある教員による授業					
英語による授業:ほぼ同じ内容の英語授業を別日程で開講している(2025 年度秋開講予定)。					
授業の目的、概要等					
授業目的:細胞の分化・増殖・活性化・死の分子機構について、さまざまな細胞・組織での情報交換・伝達の基本原理を学ぶ。					
概要:生物個体を形成している個々の細胞・組織は、固有形質を保ちながらも、お互いに密接な情報交換を行い全体として統合のとれた生命活動を営んでいる。本特論では、各組織の細胞内・細胞間でどのような分子ネットワークを介して情報を交換しているのかについて講義を行う。					
授業の到達目標					
各組織の細胞内・細胞間での情報交換・伝達の基本原理を学び、組織の恒常性維持機構、その破綻による疾患誘導機構を理解する。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	6/11	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	マクロファージと樹状細胞の細胞生物学	樗木 俊聡
2	6/11	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	がん微小環境を制御する TGF-β ファミリーシグナル	渡部 徹郎
3	6/17	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	組織幹細胞と恒常性維持機構	豊島 文子
4	6/17	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	がん幹細胞の特性	田賀 哲也
5	6/18	13:00-14:30	大学院特別講義室	肝形成を制御するシグナル伝達系	仁科 博史
6	6/18	14:40-16:10	大学院特別講義室	ホスファターゼの生命科学	佐々木 純子
7	6/24	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	形態形成を制御するシグナル伝達機構	澁谷 浩司
8	6/24	14:40-16:10	大学院特別講義室	頭蓋顎顔面の発生と先天異常	井関 祥子
授業方法					
パワーポイントを用いた通常授業に加え、適宜、質疑応答により理解度をチェックする。					
成績評価の方法					
成績評価は、提出レポート内容(52 点)と参加状況(48 点)を総合して評価する。					
準備学習等についての具体的な指示					
講義前に高校・大学教養部で学んだ生物学、分子生物学等の基礎知識を確認しておくこと。また、講義で紹介された関連文献等を講義後に読んで理解を深めること。					
連絡先(メールアドレス)					
樗木 俊聡:ohteki.bre@mri.tmd.ac.jp					
オフィスアワー					
樗木 俊聡:授業終了後に各科目担当者と個別に、または科目責任者とメールで相談することとする。					

Lecture No	031024				
Subject title	Molecular Cell Biology			Subject ID	GH—b3024-L
Instructors	榑木 俊聡, 澁谷 浩司, 仁科 博史, 田賀 哲也, 豊島 文子, 井関 祥子, 佐々木 純子, 渡部 徹郎[OTEKI TOSHIAKI, SHIBUYA HIROSHI, NISHINA HIROSHI, TAGA TETSUYA, TOYOSHIMA Fumiko, ISEKI SACHIKO, SASAKI Junnko, WATABE TETSURO]				
Semester	Spring 2024	Level	1st – year	Units	1
Course by the instructor with practical experiences					
Availability in English: Almost the same classes are offered in English on different schedules. (Fall 2023)					
Course Purpose and Outline					
Course Purpose:Students will learn basic molecular mechanisms of intra– and inter–cellular information exchange required for cell differentiation, activation and death. The mechanisms are essential for the maintenance of tissue homeostasis and their breakdown cause disease development.					
Outline:While individual cell and tissue have distinct and unique function, they show fine–tuned and well–balanced biological activity by exchanging intra– and inter–cellular information in the living body. This course deals with current topics aimed at understanding the molecular mechanisms of intra– and inter–cellular information exchange in a variety of tissues and of how its breakdown causes disease development.					
Course Objective(s)					
Students understand basic principle of intra– and inter–cellular information exchange and mechanisms of the maintenance of tissue homeostasis and its breakdown–associated disease development.					
Lecture plan					
No	Date	Time	Room	Lecture theme	Staff
1	6/11	13:00–14:30	遠隔授業(同期型)	マクロファージと樹状細胞の細胞生物学	OTEKI TOSHIAKI
2	6/11	14:40–16:10	遠隔授業(同期型)	がん微小環境を制御する TGF– β ファミリーシグナル	WATABE TETSURO
3	6/17	13:00–14:30	遠隔授業(同期型)	組織幹細胞と恒常性維持機構	TOYOSHIMA Fumiko
4	6/17	14:40–16:10	遠隔授業(同期型)	がん幹細胞の特性	TAGA TETSUYA
5	6/18	13:00–14:30	大学院特別講義室	肝形成を制御するシグナル伝達系	NISHINA HIROSHI
6	6/18	14:40–16:10	大学院特別講義室	ホスファターゼの生命科学	SASAKI Junnko
7	6/24	13:00–14:30	遠隔授業(同期型)	形態形成を制御するシグナル伝達機構	SHIBUYA HIROSHI
8	6/24	14:40–16:10	大学院特別講義室	頭蓋顎顔面の発生と先天異常	ISEKI SACHIKO
Lecture Style					
Lecture					
Grading System					
Report (52%) and Attendance (48%)					
Prerequisite Reading					
Students should confirm the basic knowledge of biology, molecular biology, etc. learned in high school or the first year of university before the lecture. In addition, students should read the related literature introduced in the lecture to deepen their understanding.					
Email					
OTEKI TOSHIAKI:ohteki.bre@mri.tmd.ac.jp					
Instructor's Contact Information					
OTEKI TOSHIAKI:After each class, please consult with the person in charge of each subject individually or by email with the person in charge of the subject.					

時間割番号	031025				
科目名	神経疾患特論			科目ID	GH-b3025-L
担当教員	味岡 逸樹, 上阪 直史, 田中 ひかり, 高橋 真有, 磯村 宜和, 平 理一郎, 平岡 優一, 七田 崇, 塩飽 裕紀, 永田 哲也, 田中 大介[AJIOKA ITSUKI, UESAKA Naofumi, TANAKA Hikari, TAKAHASHI MAYU, ISOMURA Yoshikazu, HIRA Riichirou, HIRAOKA Yuuichi, SHICHITA Takashi, SHIWAKU Hiroki, NAGATA TETSUYA, TANAKA DAISUKE]				
開講時期	2024 年度前期	対象年次	1～	単位数	2
実務経験のある教員による授業					
英語による授業:同じ内容の英語授業を別日程で開講している(2024 年度秋開講予定)。					
主な講義場所 オンライン					
授業の目的、概要等 授業目的:神経系の形成機序・生理機能や各種神経・精神疾患の病態・病因について、基本的な原理を理解すると共に、実際の研究の進め方の基礎知識を修得する。 概要:脳の形成機序から作動原理までの正常な脳機能、脳研究の基本的な方法論、脳機能破綻による精神神経疾患の概略に関して、講義を行う。					
授業の到達目標 脳の形成と生理機能の基本原則とその分子基盤について理解する。さらに、主要な精神神経疾患の病態に関する最新の知見を理解する。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	5/30	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	神経発生 1(神経産生)	味岡 逸樹
2	5/30	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	神経発生 2(神経分化)	味岡 逸樹
3	6/3	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	神経発生 3(回路形成)	上阪 直史
4	6/3	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	神経生理 1(神経回路)	高橋 真有
5	6/6	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	神経生理 2(情報処理)	磯村 宜和
6	6/6	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	基盤技術 1(顕微鏡解析)	平 理一郎
7	6/10	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	基盤技術 2(ゲノム編集)	平岡 優一
8	6/10	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	基盤技術 3(行動解析)	平岡 優一
9	6/13	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	神経病態 1(神経免疫)	七田 崇
10	6/13	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	神経病態 2(神経修復)	七田 崇
11	6/17	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	脳とこころ 1(精神疾患)	塩飽 裕紀
12	6/17	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	神経病態 3(神経疾患)	永田 哲也
13	6/20	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	脳とこころ 2(情動)	田中 大介
14	6/20	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	神経病態 4(神経病理)	田中 ひかり
15	6/24	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	総まとめ	味岡 逸樹
授業方法 講義形式と対話形式の併用。					
成績評価の方法 成績評価は、授業の参加状況(50 点)と試験の総合点(50 点)を総合して評価する。					
準備学習等についての具体的な指示 既に終了している「人体機能学」の復習と事前に配布した講義資料の予習しておくとい。					
教科書 カンデル神経科学／Eric R. Kandel [[ほか] 編]Kandel, Eric R,Koester, John,Mack, Sarah,Siegelbaum, Steven,宮下, 保司,岡野, 栄之 ,神谷, 之康,合田, 裕紀子,加藤, 総夫 (医学),藤田, 一郎,伊佐, 正,定藤, 規弘,大隅, 典子,井ノ口, 馨,笠井, 清登 ,:メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2022					
連絡先(メールアドレス)					

Lecture No	031025				
Subject title	Introduction to Medical Neurosciences			Subject ID	GH—b3025—L
Instructors	味岡 逸樹, 上阪 直史, 田中 ひかり, 高橋 真有, 磯村 宜和, 平 理一郎, 平岡 優一, 七田 崇, 塩飽 裕紀, 永田 哲也, 田中 大介[AJIOKA ITSUKI, UESAKA Naofumi, TANAKA Hikari, TAKAHASHI MAYU, ISOMURA Yoshikazu, HIRA Riichirou, HIRAOKA Yuuichi, SHICHITA Takashi, SHIWAKU Hiroki, NAGATA TETSUYA, TANAKA DAISUKE]				
Semester	Spring 2024	Level	1st – year	Units	2
Course by the instructor with practical experiences					
Classes in English: English classes with the same content are being offered on a different schedule (scheduled in fall 2024).					
Lecture place					
Online					
Course Purpose and Outline					
Course Objective: To understand the basic principles of the development and physiological function of the nervous system and the pathology and etiology of various neurological and psychiatric disorders, as well as to acquire basic knowledge on how to conduct actual research.					
Abstract: Lectures will be given on normal brain functions, basic methodologies of brain research, and outline of neuropsychiatric disorders caused by brain dysfunction.					
Course Objective(s)					
Understand the basic principles and molecular basis of brain formation and physiological function. In addition, students will gain an understanding of the latest findings in the pathogenesis of major neuropsychiatric disorders.					
Lecture plan					
No	Date	Time	Room	Lecture theme	Staff
1	5/30	08:50–10:20	遠隔授業(同期型)	Neural Development 1	AJIOKA ITSUKI
2	5/30	10:30–12:00	遠隔授業(同期型)	Neural Development 2	AJIOKA ITSUKI
3	6/3	08:50–10:20	遠隔授業(同期型)	Neural Development 3	UESAKA Naofumi
4	6/3	10:30–12:00	遠隔授業(同期型)	Neurophysiology 1	TAKAHASHI MAYU
5	6/6	08:50–10:20	遠隔授業(同期型)	Neurophysiology 2	ISOMURA Yoshikazu
6	6/6	10:30–12:00	遠隔授業(同期型)	Fundamental Technology 1	HIRA Riichirou
7	6/10	08:50–10:20	遠隔授業(同期型)	Fundamental Technology 2	HIRAOKA Yuuichi
8	6/10	10:30–12:00	遠隔授業(同期型)	Fundamental Technology 3	HIRAOKA Yuuichi
9	6/13	08:50–10:20	遠隔授業(同期型)	Neuropathology 1	SHICHITA Takashi
10	6/13	10:30–12:00	遠隔授業(同期型)	Neuropathology 2	SHICHITA Takashi
11	6/17	08:50–10:20	遠隔授業(同期型)	Brain and Mind 1	SHIWAKU Hiroki
12	6/17	10:30–12:00	遠隔授業(同期型)	Neuropathology 3	NAGATA TETSUYA
13	6/20	08:50–10:20	遠隔授業(同期型)	Brain and Mind 2	TANAKA DAISUKE
14	6/20	10:30–12:00	遠隔授業(同期型)	Neuropathology 4	TANAKA Hikari
15	6/24	10:30–12:00	遠隔授業(同期型)	Summary	AJIOKA ITSUKI
Lecture Style					
Lecture and interactive format.					
Grading System					
Examination (50%) and Participation (50%)					
Prerequisite Reading					
It is recommended that students review “Functional organization of the human body” and prepare for the lecture materials distributed in advance.					
TextBook					
カandel神経科学／Eric R. Kandel [ほか] 編,Kandel, Eric R,Koester, John,Mack, Sarah,Siegelbaum, Steven,宮下, 保司,岡野, 栄之 ,神谷, 之康,合田, 裕紀子,加藤, 総夫 (医学),藤田, 一郎 ,伊佐, 正,定藤, 規弘,大隅, 典子,井ノ口, 馨,笠井, 清登 ,:メディカル・サイエンス・インターナ					

シヨナル, 2022
Email AJIOKA ITSUKI: iajioka.cbir@tmd.ac.jp

時間割番号	031026					
科目名	遺伝医学特論		科目ID	GH—b3026-L		
担当教員	高地 雄太, 田中 真二, 秋山 好光, 山田 哲也, 浅原 弘嗣, 江川 真希子, 鹿島田 健一, 田中 敏博, 三橋 里美, 石川 欽也, 永田 哲也, 西田 奈央[KOUCHI Yuuta, TANAKA SHINJI, AKIYAMA YOSHIMITSU, YAMADA Tetsuya, ASAHARA HIROSHI, EGAWA MAKIKO, KASHIMADA KENICHI, TANAKA TOSHIHIRO, MITSUHASHI Satomi, ISHIKAWA KINYA, NAGATA TETSUYA, NISHIDA Nao]					
開講時期	2024 年度前期	対象年次	1～	単位数	2	
実務経験のある教員による授業						
英語による授業:全て日本語で行う。						
授業の目的、概要等						
授業目的: 遺伝医学の基礎から最先端のゲノム医科学までの知識を修得する一方、疾患と遺伝子に関してその発症メカニズム、診断、治療、予防までを学ぶ。						
概要: 高地 雄太 疾患と遺伝 序論 西田 奈央 ゲノムワイド関連解析と全ゲノムシーケンス 高地 雄太 遺伝子多型の機能を理解する(eQTL/sQTL 解析) 田中 敏博 循環器領域における遺伝要因に関して学ぶ 江川 真希子 生殖・発生と遺伝医学 秋山 好光 DNA 損傷と遺伝的不安定に関して理解する。 鹿島田 健一 小児科領域の遺伝疾患の病態と臨床を学ぶ 西田 奈央 発癌における遺伝因子と環境因子の相互作用 浅原 弘嗣 ヒトを含む哺乳類の個体発生・成長におけるエピジェネティック制御について学ぶ 石川 欽也 遺伝子の切り口から脳の病気を学ぶ 山田 哲也 糖・エネルギー代謝調節における臓器・細胞関連を理解する 三橋 里美 新しいゲノム解析技術～ロングリード・シーケンシング～ 田中 真二 がん難治性の分子メカニズムと治療戦略を学ぶ 永田 哲也 核酸医薬の概要と治療戦略 高地 雄太 ゲノム精密医療にむけて～免疫疾患を例に～						
授業の到達目標						
ヒトゲノム塩基配列の全容が明らかになった。このポストシーケンス時代にあって疾患の本態を理解し、その診断、治療、さらに予防を視野に入れた医歯学研究を展開するには、遺伝医学の知識は必須である。本講義では、遺伝医学の基礎知識と研究手法を教授するだけではなく、生命の誕生から終焉までのヒトの生涯で起きる生命現象と、その破綻によって起きるさまざまな疾患の発症メカニズムを説きながら、基礎から最先端までの疾患遺伝学、ゲノム応用医学を教授する。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	5/17	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	疾患と遺伝 序論	高地 雄太	
2	5/21	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	ゲノムワイド関連解析と全ゲノムシーケンス	西田 奈央	
3	5/22	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	遺伝子多型の機能を理解する(eQTL/sQTL 解析)	高地 雄太	
4	5/22	14:40-16:10	遠隔授業 (同期型)	循環器領域における遺伝要因に関して学ぶ	田中 敏博	
5	5/23	10:30-12:00	遠隔授業	生殖・発生と遺伝医学	江川 真希子	

			(同期型)			
6	5/28	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	DNA 損傷と遺伝的不安定性に関して理解する。	秋山 好光	
7	5/28	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	小児科領域の遺伝疾患の病態と臨床を学ぶ	鹿島田 健一	
8	5/29	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	発癌における遺伝因子と環境因子の相互作用	西田 奈央	
9	5/29	14:40-16:10	遠隔授業 (同期型)	ヒトを含む哺乳類の個体発生・成長におけるエピジェネティック制御について学ぶ	浅原 弘嗣	
10	6/4	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	遺伝子の切り口から脳の病気を学ぶ	石川 欽也	
11	6/5	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	糖・エネルギー代謝調節における臓器・細胞連関を理解する	山田 哲也	
12	6/5	14:40-16:10	遠隔授業 (同期型)	新しいゲノム解析技術～ロングリード・シークエンシング～	三橋 里美	
13	6/10	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	がん難治性の分子メカニズムと治療戦略を学ぶ	田中 真二	
14	6/10	14:40-16:10	遠隔授業 (同期型)	核酸医薬の概要と治療戦略	永田 哲也	
15	6/12	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	ゲノム精密医療にむけて～免疫疾患を例に～	高地 雄太	講義修了後テスト(レポート)

授業方法

パワーポイントを用いたセミナー形式の講義。講義資料を用意することもある。

成績評価の方法

本課目の最終日に試験(レポート)を課しその結果とともに出席状況を勘案して評価する。

準備学習等についての具体的な指示

予め授業内容欄を参考に関連知識の涵養に努め、質問事項等を準備しておくことで講義の理解が深まる。

参考書

1. The Biology of Cancer. Weinberg RA. Garland Science, Taylor & Francis Group 2nd Ed 2014.
2. Human Molecular Genetics. Strachan T.& Read AP. Bios Scientific Publisher 5th Ed.2018
3. 細胞の分子生物学・第6版 松原謙一他監訳 Newton Press
4. ゲノム 第3版 村松正実監訳メディカルサイエンスインターナショナル
5. がん研究のいま「がんの診断と治療」中村祐輔、稲澤譲治編著 2006 年 2 月刊(東大出版)
6. 遺伝子医療革命ーゲノム科学が私たちを変える フランシス・S・コリンズ著矢野真千子訳、2011 (NHK 出版)
7. (上記日本語訳)トンプソン&トンプソン 遺伝医学 福嶋義光監訳 メディカルサイエンスインターナショナル
8. コアカリ準拠 臨床遺伝学テキストノート 日本人類遺伝学会編集 診断と治療社 2018

連絡先(メールアドレス)

高地 雄太 y-kochigfd@mri.tmd.ac.jp

Lecture No	031026					
Subject title	Introduction to Human Molecular Genetics			Subject ID	GH—b3026—L	
Instructors	高地 雄太, 田中 真二, 秋山 好光, 山田 哲也, 浅原 弘嗣, 江川 真希子, 鹿島田 健一, 田中 敏博, 三橋 里美, 石川 欽也, 永田 哲也, 西田 奈央[KOUCHI Yuuta, TANAKA SHINJI, AKIYAMA YOSHIMITSU, YAMADA Tetsuya, ASAHARA HIROSHI, EGAWA MAKIKO, KASHIMADA KENICHI, TANAKA TOSHIHIRO, MITSUHASHI Satomi, ISHIKAWA KINYA, NAGATA TETSUYA, NISHIDA Nao]					
Semester	Spring 2024	Level	1st – year	Units	2	
Course by the instructor with practical experiences						
Availability in English:All classes are taught in Japanese.						
Course Purpose and Outline Course Purpose:The course is aimed at giving the student basic concepts and knowledge in human genetics and the implementation of personalized medicine in post-genomic era. Outline:The course will include concepts of genomic structure and function, genome variations, cancer genomics and epigenomics, genomic disorders and imprinting, animal models of human diseases, genetic diagnosis, therapy and prevention of human diseases, reproductive genetics, and genetic instability.						
Course Objective(s) The goal is to develop an understanding of human genetics and diseases mechanism for therapeutic potentials.						
Lecture plan						
No	Date	Time	Room	Lecture theme	Staff	Learning objectives・Learning methods・Instructions
1	5/17	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)		KOUCHI Yuuta	
2	5/21	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)		NISHIDA Nao	
3	5/22	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)		KOUCHI Yuuta	
4	5/22	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)		TANAKA TOSHIHIRO	
5	5/23	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)		EGAWA MAKIKO	
6	5/28	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)		AKIYAMA YOSHIMITSU	
7	5/28	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)		KASHIMADA KENICHI	
8	5/29	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)		NISHIDA Nao	
9	5/29	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)		ASAHARA HIROSHI	
10	6/4	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)		ISHIKAWA KINYA	
11	6/5	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)		YAMADA Tetsuya	
12	6/5	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)		MITSUHASHI Satomi	
13	6/10	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)		TANAKA SHINJI	
14	6/10	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)		NAGATA TETSUYA	
15	6/12	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)		KOUCHI Yuuta	
Lecture Style Lecture						
Grading System Participation in lectures (50%) and examination (report) at the last lecture (50%).						
Prerequisite Reading The Language of Life: DNA and the Revolution in Personalized Medicine, Francis Collins, 2011						
Reference Materials 1. Human Molecular Genetics. Strachan T.& Read AP. Bios Scientific Publisher 5th Ed.2018 2. Molecular Biology of The Cell (6th ed) Alberts B.他 2014 3. Thompson&Thompson Genetics in Medicine, 8th Ed.2016. Nussbaum R et al. Saunders. 4. Genomes. Brown T.A. Bios Scientific Publisher 3rd Ed. 2007						

時間割番号	031027						
科目名	口腔保健福祉学			科目ID	GH—b3027-L		
担当教員	樺沢 勇司, LIAO SHIN RU, 樺沢 勇司, 吉田 直美, 伊藤 奏, 鈴木 瞳, 日高 玲奈, 安達 奈穂子, 松尾 浩一郎, 竹内 康雄[KABASAWA YUJI, LIAO Shin Ru, KABASAWA YUJI, YOSHIDA Naomi, ITOU Kanade, SUZUKI Hitomi, NAKAYAMA Rena, ADACHI Naoko, MATSUO Kouichirou, TAKEUCHI YASUO]						
開講時期	2024 年度後期	対象年次	1～		単位数	2	
実務経験のある教員による授業							
一部英語で行う							
主な講義場所							
オンライン授業(主として同期 Zoom、非同期や対面授業の場合もある)							
)							
授業の目的、概要等							
授業目的: 口腔保健の計画実践方法を理解する。さらに、人々の健康と生活を支える口腔保健福祉の実践・政策の現状と方法論、地域を基盤とした医療・保健・福祉のネットワークの現状と方法論について理解する。							
概要:							
(1)口腔保健の概論および実践方法							
(2)口腔保健福祉の実践・政策の現状							
(3)口腔保健福祉の方法論							
(4)地域を基盤とした医療・保健・福祉のネットワークの現状							
(5)地域を基盤とした医療・保健・福祉の連携と口腔保健(超高齢社会における医療・保健・福祉の連携と口腔保健、食べる楽しみの支援と口腔管理の実践)							
(6)課題研究: 口腔保健福祉と各自の研究と、両方に関連する英語の文献を検索し、文献内容に関して発表を行う。							
授業の到達目標							
国民一人ひとりが健康で質の高い生活を営むうえで基礎的かつ重要な役割を果たす口腔保健を実践するための知識を教授するとともに、人々の健康と生活を支える口腔保健福祉の実践・政策及び地域を基盤とした医療・保健・福祉のネットワークについて、その現状と方法論を理解する。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	10/3	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	口腔保健の概論と実践方法 I	口腔保健の概論と実践方法 I	樺沢 勇司, 品田 佳世子	研究テーマについてのディスカッション(アクティブラーニング)
2	10/3	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	口腔保健医療とオーラルメディシン	口腔保健医療とオーラルメディシン	樺沢 勇司	
3	10/8	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	口腔保健に関わる専門職の特徴と役割	口腔保健に関わる専門職の特徴と役割	吉田 直美	
4	10/8	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	口腔保健の歴史と現状	口腔保健の歴史と現状	吉田 直美	
5	10/10	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	社会疫学と口腔保健	社会疫学と口腔保健	伊藤 奏	
6	10/10	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	口腔保健の概論と実践方法 II 「長期症例を通じて」演習(アクティブラーニング)	口腔保健の概論と実践方法 II 「長期症例を通じて」演習(アクティブラーニング)	安達 奈穂子	演習(アクティブラーニング)
7	10/15	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	食べる楽しみの支援と口腔機能管理	食べる楽しみの支援と口腔機能管理	鈴木 瞳	

8	10/15	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	超高齢社会における医療・福祉課題と地域の高齢者支援	超高齢社会における医療・福祉課題と地域の高齢者支援	日高 玲奈	
9	10/17	08:50-10:20	遠隔授業 (非同期型)	超高齢社会における口腔保健の役割	超高齢社会における口腔保健の役割	竹内 康雄	
10	10/17	10:30-12:00	遠隔授業 (非同期型)	口腔保健における機能水の利用	口腔保健における機能水の利用	竹内 康雄	
11	10/22	08:50-10:20	遠隔授業 (非同期型)	地域包括ケアシステムにおける口腔保健I	医療介護領域における口腔保健の関わり	松尾 浩一郎	
12	10/22	10:30-12:00	遠隔授業 (非同期型)	地域包括ケアシステムにおける口腔保健I	生活支援における口腔保健の関わり	松尾 浩一郎	
13	10/24	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	台湾の口腔保健医療について	台湾の口腔保健医療について	樺沢 勇司, U AO SHIN R U	
14	10/24	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	口腔がん患者の口腔健康管理について	口腔がん患者の口腔健康管理について	樺沢 勇司	
15	10/29	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	課題発表、全体討議(アクティブラーニング)	課題発表、全体討議(アクティブラーニング)	樺沢 勇司	課題発表、全体 討議(アクティブラーニング)

授業方法

オンライン授業(同期 Zoom によるが主であるが、非同期および対面授業を行う場合もある)

授業内容

授業日程に表示

成績評価の方法

成績評価は課題の提出資料(20 点)、発表(30 点)と授業参加状況(50 点)を総合して評価する。

成績評価の基準

到達目標がほとんど達成されている「B」、十分達成されている「A」、目標以上の達成がえられている「A+」

準備学習等についての具体的な指示

口腔保健、社会福祉等に関して、口腔保健関連の学士学生は大学において修得した内容を復習しておく。

試験の受験資格

試験は行わないが、成績判定は授業全体の 2/3 以上出席のこと

参考書

授業中に紹介

他科目との関連

口腔保健臨地実習

Lecture No	031027						
Subject title	Oral Health Generic Care Sciences			Subject ID	GH—b3027-L		
Instructors	樺沢 勇司, LIAO SHIN RU, 樺沢 勇司, 吉田 直美, 伊藤 奏, 鈴木 瞳, 日高 玲奈, 安達 奈穂子, 松尾 浩一郎, 竹内 康雄[KABASAWA YUJI, LIAO Shin Ru, KABASAWA YUJI, YOSHIDA Naomi, ITOU Kanade, SUZUKI Hitomi, NAKAYAMA Rena, ADACHI Naoko, MATSUO Kouichirou, TAKEUCHI YASUO]						
Semester	Fall 2024	Level	1st – year	Units	2		
Course by the instructor with practical experiences							
Partial classes are taught in English							
Lecture place							
Online lessons (by Zoom, occasionally WebClass or face-to-face)							
Course Purpose and Outline							
Students acquire deep academic knowledge about oral health and medical health care and welfare.							
(1)Outline of oral health generic care							
(2)Work forces of oral health generic care							
(3)Clinical dentistry and oral health care							
(4)Community health network and Assessment of vital function							
(5)Social work for people who needs oral health care and welfare							
(6)Collaboration of medical health care, welfare, and oral health in a super-aging society							
(7)Search and presentation for journal articles on oral health							
Course Objective(s)							
Oral health generic care are sciences included oral health and medical health care and welfar. Oral health care is not only prevent and detect oral diseases, but also maintain and improve the nation's health.							
Lecture plan							
No	Date	Time	Room	Lecture theme	Lecture content	Staff	Learning objectives・ Learning methods・ Instructions
1	10/3	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)			KABASAWA YUJI, SHINADA KAYOKO	
2	10/3	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)			KABASAWA YUJI	
3	10/8	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)			YOSHIDA Naomi	
4	10/8	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)			YOSHIDA Naomi	
5	10/10	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)			ITOU Kanade	
6	10/10	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)			ADACHI Naoko	
7	10/15	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)			SUZUKI Hitomi	
8	10/15	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)			NAKAYAMA Rena	
9	10/17	08:50-10:20	遠隔授業(非同期型)			TAKEUCHI YASUO	
10	10/17	10:30-12:00	遠隔授業(非同期型)			TAKEUCHI YASUO	
11	10/22	08:50-10:20	遠隔授業(非同期型)			MATSUO Kouichirou	
12	10/22	10:30-12:00	遠隔授業(非同期型)			MATSUO Kouichirou	
13	10/24	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)			KABASAWA YUJI, LIAO Shin Ru	
14	10/24	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)			KABASAWA YUJI	
15	10/29	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)			KABASAWA YUJI	
Lecture Style							

Online lessons (by Zoom mainly and sometimes by WebClass or directory)
Grading System reports(20%), presentation(30%), attendance(50%)
Grading Rule About the class's target: almost achievement B, sufficiently achieved A, achieved very high
Prerequisite Reading Review of contents on oral health and social welfare at bachelor of oral health
Exam eligibility No examination, however, class evaluation is needed over 2/3 lessons' attendance
Reference Materials introduce at lessons

時間割番号	031029				
科目名	ビッグデータ解析学			科目 ID	GH-b3057-L
担当教員	田中 敏博, 池田 貞勝, 田中 紀子, 土屋 純一, 立石 宇貴秀, 安齋 達彦, 森田 圭一, 須藤 毅頭, 高橋 健太郎[TANAKA TOSHIHIRO, IKEDA SADAKATSU, TANAKA Noriko, TSUCHIYA JUNICHI, TATEISHI UKIHIIDE, ANZAI Tatsuhiko, MORITA KEIICHI, SUDOU Takeaki, TAKAHASHI Kenntarou]				
開講時期	2024 年度前期	対象年次	1～	単位数	1
実務経験のある教員による授業					
全て日本語で行う/All classes are taught in Japanese.					
主な講義場所 3 号館 6 階 大学院特別講義室 M&D タワー2 階 共用講義室2に変更の可能性あり					
授業の目的、概要等 授業目的:ビッグデータの基礎研究・臨床研究、あるいは臨床の現場におけるの利活用法まで、最先端の知識を包括的に修得する。 概要:「ビッグデータ」は従来のデータ解析プログラムでは処理することが困難なほど、巨大で複雑な情報の集合体である。他の視点から眺めると、収集時点では最終的に有用であるかどうかかわからない情報も含んでいるとも言える。すなわち、非常に雑多な情報である性質を持つが故に、有用な情報を得るため(データマイニング)の、人工知能等を用いた deep learning、機械学習等の新たな解析手法が脚光を浴びている。本科目では、ゲノム解析研究、臨床研究、疫学研究さらには医療の現場での先端的な研究を行っている講師陣により、それぞれのフィールドでのデータ解析手法や解析の成果について概説を行う。					
授業の到達目標 さまざまな研究領域において活用されるビッグデータにつき、研究の第一線の現状を認識し、将来の方向性を考える上での幅広い知識を習得する。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	5/7	10:30-12:00	大学院特別講義室	Precision Medicine と社会の動向	田中 敏博
2	5/13	10:30-12:00	大学院特別講義室	歯科口腔外科のビッグデータ	森田 圭一
3	5/20	08:50-10:20	大学院特別講義室	歯科領域における画像解析	須藤 毅頭
4	5/20	10:30-12:00	大学院特別講義室	臨床ゲノム医学研究におけるビックデータ解析	田中 紀子
5	5/27	08:50-10:20	大学院特別講義室	薬剤副作用のリアルワールドデータ	安齋 達彦
6	5/27	10:30-12:00	大学院特別講義室 遠隔授業(同期型)	がんゲノム医療	池田 貞勝
7	6/3	08:50-10:20	大学院特別講義室	ビッグデータとしてのオミックス研究	高橋 健太郎
8	6/3	10:30-12:00	大学院特別講義室	画像診断と AI	土屋 純一, 立石 宇貴秀
授業方法 パワーポイントによるセミナー形式で講義を実施する。					
成績評価の方法 6月30日までに科目責任者宛て電子メールによるレポートの提出が必要である。課題は第1回の講義の際に提示する。提出レポート内容(36 点)と参加状況(8 点 x8 回)を総合して評価する。					
準備学習等についての具体的な指示 以下にあげた参考書に目を通し、最前線の研究についての講義が十分理解できるよう、背景の理解をしておくことが望ましい。					
参考書 統計学が最強の学問である：データ社会を生き抜くための武器と教養／西内啓 著,西内, 啓.:ダイヤモンド社, 2013 ベイズ統計学／松原望著,松原, 望.:創元社, 2017 ようこそ「多変量解析」クラブへ：何をどう計算するのか／小野田博一著,小野田, 博一.:講談社, 2014 院内ビッグデータ分析による病院機能高度化／伏見清秀:じほう					
他科目との関連 本学では「未来がん医療プロフェッショナル養成プラン」において、例年9月に「放射線診断学・核医学特論」の講義を実施している。本科目「画像診断と AI」から引き続いての受講を推奨する。日程等の詳細は info メールを参照のこと。					

備考 本科目は先制医療学コースの選択者には必須科目である。ただし、先制医療学コース非選択者であっても履修可能。
連絡先(メールアドレス) 田中 敏博 ttana.brc@tmd.ac.jp
オフィスアワー 田中 敏博 毎週火曜日 11:00-13:00 M&D タワー8 階 疾患バイオリソースセンター教授室・教員室

Lecture No	031029				
Subject title	Big Data Analytics			Subject ID	GH—b3057—L
Instructors	田中 敏博, 池田 貞勝, 田中 紀子, 土屋 純一, 立石 宇貴秀, 安齋 達彦, 森田 圭一, 須藤 毅顕, 高橋 健太郎[TANAKA TOSHIHIRO, IKEDA SADAKATSU, TANAKA Noriko, TSUCHIYA JUNICHI, TATEISHI UKIHIIDE, ANZAI Tatsuhiko, MORITA KEIICHI, SUDOU Takeaki, TAKAHASHI Kenntarou]				
Semester	Spring 2024	Level	1st - year	Units	1
Course by the instructor with practical experiences					
全て日本語で行う/All classes are taught in Japanese.					
Course Purpose and Outline					
Course Purpose:The purpose of this course is to obtain cutting-edge information on Big Data analytics that are utilized in the fields of basic, clinical researches or clinical settings.					
Outline:Big Data is a large and complicated complex of data that is extremely difficult to analyze by the use of conventional data analysis programs. In other words, Big Data contains information that cannot be judged useful at the time of their collection. Therefore, owing to its intrinsically unarranged nature, newly developed or developing analytics to handle Big Data (data mining) including deep learning or machine learning using AI will become popular. In this course, lecturers in the very front lines of their fields (genomics, clinical researches, epidemiology, or clinical settings) will review each of their progress in them.					
Course Objective(s)					
The ojective is to make full use of comprehensive knowledge on Big Data being utilized in various research fields to think of future direction of each of the students.					
Lecture plan					
No	Date	Time	Room	Lecture theme	Staff
1	5/7	10:30-12:00	大学院特別講義室		TANAKA TOSHIHIRO
2	5/13	10:30-12:00	大学院特別講義室		MORITA KEIICHI
3	5/20	08:50-10:20	大学院特別講義室		SUDOU Takeaki
4	5/20	10:30-12:00	大学院特別講義室		TANAKA Noriko
5	5/27	08:50-10:20	大学院特別講義室		ANZAI Tatsuhiko
6	5/27	10:30-12:00	大学院特別講義室, 遠隔授業(同期型)		IKEDA SADAKATSU
7	6/3	08:50-10:20	大学院特別講義室		TAKAHASHI Kenntarou
8	6/3	10:30-12:00	大学院特別講義室		TSUCHIYA JUNICHI, TATEISHI UKIHIIDE
Lecture Style					
Lectures					
Grading System					
The report should be submitted by e-mail to Toshihiro Tanaka (ttana.brc@tmd.ac.jp) by June 30. The subject will be shown at the first class. Evaluation is based on both submission of report (36%) and attendance of the classes (64%).					
Prerequisite Reading					
It is desirable to read below-mentioned materials to fully understand the lectures.					
Reference Materials					
統計学が最強の学問である：データ社会を生き抜くための武器と教養／西内啓 著,西内 啓,:ダイヤモンド社, 2013					
ベイズ統計学／松原望著,松原 望,:創元社, 2017					
ようこそ「多変量解析」クラブへ：何をどう計算するのか／小野田博一著,小野田 博一,:講談社, 2014					
院内ビッグデータ分析による病院機能高度化／伏見清秀:じほう					
An Introduction to Bayesian Analysis: Theory and Methods. Springer ISBN 1441923039					
Bioinformatics for Beginners. Supratim Choudhuri, Academic Press, ISBN 9780124104716					
Human Genetic Diversity: Functional Consequences for Health and Disease. Julian C. Knight, Oxford University Press, ISBN 0199227705					
Relationship With Other Subjects					

For further education on "Diagnostic Imaging and AI", extracurricular special lectures for Radiological Diagnostics and Nuclear Medicine are open to students which are usually held in September. Details will be announced via mails from info-tmd@tmd.ac.jp.

Note(s) to Students

This course is indispensable for students of Preemptive Medicine Program. Those who do not take Preemptive Medicine Program can still take this course.

Email

TANAKA TOSHIHIRO:ttana.brc@tmd.ac.jp

Instructor's Contact Information

TANAKA TOSHIHIRO:every Tuesday from 11:00 until 13:00 at room S852 in M&D tower

時間割番号	031913				
科目名	疾患オミックス情報学特論			科目ID	GH-b3078-L
担当教員	二階堂 愛[NIKAIDO Itoshi]				
開講時期	2024 年度前期	対象年次	1～	単位数	1
実務経験のある教員による授業	英語による授業:同じ内容の英語授業を別日程で開講している。				
最先端のゲノム解析技術とそこで使われている情報学的手法についてオムニバス形式で概説する。					
主な講義場所					
動画による遠隔講義(非同期型)					
授業の目的、概要等					
授業目的: 疾患生命科学の基礎であるゲノミクスの実験技術とそこで利用されている情報科学の概要を理解する。					
概要: 遺伝子の同定や機能解析を通じて、全ゲノム、トランスクリプトーム、多型、エピゲノム解析の実験原理と計算原理について紹介する。					
授業の到達目標					
生物学、基礎医学から疾患医学までの最新の知見を広く理解する。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/30	14:40-16:10	遠隔授業(非同期型)	遺伝子解析とバイオインフォマティクス	二階堂 愛
2	4/30	16:20-17:50	遠隔授業(非同期型)	全ゲノム解析と全トランスクリプトーム解析	二階堂 愛
3	5/7	14:40-16:10	遠隔授業(非同期型)	遺伝子構造の予測	二階堂 愛
4	5/7	16:20-17:50	遠隔授業(非同期型)	遺伝子機能の予測・遺伝子発現解析 1	二階堂 愛
5	5/14	16:20-17:50	遠隔授業(非同期型)	遺伝子発現解析 2	二階堂 愛
6	5/21	16:20-17:50	遠隔授業(非同期型)	単一細胞遺伝子発現解析	二階堂 愛
7	5/28	16:20-17:50	遠隔授業(非同期型)	遺伝子変異の同定	二階堂 愛
8	6/4	16:20-17:50	遠隔授業(非同期型)	エピゲノム解析	二階堂 愛
授業方法					
ゼミ形式で教員による講義と、レポート執筆を行うことにより学習を深める。					
成績評価の方法					
授業の参加状況(20 %)及びレポート(80 %)に基づいて総合的に評価を行う。					
準備学習等についての具体的な指示					
初回授業のガイダンスならびに各授業において必要に応じて指示する。					
試験の受験資格					
講義出席75%以上					
参考書					
Molecular cell biology／Harvey Lodish ... [et al.],Lodish, Harvey F.,:W.H. Freeman, 2016					
Epigenetics／C. David Allis, Marie-Laure Caparros, Thomas Jenuwein, Danny Reinberg, editors ; Monika Lachner, associate editor,Allis, C. David,Caparros, Marie-Laure,Jenuwein, Thomas,Reinberg, Danny,Lachner, Monika,:Cold Spring Harbor Laboratory Press, 2015					
エッセンシャル免疫学／ピーター・パーラム著,Parham, Peter,笹月, 健彦,:メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2016					
ゲノム : 生命情報システムとしての理解／T.A. ブラウン著,Brown, T. A. (Terence Austen),石川, 冬木,中山, 潤一,:メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2018					
“The immune system” (Third edition),Peter Parham, Garland Science					
Molecular Cell Biology Eighth Edition, Harvey Lodish et al, ISBN-13: 978-1-4641-8339-3					
Genome 4, Garland Science, 978-0815345084					
連絡先(メールアドレス)					
dritoshi@gmail.com					
オフィスアワー					

毎週月曜日 AM.9:00-PM.10:00 MD タワー24階 2458 (or Zoom)

Lecture No	031913				
Subject title	Disease OMICS Informatics			Subject ID	GH—b3078—L
Instructors	二階堂 愛[NIKAIDO Itoshi]				
Semester	Spring 2024	Level	1st – year	Units	1
Course by the instructor with practical experiences					
Availability in English:Same classes are offered in English on different schedules. (2025 Autumn)					
An omnibus overview of the most advanced genome analysis technologies and informatics methods					
Lecture place					
On-demand video lecture					
Course Purpose and Outline					
Course purpose:					
To understand the experimental techniques of genomics, which is the basis of disease life science, and an overview of the information science used in genomics.					
Outline:					
Introduction to the experimental and computational principles of whole-genome, transcriptome, variant, and epigenome analysis through gene identification and functional analysis.					
Course Objective(s)					
Understand useful and critical information from basic to the latest biological sciences and medicine.					
Lecture plan					
No	Date	Time	Room	Lecture theme	Staff
1	4/30	14:40–16:10	遠隔授業(非同期型)	Introduction to Genomics Science and high-throughput DNA sequencing	NIKAIDO Itoshi
2	4/30	16:20–17:50	遠隔授業(非同期型)	Whole genome/transcriptome sequencing	NIKAIDO Itoshi
3	5/7	14:40–16:10	遠隔授業(非同期型)	Gene Annotation	NIKAIDO Itoshi
4	5/7	16:20–17:50	遠隔授業(非同期型)	Functional Annotation / Gene expression analysis 01 (Primary Analysis)	NIKAIDO Itoshi
5	5/14	16:20–17:50	遠隔授業(非同期型)	Gene Expression Analysis 02 (Secondary Analysis)	NIKAIDO Itoshi
6	5/21	16:20–17:50	遠隔授業(非同期型)	Single-cell transcriptome	NIKAIDO Itoshi
7	5/28	16:20–17:50	遠隔授業(非同期型)	Variant Analysis	NIKAIDO Itoshi
8	6/4	16:20–17:50	遠隔授業(非同期型)	Epigenome Analysis	NIKAIDO Itoshi
Lecture Style					
Lecture by the lecturer, and writing reports.					
Grading System					
Attendance to lectures (20 %) and reports (80 %) are evaluated.					
Prerequisite Reading					
Instruct at first lecture if necessary.					
Exam eligibility					
More than 75% of attendance to the lectures					
Reference Materials					
Molecular cell biology／Harvey Lodish ... [et al.],Lodish, Harvey F.,:W.H. Freeman, 2016					
Epigenetics／C. David Allis, Marie-Laure Caparros, Thomas Jenuwein, Danny Reinberg, editors ; Monika Lachner, associate editor,Allis, C. David,Caparros, Marie-Laure,Jenuwein, Thomas,Reinberg, Danny,Lachner, Monika,:Cold Spring Harbor Laboratory Press, 2015					
エッセンシャル免疫学／ピーター・パーラム著,Parham, Peter,笹月, 健彦,:メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2016					
ゲノム : 生命情報システムとしての理解／T.A. ブラウン著,Brown, T. A. (Terence Austen),石川, 冬木,中山, 潤一,:メディカル・サイエンス・					

インターナショナル, 2018 “The immune system” (Third edition), Peter Parham, Garland Science Molecular Cell Biology Eighth Edition, Harvey Lodish et al, ISBN-13: 978-1-4641-8339-3 Genome 4, Garland Science, 978-0815345084
Email dritoshi@gmail.com
Instructor's Contact Information AM.9:00-10:00, Every Monday at 2458, M&D tower (or Zoom)

時間割番号	031031				
科目名	機能分子化学			科目ID	GH—b3030-L
担当教員	玉村 啓和, 影近 弘之, 細谷 孝充, 丹羽 節, 辻 耕平, 藤井 晋也, 隅田 有人, 石田 良典, 小早川 拓也 [TAMAMURA HIROKAZU, KAGECHIKA HIROYUKI, HOSOYA TAKAMITSU, NIWA Takashi, TSUJI Kouhei, FUJII Shinnya, SUMIDA YUUTO, ISHIDA Ryousuke, KOBAYAKAWA Takuya]				
開講時期	2024 年度後期	対象年次	1～	単位数	2
実務経験のある教員による授業					
英語による授業: 同じ内容の英語授業を別日程で開講している(2024 年度秋期開講予定)。					
授業の目的、概要等					
これまでに研究されてきた機能分子について、その設計のコンセプトや応用例について理解を深め、最新の成果について習得する。					
それぞれの担当教員が下記の講義を担当する。 玉村:ペプチド・タンパク質化学について解説する。 玉村:ゲノム化学の基礎と展開について解説する。 影近:核内受容体の医薬化学について解説する。 細谷:生体高分子の化学的探索について解説する。 藤井:機能分子のデザインと開発戦略について解説する。 辻:リード探索、化合物スクリーニングについて解説する。 隅田:光化学生物学について解説する。 石田:添付のケミカルバイオロジーについて解説する。 小早川:ペプチドミメティックの基礎と応用について解説する。 丹羽:小分子プローブについて解説する。					
授業の到達目標					
生体で機能する様々な化合物(ホルモンやタンパク分子)とゲノムを構成する DNA に関して、原子、分子レベルで構造と機能発現について理解し、これらの生体分子に関連する化合物の化学合成、構造解析、およびその応用に関する最近の研究について教育する。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	10/25	08:50-10:20	遠隔授業(非同期型)	ゲノム化学の基礎と展開	玉村 啓和
2	10/25	10:30-12:00	遠隔授業(非同期型)	ゲノム化学の基礎と展開	玉村 啓和
3	10/29	08:50-10:20	遠隔授業(非同期型)	ペプチド・タンパク質化学	玉村 啓和
4	10/29	10:30-12:00	遠隔授業(非同期型)	ペプチド・タンパク質化学	玉村 啓和
5	10/30	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	リード探索とスクリーニング	辻 耕平
6	10/30	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	リード探索とスクリーニング	辻 耕平
7	11/1	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	ペプチドミメティックの基礎と応用	小早川 拓也
8	11/1	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	光化学生物学	隅田 有人
9	11/5	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	標的分子の化学修飾	細谷 孝充
10	11/5	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	ケミカルプローブ	丹羽 節
11	11/6	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	医薬分子のデザインと開発戦略	藤井 晋也
12	11/6	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	医薬分子のデザインと開発戦略	藤井 晋也
13	11/8	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	核内受容体の医薬化学	影近 弘之
14	11/8	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	核内受容体の医薬化学	影近 弘之
15	11/12	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	天然物におけるケミカルバイオロジー	石田 良典
授業方法					
パワーポイントを用いた講義を中心に、プリント、板書等で補足する。					
成績評価の方法					
授業の参加状況(20 点)及び試験(80 点)に基づいて総合的に評価を行う。					
準備学習等についての具体的な指示					

参考書や担当教員のホームページ等を参考に予習しておく。
参考書 ベーシック薬学教科書シリーズ 創薬科学・医薬化学(第2版)(橘高敦史編、化学同人) 受容体がわかる(加藤茂明著、羊土社)、ビタミン研究のブレークスルー(日本ビタミン学会編、学振出版)、 The Nuclear Receptors FactsBook(Laudet, V & Gronemeyer, H., Academic Press)、 ゲノム化学の最前線(杉山弘・中谷和彦編、化学同人)、 生命現象を理解する分子ツール(浜地格、二木史朗編、化学同人) (資料配付予定)
連絡先(メールアドレス) 玉村 啓和tamamura.mr@tmd.ac.jp
オフィスアワー 玉村 啓和: 授業開始1週間前から授業終了1週間後までの毎週月—金の午後3時から午後5時: 科目責任者 メディシナルケミストリー分野(玉村)教授室 22 号棟 6 階 603B 室

Lecture No	031031				
Subject title	Introduction to Chemistry and Biology of Biofunctional Molecules			Subject ID	GH—b3030—L
Instructors	玉村 啓和, 影近 弘之, 細谷 孝充, 丹羽 節, 辻 耕平, 藤井 晋也, 隅田 有人, 石田 良典, 小早川 拓也 [TAMAMURA HIROKAZU, KAGECHIKA HIROYUKI, HOSOYA TAKAMITSU, NIWA Takashi, TSUJI Kouhei, FUJII Shinnya, SUMIDA YUUTO, ISHIDA Ryousuke, KOBAYAKAWA Takuya]				
Semester	Fall 2024	Level	1st – year	Units	2
Course by the instructor with practical experiences					
Availability in English:Same classes are offered in English on different schedules (Fall 2024).					
Course Purpose and Outline					
Course Purpose:The purpose of this course is to fully comprehend basic and application concerning biofunctional molecules.					
Outline:This course deals with fundamentals and recent topics related to various biofunctional molecules, such as hormones and proteins, related to gene functions and/or cellular signal transduction. This course also covers the research techniques and their applications in the field of medicinal chemistry and chemical biology.					
Course Objective(s)					
This course objective is to comprehend structures and functions of various bioactive compounds, such as hormones and proteins, and DNA constructing genome in levels of atoms and molecules, and then to learn recent research topics concerning chemical syntheses, structural analyses and applications of these molecules.					
Lecture plan					
No	Date	Time	Room	Lecture theme	Staff
1	10/25	08:50–10:20	遠隔授業(非同期型)	Genome chemistry: basic and application	TAMAMURA HIROKAZU
2	10/25	10:30–12:00	遠隔授業(非同期型)	Genome chemistry: basic and application	TAMAMURA HIROKAZU
3	10/29	08:50–10:20	遠隔授業(非同期型)	Peptide and protein chemistry	TAMAMURA HIROKAZU
4	10/29	10:30–12:00	遠隔授業(非同期型)	Peptide and protein chemistry	TAMAMURA HIROKAZU
5	10/30	08:50–10:20	遠隔授業(同期型)	Lead discovery and screening	TSUJI Kouhei
6	10/30	10:30–12:00	遠隔授業(同期型)	Lead discovery and screening	TSUJI Kouhei
7	11/1	08:50–10:20	遠隔授業(同期型)	Basic peptidomimetic and its applications	KOBAYAKAWA Takuya
8	11/1	10:30–12:00	遠隔授業(同期型)	Photochemistry and biology	SUMIDA YUUTO
9	11/5	08:50–10:20	遠隔授業(同期型)	Chemical modification of biomolecules	HOSOYA TAKAMITSU
10	11/5	10:30–12:00	遠隔授業(同期型)	Chemical probes	NIWA Takashi
11	11/6	08:50–10:20	遠隔授業(同期型)	Strategy for the design and development of pharmaceutical compounds	FUJII Shinnya
12	11/6	10:30–12:00	遠隔授業(同期型)	Strategy for the design and development of pharmaceutical compounds	FUJII Shinnya
13	11/8	08:50–10:20	遠隔授業(同期型)	Medicinal chemistry of nuclear receptor	KAGECHIKA HIROYUKI
14	11/8	10:30–12:00	遠隔授業(同期型)	Medicinal chemistry of nuclear receptor	KAGECHIKA HIROYUKI
15	11/12	08:50–10:20	遠隔授業(同期型)	Chemical Biology for Natural Products	ISHIDA Ryousuke
Lecture Style					
Lecture					
Grading System					
Final examination (80 points) and Attendance (20 points)					
Prerequisite Reading					
Preparation based on reference materials and homepages of the instructors is required.					
Reference Materials					
L. Schreiber, T. Kapoor, G. Wess (eds.) Chemical Biology, WILEY–VCH; Laudet, V & Gronemeyer, H. (eds) The Nuclear Receptors FactsBook, Academic Press; M. Ptashne & A. Gann Genes & Signals, CSHL Press.					
Email					

TAMAMURA HIROKAZU:tamamura.mr@tmd.ac.jp
Instructor's Contact Information TAMAMURA HIROKAZU:Mon-Fri, 3-5 pm Bldg22, Fl6, Rm603B

時間割番号	031032				
科目名	ケミカルバイオロジー特論			科目ID	GH-b3031-L
担当教員	影近 弘之, 細谷 孝充, 玉村 啓和, 萩原 伸也, 須田 三記也, 岩岡 はるな, 藤田 大雅, 渡邊 力也 [KAGECHIKA HIROYUKI, HOSOYA TAKAMITSU, TAMAMURA HIROKAZU, HAGIHARA Shinya, SUDA Mikiya, IWAOKA Haruna, FUJITA Hirotsada, WATANABE Rikiya]				
開講時期	2024 年度前期	対象年次	1～	単位数	2
実務経験のある教員による授業					
英語による授業:同じ内容の英語授業を別日程で開講している(2025 年度秋開講予定)。					
主な講義場所 別表のとおり					
授業の目的、概要等 授業目的: ケミカルバイオロジー研究の基礎について理解し、最先端の研究手法や研究成果について学習する。特に、大学、研究所、企業等様々な立場におけるケミカルバイオロジー研究の考え方と現状を理解する。 概要: ケミカルバイオロジーという分野の概要とその基礎的手法を学び、更に、有機化学、合成化学、天然物化学、医薬化学、ゲノム創薬、生体工学、疾患科学などの観点から最先端の研究を紹介する。					
授業の到達目標 ケミカルバイオロジーとは、新しい機能を持つ分子を設計、合成し、生体内で機能させることで、生体機能を解明、もしくは制御する研究分野である。このような化学的アプローチによる生体機能研究はポストゲノム時代の生命科学研究の柱となる。本特論では、ケミカルバイオロジー研究の基礎と、現状ならびに今後の展開について講義を行う。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/11	08:50-10:20	1F 第2 会議室	ケミカルバイオロジー概論	影近 弘之
2-3	4/25	08:50-12:00	1F 第2 会議室	ケミカルバイオロジーのための有機化学	細谷 孝充 隅田 有人
4-5	5/2	08:50-12:00	1F 第2 会議室	ケミカルバイオロジーとバイオメディック	玉村 啓和
6-7	5/9	08:50-12:00	遠隔授業(同期型)	ケミカルバイオロジーと植物科学	萩原 伸也
8-9	5/16	08:50-12:00	遠隔授業(同期型)	ケミカルバイオロジーとデジタルバイオ分析	渡邊 力也
10-11	5/23	08:50-12:00	遠隔授業(同期型)	ケミカルバイオロジーと創薬	須田 三記也
12-13	5/30	08:50-12:00	遠隔授業(同期型)	ケミカルバイオロジーと生体工学	藤田 大雅
14-15	6/6	08:50-12:00	遠隔授業(同期型)	ケミカルバイオロジーとゲノム創薬研究	岩岡 はるな
授業方法 各講義担当者が、ケミカルバイオロジーの基礎及び先端研究について講義した後、討論を行う。					
授業内容 別表のとおり。					
成績評価の基準 授業の参加状況(40%)及び試験(60%)に基づいて総合的に評価を行う。					
準備学習等についての具体的な指示 基礎有機化学の復習、もしくは次項に記載の入門書等による予習をしておくが良い。					
参考書 [入門書]入門ケミカルバイオロジー(オーム社)、現代化学への入門15「生命科学への展開」(上村大輔、袖岡幹子 著、岩波書店)[参考書]Chemical Biology(L. Schreiber, T. Kapoor, G. Wess 編、WILEY-VCH)、PROTEIN TARGETING WITH SMALL MOLECULES - Chemical Biology Techniques and Applications (Wiley)、ケミカルバイオロジー 成功事例から学ぶ研究戦略(長野哲雄、萩原正敏監訳、丸善)、ケミカルゲノミクスの誕生(吉田稔編、蛋白質核酸酵素 Vol.50, No.9)、医療・診断をめざす先端バイオテクノロジー: バイオ研究のフロンティア3(工学図書)、生物有機化学―ケミカルバイオロジーへの展開―(裳華房)、Bioconjugate Techniques 2nd Ed.(Academic Press)、分子細胞生物学第5版(Lodish 他著、石浦章一他訳、東京化学同人)					
履修上の注意事項 none					

連絡先(メールアドレス)

影近 弘之 kage.chem@tmd.ac.jp

オフィスアワー

影近 弘之:毎週水、木曜日 AM.10:00-PM.2:00

21 号館 6 階教授室 609A

Lecture No	031032				
Subject title	Chemical Biology			Subject ID	GH—b3031—L
Instructors	影近 弘之, 細谷 孝充, 玉村 啓和, 萩原 伸也, 須田 三記也, 岩岡 はるな, 藤田 大雅, 渡邊 力也 [KAGECHIKA HIROYUKI, HOSOYA TAKAMITSU, TAMAMURA HIROKAZU, HAGIHARA Shinya, SUDA Mikiya, IWAOKA Haruna, FUJITA Hirotada, WATANABE Rikiya]				
Semester	Spring 2024	Level	1st – year	Units	2
Course by the instructor with practical experiences					
Availability in English:Same classes are offered in English on different schedules. (2025 Autumn)					
Lecture place					
Please refer to the detailed class schedule.					
Course Purpose and Outline					
Course Purpose: The purpose of this course is to understand the basic and application about chemical biology field. Chemical biology is a new and significant field of bioscience. This field includes the research to solve the biological problems at the molecular level or to regulate the biological systems by using the techniques, knowledge and ideas of chemistry.					
Outline: This course deals with the overview of the chemical biology field including some topics of recent research, including organic chemistry, medicinal chemistry, genomic drug discovery, and Bioengineering.					
Course Objective(s)					
This course objective is to comprehend the methodology and tecqnology of chmical biology, including molecular design, organic synthesis, biological functional analysis, and drug discovery.					
Lecture plan					
No	Date	Time	Room	Lecture theme	Staff
1	4/11	08:50–10:20	1F 第2 会議室		KAGECHIKA HIROYUKI
2–3	4/25	08:50–12:00	1F 第2 会議室		HOSOYA TAKAMITSU, SUMIDA YUUTO
4–5	5/2	08:50–12:00	1F 第2 会議室		TAMAMURA HIROKAZU
6–7	5/9	08:50–12:00	遠隔授業(同期型)		HAGIHARA Shinya
8–9	5/16	08:50–12:00	遠隔授業(同期型)		WATANABE Rikiya
10–11	5/23	08:50–12:00	遠隔授業(同期型)		SUDA Mikiya
12–13	5/30	08:50–12:00	遠隔授業(同期型)		FUJITA Hirotada
14–15	6/6	08:50–12:00	遠隔授業(同期型)		IWAOKA Haruna
Lecture Style					
Lecture					
Course Outline					
Please refer to the detailed class schedule.					
Grading Rule					
Final examination (60%) and Attendance/Discussion (40%)					
Prerequisite Reading					
review on the fundamental organic chemistry					
Reference Materials					
L. Schreiber, T. Kapoor, G. Wess (eds.) Chemical Biology, WILEY–VCH					
H. Osada (ed.) Bioprobes, Springer					
Kamerling, J. P. (ed) Comprehensive Glycoscience From Chemistry to System Biology, Elsevier					
Annes, J. P.; Munger, J. S.; Rifkin, D. B. J Cell Sci 116:217–224, 2003.					
Liby, K. T.; Yore, M. M.; Sporn, M. B. Nature Reviews Cancer 7:357–369, 2007.					
Ferrara, N.; Kerbel, R. S. Nature 438:967–974, 2005.					
Important Course Requirements					

none
Email KAGECHIKA HIROYUKI{kage.chem@tmd.ac.jp}
Instructor's Contact Information KAGECHIKA HIROYUKI{Every Wednesday and Thursday, AM.10:00-PM.2:00 Dept. 21nd, 6 F, 609A}

時間割番号	031033				
科目名	ケミカルバイオロジー技術特論			科目ID	GH—b3032-L
担当教員					
開講時期	2024 年度前期	対象年次	1～	単位数	2
実務経験のある教員による授業					
2024 年度休講					
英語による授業:一部英語で行う。					
授業の目的、概要等					
授業目的:ケミカルバイオロジー研究を行う上で必要な基礎技術の習得を目的とする。					
概要:分子プローブの構造解析法、蛍光試薬による分光分析法、タンパク質の化学修飾、およびケミカルライブラリースクリーニング法における機能解析に関する講義および実験指導を行う。					
授業の到達目標					
化学的な手法と知識を用いて生命現象の解明および生体機能を制御しようというケミカルバイオロジー研究は、21 世紀の生命科学研究の最も重要な分野の一つである。本特論では、ケミカルバイオロジー研究の推進に必要な基礎技術に関する教育を行う。					
授業方法					
全体での講義を行なうとともにそれぞれのテーマに関して小グループ(10 名前後)に分かれて実験を行なう。					
成績評価の方法					
授業への参加(原則として全日程参加を必須とする:50 点)及びレポート(実験毎、全4種:計 50 点)に基づいて総合的に評価を行う。					
準備学習等についての具体的な指示					
別途配布するテキストを事前に予習してくること。					
参考書					
有機化合物のスペクトルによる同定法(荒木峻他訳、東京化学同人);有機化学のためのスペクトル解析法(野村正勝監訳、化学同人)					

Lecture No	031033				
Subject title	Practical Chemical Biology			Subject ID	GH—b3032-L
Instructors					
Semester	Spring 2024	Level	1st – year	Units	2
Course by the instructor with practical experiences					
Not offered in FY2024					
Availability in English:Partial classes are taught in English.					
Course Purpose and Outline					
Course Purpose:Obtaining basic knowledge and skills of experiments for chemical biology researches.					
Outline:This course deals with the experiments in the field of chemical biology. Chemical biology is the research field to solve the biological problems at the molecular level or to regulate the biological systems by using the techniques, knowledge and ideas of chemistry. The experiments include the structural and spectroscopic analyses of small molecules, biological screening of chemical library, and their applications to the biological systems. Lectures for each topic are also provided.					
Course Objective(s)					
Obtaining basic knowledge and skills of experiments for chemical biology researches, including molecular structure analyses by NMR and MS, fluorescent molecules, chemical modification of a protein, and biological screening.					
Lecture Style					
Lecture & Lab					
Grading System					
Attendance (50%) and report (50%).					
Prerequisite Reading					
Look through the textbook that is distributed on the first day.					
Reference Materials					
Silverstein R. M et al. (eds.) Spectrometric Identification of Organic Compounds (John Wiley & Sons); L. Schreiber, T. Kapoor, G. Wess (eds.) Chemical Biology, WILEY-VCH.					

時間割番号	031034				
科目名	分子構造学特論			科目ID	GH—b3033-L
担当教員	伊藤 暢聡, 奈良 雅之, 廣明 秀一, 木下 賢吾, 黒田 正孝, 花園 祐矢[ITO NOBUTOSHI, NARA MASAYUKI, HIROAKI HIDEKAZU, KINOSHITA Kenngo, KURODA Masataka, HANAZONO Yuuya]				
開講時期	2024 年度後期	対象年次	1～	単位数	2
実務経験のある教員による授業	英語による授業:同じ内容の英語授業を別日程で開講している(2025 年度秋開講予定)。				
主な講義場所 Zoom による遠隔講義					
授業の目的、概要等 授業目的:生体高分子の立体構造を正しく読み取り、構造生物学の成果を各々の研究分野に役立てることができるようになることを目指す。 概要:蛋白質を中心に生体高分子の立体構造について、その基礎やそこから得られる情報について学び、立体構造の広範な利用法を概観する。さらに、立体構造の決定に用いられる実験手法の基礎を学ぶことにより、それぞれの手法の特徴や欠点を理解し、様々な研究分野への応用する際の問題点を考える。なお、生物学や物理学の知識を前提とはしていないので、広い分野の学生が受講できる。					
授業の到達目標 生体高分子の立体構造を探索する構造生物学は、近年めざましい発展を遂げ、膨大な構造情報が蓄積・公開されており、また新規の構造も次々と報告されている。本講義は、構造生物学を専門としない学生が、こうした貴重な成果を理解し、利用できるようにするためのものである。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	10/7	13:00-14:30	大学院講義室 1	蛋白質立体構造概論Ⅰ	伊藤 暢聡
2	10/7	14:40-16:10	大学院講義室 1	蛋白質立体構造概論Ⅱ	伊藤 暢聡
3	10/8	13:00-14:30	大学院講義室 1	立体構造と分子の機能Ⅰ	伊藤 暢聡
4	10/8	14:40-16:10	大学院講義室 1	立体構造と分子の機能Ⅱ	伊藤 暢聡
5	10/15	13:00-14:30	大学院講義室 1	生体高分子の立体構造決定方法Ⅰ	伊藤 暢聡
6	10/15	14:40-16:10	大学院講義室 1	生体高分子の立体構造決定方法Ⅱ	伊藤 暢聡
7	10/21	13:00-14:30	大学院講義室 1	クライオ電子顕微鏡による蛋白質の構造解析	沼本 修孝
8	10/21	14:40-16:10	大学院講義室 1	構造生物学の最近のトピックス	花園 祐矢
9	10/22	13:00-14:30	大学院講義室 1	蛋白質の結晶化とデータ解析Ⅰ	伊藤 暢聡, 花園 祐矢
10	10/22	14:40-16:10	大学院講義室 1	蛋白質の結晶化とデータ解析Ⅱ	伊藤 暢聡, 花園 祐矢
11	10/28	13:00-14:30	大学院講義室 1	蛋白質の立体構造と計算機実験	木下 賢吾
12	10/28	14:40-16:10	大学院講義室 1	蛋白質の立体構造と創薬	黒田 正孝
13	10/29	13:00-14:30	大学院講義室 1	核磁気共鳴(NMR)と蛋白質立体構造Ⅰ	廣明 秀一
14	10/29	14:40-16:10	大学院講義室 1	核磁気共鳴(NMR)と蛋白質立体構造Ⅱ	廣明 秀一
15	11/5	13:00-14:30	大学院講義室 1	赤外・ラマン分光法による構造解析	奈良 雅之
授業方法 教員による講義を中心に、一部実習を含めてこの研究分野の具体像を学ぶ。					
成績評価の方法 成績の評価は、試験成績(70%)と授業の参加状況(30%)に基づいて総合的に評価を行う。					
準備学習等についての具体的な指示 特になし					
参考書 タンパク質の構造入門／Carl Branden, John Tooze 著,Branden, Carl,Tooze, John,勝部, 幸輝.:ニュートンプレス, 2000 タンパク質の立体構造入門：基礎から構造バイオインフォマティクスへ／藤博幸編,藤, 博幸,太田, 元規,川端, 猛,木下, 賢吾,白井, 剛,諏訪, 牧子,高田, 彰二,高橋, 聡,廣明, 秀一,真柳, 浩太,倭, 剛久,由良, 敬.:講談社, 2010					
連絡先(メールアドレス)					

伊藤 暢聡:ito.str@tmd.ac.jp

オフィスアワー

伊藤 暢聡:平日 PM.2:00-PM.5:00 M&D タワー22 階分子構造情報学教授室

Lecture No	031034				
Subject title	Special Lectures on Molecular Structures			Subject ID	GH—b3033—L
Instructors	伊藤 暢聡, 奈良 雅之, 廣明 秀一, 木下 賢吾, 黒田 正孝, 花園 祐矢[ITO NOBUTOSHI, NARA MASAYUKI, HIROAKI HIDEKAZU, KINOSHITA Kenngo, KURODA Masataka, HANAZONO Yuuya]				
Semester	Fall 2024	Level	1st – year	Units	2
Course by the instructor with practical experiences					
Availability in English: Same classes will be offered in English on different schedules. (2025 Autumn)					
Lecture place					
remote lecture via Zoom					
Course Purpose and Outline					
Course Purpose:Recent advances in structural biology resulted in not only in understanding molecular basis of biology and medicine but also accumulation of a large amount of structural information. The purpose of the course is that those students who are not specialized in the field understand the basics of the method and are able to make use of such information.					
Outline:This course deals with three-dimensional structure of biological macromolecules such as proteins and nucleic acids. The basic ideas about structural biology are shown first and their implications to the biological activity and industrial importance will then be discussed. The practical methods to determine such structures, mainly X-ray crystallography and nuclear magnetic resonance (NMR) spectroscopy are also explained.					
Course Objective(s)					
To understand the structural information of biological macromolecules and make its use in one's own field.					
Lecture plan					
No	Date	Time	Room	Lecture theme	Staff
1	10/7	13:00-14:30	大学院講義室 1		ITO NOBUTOSHI
2	10/7	14:40-16:10	大学院講義室 1		ITO NOBUTOSHI
3	10/8	13:00-14:30	大学院講義室 1		ITO NOBUTOSHI
4	10/8	14:40-16:10	大学院講義室 1		ITO NOBUTOSHI
5	10/15	13:00-14:30	大学院講義室 1		ITO NOBUTOSHI
6	10/15	14:40-16:10	大学院講義室 1		ITO NOBUTOSHI
7	10/21	13:00-14:30	大学院講義室 1		NUMAMOTO Nobutaka
8	10/21	14:40-16:10	大学院講義室 1		HANAZONO Yuuya
9	10/22	13:00-14:30	大学院講義室 1		ITO NOBUTOSHI, HANAZONO Yuuya
10	10/22	14:40-16:10	大学院講義室 1		ITO NOBUTOSHI, HANAZONO Yuuya
11	10/28	13:00-14:30	大学院講義室 1		KINOSHITA Kenngo
12	10/28	14:40-16:10	大学院講義室 1		KURODA Masataka
13	10/29	13:00-14:30	大学院講義室 1		HIROAKI HIDEKAZU
14	10/29	14:40-16:10	大学院講義室 1		HIROAKI HIDEKAZU
15	11/5	13:00-14:30	大学院講義室 1		NARA MASAYUKI
Lecture Style					
Lecture/Lab					
Grading System					
Final examination (70 %) Contribution to the lecutures (30 %)					
Prerequisite Reading					
None					
Reference Materials					
タンパク質の構造入門／Carl Branden, John Tooze 著,Branden, Carl,Tooze, John,勝部, 幸輝.:ニュートンプレス, 2000					

タンパク質の立体構造入門：基礎から構造バイオインフォマティクスへ／藤博幸編, 藤, 博幸, 太田, 元規, 川端, 猛, 木下, 賢吾, 白井, 剛, 諏訪, 牧子, 高田, 彰二, 高橋, 聡, 廣明, 秀一, 真柳, 浩太, 倭, 剛久, 由良, 敬, 講談社, 2010
Branden & Tooze, “Introduction to Protein Structure” (Garland Publishing)

Email

ITO NOBUTOSHI:ito.str@tmd.ac.jp

Instructor's Contact Information

ITO NOBUTOSHI: Weekdays PM.2:00-PM.5:00 M&D Tower 22F Room S2253

時間割番号	031035				
科目名	生体材料学			科目ID	GH—b3034-L
担当教員	川下 将一, 横井 太史, 松元 亮, 島袋 将弥, 橋本 良秀, 岸田 晶夫, 鳴瀧 彩絵[KAWASHITA Masakazu, YOKOI Taishi, MATSUMOTO AKIRA, SHIMABUKURO Masaya, HASHIMOTO YOSHIIHIDE, KISHIDA AKIO, NARUTAKI Ayae]				
開講時期	2024 年度前期	対象年次	1～	単位数	2
実務経験のある教員による授業					
英語による授業: 留学生が履修登録した場合には英語で行う。					
主な講義場所 22 号館 1 階第 2 会議室での対面講義を行う。					
授業の目的、概要等 授業目的: 生体に使用されるさまざまな材料についての基礎を理解する。硬組織および軟組織に使用される材料は、それぞれ要求される特性が異なるが、生体に使用される材料全般にわたり基礎的な知識を習得する。 概要: 本年度は、それぞれの課程担当の教員が講義を担当する。 川下将一: 概論／組成、構造、性質(1)(2)、マテリアルと生体組織との反応 生体側要素(骨、皮膚、血管の力学的性質) 岸田晶夫: マテリアルと生体組織との反応 生体側要素(体液～核酸) 松元 亮: 高分子材料(合成)、高分子材料(物性) 鳴瀧彩絵: 高分子材料(構造)、マテリアルと生体組織との反応 材料側要素 横井太史: 無機材料(基礎)、無機材料(結晶科学)、無機材料(合成と焼結) 橋本良秀: マテリアルと生体組織との反応 生体側要素(血液、細胞、細菌) 島袋将弥: 金属材料(構造)、金属材料(変形と破壊)、金属材料(表面と腐食)					
授業の到達目標 医療には機能回復のためにさまざまな材料が使用されている。医療および生体に使用される有機・金属・無機材料について、材料学的な基礎知識に焦点をあてて教授する。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	5/1	13:00-14:30	1F 第 2 会議室	バイオマテリアル概論／組成、構造、性質(1)	川下 将一
2	5/1	14:40-16:10	1F 第 2 会議室	バイオマテリアル概論／組成、構造、性質(2)	川下 将一
3	5/2	13:00-14:30	1F 第 2 会議室	高分子材料(合成)	松元 亮
4	5/2	14:40-16:10	1F 第 2 会議室	高分子材料(物性)	松元 亮
5	5/8	13:00-14:30	1F 第 2 会議室	高分子(構造)	鳴瀧 彩絵
6	5/8	14:40-16:10	1F 第 2 会議室	無機材料(基礎)	横井 太史
7	5/9	13:00-14:30	1F 第 2 会議室	無機材料(結晶科学)	横井 太史
8	5/9	14:40-16:10	1F 第 2 会議室	無機材料(合成と焼結)	横井 太史
9	5/15	13:00-14:30	1F 第 2 会議室	金属材料(構造)	島袋 将弥
10	5/15	14:40-16:10	1F 第 2 会議室	金属材料(変形と破壊)	島袋 将弥
11	5/16	13:00-14:30	1F 第 2 会議室	金属材料(表面と腐食)	島袋 将弥
12	5/16	14:40-16:10	1F 第 2 会議室	マテリアルと生体組織との反応 生体側要素(体液～核酸)	岸田 晶夫
13	5/22	13:00-14:30	1F 第 2 会議室	マテリアルと生体組織との反応 生体側要素(血液、細胞、細菌)	橋本 良秀
14	5/22	14:40-16:10	1F 第 2 会議室	マテリアルと生体組織との反応 生体側要素(骨、皮膚、血管の力学的性質)	川下 将一
15	5/23	13:00-14:30	1F 第 2 会議室	マテリアルと生体組織との反応 材料側要素	鳴瀧 彩絵
授業方法 配布資料とパワーポイントファイルを用いた講義を中心として、必要に応じて材料サンプルを用いるなどの方法も取り入れ、受講者が講義前後で自主学習することも可能なように出来るだけ配慮していく。					

成績評価の方法 成績評価は、参加状況(50 点)と最終試験(50 点)を総合して評価する。
準備学習等についての具体的な指示 担当教員が個々に指示するが、出来るだけ配布資料の事前配布によって準備学習を容易にし、講義時間中の理解を深めるような工夫をしていく。
教科書 バイオマテリアル：その基礎と先端研究への展開／田畑泰彦, 埴隆夫編著, 田畑, 泰彦, 埴, 隆夫, 岡野, 光夫, 明石, 満,: 東京化学同人, 2016
備考 本講義は「応用生体材料学(科目コード 31-3036)」の基礎編である。より深い理解のために、「応用生体材料学」との同時受講が望ましい。
連絡先(メールアドレス) 川下 将一 kawashita.bcr@tmd.ac.jp

Lecture No	031035				
Subject title	Advanced Biomaterials Science			Subject ID	GH—b3034—L
Instructors	川下 将一, 横井 太史, 松元 亮, 島袋 将弥, 橋本 良秀, 岸田 晶夫, 鳴瀧 彩絵[KAWASHITA Masakazu, YOKOI Taishi, MATSUMOTO AKIRA, SHIMABUKURO Masaya, HASHIMOTO YOSHIHIDE, KISHIDA AKIO, NARUTAKI Ayae]				
Semester	Spring 2024	Level	1st – year	Units	2
Course by the instructor with practical experiences					
Availability in English:When an international student registers this subject for credits, this course is taught in English.					
Lecture place					
Face-to-face lectures will be held in Bldg. 22, Conference Room 2 (1F).					
Course Purpose and Outline					
Course Purpose:To understand the basis of biomaterials used for a variety of applications in contact with living body. The properties of biomaterials are requested to vary as to adopt their applications in hard and soft tissues. The final goal of this course is to master basic knowledge on biomaterials including metals, ceramics, and polymeric materials covering a wide range of medical applications.					
Outline: This course deals with bio-inspired systems using metals, ceramics, and organic materials from basic material science to biotechnological and biomedical applications. Recent topics about drug delivery system and tissue engineering will be also lectured.					
Course Objective(s)					
This course provides basic information on biomaterials including metals, ceramics and polymeric materials. It is important to understand how these biomaterials have been applied for a wide range of clinical issues as to recover and/or regenerate the lost properties of original body functions.					
Lecture plan					
No	Date	Time	Room	Lecture theme	Staff
1	5/1	13:00-14:30	1F 第2 会議室	バイオマテリアル概論／組成、構造、性質(1)	KAWASHITA Masakazu
2	5/1	14:40-16:10	1F 第2 会議室	バイオマテリアル概論／組成、構造、性質(2)	KAWASHITA Masakazu
3	5/2	13:00-14:30	1F 第2 会議室	高分子材料(合成)	MATSUMOTO AKIRA
4	5/2	14:40-16:10	1F 第2 会議室	高分子材料(物性)	MATSUMOTO AKIRA
5	5/8	13:00-14:30	1F 第2 会議室	高分子(構造)	NARUTAKI Ayae
6	5/8	14:40-16:10	1F 第2 会議室	無機材料(基礎)	YOKOI Taishi
7	5/9	13:00-14:30	1F 第2 会議室	無機材料(結晶科学)	YOKOI Taishi
8	5/9	14:40-16:10	1F 第2 会議室	無機材料(合成と焼結)	YOKOI Taishi
9	5/15	13:00-14:30	1F 第2 会議室	金属材料(構造)	SHIMABUKURO Masaya
10	5/15	14:40-16:10	1F 第2 会議室	金属材料(変形と破壊)	SHIMABUKURO Masaya
11	5/16	13:00-14:30	1F 第2 会議室	金属材料(表面と腐食)	SHIMABUKURO Masaya
12	5/16	14:40-16:10	1F 第2 会議室	マテリアルと生体組織との反応 生体側要素(体液～核酸)	KISHIDA AKIO
13	5/22	13:00-14:30	1F 第2 会議室	マテリアルと生体組織との反応 生体側要素(血液、細胞、細菌)	HASHIMOTO YOSHIHIDE
14	5/22	14:40-16:10	1F 第2 会議室	マテリアルと生体組織との反応 生体側要素(骨、皮膚、血管の力学的性質)	KAWASHITA Masakazu
15	5/23	13:00-14:30	1F 第2 会議室	マテリアルと生体組織との反応 材料側要素	NARUTAKI Ayae
Lecture Style					
Lecture					
Grading System					
Final examination, Attendance					
Prerequisite Reading					
None					

TextBook バイオマテリアル：その基礎と先端研究への展開／田畑泰彦, 埴隆夫編著, 田畑, 泰彦, 埴, 隆夫, 岡野, 光夫, 明石, 満.: 東京化学同人, 2016
Important Course Requirements Each instructor will advice in advance as to promote a better understanding of students.
Note(s) to Students This lecture is a basic course of "Applied Biomaterials (31-3036)". For deeper understanding, it is advised to take "Applied Biomaterials(31-3036)" simultaneously.
Email KAWASHITA Masakazu:kawashita.bcr@tmd.ac.jp

時間割番号	031037				
科目名	応用生体材料学			科目ID	GH—b3036—L
担当教員	松元 亮, 岸田 晶夫, 橋本 良秀, 横井 太史, 島袋 将弥, 木村 剛, 鳴瀧 彩絵, 堀 真緒[MATSUMOTO AKIRA, KISHIDA AKIO, HASHIMOTO YOSHIHIDE, YOKOI Taishi, SHIMABUKURO Masaya, KIMURA TSUYOSHI, NARUTAKI Ayae, HORI Mao]				
開講時期	2024 年度前期	対象年次	1～	単位数	2
実務経験のある教員による授業					
同じ内容の英語授業を別日程で開講している					
主な講義場所 22 号館 1 階第2会議室					
授業の目的、概要等 授業目的: バイオマテリアルを医療・歯科医療に用いる場合に知っておくべき生体側の反応や、生体との相互作用について、および臨床応用における課題の知識を得ることを目標としている。 概要: 生体材料工学研究所の教員が、生物学・免疫学・生理学など医学・歯学の基礎学問を基盤にバイオマテリアル研究の観点から講義する。					
授業の到達目標 バイオマテリアルと生体と相互作用について、臨床応用に即したそれぞれの反応・相互作用および問題点の各項目について議論し、基盤的な知識を具体的な製品に結びつける戦略について学ぶ。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	6/3	08:50-10:20	1F 第 2 会議室	応用生体材料学導入	松元 亮
2	6/3	10:30-12:00	1F 第 2 会議室	生体反応1:界面での反応	岸田 晶夫
3	6/10	08:50-10:20	1F 第 2 会議室	生体反応2:免疫応答	岸田 晶夫
4	6/10	10:30-12:00	1F 第 2 会議室	バイオマテリアルと骨形成・石灰化	横井 太史
5	6/13	08:50-10:20	1F 第 2 会議室	バイオマテリアルと感染	島袋 将弥
6	6/13	10:30-12:00	1F 第 2 会議室	バイオマテリアルとバイオテクノロジー	木村 剛
7	6/14	08:50-10:20	1F 第 2 会議室	人工臓器・医療デバイス1:人工骨・歯科材料	横井 太史
8	6/14	10:30-12:00	1F 第 2 会議室	人工臓器・医療デバイス2:構造系金属材料	島袋 将弥
9	6/17	08:50-10:20	1F 第 2 会議室	人工臓器・医療デバイス3:循環器系材料	橋本 良秀
10	6/17	10:30-12:00	1F 第 2 会議室	人工臓器・医療デバイス4:物質交換系材料	鳴瀧 彩絵
11	6/20	08:50-10:20	1F 第 2 会議室	人工臓器・医療デバイス5:神経・感覚器系材料	岸田 晶夫
12	6/20	10:30-12:00	1F 第 2 会議室	ドラッグデリバリーシステム	松元 亮 堀 真緒
13	6/21	08:50-10:20	1F 第 2 会議室	組織工学	橋本 良秀
14	6/21	10:30-12:00	1F 第 2 会議室	再生医療	橋本 良秀
15	6/24	08:50-10:20	1F 第 2 会議室	医療機器の評価・規制	岸田 晶夫
授業方法 パワーポイントを用いて行う。					
授業内容 授業スケジュールの通り					
成績評価の方法 成績評価は、授業の参加状況(50%)及び試験(50%)に基づいて総合的に行う。					
成績評価の基準 参加は 12 回以上が定期試験受験のために必須であり、12 回以上の参加回数に応じて 50 点まで加点する。定期試験は 50 点満点とし、参加点と併せて 100 点満点で採点する。					
準備学習等についての具体的な指示 バイオマテリアル、バイオエンジニアリングの医療貢献の可能性に関して抱負を持ち受講すること。 教科書の「バイオマテリアル:その基礎と先端研究への展開」の3章以降および「バイオマテリアルサイエンス:基礎から臨床まで」の6章以					

降を読んでおくこと。
試験の受験資格 参加は 12 回以上が定期試験受験のために必須
教科書 バイオマテリアル：その基礎と先端研究への展開／田畑泰彦，塙隆夫編著，田畑，泰彦，塙，隆夫，岡野，光夫，明石，満，：東京化学同人，2016
参考書 バイオマテリアルサイエンス：基礎から臨床まで／山岡哲二〔ほか〕著，山岡，哲二，大矢，裕一，中野，貴由，石原，一彦（工学），：東京化学同人，2018 教科書・参考書・参考論文等は、科目担当者が指示する。
他科目との関連 本講義は、「生体材料学(科目コード 3034)」の応用編である。
履修上の注意事項 バイオマテリアル、バイオエンジニアリングの医療貢献の可能性に関して抱負を持ち受講すること。
備考 本講義は、「生体材料学(科目コード 3034)」の応用編である。より深い理解のために、「生体材料学」との同時受講が望ましい。

Lecture No	031037				
Subject title	Applied Biomaterials			Subject ID	GH—b3036—L
Instructors	松元 亮, 岸田 晶夫, 橋本 良秀, 横井 太史, 島袋 将弥, 木村 剛, 鳴瀧 彩絵, 堀 真緒[MATSUMOTO AKIRA, KISHIDA AKIO, HASHIMOTO YOSHIHIDE, YOKOI Taishi, SHIMABUKURO Masaya, KIMURA TSUYOSHI, NARUTAKI Ayae, HORI Mao]				
Semester	Spring 2024	Level	1st – year	Units	2
Course by the instructor with practical experiences					
Same classes are offered in English on different schedules.					
Lecture place					
Building 22, First floor, Meeting room 2					
Course Purpose and Outline					
Course Purpose:To understand pathological phenomena associated with biomaterials and pathophysiological responses of the body to the deivices. The final goal of this course is to find future challenges of the biomaterials for clinical application.					
Outline:This course deals with the reaction of living body to biomaterials, physiology, biochemistry, cell biology, immunology in order to understand biomaterials in detalis. Future direction and the problems to be solved of the biomaterials research will be discussed.					
Course Objective(s)					
This course provides information on principle interactions between the body and the biomaterials.					
It is important to bulid new strategies for clinical application from the existing information.					
Lecture plan					
No	Date	Time	Room	Lecture theme	Staff
1	6/3	08:50–10:20	1F 第 2 会議室	Introduction	MATSUMOTO AKIRA
2	6/3	10:30–12:00	1F 第 2 会議室	Biological response 1: Interface	KISHIDA AKIO
3	6/10	08:50–10:20	1F 第 2 会議室	Biological response 2: Immunological response	KISHIDA AKIO
4	6/10	10:30–12:00	1F 第 2 会議室	Biomaterials & Bone formation and calcification	YOKOI Taishi
5	6/13	08:50–10:20	1F 第 2 会議室	Biomaterials & infections	SHIMABUKURO Masaya
6	6/13	10:30–12:00	1F 第 2 会議室	Biomaterials & Biotechnology	KIMURA TSUYOSHI
7	6/14	08:50–10:20	1F 第 2 会議室	Artificial organs & Medical devices 1: Ceramic biomaterials	YOKOI Taishi
8	6/14	10:30–12:00	1F 第 2 会議室	Artificial organs & Medical devices 2: Metallic biomaterials	SHIMABUKURO Masaya
9	6/17	08:50–10:20	1F 第 2 会議室	Artificial organs & Medical devices 3: Cardiovascular biomaterials	HASHIMOTO YOSHIHIDE
10	6/17	10:30–12:00	1F 第 2 会議室	Artificial organs & Medical devices 4: Metabolic Biomaterials	NARUTAKI Ayae
11	6/20	08:50–10:20	1F 第 2 会議室	Artificial organs & Medical devices 5: Sense Organs	KISHIDA AKIO
12	6/20	10:30–12:00	1F 第 2 会議室	Drug delivery system	MATSUMOTO AKIRA, HORI Mao
13	6/21	08:50–10:20	1F 第 2 会議室	Tissue engineering	HASHIMOTO YOSHIHIDE
14	6/21	10:30–12:00	1F 第 2 会議室	Regenerative medicine	HASHIMOTO YOSHIHIDE
15	6/24	08:50–10:20	1F 第 2 会議室	Evaluation and regulation of medical devices	KISHIDA AKIO
Lecture Style					
Lecture using powerpoint					
Course Outline					
According to timetable					
Grading System					
Final examination 50%, Attendance 50%					
12 attendances out of 15 are needed to take the exam.					
Grading Rule					
Final examination 50%, Attendance 50%					

12 attendances out of 15 are needed to take the exam.
Prerequisite Reading Taking a course with an aspiration of the medical contributions of biomaterials and bioengineering. Reading the textbooks, "Biomaterials" Chapter 3 and later, "Biomaterials Science" Chapter 6 and later.
Exam eligibility 12 attendances out of 15 are needed to take the exam.
TextBook バイオマテリアル：その基礎と先端研究への展開／田畑泰彦, 埴隆夫編著, 田畑, 泰彦, 埴, 隆夫, 岡野, 光夫, 明石, 満,:東京化学同人, 2016
Reference Materials バイオマテリアルサイエンス：基礎から臨床まで／山岡哲二 [ほか] 著, 山岡, 哲二, 大矢, 裕一, 中野, 貴由, 石原, 一彦(工学),:東京化学同人, 2018 To be announced by each lecturers.
Relationship With Other Subjects This lecture is an advanced course of "Advanced Biomaterials Science (3034)".
Important Course Requirements To have motivation to contribute the advancement of medical science.
Note(s) to Students This lecture is an advanced course of "Advanced Biomaterials Science (3034)". For deeper understanding, it is advised to take "Advanced Biomaterials Science (3034)" simultaneously.

時間割番号	031036				
科目名	バイオメディカルデバイス理工学 I			科目 ID	GH—b3063-L
担当教員	三林 浩二, 松元 亮, 池内 真志, 飯谷 健太[MITSUBAYASHI KOJI, MATSUMOTO AKIRA, IKEUCHI Masashi, IITANI Kennta]				
開講時期	2024 年度前期	対象年次	1～	単位数	1
実務経験のある教員による授業					
英語による授業: 全て日本語で行う。					
主な講義場所 すべての講義はオンライン (Zoom)で行います。					
授業の目的、概要等 授業目的: 本授業の目的は、生化学やバイオテクノロジー、機械工学、エレクトロニクス、MEMS、バイオマテリアル、IT 技術などに基づくバイオメディカルデバイスについて知識と技術を理解することです。また最新のデバイスやその基礎科学や技術を紹介し、講義にて議論を行うことで、バイオメディカルデバイスの理解を深めます。 概要: 本授業の概要は、バイオセンサやバイオエレクトロニクス、バイオフォトニクスなどの新規なバイオメディカルデバイスについて学び、基礎を修得することです。授業の詳細として、バイオ計測や生化学式ガスセンサ、バイオアクチュエータ、バイオマイクロシステム、光学デバイス、バイオトランジスタ、機能材料デバイスなどのデバイス技術などを解説します。					
授業の到達目標 本授業の到達目標は、バイオメディカルデバイス分野における基礎・基本の修得を確実なものとするです。また修了者が学術論文や技術レポートなどにおいて記載されているバイオメディカルデバイスの科学的な基礎原理について理解し、デバイスに関わる技術的な課題等について議論が可能とすることです。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	6/14	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	ガイダンス: 先端バイオセンサ	三林 浩二
2	6/14	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	先端光センシング	飯谷 健太
3	6/17	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	DNA ナノテクノロジーを利用した生体材料開発	石川 大輔
4	6/17	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	バイオマニピュレーション	池内 真志
5	6/18	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	医用マイクロデバイス	池内 真志
6	6/18	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	ソフトマテリアルの機能と応用	松元 亮
7	6/21	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	ナノマシン・ナノデバイス技術の最前線	松元 亮 堀 真緒
8	6/21	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	生体エナジーハーベスティング	三林 浩二, 市川 健太
授業方法 バイオメディカルデバイスの知識を講義を通じて習得する。					
成績評価の方法 授業の参加状況(60%)及び試験(40%)に基づいて総合的に評価を行う。					
準備学習等についての具体的な指示 初回授業のガイダンスならびに各授業において必要に応じて指示する。					
参考書 Wearable Biosensing in Medicine and Healthcare／Editor: Kohji Mitsubayashi:Springer Nature, 2024 「非接触」が拓く新しいバイタルモニタリング = Non-Contact Vital Signs Monitoring : 革新的な健康管理と医療・介護への応用／三林浩二 監修,三林, 浩二,:シーエムシー出版, 2021 Chemical, gas, and biosensors for internet of things and related applications／edited by Kohji Mitsubayashi, Osamu Niwa, Yuko Ueno,三林, 浩二,Niwa, Osamu. [丹羽修],Ueno, Yuko. [上野祐子]:Elsevier, 2019 代謝センシング = Metabolic sensing : 健康, 食, 美容, 薬, そして脳の代謝を知る／三林浩二 監修,三林, 浩二,:シーエムシー出版, 2018 生体ガス計測と高感度ガスセンシング/ 三林浩二監修／三林, 浩二,:シーエムシー出版, 2017 テレワーク社会を支えるリモートセンシング／三林, 浩二,三林浩二 監修:シーエムシー出版, 2021.4 Micro Electronic and Mechanical Systems／Kenichi Takahata:IntechOpen, 2009 ソフトマター : 分子設計・キャラクタリゼーションから機能性材料まで／高原淳, 栗原和枝, 前田瑞夫編,高原 淳,栗原 和枝,前田 瑞夫.:丸					

善, 2009 Intelligent surfaces in biotechnology : scientific and engineering concepts, enabling technologies, and translation to bio-oriented applications,／ edited by H. Michelle Grandin, Marcus Textor,Grandin, H. Michelle,Textor, Marcus,:John Wiley & Sons, 2012 刺激応答性高分子ハンドブック = Stimuli-responsive polymers handbook／宮田隆志 監修,宮田, 隆志,:エヌ・ティー・エス, 2018 授業中に資料を適宜、配布する。
履修上の注意事項 必要に応じて授業中に連絡する。
連絡先(メールアドレス) 三林 浩二:m.bdi@tmd.ac.jp
オフィスアワー 三林 浩二:毎週月曜日 AM.11:00-PM.12:00 21棟(生材研)5階 503B 室

Lecture No	031036				
Subject title	Biomedical Device Science and Engineering I			Subject ID	GH—b3063-L
Instructors	三林 浩二, 松元 亮, 池内 真志, 飯谷 健太[MITSUBAYASHI KOJI, MATSUMOTO AKIRA, IKEUCHI Masashi, IITANI Kennta]				
Semester	Spring 2024	Level	1st – year	Units	1
Course by the instructor with practical experiences					
Availability in English: All classes are taught in Japanese.					
Lecture place					
Online lecture (Zoom)					
Course Purpose and Outline					
Course Purpose:The purpose of this course is to acquire the knowledge's of latest biomedical device (element) technologies based on biochemistry, biotechnology, mechanics, electronics, MEMS, biomaterials, IT technology, etc. For understanding these technologies, related fundamental scientific and technological issues underlying those device technologies are also introduced and discussed.					
Outline:The outline of this course is to study novel biomedical devices such as biosensors, bioelectronics and bio-photonic devices. The course consists of some lectures of biosensing device, biosniffer, bioactuator, micro system, photonics, biotransistor and biomedical functional material & device.					
Course Objective(s)					
The Objective of this course is to ensure the acquisition of fundamentals and basic of latest biomedical devices and their technologies. The acquirer of this course is allowed to understand the fundamental scientific of those devices in some research & technical papers and to discuss some technological issues underlying those devices.					
Lecture plan					
No	Date	Time	Room	Lecture theme	Staff
1	6/14	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	ガイダンス: 先端バイオセンサ	MITSUBAYASHI KOJI
2	6/14	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	先端光センシング	IITANI Kennta
3	6/17	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	DNA ナノテクノロジーを利用した生体材料開発	ISHIKAWA Daisuke
4	6/17	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	バイオマニピュレーション	IKEUCHI Masashi
5	6/18	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	医用マイクロデバイス	IKEUCHI Masashi
6	6/18	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	ソフトマテリアルの機能と応用	MATSUMOTO AKIRA
7	6/21	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	ナノマシン・ナノデバイス技術の最前線	MATSUMOTO AKIRA, HORI Mao
8	6/21	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	生体エナジーハーベスティング	MITSUBAYASHI KOJI, ICHIKAWA Kennta
Lecture Style					
Lectures on the essence of biomedical devices.					
Grading System					
Participation (60%) and Examination (40%)					
Prerequisite Reading					
To be announced at the guidance and regular lectures.					
Reference Materials					
Wearable Biosensing in Medicine and Healthcare／Editor: Kohji Mitsubayashi:Springer Nature, 2024					
「非接触」が拓く新しいバイタルモニタリング = Non-Contact Vital Signs Monitoring : 革新的な健康管理と医療・介護への応用／三林浩二 監修,三林 浩二,:シーエムシー出版, 2021					
Chemical, gas, and biosensors for internet of things and related applications／edited by Kohji Mitsubayashi, Osamu Niwa, Yuko Ueno,三林 浩二,Niwa, Osamu. [丹羽修],Ueno, Yuko. [上野祐子]:Elsevier, 2019					
代謝センシング = Metabolic sensing : 健康, 食, 美容, 薬, そして脳の代謝を知る／三林浩二 監修,三林 浩二,:シーエムシー出版, 2018					
生体ガス計測と高感度ガスセンシング/ 三林浩二監修／三林 浩二,:シーエムシー出版, 2017					
テレワーク社会を支えるリモートセンシング／三林 浩二,三林浩二 監修:シーエムシー出版, 2021.4					
Micro Electronic and Mechanical Systems／Kenichi Takahata:IntechOpen, 2009					

ソフトマター：分子設計・キャラクタリゼーションから機能性材料まで／高原淳, 栗原和枝, 前田瑞夫編, 高原, 淳, 栗原, 和枝, 前田, 瑞夫, 丸善, 2009 Intelligent surfaces in biotechnology : scientific and engineering concepts, enabling technologies, and translation to bio-oriented applications／edited by H. Michelle Grandin, Marcus Textor, Grandin, H. Michelle, Textor, Marcus, : John Wiley & Sons, 2012 刺激応答性高分子ハンドブック = Stimuli-responsive polymers handbook／宮田隆志 監修, 宮田, 隆志, : エヌ・ティー・エス, 2018 To be distributed during the lecture.
Important Course Requirements To be announced during the lecture.
Email MITSUBAYASHI KOJI: m.bdi@tmd.ac.jp
Instructor's Contact Information MITSUBAYASHI KOJI: Every Monday morning (11:00 AM to noon) at room No. 503B on 5 fl. at Building 21

時間割番号	031038				
科目名	バイオメディカルシステム理工学 I			科目 ID	GH—b3064—L
担当教員	中島 義和, 中村 亮一, 杉野 貴明, 川瀬 利弘[NAKAJIMA Yoshikazu, NAKAMURA Ryouichi, SUGINO Takaaki, KAWASE Toshihiro]				
開講時期	2024 年度前期	対象年次	1～	単位数	1
実務経験のある教員による授業					
英語による授業:留学生が履修登録した場合には英語で行う					
主な講義場所					
2024 年度は遠隔授業(同期型)にて行う。					
授業の目的、概要等					
医学・歯科医療の従事者や生命科学・バイオデバイスやシステムの研究開発に携わる者において生命科学・医療の知識に加えて、最先端の科学技術を理解する事は不可欠となりつつある。本講座全体は「デバイス」を中心に理解するバイオメディカルデバイス理工学と、「システム」を中心に理解するバイオメディカルシステム理工学の3講座で構成され、最先端のバイオデバイスやシステムを理解するのに必須なバイオ工学や機械工学、電子電気工学、ナノ・マイクロ科学、情報科学などの学習と、実際に実用化されているバイオメディカルデバイス・システムの理解を通して、総合的なバイオメディカル理工学の知識と技術を理解し活用するためのスキルを育てる。					
授業の到達目標					
総合的なバイオメディカル理工学の知識と技術を理解し活用するためのスキルを習ふ。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	5/27	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	小野木 真哉	
2	5/29	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	坂内 英夫	
3	5/31	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	周 東博	
4	6/3	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	杉野 貴明	
5	6/5	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	中島 義和	
6	6/7	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	堀 武志	
7	6/10	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	梶 弘和	
8	6/12	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	宮崎 哲郎	
授業方法					
講義形式で行う					
授業内容					
生命現象の解明や医療・健康科学の発展には、いまや最先端のバイオデバイスやシステムを利用することが不可欠になりつつある。「システム」を中心に理解する本講座では、生命科学の講義のみでは対応できないバイオテクノロジー、電子電気、計測、力学等の基礎技術の概要を「システム」という「要素の集合体」の観点から学習すると共に、最先端のバイオメディカル分野において研究開発されている医療、診断、研究用システムの最新のトピックスとリスク解析について講義を行う。					
成績評価の方法					
講義への参加回数、質問や意見などの講義への貢献度、ならびにレポートにより、総合的に評価する。					
成績評価の基準					
講義への参加状況(50%)ならびにレポート(50%)に基づいて評価する。					
準備学習等についての具体的な指示					
初回授業のガイダンスならびに各授業において必要に応じて指示する					
試験の受験資格					
制限なし					
構成ユニット					
中島義和, 梶弘和,坂内英夫,小野木真哉, 杉野貴明,周東博,堀武志					
モジュールの単位判定					
1 単位					
教科書					

授業中に資料を適宜、配布する。
参考書 必要に応じて適宜、資料を配布する。
履修上の注意事項 特になし。
備考 特になし。
連絡先(メールアドレス) 中島 義和nakajima.bmi@tmd.ac.jp
オフィスアワー 中島 義和毎週月曜日 15:00-16:30 駿河台キャンパス 21 号館 4 階 409A

Lecture No	031038				
Subject title	Biomedical System Science and Engineering I			Subject ID	GH—b3064—L
Instructors	中島 義和, 中村 亮一, 杉野 貴明, 川瀬 利弘[NAKAJIMA Yoshikazu, NAKAMURA Ryouichi, SUGINO Takaaki, KAWASE Toshihiro]				
Semester	Spring 2024	Level	1st – year	Units	1
Course by the instructor with practical experiences					
Availability in English: If an/some international students register this lecture series for credits, this course will be done in English.					
Lecture place					
In 2024, the course will be held through the internet in the synchronous.					
Course Purpose and Outline					
The purpose of this course is to acquire the basic knowledge of biomedical system technologies. For understanding these technologies, related fundamental scientific and technological issues underlying those system technologies are also introduced and discussed.					
Course Objective(s)					
This lecture series aims to learn fundamental scientific and technological issues underlying biomedical systems, and skills to utilize your knowledge in practical works.					
Lecture plan					
No	Date	Time	Room	Staff	
1	5/27	14:40–16:10	遠隔授業(同期型)	ONOGI Shinnya	
2	5/29	14:40–16:10	遠隔授業(同期型)	BANNNAI Hideo	
3	5/31	14:40–16:10	遠隔授業(同期型)	SHUU Touhaku	
4	6/3	14:40–16:10	遠隔授業(同期型)	SUGINO Takaaki	
5	6/5	14:40–16:10	遠隔授業(同期型)	NAKAJIMA Yoshikazu	
6	6/7	14:40–16:10	遠隔授業(同期型)	HORI Takeshi	
7	6/10	14:40–16:10	遠隔授業(同期型)	KAJI Hirokazu	
8	6/12	14:40–16:10	遠隔授業(同期型)	MIYAZAKI Tetsurou	
Lecture Style					
Lecture and discussion will be done.					
Course Outline					
This lecture series provides basic of bioengineering, fluid dynamics, material mechanics, mechanical dynamics, thermo dynamics and theory of system computing. It also provides recent topics of medical and diagnosis systems and risk analysis of the systems.					
Grading System					
Class attendance, contribution for the lecture such as question and comments, and report quality will be considered on the assessment.					
Grading Rule					
The grade will consider class attendance and performance (50%) and reports (50%).					
Prerequisite Reading					
Instruction will be done at the first lecture. It will be done in any class if necessary.					
Exam eligibility					
No restriction.					
Composition Unit					
Yoshikazu Nakajima, Horikazu Kaji, Hideo Bannai, Shinya Onogi, Takaaki Sugino, Dongbo Zhou, Takeshi Hori					
Module Unit Judgment					
1 unit					
TextBook					
Handout will be provided in each class if necessary.					

Reference Materials Handouts will be provided if necessary.
Important Course Requirements Nothing.
Note(s) to Students Nothing.
Email NAKAJIMA Yoshikazu:nakajima.bmi@tmd.ac.jp
Instructor's Contact Information NAKAJIMA Yoshikazu:15:00-16:30 on every Monday at Room 409A on the 4th floor, Building 21, Surugadai campus

時間割番号	031039				
科目名	医歯薬産業技術特論			科目ID	GH—b3037-L
担当教員	池内 真志, 岸田 晶夫, 非常勤講師等[IKEUCHI Masashi, KISHIDA AKIO]				
開講時期	2024 年度後期	対象年次	1～	単位数	1
実務経験のある教員による授業					
今後の状況に応じ、休講の可能性はある。					
英語による授業: 全て日本語で行う。					
主な講義場所					
今後の状況に応じ、休講の可能性はある。					
授業の目的、概要等					
授業目的: 医療に資するための研究を遂行する場合に、目先の成果に捕らわれる近視眼的な研究ではなく、実用化までを俯瞰した骨太な研究戦略を構築できる能力の獲得をめざし、基盤的な知見について講義する。					
概要: 現役の許認可担当者あるいは企業研究者を招聘して、許認可あるいは研究開発の現場について、実用化までのハードルについて許認可側あるいは開発側からの視点でそれぞれ講義を行う。					
授業の到達目標					
医薬品、医療デバイスを世に送り出すためには、開発・研究だけでなく、製造・許認可など種々のハードルを克服しなければならない。これらの事項について、許認可に従事している専門家および企業研究者を招聘して講義を行う。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	10/1	18:00-19:30	遠隔授業(同期型)	岸田 晶夫	
2	10/8	18:00-19:30	遠隔授業(同期型)		非常勤講師: 小林 尚俊
3	10/15	18:00-19:30	遠隔授業(同期型)	宮内 昭浩	非常勤講師
4	10/22	18:00-19:30	遠隔授業(同期型)		外来講師: 宮島 敦子
5	10/29	18:00-19:30	遠隔授業(同期型)		外来講師: 井上 貴雄
6	11/5	18:00-19:30	遠隔授業(同期型)	大橋 萌	PMDA 講師 1
7	11/12	18:00-19:30	遠隔授業(同期型)	大東 宣貴	PMDA 講師 2
8	11/19	18:00-19:30	遠隔授業(同期型)	増淵 洋祐	PMDA 講師 3
授業方法					
講義内容が臨床応用・実用化の最先端のテーマであるため、初回の講義において講義内容の位置づけ・考え方について導入を行い、2回目に研究開発から実用化までの流れについて説明を行い、3回目以降はそれぞれの個別テーマについて専門家の講義をうける。					
授業内容					
○医療機器の生物学的安全性評価について					
○医薬品、医療機器、再生医療製品の許認可について					
○生物試薬(遺伝子医薬等)の開発について					
○医歯薬研究開発について					
成績評価の方法					
授業の参加状況(60%)及び講義終了後に行う小試験(40%)に基づいて総合的に評価を行う。					
準備学習等についての具体的な指示					
特になし					
参考書					
教科書・参考書・参考論文等は、科目担当者が指示する。					
履修上の注意事項					
外部講師を招聘するため、開講時間が夜間となる。					
備考					
医薬品医療機器総合機構講師および企業の講師の都合により開催日時は変更されることがあります。その場合には講義開始時および随時通知します。					

連絡先(メールアドレス)

池内 真志 ikeuchi.mech@tmd.ac.jp

オフィスアワー

池内 真志:月曜日, 木曜日 10:00-14:00 22 号館 3 階 312 室

Lecture No	031039				
Subject title	Medical, Dental and Pharmaceutical Industrial Engineering			Subject ID	GH—b3037—L
Instructors	池内 真志, 岸田 晶夫, 非常勤講師等[IKEUCHI Masashi, KISHIDA AKIO]				
Semester	Fall 2024	Level	1st – year	Units	1
Course by the instructor with practical experiences					
Availability in English:All classes are taught in Japanese.					
Course Purpose and Outline					
Course Purpose:To learn fundamental knowledge, which is necessary to build up robust research strategies that take into account practical use in the medical research field.					
Outline:This course invites peoples who are in charge of the approval and who is working on research field in company and gives various criteria to approve the product in the approval and development of view.					
Course Objective(s)					
To launch pharmaceuticals and medical devices, it is necessary to pass various criterions to obtain the approval and license for the product, manufacturing as well as research and development. The objective of this course is to understand theses processes to approve pharmaceuticals and medical devices through the lecture given by experts and company researchers who are engaged in.					
Lecture plan					
No	Date	Time	Room	Staff	Learning objectives•Learning methods•Instructions
1	10/1	18:00–19:30	遠隔授業(同期型)	KISHIDA AKIO	
2	10/8	18:00–19:30	遠隔授業(同期型)		
3	10/15	18:00–19:30	遠隔授業(同期型)	MIYAUCHI Akihiro	
4	10/22	18:00–19:30	遠隔授業(同期型)		
5	10/29	18:00–19:30	遠隔授業(同期型)		
6	11/5	18:00–19:30	遠隔授業(同期型)	OHASHI Moe	
7	11/12	18:00–19:30	遠隔授業(同期型)	OHHIGASHI Noritaka	
8	11/19	18:00–19:30	遠隔授業(同期型)	MASUBUCHI Yohsuke	
Lecture Style					
Since the contents of the lectures are on the cutting edge of clinical application and practical use, the positioning and concept of the lecture contents will be introduced in the first lecture, the procedures from R&D to practical use will be explained in the second lecture, and from the third lecture onward, the students will receive lectures by experts on each individual theme.					
Course Outline					
(1) Medical and Dental Research and Development					
(2) Biological safety evaluation of medical devices					
(3) Licensing and approval of pharmaceuticals, medical devices, and regenerative medical products					
(4) Development of biological reagents (genetic medicine, etc.)					
Grading System					
Class participation (60%), Final examination (40%)					
Prerequisite Reading					
None					
Reference Materials					
Each instructor will advice in advance as to promote a better understanding of students.					
Important Course Requirements					
Evening class					
Note(s) to Students					
Lecturer, time and places would be change. In that occasion, those change will be informed.					
Email					
IKEUCHI Masashi:ikeuchi.mech@tmd.ac.jp					

Instructor's Contact Information

IKEUCHI Masashi:10:00-14:00 Mon. & Thu. @ Building#22, Room312

Lecture No	031040				
Subject title	Critical Thinking and Debate			Subject ID	GH—b3038—L
Instructors					
Semester	Spring 2024	Level	1st – year	Units	2
Course by the instructor with practical experiences					
Not offered in FY2024					
Availability in English: Direction, class group work and all communications are in English.					
Lecture place Virtual meetings via Zoom					
Course Purpose and Outline English proficiency is essential as a common world language for not only communication but also information dissemination in state-of-the-art medical and dental research. In order to become leaders in the international arena, we will use critical thinking skills to discuss current topics, practice the basic skills required to have conversations, and learn debating skills.					
Course Objective(s) At the end of the course, students will have improved skills of: 1) Discussing current health science and cultural topics with more confidence 2) Using the Opinion–Reason–Evidence format for expressing ideas more clearly 3) Understanding of and ability to use debate skills 4) Writing format and flow					
Lecture Style Pre-reading of weekly topic and viewing of online video when provided In-class group discussion/debate and listening exercises Weekly short essay writing assignments, due by noon of the class date (20% of grade)					
Grading System Grades shall be based on class discussion (50%), writing (20%) and *formal essay (30%). The formal essay must be based on one of the 15 course topics. Essay requirements: 300–500 words, size A4 paper, using any of the following fonts in size 12: Arial Narrow, Cambria or Times New Roman. Provide references for data. Deadline for turning in the essay is 7/13 (Th) at 23:59. Essays turned in past this date will not be accepted and you will receive a failing grade for the essay.					
Prerequisite Reading Reading, listening or light research will be required before each session. Reading materials with links to videos are uploaded to the TMDU intranet system, WebClass. All enrollees are expected to read/watch those materials before class and be prepared for discussion and/or debate.					
Reference Materials Will be uploaded to WebClass before class.					
Important Course Requirements Students will be expected to arrive to class on time, participate actively and vocally during class discussions, and complete any homework and/or in-class assignments before class begins.					
Note(s) to Students Enrollment is limited to 15 students. If applicants exceed this number, they will be chosen based on their reason for applying and notified before the first class. Minimum requirement of 4 students to open class. Please download the application form from the following website and submit to Global Advancement Administrative Unit (global.adm@tmd.ac.jp). https://www.tmdu-global.jp/en/events/apply/202304/GEnglish2023.html					

Lecture No	031906				
Subject title	Critical Thinking and Debate (Fall)			Subject ID	GH—b3038—
Instructors					
Semester	Fall 2024	Level	1st year	Units	2
Course by the instructor with practical experiences					
Not offered in FY2024					
Availability in English: Direction, class group work and all communications are in English.					
Lecture place Virtual meetings via Zoom					
Course Purpose and Outline English proficiency is essential as a common world language for not only communication but also information dissemination in state-of-the-art medical and dental research. In order to become leaders in the international arena, we will use critical thinking skills to discuss current topics, practice the basic skills required to have conversations, and learn debating skills.					
Course Objective(s) At the end of the course, students will have improved skills of: 1) Discussing current health science and cultural topics with more confidence 2) Using the Opinion–Reason–Evidence format for expressing ideas more clearly 3) Understanding of and ability to use debate skills 4) Writing format and flow					
Lecture Style Pre-reading of weekly topic and viewing of online video when provided In-class group discussion/debate and listening exercises Weekly short essay writing assignments, due by noon of the class date (20% of grade)					
Grading System Grades shall be based on class discussion (50%), writing (20%) and *formal essay (30%). The formal essay must be based on one of the 15 course topics. Essay requirements: 300–500 words, size A4 paper, using any of the following fonts in size 12: Arial Narrow, Cambria or Times New Roman. Provide references for data. Deadline for turning in the essay is 1/18 (Th) at 23:59. Essays turned in past this date will not be accepted and you will receive a failing grade for the essay.					
Prerequisite Reading Reading, listening or light research will be required before each session. Reading materials with links to videos are uploaded to the TMDU intranet system, WebClass. All enrollees are expected to read/watch those materials before class and be prepared for discussion and/or debate.					
Reference Materials Will be uploaded to WebClass before class.					
Important Course Requirements Students will be expected to arrive to class on time, participate actively and vocally during class discussions, and complete any homework and/or in-class assignments before class begins.					
Note(s) to Students Enrollment is limited to 15 students. If applicants exceed this number, they will be chosen based on their reason for applying and notified before the first class. Minimum requirement of 4 students to open class. Please download the application form from the following website and submit to Global Advancement Administrative Unit (global.adm@tmd.ac.jp). https://www.tmdu-global.jp/en/events/apply/202304/GEnglish2023.html					

時間割番号	031041				
科目名	研究倫理・医療倫理学			科目 ID	GH—b3039-L
担当教員	吉田 雅幸, 江花 有亮, 江川 真希子, 甲畑 宏子, 神田 英一郎, 堤 正好[YOSHIDA MASAYUKI, EBANA YUSUKE, EGAWA MAKIKO, KOBATA HIROKO, Eichiroh Kanda, TSUTSUMI Masayoshi]				
開講時期	2024 年度前期	対象年次	1～	単位数	1
実務経験のある教員による授業					
全て日本語で行う					
授業の目的、概要等					
授業目的: 研究や医療行為に関連する倫理的課題について学び、目の課題に対して科学的かつ倫理的に妥当な判断ができる能力を培う。					
概要: 医学・生物学の急速な技術的進歩を社会に有用な形で還元して行くためには、これまでの医学・生物学の発展と社会的葛藤の歴史を正しく認識し、国際的にも通用する確かな生命倫理学的知識を身につける必要がある。特に遺伝情報やES細胞などの利用に際しても、生命倫理学に基づき適格な判断ができるように指導する。研究者にとって最も身近な研究倫理審査について実習を交えて学習する。					
授業の到達目標					
医学・生物学研究や日常の医療行為を行う上で必要とされる倫理的事項について体得する。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/10	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	研究倫理・医療倫理総論 1	吉田 雅幸
2	4/23	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	遺伝カウンセリング	江川 真希子
3	4/24	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	先天性疾患治療の進歩と課題	奥山 虎之
4	4/30	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	研究倫理・医療倫理総論 2	吉田 雅幸
5	5/1	08:50-10:20	遠隔授業(非同期型)	臨床研究計画論	神田 英一郎
6	5/7	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	遺伝子解析に関する倫理的問題	江花 有亮
7	5/8	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	ヒト由来検体の取り扱いと研究倫理	甲畑 宏子
8	5/14	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	研究倫理審査実習	江花 有亮
授業方法					
講義					
成績評価の方法					
授業への参加(全 8 回)状況及び授業中に出題する課題に対する A4 用紙 1 枚程度のレポートの提出により総合的に評価を行う。					
成績評価の基準					
レポートで評価する					
準備学習等についての具体的な指示					
講義前に予め参考資料やインターネットを参照し、基礎的知識を身に付けておくこと。					
教科書					
The Oxford textbook of clinical research ethics／edited by Ezekiel J. Emanuel ... [et al.], Emanuel, Ezekiel J., : Oxford University Press, 2008 Principles and practice of clinical research／edited by John I. Gallin, Frederick P. Ognibene, Gallin, John I., Ognibene, Frederick P., : Elsevier/AP, 2012					
参考書					
1. 教育出版「テーマ30 生命倫理」 生命倫理教育研究協議会 著 2. 文春新書474「いのち 生命科学に言葉はあるか」 最相葉月 著 3. 医学出版 ポストゲノム時代の医療倫理 東京医科歯科大学生命倫理研究センター著 4. じほう Ethical Issues Concerning Advanced Research 鈴木章夫 吉田雅幸 編著					
備考					
吉田 雅幸: オフィスアワーは特に定めませんが、事前連絡してから訪問すること。					
連絡先(メールアドレス)					
吉田 雅幸: masa.vasc@tmd.ac.jp					
オフィスアワー					

吉田 雅幸: オフィスアワーは特に定めないが、事前連絡してから訪問すること。

Lecture No	031041				
Subject title	Medical and Research Ethics			Subject ID	GH—b3039—L
Instructors	吉田 雅幸, 江花 有亮, 江川 真希子, 甲畑 宏子, 神田 英一郎, 堤 正好[YOSHIDA MASAYUKI, EBANA YUSUKE, EGAWA MAKIKO, KOBATA HIROKO, Eichiroh Kanda, TSUTSUMI Masayoshi]				
Semester	Spring 2024	Level	1st – year	Units	1
Course by the instructor with practical experiences					
All classes are taught in Japanese.					
Course Purpose and Outline					
Purpose of class: To learn about ethical issues related to research and medical practice, and to cultivate the ability to make scientifically and ethically valid judgments on the issues.					
Summary: In order to return the rapid technological progress of medicine and biology to society in a useful manner, we must correctly recognize the history of medical and biology development and social conflicts, and internationally. It is necessary to acquire solid bioethical knowledge. In particular, when using genetic information and regenerative tissues, we will instruct them to make appropriate decisions based on bioethics. Learn about research ethics examinations that are most familiar to researchers with practical training.					
Course Objective(s)					
Acquire the ethical way of thinking required for medical/biological research and daily medical practice.					
Lecture plan					
No	Date	Time	Room	Lecture theme	Staff
1	4/10	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	研究倫理・医療倫理総論 1	YOSHIDA MASAYUKI
2	4/23	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	遺伝カウンセリング	EGAWA MAKIKO
3	4/24	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	先天性疾患治療の進歩と課題	OKUYAMA Torayuki
4	4/30	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	研究倫理・医療倫理総論 2	YOSHIDA MASAYUKI
5	5/1	08:50-10:20	遠隔授業(非同期型)	臨床研究計画論	Eichiroh Kanda
6	5/7	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	遺伝子検査とその倫理的問題点	EBANA YUSUKE
7	5/8	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	ヒト由来検体の取り扱いと研究倫理	KOBATA HIROKO
8	5/14	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	研究倫理審査実習	EBANA YUSUKE
Lecture Style					
Lecture					
Grading System					
Comprehensive evaluation will be made based on the submission of reports on the tasks to be asked during class and the status of participation in the class.					
Grading Rule					
Evaluate grades in the report					
Prerequisite Reading					
Before providing a lecture, refer to reference materials and the Internet in advance to acquire basic knowledge.					
TextBook					
The Oxford textbook of clinical research ethics／edited by Ezekiel J. Emanuel ... [et al.],Emanuel, Ezekiel J.,:Oxford University Press, 2008					
Principles and practice of clinical research／edited by John I. Gallin, Frederick P. Ognibene,Gallin, John I.,Ognibene, Frederick P.,:Elsevier/AP, 2012					

時間割番号	031042				
科目名	トランスレーショナルリサーチ特論			科目ID	GH—b3040-L
担当教員					
開講時期	2024 年度前期	対象年次	1～	単位数	2
実務経験のある教員による授業					
2024 年度休講					
準備学習等についての具体的な指示					

Lecture No	031042				
Subject title	Translational Research			Subject ID	GH—b3040-L
Instructors					
Semester	Spring 2024	Level	1st – year	Units	2
Course by the instructor with practical experiences					
Not offered in FY2024					
Prerequisite Reading					

時間割番号	031043				
科目名	産学リンケージ特論			科目 ID	GH—b3042-Z
担当教員	玉村 啓和、影近 弘之[TAMAMURA HIROKAZU, KAGECHIKA HIROYUKI]				
開講時期	2024 年度通年	対象年次	1～	単位数	2
実務経験のある教員による授業					
英語による授業: 全て日本語で行う。					
主な講義場所 事前研修(マナー講習): 東京医科歯科大学 インターンシップ、特別研修: 国内の企業(オンラインを含む)					
授業の目的、概要等 授業目的: 修士課程で修得した研究能力と語学力を基礎力とし、それを結実させる応用力を身につけるため、産業界で活躍できる実践力を修得する。 概要: 国内の企業にインターンシップあるいは特別研修として派遣するケーススタディ体験型コースである。					
授業の到達目標 企業へのインターンシップを通じて、社会がどのように動いており、何を求めているのか、社会のリアルタイムの動向と求める人材像を、現場に滞在して体験的に学習する。					
授業方法 事前研修は東京医科歯科大学にて実施する。企業説明会はパワーポイント等を用い、講義形式で行う。インターンシップあるいは特別研修は実際に国内の企業でケーススタディーを体験する(オンラインを含む)。					
授業内容 ・5～6月頃(1ヶ月くらい前にメールにてアナウンス) 事前研修(マナー講習)、東京医科歯科大学 ・6～9月頃 インターンシップあるいは特別研修					
成績評価の方法 予め、事前研修に参加する必要がある。成績評価は、参加状況(40 点)とインターンシップあるいは特別研修のレポート内容(60 点)を総合して評価する。 インターンシップあるいは特別研修に参加しなかった場合は、履修を取消したとみなす。					
準備学習等についての具体的な指示 社会が何を求めているのか、社会のリアルタイムの動向を前もって調べておく。					
備考 受講者は、東京医科歯科大学にて実施される事前研修に参加する必要がある。インターンシップあるいは特別研修参加前に、指導教員から許可を受けたうえで、科目責任者から参加予定のインターンシップ／特別研修先を本科目のインターンシップ／特別研修として承認を受ける。参加終了後に、レポートを提出すること。 また、学生保険への加入が必要である。					
連絡先(メールアドレス) 玉村 啓和:tamamura.mr@tmd.ac.jp					
オフィスアワー 玉村 啓和: 授業開始1週間前から授業終了1週間後までの毎週月—金の午後3時から午後5時: 科目責任者 メディシナルケミストリー分野(玉村)教授室 22 号棟 6 階 603B 室					

Lecture No	031043				
Subject title	Practice in Global Linkage between University and Industry			Subject ID	GH—b3042-Z
Instructors	玉村 啓和, 影近 弘之[TAMAMURA HIROKAZU, KAGECHIKA HIROYUKI]				
Semester	YearLong 2024	Level	1st – year	Units	2
Course by the instructor with practical experiences					
Availability in English: All classes are taught in Japanese.					
Lecture place					
Pre-training programs: TMDU					
Internship and special training programs: domestic companies (including online)					
Course Purpose and Outline					
Course Purpose:The purpose of this course is to learn practical skills, which will be useful in the industrial world, to master applicable ability based on research capability and language ability acquired in master courses.					
Outline:This course is an experience-based course of case studies that dispatch students to domestic companies as internship and special training programs.					
Course Objective(s)					
This course objective is to aquire ability to obtain the trend in real time of the society in practical situations through internship and special training programs.					
Lecture Style					
Pre-training programs are performed in Ochanomizu University or TMDU.					
Briefing about companies is performed using power point prezentaions in lecture styles.					
In internship and special training programs, case studies are practically experienced in domestic companies.					
Grading System					
Initially, it is necessary to attend a pre-training program.					
Evaluation: attendance (40 points) and a report on an internship or special training program (60 points)					
The absence of an internship or special training program means a cancellation of this course.					
Prerequisite Reading					
Preliminarily, the trend in real time of the society must be investigated.					
Note(s) to Students					
Participants must attend a pre-training program performed in TMDU. Before attending internship or special training seminars at the companies, students have to have a permission from ones' supervisor and the attendance to the internship/special training seminar to be accepted as the part of this course by Chief Instructor. Students then need to submit a report after attending internship/special training seminar.					
Also, students have to buy Personal Accident Insurance and Liability Insurance.					
Email					
TAMAMURA HIROKAZU:tamamura.mr@tmd.ac.jp					
Instructor's Contact Information					
TAMAMURA HIROKAZU:Mon-Fri, 3-5 pm					
Bldg22, Fl6, Rm603B					

時間割番号	031869				
科目名	先制医療学実習			科目ID	GH—b3058-E
担当教員	小池 竜司, 石川 欽也, 長堀 正和, 平川 晃弘, 神谷 尚宏, 石黒 めぐみ, 今井 穰, 石井 真人, 花澤 遼一, 佐々木 誠治, 萬 巴里子[KOIKE RYUJI, ISHIKAWA KINYA, NAGAHORI MASAKAZU, HIRAKAWA Akihiro, KAMIYA Takahiro, ISHIGURO MEGUMI, IMAI Minoru, ISHII MAKOTO, HANAZAWA Ryouichi, SASAKI Masanao, YOROZU PARIKO]				
開講時期	2024 年度前期	対象年次	1	単位数	2
実務経験のある教員による授業					
英語による授業:留学生が履修登録した場合には英語で行う					
主な講義場所 別表のとおり					
授業の目的、概要等 授業目的: 【新規医療開発コース】 先制医療学を学び実践していくにあたり、新規医療技術等を実用化するプロセスである臨床試験に関する基本的知識を身につけ、将来の遂行能力獲得のための土台を形成する。 【健康管理ゲノム医療開発コース】 個人の遺伝子要因に基づいた予防医学を開発・研究する上で必要な基礎技術の習得を目的とする。 概要: 【新規医療開発コース】 新規医療技術等の実用化を目的とする臨床試験計画作成から実施までの実務を体験し、関連業務や法令の概略を学ぶ。 【健康管理ゲノム医療開発コース】 本コースでは単一遺伝子疾患ではなく、多因子疾患について試料採取とそこからの DNA 解析法を学ぶ。DNA 情報を集約して多因子疾患におけるリスクの計算方法、説明の仕方などについて。講義および実験指導を行う。					
授業の到達目標 【新規医療開発コース】 基礎研究成果が医療技術として開発されるまでの基本的プロセスを理解し、臨床研究の計画作成や適切な管理のための知識とともにシミュレーションや演習での体験を通じて理解を深める。本実習を通じて、自身または共同研究者が研究成果を実用化しようとする際のプロセスを理解し、必要なリソースの利用や専門家との協議および調整ができる能力の基礎を身につける。 【健康管理ゲノム医療開発コース】 健康で活躍できる社会を作ことは国策の一つである。本コースでは、長寿・健康人生推進センターで進める遺伝子要因の解析基礎技術に関する実習を行う。また、個人の生活習慣を集約する方法についての教育も行う。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-5	7/3	08:50-17:50	遠隔授業(同期型)	石川 欽也	
6-10	7/4	08:50-17:50	遠隔授業(同期型)	石川 欽也	病院見学あり
11-15	7/5	08:50-17:50	遠隔授業(同期型), 遠隔授業(非同期型)	長堀 正和 平川 晃弘	
16-20	7/8	08:50-17:50	遠隔授業(同期型)	小池 竜司, 神谷 尚宏, 石黒 めぐみ	
21-25	7/9	08:50-17:50	遠隔授業(同期型)	石黒 めぐみ, 妻沼 有香	
26-30	7/10	08:50-17:50	遠隔授業(同期型)	今井 穰, 石井 真人	
31-35	7/11	08:50-17:50	遠隔授業(同期型)	花澤 遼一, 佐々木 誠治, 萬 巴里子	
36-40	7/12	08:50-17:50	遠隔授業(同期型)	石川 欽也	
41-45	7/23	08:50-17:50	遠隔授業(同期型)	石川 欽也	実習(自習形式)
46-50	7/24	08:50-17:50	遠隔授業(同期型)	石川 欽也	
授業方法					

【新規医療開発コース】 小講義、演習、実務の見学ないし参加を織り交ぜ、目標内容の定着や発展的理解を目指す。 【健康管理ゲノム医療開発コース】 全体での講義を行なうとともにそれぞれのテーマに関して小グループに分かれて実験を行なう。
成績評価の方法 授業への参加(原則として全日程参加を必須とする:50点)及び試験・レポート(計50点)に基づいて総合的に評価を行う。
成績評価の基準 合計で60%以上が合格
準備学習等についての具体的な指示 【新規医療開発コース】 特にないが、新薬や新医療機器がどのように開発されるかの概略を知っておくと理解を助ける。 【健康管理ゲノム医療開発コース】 別途配布予定のテキストを事前に予習してくる。
参考書 【新規医療開発コース】 特になし。ヘルスサイエンス R&D センターHP と医学部附属病院臨床試験管理センターHP に、新薬開発や臨床試験の基礎的知識を掲載している。 【健康管理ゲノム医療開発コース】 トンプソン&トンプソン 遺伝医学(メディカルサイエンスインターナショナル社出版)、②遺伝医学. やさしい系統講義18講(メディカルサイエンスインターナショナル社出版)
履修上の注意事項 全日程に必ず出席すること。
備考 本科目は先制医療学コースの必修科目であり、先制医療学コースの学生のみ履修登録可
参照ホームページ https://tmd-herd.jp/ (ヘルスサイエンス R&D センター)
連絡先(メールアドレス) 小池 竜司:koike.rheu@tmd.ac.jp 石川 欽也:pico.nuro@tmd.ac.jp
オフィスアワー 小池 竜司:授業内容の問い合わせに関しては、電子メールで連絡を取るにより、適宜これに対応する。 石川 欽也:毎週火曜日 AM.10:00-PM.2:00 医学部附属病院 16 階 B 棟 長寿・健康人生推進センター

Lecture No	031869				
Subject title	Clinical Research and Development Training Course in Anticipating Medicine		Subject ID	GH—b3058-E	
Instructors	小池 竜司, 石川 欽也, 長堀 正和, 平川 晃弘, 神谷 尚宏, 石黒 めぐみ, 今井 穰, 石井 真人, 花澤 遼一, 佐々木 誠治, 萬 巴里子[KOIKE RYUJI, ISHIKAWA KINYA, NAGAHORI MASAKAZU, HIRAKAWA Akihiro, KAMIYA Takahiro, ISHIGURO MEGUMI, IMAI Minoru, ISHII MAKOTO, HANAZAWA Ryouichi, SASAKI Masanao, YOROZU PARIKO]				
Semester	Spring 2024	Level	1st year	Units	2
Course by the instructor with practical experiences					
Availability in English:When an international student registers this subject for credits, this course is taught in English.					
Lecture place					
supply specific timetable					
Course Purpose and Outline					
Course Purpose:					
【Clinical Research and Development training course】					
Obtaining basic knowledge and skills of clinical research and development, necessary for anticipating medicine through medical and dental innovation.					
【Genetic Medicine for Disease Prevention course】					
Learn basic skills to study on genetic medicine for disease prevention.					
Outline:					
【Clinical Research and Development training course】					
This course deals with the practices, such like planning and management of clinical studies, and regulations relating with clinical research and development.					
【Genetic Medicine for Disease Prevention course】					
Participants are expected to learn how to analyze DNA samples and to interpret genotype data as a personalized data. This course focus on polygenic disorders.					
Course Objective(s)					
【Clinical Research and Development training course】					
Obtaining knowledge about clinical research and development including planning and manegement of clinical studies by small lectures and on the job training (OJT). Being able to plan and proceed own or collaborators' clinical studies utilizing necessary resources and communicating with colleagues.					
【Genetic Medicine for Disease Prevention course】					
The objective of this curriculum is to learn and understand how to analyze individual genotype from genomic DNA (deoxyribonucleic acids) samples, and to calculate one's own genetic risks. Further understanding on how to avoid risk diseases is also expected.					
Lecture plan					
No	Date	Time	Room	Staff	Learning objectives•Learning methods•Instructions
1-5	7/3	08:50-17:50	遠隔授業(同期型)	ISHIKAWA KINYA	
6-10	7/4	08:50-17:50	遠隔授業(同期型)	ISHIKAWA KINYA	
11-15	7/5	08:50-17:50	遠隔授業(同期型), 遠隔授業(非同期型)	NAGAHORI MASAKAZU, HIRAKAWA Akihiro	
16-20	7/8	08:50-17:50	遠隔授業(同期型)	KOIKE RYUJI, KAMIYA Takahiro, ISHIGURO MEGUMI	
21-25	7/9	08:50-17:50	遠隔授業(同期型)	ISHIGURO MEGUMI, TSUMANUMA Yuuka	
26-30	7/10	08:50-17:50	遠隔授業(同期型)	IMAI Minoru, ISHII MAKOTO	

31-35	7/11	08:50-17:50	遠隔授業(同期型)	HANAZAWA Ryouichi, SASAKI Masanao, YOROZU PARIKO	
36-40	7/12	08:50-17:50	遠隔授業(同期型)	ISHIKAWA KINYA	
41-45	7/23	08:50-17:50	遠隔授業(同期型)	ISHIKAWA KINYA	
46-50	7/24	08:50-17:50	遠隔授業(同期型)	ISHIKAWA KINYA	
Lecture Style 【Clinical Research and Development training course】 Lecture & on the job (OJT) training 【Genetic Medicine for Disease Prevention course】 Lecture & on the job (OJT) training					
Grading System Attendance (50%) and examination(or report (50%)).					
Grading Rule Total 60% or more scores					
Prerequisite Reading 【Clinical Research and Development training course】 Better to have basic knowledges about clinical research and development. 【Genetic Medicine for Disease Prevention course】 To be announced.					
Reference Materials 【Clinical Research and Development training course】 Basic knowledges are presented on homepages of Medical Innovation Center and Clinical Research Center of Medical Hospital. 【Genetic Medicine for Disease Prevention course】 Nussbaum, McInnes and Willard Editors, Thompson & Thompson Genetics in Medicine, 8th Edition.					
Note(s) to Students This course is compulsory for and to be registered by the students in Preemptive Medicine Course.					
Reference URL https://tmd-u-herd.jp/ (Health Science Research and Development Center)					
Email KOIKE RYUJI:koike.rheu@tmd.ac.jp ISHIKAWA KINYA:pico.nuro@tmd.ac.jp					
Instructor's Contact Information KOIKE RYUJI:Contact or question about this course can be acceptable by e-mail. ISHIKAWA KINYA:10:00AM-2:00PM, every Tuesday, at The Center for Personalized Medicine for Healthy Aging, 16th Floor, Medical University Hospital					

時間割番号	031870				
科目名	先制医療学基礎実習			科目ID	GH-b3059-E
担当教員	吉田 雅幸, 田中 敏博, 久保田 一徳, 江花 有亮, 甲畑 宏子, 竹本 暁[YOSHIDA MASAYUKI, TANAKA TOSHIHIRO, Kazunori Kubota, EBANA YUSUKE, KOBATA HIROKO, TAKEMOTO AKIRA]				
開講時期	2024 年度前期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					
英語による授業:全て日本語で行う					
授業の目的、概要等					
授業目的:先制医療を行う上で必要な基礎技術の習得を目的とする。					
概要:超高齢社会を迎える我が国の医療においては、個々人のゲノム・エピゲノム情報、リアルタイム電子医療情報に加えて、センシング技術を駆使した「医療ビッグデータ」を活用した個別先制医療の実現が求められる。本実習ではこれら先制医療の実践に不可欠な基礎技術を習得する。					
授業の到達目標					
医科学多領域における高度な専門知識に加え、以下の能力の習得を目的とする					
1.先制医療を実現するための現状と問題点を理解し、50年先の先制医療を俯瞰することができる。					
2.臨床情報の取得にあたり、倫理的・法的・社会的諸問題を理解し的確に対応することができる。					
3.医療ビッグデータの取扱いおよび解析をすることができる。					
4.医歯学研究の基盤となるバイオバンク事業について理解する。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	
1	7/25	14:40-21:10	遠隔授業(同期型)	吉田 雅幸	
2	7/26	08:50-14:30	遠隔授業(同期型)	江花 有亮	
3	7/29	14:40-17:50	遠隔授業(同期型)	甲畑 宏子	
4	7/30	14:00-18:00	遠隔授業(同期型)	田中 敏博	
5	7/31	14:40-21:00	遠隔授業(同期型)	安齋 達彦	
授業方法					
講義と実習を行う。					
成績評価の基準					
授業への参加(原則として全日程参加を必須とする:50 点)及びレポート(実習毎、全3種:計 50 点)に基づいて総合的に評価を行う。					
準備学習等についての具体的な指示					
担当教員の指示に従うこと					
参考書					
担当教員の指示に従うこと					
備考					
本科目は先制医療学コースおよび遺伝カウンセリングコースの必修科目であり、先制医療学コースおよび遺伝カウンセリングコースの学生のみ履修登録可					
連絡先(メールアドレス)					
吉田 雅幸: masa.vasc@tmd.ac.jp					
オフィスアワー					
吉田 雅幸: オフィスアワーは特に定めないが、事前連絡してから訪問すること。					

Lecture No	031870																																		
Subject title	Preemptive Medicine Basic Training Course			Subject ID	GH—b3059-E																														
Instructors	吉田 雅幸, 田中 敏博, 久保田 一徳, 江花 有亮, 甲畑 宏子, 竹本 暁[YOSHIDA MASAYUKI, TANAKA TOSHIHIRO, Kazunori Kubota, EBANA YUSUKE, KOBATA HIROKO, TAKEMOTO AKIRA]																																		
Semester	Spring 2024	Level	1st year	Units	1																														
Course by the instructor with practical experiences																																			
Availability in English: When an international student registers this subject for credits, this course is taught in English.																																			
Course Purpose and Outline Course Purpose: 【Clinical Research and Development training course】 Obtaining basic knowledge and skills of clinical research and development, necessary for anticipating medicine through medical and dental innovation. 【Genetic Medicine for Disease Prevention course】 Learn basic skills to study on genetic medicine for disease prevention. Outline: 【Clinical Research and Development training course】 This course deals with the practices, such like planning and management of clinical studies, and regulations relating with clinical research and development. 【Genetic Medicine for Disease Prevention course】 Participants are expected to learn how to analyze DNA samples and to interpret genotype data as a personalized data. This course focus on polygenic disorders.																																			
Course Objective(s) 【Clinical Research and Development training course】 Obtaining knowledge about clinical research and development including planning and manegement of clinical studies by small lectures and on the job training (OJT). Being able to plan and proceed own or collaborators' clinical studies utilizing necessary resources and communicating with colleagues. 【Genetic Medicine for Disease Prevention course】 The objective of this curriculum is to learn and understand how to analyze individual genotype from genomic DNA (deoxyribonucleic acids) samples, and to calculate one's own genetic risks. Further understanding on how to avoid risk diseases is also expected.																																			
Lecture plan <table><tr><td>No</td><td>Date</td><td>Time</td><td>Room</td><td>Staff</td></tr><tr><td>1</td><td>7/25</td><td>14:40-21:10</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td>YOSHIDA MASAYUKI</td></tr><tr><td>2</td><td>7/26</td><td>08:50-14:30</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td>EBANA YUSUKE</td></tr><tr><td>3</td><td>7/29</td><td>14:40-17:50</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td>KOBATA HIROKO</td></tr><tr><td>4</td><td>7/30</td><td>14:00-18:00</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td>TANAKA TOSHIHIRO</td></tr><tr><td>5</td><td>7/31</td><td>14:40-21:00</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td>ANZAI Tatsuhiko</td></tr></table>						No	Date	Time	Room	Staff	1	7/25	14:40-21:10	遠隔授業(同期型)	YOSHIDA MASAYUKI	2	7/26	08:50-14:30	遠隔授業(同期型)	EBANA YUSUKE	3	7/29	14:40-17:50	遠隔授業(同期型)	KOBATA HIROKO	4	7/30	14:00-18:00	遠隔授業(同期型)	TANAKA TOSHIHIRO	5	7/31	14:40-21:00	遠隔授業(同期型)	ANZAI Tatsuhiko
No	Date	Time	Room	Staff																															
1	7/25	14:40-21:10	遠隔授業(同期型)	YOSHIDA MASAYUKI																															
2	7/26	08:50-14:30	遠隔授業(同期型)	EBANA YUSUKE																															
3	7/29	14:40-17:50	遠隔授業(同期型)	KOBATA HIROKO																															
4	7/30	14:00-18:00	遠隔授業(同期型)	TANAKA TOSHIHIRO																															
5	7/31	14:40-21:00	遠隔授業(同期型)	ANZAI Tatsuhiko																															
Lecture Style 【Clinical Research and Development training course】 Lecture & on the job (OJT) training 【Genetic Medicine for Disease Prevention course】 Lecture & on the job (OJT) training																																			
Grading System Attendance (50%) and examination(or report (50%)).																																			
Prerequisite Reading 【Clinical Research and Development training course】																																			

Better to have basic knowledges about clinical research and development. 【Genetic Medicine for Disease Prevention course】 To be announced.
Reference Materials 【Clinical Research and Development training course】 Basic knowledges are presented on homepages of Medical Innovation Center and Clinical Research Center of Medical Hospital. 【Genetic Medicine for Disease Prevention course】 Nussbaum, McInnes and Willard Editors, Thompson & Thompson Genetics in Medicine, 8th Edition.
Note(s) to Students This course is compulsory for and to be registered by the students in Preemptive Medicine Course and Genetic Counseling Course.

時間割番号	031871				
科目名	保健医療情報学			科目ID	GH—b3052-L
担当教員	伊藤 南, 鶴田 潤, 赤澤 宏平, 佐々木 吉子, 井出 恵伊子, 甲畑 宏子, 村松 正明[ITO MINAMI, TSURUTA JIYUN, AKAZAWA KOHEI, SASAKI YOSHIKO, IDE EIKO, KOBATA HIROKO, MURAMATSU Masaaki]				
開講時期	2024 年度前期	対象年次	1	単位数	2
実務経験のある教員による授業					
英語による授業:全て日本語で行う					
主な講義場所 3号館15階 大学院講義室2					
授業の目的、概要等 授業目的:保健医療の現場においては専門の枠を超えた問題意識の共有が必要となる場面が往々にして生じる。専門性の異なるメンバーが1つのチームとして協働する際には、互いの考え方を伝え、理解し合うことがチームの円滑な運用に欠かせない。本科目の目的は、将来現場で直面するであろう様々な問題について、様々な専攻分野の学生がともに学び、議論を重ねることにある。 概要:「保健医療情報」をキーワードにして非常勤講師によるオムニバス方式の講義を行う。先端医療、チーム医療、生命科学、病院経営、医療関連の技術開発など広いテーマから話題を提供してもらい、参加者全員で議論を深める。					
授業の到達目標 保健医療の現場における問題の最新の情報を学ぶ。講義と議論を通じて専門の別による立場の違い、あるいは立場を同じくする部分について認識を深め、互いを理解する際の基盤とする。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1-2	5/16	16:20-19:30	保健衛生学研究科大学院講義室 2	チーム医療	鶴田 潤
3-4	5/23	16:20-19:30	保健衛生学研究科大学院講義室 2	脳科学の行方	伊藤 南
5-6	5/27	16:20-19:30	保健衛生学研究科大学院講義室 2	生命倫理・研究倫理	甲畑 宏子
7-8	5/30	16:20-19:30	保健衛生学研究科大学院講義室 2	病院情報システム	赤澤 宏平
9-10	6/3	16:20-19:30	保健衛生学研究科大学院講義室 2	ヒトゲノム情報	村松 正明
11-12	6/6	16:20-19:30	保健衛生学研究科大学院講義室 2	医療経営学	井出 恵伊子
13-14	6/13	16:20-19:30	保健衛生学研究科大学院講義室 2	災害時医療	佐々木 吉子
15-16	6/20	16:20-19:30	保健衛生学研究科大学院講義室 2	臨床検査部の運用	汐谷 陽子
授業方法 事前課題や配布資料についてはコース期間中に随時連絡する。まず講義形式で授業を進め、その後に質疑応答およびテーマを絞って討論する。コロナ肺炎等の感染症対策は大学の方針に従う。状況により遠隔講義(同期型)を行う。授業方法の変更等は逐次告知する。					
授業内容 約一ヶ月の短期集中型のプログラム中に各分野の専門の先生方を招いて、「保健医療情報」をキーワードに、先端医療、チーム医療、生命科学、病院経営、医療関連の技術開発など広いテーマから話題を提供してもらい、参加者全員で議論やグループワークを行う。事前課題や配布資料についてはコース期間中に随時連絡する。					
①チーム医療 鶴田 潤 東京医科歯科大学・統合教育機構 ②脳科学の行方 伊藤 南 東京医科歯科大学・生体検査科学専攻 ③生命倫理・研究倫理 甲畑 宏子 東京医科歯科大学・生命倫理センター ④病院情報システム 赤澤 宏平 新潟大学・医療情報部 ⑤ヒトゲノム情報 村松 正明 東京医科歯科大学・難治疾患研究所 ⑥医療経営学 井出 恵伊子 東京ベイ・市川浦安医療センター ⑦災害時医療 佐々木 吉子 東京医科歯科大学・共同災害看護学専攻 ⑧臨床検査部の運用 汐谷 陽子 東京都立神経病院					
成績評価の方法 講義内容の理解だけでなく、講義内容をテーマとして議論への積極的な参加を期待する。 ①質疑応答、討論への参加状況を評価する(50%)。					

②講義予定終了後にテーマを2つ選んで、レポートを提出する(50%)。
準備学習等についての具体的な指示 各回のテーマについて自分で調べ、質問を事前に考えておくこと。
履修上の注意事項 講義を拝聴するだけではなく、積極的に質疑応答に参加することを期待する。各講義において受講者全員が必ず質問をすること。他の参加者の質問や意見にも耳を傾けるようにすること。
連絡先(メールアドレス) 伊藤 南:minami.bse@tmd.ac.jp、
オフィスアワー 伊藤 南:3号棟16階 生体機能支援システム学教授室 随時対応しますので、事前にメール等で連絡して下さい。

Lecture No	031871				
Subject title	Health Care Informatics			Subject ID	GH—b3052-L
Instructors	伊藤 南, 鶴田 潤, 赤澤 宏平, 佐々木 吉子, 井出 恵伊子, 甲畑 宏子, 村松 正明[ITO MINAMI, TSURUTA JIYUN, AKAZAWA KOHEI, SASAKI YOSHIKO, IDE EIKO, KOBATA HIROKO, MURAMATSU Masaaki]				
Semester	Spring 2024	Level	1st year	Units	2
Course by the instructor with practical experiences					
Availability in English:All classes are given in Japanese.					
Lecture place					
Building #3, 15F, Lecture Room 2					
Course Purpose and Outline					
Course Purpose:During medical treatment and care in hospitals, it is often necessary to share a common idea among medical staff of various specialization. To make a team of these staff work effectively, each member needs to describe his/her own opinion as well as to accept other’s opinion. This course features various problems, which students may face in future. The purpose of this course is that students from both tracks learn and discuss such problems together, so that they can recognize the similarity and difference in their viewpoints and opinions among them.					
Outline:With a keyword of “Medical Informatics”, lecturers are invited from other universities and hospitals. They are going to give course lectures in wide themes including team approached medicine, life science, hospital management, and new approach in nursing care. Then, all attendees discuss specific themes mentioned in these course lectures.					
Course Objective(s)					
1 . Students with different backgrounds discuss various topics related with medical and health care activities.					
2. All students presents their own opinion and listen to others' opinions.					
3. Students recognize the similarity and difference in their viewpoints and opinions.					
Lecture plan					
No	Date	Time	Room	Lecture theme	Staff
1-2	5/16	16:20-19:30	保健衛生学研究科大学院講義室 2		TSURUTA JIYUN
3-4	5/23	16:20-19:30	保健衛生学研究科大学院講義室 2		ITO MINAMI
5-6	5/27	16:20-19:30	保健衛生学研究科大学院講義室 2		KOBATA HIROKO
7-8	5/30	16:20-19:30	保健衛生学研究科大学院講義室 2		AKAZAWA KOHEI
9-10	6/3	16:20-19:30	保健衛生学研究科大学院講義室 2		MURAMATSU Masaaki
11-12	6/6	16:20-19:30	保健衛生学研究科大学院講義室 2		IDE EIKO
13-14	6/13	16:20-19:30	保健衛生学研究科大学院講義室 2		SASAKI YOSHIKO
15-16	6/20	16:20-19:30	保健衛生学研究科大学院講義室 2		SHIOTANI Youko
Lecture Style					
After course lectures, all attendees discuss specific topics given by the lecturers, including group discussion.					
Course Outline					
Shown in schedule.					
Grading System					
① Participation in the course and discussion (50%).					
② After the course, students select two topics featured in this course and submit short reports (50%).					
Prerequisite Reading					
List your inquiries as for a topic of the course lecture.					
Important Course Requirements					
Students are expected to participate actively in discussion. All students are required to ask questions and/or to present opinion in each lecture.					

Lecture No	031872				
Subject title	Basic Human Pathology for Graduate Students			Subject ID	GH—b3053-L
Instructors	大川 龍之介, 角 勇樹, 赤座 実穂, 柿沼 晴, 副島 友莉恵[OKAWA RYUNOSUKE, SUMI YUKI, AKAZA MIHO, KAKINUMA SEI, SOEJIMA YURIE]				
Semester	Spring 2024	Level	1st year	Units	1
Course by the instructor with practical experiences					
Availability in English: All classes are taught only in English.					
Course Purpose and Outline					
Course Purpose: Educating the avid students the basic aspect of human pathology and its research methods to become global academic researchers in the field of pathology and other areas of medical sciences.					
Outline: Pathology is a study to elucidate the mechanism of the disease. It is a fundamental study of all the medical practices and sciences, covering the basic science to clinical medicine. All lectures and discussions are performed in English. Student enrollment is limited to 10.					
Course Objective(s)					
In this lecture, we will study the common changes that occur in the development of disease (pathogenesis) and nature of the clinical condition so that the clinical and pathological aspects of disease can be systematically understood. Students will learn how to perform pathological researches.					
Lecture plan					
No	Date	Time	Room	Lecture theme	Staff
1	5/9	16:20-17:50	遠隔授業(同期型)	Cardiovascular system	OKAWA RYUNOSUKE
2	5/16	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	Respiratory system	SUMI YUKI
3	5/23	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	Pathophysiology basics	SOEJIMA YURIE
4	5/27	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	Gastrointestinal system	KAKINUMA SEI
5	5/30	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	Infection, cancer, and genetics	SOEJIMA YURIE
6	6/6	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	Neurologic system	AKAZA MIHO
7	6/13	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	Immune system	SOEJIMA YURIE
8	6/20	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	Reproductive system	SOEJIMA YURIE
Lecture Style					
Students will use the following textbook to study and discuss. They are required to participate, present assigned topics by PowerPoint or other presentation applications, and join the discussion in lectures of pathology.					
Grading System					
Grades are judged by the active participation in the class (50%) and presentation of the assignments (50%).					
Prerequisite Reading					
Preliminary study of the representative diseases of each category will be assigned to the students. The schedule of assignment will be given before the first class by email. The students are required to buy the textbook, "Pathophysiology Made Incredibly Easy! 6th ed. (print version)" before the start of the lecture.					
TextBook					
Pathophysiology Made Incredibly Easy! Sixth ed.					
Wolters Kluwer; (English Edition) 6th Edition					
ISBN-10: 1-4963-9824-6					
ISBN-13: 978-1-4963-9824-6					
*Kindle version is also available.					
Important Course Requirements					
Instructed in the lecture					
Note(s) to Students					
Course day and time is subject to change so please check before lessons.					

時間割番号	031874					
科目名	生体検査科学特論 I			科目 ID	GH—b3060—	
担当教員	齋藤 良一, 大川 龍之介, 鈴木 喜晴, 星 治, 副島 友莉恵, 伊藤 南[SAITO RYOICHI, OKAWA RYUNOSUKE, SUZUKI NOBUHARU, HOSHI OSAMU, SOEJIMA YURIE, ITO MINAMI]					
開講時期	2024 年度後期	対象年次	1	単位数	2	
実務経験のある教員による授業						
全て日本語で行う						
主な講義場所						
3 号館 6 階 大学院特別講義室 または 遠隔(同期)						
授業の目的、概要等						
疾患や病態の診断は、医療面接、身体所見、画像所見、臨床検査所見等に基づいて行われる。とりわけ臨床検査の重要性は近年の医療の高度化に伴って増加してきており、IT 化された医療においては欠かすことのできない役割を担っている。本講義は医療現場において現在行われてる臨床検査の基礎となる科学的知見について、遺伝子、分子、細胞、組織、個体の様々なレベルからの理解を深め、さらに将来へ向けての研究課題などを考察する基盤を補強することを目的とする。						
授業の到達目標						
講義のテーマにそって、臨床検査の有用性、問題点、限界、課題などについて考察し説明できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	10/3	08:50-10:20	大学院特別講義室	システム神経生理学入門	伊藤 南	講義のテーマにそって、臨床検査の有用性、問題点、限界、課題などについて考察し説明できる。
2	10/3	10:30-12:00	大学院特別講義室	臨床検査と顕微鏡技術(1)	星 治	講義のテーマにそって、臨床検査の有用性、問題点、限界、課題などについて考察し説明できる。
3	10/8	08:50-10:20	大学院特別講義室	視覚情報処理の神経生理学	伊藤 南	講義のテーマにそって、臨床検査の有用性、問題点、限界、課題などについて考察し説明できる。
4	10/8	10:30-12:00	大学院特別講義室	病理組織細胞学(1)	副島 友莉恵	講義のテーマにそって、臨床検査の有用性、問題点、限界、課題などについて考察し説明できる。
5	10/10	08:50-10:20	大学院特別講義室	臨床化学検査学(1)	大川 龍之介	講義のテーマにそって、臨床検査の有用性、問題点、限界、課題などについて考察し説明できる。
6	10/10	10:30-12:00	大学院特別講義室	臨床検査と顕微鏡技術(2)	星 治	講義のテーマにそって、臨床検査の有用性、問題点、限界、課題などについて考察し説明できる。
7-8	10/15	08:50-12:00	大学院特別講義室	病理組織細胞学(2) 病理組織細胞学(3)	副島 友莉恵	講義のテーマにそって、臨床検査の有用性、問題点、限界、課題などについて考察し説明できる。
9	10/17	08:50-10:20	大学院特別講義室	人工知能による視覚情報処理	伊藤 南	講義のテーマにそって、臨床検査の有用性、問題点、限界、課題などについて考察し説明できる。
10	10/17	10:30-12:00	大学院特別講義室	臨床検査と顕微鏡技術(3)	星 治	講義のテーマにそって、臨床検査の有用性、問題点、限界、課題などについて考察し説明できる。
11-12	10/22	08:50-12:00	大学院特別講義室	臨床化学検査学(2) 臨床化学検査学(3)	大川 龍之介	講義のテーマにそって、臨床検査の有用性、問題点、限界、課題などについて考察し説明できる。
13-14	10/24	08:50-12:00	遠隔授業(同期型)、 大学院特別講義室	遺伝子・染色体検査技術と基礎研究(1) 遺伝子・染色体検査技術と基礎研究(2)	鈴木 喜晴	講義のテーマにそって、臨床検査の有用性、問題点、限界、課題などについて考察し説明できる。
15	10/29	08:50-10:20	大学院特別講義室	遺伝子・染色体検査技術と基礎研究(3)	鈴木 喜晴	講義のテーマにそって、臨床検査の有用性、問題点、限界、課題などについて考察し説明できる。
授業方法						
講義形式。一部で参加型授業を行う。コロナ肺炎等の感染症対策は大学の方針に従う。状況により遠隔講義(同期型)を行う。授業方法の変更等は随時連絡する。						

授業内容 授業スケジュールに記載。
成績評価の方法 講義内容の理解だけでなく、講義内容をテーマとして議論への積極的な参加を期待する。 ① 質疑応答、討論への参加状況を評価する(50%)。 ② 全講義終了後にテーマを 2 つ選んで、レポートを提出する(50%)。レポートごとに、講義を担当した教員を一人選び、①その担当授業の内容の要約、②講義であなたが注目したこと(あるいは疑問に思ったこと)、注目した理由、それに対するあなたの考え(意見、提案)、③講義でもっと聴きたいと思ったこと、を A4 レポート用紙 2 ページにまとめ、指定された期日までに科目責任者に提出する。なお、所属研究室の教員の講義は避けること。担当教員が個々に成績評価をおこなった後、生体検査科学専攻主任が総合的に判定をおこなう。講義中の試験、提出物については各担当教員より指示する。
準備学習等についての具体的な指示 最前線の研究についての講義が十分理解できるよう、背景の理解をしておくことが望ましい。
試験の受験資格 オムニバス形式の講義であるので、原則としてすべての講義に出席することを求める。出席の確認は各講師の指示に従うこと。講義の無断欠席や無断早退が認められた場合には出席の要件を満たさないものとすることがある。特段の理由があると認められる場合には、担当教員より代替法を指示する。全体として 2/3 以上の出席が認められなければ評価しない。
教科書 必要に応じて指示する。
参考書 必要に応じて指示する。
履修上の注意事項 医学系卒業の学生でないと授業内容を十分に理解できない場合があるので、履修登録の際に、シラバスを確認の上、科目責任者へ事前に問い合わせることを推奨します。
連絡先(メールアドレス) 齋藤 良一 r-saito.mi@tmd.ac.jp
オフィスアワー 齋藤 良一 随時(必ず事前に連絡を入れること)

Lecture No	031874					
Subject title	Medical Technology I			Subject ID	GH—b3060—	
Instructors	齋藤 良一, 大川 龍之介, 鈴木 喜晴, 星 治, 副島 友莉恵, 伊藤 南[SAITO RYOICHI, OKAWA RYUNOSUKE, SUZUKI NOBUHARU, HOSHI OSAMU, SOEJIMA YURIE, ITO MINAMI]					
Semester	Fall 2024	Level	1st year	Units	2	
Course by the instructor with practical experiences						
All classes are taught in Japanese.						
Lecture place						
Lecture Room, 6F, Building #3 or Remote.						
Course Purpose and Outline						
Diagnosis of disease is made based on medical interview, physical findings, image findings, clinical laboratory findings, etc. Especially, clinical laboratory tests have been playing a major role in the recent IT-mediated medicine. In this lecture, students are expected to deepen understanding of the basic principle of clinical laboratory tests, at various levels such as genetic, molecular, cellular, tissue, or body.						
Course Objective(s)						
Students are expected to be able to outline the mechanisms, problems, limitations, and research themes about some of the currently used clinical laboratory tests.						
Lecture plan						
No	Date	Time	Room	Lecture theme	Staff	Learning objectives・Learning methods・Instructions
1	10/3	08:50-10:20	大学院特別講義室		ITO MINAMI	
2	10/3	10:30-12:00	大学院特別講義室		HOSHI OSAMU	
3	10/8	08:50-10:20	大学院特別講義室		ITO MINAMI	
4	10/8	10:30-12:00	大学院特別講義室		SOEJIMA YURIE	
5	10/10	08:50-10:20	大学院特別講義室		OKAWA RYUNOSUKE	
6	10/10	10:30-12:00	大学院特別講義室		HOSHI OSAMU	
7-8	10/15	08:50-12:00	大学院特別講義室		SOEJIMA YURIE	
9	10/17	08:50-10:20	大学院特別講義室		ITO MINAMI	
10	10/17	10:30-12:00	大学院特別講義室		HOSHI OSAMU	
11-12	10/22	08:50-12:00	大学院特別講義室		OKAWA RYUNOSUKE	
13-14	10/24	08:50-12:00	遠隔授業(同期型), 大学院特別講義室		SUZUKI NOBUHARU	
15	10/29	08:50-10:20	大学院特別講義室		SUZUKI NOBUHARU	
Lecture Style						
Mainly Lecture.						

Course Outline Shown in schedule.
Grading System ① Participation in the course and discussion (50%). ② After the course, students select two topics featured in this course and submit short reports (50%). Each report must be submitted as follows. Choose a lecturer in this course and make a report of ① a summary of his/her lecture, ③ topics of your interest or questions in the lecture, the reason why you chose the topic, and your opinion on the topic, ③ any other topics which you want to ask for more. Please do not choose your supervisor for this report. Submit each report in 2 pages of A4 paper to Minami Ito (minami.bse@tmd.ac.jp) by an E-mail.
Prerequisite Reading It is desirable to study backgrounds to fully understand the lectures.
Exam eligibility This is an omnibus-style lecture. In principle, students need to attend all lectures. Follow the instructions of each instructor to confirm your attendance. In total, attendance more than 2/3 is necessary to receive a course evaluation.(minami.bse@tmd.ac.jp) by an E-mail.
TextBook Will be presented at each lecture.
Reference Materials Will be presented at each lecture.
Important Course Requirements If you are not a medical graduate, you may not be able to fully understand the content of the course, so it is recommended that you check the syllabus before registering for the course and contact the person in charge of the course in advance.

時間割番号	031875					
科目名	生体検査科学特論Ⅱ			科目ID	GH—b3049—	
担当教員	齋藤 良一, 角 勇樹, 足立 善昭, 原 恵子, 柿沼 晴, 西尾 美和子, 伊藤 南, 赤座 実穂, 田中 ゆきえ, 山口 純司[SAITO RYOICHI, SUMI YUKI, ADACHI Yoshiaki, Keiko Hara, KAKINUMA SEI, NISHIO Miwako, ITO MINAMI, AKAZA MIHO, TANAKA Yukie, YAMAGUCHI Junrji]					
開講時期	2024 年度前期	対象年次	2	単位数	2	
実務経験のある教員による授業						
全て日本語で行う						
主な講義場所						
3 号館 6 階 大学院特別講義室 または 遠隔(非同期)						
授業の目的、概要等						
疾患や病態の診断は、医療面接、身体所見、画像所見、臨床検査所見等に基づいて行われる。とりわけ臨床検査の重要性は近年の医療の高度化に伴って増加してきており、IT 化された医療においては欠かすことのできない役割を担っている。本講義は医療現場において現在行われてる臨床検査の基礎となる科学的知見について、遺伝子、分子、細胞、組織、個体の様々なレベルからの理解を深め、さらに将来へ向けての研究課題などを考察する基盤を補強することを目的とする。						
授業の到達目標						
講義のテーマにそって、臨床検査の有用性、問題点、限界、課題などについて考察し説明できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	5/2	14:40-17:50	大学院特別講義室	血液疾患(1) 血液疾患(2)	西尾 美和子	講義のテーマにそって、臨床検査の有用性、問題点、限界、課題などについて考察し説明できる。
3	5/9	14:40-16:10	大学院特別講義室	神経生理(1)	原 恵子	講義のテーマにそって、臨床検査の有用性、問題点、限界、課題などについて考察し説明できる。
4	5/9	16:20-17:50	大学院特別講義室	神経生理(2)	足立 善昭	講義のテーマにそって、臨床検査の有用性、問題点、限界、課題などについて考察し説明できる。
5	5/10	14:40-16:10	大学院特別講義室	循環器	山口 純司	講義のテーマにそって、臨床検査の有用性、問題点、限界、課題などについて考察し説明できる。
6	5/10	16:20-17:50	大学院特別講義室	肺疾患(1)	角 勇樹	講義のテーマにそって、臨床検査の有用性、問題点、限界、課題などについて考察し説明できる。
7	5/16	14:40-16:10	大学院特別講義室	肺疾患(2)	角 勇樹	講義のテーマにそって、臨床検査の有用性、問題点、限界、課題などについて考察し説明できる。
8	5/17	14:40-16:10	大学院特別講義室	神経生理(3)	赤座 実穂	講義のテーマにそって、臨床検査の有用性、問題点、限界、課題などについて考察し説明できる。
9	5/17	16:20-17:50	大学院特別講義室	消化器疾患(1)	柿沼 晴	講義のテーマにそって、臨床検査の有用性、問題点、限界、課題などについて考察し説明できる。
10	5/23	14:40-16:10	大学院特別講義室	消化器疾患(2)	松沢 優	講義のテーマにそって、臨床検査の有用性、問題点、限界、課題などについて考察し説明できる。
11	5/30	14:40-16:10	大学院特別講義室	消化器疾患(3)	松沢 優	講義のテーマにそって、臨床検査の有用性、問題点、限界、課題などについて考察し説明できる。
12	5/31	16:20-17:50	大学院特別講義室	病原体(1)	齋藤 良一	講義のテーマにそって、臨床検査の有用性、問題点、限界、課題などについて考察し説明できる。
13	6/7	16:20-17:50	大学院特別講義室	病原体(2)	齋藤 良一	講義のテーマにそって、臨床検査の有用性、問題点、限界、課題などについて考察し説明できる。
14	6/13	14:40-16:10	大学院特別講義室	神経生理(4)	赤座 実穂	講義のテーマにそって、臨床検査の有用性、問題点、限界、課題などについて考察し説明できる。
15	6/14	16:20-17:50	大学院特別講義室	免疫関連疾患	田中 ゆきえ	講義のテーマにそって、臨床検査の有用性、問題点、限界、課題などについて考察し説明できる。

授業方法
3号館6階 大学院特別講義室 または 遠隔講義
授業内容
授業スケジュールに記載。
成績評価の方法
講義内容の理解だけでなく、講義内容をテーマとして議論への積極的な参加を期待する。
① 質疑応答、討論への参加状況を評価する(50%)。
② 全講義終了後にテーマを 2 つ選んで、レポートを提出する(50%)。レポートごとに、講義を担当した教員を一人選び、①その担当授業の内容の要約、②講義であなたが注目したこと(あるいは疑問に思ったこと)、注目した理由、それに対するあなたの考え(意見、提案)、③講義でもっと聴きたいと思ったこと、を A4 レポート用紙 2 ページにまとめ、指定された期日までに科目責任者に提出する。なお、所属研究室の教員の講義は避けること。担当教員が個々に成績評価をおこなった後、生体検査科学専攻主任が総合的に判定をおこなう。講義中の試験、提出物については各担当教員より指示する。
準備学習等についての具体的な指示
下の参考書などに目を通して新しい知識を身につけ、議論に参加できるようにしておくことが望ましい。
試験の受験資格
オムニバス形式の講義であるので、原則としてすべての講義に出席することを求める。出席の確認は各講師の指示に従うこと。講義の無断欠席や無断早退が認められた場合には出席の要件を満たさないものとする可能性がある。特段の理由があると認められる場合には、担当教員より代替法を指示する。全体として 2/3 以上の出席が認められなければ評価しない。
教科書
必要に応じて指示する。
参考書
Medical Technology, 医歯薬出版
臨床検査, 医学書院
臨床検査法提要, 金原出版
履修上の注意事項
医学系卒業の学生でないと授業内容を十分に理解できない場合があるので、履修登録の際に、シラバスを確認の上、科目責任者へ事前に問い合わせることを推奨します。
連絡先(メールアドレス)
齋藤 良一 r-saito.mi@tmd.ac.jp
オフィスアワー
齋藤 良一 随時(必ず事前に連絡を入れること)

Lecture No	031875					
Subject title	Medical Technology II			Subject ID	GH—b3049—	
Instructors	齋藤 良一, 角 勇樹, 足立 善昭, 原 恵子, 柿沼 晴, 西尾 美和子, 伊藤 南, 赤座 実穂, 田中 ゆきえ, 山口 純司[SAITO RYOICHI, SUMI YUKI, ADACHI Yoshiaki, Keiko Hara, KAKINUMA SEI, NISHIO Miwako, ITO MINAMI, AKAZA MIHO, TANAKA Yukie, YAMAGUCHI Junnji]					
Semester	Spring 2024	Level	2nd year	Units	2	
Course by the instructor with practical experiences						
All classes are taught in Japanese.						
Lecture place						
Lecture Room, 6F, Building 3 or Remote.						
Course Purpose and Outline						
Diagnosis of disease is made based on medical interview, physical findings, image findings, clinical laboratory findings, etc. Especially, clinical laboratory tests have been playing a major role in the recent IT-mediated medicine. In this lecture, students are expected to deepen understanding of the basic principle of clinical laboratory tests, at various levels such as genetic, molecular, cellular, tissue, or body.						
Course Objective(s)						
Students are expected to be able to outline the mechanisms, problems, limitations, and research themes about some of the currently used clinical laboratory tests.						
Lecture plan						
No	Date	Time	Room	Lecture theme	Staff	Learning objectives*Learning methods* Instructions
1-2	5/2	14:40-17:50	大学院特別講義室		NISHIO Miwako	
3	5/9	14:40-16:10	大学院特別講義室		HARA KEIKO	
4	5/9	16:20-17:50	大学院特別講義室		ADACHI Yoshiaki	
5	5/10	14:40-16:10	大学院特別講義室		YAMAGUCHI Junnji	
6	5/10	16:20-17:50	大学院特別講義室		SUMI YUKI	
7	5/16	14:40-16:10	大学院特別講義室		SUMI YUKI	
8	5/17	14:40-16:10	大学院特別講義室		AKAZA MIHO	
9	5/17	16:20-17:50	大学院特別講義室		KAKINUMA SEI	
10	5/23	14:40-16:10	大学院特別講義室		MATSUZAWA Yuu	
11	5/30	14:40-16:10	大学院特別講義室		MATSUZAWA Yuu	
12	5/31	16:20-17:50	大学院特別講義室		SAITO RYOICHI	
13	6/7	16:20-17:50	大学院特別講義室		SAITO RYOICHI	
14	6/13	14:40-16:10	大学院特別講義室		AKAZA MIHO	
15	6/14	16:20-17:50	大学院特別講義室		TANAKA Yukie	
Lecture Style						
Mainly by face-to-face lectures, following the anti-infectious diseases guidelines of TMDU. The content and method of the lecture will be changed depending on the situation. In that case, follow announcements in advance.						
Course Outline						
Shown in schedule.						
Grading System						
① Participation in the course and discussion (50%).						
② After the course, students select two topics featured in this course and submit short reports (50%). Each report must be submitted as follows. Choose a lecturer in this course and make a report of ①a summary of his/her lecture, ③topics of your interest or questions in the lecture, the reason why you chose the topic, and your opinion on the topic, ③ any other topics which you want to ask for more. Please do not choose your supervisor for this report. Submit each report in 2 pages of A4 paper to Minami Ito (minami.bse@tmd.ac.jp) by an E-mail.						

Prerequisite Reading

It is desirable to study backgrounds to fully understand the lectures.

Exam eligibility

This is an omnibus-style lecture. In principle, students need to attend all lectures. Follow the instructions of each instructor to confirm your attendance. In total, attendance more than 2/3 is necessary to receive a course evaluation.(minami.bse@tmd.ac.jp) via an E-mail.

TextBook

Will be presented at each lecture.

Important Course Requirements

If you are not a medical graduate, you may not be able to fully understand the content of the course, so it is recommended that you check the syllabus before registering for the course and contact the person in charge of the course in advance.

時間割番号	031876					
科目名	生体検査科学セミナーⅠ			科目ID	GH-b3051-	
担当教員	鈴木 喜晴, 伊藤 南[SUZUKI NOBUHARU, ITO MINAMI]					
開講時期	2024 年度2年通年	対象年次	1～2	単位数	1	
実務経験のある教員による授業						
オフィスアワー:セミナー全般に関する問い合わせは伊藤まで(内線 5366, E-mail:minami.bse@tmd.ac.jp) 発表は修士課程 1 年生以外はすべて英語で行う。抄録は日本語と英語で作成する(留学生は英語でよい)。質疑応答は日本語、英語のいずれかで行う。						
主な講義場所 3号館18階 保健衛生学科講義室1 または 遠隔						
授業の目的、概要等 授業目的: ①自分の研究の進捗状況をまとめ、今後の研究の進め方について考察する機会とする。 ②自分の研究の目的、方法の妥当性、結果の解釈などを平易かつに明快に説明する能力を養う。 ③異なる分野の研究発表に積極的に参画して、科学的・論理的な思考方法を身につける。 概要:生体検査科学系大学院生を対象として、全学年が一堂に会して分野横断的な発表と討論を行うものである。毎年、学生が研究の進捗状況について発表し、学生、教員による質疑応答を行う。生体検査科学系の学生は、本セミナーの受講は必修である。生体検査科学セミナーⅡと合同で実施する。						
授業の到達目標 ①自分の研究の進捗状況をまとめ、今後の研究の指針をたてる。 ②自分の研究の目的、方法の妥当性、結果の説明、考察などを分かりやすく明快に説明できる。 ③異なる分野の研究発表を理解し、質疑に積極的に参加する。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	到達目標・学習方法・その他
1	6/26	13:00-19:00	保健衛生学科 講義室1	修士課程2年生	発表 7 分、質疑 4 分	プログラムは随時周知する。
2	9/25	13:00-17:00	保健衛生学科 講義室1	教員	発表 20 分、質疑 5 分	プログラムは随時周知する。
3	10/23	13:00-19:00	保健衛生学科 講義室1	修士課程1年生	発表 6 分、質疑 4 分	プログラムは随時周知する。
4	12/21	09:00-17:00	保健衛生学科 講義室1	博士課程	(最終学年)発表 15 分、質疑 7 分 (その他)発表 10 分、質疑 7 分	プログラムは随時周知する。
授業方法 学会と同様の形式で発表を行う。発表者は指示に従って、事前に抄録を提出する。発表者は座長の指示に従って、パワーポイント等の発表用ソフトウェアを用いて、指定時間内に発表する。参加者全員で発表について質疑応答を行い、発表ごとにコメントを作成して提出する。コメントは発表者および指導教員にフィードバックする。						
授業内容 回数/日時/発表者/備考 第1回/6月26日(水)13:00～17:00/修士課程2年生/発表7分、質疑4分 第2回/9月25日(水)13:00～17:00/教員/発表20分、質疑5分 第3回/10月23日(水)13:00～17:00/修士課程1年生/発表6分、質疑4分 第4回/12月21日(土)9:00～17:00/博士課程/(最終学年)発表15分、質疑7分(その他)発表10分、質疑7分 変更あれば随時周知する。						
成績評価の方法 ①セミナーの発表や準備などの取り組み状況を評価する(50%)。 ②セミナーでの質疑応答や参加状況を評価する(50%)。						

準備学習等についての具体的な指示 発表者は指導教員とよく相談して、事前の準備に時間をかけること。抄録には①研究の背景、②研究の目的、③研究の方法、④研究結果（進捗状況）、⑤考察と今後の研究の進め方について、順次簡潔に記載する。他の分野の学生にも分かるように、平易かつ簡潔な発表をこころがける。時間内に発表できるように、よく練習してから発表に望む。その他の参加者は、事前に抄録に目を通し、疑問点や想定質問を考えておく。質疑応答への積極的な参加を期待する。座長が質問者を指定することもある。
参考書 なし。
履修上の注意事項 ① 在籍期間を通じて必修科目とし、年4回のセミナー参加を義務付ける。最終年次に単位を認定する。社会人学生や長期履修者も同様とする。 ② 在籍期間を通じて発表および質疑応答の内容により評価する。セミナーの欠席、遅刻、早退、部分的な出席は指導、評価の対象とする。 ③ 学会発表や就職試験など予定を変更ができないもの、病気休業、外部研修、海外留学などで指導教員が必要と認める場合には欠席を認める。その場合は、指導教員の了解を得て、指導教員を通じて事前に届け出ること。 ④ 毎年一回、自分の研究についての発表することを必須とする。指導教員と相談の上、抄録を事前に提出して、発表を準備する。発表予定のセミナーを欠席する場合は、次のセミナーに発表を延期するか、オンラインでの発表、事前に収録したビデオ発表ないしレポートの提出により代替する。 ⑤ 質疑応答への積極的な参加を期待する。座長が質問者を指定することもある。 ⑥ 予定、実施方法の詳細ならびに変更については、セミナー担当教員より随時、メールで連絡する。
備考 状況により、Zoom による同期型遠隔講義にて実施する。具体的なスケジュールは追って連絡する。
連絡先(メールアドレス) 鈴木 喜晴 nsuzbb@tmd.ac.jp
オフィスアワー 鈴木 喜晴 オフィスアワーは特に定めない 3号館 16階

Lecture No	031876					
Subject title	Biomedical Laboratory Sciences Seminar I			Subject ID	GH—b3051—	
Instructors	鈴木 喜晴, 伊藤 南[SUZUKI NOBUHARU, ITO MINAMI]					
Semester	YearLong 2024	Level	1st – 2nd year	Units	1	
Course by the instructor with practical experiences						
Person to contact: Minami Ito Prof. (Building #3, 16th floor, e-mail:minami.bse@tmd.ac.jp)						
Presentation is given in English except for students of Master's program 1st grade. An abstract is submitted in both Japanese and English.						
Discussion is given in either Japanese or English.						
Lecture place						
Building #3, 18F, Lecture Room 1 or Remote						
Course Purpose and Outline						
purpose:To achieve better results in scientific researches, it is important to keep asking their own progress and revising their researches. To do this, researchers need to give a clear explanation of the research, to demand opinions and criticisms from others, and to make results known widely. This seminar provides each student with an opportunity to consider his/her own research and to develop skills of presentation in an understandable fashion. On the other hand, it provides an faculty member with an opportunity to see researches and give some necessary advice widely among the Biological Laboratory Sciences Track.						
Outline: This is a joint seminar of the Biological Laboratory Sciences Track and is held with the Biomedical Laboratory Sciences Seminar II. All students and faculty members are required to attend the seminar, expecting supervision across the track and achieving higher research activities in the track. All students for the master's degree of the health care sciences present a progress report of his/her own research once every year, in a form of meeting sessions. All attendees join discussion and submit comments and evaluations.						
Course Objective(s)						
(1) A student is able to consider the progress of his/her own research and to revise his/her research plan.						
(2) A student is able to explain the purpose, validity of methods and current results, and following arguments in an understandable fashion.						
(3) A student is able to give a successful explanation/presentation. To do this, a student learns the way to make a clear and concise presentation, by making posters/handouts in a well organized format and by using various presentation devices effectively.						
(4) A student is able to give an understandable aural explanation/presentation in English.						
(5) A student is able to understand various presentations from different research fields, and to join the discussion actively.						
(6) A students is able to improve his/her own research by using comments and criticisms from other participants.						
Lecture plan						
No	Date	Time	Room	Lecture theme	Lecture content	Learning objectives•Learning methods• Instructions
1	6/26	13:00–19:00	保健衛生学科 講義室 1	Master's Program, 2nd Grade	7 and 4minutes	A schedule will be announced.
2	9/25	13:00–17:00	保健衛生学科 講義室 1	Faculty members	20 and 5 minutes	A schedule will be announced.
3	10/23	13:00–19:00	保健衛生学科 講義室 1	Master's Program	6 and 4 minutes	A schedule will be announced.
4	12/21	09:00–17:00	保健衛生学科 講義室 1	Doctoral Program	15 and 7minutes for final-year students 10 and 7 minutes for others	A schedule will be announced.
Lecture Style						
The seminar is run by teaching staff, following the format of a scientific meeting. Students present progress reports of their own researches once every year. Each speaker submits an abstract beforehand, and used a presentation software. All attendees are required to join discussion and to make comments and evaluations via the Web page of the seminar, which are sent back to each speaker and his/her supervisor anonymously.						
Course Outline						

Date/Speaker/Time for presentation and discussion #1 6/26(W) 13:00~17:00 Master's program 2nd grade, 7min & 4min #2 9/25(W) 13:00~17:00 Faculty members, 20min and 5 min #3 10/23(W) 13:00~17:00 Master's program 1st grade, 6min and 4min #4 12/21(Sa) 9:00~17:00 Doctor's program, 15min and 5min for final-year students and 10min and 5min for others Any changes will be communicated as soon as possible.
Grading System (1) Performance of presentation (50%). (2) Participation in the seminar as an active attendant (50%). (3) A course credit of the seminar is approved in the last school year, by considering student's performance in all seminars in all school years.
Prerequisite Reading (1) Take sufficient time for making your slides and practicing your talk in English. Your supervisor support you in preparing the presentation. (2) Your abstract needs to describe background, purpose, methods, results (or current status), interpretation and a future plan of your current study. (3) Make your presentation clear and concise, so that student of other fields are able to understand your talk. (4) Practice your presentation to make it effective and to finish within a given time. (5) Read abstracts and make your list of inquires before the seminar. Chairperson may appoint questioners during the discussion period. (6) Details of the schedule and instructions are sent via e-mail messages.
Important Course Requirements (1) This is a required subject. Students need to attend all four seminars in a school year. This rule is also applied to students of the programs for working-students and those of the long-term programs. (2) Participation in the seminar is estimated by your attendance and active discussion during all of your school years as well as your presentation. (3) When you are going to be late or absent or leave early, ask your supervisor for a permission and for reporting to the committee of the seminar before the seminar. (4) Every student needs to give a presentation on his/her own research project once a year. If you are not available on your schedule, you may postpone your presentation to the next seminar, or you may submit online presentation, video presentation or substitute reports. (5) Students are recommended to join the discussion actively as an equal researcher. Sometimes, a chairperson may appoint questioners. (6) Further announcements are sent via e mail messages from the committee of the seminar.
Note(s) to Students In a case, this seminar could be done by the Zoom meeting. Details will be announced.
Email SUZUKI NOBUHARU:nsuzbb@tmd.ac.jp
Instructor's Contact Information SUZUKI NOBUHARU:There is no specific time for office hours.; Bldg. 3/16F

時間割番号	031877				
科目名	臨床実践特別演習入門			科目ID	GH—b3054—
担当教員	大川 龍之介, 副島 友莉恵, 東田 修二, 梶原 道子, 藤代 瞳[OKAWA RYUNOSUKE, SOEJIMA YURIE, TODA SHUJI, KAJIWARA MICHIKO, FUJISHIRO Hitomi]				
開講時期	2024 年度前期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					
英語による授業: 日本語で行う。					
主な講義場所					
病院検査部, 輸血・細胞治療センター, 病理部:3 号館 16 階 生体検査科学研修室および Zoom					
授業の目的、概要等					
医歯学総合研究科と病院が連携して医療人育成の卒後教育に取り組むために、臨床検査技師の資格をもつ大学院学生を対象としたインターンシップであるヘルスケアアシスタント(HCA)制度を設け、非常勤職員として実際に業務に就きながら研修する制度を設けている。本演習は HCA 新規採用申請者のうち、検査部または輸血・細胞治療センター、病理部(細胞診)での業務を希望する学生を対象として、検査部、輸血・細胞治療センターは業務に就く前に4月から5月にかけて、病理部(細胞診)は業務と並行して前期に、必要な知識と技術を身につけるために実施する演習である。					
授業の到達目標					
1) 病院検査部または輸血・細胞治療センターの業務内容の概略を理解する。 2) 検査の技能、結果報告、患者対応、トラブルへの対処法の基本を修得する。 3) 検査部または輸血・細胞治療センターの業務の一部を適切に実行できる。 4) 病理部での細胞診業務に必要な知識を、細胞検査士資格認定試験問題(筆記, 画像)を解き修得する。					
授業方法					
・検査部または輸血・細胞治療センターにおいて、講義と演習を行う。 ・病理部(細胞診)の授業は対面または Zoom で、学生が問題を解説するアクティブラーニング形式で行う。					
授業内容					
【検査部の場合】					
回数	授業内容	担当教員			
第1回	検査部業務と ISO15189 の概論	東田修二, 市村直也			
第2回	中央採血室の業務	甲田祐樹			
第3回	生理機能検査の業務	青柳栄子			
第4回	採血手技: 患者と採血者にとって安全な採血	甲田祐樹			
第5回	採血の準備と採取検体の取り扱い	甲田祐樹			
第6回	心電図の検査法	青柳栄子			
第7回	心電図の解釈	青柳栄子			
第8回	力量評価	甲田祐樹, 青柳栄子			
※ 力量評価に合格しなかった場合、その業務に従事することはできない。					
【輸血・細胞治療センターの場合】					
回数	授業内容	担当教員			
第1回	センターの業務と ISO15189 の概論	梶原道子, 大友直樹			
第2回	輸血療法概論	梶原道子, 大友直樹			
第3回	血液製剤管理業務	大友直樹			
第4回	検体受付業務	大友直樹			
第5回	検査業務①(血液型検査, 不規則抗体検査)	大友直樹			
第6回	検査業務②(交差適合試験)	大友直樹			
第7回	検査結果の解釈(製剤の選択を含む)	大友直樹			
第8回	力量評価	梶原道子, 大友直樹			

【病理部(細胞診)の場合】		
回数	授業内容	担当教員
第1回	婦人科1	副島友莉恵
第2回	婦人科2	副島友莉恵
第3回	呼吸器	副島友莉恵
第4回	消化器	副島友莉恵
第5回	体腔液・尿	副島友莉恵
第6回	技術	副島友莉恵
第7回	総論	副島友莉恵
第8回	確認テスト	副島友莉恵
成績評価の方法		
・ISO15189 に定められている基本的な知識と技能を修得したか、実技試験で確認する。 ・病理部(細胞診)は確認テストおよび参加態度で評価する。		
準備学習等についての具体的な指示		
・採血、心電図、血液型検査などに関する学部教育の基礎知識を復習しておくこと。 ・病理部(細胞診)では必ず問題を予習して参加すること。またアトラスを用いた自主学習も行うこと。		
参考書		
1) 臨床検査法提要 (金原出版) 2) 免疫検査学(医歯薬出版)の輸血検査学の部分 3) JAMT 技術教本シリーズ 輸血・移植検査技術教本(日本臨床衛生検査技師会) 4) 生理機能検査学(医歯薬出版) 5) JAMT 技術教本シリーズ 循環機能検査技術教本(日本臨床衛生検査技師会) 6) 細胞診を学ぶ人のために(医学書院) 7) 細胞診セルフアセスメント(医学書院)		
履修上の注意事項		
・病院内では医療スタッフとしてのマナーを遵守すること。 ・本演習は、合格後に HCA として勤務することを希望する学生のみを対象とする。 ・病理部での細胞診業務は、細胞検査士資格認定試験受験を目指す学生を対象とし、業務と本演習を並行して行う。		
備考		
・臨床検査技師免許および HCA 採用申請手続き(書式は本学 HP からダウンロードできる、毎年度更新)が必要。 ・病理部で細胞診以外の業務を希望する場合は本演習の履修は不要。		
連絡先(メールアドレス)		
大川 龍之介:ohkawa.alc@tmd.ac.jp		
オフィスアワー		
大川 龍之介:特定の日時を確保できないためメールでアポイントメントを取ってください。		

Lecture No	031877				
Subject title	Introductory Exercises for Medical Technologist Internship		Subject ID	GH—b3054—	
Instructors	大川 龍之介, 副島 友莉恵, 東田 修二, 梶原 道子, 藤代 瞳[OKAWA RYUNOSUKE, SOEJIMA YURIE, TODA SHUJI, KAJIWARA MICHIKO, FUJISHIRO Hitomi]				
Semester	Spring 2024	Level	1st year	Units	1
Course by the instructor with practical experiences					
Availability in English: All classes are taught in Japanese.					
Lecture place					
TMDU Hospital, Pathology: Building 3, 16th floor or Zoom					
Course Purpose and Outline					
Our graduate school, in cooperation with TMDU Hospital, provides Health Care Assistant (HCA) system for students who have a licence of clinical technologist to cultivate medical specialists. This Introductory Exercises are necessary to work as a HCA in Clinical Laboratory or Center for Transfusion Medicine and Cell Therapy, or Pathology (Cytology).					
Course Objective(s)					
By the end, each student will:					
1) Understand the outline of works operated in Clinical Laboratory or Center for Transfusion Medicine and Cell Therapy in TMDU Medical Hospital.					
2) Learn specific skills of some clinical tests, how to report the results, how to make contact with patients, and trouble shooting.					
3) Carry out some of the works in Clinical Laboratory or Center for Transfusion Medicine and Cell Therapy.					
4) Acquire the knowledge for cytology by solving the cytotechnologist qualification examination.					
Lecture Style					
Lecture and practice.					
Course Outline					
【Clinical Laboraotry】					
1. operations in Clinical Laboratory, overview of ISO15189 (Tohda, Ichimura)					
2. operations in the blood sampling room (Koda)					
3. operations in the physiological testing room (Aoyagi)					
4. safety blood sampling methods for patients and technologists (Koda)					
5. preparation for blood sampling, handling the collected samples (Koda)					
6. recording electrocardiogram (ECG) (Aoyagi)					
7. reading ECG (Aoyagi)					
8. estimation of the skills (Koda, Aoyagi)					
【Center for Transfusion Medicine and Cell Therapy】					
1. operations in the Center for Transfusion Medicine and Cell Therapy, overview of ISO 15189 (Kajiwara, Ohtomo)					
2. Overview of Transfusion Medicine (Kajiwara, Ohtomo)					
3. management of blood products (Ohtomo)					
4. reception of blood samples (Ohtomo)					
5. blood testing (blood group, irregular antibodies) (Ohtomo)					
6. blood testing (cross-match) (Ohtomo)					
7. interpretation of the test results (selection of blood products) (Ohtomo)					
8. estimation of the skills (Kajiwara, Ohtomo)					
【Pathology (Cytology)】					
1. Gynecology 1 (Soejima)					
2. Gynecology 2 (Soejima)					

3. Respiratory (Soejima) 4. Digestive system (Soejima) 5. Body fluid, urine (Soejima) 6. Techniques (Soejima) 7. General remarks (Soejima) 8. Test (Soejima)
Grading System Knowledge and skill will be assessed at the last lecture.
Prerequisite Reading It is desirable to review basic knowledge about collecting blood, taking electrocardiogram and testing blood type. In the pathology (cytology) section, students must prepare for the questions and study by themselves using an atlas.
Reference Materials Please refer to the Japanese syllabus.
Important Course Requirements During your lesson in the hospital, take care of your manners as a medical staff.

時間割番号	031878				
科目名	臨床実践特別演習 I			科目 ID	GH—b3067—
担当教員	大川 龍之介, 副島 友莉恵, 東田 修二, 梶原 道子, 藤代 瞳, 市村 直也[OKAWA RYUNOSUKE, SOEJIMA YURIE, TODA SHUJI, KAJIWARA MICHIKO, FUJISHIRO Hitomi, ICHIMURA Naoya]				
開講時期	2024 年度通年	対象年次	1	単位数	2
実務経験のある教員による授業					
英語による授業: 日本語で行う。					
主な講義場所 病院検査部, 病理部, 輸血・細胞治療センター					
授業の目的、概要等 医歯学総合研究科と病院が連携して医療人育成の卒後教育に取り組むために、臨床検査技師の資格をもつ大学院学生を対象としたインターンシップであるヘルスケアアシスタント(HCA)制度を設け、非常勤職員として実際に業務に就きながら研修する制度を設けている。本演習はこの制度を利用した修士1年生を対象とするインターンシップで、本学附属病院の非常勤職員として毎週4時間程度、検査部, 病理部, または輸血・細胞治療センターに勤務しながら(有報酬)、臨床検査技師に必要な基本的技能、職場で求められる態度、職業的倫理観などを身につけるとともに、教員との disucussion を通して現在の臨床検査の問題点や研究課題を見出すことを目的としている。					
授業の到達目標 1) 病院検査部, 病理部, または輸血・細胞治療センターの業務内容を理解する。 2) 検査の技能, 結果報告, 患者対応, トラブルへの対処を修得する。 3) 検査部, 病理部, または輸血・細胞治療センターの業務の一部を適切に実行できる。 4) 現状の臨床検査の問題点や, 将来へ向けての研究課題などを考察し, 教員と話し合う。					
授業方法 HCA として毎週4時間程度, 検査部, 病理部, または輸血・細胞治療センターに勤務し, 体験したこと, 考えたことなどを教員と話し合う。					
授業内容 スケジュールは参加者の都合も聞いたうえで別途作成する。 (以下, 詳細) 【輸血・細胞治療センター】 各種血液細胞製剤及び再生医療等製品の取扱いや加工・調製について、臨床検査技師がどのように関わりを持っているのかを学び, 担当教員の指導の下作業手順に沿って実践する。 1. 輸血用血液製剤 1) 新生児・小児症例に対する製剤分割処理 2) 重篤なアレルギー性輸血副反応症例に対する血小板洗浄術 3) 同種クリオプレシビート作成術 4) 自己生体組織接着剤作成術 5) 自己血の血漿分離及び赤血球液の調製 2. 造血幹細胞 1) 血液型ミスマッチドナーの骨髓細胞処理 2) 末梢血幹細胞採取 3) 細胞凍結処理(CPC 調整室内無菌操作) 3. 再生医療等製品 1) テムセル(間葉系幹細胞) 1) 凍結保存されている製品の解凍 2) 生理食塩液による細胞濃度調整及び投与量分取(無菌操作) 2) PRP(多血小板血漿)					

(1) 自己血由来 PRP から抗炎症性サイトカインと成長因子を濃縮した APS (Autologous Protein Solution) の抽出操作(無菌操作) 3) ハートシート(骨格筋由来細胞シート) (1) 血清分離操作(無菌操作) (2) 手術室での血液採取補助 4) キムリア (CAR-T 細胞療法) (1) プログラムフリーザーの操作 【病理部】 病理部では以下の業務に従事できる。 1. 病理標本作製補助 2. 免疫組織化学染色 3. 細胞診検査 ※HCA で細胞診検査実務に1年以上従事することにより、細胞検査士資格認定試験受験を目指すことができる。 細胞診業務は原則受験を目指す学生を対象とする。その他の病理部業務も受入れの人数制限があるため、病理部希望者は事前に形態情報解析学分野 副島 (soejima.mp@tmd.ac.jp) まで連絡すること。 【検査部】 検査部では以下の業務に従事する。 1. 中央採血室での採血業務 ※ 手背採血という高度な技術が必要な部位からの採血は、交代率 3%未満を達成した者から順次トレーニングし実施できる。 2. 生理検査室での心電図業務
成績評価の方法 勤務状況および科目責任者との面接による。
準備学習等についての具体的な指示 検査部、輸血・細胞治療センター、病理部(細胞診)の場合は、あらかじめ臨床実践特別演習入門を受講して試験に合格していることが必要。
参考書 1) Medical Technology (医歯薬出版) 臨床検査技術の詳しい解説、話題、情報提供などを掲載した月刊誌。 2) 臨床検査 (医学書院) 臨床検査技術の詳しい解説、話題、情報提供などを掲載した月刊誌。 3) 臨床検査法提要 (金原出版) 臨床検査法全般に関するバイブル。 4) 免疫検査学(医歯薬出版) の輸血検査学の部分。 5) 生理機能検査学(医歯薬出版) 6) JAMT 技術教本シリーズ 循環機能検査技術教本(日本臨床衛生検査技師会) 7) JAMT 技術教本シリーズ 輸血・移植検査技術教本
履修上の注意事項 病院内では臨床検査技師として責任を持って勤務する。
備考 臨床検査技師免許およびHCA採用申請手続き(書式は本学HPからダウンロードできる、毎年度更新)が必要。労働基準法、最低賃金法、労災保険法が適用される。
連絡先(メールアドレス) 大川 龍之介:ohkawa.alc@tmd.ac.jp
オフィスアワー 大川 龍之介 特定の日時を確保できないためメールでアポイントメントを取ってください。

Lecture No	031878				
Subject title	Medical Technologist Internship I		Subject ID	GH—b3067—	
Instructors	大川 龍之介, 副島 友莉恵, 東田 修二, 梶原 道子, 藤代 瞳, 市村 直也[OKAWA RYUNOSUKE, SOEJIMA YURIE, TODA SHUJI, KAJIWARA MICHIKO, FUJISHIRO Hitomi, ICHIMURA Naoya]				
Semester	YearLong 2024	Level	1st year	Units	2
Course by the instructor with practical experiences					
Availability in English: All classes are taught in Japanese.					
Lecture place TMDU Hospital					
Course Purpose and Outline Course Purpose and Outline: Our graduate school, in cooperation with TMDU Hospital, provides Health Care Assistant (HCA) system for students who have a licence of clinical technologist to cultivate medical specialists. Students are expected to work in the hospital as HCA, register for this internship program, and discuss problems in the current clinical laboratory with professor to find research themes based on the field.					
Course Objective(s) By the end, each student will: 1) Understand the outline of works operated in Clinical Laboratory, Center for Transfusion Medicine and Cell Therapy, or Pathology in TMDU Hospital. 2) Learn specific skills of some clinical tests, how to report the results, how to make contact with patients, and trouble shooting. 3) Carry out some of the works in Clinical Laboratory, Center for Transfusion Medicine and Cell Therapy, or Pathology.					
Lecture Style Lecture and practice.					
Course Outline Schedule will be set after meeting with the participants. 【Center for Transfusion Medicine and Cell Therapy】 This course is designed for students to practice handling of blood cell products and regenerative medicine products in accordance with the operating procedures under the guidance of the instructor. 1. Blood products for transfusion 1) Dividing the blood product into smaller quantities for use in neonatal and pediatric patient. 2) Operation to remove plasma from concentrated platelet products for patients with severe allergic post-transfusion reactions. 3) Preparation of cryoprecipitate (autologous/allogeneic). 4) Preparation of tissue adhesives from autologous plasma. 5) Preparation of plasma and red blood cell products from autologous whole blood. 2. Hematopoietic stem cells 1) Bone marrow cell processing of ABO blood group mismatch donors. 2) Peripheral blood stem cell collection/harvest. 3) Processing of cells for cryopreservation (aseptic operation of in cell processing unit). 3. Regenerative medicine products 1) Human (allogeneic) bone marrow-derived mesenchymal stem cells; TEMCELL* (1) Thawing of cryopreserved products. (2) Preparation of cell concentration and adjustment of dosage.					

2) Platelet-rich plasma (PRP) Manipulation of the extraction of autologous protein solution (APS), enriched with anti-inflammatory cytokines, growth factors, etc. contained in autologous PRP. 3) Myoblast cell sheet of autologous skeletal muscle; Heart Sheet* (1) Assisting blood collection in the surgical operating room. (2) Serum separation from patient blood (aseptic operation). 4) Chimeric antigen receptor (CAR) T cell therapy; Kymriah* Operation of a rate-controlled freezer. * Trademark 【Pathology】 The pathology department can engage in the following jobs: 1) Assistance in making pathological specimens 2) Immunohistochemistry 3) Cytology * By engaging in cytological examination at HCA for one year or more, students can take the cytotechnologist certification examination. Since there is an acceptable limit number of students, applicants should contact Dr. Soejima (soejima.mp@tmd.ac.jp) in advance. 【Clinical Laboratory】 The department of Clinical Laboratory can engage in the following jobs: 1) Blood sampling in the central blood sampling room * Blood sampling from the back of the hand can only be performed by those with less than 3% ratio of changes. 2) Electrocardiogram in the physiological testing room
Grading System working attitude and interview.
Prerequisite Reading Course Code 31-3054 is required for Clinical Laboratory, Center for Transfusion Medicine and Cell Therapy, and Pathology (Cytology).
Reference Materials Please refer to the Japanese syllabus.
Important Course Requirements During your work in the hospital, take care of your manners as a medical staff.

時間割番号	031879				
科目名	臨床実践特別演習Ⅱ			科目ID	GH—b3068—
担当教員	大川 龍之介, 副島 友莉恵, 東田 修二, 梶原 道子, 藤代 瞳, 市村 直也[OKAWA RYUNOSUKE, SOEJIMA YURIE, TODA SHUJI, KAJIWARA MICHIKO, FUJISHIRO Hitomi, ICHIMURA Naoya]				
開講時期	2024 年度通年	対象年次	2	単位数	2
実務経験のある教員による授業					
英語による授業:日本語で行う。					
主な講義場所 病院検査部, 病理部, 輸血・細胞治療センター					
授業の目的、概要等 医歯学総合研究科と病院が連携して医療人育成の卒後教育に取り組むために、臨床検査技師の資格をもつ大学院学生を対象としたインターンシップであるヘルスケアアシスタント(HCA)制度を設け、非常勤職員として実際に業務に就きながら研修する制度を設けている。本演習はこの制度を利用した修士2年生を対象とするインターンシップで、本学附属病院の非常勤職員として毎週4時間程度、検査部、病理部、または輸血・細胞治療センターに勤務しながら(有報酬)、臨床検査技師に必要な基本的技能、職場で求められる態度、職業的倫理観などを身につけるとともに、教員との disucussion を通して現在の臨床検査の問題点や研究課題を見出すことを目的としている。1年次の同演習①から継続して履修する者が多いと思うが、2 年目には異なる部署に(例えば検査部から輸血・細胞治療センターへ)移動してみることも勉強になると思うので、希望者は早めに相談に来てください。					
授業の到達目標 1) 病院検査部、病理部、または輸血・細胞治療センターの業務内容を理解する。 2) 検査の技能、結果報告、患者対応、トラブルへの対処を修得する。 3) 検査部、病理部、または輸血・細胞治療センターの業務の一部を適切に実行できる。 4) 現状の臨床検査の問題点や、将来へ向けての研究課題などを考察し、教員と話し合う。					
授業方法 HCA として毎週 4 時間程度、検査部、病理部、または輸血・細胞治療センターに勤務し、体験したこと、考えたことなどを教員と話し合う。					
授業内容 スケジュールは参加者の都合も聞いたうえで別途作成する。 (以下、詳細) 【輸血・細胞治療センター】 各種血液細胞製剤及び再生医療等製品の取扱いや加工・調製について、臨床検査技師がどのように関りを持っているのかを学び、担当教員の指導の下作業手順に沿って実践する。 1. 輸血用血液製剤 1) 新生児・小児症例に対する製剤分割処理 2) 重篤なアレルギー性輸血副反応症例に対する血小板洗浄術 3) 同種クリオプレシビテート作成術 4) 自己生体組織接着剤作成術 5) 自己血の血漿分離及び赤血球液の調製 2. 造血幹細胞 1) 血液型ミスマッチドナーの骨髓細胞処理 2) 末梢血幹細胞採取 3) 細胞凍結処理(CPC 調整室内無菌操作) 3. 再生医療等製品 1) テムセル(間葉系幹細胞) (1) 凍結保存されている製品の解凍					

(2) 生理食塩液による細胞濃度調整及び投与量分取(無菌操作) 2) PRP(多血小板血漿) (1) 自己血由来 PRP から炎症性サイトカインと成長因子を濃縮した APS(Autologous Protein Solution)の抽出操作(無菌操作) 3) ハートシート(骨格筋由来細胞シート) (1) 血清分離操作(無菌操作) (2) 手術室での血液採取補助 4) キムリア(CAR-T 細胞療法) (1) プログラムフリーザーの操作 【病理部】 病理部では以下の業務に従事できる。 1. 病理標本作製補助 2. 免疫組織化学染色 3. 細胞診検査 ※HCA で細胞診検査実務に1年以上従事することにより、細胞検査士資格認定試験受験を目指すことができる。 細胞診業務は原則受験を目指す学生を対象とする。その他の病理部業務も受入れの人数制限があるため、病理部希望者は事前に形態情報解析学分野 副島(soejima.mp@tmd.ac.jp)まで連絡すること。 【検査部】 検査部では以下の業務に従事する。 1. 中央採血室での採血業務 ※ 手背採血という高度な技術が必要な部位からの採血は、交代率 3%未満を達成した者から順次トレーニングし実施できる。 2. 生理検査室での心電図業務
成績評価の方法 勤務状況および科目責任者との面接による。
準備学習等についての具体的な指示 2 年次に初めて参加する者、1 年次とは異なる部署を希望する者に対しては必要な研修を行うので、あらかじめ相談に来ること。
参考書 1) Medical Technology (医歯薬出版) 臨床検査技術の詳しい解説、話題、情報提供などを掲載した月刊誌。 2) 臨床検査 (医学書院) 臨床検査技術の詳しい解説、話題、情報提供などを掲載した月刊誌。 3) 臨床検査法提要 (金原出版) 臨床検査法全般に関するバイブル。 4) 免疫検査学(医歯薬出版) の輸血検査学の部分。 5) 生理機能検査学(医歯薬出版) 6) JAMT 技術教本シリーズ 循環機能検査技術教本(日本臨床衛生検査技師会) 7) JAMT 技術教本シリーズ 輸血・移植検査技術教本
履修上の注意事項 病院内では臨床検査技師として責任を持って勤務する。
備考 臨床検査技師免許および HCA 採用申請手続き(書式は本学 HP からダウンロードできる、毎年度更新)が必要。 労働基準法、最低賃金法、労災保険法が適用される。 翌年度に本学に就職が内定した者、就職を希望するものに対しては、例外として、9 月末で HCA を退職した場合でも単位認定する。
連絡先(メールアドレス) 大川 龍之介:ohkawa.alc@tmd.ac.jp
オフィスアワー 大川 龍之介:特定の日時を確保できないためメールでアポイントメントを取ってください。

Lecture No	031879				
Subject title	Medical Technologist Internship II		Subject ID	GH—b3068—	
Instructors	大川 龍之介, 副島 友莉恵, 東田 修二, 梶原 道子, 藤代 瞳, 市村 直也[OKAWA RYUNOSUKE, SOEJIMA YURIE, TODA SHUJI, KAJIWARA MICHIKO, FUJISHIRO Hitomi, ICHIMURA Naoya]				
Semester	YearLong 2024	Level	2nd year	Units	2
Course by the instructor with practical experiences					
Availability in English: All classes are taught in Japanese.					
Lecture place TMDU Hospital					
Course Purpose and Outline Course Purpose and Outline: Our graduate school, in cooperation with TMDU Hospital, provides Health Care Assistant (HCA) system for students who have a licence of clinical technologist to cultivate medical specialists. Students are expected to work in the hospital as HCA, register for this internship program, and discuss problems in the current clinical laboratory with professor to find research themes based on the field.					
Course Objective(s) By the end, each student will: 1) Understand the outline of works operated in Clinical Laboratory, Center for Transfusion Medicine and Cell Therapy, or Pathology in TMDU Hospital. 2) Learn specific skills of some clinical tests, how to report the results, how to make contact with patients, and trouble shooting. 3) Carry out some of the works in Clinical Laboratory, Center for Transfusion Medicine and Cell Therapy, or Pathology.					
Lecture Style Lecture and practice.					
Course Outline Schedule will be set after meeting with the participants. 【Center for Transfusion Medicine and Cell Therapy】 This course is designed for students to practice handling of blood cell products and regenerative medicine products in accordance with the operating procedures under the guidance of the instructor. 1. Blood products for transfusion 1) Dividing the blood product into smaller quantities for use in neonatal and pediatric patient. 2) Operation to remove plasma from concentrated platelet products for patients with severe allergic post-transfusion reactions. 3) Preparation of cryoprecipitate (autologous/allogeneic). 4) Preparation of tissue adhesives from autologous plasma. 5) Preparation of plasma and red blood cell products from autologous whole blood. 2. Hematopoietic stem cells 1) Bone marrow cell processing of ABO blood group mismatch donors. 2) Peripheral blood stem cell collection/harvest. 3) Processing of cells for cryopreservation (aseptic operation of in cell processing unit). 3. Regenerative medicine products 1) Human (allogeneic) bone marrow-derived mesenchymal stem cells; TEMCELL* (1) Thawing of cryopreserved products. (2) Preparation of cell concentration and adjustment of dosage.					

2) Platelet-rich plasma (PRP) Manipulation of the extraction of autologous protein solution (APS), enriched with anti-inflammatory cytokines, growth factors, etc. contained in autologous PRP. 3) Myoblast cell sheet of autologous skeletal muscle; Heart Sheet* (1) Assisting blood collection in the surgical operating room. (2) Serum separation from patient blood (aseptic operation). 4) Chimeric antigen receptor (CAR) T cell therapy; Kymriah* Operation of a rate-controlled freezer. * Trademark 【Pathology】 The pathology department can engage in the following jobs: 1) Assistance in making pathological specimens 2) Immunohistochemistry 3) Cytology * By engaging in cytological examination at HCA for one year or more, students can take the cytotechnologist certification examination. Since there is an acceptable limit number of students, applicants should contact Dr. Soejima (soejima.mp@tmd.ac.jp) in advance. 【Clinical Laboratory】 The department of Clinical Laboratory can engage in the following jobs: 1) Blood sampling in the central blood sampling room * Blood sampling from the back of the hand can only be performed by those with less than 3% ratio of changes. 2) Electrocardiogram in the physiological testing room
Grading System working attitude and interview.
Prerequisite Reading Course Code 31-3054 is required for Clinical Laboratory and Center for Transfusion Medicine and Cell Therapy, and Pathology (Cytology).
Reference Materials Please refer to the Japanese syllabus.
Important Course Requirements During your work in the hospital, take care of your manners as a medical staff.

時間割番号	031909				
科目名	医療データ科学概論			科目ID	GH—b3074—
担当教員	高橋 邦彦, 宮野 悟, 坂内 英夫, 長谷川 嵩矩, 清水 秀幸, 高地 雄太, 木下 淳博, 須藤 毅顕, 藤原 武男 [TAKAHASHI Kunihiro, MIYANO Satoru, BANNNAI Hideo, HASEGAWA Takanori, SHIMIZU Hideyuki, KOUCHI Yuuta, KINOSHITA Atsuhiko, SUDOU Takeaki, FUJIWARA Takeo]				
開講時期	2024 年度前期	対象年次	1～2	単位数	1
実務経験のある教員による授業					
全て日本語で行う。					
主な講義場所 遠隔授業(同期型)					
授業の目的、概要等 情報科学、統計科学、計算科学、倫理的・法的・社会的問題(ELSI)などの分野における最新のトピックとともに、医学・歯学・医療分野にフォーカスしたデータサイエンスの実践とその役割を概観する。					
授業の到達目標 医療分野の研究におけるデータサイエンスの活用について理解する。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	5/20	16:20-17:50	遠隔授業(同期型)	医療データ科学が拓く世界	宮野 悟
2	5/24	16:20-17:50	遠隔授業(同期型)	データに基づく意思決定と生物統計学	高橋 邦彦
3	5/27	16:20-17:50	遠隔授業(同期型)	AI 創薬の基礎と個別化医療への試み	清水 秀幸
4	5/31	16:20-17:50	遠隔授業(同期型)	多因子疾患におけるゲノム精密医療	高地 雄太
5	6/3	16:20-17:50	遠隔授業(非同期型)	口腔内写真から歯の状態を判別する解析アプリケーションの開発	木下 淳博, 須藤 毅顕
6	6/7	16:20-17:50	遠隔授業(同期型)	次世代シーケンサーデータ解析・基礎	長谷川 嵩矩
7	6/10	16:20-17:50	遠隔授業(同期型)	臨床データと行政・気象データの融合	藤原 武男
8	6/14	16:20-17:50	遠隔授業(同期型)	シーケンシャルデータ処理・解析のアルゴリズム	坂内 英夫
授業方法 講義形式による。					
成績評価の方法 出席状況および授業姿勢(60%)とレポート内容(40%、提出必須)を総合して評価する。 【レポート課題】「出席した授業のうち、4 回を選び、それぞれの①要旨、②感想をまとめる」。 全授業の最終日から 3 週間以内に WebClass または大学院教務第二係(grad02@ml.tmd.ac.jp)に電子ファイルで提出のこと。 (詳細は講義の中で指示します。)					
準備学習等についての具体的な指示 特になし。					
参照ホームページ http://www.tmd.ac.jp/cmn/dsc/index.html					
連絡先(メールアドレス) 高橋 邦彦:biostat.dsc@tmd.ac.jp					
オフィスアワー 高橋 邦彦:平日・随時。ただし事前にメールで日時相談。 M&D データ科学センター生物統計学分野(E-mail: biostat.dsc@tmd.ac.jp)					

Lecture No	031909				
Subject title	Medical Data Science			Subject ID	GH—b3074—
Instructors	高橋 邦彦, 宮野 悟, 坂内 英夫, 長谷川 嵩矩, 清水 秀幸, 高地 雄太, 木下 淳博, 須藤 毅顕, 藤原 武男 [TAKAHASHI Kunihiro, MIYANO Satoru, BANNNAI Hideo, HASEGAWA Takanori, SHIMIZU Hideyuki, KOUCHI Yuuta, KINOSHITA Atsuhiko, SUDOU Takeaki, FUJIWARA Takeo]				
Semester	Spring 2024	Level	1st – 2nd year	Units	1
Course by the instructor with practical experiences					
All classes are taught in Japanese.					
Lecture place					
Online (Zoom)					
Course Purpose and Outline					
This course provides an overview of the practice and role of Data Science with a focus on medicine, dentistry, and health care, along with recent topics in the fields of information science, statistical science, computational science, and ethical, legal, and social issues (ELSI).					
Course Objective(s)					
This course aims to understand the use of Data Science in medical research.					
Lecture plan					
No	Date	Time	Room	Lecture theme	Staff
1	5/20	16:20–17:50	遠隔授業(同期型)		MIYANO Satoru
2	5/24	16:20–17:50	遠隔授業(同期型)		TAKAHASHI Kunihiro
3	5/27	16:20–17:50	遠隔授業(同期型)		SHIMIZU Hideyuki
4	5/31	16:20–17:50	遠隔授業(同期型)		KOUCHI Yuuta
5	6/3	16:20–17:50	遠隔授業(非同期型)		KINOSHITA Atsuhiko, SUDOU Takeaki
6	6/7	16:20–17:50	遠隔授業(同期型)		HASEGAWA Takanori
7	6/10	16:20–17:50	遠隔授業(同期型)		FUJIWARA Takeo
8	6/14	16:20–17:50	遠隔授業(同期型)		BANNNAI Hideo
Lecture Style					
Lectures.					
Grading System					
Attendance and attitude (60%) and report (40%, required).					
[Report theme] “Select four lectures that you attended and [1] summarize their contents and [2] write your impressions.”					
Submit the report in three weeks after the course to WebClass or the office (grad02@ml.tmd.ac.jp).					
(Details will be given in the lecture.)					
Prerequisite Reading					
Nothing in particular.					
Reference URL					
http://www.tmd.ac.jp/cmn/dsc/index.html					
Email					
TAKAHASHI Kunihiro:biostat.dsc@tmd.ac.jp					
Instructor's Contact Information					
TAKAHASHI Kunihiro:Weekdays only. Advanced appointments are required.					
Contact to Department of Biostatistics, M&D Data Science Center(E-mail: biostat.dsc@tmd.ac.jp).					

時間割番号	031910						
科目名	時間・空間の分子生命科学				科目ID	GH—b3075—	
担当教員	奈良 雅之, 栗田 武[NARA MASAYUKI, KURITA TAKESHI]						
開講時期	2024 年度後期	対象年次	1～2		単位数	1	
実務経験のある教員による授業							
全て日本語で行う							
主な講義場所 zoom オンライン							
授業の目的、概要等							
目的:この授業の目的は、生命現象を分子レベルで理解する方法とその理論を学び、その知識を各自の研究活動に有益に活かすことである。							
概要::21 世紀において、新しい研究技術や手法の開発により、生命科学は大きく進展してきた。現在では、様々な生命現象を分子レベルで捉えることが可能となっている。そうした研究対象や研究領域の拡大によって、生命工学、宇宙生命科学、構造生命科学、医用分光学など、さまざまな融合領域が発展してきた。それに伴い、生命科学における時間領域・空間領域を捉える視点、そしてそのアプローチも多様化している。この授業では、教員の専門分野である分子分光学(化学)と分子腫瘍学・発生学(生物学)をベースに、生命科学研究における様々なアプローチの理論的基礎とその応用を紹介する。							
授業の到達目標							
・生命現象を分子レベルで理解する方法とその理論を習得し、それを各自の研究活動に応用できるようになる。							
・学んだ知識が研究への意欲を高め、新たな研究領域に取り組む動機づけとなる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	10/4	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	構造生物学、構造生命科学の背景について	担当教員の自己紹介からスタートして、学生時代の研究体験を題材に、学生時代の研究に対する取り組み方を学ぶ。担当教員の学生、ポスドク時代の研究体験を題材に、学生時代の研究に対する取り組み方について議論する。	奈良 雅之	タンパク質の高次構造解析法の一般論を理解する。
2	10/4	14:40-16:10	遠隔授業 (同期型)	振動分光学による分子構造解析の基礎	赤外分光法、ラマン分光法の基礎と実際について学ぶ。	奈良 雅之	赤外分光法、ラマン分光法について基本事項を理解し、時間領域、空間領域への応用について理解する。
3	10/11	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	分子分光学の生体材料、医学、医療への応用	医用分光学の基礎と実際を学び、その有用性について議論する。	奈良 雅之	赤外・ラマン分光法の生体材料、医学への応用例について理解する。
4	10/11	14:40-16:10	遠隔授業 (同期型)	赤外分光による Ca2+結合タンパク質の on/off 機構の解明	タンパク質の構造機能相関の研究例を学ぶ。	奈良 雅之	タンパク質の構造機能相関の研究の取り組み方について分析できる。
5	10/18	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)			栗田 武	

6	10/18	14:40-16:10	遠隔授業 (同期型)			栗田 武	
7	10/25	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)			栗田 武	
8	10/25	14:40-16:10	遠隔授業 (同期型)			栗田 武	
授業方法 教員による講義や研究エピソードなどに基づいて、学生が議論に参加し、アクティブラーニングを実践する。							
成績評価の方法 成績評価は、提出レポート内容(50 点)と参加状況(50 点)を総合して評価する。							
準備学習等についての具体的な指示 事前に配布する資料を読んでから、授業に臨んでください。							
参考書 赤外分光測定法：基礎と最新手法／田隅三生編著；日本分光学会編集委員会編, 田隅, 三生, 日本分光学会編集委員会.: エス・ティ・ジャパン, 2012 赤外・ラマン分光法／日本分光学会編, 日本分光学会講談社サイエンティフィク., 講談社, 2009							
履修上の注意事項 一般教養レベルの生物学、化学を履修していることが望ましい。							
連絡先(メールアドレス) 奈良 雅之:nara.las@tmd.ac.jp 栗田 武:kurita.takeshi@tmd.ac.jp							
オフィスアワー 奈良 雅之:毎週水曜日 PM.0:00-PM.2:00(ただし、第 1 水曜日(教授会開催日)は PM.1:00 まで), 毎週木曜日 PM.0:20-PM.1:20 ヒポクラテス 4 階 栗田 武:毎週水曜日 PM.1:30-PM. 5:00 ヒポクラテスホール (校舎棟) 4 階 教官研究室-2							

Lecture No	031910						
Subject title	Molecular life science in time and space domain				Subject ID	GH—b3075—	
Instructors	奈良 雅之, 栗田 武[NARA MASAYUKI, KURITA TAKESHI]						
Semester	Fall 2024	Level	1st – 2nd year		Units	1	
Course by the instructor with practical experiences							
All classes are taught in Japanese.							
Lecture place							
zoom							
Course Purpose and Outline							
Aim: This class aims to learn methods and theories for understanding biological phenomena at the molecular level and to use this knowledge to advance one's research activities.							
Abstract: In the 21st century, life science has made significant progress due to the development of new research techniques and methods. It is now possible to understand various life phenomena at the molecular level. This expansion of research subjects and research areas has led to the development of various interdisciplinary fields such as bioengineering, space life science, structural life science, and medical spectroscopy. Accordingly, the perspectives and approaches to understanding the temporal and spatial domains in life sciences are diversifying. This class will introduce the theoretical foundations and applications of various strategies in life science research based on the faculty's specialized fields of molecular spectroscopy (chemistry) and molecular oncology/embryology (biology).							
Course Objective(s)							
1. Students will learn methods and theories to investigate life phenomena at the molecular level and be able to apply them to their research activities.							
2. The knowledge learned will motivate you to tackle new research areas.							
Lecture plan							
No	Date	Time	Room	Lecture theme	Lecture content	Staff	Learning objectives・ Learning methods・ Instructions
1	10/4	13:00–14:30	遠隔授業(同期型)			NARA MASAYUKI	
2	10/4	14:40–16:10	遠隔授業(同期型)			NARA MASAYUKI	
3	10/11	13:00–14:30	遠隔授業(同期型)			NARA MASAYUKI	
4	10/11	14:40–16:10	遠隔授業(同期型)			NARA MASAYUKI	
5	10/18	13:00–14:30	遠隔授業(同期型)			KURITA TAKESHI	
6	10/18	14:40–16:10	遠隔授業(同期型)			KURITA TAKESHI	
7	10/25	13:00–14:30	遠隔授業(同期型)			KURITA TAKESHI	
8	10/25	14:40–16:10	遠隔授業(同期型)			KURITA TAKESHI	
Lecture Style							
Lecture and discussion							

Grading System Reports (50%) Contribution to the lectures (50%)
Prerequisite Reading
Reference Materials 赤外分光測定法：基礎と最新手法／田隅三生編著；日本分光学会編集委員会編, 田隅, 三生, 日本分光学会編集委員会, エス・ティ・ジャパン, 2012 赤外・ラマン分光法／日本分光学会編, 日本分光学会, 講談社サイエンティフィック, 講談社, 2009
Email KURITA TAKESHI: kurita.takeshi@tmd.ac.jp
Instructor's Contact Information KURITA TAKESHI: Every Wednesday PM.1:30-PM.5:00 Hippocrates Hall (School building) 4th floor Professor's Office #2

時間割番号	031915				
科目名	疫学基礎			科目 ID	GH—b3079-L
担当教員	藤原 武男, 谷 友香子[FUJIWARA Takeo, TANI Yukako]				
開講時期	2024 年度前期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					
全て日本語で行う					
主な講義場所 アクティブラーニング教室(M&D タワー4 階図書館本館)					
授業の目的、概要等 授業目的 疫学の基礎を理解する。 概要 疫学の基礎を理解し、臨床研究論文を適切に解釈し執筆するための土台をつくる。					
授業の到達目標 臨床疫学研究を実施するにあたり必要となる疫学の知識を身に着ける。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	5/8	18:00-19:30	アクティブラーニング教室	疫学概論	谷 友香子
2	5/15	18:00-19:30	アクティブラーニング教室	疾患の測定、感度と特異度	谷 友香子
3	5/22	18:00-19:30	アクティブラーニング教室	疫学研究のデザイン、生態学的研究	谷 友香子
4	5/29	18:00-19:30	アクティブラーニング教室	交絡因子、妥当性と信頼性	谷 友香子
5	6/5	18:00-19:30	アクティブラーニング教室	サンプリング、横断研究	谷 友香子
6	6/12	18:00-19:30	アクティブラーニング教室	コホート研究、ケースコントロール研究	谷 友香子
7	6/19	18:00-19:30	アクティブラーニング教室	ランダム化比較試験、バイアス	谷 友香子
8	6/26	18:00-19:30	アクティブラーニング教室	Critical Appraisal	谷 友香子
授業方法 科目担当者の講義による。					
授業内容 別表のとおり。					
成績評価の方法 8回のうち 5 回以上の出席が必要で、成績評価は提出レポート内容(50 点)と参加状況(50 点)を総合して評価する。					
準備学習等についての具体的な指示 講義概要に示す各担当教員の講義内容について、下記に示す参考書や文献などを参照して事前に予習することを勧める。また、事前に動画視聴などが必要な授業があるので、注意すること。					
参考書 日本疫学会, はじめて学ぶやさしい疫学 第3 版 南江堂; 2018. 木原正博. 疫学 -医学的研究と実践のサイエンス. メディカルサイエンスインターナショナル. 2010 Gordis L. Epidemiology. 6th edition. Philadelphia: Elsevier; 2018					
履修上の注意事項 講義への出席は必須である。また、課されたレポート等は必ず提出すること。					

Lecture No	031915				
Subject title	Epidemiology: Basic			Subject ID	GH—b3079—L
Instructors	藤原 武男, 谷 友香子[FUJIWARA Takeo, TANI Yukako]				
Semester	Spring 2024	Level	1st year	Units	1
Course by the instructor with practical experiences					
All classes are taught in Japanese.					
Lecture place					
Library Active Learning Room(4th floor of M&D Tower)					
Course Purpose and Outline					
Course Objectives					
To understand the fundamentals of epidemiology and learn the basics of properly interpreting and writing clinical research papers.					
Course Objective(s)					
Acquire the knowledge of epidemiology to conduct clinical epidemiological studies.					
Lecture plan					
No	Date	Time	Room	Lecture theme	Staff
1	5/8	18:00-19:30	アクティブラーニング教室	Introduction to Epidemiology	TANI Yukako
2	5/15	18:00-19:30	アクティブラーニング教室	Disease measurement, sensitivity and specificity	TANI Yukako
3	5/22	18:00-19:30	アクティブラーニング教室	Epidemiological study design, ecological studies	TANI Yukako
4	5/29	18:00-19:30	アクティブラーニング教室	confounding factors, validity and reliability	TANI Yukako
5	6/5	18:00-19:30	アクティブラーニング教室	Sampling, Cross-sectional studies	TANI Yukako
6	6/12	18:00-19:30	アクティブラーニング教室	Cohort and case-control studies	TANI Yukako
7	6/19	18:00-19:30	アクティブラーニング教室	Randomized controlled trials, bias	TANI Yukako
8	6/26	18:00-19:30	アクティブラーニング教室	Critical Appraisal	TANI Yukako
Lecture Style					
Depends on the lectures of the course instructor.					
Course Outline					
See table.					
Grading System					
Attendance at least 5 out of 8 sessions is required.					
Grading will be based on the content of the submitted report (50 points) and participation (50 points).					
Prerequisite Reading					
It is recommended that students prepare in advance for the lectures of each instructor listed in the lecture outline by referring to the reference books and literature listed below. Also, please note that some classes require students to watch video clips in advance.					
Reference Materials					
日本疫学会, はじめて学ぶやさしい疫学 第3版 南江堂, 2018.					
木原正博, 疫学 -医学的研究と実践のサイエンス. メディカルサイエンスインターナショナル, 2010					
Gordis L. Epidemiology. 6th edition. Philadelphia: Elsevier, 2018					
Important Course Requirements					
Attendance at lectures is mandatory. All assigned reports and other materials must be submitted.					

時間割番号	031916				
科目名	生物統計学基礎			科目ID	GH-b3080-L
担当教員	高橋 邦彦, 安齋 達彦[TAKAHASHI Kunihiro, ANZAI Tatsuhiko]				
開講時期	2024 年度前期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					
全て日本語で行う					
主な講義場所 アクティブラーニング教室(M&D タワー4 階図書館本館) (オンライン参加も可能)					
授業の目的、概要等 授業目的 生物統計学の基礎を復習し理解する。 概要 生物統計学の基本的な解析手法についての復習および理解を深め、臨床疫学研究における適用について学習する。					
授業の到達目標 問題に応じて適切な統計手法を選択, 適用できるとともに, 解析結果を解釈できる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	5/7	18:00-19:30	アクティブラーニング教室 遠隔授業(同期型)	生物統計学概論	高橋 邦彦, 安齋 達彦
2	5/14	18:00-19:30	アクティブラーニング教室 遠隔授業(同期型)	平均の比較	高橋 邦彦, 安齋 達彦
3	5/21	18:00-19:30	アクティブラーニング教室 遠隔授業(同期型)	頻度の比較	高橋 邦彦, 安齋 達彦
4	5/28	18:00-19:30	アクティブラーニング教室 遠隔授業(同期型)	分散分析, 検定の多重性, 多重比較	高橋 邦彦, 安齋 達彦
5	6/4	18:00-19:30	アクティブラーニング教室 遠隔授業(同期型)	相関と回帰	高橋 邦彦, 安齋 達彦
6	6/11	18:00-19:30	アクティブラーニング教室 遠隔授業(同期型)	交絡調整のための多変量解析1:共分散分析, 重回帰分析	高橋 邦彦, 安齋 達彦
7	6/18	18:00-19:30	アクティブラーニング教室 遠隔授業(同期型)	交絡調整のための多変量解析2:Mantel-Haenszel, ロジスティック回帰分析	高橋 邦彦, 安齋 達彦
8	6/25	18:00-19:30	アクティブラーニング教室 遠隔授業(同期型)	生存時間解析:Kaplan-Meier 法, ログランク検定, Cox 比例ハザードモデル	高橋 邦彦, 安齋 達彦
授業方法 科目担当者の講義による。					
授業内容 別表のとおり。					
成績評価の方法 成績評価は提出レポート内容(50%)と参加状況(50%)を総合して評価する。					
準備学習等についての具体的な指示 講義概要に示す各担当教員の講義内容について、下記に示す参考書や文献などを参照して事前に予習することを勧める。					
参考書 ・古川俊之(監修), 丹後俊郎(著). 医学への統計学. 第3版. 朝倉書店. 2013. ・Pagano M, Gauvreau K. Principles of Biostatistics. 2nd ed. CRC Press. 2000.					
連絡先(メールアドレス) 高橋 邦彦biostat.dsc@tmd.ac.jp					
オフィスアワー					

高橋 邦彦:平日・随時。ただし事前にメールで日時相談。

M&D データ科学センター生物統計学分野(E-mail: biostat.dsc@tmd.ac.jp)

Lecture No	031916				
Subject title	Biostatistics: Basic			Subject ID	GH—b3080—L
Instructors	高橋 邦彦, 安齋 達彦[TAKAHASHI Kunihiko, ANZAI Tatsuhiko]				
Semester	Spring 2024	Level	1st year	Units	1
Course by the instructor with practical experiences					
All classes are taught in Japanese.					
Lecture place					
Library Active Learning Room(4th floor of M&D Tower)(or via zoom)					
Course Purpose and Outline					
Course Purpose:					
This course aims to review fundamentals of biostatistics.					
Outline:					
This course gives lectures on the basis of biostatistical methods and their application to studies in clinical epidemiology.					
Course Objective(s)					
The goal is to be able to apply appropriate statistical methods to data and, to be able to interpret the performance of statistical analyses in accordance with the research objectives.					
Lecture plan					
No	Date	Time	Room	Lecture theme	Staff
1	5/7	18:00-19:30	アクティブラーニング教室 遠隔授業(同期型)		TAKAHASHI Kunihiko, ANZAI Tatsuhiko
2	5/14	18:00-19:30	アクティブラーニング教室 遠隔授業(同期型)		TAKAHASHI Kunihiko, ANZAI Tatsuhiko
3	5/21	18:00-19:30	アクティブラーニング教室 遠隔授業(同期型)		TAKAHASHI Kunihiko, ANZAI Tatsuhiko
4	5/28	18:00-19:30	アクティブラーニング教室 遠隔授業(同期型)		TAKAHASHI Kunihiko, ANZAI Tatsuhiko
5	6/4	18:00-19:30	アクティブラーニング教室 遠隔授業(同期型)		TAKAHASHI Kunihiko, ANZAI Tatsuhiko
6	6/11	18:00-19:30	アクティブラーニング教室 遠隔授業(同期型)		TAKAHASHI Kunihiko, ANZAI Tatsuhiko
7	6/18	18:00-19:30	アクティブラーニング教室 遠隔授業(同期型)		TAKAHASHI Kunihiko, ANZAI Tatsuhiko
8	6/25	18:00-19:30	アクティブラーニング教室 遠隔授業(同期型)		TAKAHASHI Kunihiko, ANZAI Tatsuhiko
Lecture Style					
Lectures					
Course Outline					
Refer to the course schedule					
Grading System					
Participation (50%) and report (50%).					
Prerequisite Reading					
Students are expected to have worked thorough the materials in accordance with the topics before attending the class.					
Reference Materials					
・古川俊之(監修), 丹後俊郎(著). 医学への統計学. 第3版. 朝倉書店. 2013.					
・Pagano M, Gauvreau K. Principles of Biostatistics. 2nd ed. CRC Press. 2000.					
Email					

TAKAHASHI Kuniiko:biostat.dsc@tmd.ac.jp
Instructor's Contact Information TAKAHASHI Kuniiko:Weekdays only. Advanced appointments are required. Contact to Department of Biostatistics, M&D Data Science Center (E-mail: biostat.dsc@tmd.ac.jp).

時間割番号	031917				
科目名	生物統計学応用Ⅰ			科目ID	GH—b3081—L
担当教員	高橋 邦彦, 安齋 達彦, 星野 崇宏, 服部 聡, 野間 久史[TAKAHASHI Kunihiro, ANZAI Tatsuhiko, HOSHINO Takahiro, HATTORI Satoshi, NOMA Hisashi]				
開講時期	2024 年度後期	対象年次	1～	単位数	1
実務経験のある教員による授業					
全て日本語で行う					
主な講義場所 アクティブラーニング教室(M&D タワー4 階図書館本館) (オンライン参加も可能)					
授業の目的、概要等 授業目的 生物統計学の発展的な内容であるベイズ統計学およびメタアナリシスについて理解する。 概要 生物統計学を応用した発展的な課題として、ベイズ統計学およびメタアナリシスの基本的事項と実践について学習する。					
授業の到達目標 ベイズ統計学を適用した推論, および少数例のメタアナリシスの実践を行うことができるようになる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	9/18	18:00-19:30	アクティブラーニング教室 遠隔授業(同期型)	ベイズ統計学の基礎1	高橋 邦彦
2	9/25	18:00-19:30	アクティブラーニング教室 遠隔授業(同期型)	ベイズ統計学の基礎2	安齋 達彦
3	10/2	18:00-19:30	アクティブラーニング教室 遠隔授業(同期型)	メタアナリシスの基礎1	高橋 邦彦
4	10/9	18:00-19:30	アクティブラーニング教室 遠隔授業(同期型)	メタアナリシスの基礎2	高橋 邦彦
5	10/16	18:00-19:30	アクティブラーニング教室 遠隔授業(同期型)	ベイズアプローチによる因果効果推定と疫学への応用	星野 崇宏
6	10/23	18:00-19:30	アクティブラーニング教室 遠隔授業(同期型)	空間疫学研究におけるベイズ統計学の応用	高橋 邦彦
7	11/6	18:00-19:30	アクティブラーニング教室 遠隔授業(同期型)	メタアナリシスの実践1: ネットワークメタアナリシス	野間 久史
8	11/20	18:00-19:30	アクティブラーニング教室 遠隔授業(同期型)	メタアナリシスの実践2: 診断法のメタアナリシス	服部 聡
授業方法 科目担当者の講義による。					
授業内容 別表のとおり。					
成績評価の方法 成績評価は提出レポート内容(50%)と参加状況(50%)を総合して評価する。					
準備学習等についての具体的な指示 講義概要に示す各担当教員の講義内容について、下記に示す参考書や文献などを参照して事前に予習することを勧める。					
参考書 ・Lesaffre E, Lawson AB. Bayesian Biostatistics. Wiley. 2012. ・Spiegelhalter DJ, Abrams KR, Myles JP. Bayesian Approaches to Clinical Trials and Health—Care Evaluation.Wiley. 2004. ・丹後俊郎, 横山徹爾, 高橋邦彦. 空間疫学への招待. 朝倉書店. 2007. ・丹後俊郎. 新版メタアナリシス入門. 朝倉書店. 2016.					

・Borenstein M, et al. Introduction to Meta-Analysis. 2nd ed. Wiley. 2021.
連絡先(メールアドレス) 高橋 邦彦 biostat.dsc@tmd.ac.jp
オフィスアワー 高橋 邦彦 平日・随時。ただし事前にメールで日時相談。 M&D データ科学センター生物統計学分野 (E-mail: biostat.dsc@tmd.ac.jp)

Lecture No	031917				
Subject title	Biostatistics: Advanced I			Subject ID	GH—b3081—L
Instructors	高橋 邦彦, 安齋 達彦, 星野 崇宏, 服部 聡, 野間 久史[TAKAHASHI Kunihiro, ANZAI Tatsuhiko, HOSHINO Takahiro, HATTORI Satoshi, NOMA Hisashi]				
Semester	Fall 2024	Level	1st – year	Units	1
Course by the instructor with practical experiences					
All classes are taught in Japanese.					
Lecture place					
Library Active Learning Room(4th floor of M&D Tower)(or via zoom)					
Course Purpose and Outline					
Course Purpose: This course aims to develop the knowledge on Bayesian statistics and meta-analysis.					
Outline: This course gives lectures on fundamentals and applications of Bayesian statistics and meta-analysis as the advanced topics in biostatistics.					
Course Objective(s)					
The objective of this course is to be able to conduct Bayesian inference and meta-analysis on a small number of studies.					
Lecture plan					
No	Date	Time	Room	Lecture theme	Staff
1	9/18	18:00–19:30	アクティブラーニング教室 遠隔授業(同期型)		TAKAHASHI Kunihiro
2	9/25	18:00–19:30	アクティブラーニング教室 遠隔授業(同期型)		ANZAI Tatsuhiko
3	10/2	18:00–19:30	アクティブラーニング教室 遠隔授業(同期型)		TAKAHASHI Kunihiro
4	10/9	18:00–19:30	アクティブラーニング教室 遠隔授業(同期型)		TAKAHASHI Kunihiro
5	10/16	18:00–19:30	アクティブラーニング教室 遠隔授業(同期型)		HOSHINO Takahiro
6	10/23	18:00–19:30	アクティブラーニング教室 遠隔授業(同期型)		TAKAHASHI Kunihiro
7	11/6	18:00–19:30	アクティブラーニング教室 遠隔授業(同期型)		NOMA Hisashi
8	11/20	18:00–19:30	アクティブラーニング教室 遠隔授業(同期型)		HATTORI Satoshi
Lecture Style					
Lectures					
Course Outline					
Refer to the course schedule					
Grading System					
Participation (50%) and report (50%).					
Prerequisite Reading					
Students are expected to have worked thorough the materials in accordance with the topics before attending the class.					
Reference Materials					
•Lesaffre E, Lawson AB. Bayesian Biostatistics. Wiley. 2012.					
•Spiegelhalter DJ, Abrams KR, Myles JP. Bayesian Approaches to Clinical Trials and Health–Care Evaluation.Wiley. 2004.					
•丹後俊郎, 横山徹爾, 高橋邦彦. 空間疫学への招待. 朝倉書店. 2007.					

・丹後俊郎. 新版メタアナリシス入門. 朝倉書店. 2016. ・Borenstein M, et al. Introduction to Meta-Analysis. 2nd ed. Wiley. 2021.
Email TAKAHASHI Kuniiko:biostat.dsc@tmd.ac.jp
Instructor's Contact Information TAKAHASHI Kuniiko:Weekdays only. Advanced appointments are required. Contact to Department of Biostatistics, M&D Data Science Center (E-mail: biostat.dsc@tmd.ac.jp).

時間割番号	031918				
科目名	生物統計学応用Ⅱ			科目ID	GH—b3082-L
担当教員	高橋 邦彦, 清水 秀幸, 安齋 達彦, 漆原 尚巳[TAKAHASHI Kunihiko, SHIMIZU Hideyuki, ANZAI Tatsuhiko, URUSHIHARA Hisashi]				
開講時期	2024 年度後期	対象年次	1～	単位数	1
実務経験のある教員による授業					
全て日本語で行う					
主な講義場所 アクティブラーニング教室(M&D タワー4 階図書館本館) (オンライン参加も可能)					
授業の目的、概要等 授業目的 生物統計学の発展的な課題である薬剤疫学及び医療分野における AI の活用について理解する。 概要 生物統計学を応用した発展的な課題として、薬剤疫学および医療分野における AI の活用について、その基本的事項と実践について学習する。					
授業の到達目標 薬剤疫学を適用した医薬品のリスク評価および医療分野における AI 分析結果の評価を行うことができるようになる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	9/17	18:00-19:30	アクティブラーニング教室 遠隔授業(同期型)	薬剤疫学の研究デザインと評価指標(1)	高橋 邦彦
2	9/24	18:00-19:30	アクティブラーニング教室 遠隔授業(同期型)	薬剤疫学の研究デザインと評価指標(2)	高橋 邦彦
3	10/1	18:00-19:30	アクティブラーニング教室 遠隔授業(同期型)	薬剤のリスクマネジメントとシグナル検出	安齋 達彦
4	10/8	18:00-19:30	アクティブラーニング教室 遠隔授業(同期型)	薬剤疫学研究の実践	漆原 尚巳
5	10/15	18:00-19:30	アクティブラーニング教室 遠隔授業(同期型)	医療 AI のための基礎(1)	高橋 邦彦, 安齋 達彦
6	10/22	18:00-19:30	アクティブラーニング教室 遠隔授業(同期型)	医療 AI のための基礎(2)	高橋 邦彦, 安齋 達彦
7	11/5	18:00-19:30	アクティブラーニング教室 遠隔授業(同期型)	医療 AI の実践(1)	清水 秀幸
8	11/12	18:00-19:30	アクティブラーニング教室 遠隔授業(同期型)	医療 AI の実践(2)	清水 秀幸
授業方法 科目担当者の講義による。					
授業内容 別表のとおり。					
成績評価の方法 成績評価は提出レポート内容(50%)と参加状況(50%)を総合して評価する。					
準備学習等についての具体的な指示 講義概要に示す各担当教員の講義内容について、下記に示す参考書や文献などを参照して事前に予習することを勧める。					
参考書 ・くすりの適正使用協議会. 実例で学ぶ薬剤疫学の第一歩. レーダー出版センター. 2008. ・佐藤俊哉, 山口拓洋, 石黒智恵子(編). これからの薬剤疫学. 朝倉書店. 2021.					

・景山茂, 久保田潔(編). 薬剤疫学の基礎と実践. 改訂第3版. ライフサイエンス出版. 2021. ・Naqa I, Murphy M (eds). Machine and Deep Learning in Oncology, Medical Physics and Radiology. Springer. 2022.
連絡先(メールアドレス) 高橋 邦彦biostat.dsc@tmd.ac.jp
オフィスアワー 高橋 邦彦:平日・随時。ただし事前にメールで日時相談。 M&D データ科学センター生物統計学分野(E-mail: biostat.dsc@tmd.ac.jp)

Lecture No	031918				
Subject title	Biostatistics: Advanced II			Subject ID	GH—b3082—L
Instructors	高橋 邦彦, 清水 秀幸, 安齋 達彦, 漆原 尚巳[TAKAHASHI Kunihiro, SHIMIZU Hideyuki, ANZAI Tatsuhiko, URUSHIHARA Hisashi]				
Semester	Fall 2024	Level	1st – year	Units	1
Course by the instructor with practical experiences	All classes are taught in Japanese.				
Lecture place					
Library Active Learning Room(4th floor of M&D Tower)(or via zoom)					
Course Purpose and Outline	Course Purpose: This course aims to develop the knowledge on pharmacoepidemiology and artificial interigence in the medical research as the advanced topics in biostatistics.				
	Outline: This course gives lectures on fundamentals and applications in pharmacoepidemiology, and artificial interigence in the medical research.				
Course Objective(s)	The goal is to be able to conduct the risk assessment of drug use in pharmacoepidemiology, and to be able to interpret the performance of artificial interigence analysis in the medical research.				
Lecture plan					
No	Date	Time	Room	Lecture theme	Staff
1	9/17	18:00–19:30	アクティブラーニング教室 遠隔授業(同期型)		TAKAHASHI Kunihiro
2	9/24	18:00–19:30	アクティブラーニング教室 遠隔授業(同期型)		TAKAHASHI Kunihiro
3	10/1	18:00–19:30	アクティブラーニング教室 遠隔授業(同期型)		ANZAI Tatsuhiko
4	10/8	18:00–19:30	アクティブラーニング教室 遠隔授業(同期型)		URUSHIHARA Hisashi
5	10/15	18:00–19:30	アクティブラーニング教室 遠隔授業(同期型)		TAKAHASHI Kunihiro, ANZAI Tatsuhiko
6	10/22	18:00–19:30	アクティブラーニング教室 遠隔授業(同期型)		TAKAHASHI Kunihiro, ANZAI Tatsuhiko
7	11/5	18:00–19:30	アクティブラーニング教室 遠隔授業(同期型)		SHIMIZU Hideyuki
8	11/12	18:00–19:30	アクティブラーニング教室 遠隔授業(同期型)		SHIMIZU Hideyuki
Lecture Style	Lectures				
Course Outline	Refer to the course schedule				
Grading System	Participation (50%) and report (50%).				
Prerequisite Reading	Students are expected to have worked thorough the materials in accordance with the topics before attending the class.				
Reference Materials	・くすりの適正使用協議会. 実例で学ぶ薬剤疫学の第一歩. レーダー出版センター. 2008. ・佐藤俊哉, 山口拓洋, 石黒智恵子(編). これからの薬剤疫学. 朝倉書店. 2021. ・景山茂, 久保田潔(編). 薬剤疫学の基礎と実践. 改訂第3版. ライフサイエンス出版. 2021. ・Naqa I, Murphy M (eds). Machine and Deep Learning in Oncology, Medical Physics and Radiology. Springer. 2022.				
Email	TAKAHASHI Kunihiro:biostat.dsc@tmd.ac.jp				
Instructor's Contact Information	TAKAHASHI Kunihiro:Weekdays only. Advanced appointments are required.				

時間割番号	031919				
科目名	臨床試験方法論基礎			科目ID	GH—b3083-L
担当教員					
開講時期	2024 年度前期	対象年次	1～	単位数	1
実務経験のある教員による授業					
全て日本語で行う。					
主な講義場所 対面又は遠隔講義(ZOOM)					
授業の目的、概要等 授業目的 エビデンス創出に必要な臨床試験方法論の基本的考え方と臨床試験の計画と解析に必要な統計的事項を学習する。 概要 エビデンス創出に必要な臨床試験方法論の基本的考え方と臨床試験の計画と解析に必要な統計的事項(試験デザイン、ランダム化、盲検化、エンドポイント、解析対象集団、サンプルサイズ設計等)を体系的に学習する。					
授業の到達目標 研究目的や実施可能性を踏まえて、適切な臨床試験をデザインできるようになる。臨床試験の論文からそのエビデンスレベルを読み解けるようになる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	6/27	18:00-19:30	遠隔授業(同期型)	臨床研究概論と様々な試験デザイン	平川 晃弘
2	7/2	18:00-19:30	遠隔授業(同期型)	優越性試験と非劣性試験	平川 晃弘
3	7/4	18:00-19:30	遠隔授業(同期型)	ランダム化と盲検化	平川 晃弘
4	7/9	18:00-19:30	遠隔授業(同期型)	連続型・二値型エンドポイントとそのデータ解析法	平川 晃弘
5	7/11	18:00-19:30	遠隔授業(同期型)	時間イベント型(生存時間)エンドポイントとそのデータ解析法	平川 晃弘
6	7/23	18:00-19:30	遠隔授業(同期型)	解析対象集団と欠測データの処理(経時データ解析の基礎を含む)	平川 晃弘
7	7/25	18:00-19:30	遠隔授業(同期型)	サンプルサイズ設計の考え方	平川 晃弘
8	7/30	18:00-19:30	遠隔授業(同期型)	Innovative clinical trial methodology 入門	平川 晃弘
授業方法 科目担当者の講義による。					
授業内容 別表のとおり。					
成績評価の方法 8 回のうち 5 回以上の出席が必要で、成績評価は提出レポート内容(50 点)と参加状況(50 点)を総合して評価する。					
準備学習等についての具体的な指示 臨床試験方法論の基礎から学習するカリキュラムのため事前学習は必要としないが、人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針や ICH E9(臨床試験のための統計的原則)を理解していることが望ましい。					
参考書 〃椿 広計(編集), 佐藤 俊哉(編集), 藤田 利治(編集). これからの臨床試験—医薬品の科学的評価-原理と方法. 朝倉書店 内田一郎, 芹生卓(編集). (2022) 製薬医学入門:くすりの価値最大化をめざして. メディカル・サイエンス・インターナショナル”					

Lecture No	031919																																																										
Subject title	Clinical Trial Methodology: Basic			Subject ID	GH—b3083-L																																																						
Instructors																																																											
Semester	Spring 2024	Level	1st – year	Units	1																																																						
Course by the instructor with practical experiences	All classes are taught in Japanese. Lecture place in-person or online lesson (by Zoom) Course Purpose and Outline Course Objectives To learn the basic concepts of clinical trial methodology and statistical considerations for planning and analyzing clinical trials. Outline To learn the basic concepts of clinical trial methodology and statistical considerations (e.g., study design, randomization, blinding, endpoints, analysis population, sample size calculation). Course Objective(s) Be able to design appropriate clinical trials based on research objectives and feasibility. Be able to assess the level of evidence from clinical trial publication. Lecture plan<table><tr><th>No</th><th>Date</th><th>Time</th><th>Room</th><th>Lecture theme</th><th>Staff</th></tr><tr><td>1</td><td>6/27</td><td>18:00–19:30</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td></td><td>HIRAKAWA Akihiro</td></tr><tr><td>2</td><td>7/2</td><td>18:00–19:30</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td></td><td>HIRAKAWA Akihiro</td></tr><tr><td>3</td><td>7/4</td><td>18:00–19:30</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td></td><td>HIRAKAWA Akihiro</td></tr><tr><td>4</td><td>7/9</td><td>18:00–19:30</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td></td><td>HIRAKAWA Akihiro</td></tr><tr><td>5</td><td>7/11</td><td>18:00–19:30</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td></td><td>HIRAKAWA Akihiro</td></tr><tr><td>6</td><td>7/23</td><td>18:00–19:30</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td></td><td>HIRAKAWA Akihiro</td></tr><tr><td>7</td><td>7/25</td><td>18:00–19:30</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td></td><td>HIRAKAWA Akihiro</td></tr><tr><td>8</td><td>7/30</td><td>18:00–19:30</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td></td><td>HIRAKAWA Akihiro</td></tr></table> Lecture Style Lectures Grading System Attendance at least 5 out of 8 sessions required. Participations (50%) and essay (50%) Prerequisite Reading To read the Ethical Guidelines for Medical and Health Research Involving Human Subjects and ICH E9 (Statistical Principles for Clinical Trials). Reference Materials “椿 広計（編集）, 佐藤 俊哉（編集）, 藤田 利治（編集）. これからの臨床試験—医薬品の科学的評価-原理と方法. 朝倉書店 内田一郎, 芹生卓（編集）. (2022) 製薬医学入門:くすりの価値最大化をめざして. メディカル・サイエンス・インターナショナル”					No	Date	Time	Room	Lecture theme	Staff	1	6/27	18:00–19:30	遠隔授業(同期型)		HIRAKAWA Akihiro	2	7/2	18:00–19:30	遠隔授業(同期型)		HIRAKAWA Akihiro	3	7/4	18:00–19:30	遠隔授業(同期型)		HIRAKAWA Akihiro	4	7/9	18:00–19:30	遠隔授業(同期型)		HIRAKAWA Akihiro	5	7/11	18:00–19:30	遠隔授業(同期型)		HIRAKAWA Akihiro	6	7/23	18:00–19:30	遠隔授業(同期型)		HIRAKAWA Akihiro	7	7/25	18:00–19:30	遠隔授業(同期型)		HIRAKAWA Akihiro	8	7/30	18:00–19:30	遠隔授業(同期型)		HIRAKAWA Akihiro
No						Date	Time	Room	Lecture theme	Staff																																																	
1						6/27	18:00–19:30	遠隔授業(同期型)		HIRAKAWA Akihiro																																																	
2						7/2	18:00–19:30	遠隔授業(同期型)		HIRAKAWA Akihiro																																																	
3	7/4	18:00–19:30	遠隔授業(同期型)		HIRAKAWA Akihiro																																																						
4	7/9	18:00–19:30	遠隔授業(同期型)		HIRAKAWA Akihiro																																																						
5	7/11	18:00–19:30	遠隔授業(同期型)		HIRAKAWA Akihiro																																																						
6	7/23	18:00–19:30	遠隔授業(同期型)		HIRAKAWA Akihiro																																																						
7	7/25	18:00–19:30	遠隔授業(同期型)		HIRAKAWA Akihiro																																																						
8	7/30	18:00–19:30	遠隔授業(同期型)		HIRAKAWA Akihiro																																																						

時間割番号	031920				
科目名	臨床試験方法論応用			科目ID	GH—b3084-L
担当教員					
開講時期	2024 年度後期	対象年次	1～	単位数	1
実務経験のある教員による授業					
全て日本語で行う。					
主な講義場所 対面又は/遠隔講義(ZOOM)					
授業の目的、概要等 授業目的 エビデンス創出に必要な臨床試験方法論の基本的考え方と臨床試験の計画と解析に必要な統計的事項を学習する。 概要 エビデンス創出に必要な臨床試験方法論の基本的考え方と臨床試験の計画と解析に必要な統計的事項(試験デザイン、ランダム化、盲検化、エンドポイント、解析対象集団、サンプルサイズ設計等)を体系的に学習する。					
授業の到達目標 研究目的や実施可能性を踏まえて、適切な臨床試験をデザインできるようになる。臨床試験の論文からそのエビデンスレベルを読み解けるようになる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	9/19	18:00-19:30	遠隔授業(同期型)	中間解析と群逐次デザイン	平川 晃弘 佐藤 宏征
2	9/26	18:00-19:30	遠隔授業(同期型)	アダプティブ臨床試験デザイン	平川 晃弘 佐藤 宏征
3	10/3	18:00-19:30	遠隔授業(同期型)	ベイズ流臨床試験デザイン	平川 晃弘 佐藤 宏征
4	10/10	18:00-19:30	遠隔授業(同期型)	がん臨床試験デザイン	平川 晃弘 佐藤 宏征
5	10/17	18:00-19:30	遠隔授業(同期型)	マスタープロトコル試験	平川 晃弘 佐藤 宏征
6	10/24	18:00-19:30	遠隔授業(同期型)	診断性能試験(ROC 解析による診断能評価)	平川 晃弘 佐藤 宏征
7	10/31	18:00-19:30	遠隔授業(同期型)	予後・治療効果予測アルゴリズムの構築と検証法	平川 晃弘 佐藤 宏征
8	11/7	18:00-19:30	遠隔授業(同期型)	これからの臨床試験(最近の話題)	平川 晃弘 佐藤 宏征
授業方法 科目担当者の講義による。					
授業内容 別表のとおり。					
成績評価の方法 8 回のうち 5 回以上の出席が必要で、成績評価は提出レポート内容(50 点)と参加状況(50 点)を総合して評価する。					
準備学習等についての具体的な指示 臨床試験方法論(基礎)を必ず受講すること。					
参考書 “椿 広計(編集), 佐藤 俊哉(編集), 藤田 利治(編集). これからの臨床試験—医薬品の科学的評価-原理と方法. 朝倉書店 内田一郎, 芹生卓(編集). (2022) 製薬医学入門:くすりの価値最大化をめざして. メディカル・サイエンス・インターナショナル”					

Lecture No	031920				
Subject title	Clinical Trial Methodology: Advanced			Subject ID	GH—b3084-L
Instructors					
Semester	Fall 2024	Level	1st – year	Units	1
Course by the instructor with practical experiences					
All classes are taught in Japanese.					
Lecture place					
in-person or online lesson (by Zoom)					
Course Purpose and Outline					
Course Objectives					
To acquire innovative clinical trial designs					
Overview					
To learn group sequential design, adaptive design, Bayesian design, platform studies, along with clinical trial designs in oncology.					
Course Objective(s)					
Be able to design appropriate clinical trials based on research objectives and feasibility. Be able to assess the level of evidence from clinical trial publication.					
Lecture plan					
No	Date	Time	Room	Lecture theme	Staff
1	9/19	18:00–19:30	遠隔授業(同期型)		HIRAKAWA Akihiro, SATOU Hiroyuki
2	9/26	18:00–19:30	遠隔授業(同期型)		HIRAKAWA Akihiro, SATOU Hiroyuki
3	10/3	18:00–19:30	遠隔授業(同期型)		HIRAKAWA Akihiro, SATOU Hiroyuki
4	10/10	18:00–19:30	遠隔授業(同期型)		HIRAKAWA Akihiro, SATOU Hiroyuki
5	10/17	18:00–19:30	遠隔授業(同期型)		HIRAKAWA Akihiro, SATOU Hiroyuki
6	10/24	18:00–19:30	遠隔授業(同期型)		HIRAKAWA Akihiro, SATOU Hiroyuki
7	10/31	18:00–19:30	遠隔授業(同期型)		HIRAKAWA Akihiro, SATOU Hiroyuki
8	11/7	18:00–19:30	遠隔授業(同期型)		HIRAKAWA Akihiro, SATOU Hiroyuki
Lecture Style					
Lectures					
Grading System					
Attendance at least 5 out of 8 sessions required.					
Participations (50%) and essay (50%)					
Prerequisite Reading					
Required to participate in course of Clinical Trial Methodology (Basic).					
Reference Materials					
”椿 広計（編集）, 佐藤 俊哉（編集）, 藤田 利治（編集）. これからの臨床試験—医薬品の科学的評価-原理と方法. 朝倉書店 内田一郎, 芹生卓（編集）. (2022) 製薬医学入門:くすりの価値最大化をめざして. メディカル・サイエンス・インターナショナル”					

時間割番号	031921				
科目名	口腔疫学基礎			科目ID	GH-b3085-L
担当教員	相田 潤, 松山 祐輔, 木野 志保, 石丸 美穂[AIDA Junn, MATSUYAMA Yuusuke, KINO Shiho, ISHIMARU MIHO]				
開講時期	2024 年度前期	対象年次	1～	単位数	1
実務経験のある教員による授業					
全て日本語で行う					
主な講義場所					
Zoom					
授業の目的、概要等					
授業目的					
歯科疫学の基礎を理解する。					
概要					
歯科口腔疾患の疫学の基礎を理解する。国際的なコンテキストを理解して論文がかける土台をつくる。					
授業の到達目標					
歯科・口腔保健分野で臨床疫学研究を実施するにあたり、基礎的な素養を身に着ける。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	7/1	18:00-19:30	遠隔授業(同期型)	論文のコンテキスト: 歯科の記述疫学や EBM の理解	相田 潤
2	7/3	18:00-19:30	遠隔授業(同期型)	観察研究を口腔保健領域の研究から理解する	相田 潤
3	7/8	18:00-19:30	遠隔授業(同期型)	社会疫学を口腔保健領域の研究から理解する	木野 志保
4	7/10	18:00-19:30	遠隔授業(同期型)	口腔保健分野のリアルワールドデータの解析	石丸 美穂
5	7/22	18:00-19:30	遠隔授業(同期型)	口腔と全身の健康の関連とその批判	相田 潤
6	7/24	18:00-19:30	遠隔授業(同期型)	既存データを利用した歯科疫学研究	松山 祐輔
7	7/29	18:00-19:30	遠隔授業(同期型)	研究デザインを明確にした研究計画の立案	相田 潤
8	7/31	18:00-19:30	遠隔授業(同期型)	研究計画発表	相田 潤
授業方法					
科目担当者の講義による。					
授業内容					
別表のとおり。					
成績評価の方法					
8回のうち 5 回以上の出席が必要で、成績評価は提出レポート内容(50 点)と参加状況(50 点)を総合して評価する。					
準備学習等についての具体的な指示					
講義概要に示す各担当教員の講義内容について、下記に示す参考書や文献などを参照して事前に予習することを勧める。また、事前に動画視聴などが必要な授業があるので、注意すること。					
履修上の注意事項					
講義への出席は必須である。また、課されたレポート等は必ず提出すること。					
連絡先(メールアドレス)					
相田 潤:aida.ohp@tmd.ac.jp					
オフィスアワー					
相田 潤:健康推進歯学分野 教授 相田潤					
aida.ohp@tmd.ac.jp					
毎週火曜日 PM.4:30-5:30 歯科棟北 10 階 健康推進歯学分野 図書室					

Lecture No	031921				
Subject title	Oral epidemiology: Basic			Subject ID	GH—b3085—L
Instructors	相田 潤, 松山 祐輔, 木野 志保, 石丸 美穂[AIDA Junn, MATSUYAMA Yuusuke, KINO Shiho, ISHIMARU MIHO]				
Semester	Spring 2024	Level	1st – year	Units	1
Course by the instructor with practical experiences					
All classes are taught in Japanese.					
Lecture place					
Zoom					
Course Purpose and Outline					
Course Objectives					
To understand the basics of dental epidemiology.					
Overview					
To understand the fundamentals of dental epidemiology. To understand the international context and build a foundation for writing papers.					
Course Objective(s)					
Acquire basic knowledge in conducting clinical epidemiological research in the field of dentistry and oral health.					
Lecture plan					
No	Date	Time	Room	Lecture theme	Staff
1	7/1	18:00–19:30	遠隔授業(同期型)		AIDA Junn
2	7/3	18:00–19:30	遠隔授業(同期型)		AIDA Junn
3	7/8	18:00–19:30	遠隔授業(同期型)		KINO Shiho
4	7/10	18:00–19:30	遠隔授業(同期型)		ISHIMARU MIHO
5	7/22	18:00–19:30	遠隔授業(同期型)		AIDA Junn
6	7/24	18:00–19:30	遠隔授業(同期型)		MATSUYAMA Yuusuke
7	7/29	18:00–19:30	遠隔授業(同期型)		AIDA Junn
8	7/31	18:00–19:30	遠隔授業(同期型)		AIDA Junn
Lecture Style					
Depends on the lectures of the course instructor.					
Course Outline					
See table.					
Grading System					
Attendance at least 5 out of 8 sessions is required. Grading will be based on the content of the submitted report (50 points) and participation (50 points).					
Prerequisite Reading					
It is recommended that students prepare in advance for the lectures of each instructor listed in the lecture outline by referring to the reference books and literature listed below. Also, please note that some classes require the viewing of videos, etc., prior to the lecture.					
Email					
AIDA Junn:aida.ohp@tmd.ac.jp					
Instructor's Contact Information					
AIDA Junn:Department of Oral Health Promotion, Graduate School of Medical and Dental Sciences. Prof. Aida at aida.ohp@tmd.ac.jp					
Every Tuesday, 4:30–5:30 PM, Department of Oral Health Promotion, 10th floor, Dental Building North					

時間割番号	031922				
科目名	疫学応用			科目ID	GH-b3086-L
担当教員	相田 潤, 谷 友香子, 伊角 彩, 土井 理美, 松山 祐輔, 木野 志保, 石丸 美穂[AIDA Junn, TANI Yukako, ISUMI Aya, DOI Satomi, MATSUYAMA Yuusuke, KINO Shiho, ISHIMARU MIHO]				
開講時期	2024 年度後期	対象年次	1～	単位数	1
実務経験のある教員による授業					
全て日本語で行う					
主な講義場所					
Zoom、図書館情報検索室 1 (M&D タワー4 階)					
授業の目的、概要等					
授業目的					
疫学の発展的な内容を理解する。					
概要					
疫学の発展的な内容を理解するために、統計ソフトを用いた解析の実際や発展的な内容を学習する。					
授業の到達目標					
疫学研究を実施するにあたり、発展的な知識や実践的な技術を身に着ける。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	10/4	18:00-19:30	遠隔授業(同期型)	欠損値補完1	相田 潤
2	10/11	18:00-19:30	情報検索室 1	欠損値補完2	相田 潤
3	10/18	18:00-19:30	遠隔授業(同期型)	媒介分析と Structural Equation Modeling	伊角 彩, 土井 理美
4	10/21	18:00-19:30	情報検索室 1	傾向スコアを利用した解析1	谷 友香子
5	10/25	18:00-19:30	遠隔授業(同期型)	マルチレベル分析	木野 志保
6	10/28	18:00-19:30	情報検索室 1	傾向スコアを利用した解析2	谷 友香子
7	11/1	18:00-19:30	遠隔授業(同期型)	因果推論(DAG、IV、RD、DID など) 1	松山 祐輔
8	11/8	18:00-19:30	遠隔授業(同期型)	因果推論(DAG、IV、RD、DID など) 2	木野 志保, 石丸 美穂
授業方法					
科目担当者の講義による。					
授業内容					
別表のとおり。					
成績評価の方法					
8回のうち 5 回以上の出席が必要で、成績評価は提出レポート内容(50 点)と参加状況(50 点)を総合して評価する。					
準備学習等についての具体的な指示					
講義概要に示す各担当教員の講義内容について、下記に示す参考書や文献などを参照して事前に予習することを勧める。また、事前に動画視聴などが必要な授業があるので、注意すること。					
参考書					
Szklo M, Nieto F.J. 木原正博、木原雅子訳 アドバンスト分析疫学. メディカルサイエンスインターナショナル. 2020					
履修上の注意事項					
講義への出席は必須である。また、課されたレポート等は必ず提出すること。					
連絡先(メールアドレス)					
相田 潤:aida.ohp@tmd.ac.jp					
オフィスアワー					
相田 潤:健康推進歯学分野 教授 相田潤					
aida.ohp@tmd.ac.jp					
毎週火曜日 PM.4:30-5:30 歯科棟北 10 階 健康推進歯学分野 図書室					

Lecture No	031922																																																										
Subject title	Epidemiology: Adcanced			Subject ID	GH—b3086—L																																																						
Instructors	相田 潤, 谷 友香子, 伊角 彩, 土井 理美, 松山 祐輔, 木野 志保, 石丸 美穂[AIDA Junn, TANI Yukako, ISUMI Aya, DOI Satomi, MATSUYAMA Yuusuke, KINO Shiho, ISHIMARU MIHO]																																																										
Semester	Fall 2024	Level	1st – year	Units	1																																																						
Course by the instructor with practical experiences	All classes are taught in Japanese.																																																										
Lecture place																																																											
Zoom, Library Information Search Room(4th floor of M&D Tower)																																																											
Course Purpose and Outline	Course Objectives To understand the development of epidemiology. Overview In order to understand the advanced contents of epidemiology, students will learn the actual and advanced contents of analysis using statistical software.																																																										
Course Objective(s)	Acquire developmental knowledge and practical skills in conducting epidemiological studies.																																																										
Lecture plan	<table><tr><th>No</th><th>Date</th><th>Time</th><th>Room</th><th>Lecture theme</th><th>Staff</th></tr><tr><td>1</td><td>10/4</td><td>18:00–19:30</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td></td><td>AIDA Junn</td></tr><tr><td>2</td><td>10/11</td><td>18:00–19:30</td><td>情報検索室 1</td><td></td><td>AIDA Junn</td></tr><tr><td>3</td><td>10/18</td><td>18:00–19:30</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td></td><td>ISUMI Aya, DOI Satomi</td></tr><tr><td>4</td><td>10/21</td><td>18:00–19:30</td><td>情報検索室 1</td><td></td><td>TANI Yukako</td></tr><tr><td>5</td><td>10/25</td><td>18:00–19:30</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td></td><td>KINO Shiho</td></tr><tr><td>6</td><td>10/28</td><td>18:00–19:30</td><td>情報検索室 1</td><td></td><td>TANI Yukako</td></tr><tr><td>7</td><td>11/1</td><td>18:00–19:30</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td></td><td>MATSUYAMA Yuusuke</td></tr><tr><td>8</td><td>11/8</td><td>18:00–19:30</td><td>遠隔授業(同期型)</td><td></td><td>KINO Shiho, ISHIMARU MIHO</td></tr></table>					No	Date	Time	Room	Lecture theme	Staff	1	10/4	18:00–19:30	遠隔授業(同期型)		AIDA Junn	2	10/11	18:00–19:30	情報検索室 1		AIDA Junn	3	10/18	18:00–19:30	遠隔授業(同期型)		ISUMI Aya, DOI Satomi	4	10/21	18:00–19:30	情報検索室 1		TANI Yukako	5	10/25	18:00–19:30	遠隔授業(同期型)		KINO Shiho	6	10/28	18:00–19:30	情報検索室 1		TANI Yukako	7	11/1	18:00–19:30	遠隔授業(同期型)		MATSUYAMA Yuusuke	8	11/8	18:00–19:30	遠隔授業(同期型)		KINO Shiho, ISHIMARU MIHO
No	Date	Time	Room	Lecture theme	Staff																																																						
1	10/4	18:00–19:30	遠隔授業(同期型)		AIDA Junn																																																						
2	10/11	18:00–19:30	情報検索室 1		AIDA Junn																																																						
3	10/18	18:00–19:30	遠隔授業(同期型)		ISUMI Aya, DOI Satomi																																																						
4	10/21	18:00–19:30	情報検索室 1		TANI Yukako																																																						
5	10/25	18:00–19:30	遠隔授業(同期型)		KINO Shiho																																																						
6	10/28	18:00–19:30	情報検索室 1		TANI Yukako																																																						
7	11/1	18:00–19:30	遠隔授業(同期型)		MATSUYAMA Yuusuke																																																						
8	11/8	18:00–19:30	遠隔授業(同期型)		KINO Shiho, ISHIMARU MIHO																																																						
Lecture Style	Depends on the lectures of the course instructor.																																																										
Course Outline	See table.																																																										
Grading System	Attendance at least 5 out of 8 sessions is required. Grading will be based on the content of the submitted report (50 points) and participation (50 points).																																																										
Prerequisite Reading	It is recommended that students prepare in advance for the lectures of each instructor listed in the lecture outline by referring to the reference books and literature listed below. Also, please note that some classes require the viewing of videos, etc., prior to the lecture.																																																										
Reference Materials	Epidemiology: Beyond the Basics 4th edition, Jones & Bartlett Learning																																																										
Important Course Requirements	Attendance at lectures is mandatory. All assigned reports and other materials must be submitted.																																																										
Email	AIDA Junn:aida.ohp@tmd.ac.jp																																																										
Instructor's Contact Information	AIDA Junn:Department of Oral Health Promotion, Graduate School of Medical and Dental Sciences. Prof. Aida at aida.ohp@tmd.ac.jp																																																										

Every Tuesday, 4:30–5:30 PM, Department of Oral Health Promotion, 10th floor, Dental Building North

時間割番号	031923				
科目名	臨床疫学解析演習			科目 ID	GH—b3087—
担当教員	藤原 武男, 西村 久明[FUJIWARA Takeo, NISHIMURA Hisaaki]				
開講時期	2024 年度通年	対象年次	2～	単位数	1
実務経験のある教員による授業					
全て日本語で行う					
主な講義場所					
図書館 情報検索室					
授業の目的、概要等					
授業目的					
臨床データの疫学的解析法を習得する。					
概要					
臨床研究のデータ解析で頻用される統計的手法について習得する。学生が解析したいと思っているデータを実際にハンズオンで解析し、リサーチクエスションの作成、データクリーニング、欠損値の処理、共変量の選択、Table 1 の作成、多変量解析、Table 2 の作成までを行う。交互作用、傾向スコア法、多重補完法の実際のやり方にも触れる。					
授業の到達目標					
実際のデータを解析し、記述統計をまとめ、多変量解析を行いその結果をまとめることができるようになること。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	5/7	18:00-19:30	情報検索室 1	2次データを用いたリサーチクエスションの立て方	藤原 武男, 西村 久明
2	5/9	18:00-19:30	情報検索室 1	説明変数、目的変数、共変量(交絡因子、媒介因子、修飾因子)の決め方	藤原 武男, 西村 久明
3	5/14	18:00-19:30	情報検索室 1	データクリーニング、欠損値の考え方、交互作用	藤原 武男, 西村 久明
4	5/16	18:00-19:30	情報検索室 1	Table 1 の作成	藤原 武男, 西村 久明
5	5/21	18:00-19:30	情報検索室 1	多変量解析(回帰分析、ロジスティック回帰分析)	藤原 武男, 西村 久明
6	5/23	18:00-19:30	情報検索室 1	傾向スコア法	藤原 武男, 西村 久明
7	5/28	18:00-19:30	情報検索室 1	多重補完法	藤原 武男, 西村 久明
8	5/30	18:00-19:30	情報検索室 1	Table2の作成	藤原 武男, 西村 久明
授業方法					
科目担当者の講義による。					
授業内容					
別表の通り					
成績評価の方法					
8 回のうち 5 回以上の出席が必要で、成績評価は提出レポート内容(80 点)と参加状況(20 点)を総合して評価する。					
準備学習等についての具体的な指示					
Stataを使います。図書館の情報解析室にインストールしておきますが、自分で購入し自分の PC にインストールしたものを持参することも可能です。自分のデータをなるべく持参するようにしてください。					
参考書					
浦島充佳. Stata による医療系データ分析入門. 東京図書. 2014					
連絡先(メールアドレス)					
藤原 武男.fujiwara.hlth@tmd.ac.jp					

Lecture No	031923				
Subject title	Statistical Analysis of Clinical Data			Subject ID	GH—b3087—
Instructors	藤原 武男, 西村 久明[FUJIWARA Takeo, NISHIMURA Hisaaki]				
Semester	YearLong 2024	Level	2nd – year	Units	1
Course by the instructor with practical experiences					
All classes are taught in Japanese.					
Lecture place					
Library Information Search Room(4th floor of M&D Tower)					
Lecture plan					
No	Date	Time	Room	Lecture theme	Staff
1	5/7	18:00–19:30	情報検索室 1		FUJIWARA Takeo, NISHIMURA Hisaaki
2	5/9	18:00–19:30	情報検索室 1		FUJIWARA Takeo, NISHIMURA Hisaaki
3	5/14	18:00–19:30	情報検索室 1		FUJIWARA Takeo, NISHIMURA Hisaaki
4	5/16	18:00–19:30	情報検索室 1		FUJIWARA Takeo, NISHIMURA Hisaaki
5	5/21	18:00–19:30	情報検索室 1		FUJIWARA Takeo, NISHIMURA Hisaaki
6	5/23	18:00–19:30	情報検索室 1		FUJIWARA Takeo, NISHIMURA Hisaaki
7	5/28	18:00–19:30	情報検索室 1		FUJIWARA Takeo, NISHIMURA Hisaaki
8	5/30	18:00–19:30	情報検索室 1		FUJIWARA Takeo, NISHIMURA Hisaaki
Lecture Style					
Depends on the lectures of the course instructor.					
Course Outline					
See table.					
Grading System					
Attendance at least 5 out of 8 sessions is required.					
Grading will be based on the content of the submitted report (80 points) and participation (20 points).					
Prerequisite Reading					
Reference Materials					
浦島充佳. Stata による医療系データ分析入門. 東京図書. 2014					
Email					
FUJIWARA Takeo.fujiwara.hlth@tmd.ac.jp					

遺伝カウンセリングコース
受講者限定科目

Limited for the Students in GCC

時間割番号	031899				
科目名	人類遺伝学			科目ID	GH—e3069—
担当教員					
開講時期	2024 年度通年	対象年次	1	単位数	2
実務経験のある教員による授業					
2024 年度休講					
全て日本語で行う。					
主な講義場所					
授業日程にあるとおり。					
授業の目的、概要等					
授業目的: 遺伝カウンセラーとして最も基本的な事項である人類遺伝学の基礎事項を学び、遺伝子・染色体が関わる疾患のメカニズムを理解することを通じて、遺伝カウンセラー・遺伝医療従事者に必要な基礎知識を習得する。 概要: 遺伝カウンセラーとして最も基本的な事項である細胞遺伝学、分子遺伝学、メンデル遺伝学、非メンデル遺伝、集団遺伝学などについての系統的な講義である。遺伝情報を治療に役立てていく個別化医療のためにも重要である。					
授業の到達目標					
・人類遺伝学の基礎的事項について理解する。 ・人類遺伝学の基本的事項についてわかりやすく説明できる。 ・臨床的事例に対して、基礎的知識を応用できる。					
授業方法					
内容についての講義に続いて演習形式で知識を深める。					
授業内容					
授業日程のとおり。 毎週火曜日午後 3 時から午後 6 時 10 分					
成績評価の方法					
演習への参加(全 15 回)状況及び最終確認試験結果と適宜レポートの提出により総合的に評価を行う。					
準備学習等についての具体的な指示					
講義前に予め参考資料やインターネットを参照し、基礎的知識を身に付けておくこと。					
教科書					
トンプソン&トンプソン遺伝医学 第 2 版／ロバート L ナスバウム, ロデリック R マキネス, ハンチントン F. ウィラード著 ; 福嶋義光監訳Nussbaum, Robert L.,McInnes, Roderick R.,Willard, Huntington F.,福嶋, 義光,: メディカルサイエンスインターナショナル, 2017					
参考書					
遺伝カウンセリングマニュアル／櫻井晃洋編櫻井, 晃洋,福嶋, 義光,: 南江堂, 2016 遺伝医学への招待／新川詔夫, 太田亨共著,新川, 詔夫,太田, 亨,: 南江堂, 2014 症例でわかる新しい臨床遺伝学／アンドリュー リード, ダイアン ドンナイ著 ; 水谷修紀監訳Read, A. P. (Andrew),Donnai, D. (Dian),水谷, 修紀,: メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2008 トンプソン & トンプソン 『遺伝医学(第 2 版)』(メディカルサイエンスインターナショナル)(2017 年 4 月発行予定)					
履修上の注意事項					
遺伝カウンセリングコース受講者のみ履修可能。					
備考					
特になし。					

Lecture No	031899				
Subject title	Human Genetics			Subject ID	GH—e3069—
Instructors					
Semester	YearLong 2024	Level	1st year	Units	2
Course by the instructor with practical experiences					
Not offered in FY2024					
All classes are taught in Japanese.					
Lecture place					
Please refer to the detaied class schedule.					
Prerequisite Reading					
TextBook					
トンプソン&トンプソン遺伝医学 第 2 版／ロバート L ナスバウム, ロデリック R マキネス, ハンチントン F. ウィラード著；福嶋義光監訳Nussbaum, Robert L.,McInnes, Roderick R.,Willard, Huntington F.,福嶋, 義光.:メディカルサイエンスインターナショナル, 2017					
Reference Materials					
遺伝カウンセリングマニュアル／櫻井晃洋編櫻井, 晃洋,福嶋, 義光.:南江堂, 2016					
遺伝医学への招待／新川詔夫, 太田亨共著新川, 詔夫,太田, 亨.:南江堂, 2014					
症例でわかる新しい臨床遺伝学／アンドリュ― リード, ダイアン ドンナイ著；水谷修紀監訳Read, A. P. (Andrew),Donnai, D. (Dian),水谷, 修紀.:メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2008					
Important Course Requirements					
This class is limited to students in the Genetic Counseling Course.					
Note(s) to Students					
N/A					

時間割番号	031900				
科目名	臨床遺伝学			科目ID	GH—e3070—
担当教員	吉田 雅幸, 鹿島田 健一, 石川 欽也, 新井 正美, 沼部 博直, 奥山 虎之[YOSHIDA MASAYUKI, KASHIMADA KENICHI, ISHIKAWA KINYA, ARAI Masami, NUMABE Hironao, OKUYAMA Torayuki]				
開講時期	2024 年度通年	対象年次	1	単位数	2
実務経験のある教員による授業					
2024 年度休講					
全て日本語で行う。					
主な講義場所					
授業日程にあるとおり。					
授業の目的、概要等					
授業目的: ヒトの遺伝性疾患・先天異常の診断, 治療・管理, 遺伝カウンセリングを扱う臨床遺伝学について理解し, 代表的な遺伝性疾患, すなわち周産期, 小児遺伝(染色体異常・先天異常・奇形症候群), 神経・筋疾患, 家族性腫瘍について幅広く学ぶ。 概要: 臨床現場で遭遇する種々の遺伝性疾患について、その分子遺伝学的機序や病態についてしっかり理解する。さらに、当該疾患の診断治療の手段・方法とそれらの限界についても理解を深める。加えて、実際の臨床現場で患者・クライアントに対して必要十分な情報提供を行うことができる素養を習得する。					
授業の到達目標					
主要な遺伝性疾患の病態、原因、遺伝形式について説明できる。また、それらの疾患に関わる遺伝カウンセリングの基本的な考え方、主な留意点について説明できる。					
授業方法					
講義(全7回)および演習(全7回)					
授業内容					
授業日程のとおり。					
成績評価の方法					
講義および演習への参加(全14回)状況及び最終確認試験結果とレポート提出により総合的に評価を行う。					
準備学習等についての具体的な指示					
講義前に予め参考資料やインターネットを参照し、基礎的知識を身に付けておくこと。					
教科書					
トンプソン&トンプソン遺伝医学／ロバート L. ナスバウム, ロデリック R. マキネス, ハンチントン F. ウィラード著；福嶋義光監訳 Nussbaum, Robert L., McInnes, Roderick R., Willard, Huntington F., 福嶋, 義光.: メディカルサイエンスインターナショナル, 2017					
履修上の注意事項					
遺伝カウンセリングコース受講者のみ履修可能。					
備考					
特になし。					
連絡先(メールアドレス)					
吉田 雅幸: masa.vasc@tmd.ac.jp 江川 真希子:mak-per@tmd.ac.jp					
オフィスアワー					
吉田 雅幸: オフィスアワーは特に定めないが、事前連絡してから訪問すること。 江川 真希子:平日 AM 10:00-PM 15:00 MD タワー9階 遺伝子診療科					

Lecture No	031900				
Subject title	Clinical Genetics		Subject ID	GH—e3070—	
Instructors	吉田 雅幸, 鹿島田 健一, 石川 欽也, 新井 正美, 沼部 博直, 奥山 虎之[YOSHIDA MASAYUKI, KASHIMADA KENICHI, ISHIKAWA KINYA, ARAI Masami, NUMABE Hironao, OKUYAMA Torayuki]				
Semester	YearLong 2024	Level	1st year	Units	2
Course by the instructor with practical experiences					
Not offered in FY2024					
All classes are taught in Japanese.					
Lecture place					
Please refer to the detaied class schedule.					
Prerequisite Reading					
TextBook					
トンプソン&トンプソン遺伝医学／ロバート L. ナスバウム, ロデリック R. マキネス, ハンチントン F. ウィラード著 ; 福嶋義光監訳Nussbaum, Robert L.,McInnes, Roderick R.,Willard, Huntington F.,福嶋, 義光,: メディカルサイエンスインターナショナル, 2017					
Important Course Requirements					
This class is limited to students in the Genetic Counseling Course.					
Note(s) to Students					
N/A					

時間割番号	031911				
科目名	遺伝カウンセリング学		科目ID	GH—e3076—	
担当教員	吉田 雅幸, 江花 有亮, 江川 真希子, 甲畑 宏子, 三宅 秀彦, 松岡 裕美, 池田 まさみ, 山口 友子[YOSHIDA MASAYUKI, EBANA YUSUKE, EGAWA MAKIKO, KOBATA HIROKO, MIYAKE Hidehiko, MATSUOKA HIROMI, IKEDA Masami, YAMAGUCHI Yuuko]				
開講時期	2024 年度通年	対象年次	1	単位数	3
実務経験のある教員による授業					
2024 年度休講					
全て日本語で行う。					
主な講義場所					
授業日程にあるとおり。					
授業の目的、概要等					
授業目的: 遺伝カウンセリングについて、歴史、概念、カウンセリング技術、遺伝医学的評価、文書作成等について総論を学ぶ。 概要: 遺伝カウンセリングの専門職として遺伝医療に携わるに当たり必要な遺伝カウンセリングの基本的事項(歴史、概念、面接技術、遺伝医学的評価)を習得し、実際の臨床現場で要求される文書作成やコミュニケーションについて総論を学ぶ。					
授業の到達目標					
遺伝カウンセリングの概念および理念を理解し、遺伝カウンセリングの実施に必要な基礎的理解および技能を身につける。 遺伝カウンセリングの実践に必要な知識およびスキルを理解し、説明できる。 遺伝カウンセリングに必要な基本的なコミュニケーションを実施できる。 クライアントの心理社会的背景を理解し、説明できる。 遺伝カウンセリング研究の手法を適用できる。					
授業方法					
講義・演習					
授業内容					
シラバス記載のとおり。					
成績評価の方法					
講義・演習への参加状況及び各講義の前(もしくは後)に出題する課題に対するレポートにより総合的に評価を行う。					
成績評価の基準					
講義ごとのレポート内容(60 点)と演習を含めた参加状況(40 点)を総合して評価する。					
準備学習等についての具体的な指示					
講義前に予め参考資料やインターネットを参照し、基礎的知識を身に付けておくこと。 ※各講義前に具体的にレポート作成課題等の指示を行います					
試験の受験資格					
85%以上(27 回以上)の出席を必須とする					
教科書					
遺伝カウンセリングガイド：日本語版／Wendy R. Uhlmann, Jane L. Schuette, Beverly M. Yashar [編]；福島明宗, 川目裕, 山本佳世乃日本語版監訳Uhlmann, Wendy R.,Schuette, Jane L.,Yashar, Beverly M.,福島, 明宗,川目, 裕,山本, 佳世乃.:メディカルドゥ, 2021					
参考書					
Psychosocial genetic counseling／Jon Weil: Oxford University Press, 2000 悲嘆カウンセリング：臨床実践ハンドブック／J.W.ウォーデン著；上地雄一郎, 桑原晴子, 濱崎碧訳Worden, J. William (James William),上地, 雄一郎,桑原, 晴子,濱崎, 碧,山本, 力.:誠信書房, 2011 Advanced Genetic Counseling: Theory and Practice／Barbara B. Biesecker (著), Kathryn F. Peters (著), Robert Resta (著): Oxford Univ Pr, 2019 Facilitating the Genetic Counseling Process: Practice-Based Skills／Patricia McCarthy Veach (著), Bonnie S. LeRoy (著), Nancy P. Callanan					

(著): Springer, 2018 対象喪失 : 悲しむということ／小此木啓吾 著: 中央公論新社, 2000 A Guide to Genetic Counseling, Second Edition／Wendy R. Uhlmann (編集), Jane L. Schuette (Series Editor), Beverly Yashar (Series Editor): Wiley-Blackwell, 2009
履修上の注意事項 遺伝カウンセリングコース受講者のみ履修可能。
備考 特になし。
連絡先(メールアドレス) 吉田 雅幸: masa.vasc@tmd.ac.jp
オフィスアワー 吉田 雅幸: オフィスアワーは特に定めませんが、事前連絡してから訪問すること。

Lecture No	031911				
Subject title	Genetic Counseling		Subject ID	GH—e3076—	
Instructors	吉田 雅幸, 江花 有亮, 江川 真希子, 甲畑 宏子, 三宅 秀彦, 松岡 裕美, 池田 まさみ, 山口 友子[YOSHIDA MASAYUKI, EBANA YUSUKE, EGAWA MAKIKO, KOBATA HIROKO, MIYAKE Hidehiko, MATSUOKA HIROMI, IKEDA Masami, YAMAGUCHI Yuuko]				
Semester	YearLong 2024	Level	1st year	Units	3
Course by the instructor with practical experiences					
Not offered in FY2024					
All classes are taught in Japanese.					
Lecture place					
Please refer to the detailed class schedule.					
Course Purpose and Outline					
Learn about genetic counseling, history, concepts, counseling techniques, risk assessment, etc.					
Course Objective(s)					
Understand the concepts and philosophy of genetic counseling, and acquire the genetic counseling skills.					
Lecture Style					
Lectures and exercises					
Course Outline					
Please refer to the detailed class schedule.					
Grading System					
Comprehensive evaluation is based on the status of participation in lectures and exercises and reports on assignments before (or after) each lecture.					
Grading Rule					
The report contents (60%) and the participation (40%).					
Prerequisite Reading					
Before starting the lecture, refer to the reference books and the Internet to acquire basic knowledge.					
* Providing specific instructions for creating reports before each lecture					
Exam eligibility					
The qualification for examination is over 85% of the attendance.					
TextBook					
遺伝カウンセリングガイド：日本語版／Wendy R. Uhlmann, Jane L. Schuette, Beverly M. Yashar [編]；福島明宗, 川目裕, 山本佳世乃日本語版監訳Uhlmann, Wendy R.,Schuette, Jane L.,Yashar, Beverly M.,福島, 明宗,川目, 裕,山本, 佳世乃.:メディカルドウ, 2021					
Reference Materials					
Psychosocial genetic counseling／Jon Weil: Oxford University Press, 2000					
悲嘆カウンセリング：臨床実践ハンドブック／J.W.ウォーデン著；上地雄一郎, 桑原晴子, 濱崎碧訳Worden, J. William (James William),上地, 雄一郎,桑原, 晴子,濱崎, 碧,山本, 力.:誠信書房, 2011					
Advanced Genetic Counseling: Theory and Practice／Barbara B. Biesecker (著), Kathryn F. Peters (著), Robert Resta (著): Oxford Univ Pr, 2019					
Facilitating the Genetic Counseling Process: Practice-Based Skills／Patricia McCarthy Veach (著), Bonnie S. LeRoy (著), Nancy P. Callanan (著): Springer, 2018					
対象喪失：悲しむということ／小此木啓吾 著: 中央公論新社, 2000					
A Guide to Genetic Counseling, Second Edition／Wendy R. Uhlmann (編集), Jane L. Schuette (Series Editor), Beverly Yashar (Series Editor): Wiley-Blackwell, 2009					
Important Course Requirements					
This class is limited to students in the Genetic Counseling course.					

Note(s) to Students

N/A

時間割番号	031902				
科目名	遺伝カウンセリング実習			科目ID	GH—e3072—
担当教員					
開講時期	2024 年度2年通年	対象年次	1～2	単位数	6
実務経験のある教員による授業					
全て日本語で行う。					
主な講義場所 医学部附属病院					
授業の目的、概要等 授業目的: 遺伝カウンセリングの現場に同席し、その現状を体験するとともに、家系図の作成、フォローアップ予約などを実際のクライアントに対しておこなう。また、陪席後に遺伝カウンセリング記録の作成を行う 概要: 1年次の後半ころから遺伝カウンセリング実習を開始する。学生個人個人の知識・到達度から判断し、2年間で60症例程度を経験するとともに、遺伝カウンセリング記録を作成できるようになることを目標とする。この実習を通し、クライアントへの適切な接し方、予診の聴取、家系図の作成を習得する症例をまとめ、医学的・心理社会的・倫理的問題について文献を検索し、最新情報を入手する。各疾患の想定症例数は以下の通りである: 周産期領域(出生前診断) 150 例、遺伝性腫瘍領域 50 例、小児科領域・保因者診断 20 例、神経筋疾患領域 40 例、その他 40 例。					
授業の到達目標 遺伝カウンセリングを行う上で必要とされる下記の事項について修得する。 1)クライアントとの人間関係に配慮できる 2)クライアントの問題事・心配事を聞き取り、説明できる 3)クライアントの持つ遺伝学的背景をアセスメントできる 4)クライアントの遺伝的問題から生じる心理・社会的問題の支援に必要な事項を説明できる 5)クライアントの課題・問題の明確化・意思決定に必要な情報提供について説明できる 6)クライアントの意思決定支援に参加できる					
授業方法 実際の遺伝カウンセリングに陪席しつつ実習を行う。					
授業内容 遺伝子診療科の診療時間に合わせて適宜実施される。					
成績評価の方法 実習への参加状況および具体的なカウンセリング内容などから総合的に評価を行う。					
成績評価の基準 実習への参加状況および具体的なカウンセリング内容などから総合的に評価を行う。					
準備学習等についての具体的な指示 講義前に予め参考資料やインターネットを参照し、基礎的知識を身に付けておくこと。					
履修上の注意事項 遺伝カウンセリングコース受講者のみ履修可能。					
備考 特になし。					

Lecture No	031902				
Subject title	Genetic Counseling Practice			Subject ID	GH—e3072—
Instructors					
Semester	YearLong 2024	Level	1st – 2nd year	Units	6
Course by the instructor with practical experiences					
All classes are taught in Japanese.					
Prerequisite Reading					
Important Course Requirements					
This class is limited to students in the Genetic Counseling Course.					
Note(s) to Students					
N/A					

時間割番号	031903				
科目名	研究倫理演習			科目ID	GH—e3073—
担当教員					
開講時期	2024 年度2年通年	対象年次	1～2	単位数	1
実務経験のある教員による授業					
全て日本語で行う。					
主な講義場所 別途連絡					
授業の目的、概要等 授業目的: 研究や医療行為に関連する倫理的課題を研究倫理審査申請書の内容を理解し、必要な規制などの観点から適切に作成されているかどうかをチェックすることを通して、研究や医療行為に関連する倫理的課題に対して科学的かつ倫理的に妥当な判断ができる能力を培う。 概要: 医学・生物学の急速な技術的進歩を社会に有用な形で還元して行くためには、これまでの医学・生物学の発展と社会的葛藤の歴史を正しく認識し、国際的にも通用する確かな生命倫理学的知識を身につける必要がある。特に遺伝情報やES細胞などの利用に際しても、生命倫理学に基づき適格な判断ができるように指導する。研究者にとって最も身近な研究倫理審査について実習を交えて学習する。					
授業の到達目標 生命倫理学の歴史、インフォームドコンセント、先端医療現場における倫理的課題を説明できる。 ヒトを対象とした臨床研究における倫理的課題について説明ができ、配慮できる。					
授業方法 講義、グループディスカッション					
授業内容 授業日程のとおりの曜日・木曜日の午前 10 時 30 分から 12 時まで					
成績評価の方法 授業への参加(全 6 回)状況及び実際の研究計画書の審査が適切に行えるかどうかを判断して評価を行う。尚、「研究倫理実習」を併せて受講した場合、認定倫理審査専門職(CReP)を受検することができる。					
準備学習等についての具体的な指示 講義前に予め参考資料やインターネットを参照し、基礎的知識を身に付けておくこと。					
参考書 [入門書] ブレーン出版「遺伝診療をとりまく社会」 水谷修紀、吉田雅幸 監修(絶版ですので必要な時は生命倫理研究センターで貸し出しますので申し出て下さい) [参考書]1. 教育出版「テーマ30 生命倫理」 生命倫理教育研究協議会 著(絶版ですが中古はわりと入手しやすいです) 2. 文春新書474「いのち 生命科学に言葉はあるか」 最相葉月 著(絶版ですが中古はわりと入手しやすいです) 3. 医学出版 ポストゲノム時代の医療倫理 東京医科歯科大学生命倫理研究センター著(絶版ですので必要な時は生命倫理研究センターで貸し出しますので申し出て下さい) 4. じほう Ethical Issues Concerning Advanced Research 鈴木章夫 吉田雅幸 編著					
履修上の注意事項 遺伝カウンセリングコース受講者のみ履修可能。					
備考 特になし。					

Lecture No	031903				
Subject title	Research Ethics Practice			Subject ID	GH—e3073—
Instructors					
Semester	YearLong 2024	Level	1st – 2nd year	Units	1
Course by the instructor with practical experiences					
All classes are taught in Japanese.					
Prerequisite Reading					
Important Course Requirements					
This class is limited to students in the Genetic Counseling Course.					
Note(s) to Students					
N/A					

後期英語開講科目
(10 月入学者)

Courses held in English
in Fall Semester
(Mainly for students
enrolled in October)

Lecture No	031912				
Subject title	Introduction to Biomedical Sciences and Engineering			Subject ID	GH—b3077—
Instructors	影近 弘之, 豊島 文子, 松田 憲之, 後藤 利保, 仁科 博史, 細谷 孝充, 松元 亮, 川下 将一, 玉村 啓和, 伊藤 暢聡, 岸田 晶夫, 梶 弘和, 池内 真志, 中島 義和, 内田 智士[KAGECHIKA HIROYUKI, TOYOSHIMA Fumiko, MATSUDA Noriyuki, GOTO TOSHIYASU, NISHINA HIROSHI, HOSOYA TAKAMITSU, MATSUMOTO AKIRA, KAWASHITA Masakazu, TAMAMURA HIROKAZU, ITO NOBUTOSHI, KISHIDA AKIO, KAJI Hirokazu, IKEUCHI Masashi, NAKAJIMA Yoshikazu, UCHIDA SATOSHI]				
Semester	Fall 2024	Level	1st – 2nd year	Units	2
Course by the instructor with practical experiences					
生命理工学概論(英語)					
All classes are taught in English.					
Lecture place					
Please refer to the detailed class schedule.					
Course Purpose and Outline					
Course Purpose:					
The course teaches the fundamental biology, chemistry and engineering for students who may have various academic backgrounds.					
Outline:					
Knowledge of a wide range of bio-related science is needed to fully understand and utilize results of latest biosciences. This series of lectures cover basic ideas of molecular biology, protein chemistry, organic chemistry and bioengineering, and is expected to widen intellectual horizons of students and improve their understanding the complex nature of current biosciences.					
Course Objective(s)					
Course Objective(s):					
Students who may have various academic backgrounds to acquire a certain level of understanding of biology, chemistry and engineering, which will be helpful in research of life science and technology and in social activities after graduation.					
Lecture plan					
No	Date	Time	Room	Lecture theme	Staff
1	10/8	13:00–14:30	遠隔授業(同期型)	Cell organelles	MATSUDA Noriyuki
2	10/8	14:40–16:10	遠隔授業(同期型)	Organ regeneration	NISHINA HIROSHI
3	10/9	13:00–14:30	遠隔授業(同期型)	Signal transduction	GOTO TOSHIYASU
4	10/9	14:40–16:10	遠隔授業(同期型)	Genetics and genomics	UCHIDA SATOSHI
5	10/10	13:00–14:30	遠隔授業(同期型)	Stem cell biology	TOYOSHIMA Fumiko
6	10/10	14:40–16:10	遠隔授業(同期型)	Fundamental organic chemistry	KAGECHIKA HIROYUKI
7	10/10	16:20–17:50	遠隔授業(同期型)	Proteins: Their structures and functions	ITO NOBUTOSHI
8	10/11	08:50–10:20	遠隔授業(同期型)	Organic chemistry for biology	HOSOYA TAKAMITSU
9	10/11	10:30–12:00	遠隔授業(同期型)	Fundamental medicinal chemistry	TAMAMURA HIROKAZU
10	10/11	13:00–14:30	遠隔授業(非同期型)	Diagnostic & Therapeutic Systems Engineering	KAJI Hirokazu
11	10/15	13:00–14:30	遠隔授業(同期型)	Precision engineering in biomedicine	IKEUCHI Masashi
12	10/15	14:40–16:10	遠隔授業(同期型)	Biomedical information science	NAKAJIMA Yoshikazu
13	10/16	13:00–14:30	遠隔授業(同期型)	Materials science I	MATSUMOTO AKIRA
14	10/16	14:40–16:10	遠隔授業(同期型)	Materials science II	KAWASHITA Masakazu
15	10/17	13:00–14:30	遠隔授業(同期型)	Colloid and interface science	KISHIDA AKIO
Lecture Style					
Lecture					
Course Outline					

[No.1] Cell organelles

Organelles are spatially distinct functional units within cells exemplified as Nucleus, Endoplasmic Reticulum (ER), Golgi apparatus, Lysosome, and Mitochondria. In this lecture, students learn overview of a typical animal cell and its major substructure namely organelle.

[No.2] Organ regeneration

In this lecture, students will learn the basics of mammalian organ regeneration. It is useful for understanding regenerative medicine. In this lecture, students will learn the basics of mammalian organ regeneration. It is useful for understanding regenerative medicine.

[No.3] Signal transduction

The mechanisms of intracellular signal transduction are conserved in development of organisms. In this lecture, students learn the molecular mechanisms of signal transduction networks that control various biological regulatory systems in *Xenopus* and mammalian cultured cells.

[No.4] Genetics and genomics

Genetics and genomics both play important roles in biology and medical science. In this lecture, students learn how genetic and genomic research have been helped to understand human health and diseases.

[No.5] Stem cell biology

Stem cells are essential for development, homeostasis, and regeneration. In this lecture, students will learn how stem cells are regulated to build tissue architecture and maintain organ homeostasis. This lecture will also cover recent topics related to stem cell deterioration in disease and aging.

[No.6] Fundamental organic chemistry

In this lecture, students learn the principles of structures and reactions of organic molecules, which are important to understand the biological phenomenon at molecular level and to develop biofunctional molecules.

[No.7] Proteins: Their structures and functions

Proteins are essential machinery for life. Their chemical and physical features are discussed in the lecture. Some experimental methods to elucidate their functions are also explained.

[No.8] Organic chemistry for biology

In this lecture, students learn the fundamentals of organic chemistry important to understand biology.

[No.9] Fundamental medicinal chemistry

In this lecture, students learn the fundamentals of medicinal chemistry important to drug discovery, including small drugs, mid-size drugs and biologics.

[No.10] Diagnostic & Therapeutic Systems Engineering

Students learn the latest trends in medical devices and systems for diagnostic and therapeutic purposes and related research fields.

[No.11] Precision engineering in biomedicine

Students learn the principles of applied physics, precision mechatronics and fabrication technology to help transfer new technologies into biomedical products that satisfy demanding safety, miniaturization and accuracy requirements.

[No.12] Biomedical information science

This lecture provides the principles of medical data science such as statistics, numerical simulations and artificial intelligence analyses. In addition, some advanced applications of medical data research are introduced.

[No.13] Materials science I

Materials science provides the general information of metals, ceramics and polymers. Materials science I treats polymeric materials mainly. Topic includes polymer synthesis, viscoelasticity of polymers, and functions of polymers.

[No.14] Materials science II Materials science II treats metals and ceramics. Topics include atomic structure and atomic arrangement of materials, crystal and amorphous state, melting point and glass transition temperature, mechanical and chemical properties of metal and ceramics. [No.15] Colloid and interface science Colloid and interface science is important to understand the biological reaction to biomaterials and to fabricate functional biomaterials, such as DDS, implantable devices and so on.
Grading System Attendance
Prerequisite Reading It is recommended that one refers to the textbook (below) before the lecture.
Reference Materials Molecular Cell Biology, Harvey Lodish etc, 8th edition, W H Freeman & Co; Molecular Biology of the Cell, Bruce Alberts etc, 6th edition, Garland Science; Fundamentals of Organic Chemistry, John McMurry & Eric Simanek, 6th edition, Brooks/Cole Pub Co.
Important Course Requirements N/A
Note(s) to Students N/A
Email KAGECHIKA HIROYUKI kage.chem@tmd.ac.jp
Instructor's Contact Information KAGECHIKA HIROYUKI Every Wednesday and Thursday, AM.10:00-PM.2:00 Dept. 21nd, 6 F, 609A

Lecture No	031907				
Subject title	Special Lectures for Advanced Research on Life Science and Technology			Subject ID	GH—a3003—
Instructors					
Semester	YearLong 2024	Level	1st year	Units	1
Course by the instructor with practical experiences					
医歯理工学先端研究特論(秋期)					
Contact: Educational Planning Section, TEL:03-5803-4534、Email: grad02@ml.tmd.ac.jp					
Availability in English:					
Lecture place					
Mainly at lecture rooms in TMDU. Announced beforehand.					
Course Purpose and Outline					
Course Purpose:This course requires students to attend lectures and seminars in which top scientists inside and outside TMDU talk, learn leading advances in research fields, and join in academic discussion.					
Outline:Students register and attend the research seminars (listed below)					
held at our university and presented by invited speakers. These seminars should provide students with exposure to forefront research covering a wide range of topic areas from experts in their discipline.					
Course Objective(s)					
Students have to attend eight or more registered lectures and seminars. Learn advances in research fields, which will be helpful in research for thesis and research, and social activities after graduation.					
Lecture Style					
Attending lectures and seminars that are announced in advance.					
Course Outline					
Lectures and seminars that are registered for this course includes:					
1) Graduate School Special Lecture「大学院特別講義」					
2) Graduate School Seminar「大学院セミナー」					
※「がんプロ」「ボータレス」seminars are NOT countable.					
【URL】 http://www.tmd.ac.jp/faculties/graduate_school/seminar/index.html					
3) Medical Research Institute (MRI) Seminar					
【URL】 http://www.tmd.ac.jp/mri/events/index.html					
4) Institute of Biomaterials and Bioengineering (IBB) Seminar					
【URL】 http://www.tmd.ac.jp/ibb/information/					
Each lecture and seminar is announced in the poster and the TMDU home page on the following URL. Graduate School Special Lectures are listed in the following pages.					
Other seminars can be registered in this course if the supervisor apply for it. (They have to be open to any audience without preregistration and free of admission fee.)					
Grading System					
Students who attend eight or more lectures and seminars are evaluated. The attendance at eight lectures is basically considered to have achieved all the goals. In addition, if a student attends much more than eight times or participates in discussion by asking questions or giving comments, he/she may be considered to have achieved the level higher than expected.					
Prerequisite Reading					
Refer to the announcement of each lecture and seminar.					

Reference Materials

Refer to the announcement of each lecture and seminar.

Important Course Requirements

Attend all lectures in the first one year. Specifically, attend the required number of lectures (cf. "Grading System" above) by the end of July of the first year with your attendance record form. In August and September, you do not need to record your attendance into the attendance record form. It is preferable to attend lectures and seminars in a wide range of research fields. Refer to the announcement of each lecture and seminar for language.

Get a signature of your supervisor in the attendance record form each time a student attends it. If you speak something during the seminar (but not after the close of the seminar), write down your remarks in the "comment" area of the attendance record form and get a signature of the host of the lecture. Submit the attendance record form by the end of July of the first one year to Educational Planning Section.

In the case of lectures held by using Zoom:

Get the signature of your supervisor in the "attendance confirmation column" of the attendance record form after attending a lecture, as in the case of the face-to-face lecture. After asking a question or making a discussion in the lecture, write down your remarks in the "comment" area of the attendance record form. The "signature of the instructor in charge of the seminar" area should be left blank. (The office staff will confirm it with the instructor in charge later.)

Important notice for students who attend Graduate School Special Lectures. (This notice is for students who register MPH courses and need to be understood well.) Students who register the following MPH courses, some lectures of which are same as Graduate School Special Lectures, have to check the topics listed in Graduate School Special Lectures in advance carefully and attend Graduate School Special Lectures which are not included in the following MPH courses. Please make sure that your attendance(s) at lectures which are overlapped between subjects in MPH course and Graduate School Special Lectures will not be counted as attendance(s) at lectures in Special Lectures for Advanced Research on Life Science and Technology.

(List of MPH courses which include same lectures as Graduate School Special Lectures)

- Epidemiology II
- Public Health Biology
- Planetary Health
- Global Health
- Healthcare Business
- Behavioral Sciences
- Environmental Health

Lecture No	031852				
Subject title	Immunology			Subject ID	GH—b3260—L
Instructors	瀬川 勝盛, 反町 典子, 東 みゆき, 久保 允人, 北村 大介, 檜木 俊聡, 長谷川 温彦, 早川 清雄, 王 継揚, 築地 信[SEGAWA Katsumori, SORIMACHI NORIKO, AZUMA MIYUKI, KUBO MASATO, KITAMURA DAISUKE, OTEKI TOSHIAKI, HASEGAWA ATSUHIKO, HAYAKAWA Sumio, O KEIYO, TSUJII Makoto]				
Semester	Fall 2024	Level		Units	2
Course by the instructor with practical experiences					
免疫学(英語)					
Immunity is an essential field of study both scientifically and socially. This lecture will explain the cells that constitute the immune system, its functions, and the basic principles and control mechanisms of immune responses. The course will also cover immune diseases caused by the breakdown of the immune system, the mechanisms underlying their treatment, and the latest findings of immunological research.					
Lecture place					
Please ask instructors about the lecture room before taking the course, as it varies by program.					
Course Purpose and Outline					
The lecture will cover a wide range of topics, from the basics to the latest findings in immunology for students who have not yet taken a course in immunology. This course will develop immunological thinking based on scientific evidence by understanding the immune cells and their biological functions that play a role in the immune system and the pathogenesis of various immunological diseases.					
Course Objective(s)					
This course aims to understand the basic principles of immunity and the cells and functions that are the mainstay of innate and acquired immunity from the molecular and the physiology or disease perspective.					
Lecture plan					
No	Date	Time	Room	Lecture theme	Staff
1	10/28	08:50-10:20	大学院特別講義室	Immunology Introduction	SEGAWA Katsumori
2	10/28	10:30-12:00	大学院特別講義室	Immunology Introduction	SEGAWA Katsumori
3	10/30	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	B cells and Antibody	TSUBATA TAKESHI
4	10/30	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	B cells and Antibody	TSUBATA TAKESHI
5	10/31	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	Thymic selection and T cell development	SUZUKI Harumi
6	10/31	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	Thymic selection and T cell development	SUZUKI Harumi
7	11/6	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	T cell biology	KIMURA Motoko
8	11/6	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	Immune tolerance & regulatory T cells	YOSHIDA Hideyuki
9	11/7	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	Immune checkpoint & cancer immunology	CHIKUMA Shunnsuke
10	11/7	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	T cell differentiation, activation, and dysregulation —Understanding autoimmune diseases—	SANO Teruyuki
11	11/11	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	Immune regulation by innate immune cells and its disorder	ASANO Kenichi
12	11/11	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	Next-generation vaccine development	FUKUYAMA Hidehiro
13	11/18	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	Host immune defenses against viral infections	HASEGAWA Atsuhiko
14	11/18	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	Mucosal Immunology	OTEKI TOSHIAKI
15	11/18	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	Innate immunity and chronic inflammation	HAYAKAWA Sumio
Grading System					
Evaluation will be based on the exam results (70%) and class participation (30%).					
Prerequisite Reading					
Basic knowledge of immunology is not required. Yet, knowledge of biochemistry and molecular biology is required. If necessary, please prepare in advance.					
Reference Materials					
Immunobiology／Charles A. Janeway,Janeway, Charles A., : Garland Pub.					

Important Course Requirements

Before the lecture, please check your basic knowledge of biology and molecular biology that you have learned in high school and undergraduate. In addition, students should read the related literature introduced in the lecture after the lecture to deepen their understanding.

Email

SEGAWA Katsumori:segawa.mche@tmd.ac.jp

Instructor's Contact Information

SEGAWA Katsumori:Every Friday from 5:00 PM to 6:00 PM M&D Tower 22F_N2206

Lecture No	031853				
Subject title	Developmental and Regenerative Bioscience			Subject ID	GH—b3262—L
Instructors	樽木 俊聡, 仁科 博史, 浅原 弘嗣, 佐藤 卓, 小藤 智史, 金井 正美, 田賀 哲也, 井関 祥子[OTEKI TOSHIAKI, NISHINA HIROSHI, ASAHARA HIROSHI, SATOU Taku, KOFUJI Satoshi, KANAI MASAMI, TAGA TETSUYA, ISEKI SACHIKO]				
Semester	Fall 2024	Level		Units	2
Course by the instructor with practical experiences					
発生・再生科学(英語) Developmental and Regenerative Bioscience 英語による授業: 同じ内容の英語授業を別日程で開講している(2025 年度秋開講予定)。 Availability in English: Same classes are offered in English on different schedules. (Fall 2025)					
Prerequisite Reading					

Lecture No	031851					
Subject title	Introduction to Medical Neurosciences			Subject ID	GH—b3259—L	
Instructors	味岡 逸樹, 味岡 逸樹, 田中 ひかり, 上阪 直史, 高橋 真有, 磯村 宜和, 平 理一郎, 平岡 優一, 七田 崇, 塩飽 裕紀, 永田 哲也, 田中 大介[AJIOKA ITSUKI, AJIOKA ITSUKI, TANAKA Hikari, UESAKA Naofumi, TAKAHASHI MAYU, ISOMURA Yoshikazu, HIRA Riichirou, HIRAOKA Yuuichi, SHICHITA Takashi, SHIWAKU Hiroki, NAGATA TETSUYA, TANAKA DAISUKE]					
Semester	Fall 2024	Level		Units	2	
Course by the instructor with practical experiences						
神経疾患特論(英語)						
All lectured will be in English.						
Lecture place						
online						
Course Purpose and Outline						
Course Objective: To understand the basic principles of the development and physiological function of the nervous system and the pathology and etiology of various neurological and psychiatric disorders, as well as to acquire basic knowledge on how to conduct actual research.						
Abstract: Lectures will be given on normal brain functions, basic methodologies of brain research, and outline of neuropsychiatric disorders caused by brain dysfunction.						
Course Objective(s)						
Understand the basic principles and molecular basis of brain formation and physiological function. In addition, students will gain an understanding of the latest findings in the pathogenesis of major neuropsychiatric disorders.						
Lecture plan						
No	Date	Time	Room	Lecture theme	Lecture content	Staff
1	10/30	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	Neural Development 1	Neurogenesis	AJIOKA ITSUKI
2	10/30	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	Neural Development 2	Neuronal Differentiation	AJIOKA ITSUKI
3	11/1	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	Neural Development 3	Synaptogenesis	UESAKA Naofumi
4	11/1	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	Neurophysiology 1	Neural Circuit	TAKAHASHI MAYU
5	11/6	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	Neurophysiology 2	Information Processing	ISOMURA Yoshikazu
6	11/6	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	Fundamental Technology 1	Microscopic Analysis	HIRA Riichirou
7	11/8	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	Fundamental Technology 2	Genome Editing	HIRAOKA Yuuichi
8	11/8	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	Fundamental Technology 3	Behavioral Analysis	HIRAOKA Yuuichi
9	11/20	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	Neuropathology 1	Neuroimmunology	SHICHITA Takashi
10	11/20	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	Neuropathology 2	Neural Repair	SHICHITA Takashi
11	11/22	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	Brain and Mind 1	Mental Disorders	SHIWAKU Hiroki
12	11/22	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	Neuropathology 3	Neurodegeneration	NAGATA TETSUYA
13	11/27	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	Brain and Mind 2	Emotion	TANAKA DAISUKE
14	11/27	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	Neuropathology 4	Neuropathology	TANAKA Hikari
15	11/29	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	Summary		AJIOKA ITSUKI
Lecture Style						
Lecture and interactive format.						
Course Outline						
Please refer to the detailed class schedule.						
Grading System						
Examination (50%) and Attendance (50%)						
Prerequisite Reading						

It is recommended that students review “Functional organization of the human body” and prepare for the lecture materials distributed in advance.
Reference Materials カンデル神経科学／Eric R. Kandel [[ほか] 編,Kandel, Eric R.,Koester, John,Mack, Sarah,Siegelbaum, Steven,宮下, 保司,岡野, 栄之 ,神谷, 之康,合田, 裕紀子,加藤, 総夫 (医学),藤田, 一郎 ,伊佐, 正,定藤, 規弘,大隅, 典子,井ノ口, 馨,笠井, 清登 ,:メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2022
Important Course Requirements N/A
Note(s) to Students N/A

Lecture No	031914				
Subject title	Disease OMICS Informatics			Subject ID	GH—b3278—L
Instructors	二階堂 愛[NIKAIDO Itoshi]				
Semester	Fall 2024	Level	1st – year	Units	1
Course by the instructor with practical experiences	疾患オミックス情報学特論(英語) Disease OMICS Informatics 英語による授業: 同じ内容の英語授業を別日程で開講している(2025 年度秋開講予定)。 Availability in English: Same classes are offered in English on different schedules. (Fall 2025)				
Prerequisite Reading					
Email					
dritoshi@gmail.com					
Instructor's Contact Information					
AM.9:00–10:00, Every Monday at 2458, M&D tower (or Zoom)					

Lecture No	031854				
Subject title	Introduction to Chemistry and Biology of Biofunctional Molecules			Subject ID	GH—b3263—L
Instructors	玉村 啓和, 影近 弘之, 細谷 孝充, 隅田 有人, 小早川 拓也, 辻 耕平, 藤井 晋也, 丹羽 節[TAMAMURA HIROKAZU, KAGECHIKA HIROYUKI, HOSOYA TAKAMITSU, SUMIDA YUUTO, KOBAYAKAWA Takuya, TSUJI Kouhei, FUJII Shinnya, NIWA Takashi]				
Semester	Fall 2024	Level		Units	2
Course by the instructor with practical experiences					
機能分子化学(英語)					
All classes are taught in English					
Lecture place					
Please refer to the detailed class schedule.					
Course Purpose and Outline					
Course Purpose:					
The purpose of this course is to fully comprehend basic and application concerning biofunctional molecules.					
Outline:					
This course deals with fundamentals and recent topics related to various biofunctional molecules, such as hormones and proteins, related to gene functions and/or cellular signal transduction. This course also covers the research techniques and their applications in the field of medicinal chemistry and chemical biology.					
Course Objective(s)					
Course Objective(s):					
This course objective is to comprehend structures and functions of various bioactive compounds, such as hormones and proteins, and DNA constructing genome in levels of atoms and molecules, and then to learn recent research topics concerning chemical syntheses, structural analyses and applications of these molecules.					
Lecture plan					
No	Date	Time	Room	Lecture theme	Staff
1	11/19	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	Chemical modification of biomolecules	HOSOYA TAKAMITSU, SUMIDA YUUTO
2	11/19	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	Chemical modification of biomolecules	HOSOYA TAKAMITSU, SUMIDA YUUTO
3	11/20	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	Genome chemistry: basic and application	TAMAMURA HIROKAZU
4	11/20	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	Genome chemistry: basic and application	TAMAMURA HIROKAZU
5	11/22	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	Mid-size drugs	TAMAMURA HIROKAZU, KOBAYAKAWA Takuya
6	11/22	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	Mid-size drugs	TAMAMURA HIROKAZU, KOBAYAKAWA Takuya
7	11/26	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	Chemical probes	NIWA Takashi
8	11/26	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	Chemical probes	NIWA Takashi
9	11/27	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	Lead discovery and screening	TSUJI Kouhei
10	11/27	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	Lead discovery and screening	TSUJI Kouhei
11	11/29	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	Medicinal chemistry of nuclear receptor	KAGECHIKA HIROYUKI
12	11/29	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	Medicinal chemistry of nuclear receptor	KAGECHIKA HIROYUKI
13	12/3	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	Strategy for the development of functional molecules	FUJII Shinnya
14	12/3	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	Strategy for the development of functional molecules	FUJII Shinnya
15	12/3	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	Chemical Biology for Natural Products	ISHIDA Ryousuke
Lecture Style					
Lecture					
Course Outline					

Please refer to the detailed class schedule.
Grading System Final examination (80 points) and Attendance (20 points)
Prerequisite Reading Preparation based on reference materials and homepages of the instructors is required.
Reference Materials L. Schreiber, T. Kapoor, G. Wess (eds.) Chemical Biology, WILEY-VCH; Laudet, V & Gronemeyer, H. (eds) The Nuclear Receptors FactsBook, Academic Press; M. Ptashne & A. Gann Genes & Signals, CSHL Press.
Important Course Requirements N/A
Note(s) to Students N/A
Email TAMAMURA HIROKAZU:tamamura.mr@tmd.ac.jp
Instructor's Contact Information TAMAMURA HIROKAZU:Mon-Fri, 3-5 pm Bldg22, Fl6, Rm603B

Lecture No	031855				
Subject title	Chemical Biology		Subject ID	GH—b3264—L	
Instructors	影近 弘之, 玉村 啓和, 細谷 孝充, 萩原 伸也, 藤井 晋也, 辻 耕平, 石田 良典, 馬 悦[KAGECHIKA HIROYUKI, TAMAMURA HIROKAZU, HOSOYA TAKAMITSU, HAGIHARA Shinya, FUJII Shinnya, TSUJI Kouhei, ISHIDA Ryouusuke, MA YUE]				
Semester	Fall 2024	Level		Units	2
Course by the instructor with practical experiences					
ケミカルバイオロジー特論(英語) Chemical Biology 英語による授業: 同じ内容の英語授業を別日程で開講している(2025 年度秋開講予定)。 Availability in English: Same classes are offered in English on different schedules. (Fall 2025)					
Prerequisite Reading					

Lecture No	031857				
Subject title	Special Lectures on Molecular Structures			Subject ID	GH—b3266—L
Instructors	伊藤 暢聡, 沼本 修孝, 奈良 雅之, 木下 賢吾, 廣明 秀一, 黒田 正孝, 花園 祐矢[ITO NOBUTOSHI, NUMOTO NOBUTAKA, NARA MASAYUKI, KINOSHITA Kenngo, HIROAKI HIDEKAZU, KURODA Masataka, HANAZONO Yuuya]				
Semester	Fall 2024	Level		Units	2
Course by the instructor with practical experiences					
分子構造学特論(英語) Special Lectures on Molecular Structures 英語による授業: 同じ内容の英語授業を別日程で開講している(2025 年度秋開講予定)。 Availability in English: Same classes are offered in English on different schedules. (Fall 2025)					
Prerequisite Reading					

Lecture No	031858				
Subject title	Advanced Biomaterial Science		Subject ID	GH—b3267-L	
Instructors	川下 将一, 横井 太史, 松元 亮, 海瀬 晃, 島袋 将弥, 岸田 晶夫, 橋本 良秀, 木村 剛[KAWASHITA Masakazu, YOKOI Taishi, MATSUMOTO AKIRA, UMISE Akira, SHIMABUKURO Masaya, KISHIDA AKIO, HASHIMOTO YOSHIHIDE, KIMURA TSUYOSHI]				
Semester	Fall 2024	Level		Units	2
Course by the instructor with practical experiences					
生体材料学(英語) Advanced Biomaterial Science					
英語による授業: 同じ内容の英語授業を別日程で開講している(2025 年度秋開講予定)。 Availability in English: Same classes are offered in English on different schedules. (Fall 2025)					
Prerequisite Reading					

Lecture No	031898				
Subject title	Applied Biomaterials		Subject ID	GH—b3036-E	
Instructors	松元 亮, 岸田 晶夫, 横井 太史, 島袋 将弥, 橋本 良秀[MATSUMOTO AKIRA, KISHIDA AKIO, YOKOI Taishi, SHIMABUKURO Masaya, HASHIMOTO YOSHIIHIDE]				
Semester	Fall 2024	Level	1st – 2nd year	Units	2
Course by the instructor with practical experiences					
応用生体材料学(英語) Applied Biomaterials					
英語による授業: 同じ内容の英語授業を別日程で開講している(2025 年度秋開講予定)。 Availability in English: Same classes are offered in English on different schedules. (Fall 2025)					
Prerequisite Reading					

Lecture No	031036E				
Subject title	Biomedical Device Science and Engineering II			Subject ID	GH—b3065—L
Instructors	三林 浩二, 松元 亮, 池内 真志, 飯谷 健太[MITSUBAYASHI KOJI, MATSUMOTO AKIRA, IKEUCHI Masashi, IITANI Kennta]				
Semester	Fall 2024	Level	1st – year	Units	1
Course by the instructor with practical experiences					
バイオメディカルデバイス工学Ⅱ					
Availability in English:All classes are taught in English.					
Lecture place					
Online lecture (Zoom)					
Course Purpose and Outline					
Course Purpose:The purpose of this course is to acquire the knowledge's of latest biomedical device (element) technologies based on biochemistry, biotechnology, mechanics, electronics, MEMS, biomaterials, IT technology, etc. For understanding these technologies, related fundamental scientific and technological issues underlying those device technologies are also introduced and discussed.					
Outline:The outline of this course is to study novel biomedical devices such as biosensors, bioelectronics and bio-photonic devices. The course consists of some lectures of biosensing device, biosniffer, bioactuator, micro system, photonics, biotransistor and biomedical functional material & device.					
Course Objective(s)					
The Objective of this course is to ensure the acquisition of fundamentals and basic of latest biomedical devices and their technologies. The acquirer of this course is allowed to understand the fundamental scientific of those devices in some research & technical papers and to discuss some technological issues underlying those devices.					
Lecture plan					
No	Date	Time	Room	Lecture theme	Staff
1	10/8	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	Biophotonics for advanced biosensing	IITANI Kennta
2	10/8	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	Energy solutions for wearable or implantable devices	ICHIKAWA Kennta
3	10/15	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	Guidance and Principle of biosensors	MITSUBAYASHI KOJI
4	10/15	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	Biomedical Imaging	IKEUCHI Masashi
5	10/22	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	Biomedical Fabrication	IKEUCHI Masashi
6	10/22	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	Biomolecular Robotics	ISHIKAWA Daisuke
7	10/29	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	Biomedical devices for drug delivery systems	MATSUMOTO AKIRA, BARTHELMES Kevin
8	10/29	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	Molecular recognition chemistry	BARTHELMES Kevin
Lecture Style					
Lectures on the essence of basic biomedical devices.					
Grading System					
Participation (60%) and Examination (40%)					
Prerequisite Reading					
To be announced at the guidance and regular lectures.					
Reference Materials					
Wearable Biosensing in Medicine and Healthcare／Kohji Mitsubayashi Osamu Niwa Yuko Ueno: Springer Nature, 2024					
Chemical, gas, and biosensors for internet of things and related applications／三林 浩二,Niwa, Osamu. [丹羽修],Ueno, Yuko. [上野祐子],edited by Kohji Mitsubayashi, Osamu Niwa, Yuko Ueno.: Elsevier, [2019]					
Sensors for Everyday Life／Takahiro Arakawa, Kohji Mitsubayashi: Springer, 2017					
Modern sensing technologies／Subhas Chandra Mukhopadhyay, Krishanthi P. Jayasundera, Octavian Adrian Postolache, editors,Postolache, Octavian Adrian,Mukhopadhyay, Subhas Chandra,Jayasundera, Krishanthi P.: Springer, 2019					

Healthcare Sensor Networks: Challenges Toward Practical Implementation／Hiroyuki Kudo, Kohji Mitsubayashi: CRC Press, 2011 Intelligent surfaces in biotechnology : scientific and engineering concepts, enabling technologies, and translation to bio-oriented applications／ edited by H. Michelle Grandin, Marcus Textor,Grandin, H. Michelle,Textor, Marcus,: John Wiley & Sons, 2012 Micro Electronic and Mechanical Systems／Kenichi Takahata: IntechOpen, 2009 Immunosensors／Ahmed, Minhaz Uddin,Zourob, Mohammed.,民谷, 栄一, 1954-,edited by Minhaz Uddin Ahmed, Mohammed Zourob, and Eiichi Tamiya.: Royal Society of Chemistry, [2019] , 2018 , 2006 To be distributed during the lecture.
Important Course Requirements To be announced during the lecture.
Email MITSUBAYASHI KOJI:m.bdi@tmd.ac.jp
Instructor's Contact Information MITSUBAYASHI KOJI:Every Monday morning (11:00 AM to noon) at room No. 503B on 5 fl. at Building 21

Lecture No	031038E				
Subject title	Biomedical System Science and Engineering II			Subject ID	GH—b3066—L
Instructors	中島 義和, 中村 亮一, 杉野 貴明, 川瀬 利弘[NAKAJIMA Yoshikazu, NAKAMURA Ryouichi, SUGINO Takaaki, KAWASE Toshihiro]				
Semester	Fall 2024	Level	1st – year	Units	1
Course by the instructor with practical experiences	バイオメディカルシステム理工学Ⅱ				
Availability in English: This course will be done in English.					
Lecture place					
In 2022, the course will be held through the internet in the synchronous.					
Course Purpose and Outline					
The purpose of this course is to acquire the basic knowledge of biomedical system technologies. For understanding these technologies, related fundamental scientific and technological issues underlying those system technologies are also introduced and discussed.					
Course Objective(s)					
This lecture series aims to learn fundamental scientific and technological issues underlying biomedical systems, and skills to utilize your knowledge in practical works.					
Lecture plan					
No	Date	Time	Room	Staff	
1	11/7	13:00–14:30	遠隔授業(同期型)	NAKAJIMA Yoshikazu	
2	11/7	14:40–16:10	遠隔授業(同期型)	KAJI Hirokazu	
3	11/21	08:50–10:20	遠隔授業(同期型)	HORI Takeshi	
4	11/21	10:30–12:00	遠隔授業(同期型)	KAWASHIMA Kenji	
5	11/28	08:50–10:20	遠隔授業(同期型)	MIYAZAKI Tetsuroh	
6	11/28	10:30–12:00	遠隔授業(同期型)	BANNNAI Hideo	
7	12/5	08:50–10:20	遠隔授業(同期型)	ONOGI Shinnya	
8	12/5	10:30–12:00	遠隔授業(同期型)	SUGINO Takaaki	
Lecture Style					
Lecture and discussion will be done.					
Course Outline					
This lecture series provides basic of bioengineering, fluid dynamics, material mechanics, mechanical dynamics, thermo dynamics and theory of system computing. It also provides recent topics of medical and diagnosis systems and risk analysis of the systems.					
Grading System					
Class attendance, contribution for the lecture such as question and comments, and report quality will be considered on the assessment.					
Grading Rule					
The grade will consider class attendance and performance (50%) and reports (50%).					
Prerequisite Reading					
Instruction will be done at the first lecture. It will be done in any class if necessary.					
Exam eligibility					
No restriction.					
Composition Unit					
Yoshikazu Nakajima, Hirokazu Kaji, Hideo Bannai, Shinya Onogi, Takaaki Sugino, Dongbo Zhou, Takeshi Hori					
Module Unit Judgment					
1 unit					
TextBook					
Handout will be provided in each class if necessary.					

Reference Materials Handouts will be provided if necessary.
Important Course Requirements Nothing.
Note(s) to Students Nothing.
Email NAKAJIMA Yoshikazu:nakajima.bmi@tmd.ac.jp
Instructor's Contact Information NAKAJIMA Yoshikazu:15:00-16:30 on every Monday at Room 409A on the 4th floor, Building 21, Surugadai campus

Lecture No	031861				
Subject title	Translational Research			Subject ID	GH—b3270—L
Instructors					
Semester	Fall 2024	Level		Units	2
Course by the instructor with practical experiences					
Not offered in FY2024					
Prerequisite Reading					

6. 諸規則

University Rules

東京医科歯科大学大学院学則

平成16年4月1日
規 程 第 5 号

第1章 総則

第1条 東京医科歯科大学大学院（以下「本学大学院」という。）は学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥をきわめ、文化の進展に寄与することを目的とする。

2 研究科又は専攻ごとにおける人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的については、当該研究科において別に定める。

第2条 本学大学院に、次の課程を置く。

- (1) 医学又は歯学を履修する博士課程
- (2) 修士課程及び後期3年の課程のみの博士課程（以下「後期3年博士課程」という。）
- (3) 前期及び後期の区分を設けない博士課程（以下「一貫制博士課程」という。）

第2条の2 修士課程は、広い視野に立って精深な学識を授け、専攻分野における研究能力又は高度の専門性を要する職業等に必要な高度の能力を養うことを目的とする。

2 博士課程は、専攻分野について、研究者として自立して研究活動を行い、又はその他の高度に専門的な業務に従事するに必要な高度の研究能力及びその基礎となる豊かな学識を養うことを目的とする。

第2章 組織

第3条 本学大学院に、国立大学法人東京医科歯科大学組織運営規程（平成16年規程第1号）の定めるところにより、次の研究科を置く。

医歯学総合研究科
保健衛生学研究科

第3条の2 本学大学院に、学外研究機関等の研究者等と連携して大学院教育を行う連携大学院実施のため、連携大学院分野を置くことができる。

2 連携大学院分野については、別に定める。

第4条 医歯学総合研究科に、次の課程、専攻及び講座を置く。

課 程	専 攻 名	講 座 名
修 士 課 程	医歯理工保健学	

博 士 課 程	医歯学	口腔機能再構築学 顎顔面頸部機能再建学 生体支持組織学 環境社会医歯学 老化制御学 全人的医療開発学 認知行動医学 生体環境応答学 器官システム制御学 先端医療開発学
	東京医科歯科大学・チリ大学国際連携医学系	
	東京医科歯科大学・チュロンコン大学国際連携歯学系	
	東京医科歯科大学・マヒドン大学国際連携医学系	
	生命理工医療科学	医用器材学 統合分子疾患科学 生体検査科学 口腔保健学

- 2 医歯学総合研究科医歯理工保健学専攻に、医療管理政策学コース及びグローバルヘルスリーダー養成コースを置く。
- 3 前項の医療管理政策学コースは、これを次のコースに区分するものとする。
- (1) 医療管理学コース
- (2) 医療政策学コース
- 4 前2項に定めるもののほか、医歯学総合研究科に履修上の区分として次のコース又はプログラムを置く。
- (1) 先制医療学コース
- (2) 先制医歯理工学コース
- (3) 臨床疫学プログラム

第5条 保健衛生学研究科に、次の課程、専攻及び講座を置く。

課程	専攻名	講座名
博士課程	看護先進科学	基盤看護開発学 臨床看護開発学 先導的看護システム開発学

- 2 保健衛生学研究科看護先進科学専攻に履修上の区分として、災害看護グローバルリーダー養成コースを置く。

第3章 収容定員

第6条 本学大学院の入学定員及び収容定員は、次のとおりとする。

(1) 医歯学総合研究科

課 程	専 攻 名	入 学 定 員	収 容 定 員
修士課程	医歯理工保健学	131	257
	(医療管理学コース)	(5)	(5)
	(医療政策学コース)	(10)	(20)
	(グローバルヘルスリーダー養成コース)	(9)	(18)
博士課程	医歯学	181	724
	東京医科歯科大学・チリ大学 国際連携医学系	3	15
	東京医科歯科大学・チュラロ ンコーン大学国際連携歯学系	3	15
	東京医科歯科大学・マヒドン 大学国際連携医学系	3	12
	生命理工医療科学	25	75
備考 括弧内の数字は、医療管理政策学コース及びグローバルヘルスリーダー養成コースに係る定員の数を内数で示す。			

(2) 保健衛生学研究科

課 程	専 攻 名	入 学 定 員	収 容 定 員
博士課程	看護先進科学	13	65

第4章 修業年限等

第7条 本学大学院の標準修業年限は、次のとおりとする。

(1) 医歯学総合研究科

課 程	専 攻 名	標準修業年限
修士課程	医歯理工保健学	2 年
	医療管理学コース	1 年
	医療政策学コース	2 年
	グローバルヘルスリーダー養成コース	2 年
博士課程	医歯学	4 年
	東京医科歯科大学・チリ大学国際連携医学系	5 年
	東京医科歯科大学・チュラロンコーン大学国際連携歯学系	5 年
	東京医科歯科大学・マヒドン大学国際連携医学系	4 年
	生命理工医療科学	3 年

(2) 保健衛生学研究科

課 程	専 攻 名	標準修業年限
博士課程	看護先進科学	5 年

第 8 条 学生は、指導教員及び研究科長を経て、学長の許可を得た場合には、在学期間を前条各課程の標準修業年限の 2 倍まで延長することができる。

2 前項の規定にかかわらず、東京医科歯科大学・チリ大学国際連携医学系専攻については、在学期間を 6 年まで延長することができる。

3 前 2 項の規定にかかわらず、東京医科歯科大学・チュラロンコーン大学国際連携歯学系専攻については、在学期間を 8 年まで延長することができる。

第 5 章 学年、学期及び休業日

第 9 条 学年は、4 月 1 日に始まり、翌年 3 月 31 日に終わる。

2 前項の規定にかかわらず、学長は本学大学院において必要と認めるときは、学年の始期及び終期を変更することができる。

第 10 条 学年を分けて、次の学期とする。

前期 4 月 1 日から 9 月 30 日まで

後期 10 月 1 日から 3 月 31 日まで

2 前項の規定にかかわらず、学長は本学大学院において必要と認めるときは、各学期の始期及び終期を変更することができる。

第 10 条の 2 授業を行わない日（以下「休業日」という。）は次のとおりとする。

- (1) 日曜日及び土曜日
 - (2) 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日
 - (3) 本学創立記念日
 - (4) 春季休業
 - (5) 夏季休業
 - (6) 冬季休業
- 2 前項の休業日において、特に必要がある場合には、授業を行うことができる。
 - 3 第1項第4号から第6号の期間は、各研究科において別に定める。
 - 4 第1項に定めるもののほか、学長は、臨時の休業日を定めることができる。

第6章 教育課程、授業科目、履修方法及び単位等

- 第11条 本学大学院は、研究科及び専攻の教育上の目的を達成するために必要な授業科目を自ら開設するとともに学位論文の作成等に対する指導（以下「研究指導」という。）の計画を策定し、体系的に教育課程を編成するものとする。
- 2 教育課程の編成に当たっては、本学大学院は、専攻分野に関する高度の専門的知識及び能力を修得させるとともに、当該専攻分野に関連する分野の基礎的素養を涵養するよう適切に配慮するものとする。

- 第11条の2 本学大学院において必要と認めるときは、学校教育法第105条に規定する本学大学院の学生以外の者を対象とした特別の課程を編成することができる。
- 2 前項に定めるもののほか、特別の課程の編成に関し必要な事項は、別に定める。

- 第11条の3 本学大学院において教育上の目的を達成するために必要があると認めるときは、第11条の規定にかかわらず、他大学の大学院が開設する授業科目を、本学大学院の教育課程の一部とみなして、それぞれの大学院ごとに同一内容の教育課程を編成することができる。
- 2 前項に規定する教育課程（以下「共同教育課程」という。）を編成する大学院（以下「構成大学院」という。）は、当該共同教育課程を編成し、及び実施するための協議の場を設けるものとする。

- 第11条の4 本学大学院に、第49条第1項に規定する外国人留学生を主に対象とする特別な教育プログラムを、本学大学院が開設する授業科目の一部を組み合わせ体系的に編成することにより開設することができる。
- 2 前項に定める教育プログラムに関し必要な事項は別に定める。

- 第11条の5 本学大学院の教育は、授業科目の授業及び研究指導によって行うものとする。
- 第11条の6 本学大学院の課程において教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。

第 11 条の 7 学生が教育研究分野の変更を願い出た時は、やむを得ない理由があると研究科長が判断した場合に限り、変更を許可することがある。

第 11 条の 8 本学大学院において開設する授業科目及びその単位数については、別に定める。

第 11 条の 9 1 単位の授業科目を、45 時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、1 単位当たりの授業時間を次の基準により、各研究科教授会の意見を聴いて学長が別に定める。

(1) 講義及び演習については、15 時間から 30 時間の範囲

(2) 実験及び実習については、30 時間から 45 時間の範囲

2 前項の規定にかかわらず、学位論文の作成又は特定の課題についての研究を授業科目により指導する場合においては、これらの学修の成果を評価して単位を授与することが適切と認められる場合には、これらの学修等を考慮して、単位数を定めることができる。

第 12 条 一年間の授業を行う期間は、定期試験等の期間を含め、三十五週にわたることを原則とする。

第 12 条の 2 各授業科目の授業は、十週又は十五週にわたる期間を単位として行うものとする。ただし、教育上必要があり、かつ、十分な教育効果をあげることができると認められる場合には、この限りでない。

第 12 条の 3 授業は、講義、演習、実験、実習若しくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により行うものとする。

2 文部科学大臣が別に定めるところにより、前項の授業を、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。

3 第 1 項の授業を、外国において履修させることができる。前項の規定により、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させる場合についても、同様とする。

第 12 条の 4 本学大学院は、学生に対して、授業及び研究指導の方法及び内容並びに一年間の授業及び研究指導の計画をあらかじめ明示するものとする。

2 本学大学院は、学修の成果及び学位論文に係る評価並びに修了の認定に当たっては、客観性及び厳格性を確保するため、学生に対してその基準をあらかじめ明示するとともに、当該基準にしたがって適切に行うものとする。

第 13 条 学生が、職業を有している等の事情により、標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し課程を修了することを希望する旨を申し出たときは、当該研究科において支障のない場合に限り、その計画的な履修（次項において「長期履修」という。）を認めることがある。

2 長期履修の取扱いに関し必要な事項は、当該研究科が定める。

第 7 章 他の研究科又は大学院等における修学及び留学

第14条 学生が、本学大学院に入学する前に大学院において履修した授業科目について修得した単位（大学院設置基準（昭和49年文部省令第28号）第15条に規定する科目等履修生及び特別の課程（履修証明プログラム）履修生として修得した単位を含む。）を本学大学院において教育上有益と認めるときは、本学大学院における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2 前項の規定により本学大学院において修得したものとみなすことができる単位数は、編入学、転学等の場合を除き、15単位を超えないものとする。ただし、第14条の2第1項及び第15条第1項の規定により本学大学院の研究科において修得したものとみなす単位数と合わせて20単位を超えないものとする。

第14条の2 本学大学院の研究科において教育上有益であると認めるときは、あらかじめ本学大学院の他の研究科と協議の上、学生が当該他の研究科の授業科目を履修すること又は当該他の研究科において研究指導の一部を受けることを認めることがある。

2 前項の規定により履修した他の研究科の授業科目について修得した単位は、15単位を限度として、学生の所属する研究科において履修した単位とみなす。ただし、第14条第1項及び第15条第1項の規定により本学大学院の研究科において修得したものとみなす単位数と合わせて20単位を超えないものとする。

3 第1項の規定により受けた研究指導は、学生の所属する研究科において受けた研究指導とみなす。

第15条 学生が、他の大学院の授業科目を履修することが教育上有益であると本学大学院の研究科において認めるときは、あらかじめ当該他の大学院と協議の上、学生が当該他の大学院の授業科目を履修することを認めることがある。

2 前項の規定により履修した他の大学院の授業科目について修得した単位は、15単位を限度として、本学大学院の研究科において修得した単位とみなす。ただし、第14条第1項及び第14条の2第1項の規定により本学大学院の研究科において修得したものとみなす単位数と合わせて20単位を超えないものとする。

第15条の2 本学大学院の共同教育課程に在籍する学生が、他の構成大学院において履修した共同教育課程に係る授業科目について修得した単位は、本学大学院における共同教育課程に係る授業科目の履修により修得したものとみなす。

第16条 学生が他の大学院、研究所又は高度の水準を有する病院（以下「他の大学院等」という。）において研究指導を受けることが教育上有益であると本学大学院の研究科において認めるときは、別に定めるところにより、あらかじめ、当該他の大学院等と協議の上、学生が当該他の大学院等において研究指導の一部を受けることを認めることがある。ただし、修士課程及び博士（前期）課程の学生にあっては、その期間は1年を超えないものとする。

2 前項の規定により受けた研究指導は、本学大学院の研究科において受けた研究指導とみなす。

3 前項の規定にかかわらず、本学大学院の共同教育課程に在籍する学生が、

他の構成大学院において受けた共同教育課程に係る研究指導は、本学大学院において受けた共同教育課程に係る研究指導とみなす。

- 第17条 学生が外国の大学院又はこれに相当する高等教育機関等（以下「外国の大学院等」という。）において修学することが教育上有益であると研究科において認めるときは、別に定めるところにより、あらかじめ、当該外国の大学院等と協議のうえ、学生が当該外国の大学院等に留学することを認めることがある。ただし、やむを得ない事情により、当該外国の大学院等とあらかじめ協議を行うことが困難な場合には、留学を認めた後に当該協議を行うことができる。
- 2 前項の規定による許可は、当該研究科委員会の意見を聴いて、学長が決定する。
- 3 前項の許可を得て留学する期間は、原則1年以内とする。ただし、特別の理由がある場合には、さらに1年を限度として留学期間の延長を認めることがある。
- 4 第3項の規定により留学した期間は、在学年数に算入する。ただし、第29条の規定により許可された留学（以下「休学留学」という。）については、この限りではない。
- 5 留学を許可された学生は、休学留学の場合を除き、留学期間中においても本学の授業料を納付しなければならない。
- 6 第1項の規定により留学して得た修学の成果は、本学大学院の研究科において修得した単位（第14条の2及び第15条の規定により本学大学院において修得したものとみなす単位数と合わせて15単位を限度とする。）又は受けた研究指導とみなす。
- 7 前項に係る手続等については、各研究科において定める。
- 8 第6項の規定は、休学留学の場合、外国の大学等が行なう通信教育における授業科目を我が国において履修する場合及び学生が外国の大学等の教育課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該教育課程における授業科目を我が国において履修する場合においても準用する。
- 9 留学を許可された学生において、次の各号の一に該当したときには、本学と外国の大学等との協議に基づき、教授会等の意見を聴いて学長が留学を取り消すことができる。
- (1) 外国の大学等が所在する国の情勢や自然災害等により、学修が困難であると認められるとき。
- (2) 留学生として、外国の大学等の規則に違反し、又はその本分に反する行為が認められるとき。
- (3) その他留学の趣旨に反する行為があると認められるとき。
- 10 留学に関する必要な事項は、別に定める。

第8章 課程修了の要件等

第18条 各授業科目の履修の認定は、試験又は研究報告等により、授業科目担当教員が学期末又は学年末に行う。

第19条 各授業科目の成績は、A+、A、B、C、D、Fに分け、A+、A、B、Cを合格とし、D、Fを不合格とする。

2 成績評価に関し必要な事項は別に定める。

第20条 修士課程を修了するためには、本学大学院修士課程に2年（第4条第3項第1

- 号の医療管理学コースにおいては1年)以上在学し、所定の授業科目について30単位以上修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、学位論文を提出して、その審査及び最終試験に合格しなければならない。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を挙げた者と研究科委員会において認めた場合には、1年以上在学すれば足りるものとする。
- 2 前項の場合において、修士課程の目的に応じ研究科委員会において適当と認めるときは、特定の課題についての研究成果の審査をもって学位論文の審査に代えることができる。
- 3 博士課程医歯学専攻を修了するためには、本学大学院博士課程医歯学専攻に4年以上在学し、所定の授業科目について30単位以上修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、学位論文を提出して、その審査及び最終試験に合格しなければならない。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を挙げた者と研究科委員会において認めた場合には、3年以上在学すれば足りるものとする。
- 4 第4条第1項に規定する外国の大学と連携した教育課程(以下「国際連携教育課程」という。)を編成する専攻(以下「国際連携専攻」という。)を修了するためには、本学大学院博士課程国際連携専攻に第7条第1号に規定する標準修業年限以上在学し、研究科が定めた所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、学位論文を提出して、その審査及び最終試験に合格しなければならない。ただし、修了に必要な単位数には、第14条、第14条の2、第15条、第17条第6項及び第8項の規定により修得したものとみなす単位を含まないものとする。
- 5 削除
- 6 後期3年博士課程生命理工医療科学専攻を修了するためには、本学大学院後期3年博士課程生命理工医療科学専攻に3年以上在学し、所定の授業科目について20単位以上修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、学位論文を提出して、その審査及び最終試験に合格しなければならない。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を挙げた者と研究科委員会において認めた場合には、1年(2年未満の在学期間をもって修士課程又は博士(前期)課程を修了した者にあつては、当該在学期間を含めて3年)以上在学すれば足りるものとする。
- 7 一貫制博士課程看護先進科学専攻を修了するためには、本学大学院一貫制博士課程看護先進科学専攻に5年(修士課程又は博士(前期)課程に2年以上在学し、当該課程を修了した者にあつては、当該課程における2年の在学期間を含む。)以上在学し、所定の授業科目について38単位以上修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、学位論文を提出して、その審査及び最終試験に合格しなければならない。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を挙げた者と研究科委員会において認めた場合には、3年(修士課程又は博士(前期)課程に2年以上在学し、当該課程を修了した者にあつては、当該課程における2年の在学期間を含む。)以上在学すれば足りるものとする。
- 8 一貫制博士課程共同災害看護学専攻を修了するためには、本学大学院一貫制博士課程共同災害看護学専攻に5年以上在学し、所定の授業科目について50単位以上(それぞれの構成大学院において共同教育課程に係る授業科目の履修により10単位以上修得する。)修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、学位論文を提出して、その審査及び最終試験に合格しなければならない。ただし、修了に必要な単位数には、第14条、第14条の2及び第15条の規定により修得したものとみなす単位を含まないものとする。
- 9 第7項の規定にかかわらず、標準修業年限を1年以上2年未満とした修士課程又は博士(前期)課程を修了した者及び優れた研究業績を上げ1年以上の在学期間をもって修士課程又は博士(前期)課程を修了した者で、当該研究科

が優れた研究業績を上げたと認めるものの在学期間に関しては、当該課程に修士課程又は博士（前期）課程における在学期間（2年を限度とする。）を含めて3年以上在学すれば足りるものとする。

第21条 学位論文の審査及び最終試験に関することは、東京医科歯科大学学位規則（平成16年規則第56号。以下「学位規則」という。）に定めるところにより行うものとする。

第9章 学位

第22条 本学大学院を修了した者には、次の区分により修士又は博士の学位を授与する。

研 究 科	課 程	専 攻	学 位
医歯学総合研究科	修士課程	医歯理工保健学（医療管理政策学コース及びグローバルヘルスリーダー養成コースを除く。）	修士（医科学） 修士（歯科学） 修士（理学） 修士（工学） 修士（口腔保健学） 修士（保健学）
		医歯理工保健学（医療管理政策学コース）	修士（医療管理学） 修士（医療政策学）
		医歯理工保健学（グローバルヘルスリーダー養成コース）	修士（グローバル健康医学）
	博士課程	医歯学	博士（医学） 博士（歯学） 博士（数理医科学） 博士（学術）
		東京医科歯科大学・チリ大学国際連携医学系	博士（医学）
		東京医科歯科大学・チュラロンコーン大学国際連携歯学系	博士（歯学）
		東京医科歯科大学・マヒドン大学国際連携医学系	博士（医学）
		生命理工医療科学	博士（理学） 博士（工学） 博士（保健学） 博士（口腔保健学）

保健衛生学研究科	博士課程	看護先進科学	博士（看護学）
		共同災害看護学	

2 前項に規定するもののほか、一貫制博士課程看護先進科学専攻においては、第20条第1項及び第2項に規定する修士課程の修了に相当する要件を満たした者に対しても、修士（看護学）の学位を授与することができる。

第23条 前条第1項に定めるもののほか、本学大学院学生以外の者が、論文を提出して博士の学位を請求したときは、学位規則の定めるところにより、学位論文の審査及び最終試験に合格し、かつ、大学院の博士課程を修了した者と同等以上の学力を有することが確認された者に対し博士の学位を授与する。

第10章 入学、休学、転学、転専攻、退学、除籍

第24条 入学の時期は、学年の始期とする。ただし、学長が必要と認めるときは、学期の始期に入学させることができる。

第25条 修士課程及び一貫制博士課程看護先進科学専攻に入学することのできる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

- (1) 大学（短期大学を除く。）を卒業した者
- (2) 学校教育法（昭和22年法律第26号）第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が三年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設（前号の指定を受けたものに限る。）において課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
- (9) 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、本学大学院において大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの

- (10) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達したもの
 - (11) 大学に3年以上在学し、本学大学院において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者
 - (12) 外国において学校教育における15年の課程を修了し、本学大学院において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者
 - (13) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了し、本学大学院において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者
 - (14) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、本学大学院において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者
- 2 博士課程医歯学専攻に入学することのできる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。
- (1) 大学の医学、歯学、薬学又は獣医学（修業年限が6年のものに限る。）を履修する課程を卒業した者
 - (2) 外国において、学校教育における18年の課程（最終の課程は医学、歯学、薬学又は獣医学）を修了した者
 - (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における18年の課程（最終の課程は医学、歯学、薬学又は獣医学）を修了した者
 - (4) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における18年の課程（最終の課程は、医学、歯学、薬学又は獣医学）を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
 - (5) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が5年以上である課程（最終の課程は、医学、歯学、薬学又は獣医学）を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設（前号の指定を受けたものに限る。）において課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者
 - (6) 文部科学大臣の指定した者（昭和30年文部省告示第39号）
 - (7) 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、当該者を本学大学院において大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
 - (8) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学（医学、歯学、薬学（修業年限が6年のものに限る。）又は獣医学を履修する課程を含むものに限る。）を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、24歳に達したもの
 - (9) 大学（医学、歯学、薬学（修業年限が6年のものに限る。）又は獣医学）に4年以上在学し、本学大学院において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者

- (10) 外国において学校教育における 16 年の課程（最終の課程は医学、歯学、薬学又は獣医学）を修了し、本学大学院において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者
 - (11) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程（最終の課程は医学、歯学、薬学又は獣医学）を修了し、本学大学院において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者
 - (12) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程（最終の過程は、医学、薬学、薬学又は獣医学）を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、本学大学院において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者
- 3 後期 3 年博士課程生命理工医療科学専攻に入学することのできる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。
- (1) 修士の学位又は専門職学位を有する者
 - (2) 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
 - (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
 - (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
 - (5) 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法（昭和 51 年法律第 72 号）第 1 条第 2 項に規定する 1972 年 12 月 11 日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
 - (6) 外国の学校、第 4 号の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第 16 条の 2 に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
 - (7) 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第 118 号）
 - (8) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、24 歳に達した者
- 4 博士課程国際連携専攻に入学することのできる者は、第 2 項各号のいずれかに該当し、かつ共同で教育課程を編成した外国の大学院（以下「国際連携大学」という。）の入学資格を満たす者とする。

第 26 条 入学検定は、人物、学力及び身体について、学長が当該研究科委員会の意見を聴いて行うものとする。ただし、学力検査は試験検定とし、試験の方法は、その都度定める。

第 27 条 前条の選考の結果に基づき合格の通知を受けた者は、定められた期日までに本学学生としての本分を守る旨、誓約書に署名し、その他所定の書類を提出するとともに、入学料を納付するものとする。ただし、第 41 条の規定により入学料の免除又は徴収猶予を申請し受理された者にあつては、当該免除又は徴収猶予を許可し又は不許可とするまでの間、入学料の徴収を猶予する。

2 学長は、前項の手続を完了した者に入学を許可する。

3 学長は、入学（再入学及び転入学等を含む。）を許可した者に対し、学生証を交付するものとする。

4 前項に規定するもののほか、学生証に関し必要な事項は別に定める。

第28条 学長は、本学大学院を退学した者が、再入学を願い出たときは、選考の上、当該研究科委員会に意見を聴いて、入学を許可することがある。

2 前項に関し必要な事項は、当該研究科が別に定める。

第29条 学生が病気、留学その他の事由により、3ヶ月以上休学しようとするときは、所定の手続により、学長に願い出て許可を受けなければならない。この場合、学長は当該研究科委員会に意見を聴いて、その可否を決定するものとする。

第30条 前条による休学者で休学期間中にその事由が消滅したときは、所定の手続により、復学を願出ることができる。この場合、学長は当該研究科委員会に意見を聴いて、その可否を決定するものとする。

第31条 休学は、1年を超えることはできない。ただし、特別の事由があるときは、学長は研究科委員会に意見を聴いて、更に1年以内の休学を許可することがある。休学期間は修業年数に算入しない。

第32条 学長は、特に必要と認めたものには、当該研究科委員会に意見を聴いて、休学を命ずることがある。

第33条 学長は、他の大学院に在学する者が、本学大学院に転学を願い出たときは、選考の上、当該研究科委員会に意見を聴いて、転学を許可することがある。

2 前項に関し、必要な事項は、当該研究科委員会が別に定める。

第34条 学生が、他の大学院に転学しようとするときは、その理由を具して学長に願い出て、その許可を受けなければならない。この場合、学長は当該研究科委員会に意見を聴いて、その可否を決定するものとする。

第34条の2 学長は、第25条第3項のいずれかに該当する者が、本学大学院一貫制博士課程看護先進科学専攻に編入学を願い出たときは、選考の上、当該研究科委員会に意見を聴いて、入学を許可することがある。

2 前項の編入学に関し必要な事項は、当該研究科が別に定める。

第34条の3 学長は、学生が所属研究科内において他の専攻への転専攻を願い出たときは、選考の上、当該研究科委員会の意見を聴いて、転専攻を許可することがある。

2 転専攻に関し必要な事項は、当該研究科が別に定める。

第35条 学生が病気その他の事由で退学しようとするときは、所定の手続により、学長に願出てその許可を受けなければならない。この場合、学長は当該研究科委員会に意見を聴いて、その可否を決定するものとする。

第36条 学長は学生が次の各号のいずれかに該当するときは、当該研究科委員会の意見を聴いて、除籍する。

- (1) 病気その他の事由で成業の見込がないと認めたとき
 - (2) 第7条に定める標準修業年限を超えて在学期間延長又は退学的意思を示さないとき。
 - (3) 第29条により休学し、第31条に定める期間内に復学又は退学的意思を示さないとき。
 - (4) 死亡又は行方不明となったとき。
 - (5) 入学料の免除の申請をした者で、免除を許可されなかったもの又は半額免除を許可されたものが、納付すべき入学料を免除の不許可又は半額免除の許可を告知した日から起算して14日以内に納付しないとき。
 - (6) 入学料の徴収猶予の申請をした者で、徴収猶予を許可されなかった者が、納付すべき入学料を徴収猶予の不許可を告知した日から起算して14日以内に納付しないとき。
 - (7) 入学料の徴収猶予を許可された者が、納付期限までに入学料を納付しないとき。
 - (8) 授業料を所定の期日までに納入しない者で、督促を受け、なおかつ納入を怠るとき。
- 2 前項第5号は、第41条第3項の規定により徴収猶予の申請をした者には適用しない。

第11章 入学検定料、入学料及び授業料

第37条 授業料、入学料及び検定料の額については、別に定める。

第38条 入学志願者は、出願と同時に検定料を納付しなければならない。

第39条 授業料の額は、別に定めるところによるものとし、年額の2分の1ずつを次の2期に分けて納付しなければならない。

前期 5月31日まで

後期 11月30日まで

- 2 前項の規定にかかわらず、学長が第10条第2項に基づき学期の始期及び終期を変更した場合は、納付時期を必要に応じて適宜変更することができる。
- 3 第1項の規定にかかわらず、学生の申出があったときは、前期に係る授業料を徴収するときに、当該年度の後期に係る授業料を併せて徴収することができる。
- 4 入学年度の前期又は前期及び後期に係る授業料については、第1項の規定にかかわらず、入学を許可される者の申出があったときは、入学を許可するときに徴収することができる。

第40条 既納の料金はいかなる事由があっても返還しない。

- 2 前条第3項の規定に基づき授業料を納付した者が、入学年度の前年度の3月31日までに入学を辞退した場合には、前項の規定にかかわらず、納付した者の申出により当該授業料に相当する額を返還する。
- 3 前条第2項及び第3項の規定に基づき授業料を納付した者が、後期分授業料の徴収時期以前に休学又は退学した場合には、第1項の規定にかかわらず、後期分の授業料に相当する額を返還する。
- 4 学生又は学生の学資を主として負担している者（以下「学資負担者」という。）が風

水害等の災害を受ける等やむを得ない事情があると学長が認めた場合には、授業料、入学料及び検定料について、第1項の規定にかかわらず、返還することができる。

第41条 本学大学院に入学する者であって経済的理由によって入学料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者並びに前記に該当しない者であっても、本学大学院に入学前1年以内において、入学する者の学資負担者が死亡し、又は入学する者若しくはその者の学資負担者が風水害等の災害を受け、入学料の納付が著しく困難であると認められる者及び当該者に準ずる者であって、学長が相当と認める事由がある者については、本人の申請により、入学料の全額又は半額を免除することがある。

2 本学大学院に入学する者であつて、経済的理由によつて納付期限までに入学料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者、入学前1年以内において学資負担者が死亡し、又は入学する者若しくは学資負担者が風水害等の災害を受け、納付期限までに入学料の納付が困難であると認められる者及びその他やむを得ない事情があると認められる者については、本人の申請により入学料の徴収猶予をすることがある。

3 入学料の免除の申請をした者で、免除を許可されなかつた者又は半額免除を許可された者のうち、前項に該当する者は、免除の許可を告知した日から起算して14日以内に徴収猶予の申請をすることができる。

4 前3項の取扱いについては、別に定める。

第42条 停学に処せられた者の授業料は徴収するものとする。

第43条 行方不明、その他やむを得ない事由がある者の授業料は、所定の手続により、徴収を猶予することがある。

第44条 死亡、行方不明又は授業料の未納を理由として第36条の規定により除籍された者の未納の授業料は全額を免除することがある。

第45条 授業料の納付期限以前に休学又は退学の許可を受けた者の授業料の全額又はその一部を免除することがある。

2 前項の取扱いについては別に定める。

3 各学期の途中で復学する者のその期の授業料は、復学当月から当該学期末まで月割計算により復学の際徴収する。

第46条 経済的理由によって授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者及び学生又は学生の学資負担者が風水害等の災害を受け、授業料の納付が困難と認められる者については、本人の申請により授業料の全額若しくはその一部を免除又は徴収猶予することがある。

2 前項の取扱いについては別に定める。

第47条 削除

第48条 削除

第12章 外国人留学生

第49条 外国人で、大学において教育を受ける目的をもって入国し、第25条第1項から第4項の規定により、本学大学院に入学を志願する者があるときは、本学大学院の教育研究に支障のない場合に関り、選考の上、外国人留学生として入学を許可することがある。

2 その他外国人留学生については、別に定める。

第13章 特別聴講学生、特別研究学生及び短期交流学生

第50条 他の大学院の学生又は外国の大学院等の学生で、本大学院研究科等の授業科目の履修を志願する者があるときは、当該他の大学院又は外国の大学院等と協議して定めるところにより、特別聴講学生として入学を許可することがある。

2 特別聴講学生の受入れの時期は、学期の始めとする。ただし、当該特別聴講学生が外国の大学院等の学生で、特別の事情がある場合の受入れの時期は、研究科等においてその都度定めることができる。

3 その他特別聴講学生については、別に定める。

第51条 他の大学院の学生又は外国の大学院等の学生で、本大学院研究科等において研究指導を受けることを志願する者があるときは、当該他の大学院又は外国の大学院等と協議して定めるところにより、特別研究学生として入学を許可することがある。

2 特別研究学生の受入れの時期は、原則として、学期の始めとする。

3 その他特別研究学生については、別に定める。

第52条 この章又は細則に定めるものを除くほか、特別聴講学生及び特別研究学生の取扱いについては、この学則（特別聴講学生又は特別研究学生が外国人である場合には、東京医科歯科大学外国人留学生規則（平成16年規則第182号）を含む。）の大学院学生に関する規定を準用する。

第52条の2 本学以外の国内外の教育施設に学生として在学中である者で、本学の教員から特定の事項について、指導又は助言を受け本学で研究又は研修等を行うことを志願するものがあるときは、短期交流学生として受入を許可することがある。

2 短期交流学生に関し必要な事項は、別に定める。

第14章 科目等履修生及び聴講生

第53条 本学大学院が開設する一又は複数の授業科目を履修することを志願する者があるときは、選考の上、科目等履修生として入学を許可することがある。

第54条 前条により入学した者には、第18条の規定を準用し、単位を与える。

第55条 その他科目等履修生については、別に定める。

第55条の2 本学大学院が開設する授業科目中、特定の授業科目について聴講を志願する者があるときは、選考の上、聴講生として入学を許可することがある。

2 その他、聴講生については、別に定める。

第 15 章 大学院研究生

第 56 条 本学大学院教員の指導を受け、特定の専門事項について研究しようとする者は、選考の上、大学院研究生として入学を許可することがある。

2 その他大学院研究生については、別に定める。

第 16 章 教員組織

第 57 条 大学院の授業及び研究指導を担当する教員は、当該研究科委員会等の意見を聴いて、学長が命ずる。

第 17 章 国際連携専攻

第 58 条 本学大学院に国際連携専攻を設けるときは、国際連携大学と教育課程を編成し円滑に実施するため、協議の場に関する事項を別に定める。

2 前項の規定による協議の場は、学長又は学長が指名した者により構成する。

3 国際連携専攻は、第 11 条第 1 項の規定にかかわらず、国際連携大学と共同して授業科目（以下「共同開設科目」という。）を開設することができる。

4 前項の共同開設科目を開設した場合、当該国際連携専攻の学生が当該共同開設科目の履修により修得した単位は、5 単位を超えない範囲で当該国際連携専攻又は国際連携大学のいずれかにおいて修得した単位とすることができる。ただし、国際連携大学において修得した単位数が同条第 7 項の規定により国際連携大学において修得することとされている単位数に満たない場合は、共同開設科目の履修により修得した単位を国際連携大学において修得した単位数とすることはできない。

5 国際連携専攻は、国際連携大学において履修した国際連携教育課程に係る授業科目について修得した単位を、当該国際連携教育課程に係る授業科目の履修により修得したものとみなす。

6 国際連携専攻は、学生が国際連携大学において受けた国際連携教育課程に係る研究指導を、当該国際連携教育課程に係るものとみなす。

7 国際連携専攻の修了要件は、第 20 条第 4 項に定めるほか、国際連携専攻において国際連携教育課程に係る授業科目の履修により 15 単位以上を修得するとともに、それぞれの国際連携大学において当該国際連携教育課程に係る授業科目の履修により 10 単位以上修得する。

8 国際連携専攻については、第 29 条中「3 ヶ月以上」を削り、第 34 条、第 53 条、第 55 条の 2 及び第 56 条の規定は適用しない。

第 59 条 学長は、国際連携専攻の維持に関し相手国の状況（天災、騒乱等）により正常な運営を行うことが出来ないと判断した場合には、国際連携大学の長と協議の上、運営に関し緊急に講ずべき措置について決定する。

第 18 章 雑則

第 60 条 この学則に定めるもののほか、大学院学生に関し必要な事項については、東京医科歯科大学学則（平成 16 年規程第 4 号）を準用する。

附 則

- 1 この学則は、平成16年4月1日から施行する。
- 2 第8条第1号の規定にかかわらず、医歯学総合研究科博士課程の平成16年度及び平成17年度の収容定員は、それぞれ次のとおりとする。

区 分	専 攻 名	収 容 定 員	
		平成16年度	平成17年度
修士課程	医歯科学 (医療管理学コース) (医療政策学コース)	75 (5) (10)	95 (5) (20)
博士課程	口腔機能再構築学系 顎顔面頸部機能再建学系 生体支持組織学系 環境社会医歯学系 老化制御学系 全人的医療開発学系 認知行動医学系 生体環境応答学系 器官システム制御学系先端 医療開発学系	168 120 74 80 40 32 80 70 116 84	168 120 73 80 40 32 78 69 116 84
備考 括弧内の数字は、医療管理政策学コースに係る収容定員の数を内数で示す。			

- 3 第8条第3号の規定にかかわらず、生命情報科学教育部の平成16年度及び平成17年度の収容定員は、それぞれ次のとおりとする。

区 分	専 攻 名	収 容 定 員	
		平成16年度	平成17年度
博士(前期)課程	バイオ情報学	31	32
	高次生命科学	30	30
博士(後期)課程	バイオ情報学	13	20
	高次生命科学	12	18

- 4 国立大学法人の成立前の東京医科歯科大学の大学院に平成16年3月31日に在学し、引き続き本学の大学院の在学者となった者（以下「在学者」という。）及び平成16年4月1日以後在学者の属する学年に再入学、転入学及び編入学する者の教育課程の履修については、この学則の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 5 この学則の施行前に廃止前の東京医科歯科大学大学院学則（昭和30年学規第1号）の規定によりなされた手続その他の行為は、この学則の相当規定によりなされた手続そ

の他の行為とみなす。

附 則（平成17年3月23日規程第3号）

- 1 この学則は、平成17年4月1日から施行する。
- 2 平成17年3月31日において現に本大学院に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成17年4月1日以降在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表第2及び別表第5の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成18年3月28日規程第2号）

- 1 この学則は、平成18年4月1日から施行する。
- 2 平成18年3月31日において現に本大学院に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成18年4月1日以降在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表第1、別表第2、別表第3及び別表第5の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成19年3月29日規程第4号）

- 1 この学則は、平成19年4月1日から施行する。
- 2 平成19年3月31日において現に本大学院に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成19年4月1日以降在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表第1、別表第2、別表第3及び別表第5の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成20年1月16日規程第2号）

- 1 この学則は、平成20年4月1日から施行する。
- 2 改正後の第8条第3号の規定にかかわらず、生命情報科学教育部の平成20年度及び平成21年度の収容定員は、次のとおりとする。

区分	専攻名	収容定員	
		平成20年度	平成21年度
博士（前期） 課程	バイオ情報学	37	42
	高次生命科学	39	48
博士（後期） 課程	バイオ情報学	22	23
	高次生命科学	19	20

附 則（平成20年3月26日規程第4号）

- 1 この学則は、平成20年4月1日から施行する。
- 2 平成20年3月31日において現に本大学院に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成20年4月1日以降在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表第1、別表第2、別表第3及び別表第5の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成21年3月19日規程第5号）

- 1 この学則は、平成21年4月1日から施行する。
- 2 改正後の第8条第1号の規定にかかわらず、医歯学総合研究科修士課程の平成21年度の収容定員は、次のとおりとする。

区 分	専 名	収 容 定 員
		平成21年度

修士課程	医歯科学 (医療管理学コース) (医療政策学コース)	110 (5) (20)
------	----------------------------------	--------------------

- 3 平成21年3月31日において現に本大学院に在学する者及び平成21年4月1日以降在学者の属する学年に再入学、転入学または編入学する者については、改正後の別表第2、別表第3、別表第4及び別表第5の規程にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成22年3月30日規程第4号）

- 1 この学則は平成22年4月1日から施行する。
- 2 平成22年3月31日において現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成22年4月1日以降在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成22年12月22日規程第11号）

この学則は、平成22年12月22日から施行し、平成22年10月1日から適用する。

附則（平成23年4月1日規程第2号）

- 1 この学則は、平成23年4月1日から施行する。
- 2 第8条第1号の規定にかかわらず、医歯学総合研究科博士課程の平成23年度から平成25年度の収容定員は、それぞれ次のとおりとする。

区 分	専 攻 名	収 容 定 員		
		平成23 年度	平成24 年度	平成25 年度
博士課程	口腔機能再構築学系	171	174	177
	顎顔面頸部機能再建学系	116	112	108
	生体支持組織学系	69	66	63
	環境社会医歯学系	79	78	77
	老化制御学系	46	52	58
	全人的医療開発学系	33	34	35
	認知行動医学系	74	72	70
	生体環境応答学系	66	64	62
	器官システム制御学系	116	116	116
	先端医療開発学系	86	88	90

- 3 第21条の規定にかかわらず、平成23年3月31日において現に本大学院に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成23年4月1日以降在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、なお従前の例による。

附 則（平成23年12月16日規程第9号）

この学則は、平成24年4月1日から施行する。

附 則（平成24年3月30日規程第2号）

- 1 この学則は、平成24年4月1日から施行する。
- 2 平成24年3月31日において現に本学大学院に在学する者については、改正後の規則にかかわらず、なお従前の例による。

- 3 改正後の第6条第1号の規定にかかわらず、医歯学総合研究科修士課程の平成24年度の收容定員、医歯学総合研究科博士課程医歯学系専攻の平成24年度から平成26年度までの收容定員並びに医歯学総合研究科博士課程生命理工学系専攻の平成24年度及び平成25年度の收容定員については、それぞれ次のとおりとする。

(1) 医歯学総合研究科

区 分	専 攻 名	收容定員
		平成24年度
修士課程	医歯理工学	110
	(医療管理学コース)	(5)
	(医療政策学コース)	(10)
備考 括弧内の数字は、医療管理政策学コースに係る收容定員の数を内数で示す。		

区 分	専攻名	収 容 定 員		
		平成24年度	平成25年度	平成26年度
博士課程	医歯学系	189	378	567

区 分	専攻名	収 容 定 員	
		平成24年度	平成25年度
博士課程	生命理工学系	25	50

附 則（平成26年3月31日規程第2号）

- この学則は、平成26年4月1日から施行する。
- 平成26年3月31日において現に本学大学院に在学する者については、改正後の規則にかかわらず、なお従前の例による。また、同日に置かれている保健衛生学研究科博士（前期）課程総合保健看護学専攻は、同日に当該専攻に在学する者が在学しなくなるまでの間、存続するものとする。
- 改正後の第5条の規定にかかわらず、平成26年度及び平成27年度の保健衛生学研究科の課程、専攻及び講座は、次のとおりとする。また、平成28年3月31日に置かれている保健衛生学研究科博士（後期）課程総合保健看護学専攻は、同日に当該専攻に在学する者が在学しなくなるまでの間、存続するものとする。

課 程	専 攻 名	講 座 名
博士課程	看護先進科学	基礎看護開発学 臨床看護開発学 先導的看護システム開発学
	共同災害看護学	

博士（前期・後期）課程	生体検査科学	生命情報解析開発学 分子・遺伝子応用検査学
博士（後期）	総合保健看護学	地域・在宅ケア看護学 看護機能・ケアマネジメント開発学 健康教育開発学

- 4 改正後の第6条第2号の規定にかかわらず、保健衛生学研究科博士（後期）課程総合保健看護学専攻の平成26年度及び平成27年度の入学定員並びに保健衛生学研究科博士課程、博士（前期）課程及び博士（後期）課程の平成26年度から平成29年度までの収容定員は、それぞれ次のとおりとする。

区 分	専 攻 名	入学定員	
		平成26年度	平成27年度
博士（後期）課程	総合保健看護学	8	8

区 分	専 攻 名	収容定員			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
博士課程	看護先進科学	13	26	39	52
	共同災害看護学	2 (10)	4 (20)	6 (30)	8 (40)
博士（前期）課程	総合保健看護学	17	-	-	-
	生体検査科学	24	24	24	24
博士（後期）課程	総合保健看護学	24	24	16	8
	生体検査科学	18	18	18	18

備考 括弧内の数字は、共同大学院構成大学全体の収容定員を外数で示す。

- 5 改正後の第22条の規定にかかわらず、保健衛生学研究科博士（後期）課程総合保健看護学専攻を修了した者の学位は、次のとおりとする。

区 分	学 位
-----	-----

保健衛生学 研究科	博士（後期）課程	博士（看護学）
--------------	----------	---------

附 則（平成 27 年 3 月 30 日規則第 52 号）

この学則は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 28 年 3 月 31 日規程第 5 号）

- この学則は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。
- 平成 28 年 3 月 31 日において現に本学大学院に在学する者については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 改正後の第 6 条第 1 号の規定にかかわらず、医歯学総合研究科博士課程医歯学系専攻の平成 28 年度から平成 30 年度までの収容定員については、それぞれ次のとおりとする。

区 分	専 攻 名	収容定員		
		平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
博士課程	医歯学系	748	740	732

- 改正後の第 6 条第 1 号の規定にかかわらず、医歯学総合研究科博士課程東京医科歯科大学・チリ大学国際連携医学系専攻の平成 28 年度から平成 31 年度までの収容定員及び医歯学総合研究科博士課程東京医科歯科大学・チュラロンコーン大学国際連携歯学系専攻の平成 28 年度から平成 31 年度までの収容定員については、それぞれ次のとおりとする。

区 分	専 攻 名	収容定員			
		平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
博士課程	東京医科歯科大学・チリ大学 国際連携医学系	3	6	9	12
	東京医科歯科大学・チュラロ ンコーン大学国際連携歯学系	3	6	9	12

附 則（平成 28 年 5 月 11 日規程第 8 号）

この学則は、平成 28 年 5 月 11 日から施行し、平成 28 年 5 月 1 日から適用する。

附 則（平成 28 年 12 月 12 日規程第 12 号）

この学則は、平成 28 年 12 月 12 日から施行し、平成 28 年 4 月 1 日から適用する。

附 則（平成 29 年 3 月 31 日規程第 2 号）

この学則は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 30 年 5 月 1 日規程第 2 号）

- この学則は、平成 30 年 5 月 1 日から施行し、平成 30 年 4 月 1 日から適用する。
- 平成 30 年 3 月 31 日において現に本学大学院に在籍する者については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。また、同日に置かれている医歯学総合研究科修士課程医歯理工学専攻、医歯学総合研究科博士課程医歯学系専攻、医歯学総合研究科博士課程生命理工学系専攻、保健衛生学研究科博士（前期）課程生体検査科学専攻及び博士（後期）課程生体検査科学専攻は、同日に当該専攻に在籍する者が在籍しなくなる

までの間、存続するものとする。

- 3 改正後の第6条第1号の規定にかかわらず、医歯学総合研究科修士課程医歯理工学専攻の平成30年度の収容定員、医歯学総合研究科博士課程医歯学系専攻の平成30年度から平成32年度までの収容定員並びに医歯学総合研究科博士課程生命理工学系専攻の平成30年度及び平成31年度の収容定員については、それぞれ次のとおりとする。

区 分	専 攻 名	収容定員
		平成30年度
修 士 課 程	医歯理工学	105
	(医療管理学コース)	(0)
	(医療政策学コース)	(10)
備考 括弧内の数字は、医療管理政策学コースに係る収容定員の数を内数で示す。		

区 分	専攻名	収 容 定 員		
		平成30年度	平成31年度	平成32年度
博士課程	医歯学系	551	362	181

区 分	専攻名	収 容 定 員	
		平成30年度	平成31年度
博士課程	生命理工学系	50	25

- 4 改正後の第6条第1号の規定にかかわらず、医歯学総合研究科修士課程医歯理工保健学専攻の平成30年度の収容定員、医歯学総合研究科博士課程医歯学専攻の平成30年度から平成32年度までの収容定員並びに医歯学総合研究科博士課程生命理工医療科学専攻の平成30年度及び平成31年度の収容定員については、それぞれ次のとおりとする。

区 分	専 攻 名	収容定員
		平成30年度
修 士 課 程	医歯理工保健学	131
	(医療管理学コース)	(5)
	(医療政策学コース)	(10)
	(グローバルヘルスリーダー養成コース)	(9)
備考 括弧内の数字は、医療管理政策学コース及びグローバルヘルスリーダー養成コースに係る収容定員の数を内数で示す。		

区 分	専攻名	収 容 定 員		
		平成30年度	平成31年度	平成32年度

			度	度
博士課程	医歯学	1 8 1	3 6 2	5 4 3

区 分	専攻名	収 容 定 員	
		平成30年度	平成31年度
博士課程	生命理工医療科学	2 5	5 0

- 5 改正後の第6条第2号の規定にかかわらず、保健衛生学研究科博士（前期）課程生体検査科学専攻の平成30年度の入学定員並びに保健衛生学研究科博士（後期）課程生体検査科学専攻の平成30年度から平成31年度までの収容定員は、それぞれ次のとおりとする。

区 分	専 攻 名	収容定員
		平成30年度
博士（前期） 課程	生体検査科学	1 2

区 分	専攻名	収 容 定 員	
		平成30年度	平成31年度
博士（後期） 課程	生体検査科学	1 2	6

附 則（平成30年9月13日規程第5号）

この学則は、平成30年9月13日から施行し、平成30年4月1日から適用する。

附 則（平成31年3月31日規程第2号）

この学則は、平成31年3月31日から施行し、平成30年4月1日から適用する。

附 則（令和2年3月31日規程第1号）

- 1 この学則は、令和2年4月1日から施行する。
- 2 改正後の第6条第1号の規定にかかわらず、医歯学総合研究科博士課程東京医科歯科大学・マヒドン大学国際連携医学系専攻の令和2年度から令和5年度までの収容定員については、次のとおりとする。

区 分	専 攻 名	収容定員			
		令和2 年度	令和3 年度	令和4 年度	令和5 年度
博士課程	東京医科歯科大学・マヒドン大学国際連携医学系	3	6	9	1 2

附 則（令和３年３月３１日規程第４号）

- １ この学則は、令和３年４月１日から施行する。
- ２ 改正後の第５条の規定にかかわらず、保健衛生学研究科共同災害看護学専攻は、令和３年３月３１日において当該専攻に在籍する者が在籍しなくなるまでの間、存続するものとする。
- ３ 改正後の第６条の規定にかかわらず、保健衛生学研究科共同災害看護学専攻の令和３年度から令和６年度までの収容定員については、次のとおりとする。

年度 区分	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度
収容定員	8 (40)	6 (30)	4 (20)	2 (10)

備考 括弧内の数字は、共同大学院構成大学全体の収容定員を概数で示す。

附 則（令和４年３月２８日規程第７号）

この学則は、令和４年４月１日から施行する。

附 則（令和４年７月１５日規程第１１号）

この学則は、令和５年４月１日から施行する。

東京医科歯科大学大学院履修規則

平成22年3月30日
規則第42号

(趣旨)

第1条 東京医科歯科大学大学院における授業の履修に関しては、東京医科歯科大学大学院学則(平成16年規程第5号。以下「大学院学則」という。)に定めるもののほか、この規則の定めるところによる。

(授業科目及び履修)

第2条 本大学院の授業科目及び修得すべき単位数は、別表1に定めるものとする。

2 前項の授業科目及び修得すべき単位数は、各研究科の意見を聴いて学長が定めるものとする。

(授業)

第3条 授業は、講義、演習、実験若しくは実習により行い、必修、選択必修又は選択とする。

(1単位当たりの授業時間)

第4条 大学院学則第11条の2に定める1単位当たりの授業時間は、次のとおりとする。

(1) 医歯学総合研究科

ア 講義及び演習については、15時間から30時間

イ 実験及び実習については、30時間から45時間

(2) 保健衛生学研究科

ア 講義及び演習については、15時間から30時間

イ 実験及び実習については、30時間から45時間

2 前項の授業時間の設定においては、次の事項に配慮しなければならない。

(1) 学習目標を十分に満たすこと

(2) 履修時間及び自主的学修時間の確保

(試験及び単位)

第5条 履修した授業科目については、試験を行う。ただし、試験を行うことが困難な授業科目等については、試験によらず、学修の成果をもって、又は指定した課題についての報告をもって試験に替えることがある。

2 前項の試験に合格したときは、所定の単位を与える。

3 実習を伴わない授業科目については、試験に合格したときは所定の単位を与える。ただし、一授業科目の試験を分割して実施する科目については、そのすべての試験に合格しなければ単位を取得することができない。

4 実習を伴う授業科目については、試験に合格し、かつ、その授業科目の実習修了の認定が行われなければ所定の単位を取得することができない。

(雑則)

第6条 この規則に定めるもののほか履修に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規則は、平成22年4月1日から施行する。

附 則 (平成23年4月28日規則第61号)

この規則は、平成23年4月28日から施行し、平成23年4月1日から適用する。

附 則 (平成24年3月12日規則第33号)

1 この規則は、平成24年4月1日から施行する。

2 平成24年3月31日において現に本学大学院に在籍する者については、改正後の規則にかかわら

ず、なお従前の例による。

附 則（平成25年3月12日規則第24号）

この規則は、平成25年4月1日から施行する。

附 則（平成26年3月31日規則第15号）

この規則は、平成26年4月1日から施行する。

附 則（平成26年3月31日規則第24号）

- 1 この規則は、平成26年4月1日から施行する。
- 2 平成26年3月31日において現に本学大学院に在籍する者については、改正後の規則にかかわらず、なお従前の例による。
- 3 改正後の第2条の規定にかかわらず、平成26年度及び平成27年度に保健衛生学研究科博士（後期）課程総合保健看護学専攻に入学する者の授業科目及び履修は次のとおりとする。

大学院保健衛生学研究科博士（後期）課程総合保健看護学専攻

授業科目の名称	単位数
地域・在宅ケア看護学	
地域保健看護学特論	4
在宅ケア看護学特論	4
リプロダクティブヘルス看護学特論	4
精神保健看護学特論	4
看護機能・ケアマネジメント開発学	
生体・生活機能看護学特論	4
小児・家族発達看護学特論	4
先端侵襲緩和ケア看護学特論	4
高齢者看護・ケアシステム開発学特論	4
看護システムマネジメント学特論	4
健康教育開発学	
健康情報分析学特論	4
健康教育学特論	4
国際看護開発学特論	4
特別研究	8

下記に示す修了要件単位を全て修得し、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。

- (1) 所属教育研究分野の特論4単位
- (2) 特別研究8単位

附 則（平成27年2月17日規則第11号）

この規則は、平成27年4月1日から施行する。

附 則（平成27年5月18日規則第127号）

この規則は、平成27年5月18日から施行し、平成26年10月1日から適用する。

附 則（平成27年5月18日規則第128号）

- 1 この規則は、平成27年5月18日から施行し、平成27年4月1日から適用する。
- 2 平成27年3月31日において現に本学大学院に在籍する者については、改正後の規則にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成27年11月16日規則第208号）

- 1 この規則は、平成28年4月1日から施行する。
- 2 平成28年3月31日において現に本学大学院に在籍する者については、改正後の規則にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成28年3月4日規則第5号）

この規則は、平成28年4月1日から施行する。

附 則（平成28年3月31日規則第62号）

- 1 この規則は平成28年4月1日から施行する。
- 2 平成28年3月31日において現に本学大学院に在籍する者については、改正後の規則にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成 29 年 1 月 11 日規則第 9 号）

- 1 この規則は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 平成 29 年 3 月 31 日において現に本学大学院に在籍する者については、改正後の別表 1（1）の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成 29 年 3 月 30 日規則第 49 号）

この規則は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 29 年 3 月 31 日規則第 55 号）

この規則は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 29 年 6 月 21 日規則第 97 号）

- 1 この規則は、平成 29 年 6 月 21 日から施行し、平成 29 年 4 月 1 日から適用する。
- 2 平成 29 年 3 月 31 日において現に本学大学院に在籍する者については、改正後の規則にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成 30 年 3 月 30 日規則第 25 号）

- 1 この規則は、平成 30 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 平成 30 年 3 月 31 日において現に本学大学院に在籍する者については、改正後の規則にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成 31 年 3 月 31 日規則第 36 号）

- 1 この規則は、平成 31 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 平成 31 年 3 月 31 日において現に本学大学院に在籍する者については、改正後の規則にかかわらず、なお従前の例による。ただし、未来がん医療プロフェッショナル養成プラン科目を除く。

附 則（令和 2 年 3 月 31 日規則第 25 号）

- 1 この規則は、令和 2 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 令和 2 年 3 月 31 日において現に本学大学院に在籍する者については、改正後の規則にかかわらず、なお従前の例による。ただし、改正後の第 2 条第 1 項に規定する別表 1（3）の①及び②は、平成 31 年 4 月 1 日から適用する。

附 則（令和 3 年 5 月 18 日規則第 65 号）

- 1 この規則は令和 3 年 5 月 18 日から施行し、令和 3 年 4 月 1 日から適用する。
- 2 令和 3 年 3 月 31 日において現に本学大学院に在籍する者（以下「在籍者」という。）及び令和 3 年 4 月 1 日以降に在籍者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表 1（6）の次に掲げる科目を除いて、改正後の規則にかかわらず、なお従前の例による。

別表 1（6）がん病態治療学、緩和ケア看護学特論Ⅰ、がん薬物療法看護学特論Ⅰ、がん薬物療法看護学演習Ⅰ、緩和ケア看護学演習Ⅰ、災害看護学特論Ⅰ、災害看護学演習Ⅰ、クリティカルケア看護学特論Ⅰ、クリティカルケア看護学演習ⅠA、クリティカルケア看護学演習ⅠB、急性・重症患者フィジカルアセスメント、急性・重症患者治療管理論、災害看護学インターンシップ、コンサルテーション論、フィジカルアセスメント、臨床薬理学、病態生理学

附 則（令和 4 年 3 月 28 日規則第 61 号）

- 1 この規則は令和 4 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 令和 4 年 3 月 31 日において現に本学大学院に在籍する者については、次の事項を除き改正後の規則にかかわらず、なお従前の例による。

（1）別表 1（2）注第 1 項ただし書、別表 1（5）注第 1 項第 2 号ただし書及び別表 1（6）注第 1 項ただし書

（2）別表 1（1）、（2）及び（8）の次に掲げる科目

別表 1（1）及び（8） ポストコロナ社会における感染症対策

別表 1（2） Essential Expertise for Clinical Dentistry (EECD)

附 則（令和 5 年 3 月 28 日規則第 42 号）

- 1 この規則は令和 5 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 令和 5 年 3 月 31 日において現に本学大学院に在籍する者については、次の事項を除き改正後の規則にかかわらず、なお従前の例による。

（1）別表 1（1）（2）（5）及び（6）の次に掲げる科目

別表 1（1）（2）（5）及び（6）

疫学基礎、生物統計学基礎、生物統計学応用Ⅰ、生物統計学応用Ⅱ、臨床試験方法論基礎、臨床試験方法論応用、口腔疫学基礎、疫学応用

別表 1 (1) (2) 及び (5)

臨床疫学解析演習

別表 1 (2) 及び (5)

先端口腔保健応用学特論、先端口腔保健応用学演習、先端口腔保健工学特論、
硬組織研究・骨形態計測学特論

別表 1 (5)

口腔保健学セミナー

(2) 別表 1 (1) 注第 13 項、別表 1 (2) 注第 5 項及び別表 1 (5) 注第 4 項

(3) 別表 1 (8) 注第 1 項※ * 1

3 令和 5 年 3 月 31 日において現に本学大学院に在籍する者については、改正後の規則にかかわらず、
なお従前の例による。ただし、別表 1 (6) 共通科目（看護系以外）については、修了要件単位に
含まない授業科目として履修できるものとする。

附 則（令和 年 月 日規則第 号）

1 この規則は令和 6 年 4 月 1 日から施行する。

2 令和 6 年 3 月 31 日において現に本学大学院に在籍する者については、改正後の規則にかかわらず、
なお従前の例による。ただし、次世代がん医療を担う多職種人材養成プラン科目を除く。

別表 1

(1) 大学院医歯学総合研究科修士課程医歯理工保健学専攻

科目区分	授業科目の名称	単位数	
		必修	選択
基礎科目	医歯学総合概論*1, *2, *3, *5, *9	1	2
	初期研究研修		
	医歯理工学先端研究特論*1, *2, *3, *5, *9		1
	人体形態学*1, *9		1
	口腔形態学*2, *3		1
	人体機能学*1, *2, *3, *9		1
	病理病態学*1, *2, *4, *9		1
	環境社会医歯学*1, *2, *3, *9		1
	病院実習		1
	口腔保健臨地実習*4		2
	口腔保健工学特論*4		2
専門科目	生化学*9		2
	薬理学		2
	免疫学		2
	発生・再生科学		2
	細胞生物学特論		1
	神経疾患特論		2
	遺伝医学特論*9		2
	口腔保健福祉学		2
	ビッグデータ解析学*8		1
	疾患オミックス情報学特論		1
	機能分子化学*6		2
	ケミカルバイオロジー特論*6		2
	ケミカルバイオロジー技術特論*6		2
	分子構造学特論*6		2
	生体材料学*6		2
	バイオメディカルデバイス理工学Ⅰ*6, *8		1
	バイオメディカルデバイス理工学Ⅱ*6		1
	応用生体材料学*6		2
	医歯薬産業技術特論*6		1

	バイオメディカルシステム理工学Ⅰ*6		1
	バイオメディカルシステム理工学Ⅱ*6		1
	英語交渉・ディベート特論		2
	研究倫理・医療倫理学*8,*9		1
	生命理工学概論*11		2
	トランスレーショナルリサーチ特論		2
	産学リンケージ特論		2
	先制医療学実習*8		2
	先制医療学基礎実習*8,*9		1
	保健医療情報学		2
	Basic Human Pathology for Graduate Students		1
	生体検査科学特論Ⅰ*7		2
	生体検査科学特論Ⅱ*7		2
	生体検査科学セミナーⅠ*7		1
	臨床実践特別演習入門		1
	臨床実践特別演習Ⅰ		1
	臨床実践特別演習Ⅱ		1
	医療データ科学概論*8		1
	時間・空間の分子生命科学		1
	疫学基礎*12		1
演習・実習・研究科目	生物統計学基礎*12		1
	生物統計学応用Ⅰ*12		1
	生物統計学応用Ⅱ*12		1
	臨床試験方法論基礎*12		1
	臨床試験方法論応用*12		1
	口腔疫学基礎*12		1
	疫学応用*12		1
	臨床疫学解析演習*13		1
	医科学演習*1,*9		4
	医科学実習*1,*9		4
	歯科学演習*2		4
	歯科学実習*2		4
	口腔保健学演習*3		4
	口腔保健学実習*3		4
	生命理工学演習*5		4
	生命理工学実習*5		4
	保健学演習*7		4
	保健学実習*7		4
	課題研究	4	
医療管理政策学科目 (医療管理政策学コース)	医療政策概論*9		1
	医療社会政策論		1
	世界の医療制度		1
	医療保険論		2
	医療政策各論		2
	医療産業論		2
	医療経済論		2
	先端医療技術・産学連携		1
	医療機関リスク管理		1
	医療のTQM		1
	医療機能評価		1
	ポストコロナ社会における感染症対策		1

	医療制度と法	1
	医事紛争と法	1
	生命倫理と法	1
	診療情報管理学	1
	ＩＴ時代の医療診断システムとセキュリティ	1
	医療思想史	1
	世界の文化と医療	1
	世界の宗教と死生観	1
	病院設計・病院設備	1
	衛生工学・汚染管理	1
	医療とリーダーシップ	1
	戦略と組織	1
	財務・会計	1
	医療の人間工学	1
	人的資源管理	1
	医療とコミュニケーション*9	1
	医歯学総合概論	2
	臨床研究・治験	1
	ビッグデータ解析学	1
	DPC データ分析概論	1
	医歯理工学先端研究特論	1
	環境社会医歯学	1
	医歯薬産業技術特論	1
	医療データ科学概論	1
	疫学基礎	1
	生物統計学基礎	1
	生物統計学応用Ⅰ	1
	生物統計学応用Ⅱ	1
	臨床試験方法論基礎	1
	臨床試験方法論応用	1
	口腔疫学基礎	1
	疫学応用	1
	課題研究	8

科目区分	授業科目の名称	単位数	
		必修	選択
グローバル健康医学 科目 (グローバルヘルス リーダー養成コース)	疫学Ⅰ*8	2	
	疫学Ⅱ		2
	生物統計Ⅰ*8	2	
	生物統計Ⅱ		2
	基礎医学概論		2
	医療システム	2	
	プラネタリーヘルス	2	
	グローバルヘルス	4	
	母子保健学		2
	医療ビジネス論		2
	行動科学	2	
	環境保健学	2	
	疫学基礎*12		1
	生物統計学基礎*12		1
	生物統計学応用Ⅰ*12		1

	生物統計学応用Ⅱ*12		1
	臨床試験方法論基礎*12		1
	臨床試験方法論応用*12		1
	口腔疫学基礎*12		1
	疫学応用*12		1
	臨床疫学解析演習*13		1
	課題研究Ⅰ	6	
	課題研究Ⅱ	6	
認定遺伝カウンセラ ー受験資格関連科目 (遺伝カウンセリン グコース)	人類遺伝学*9, *10	2	
	臨床遺伝学*9, *10	2	
	研究倫理演習*9, *10	1	
	遺伝カウンセリング学*9, *10	3	
	遺伝カウンセリング実習*9, *10	6	

1 下記に示す修了要件単位を修得すること。

- (1) 修士（医科学）、修士（歯科学）の修得を目指す学生は、基礎科目中、必修科目から8単位、演習・実習・研究科目12単位、その他基礎科目（必修科目は除く。）、専門科目及び医療管理政策学科目並びにグローバル健康医学科目から10単位以上を履修し、合わせて30単位以上。
 - (2) 修士（口腔保健学）の修得を目指す学生は、基礎科目中、必修科目から7単位、基礎科目の選択科目中「病理病態学」及び「口腔保健臨地実習」又は「口腔保健工学特論」から2単位以上、演習・実習・研究科目12単位、その他基礎科目（必修科目は除く。）、専門科目及び医療管理政策学科目並びにグローバル健康医学科目から9単位以上を履修し、合わせて30単位以上。
 - (3) 修士（理学）、修士（工学）の修得を目指す学生は、基礎科目中、必修科目4単位、演習・実習・研究科目12単位、その他基礎科目（必修科目は除く。ただし、選択科目中、人体形態学を履修した者は口腔形態学の履修は不可）、専門科目及び医療管理政策学科目並びにグローバル健康医学科目から14単位以上を履修し、合わせて30単位以上。
 - (4) 修士（保健）の修得を目指す学生は、基礎科目中、必修科目1単位、専門科目中、必修科目7単位、演習・実習・研究科目12単位、その他基礎科目（必修科目を除く。ただし、選択科目中、人体形態学を履修した者は口腔形態学の履修は不可）、専門科目（必修科目は除く。）及び医療管理政策学科目並びにグローバル健康医学科目から10単位以上を履修し、合わせて30単位以上。
 - (5) 修士（医療管理学）、修士（医療政策学）の修得を目指す学生は医療管理政策学科目のうち課題研究8単位及びその他の科目22単位以上を履修し、合わせて30単位以上。
 - (6) 修士（グローバル健康医学）の修得を目指す学生は、グローバル健康医学科目のうち必修科目28単位、選択科目2単位以上を履修し、合わせて30単位以上。
- 2 *1：修士（医科学）の修得を目指す学生について必修科目とする。
 - 3 *2：修士（歯科学）の修得を目指す学生について必修科目とする。
 - 4 *3：修士（口腔保健学）の修得を目指す学生について必修科目とする。
 - 5 *4：修士（口腔保健学）の修得を目指す学生について、「病理病態学」と「口腔保健臨地実習」もしくは「口腔保健工学特論」を必ず履修すること。
 - 6 *5：修士（理学）、修士（工学）の修得を目指す学生について必修科目とする。
 - 7 *6：修士（工学）の修得を目指す学生について、9科目15単位の中から4単位以上必ず履修すること。
 - 8 *7：修士（保健学）の修得を目指す学生について必修科目とする。
 - 9 *8：先制医療学コースを履修する学生は、医歯理工保健学専攻の修了要件を満たし、先制医療学コース指定科目を全て履修し、単位を修得した場合、先制医療学コースに関する学修成果を認定する。
 - 10 *9：以下の*10を含む遺伝カウンセリングコース指定科目を37単位修得した場合、認定遺伝カウンセラーの受験資格を得ることが出来る。
 - 11 *10：先進倫理医科学分野に所属する学生が選択できる授業科目。
 - 12 *11：修士（理学）、修士（工学）の修得を目指す学生のうち10月に入学する学生について必修科目とする。
 - 13 *12及び13：臨床疫学プログラムを履修する学生は、医歯理工保健学専攻の修了要件を満たし、臨床疫学プログラム指定科目から選択科目（*12）を5単位以上かつ必修科目（*13）を全て履修

し、単位を修得した場合、臨床疫学プログラムに関する学修成果を認定する。

(2) 大学院医歯学総合研究科博士課程医歯学専攻

科目区分		授業科目の名称	単位数	
			必修	選択
専攻共通科目		初期研究研修*2		1
		医歯学総合特論（大学院セミナー）*2		2
		医歯学先端研究特論（大学院特別講義）		4
		医歯学総合研究科コース特論*2		6
		包括臨床演習		8
		Essential Expertise for Clinical Dentistry (EECD)		1
		疾患予防パブリックヘルス医学概論*2		2
		マネジメント特論*1		1
		国際動向特論*1		1
		知的財産特論*1		1
		英語ディベート特論*1		1
		英語プレゼンテーション特論*1		1
		疾患生命科学特論		2
		先端機能分子特論		1
		機能分子開発技術特論		1
		機能再建材料学特論		1
		組織再生材料学特論		1
		生体機能材料学特論		1
		医用材料工学特論		1
		生体情報数理解析論		1
		理研生体分子制御学特論		2
		先端口腔保健応用学特論		2
		先端口腔保健応用学演習		1
		先端口腔保健工学特論		1
		硬組織研究・骨形態計測学特論		1
		実践疫学		2
		アドバンス生物統計学		2
		公衆衛生のための医学・生物学		2
		医療システム・マネジメント		2
		プラネタリーヘルス		2
		グローバルヘルス		4
		母子保健		2
		ヘルスケアビジネス		2
		行動科学		2
		環境保健		2
先制医歯理工学科目	共通科目	先制医歯理工学概論Ⅰ		1
		先制医歯理工学概論Ⅱ		1
		データサイエンス特論Ⅰ		1
		データサイエンス特論Ⅱ		1
		データサイエンス特論Ⅲ		1
		データサイエンス特論Ⅳ		1
	臨床統計・バイオインフォマティクス専門科目	疫学		2
		臨床・遺伝統計学		2
	先進医療デバイス IoT 学専門科目	先端バイオセンシングデバイス特論		1
		医療デバイス・システム機器特論		1
		ウェアラブル IoT 技術特論		1
	疾患生命創薬科学	疾患分子病態学特論		1

	専門科目	先端ケミカルバイオロジー特論 生体分子制御学特論		1 1
臨床疫学科目		疫学基礎*3		1
		生物統計学基礎*3		1
		生物統計学応用Ⅰ*3		1
		生物統計学応用Ⅱ*3		1
		臨床試験方法論基礎*3		1
		臨床試験方法論応用*3		1
		口腔疫学基礎*3		1
		疫学応用*3		1
		臨床疫学解析演習*4		1
次世代がん医療を担う多職種人材養成プラン科目		がんの生物学・解剖学・病理学		1
		がんゲノム治療学演習		1
		低侵襲がん治療Ⅰ		1
		低侵襲がん治療Ⅱ		1
		臓器別がん		1
		小児・希少がん		1
		臨床腫瘍学		1
		がんゲノム医療		1
		造血器腫瘍		1
		腫瘍放射線生物学特論		1
		放射線診断学・核医学特論		1
		腫瘍放射線治療学特論		1
		がん化学療法特論		1
		緩和ケア・緩和医療学		1
		がん病理診断学		1
		口腔がん・がん口腔支持療法		1
		腫瘍循環器		1
		がんゲノム医療実習		4
		造血器腫瘍実践演習		2
		がん病理診断演習		1
		腫瘍循環器実践演習		2
口腔病理学分野科目		口腔病理学特論	6	※
		口腔病理学演習	4	
		研究実習	8	
細菌感染制御学分野科目		細菌感染制御学特論	6	※
		細菌感染制御学演習	4	
		研究実習	8	
分子免疫学分野科目		分子免疫学特論	6	※
		分子免疫学演習	4	
		研究実習	8	
先端材料評価学分野科目		先端材料評価学特論	6	※
		先端材料評価学演習	4	
		研究実習	8	
歯科放射線診断・治療学分野科目		歯科放射線診断・治療学特論	6	※
		歯科放射線診断・治療学演習	4	
		研究実習	8	
顎口腔腫瘍外科学分野科目		顎口腔腫瘍外科学特論	6	※
		顎口腔腫瘍外科学演習	4	
		研究実習	8	

科目区分	授業科目の名称	単位数	
		必修	選択
歯科麻酔・口腔顔面痛制御学分野科目	歯科麻酔・口腔顔面痛制御学特論	6	※
	歯科麻酔・口腔顔面痛制御学演習	4	
	研究実習	8	
小児歯科学・障害者歯科学分野科目	小児歯科学・障害者歯科学特論	6	※
	小児歯科学・障害者歯科学演習	4	
	研究実習	8	
咬合機能矯正学分野科目	咬合機能矯正学特論	6	※
	咬合機能矯正学演習	4	
	研究実習	8	
う蝕制御学分野科目	う蝕制御学特論	6	※
	う蝕制御学演習	4	
	研究実習	8	
咬合機能健康科学分野科目	咬合機能健康科学特論	6	※
	咬合機能健康科学演習	4	
	研究実習	8	
歯髄生物学分野科目	歯髄生物学特論	6	※
	歯髄生物学演習	4	
	研究実習	8	
生体補綴歯科学分野科目	生体補綴歯科学特論	6	※
	生体補綴歯科学演習	4	
	研究実習	8	
口腔再生再建学分野科目	口腔再生再建学特論	6	※
	口腔再生再建学演習	4	
	研究実習	8	
形成・再建外科学分野科目	形成・再建外科学特論	6	※
	形成・再建外科学演習	4	
	研究実習	8	
頭頸部外科学分野科目	頭頸部外科学特論	6	※
	頭頸部外科学演習	4	
	研究実習	8	
腫瘍放射線治療学分野科目	腫瘍放射線治療学特論	6	※
	腫瘍放射線治療学演習	4	
	研究実習	8	
口腔顎顔面解剖学分野科目	口腔顎顔面解剖学特論	6	※
	口腔顎顔面解剖学演習	4	
	研究実習	8	
認知神経生物学分野科目	認知神経生物学特論	6	※
	認知神経生物学演習	4	
	研究実習	8	
分子発生・口腔組織学分野科目	分子発生・口腔組織学特論	6	※
	分子発生・口腔組織学演習	4	
	研究実習	8	
分子細胞機能学分野科目	分子細胞機能学特論	6	※
	分子細胞機能学演習	4	
	研究実習	8	
顎顔面外科学分野科目	顎顔面外科学特論	6	※
	顎顔面外科学演習	4	
	研究実習	8	

科目区分	授業科目の名称	単位数	
		必修	選択
顎顔面矯正学分野科目	顎顔面矯正学特論 顎顔面矯正学演習 研究実習	6 4 8	※
生体組織再建外科学分野科目	生体組織再建外科学特論 生体組織再建外科学演習 研究実習	6 4 8	※
細胞生物学分野科目	細胞生物学特論 細胞生物学演習 研究実習	6 4 8	※
病態代謝解析学分野科目	病態代謝解析学特論 病態代謝解析学演習 研究実習	6 4 8	※
運動器外科学分野科目	運動器外科学特論 運動器外科学演習 研究実習	6 4 8	※
病態生化学分野科目	病態生化学特論 病態生化学演習 研究実習	6 4 8	※
分子情報伝達学分野科目	分子情報伝達学特論 分子情報伝達学演習 研究実習	6 4 8	※
歯周病学分野科目 (歯周病学担当)	歯周病学Ⅰ 特論 歯周病学Ⅰ 演習 研究実習	6 4 8	※
歯周病学分野科目 (歯周光線治療学担当)	歯周病学Ⅱ 特論 歯周病学Ⅱ 演習 研究実習	6 4 8	※
生体情報継承学分野科目	生体情報継承学特論 生体情報継承学演習 研究実習	6 4 8	※
無機生体材料学分野科目	無機生体材料学特論 無機生体材料学演習 研究実習	6 4 8	※
公衆衛生学分野科目	公衆衛生学特論 公衆衛生学演習 研究実習	6 4 8	※
寄生虫学・熱帯医学分野科目	寄生虫学・熱帯医学特論 寄生虫学・熱帯医学演習 研究実習	6 4 8	※
法医学分野科目	法医学特論 法医学演習 研究実習	6 4 8	※
政策科学分野科目	政策科学特論 政策科学演習 研究実習	6 4 8	※
分子疫学分野科目	分子疫学特論 分子疫学演習 研究実習	6 4 8	※

科目区分	授業科目の名称	単位数	
		必修	選択
医療政策情報学分野科目	医療政策情報学特論	6	※
	医療政策情報学演習	4	
	研究実習	8	
先進倫理医科学分野科目	先進倫理医科学特論	6	※
	先進倫理医科学演習	4	
	研究実習	8	
法歯学分野科目	法歯学特論	6	※
	法歯学演習	4	
	研究実習	8	
医療経済学分野科目	医療経済学特論	6	※
	医療経済学演習	4	
	研究実習	8	
歯学教育開発学分野科目	歯学教育開発学特論	6	※
	歯学教育開発学演習	4	
	研究実習	8	
健康推進歯学分野科目	健康推進歯学特論	6	※
	健康推進歯学演習	4	
	研究実習	8	
歯学教育システム評価学分野科目	歯学教育システム評価学特論	6	※
	歯学教育システム評価学演習	4	
	研究実習	8	
教育メディア開発学分野科目	教育メディア開発学特論	6	※
	教育メディア開発学演習	4	
	研究実習	8	
保険医療管理学分野科目	保険医療管理学特論	6	※
	保険医療管理学演習	4	
	研究実習	8	
国際保健医療事業開発学分野科目	国際保健医療事業開発学特論	6	※
	国際保健医療事業開発学演習	4	
	研究実習	8	
臨床統計学分野科目	臨床統計学特論	6	※
	臨床統計学演習	4	
	研究実習	8	
感染症健康危機管理学分野科目	感染症健康危機管理学特論	6	※
	感染症健康危機管理学演習	4	
	研究実習	8	
医療安全管理学分野科目	医療安全管理学特論	6	※
	医療安全管理学演習	4	
	研究実習	8	
リハビリテーション医学分野科目	リハビリテーション医学特論	6	※
	リハビリテーション医学演習	4	
	研究実習	8	
高齢者歯科学分野科目	高齢者歯科学特論	6	※
	高齢者歯科学演習	4	
	研究実習	8	

科目区分	授業科目の名称	単位数	
		必修	選択
摂食嚥下リハビリテーション学分野科目	摂食嚥下リハビリテーション学特論 摂食嚥下リハビリテーション学演習 研究実習	6 4 8	※
臨床検査医学分野科目	臨床検査医学特論 臨床検査医学演習 研究実習	6 4 8	※
生体集中管理学分野科目	生体集中管理学特論 生体集中管理学演習 研究実習	6 4 8	※
臨床医学教育開発学分野科目	臨床医学教育開発学特論 臨床医学教育開発学演習 研究実習	6 4 8	※
救急災害医学分野科目	救急災害医学特論 救急災害医学演習 研究実習	6 4 8	※
臨床腫瘍学分野科目 (腫瘍内科学・緩和医療学担当)	臨床腫瘍学Ⅰ 特論 臨床腫瘍学Ⅰ 演習 研究実習Ⅰ	6 4 8	※
臨床腫瘍学分野科目 (がんゲノム治療学担当)	臨床腫瘍学Ⅱ 特論 臨床腫瘍学Ⅱ 演習 研究実習Ⅱ	6 4 8	※
総合診療歯科学分野科目	総合診療歯科学特論 総合診療歯科学演習 研究実習	6 4 8	※
歯科心身医学分野科目	歯科心身医学特論 歯科心身医学演習 研究実習	6 4 8	※
総合診療医学分野科目	総合診療医学特論 総合診療医学演習 研究実習	6 4 8	※
統合臨床感染症学分野科目	統合臨床感染症学特論 統合臨床感染症学演習 研究実習	6 4 8	※
神経機能形態学分野科目	神経機能形態学特論 神経機能形態学演習 研究実習	6 4 8	※
システム神経生理学分野科目	システム神経生理学特論 システム神経生理学演習 研究実習	6 4 8	※
分子神経科学分野科目	分子神経科学特論 分子神経科学演習 研究実習	6 4 8	※
神経病理学分野科目	神経病理学特論 神経病理学演習 研究実習	6 4 8	※
眼科学分野科目	眼科学特論 眼科学演習 研究実習	6 4 8	※

科目区分	授業科目の名称	単位数	
		必修	選択
耳鼻咽喉科学分野科目	耳鼻咽喉科学特論	6	※
	耳鼻咽喉科学演習	4	
	研究実習	8	
脳神経病態学分野科目	脳神経病態学特論	6	※
	脳神経病態学演習	4	
	研究実習	8	
精神行動医科学分野科目（精神行動医科学担当）	精神行動医科学Ⅰ特論	6	※
	精神行動医科学Ⅰ演習	4	
	研究実習	8	
精神行動医科学分野科目（犯罪精神医科学担当）	精神行動医科学Ⅱ特論	6	※
	精神行動医科学Ⅱ演習	4	
	研究実習	8	
精神行動医科学分野科目（リエゾン精神医学 - 精神腫瘍学担当）	精神行動医科学Ⅲ特論	6	※
	精神行動医科学Ⅲ演習	4	
	研究実習	8	
脳神経機能外科学分野科目	脳神経機能外科学特論	6	※
	脳神経機能外科学演習	4	
	研究実習	8	
血管内治療学分野科目	血管内治療学特論	6	※
	血管内治療学演習	4	
	研究実習	8	
NCNP脳機能病態学分野科目	NCNP脳機能病態学特論	6	※
	NCNP脳機能病態学演習	4	
	研究実習	8	
免疫学分野科目	免疫学特論	6	※
	免疫学演習	4	
	研究実習	8	
ウイルス制御学分野科目	ウイルス制御学特論	6	※
	ウイルス制御学演習	4	
	研究実習	8	
生体防御学分野科目	生体防御学特論	6	※
	生体防御学演習	4	
	研究実習	8	
環境生物学分野科目	環境生物学特論	6	※
	環境生物学演習	4	
	研究実習	8	
免疫制御学分野科目	免疫制御学特論	6	※
	免疫制御学演習	4	
	研究実習	8	
脂質生物学分野科目	脂質生物学特論	6	※
	脂質生物学演習	4	
	脂質生物学研究実習	8	
発生発達病態学分野科目	発生発達病態学特論	6	※
	発生発達病態学演習	4	
	研究実習	8	

科目区分	授業科目の名称	単位数	
		必修	選択
膠原病・リウマチ内科学分野科目	膠原病・リウマチ内科学特論	6	※
	膠原病・リウマチ内科学演習	4	
	研究実習	8	
皮膚科学分野科目	皮膚科学特論	6	※
	皮膚科学演習	4	
	研究実習	8	
NCCHD成育医学分野科目	NCCHD成育医学特論	6	※
	NCCHD成育医学演習	4	
	研究実習	8	
ハイリスク感染症研究マネジメント学分野科目	ハイリスク感染症研究マネジメント学特論	6	※
	ハイリスク感染症研究マネジメント学演習	4	
	研究実習	8	
人体病理学分野科目	人体病理学特論	6	※
	人体病理学演習	4	
	研究実習	8	
細胞生理学分野科目	細胞生理学特論	6	※
	細胞生理学演習	4	
	研究実習	8	
分子細胞循環器学分野科目	分子細胞循環器学特論	6	※
	分子細胞循環器学演習	4	
	研究実習	8	
幹細胞制御分野科目	幹細胞制御特論	6	※
	幹細胞制御演習	4	
	研究実習	8	
統合呼吸器病学分野科目	統合呼吸器病学特論	6	※
	統合呼吸器病学演習	4	
	研究実習	8	
消化器病態学分野科目	消化器病態学特論	6	※
	消化器病態学演習	4	
	研究実習	8	
総合外科学分野科目 (総合外科学担当)	総合外科学Ⅰ特論	6	※
	総合外科学Ⅰ演習	4	
	研究実習Ⅰ	8	
総合外科学分野科目 (小児外科学担当)	総合外科学Ⅱ特論	6	※
	総合外科学Ⅱ演習	4	
	研究実習Ⅱ	8	
循環制御内科学分野科目	循環制御内科学特論	6	※
	循環制御内科学演習	4	
	研究実習	8	
心肺統御麻酔学分野科目 (心肺統御麻酔学担当)	心肺統御麻酔学Ⅰ特論	6	※
	心肺統御麻酔学Ⅰ演習	4	
	研究実習Ⅰ	8	
心肺統御麻酔学分野科目 (周産期・小児麻酔学担当)	心肺統御麻酔学Ⅱ特論	6	※
	心肺統御麻酔学Ⅱ演習	4	
	研究実習Ⅱ	8	

科目区分	授業科目の名称	単位数	
		必修	選択
心臓血管外科学分野科目 (心臓血管外科学担当)	心臓血管外科学Ⅰ特論 心臓血管外科学Ⅰ演習 研究実習Ⅰ	6 4 8	※
心臓血管外科学分野科目 (末梢血管外科学担当)	心臓血管外科学Ⅱ特論 心臓血管外科学Ⅱ演習 研究実習Ⅱ	6 4 8	※
腎臓内科学分野科目	腎臓内科学特論 腎臓内科学演習 研究実習	6 4 8	※
生殖機能協関学分野科目	生殖機能協関学特論 生殖機能協関学演習 研究実習	6 4 8	※
腎泌尿器外科学分野科目	腎泌尿器外科学特論 腎泌尿器外科学演習 研究実習	6 4 8	※
消化管外科学分野科目	消化管外科学特論 消化管外科学演習 研究実習	6 4 8	※
呼吸器外科学分野科目	呼吸器外科学特論 呼吸器外科学演習 研究実習	6 4 8	※
都医学研疾患分子生物学分野科目	都医学研疾患分子生物学特論 都医学研疾患分子生物学演習 研究実習	6 4 8	※
臨床解剖学分野科目	臨床解剖学特論 臨床解剖学演習 研究実習	6 4 8	※
システム発生・再生医学分野科目	システム発生・再生医学特論 システム発生・再生医学演習 研究実習	6 4 8	※
包括病理学分野科目	包括病理学特論 包括病理学演習 研究実習	6 4 8	※
分子腫瘍医学分野科目	分子腫瘍医学特論 分子腫瘍医学演習 研究実習	6 4 8	※
診断病理学分野科目	診断病理学特論 診断病理学演習 研究実習	6 4 8	※
疾患モデル動物解析学分野科目	疾患モデル動物解析学特論 疾患モデル動物解析学演習 研究実習	6 4 8	※
先端計測開発医学分野科目	先端計測開発医学特論 先端計測開発医学演習 研究実習	6 4 8	※

科目区分	授業科目の名称	単位数	
		必修	選択
生命機能医学分野科目	生命機能医学特論	6	※
	生命機能医学演習	4	
	研究実習	8	
遺伝子応用医学分野科目	遺伝子応用医学特論	6	※
	遺伝子応用医学演習	4	
	研究実習	8	
血液内科学分野科目	血液内科学特論	6	※
	血液内科学演習	4	
	研究実習	8	
分子内分泌代謝学分野科目	分子内分泌代謝学特論	6	※
	分子内分泌代謝学演習	4	
	研究実習	8	
肝胆膵外科学分野科目	肝胆膵外科学特論	6	※
	肝胆膵外科学演習	4	
	研究実習	8	
整形外科学分野科目	整形外科学特論	6	※
	整形外科学演習	4	
	研究実習	8	
画像診断・核医学分野科目	画像診断・核医学特論	6	※
	画像診断・核医学演習	4	
	研究実習	8	
ゲノム機能多様性分野科目	ゲノム機能多様性特論	6	※
	ゲノム機能多様性演習	4	
	研究実習	8	
疾患多様性遺伝学分野科目	疾患多様性遺伝学特論	6	※
	疾患多様性遺伝学演習	4	
	研究実習	8	
応用再生医学分野科目	応用再生医学特論	6	※
	応用再生医学演習	4	
	研究実習	8	
計算システム生物学分野科目	計算システム生物学特論	6	※
	計算システム生物学演習	4	
	研究実習	8	
先端バイオマテリアル分野科目	先端バイオマテリアル特論	6	※
	先端バイオマテリアル演習	4	
	研究実習	8	
JFCR腫瘍制御学分野科目	JFCR腫瘍制御学特論	6	※
	JFCR腫瘍制御学演習	4	
	研究実習	8	
ゲノム健康医療学分野科目	ゲノム健康医療学特論	6	※
	ゲノム健康医療学演習	4	
	研究実習	8	
器官発生・創生学分野科目	器官発生・創生学特論	6	※
	器官発生・創生学演習	4	
	研究実習	8	

科目区分	授業科目の名称	単位数	
		必修	選択
統合データ科学分野科目	統合データ科学特論	6	※
	統合データ科学演習	4	
	研究実習	8	
生物統計学分野科目	生物統計学特論	6	※
	生物統計学演習	4	
	研究実習	8	
AI システム医科学分野科目	AI システム医科学特論	6	※
	AI システム医科学演習	4	
	研究実習	8	
神経免疫学分野科目	神経免疫学特論	6	※
	神経免疫学演習	4	
	研究実習	8	

1 下記に示す修了要件単位を修得すること。

所属教育研究分野が開設する授業科目（特論、演習、研究実習）18単位、所属教育研究分野以外が開設する特論（※）及び専攻共通科目、先制医歯理工学科目、並びに（9）未来がん医療プロフェッショナル養成プラン科目から12単位以上。ただし、教育研究分野の改組等に伴う所属異動の場合には、異動前の所属教育研究分野が開設する授業科目の履修をもって、所属教育研究分野が開設する授業科目の履修とみなす。

- 臨床統計・バイオインフォマティクスプログラムを履修する学生は、医歯学専攻の修了要件を満たし、臨床統計・バイオインフォマティクスプログラム指定科目（専攻共通科目（*1 及び 2）、所属教育研究分野以外が開設する特論（※）、先制医歯理工学科目共通科目、臨床統計・バイオインフォマティクス専門科目、先進医療デバイス IoT 学専門科目及び疾患生命創薬科学専門科目から合わせて12単位以上（ただし、専攻共通科目（*1）から1単位以上、先制医歯理工学科目共通科目から1単位以上、臨床統計・バイオインフォマティクス専門科目から2単位以上））を全て履修し、単位を修得した場合、臨床統計・バイオインフォマティクスプログラムに関する学習成果を認定する。
- 次世代がん医療を担う多職種人材養成プランの授業科目を履修する学生は、医歯学専攻の修了要件を満たし、次世代がん医療を担う多職種人材養成プラン授業科目から6単位以上履修し、単位を修得した場合、次世代がん医療を担う多職種人材養成プランに関する学習成果を認定する。
- 臨床疫学プログラムを履修する学生は、医歯学専攻の修了要件を満たし、臨床疫学プログラム指定科目（臨床疫学科目から選択科目（*3）を5単位以上かつ必修科目（*4））を全て履修し、単位を修得した場合、臨床疫学プログラムに関する学修成果を認定する。

(3) 大学院医歯学総合研究科国際連携専攻

①東京医科歯科大学・チリ大学国際連携医学系専攻

科目区分		授業科目の名称	開設大学	単位数	
				必修	選択
共通科目群	一般教養科目	癌のゲノムとバイオ情報工学	チリ大学		3
		英語での科学論文ディスカッション	チリ大学		3
		学術英語における文法及び記述コミュニケーションスキル	チリ大学		4
		生物統計学	チリ大学		2
		生体医科学研究の倫理	チリ大学		3
		初期研究研修	東京医科歯科大学	1	
	基礎科目	細胞生理学	チリ大学		5
		癌に関わる細胞及び分子生物学	チリ大学		5
		システム生理学	チリ大学		5
		免疫学入門	チリ大学		4
		基礎薬理学	チリ大学		4
		分子微生物学	チリ大学		4
		臨床研究の方法論の基礎	チリ大学		3
		細胞・分子生物学	チリ大学		5
		ビッグデータ解析学	東京医科歯科大学		1
		総合外科学研究概論	東京医科歯科大学		4
		消化管外科学研究概論	東京医科歯科大学		4
	応用科目	細胞・分子生物学上級	チリ大学		3
		器官系統特殊生理病理学	チリ大学		4
		細胞分子免疫学	チリ大学		3
		遺伝医学	チリ大学		4
		人類生化学	チリ大学		5
		生体医科学における細胞シグナル伝達	チリ大学		3
		診断・臨床研究への応用分子生物学	チリ大学		3
		疫学	チリ大学		2
		バイオインフォマティクス1	チリ大学		2
		バイオインフォマティクス2	チリ大学		2
		機能分子化学	東京医科歯科大学		2
		疾患予防パブリックヘルス医学概論	東京医科歯科大学		2
		臨床腫瘍学研究特論	東京医科歯科大学		4
	研究演習	基礎研究演習	チリ大学	15	
		臨床研究演習	チリ大学	15	
	文献ゼミナール	文献ゼミナール	チリ大学	3	
専門科目群	上部消化管外科	上部消化管外科臨床基礎	チリ大学		20
		上部消化管外科臨床応用	チリ大学		27
		上部消化管外科臨床基礎	東京医科歯科大学		20
		上部消化管外科臨床応用Ⅰ	東京医科歯科大学		35
		上部消化管外科臨床応用Ⅱ	東京医科歯科大学		8
	大腸肛門外科	大腸肛門外科臨床基礎	チリ大学		20
		大腸肛門外科臨床応用	チリ大学		27
		大腸肛門外科臨床基礎	東京医科歯科大学		20

		大腸肛門外科臨床応用Ⅰ	東京医科歯科大学		35
		大腸肛門外科臨床応用Ⅱ	東京医科歯科大学		8
	胃腸病内科	胃腸病内科臨床基礎	チリ大学		20
		胃腸病内科臨床応用	チリ大学		27
		胃腸病内科臨床基礎	東京医科歯科大学		20
		胃腸病内科臨床応用Ⅰ	東京医科歯科大学		35
		胃腸病内科臨床応用Ⅱ	東京医科歯科大学		8
特別研究	特別研究		チリ大学	56	
	特別研究		東京医科歯科大学	56	

下記の 1 から 4 に示す修了要件を全て満たし、かつ必要な研究指導を受けた上、学位論文の審査及び最終試験に合格すること。

- 1 共通科目群のうち、必修科目である一般教養科目の初期研究研修（1 単位）、研究演習 2 科目（30 単位）及び文献ゼミナール 1 科目（3 単位）を修得すること。
 - 2 共通科目群のうち、選択科目である一般教養科目 1 科目（3 単位）以上、基礎科目 3 科目（9 単位）以上、応用科目 3 科目（6 単位）以上を修得すること。
 - 3 専門科目群のうち、「上部消化管外科」、「大腸肛門外科」、「胃腸病内科」の 3 分野から 1 分野を選択し、学生の医師資格に応じて選択した分野の指定科目（55 単位）（※）を修得すること。
※指定科目については以下のとおり
- (1) チリ国医師資格を持つ学生の場合、臨床基礎（チリ大学）、臨床応用（チリ大学）及び臨床応用Ⅱ（東京医科歯科大学）の 3 科目。
 - (2) 日本国医師資格を持つ学生の場合、臨床基礎（東京医科歯科大学）、臨床応用Ⅰ（東京医科歯科大学）の 2 科目。
- 4 必修科目である特別研究を 2 科目（112 単位）修得すること。

②東京医科歯科大学・チュラロンコーン大学国際連携歯学系専攻

科目 区分	授業科目の名称	開設大学	単位数	
			必修	選択
科 基 目 礎	歯科矯正学総論	チュラロンコーン大学	1	
	歯科矯正学基礎	チュラロンコーン大学	2	
	基礎歯科矯正学セミナー	チュラロンコーン大学	1	
	骨生物学	チュラロンコーン大学		2
専 門 科 目	論文・博士論文セミナー	チュラロンコーン大学	24	
	咬合機能矯正学特論	東京医科歯科大学		6
	咬合機能矯正学研究実習	東京医科歯科大学		8
	咬合機能矯正学実験・論文作成	東京医科歯科大学		10
	顎顔面矯正学特論	東京医科歯科大学		6
	顎顔面矯正学研究実習	東京医科歯科大学		8
	顎顔面矯正学実験・論文作成	東京医科歯科大学		10
臨 床 科 目	歯科矯正学技法	チュラロンコーン大学	3	
	包括的治療手順	チュラロンコーン大学	2	
	上級歯科矯正学セミナー	チュラロンコーン大学	1	
	矯正演習	チュラロンコーン大学	1	
	矯正臨床トレーニング1	チュラロンコーン大学	2	
	矯正臨床トレーニング2	チュラロンコーン大学	1	
	矯正臨床トレーニング3	チュラロンコーン大学	4	
	上級矯正臨床トレーニング1	チュラロンコーン大学	1	
	上級矯正臨床トレーニング2	チュラロンコーン大学	3	
	上級矯正臨床トレーニング3	チュラロンコーン大学	1	
	歯科矯正学における写真とコンピューター	チュラロンコーン大学		1
	歯科矯正学教育実習	チュラロンコーン大学		1
	歯学研究提案書作成	チュラロンコーン大学		1
	歯学研究報告書作成	チュラロンコーン大学		1

下記の1から3に示す修了要件を全て満たし、かつ必要な研究指導を受けた上、学位論文の審査及び最終試験に合格すること。

- 1 基礎科目、専門科目、臨床科目のうち、必修科目である47単位を修得すること。
- 2 専門科目のうち、咬合機能矯正学の授業科目である咬合機能矯正学特論（6単位）、咬合機能矯正学研究実習（8単位）、咬合機能矯正学実験・論文作成（10単位）の組合せ、または顎顔面矯正学の授業科目である顎顔面矯正学特論（6単位）、顎顔面矯正学研究実習（8単位）、顎顔面矯正学実験・論文作成（10単位）の組合せ、どちらかを選択し24単位を修得すること。
なお、咬合機能矯正学の授業科目と顎顔面矯正学の授業科目とを併せた組み合わせはできない。
- 3 臨床科目のうち、歯科矯正学における写真とコンピューター（1単位）、歯科矯正学教育実習（1単位）、アカデミック・ライティング（1単位）の3科目のうち1科目（1単位）以上を修得すること。

③東京医科歯科大学・マヒドン大学国際連携医学系専攻

科目区分		授業科目の名称	開設大学	単位数	
				必修	選択
臨床基幹科目		臨床基幹科目Ⅰ(TMDU)	東京医科歯科大学	5	2
		臨床基幹科目Ⅰ(MU)	マヒドン大学		2
		臨床基幹科目Ⅱ	東京医科歯科大学・マヒドン大学		
医科学関連専門科目	臨床統計・情報	疾患予防パブリックヘルス医学概論	東京医科歯科大学		2
		疫学	東京医科歯科大学		2
		臨床・遺伝統計学	東京医科歯科大学		2
		生物医学研究法	マヒドン大学		2
		生物医学統計概論	マヒドン大学		2
がん医療専門科目		がん生物学・解剖学・病理特論	東京医科歯科大学		1
		低侵襲がん治療Ⅰ	東京医科歯科大学		1
		低侵襲がん治療Ⅱ	東京医科歯科大学		1
		臓器別がん	東京医科歯科大学		1
		小児・希少がん	東京医科歯科大学		1
		臨床腫瘍学	東京医科歯科大学		1
		がんゲノム	東京医科歯科大学		1
		緩和ケア・緩和医療学	東京医科歯科大学		1
		がんの生物学とがんの免疫学概論	マヒドン大学		1
		幹細胞治療学概論	マヒドン大学		1
		標準検査学概論	マヒドン大学		1
		がんの画像診断学概論	マヒドン大学		1
		泌尿器科ロボット支援手術	マヒドン大学		1
		基礎鏡視下手術概論	マヒドン大学		1
		消化器癌における学際的的内視鏡診断学	マヒドン大学		1
		周術期患者管理学概論	マヒドン大学		1
		婦人科がん治療学概論	マヒドン大学		1
研究基幹科目	外科系専門分野	総合外科学特論	東京医科歯科大学		4
		消化管外科学特論	東京医科歯科大学		4
		肝胆膵外科学特論(TMDU)	東京医科歯科大学		4
		頭頸部外科学特論	東京医科歯科大学		4
		腎泌尿器外科学特論(TMDU)	東京医科歯科大学		4
		婦人科腫瘍学特論(TMDU)	東京医科歯科大学		4
		上部消化管外科学特論	マヒドン大学		4
		下部消化管外科学特論	マヒドン大学		4
		肝胆膵外科学特論(MU)	マヒドン大学		4
		血管外科学特論	マヒドン大学		4
		頭頸部・乳腺外科学特論	マヒドン大学		4
		泌尿器外科学特論(MU)	マヒドン大学		4
		婦人科腫瘍学特論(MU)	マヒドン大学		4
研究基幹科目	外科系関連医科学分野	幹細胞制御特論	東京医科歯科大学		4
		臨床解剖学特論	東京医科歯科大学		4
		発生再生生物学特論	東京医科歯科大学		4
		バイオメカニクス特論	東京医科歯科大学		4
		臨床腫瘍学特論	東京医科歯科大学		4

	システム薬理学特論	マヒドン大学		4
	幹細胞科学特論	マヒドン大学		4
研究実践と論文作成	研究実践と論文作成(TMDU)	東京医科歯科大学	24	
	研究実践と論文作成(MU)	マヒドン大学	24	

下記の 1 から 6 に示す修了要件を全て満たし、かつ必要な研究指導を受けた上、学位論文の審査及び最終試験に合格すること。

- 1 臨床基幹科目群から、選択科目である「臨床基幹科目Ⅰ（2 単位）」を東京医科歯科大学、又はマヒドン大学で修得すること。
- 2 共同開設科目である「臨床基幹科目Ⅱ（5 単位）」を、学生の移動に合わせて本学及びマヒドン大学で修得すること。
- 3 臨床統計・情報医科学関連専門科目群から、選択科目 4 単位以上修得すること。
- 4 がん医療専門科目群から、選択科目 5 単位以上履修すること。
- 5 研究基幹科目群から、選択科目である外科系専門分野の科目 8 単位、又は外科系専門分野の科目 4 単位と外科関連医科学分野の科目 4 単位を修得すること。
- 6 必修科目である「研究実践と論文作成（24 単位）（TMDU）、（MU）」を両大学で履修し、合計 48 単位修得すること。

（４）削除

(5) 大学院医歯学総合研究科後期3年博士課程生命理工医療科学専攻

科目区分		授業科目の名称	単位数	
			必修	選択
一般科目		マネジメント特論*1,*2		1
		国際動向特論*1,*2		1
		知的財産特論*1,*2		1
		英語ディベート特論*1,*2		1
		英語プレゼンテーション特論*1,*2		1
専門科目		疾患生命科学特論*1,*2		2
		先端機能分子特論*1,*2		1
		機能分子開発技術特論*1,*2		1
		機能再建材料学特論*1,*2		1
		組織再生材料学特論*1,*2		1
		生体機能材料学特論*1,*2		1
		医用材料工学特論*1,*2		1
		生体情報数理解析論*1,*2		1
		理研生体分子制御学特論*1,*2		2
		病態推論特論*1,*2		2
		高度臨床実践特別演習入門*1,*2		1
		高度臨床実践特別演習Ⅰ*1,*2		2
		高度臨床実践特別演習Ⅱ*1,*2		2
		疾患予防パブリックヘルス医学概論*1,*2		2
		臨床・遺伝統計学		2
		先端口腔保健応用学特論		2
		先端口腔保健応用学演習		1
		先端口腔保健工学特論		1
		硬組織研究・骨形態計測学特論		1
先制医歯理工学科目	共通科目	先制医歯理工学概論Ⅰ*1,*2		1
		先制医歯理工学概論Ⅱ*1,*2		1
		データサイエンス特論Ⅰ*1,*2		1
		データサイエンス特論Ⅱ*1,*2		1
		データサイエンス特論Ⅲ*1,*2		1
		データサイエンス特論Ⅳ*1,*2		1
		Advanced Human Pathology for Graduate Students*1,*2		1
	先進医療デバイスIoT学専門科目	先端バイオセンシングデバイス特論*1		1
		医療デバイス・システム機器特論*1		1
		ウェアラブルIoT技術特論*1		1
		臨床検査法開発学特論*1		1
	疾患生命創薬科学専門科目	疾患分子病態学特論*2		1
		先端ケミカルバイオロジー特論*2		1
		生体分子制御学特論*2		1
	臨床疫学科目		疫学基礎*3	
生物統計学基礎*3				1
生物統計学応用Ⅰ*3				1
生物統計学応用Ⅱ*3				1
臨床試験方法論基礎*3				1
臨床試験方法論応用*3				1
口腔疫学基礎*3				1
疫学応用*3				1
臨床疫学解析演習*3				1
演習科目		センサ医工学演習		6

	情報医工学演習		6
	精密医工学演習		6
	物質医工学演習		6
	薬化学演習		6
	生命有機化学演習		6
	ソフトマター医工学演習		6
	有機生体材料学演習		6
	診断治療システム医工学演習		6
	セラミックバイオマテリアル演習		6
	先進バイオ分子医学演習		6
	分子細胞生物学演習		6
	発生再生生物学演習		6
	先端ナノ医工学演習		6
	分子構造情報演習		6
	機能分子病態学演習		6
	生体情報薬理学演習		6
	疾患ゲノム機能演習		6
	環境エピゲノム演習		6
	ゲノム機能情報演習		6
	医化学演習		6
	恒常性医学演習		6
	計算創薬科学演習		6
	理研生体分子制御学演習		6
	メディシナルケミストリー演習		6
	NCC腫瘍医科学演習		6
	細胞分子医学演習		6
	領域創成科学演習		6
	データ科学アルゴリズム設計・解析演習		6
	AI 技術開発演習		6
	分子機構免疫学演習		6
	形態情報解析学演習		5
	血液・生体システム解析学演習		5
	生命情報応用学演習		5
	疾患生理機能解析学演習		5
	臨床分析・分子生物学演習		5
	微生物・感染免疫解析学演習		5
	生体検査科学セミナーⅡ		1
	生涯口腔保健衛生学演習		5
	健康支援口腔保健衛生学演習		5
	口腔疾患予防学演習		5
	地域・福祉口腔機能管理学演習		5
	口腔健康教育学演習		5
	口腔基礎工学演習		5
	口腔デジタルプロセス学演習		5
	口腔医療工学演習		5
	口腔保健学セミナー		1
	生命理工医療科学先端研究特論	2	
必修科目	研究実習	6	

1 下記に示す修了要件単位を修得すること。

(1) 一般科目、先制医歯理工学科目及び専門科目から6単位以上（ただし、一般科目は1単位以上を必ず履修する。）

- (2) 所属教育研究分野が開設する演習科目 6 単位（ただし、演習科目が 5 単位の場合、生体検査科学講座に所属する学生は併せて生体検査科学セミナーⅡ 1 単位、口腔保健学講座に所属する学生は併せて口腔保健学セミナー1 単位を履修する。）ただし、教育研究分野の改組等に伴う所属異動の場合には、異動前の所属教育研究分野が開設する授業科目の履修をもって、所属教育研究分野が開設する授業科目の履修とみなす。

(3) 必修科目 8 単位

- 2 *1: 先進医療デバイス IoT 学プログラムを履修する学生は、生命理工医療科学専攻の修了要件を満たし、先進医療デバイス IoT 学プログラム指定科目（一般科目、専門科目、先制医歯理工学科目共通科目及び先制医歯理工学科目先進医療デバイス IoT 学専門科目から合わせて 6 単位以上（ただし、一般科目から 1 単位以上、先制医歯理工学科目共通科目から 1 単位以上、先制医歯理工学科目先進医療デバイス IoT 学専門科目から 3 単位以上））を全て履修し、単位を修得した場合、先進医療デバイス IoT 学プログラムに関する学習成果を認定する。
- 3 *2: 疾患生命創薬科学プログラムを履修する学生は、生命理工医療科学専攻の修了要件を満たし、疾患生命創薬科学プログラム指定科目（一般科目、専門科目、先制医歯理工学科目共通科目及び先制医歯理工学科目疾患生命創薬科学専門科目から合わせて 6 単位以上（ただし、一般科目から 1 単位以上、先制医歯理工学科目共通科目から 1 単位以上、先制医歯理工学科目疾患生命創薬科学専門科目から 1 単位以上））を全て履修し、単位を取得した場合、疾患生命創薬科学プログラムに関する学習成果を認定する。
- 4 *3 及び 4: 臨床疫学プログラム (Clinical Epidemiology Program) を履修する学生は、生命理工医療科学専攻の修了要件を満たし、臨床疫学プログラム指定科目（臨床疫学科目から選択科目 (*3) を 5 単位以上かつ必修科目 (*4)）を全て履修し、単位を修得した場合、臨床疫学プログラム (Clinical Epidemiology Program) に関する学修成果を認定する。

(6) 大学院保健衛生学研究科一貫制博士課程看護先進科学専攻

科目区分	授業科目の名称	単位数
基盤看護開発学	ヘルスサービスリサーチ看護学特論Ⅰ	2
	ヘルスサービスリサーチ看護学演習Ⅰ	2
	ヘルスサービスリサーチ看護学特論Ⅱ	4
	公衆衛生看護学特論Ⅰ	2
	公衆衛生看護学演習Ⅰ	2
	公衆衛生看護学特論Ⅱ	4
臨床看護開発学	成人看護学特論Ⅰ	2
	成人看護学演習Ⅰ	2
	成人看護学特論Ⅱ	4
	精神保健看護学特論Ⅰ	2
	精神保健看護学演習Ⅰ	2
	精神保健看護学特論Ⅱ	4
	小児・家族発達看護学特論Ⅰ	2
	小児・家族発達看護学演習Ⅰ	2
	小児・家族発達看護学特論Ⅱ	4
	リプロダクティブヘルス看護学特論Ⅰ	2
	リプロダクティブヘルス看護学演習Ⅰ	2
	リプロダクティブヘルス看護学特論Ⅱ	4
	在宅・緩和ケア看護学特論Ⅰ	2
	在宅・緩和ケア看護学演習Ⅰ	2
	在宅・緩和ケア看護学特論Ⅱ	4
先導的看護システム開発学	国際看護開発学特論Ⅰ	2
	国際看護開発学演習Ⅰ	2
	国際看護開発学特論Ⅱ	4
	看護管理・高齢社会看護学特論Ⅰ	2
	看護管理・高齢社会看護学演習Ⅰ	2
	看護管理・高齢社会看護学特論Ⅱ	4
	災害看護学特論Ⅰ*1	2
	災害看護学演習Ⅰ*1	2
	クリティカルケア看護学特論Ⅰ	2
	クリティカルケア看護学演習ⅠA	2
	クリティカルケア看護学演習ⅠB	2
	急性・重症患者フィジカルアセスメント	2
	急性・重症患者治療管理論	2
	災害看護学インターンシップ*1	2
	クリティカルケア高度実践実習A	3
	クリティカルケア高度実践実習B	4
	クリティカルケア高度実践実習C	3
	災害看護学特論Ⅱ*1	4
	クリティカルケア看護学特論Ⅱ	4
必修科目	看護学研究法特論	2
	看護理論	1
	特別研究Ⅰ	4
	特別研究Ⅱ	4
	特別研究Ⅲ	4
共通科目 (看護系)	看護管理学特論	1
	看護政策学特論	1
	家族看護学特論	2

共通科目 (看護系)		看護情報統計学特論	2
		看護教育学特論	2
		国際看護研究方法論	2
		看護倫理	1
		コンサルテーション論	1
		フィジカルアセスメント	2
		臨床薬理学	2
		病態生理学	2
		インディペンデントスタディ A	2
		インディペンデントスタディ B	2
共通科目 (看護系以外)	データサイエンス人材育成プログラム科目	マネジメント特論	1
		知的財産特論	1
		データサイエンス特論Ⅰ	1
		データサイエンス特論Ⅱ	1
		データサイエンス特論Ⅲ	1
		データサイエンス特論Ⅳ	1
	グローバル健康医学科目	疫学Ⅰ	2
		疫学Ⅱ	2
		医療システム	2
		プラネタリーヘルス	2
		グローバルヘルス	4
		母子保健学	2
		行動科学	2
		環境保健学	2
	臨床疫学科目	疫学基礎	1
		生物統計学基礎	1
		生物統計学応用Ⅰ	1
		生物統計学応用Ⅱ	1
		臨床試験方法論基礎	1
		臨床試験方法論応用	1
		口腔疫学基礎	1
		疫学応用	1
		生命理工学概論（英語）	1

1 大学院保健衛生学研究科委員会が別に定めるクオリファイングエグザミネーションを原則として受審し、下記に示す修了要件単位を全て修得し、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。ただし、教育研究分野の改組等に伴う所属異動の場合には、異動前の所属教育研究分野が開設する授業科目の履修をもって、所属教育研究分野が開設する授業科目の履修とみなす。

- (1) 所属教育研究分野の特論Ⅰより2単位
- (2) 所属教育研究分野の演習Ⅰ又はⅠA又はⅠBより2単位
- (3) 所属教育研究分野の特論Ⅱ4単位
- (4) 看護学研究法特論2単位、看護理論1単位、特別研究Ⅰ4単位、特別研究Ⅱ4単位及び特別研究Ⅲ4単位
- (5) (1)～(4)を除く授業科目より15単位以上（ただし、共通科目（看護系）は7単位以上修得することとする。）

2 災害看護グローバルリーダー養成コースを履修する学生は、看護先進科学専攻の修了要件及び下記に示す要件を全て満たした場合、災害看護グローバルリーダー養成コースに関する学修成果を認定する。

- (1) 災害看護グローバルリーダー養成コース指定科目（*1）を全て履修し、単位を修得する。
- (2) 本学、高知県立大学、兵庫県立大学、千葉大学、日本赤十字看護大学の5大学災害看護コンソーシアムの単位互換制度により、本学以外の4大学で開講するコンソーシアム科目を8単位以上履修し、単位を修得する。
- (3) 災害看護学領域に関連する学位論文を提出し、博士論文の審査及び最終試験に合格する。

(7) 大学院保健衛生学研究科一貫制博士課程共同災害看護学専攻

科目 区分	授業科目の名称	開設大学	単位数	
			必修	選択
災害看護学の基盤を支える科目群	看護研究	東京医科歯科大学		2
	理論看護学	千葉大学		1
	危機管理論	兵庫県立大学		1
	環境防災学Ⅰ	高知県立大学		1
	環境防災学Ⅱ	千葉大学		1
	グローバルヘルス	東京医科歯科大学		1
	災害法制度と政策論	東京医科歯科大学		1
	専門職連携実践論	千葉大学		1
	災害時専門職連携演習(災害 IP 演習)	千葉大学		1
	災害医療学	日本赤十字看護大学		2
	災害心理学	兵庫県立大学		1
	災害と文化	千葉大学		1
	災害社会福祉学	高知県立大学		1
	Professional writing	高知県立大学		1
	Proposal writing (Research proposal writing skill)	東京医科歯科大学		1
	Program writing (Program proposal writing skill)	兵庫県立大学		1
災害看護学に関する科目群	災害看護学総論	兵庫県立大学		2
	災害看護活動論Ⅰ(急性期)	東京医科歯科大学		2
	災害看護活動論Ⅱ(亜急性期)	日本赤十字看護大学		2
	災害看護活動論Ⅲ(復旧・復興)	千葉大学		2
	災害看護活動論Ⅳ(備え)	高知県立大学		2
	災害看護グローバルコーディネーション論	日本赤十字看護大学		2
	災害看護リーダーシップ・管理論	高知県立大学		2
	災害看護倫理	兵庫県立大学		1
	災害看護理論構築	兵庫県立大学		2
	インターンシップⅠ	5 大学(共同指導)		5
	インターンシップⅡ	5 大学(共同指導)		5
	災害看護ゼミナール A	高知県立大学		2
	災害看護ゼミナール B	兵庫県立大学		2
	災害看護ゼミナール C	東京医科歯科大学		2
	災害看護ゼミナール D	千葉大学		2
	災害看護ゼミナール E	日本赤十字看護大学		2
	インディペンデントスタディⅠ	各大学		1
	インディペンデントスタディⅡ	各大学		1
	インディペンデントスタディⅢ	各大学		1
	インディペンデントスタディⅣ	各大学		1
	インディペンデントスタディⅤ	各大学		1
災害看護学 支援科目群	災害看護研究ゼミナール	5 大学(共同指導)		5
	実践課題研究	5 大学(共同指導)	5	
	災害看護研究デベロップメント	5 大学(共同指導)	5	

	博士論文	5 大学（共同指導）	5	
--	------	------------	---	--

下記の(1)及び(2)に示す修了要件を全て満たし、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。

(1) 次の①～④を全て修得する。

① 必修科目 15 単位

② 「災害看護学の基盤を支える科目群」より 6 単位以上

③ 「災害看護学の専門科目群」より 10 単位以上

④ 「インターンシップⅠ」「インターンシップⅡ」のいずれか 1 科目以上を履修

(2) 本学、高知県立大学、兵庫県立大学、千葉大学及び日本赤十字看護大学が開設している授業科目よりそれぞれ 10 単位以上修得する。

注 1) 「インディペンデント学修科目群」の「インディペンデントスタディⅠ」～「インディペンデントスタディⅤ」は、各大学が開講する「インディペンデントスタディ」を最大 5 科目まで履修可能とし、履修する順に「Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・・・」として扱う。

注 2) 「災害看護学の専門科目群」の「インターンシップⅠ」「インターンシップⅡ」および、「災害看護学研究支援科目群」の授業科目は、本学、高知県立大学、兵庫県立大学、千葉大学及び日本赤十字看護大学のそれぞれ 1 単位分として扱う。

(8) 大学院共通履修科目

授業科目の名称	単位数
ポストコロナ社会における感染症対策 *1	1
ジョブ型研究インターンシップ *2*3*4	1

これらの科目は、本学大学院に開設するものとし、本学大学院に在学する学生であれば履修できるものとする。

※*1 別表 1 (8) のうちポストコロナ社会における感染症対策を修了要件に含まれる選択科目または必修科目として履修する学生又は履修して単位を付与された学生を除く。

※*2 別表 1 (8) のうちジョブ型研究インターンシップについては修士課程に所属する学生を除く。

※*3 別表 1 (8) のうちジョブ型研究インターンシップについては保健衛生学研究科博士課程 1・2 年次の学生を除く。

※*4 別表 1 (8) のうちジョブ型研究インターンシップについては JST 次世代研究者挑戦的研究プログラムの支援を受けている学生を対象とする。

東京医科歯科大学学位規則

〔平成16年4月1日〕
規則第56号

（目的）

第1条 この規則は、学位規則（昭和28年文部省令第9号）第13条の規定に基づき、本学において授与する学位の種類、学位論文の審査及び試験の方法その他学位に関し、必要な事項を定めるものとする。

（学位の種類）

第2条 本学において授与する学位は、学士、修士及び博士とする。

2 本学における学士、修士及び博士の学位には、次のとおり専攻分野の名称を付記するものとする。

学士（医学）
学士（看護学）
学士（保健学）
学士（歯学）
学士（口腔保健学）
修士（医科学）
修士（歯科学）
修士（医療管理学）
修士（医療政策学）
修士（グローバル健康医学）
修士（看護学）
修士（保健学）
修士（理学）
修士（工学）
修士（口腔保健学）
博士（医学）
博士（歯学）
博士（数理医科学）
博士（学術）
博士（看護学）
博士（保健学）
博士（理学）
博士（工学）
博士（口腔保健学）

（学位授与の要件）

第3条 学士の学位は、東京医科歯科大学学則（平成16年規程第4号）の定めるところにより、本学を卒業した者に授与する。

2 修士の学位は、東京医科歯科大学大学院学則（平成16年規程第5号。以下「大学院学則」という。）の定めるところにより、本学大学院の修士課程を修了した者に授与する。

3 前項に定めるもののほか、修士の学位は、大学院学則第22条第2項の定めるところにより、大

学院保健衛生学研究科看護先進科学専攻の一貫制博士課程において、修士課程の修了に相当する要件を満たした者にも授与することができる。

- 4 博士の学位は、大学院学則の定めるところにより、本学大学院の博士課程、後期3年博士課程又は一貫制博士課程を修了した者に授与する。
- 5 前項に定めるもののほか、博士の学位は、本学大学院の行う学位論文の審査及び試験に合格し、かつ、本学大学院の博士課程、後期3年博士課程又は一貫制博士課程を修了した者と同等以上の学力を有することを確認された者にも授与する。ただし、博士課程のうち、外国の大学と連携した教育課程を編成する専攻（以下「国際連携専攻」という。）及び一貫制博士課程のうち、共同災害看護学専攻にあつては、この規定は適用しないものとする。

（学位論文の提出）

- 第4条 前条第2項、第3項又は第4項の規定により、学位論文の審査を申請する者は、学位に付記する専攻分野の名称を指定して、学位論文に所定の書類を添えて、所属の研究科等の長に提出するものとする。
- 2 前条第5項の規定により、学位を請求する者は、学位に付記する専攻分野の名称を指定して、学位論文に所定の書類を添えて、学長に提出するものとする。
 - 3 前項の提出にあたっては、本学の教授又は研究科委員会の構成員である准教授の推薦を必要とする。
 - 4 提出する学位論文は、自著一編とする。ただし、参考として他の論文を添付することができる。
 - 5 いったん受理した学位論文（参考として添付された論文を含む。）は、返付しない。

（審査料）

- 第5条 第3条第5項の規定により学位を請求する者は、審査料を納付しなければならない。
- 2 前項の審査料の額は、別に定める。
 - 3 既納の審査料は還付しない。

（学位論文の審査）

- 第6条 研究科等の長は、第4条第1項の規定により学位論文の審査の申請を受理したときは、研究科委員会等に審査を付託する。
- 2 学長は、第4条第2項の規定により、学位請求の申請を受理したときは、学位に付記する専攻分野の名称に応じ、関係の研究科委員会等に学位論文の審査を付託する。
- 第7条 前条の規定により学位論文の審査を付託された研究科委員会等は、学位論文ごとに本学の専任教員3名以上により構成される審査委員会を設けて審査を行う。ただし、研究科委員会等が必要と認めたときは、連携大学院分野を構成する教員を当該審査委員会を構成する委員に含むことができる。
- 2 前項の審査委員会の委員のうち、修士に係る審査については1名以上を、博士に係る審査については2名以上を教授としなければならない。
 - 3 第1項及び前項の規定にかかわらず、大学院保健衛生学研究科共同災害看護学専攻（以下「共同災害看護学専攻」という。）にあつては、前条の規定により学位論文審査を付託された研究科委員会等は、学位論文ごとに5名以上により構成される審査委員会を設けて審査を行う。
 - 4 前項の審査委員会の委員は、共同教育課程を構成する全ての大学から選出するものとする。
 - 5 第1項及び第2項の規定にかかわらず、国際連携専攻にあつては、前条の規定により

学位論文審査を付託された研究科委員会等は、共同で教育課程を編成した外国の大学院（以下「国際連携大学」という。）と協議の上、学位論文ごとに構成される合同の審査委員会を設けるものとする。

- 6 前項の審査委員会の委員は、国際連携専攻の専任教員及び学外の学識者（国際連携大学所属教員を除く）から選出するものとする。
- 7 研究科委員会等は、学位論文の審査（最終試験及び試験を含む。）に当たって必要と認めたときは、第1項に定める者のほか、他の大学院、研究所又は高度の水準を有する病院の教員等を審査委員会の委員に委嘱することができる。
- 8 審査委員会は、審査上必要があるときは、学位論文（参考として添付された論文を含む。）の訳文又は標本等の提出を求めることができる。

（最終試験又は試験等）

第8条 審査委員会は、学位論文の審査が終わった後に、当該論文を中心として、これに関連のある科目について最終試験又は試験を行う。

- 2 前項の規定にかかわらず、共同災害看護学専攻にあっては、別に定める共同災害看護学専攻教育課程連絡協議会が選出する審査委員5名により、学位論文審査が終わった後に、当該論文を中心として、関連のある科目について最終試験又は試験を行う。
- 3 第1項の規定にかかわらず、国際連携専攻にあっては、別に定める国際連携大学との協議の場において選出する審査委員により、学位論文審査が終わった後に、当該論文を中心として、関連のある科目について最終試験を行う。
- 4 前3項の最終試験又は試験の方法は、口頭又は筆答とする。
- 5 審査委員会は、第3条第5項の規定により学位を請求する者については、専攻学術に関し、本学大学院の博士課程又は博士（後期）課程を修了した者と同等以上の学力を有することを確認するため、口頭又は筆答による試問（外国語を含む。）を行う。
- 6 本学大学院の博士課程に4年以上在学し、大学院学則第20条第3項に規定する博士課程における所定の単位を修得して退学した者が、本学大学院博士課程入学後10年以内に、第3条第5項の規定により学位を請求するときは、前項の試問を免除する。
- 7 本学大学院の博士（後期）課程に3年以上在学し、大学院学則第20条第4項に規定する博士（後期）課程における所定の単位を修得して退学した者が、本学大学院博士（後期）課程入学後8年以内に、第3条第5項の規定により学位を請求するときは、第4項の諮問を免除する。
- 8 本学大学院博士課程看護先進科学専攻に5年以上在学し、大学院学則第20条第5項に規定する博士課程における所定の単位を修得して退学した者が、本学大学院博士課程入学後12年以内に、第3条第5項の規定により学位を請求するときは、第4項の試問を免除する。

（審査期間）

第9条 審査委員会は、その設置後、修士の学位にあっては3月以内、博士の学位にあっては1年以内に、学位論文の審査並びに最終試験又は試験及び試問を終了しなければならない。ただし、特別の事情があるときは、研究科委員会等の議決によりその期間を延長することができる。

（審査委員会の報告）

第10条 審査委員会は、学位論文の審査並びに最終試験又は試験及び試問を終了したときは、すみやかにその結果を研究科委員会等に報告しなければならない。

（研究科委員会等の審議）

第11条 研究科委員会等は、前条の報告に基づいて、学位授与の可否について審議する。

- 2 前項の審議を行うには、研究科委員会等委員構成員（海外渡航中の者及び休職中の者を除く。）の3分の2以上の出席を必要とする。
- 3 学位を授与できるものと議決するには、出席者の3分の2以上の賛成を必要とする。

（学長への報告）

- 第12条 研究科委員会等が、学位を授与できるものと議決したとき（第6条第2項の規定により学位論文の審査を付託された者については、学位を授与できるものと議決されなかったときを含む。）は、研究科等の長は、学位論文に学位論文の内容の要旨及び学位論文の審査の要旨並びに最終試験又は試験及び試問の成績を添えて、学長に報告するとともに、意見を述べなければならない。
- 2 研究科委員会等が、第6条第1項の規定により、学位論文の審査を付託された者について、学位を授与できるものと議決したときは、研究科等の長は、前項に定めるもののほか、論文目録及び履歴書を添えて学長に報告するとともに、意見を述べなければならない。

（学位記の授与）

- 第13条 学長は、第3条第1項の規定により、学士の学位を授与すべき者に学士の学位記を授与する。
- 2 学長は、前条の意見を参酌し、修士又は博士の学位の授与の可否について認定のうえ、学位を授与すべき者には、当該学位の学位記を授与し、学位を授与できない者には、その旨通知する。

（学位記の様式）

- 第14条 学位記の様式は、別紙様式第1、別紙様式第2-1、別紙様式第2-2、別紙様式第2-3、別紙様式第2-4、別紙様式第3-1、別紙様式第3-2、別紙様式第3-3、別紙様式第3-4、別紙様式第3-5、別紙様式第3-6及び別紙様式第3-7のとおりとする。ただし、別紙様式第3-7については、国際連携大学との協議により、国際連携大学が所在する国の公用語、国際的通用性のある第三国の言語のいずれか又は双方を併記できるものとする。
- 2 大学院学則第4条第4項及び第5条第2項に定めるコース又はプログラムを修了した者の学位記には、当該コース又はプログラムを修了した旨別紙様式2-3、別紙様式第2-4、別紙様式3-4、別紙様式3-5及び別紙様式3-6のとおり付記するものとする。

（博士論文要旨等の公表）

- 第15条 大学は、博士の学位を授与したときは、当該博士の学位を授与した日から3月以内に、当該博士の学位の授与に係る論文の内容の要旨及び論文審査の結果の要旨をインターネットの利用により公表するものとする。

（博士論文の公表）

- 第16条 博士の学位を授与された者は、当該博士の学位を授与された日から1年以内に、当該博士の学位の授与に係る論文の全文を公表するものとする。ただし、当該博士の学位を授与される前に既に公表したときは、この限りでない。
- 2 前項の規定にかかわらず、博士の学位を授与された者は、やむを得ない事由がある場合には、本学の承認を受けて、当該博士の学位の授与に係る論文の全文に代えて、その内容を要約したものを公表することができる。この場合において、本学は、その論文の全文を求めに応じて閲覧に供するものとする。
 - 3 博士の学位を授与された者が行う前二項の規定による公表は、本学がインターネットの利用により行うものとする。

(学位の名称の使用)

第 17 条 学位を授与された者が、学位の名称を用いるときは、東京医科歯科大学名を付記するものとする。ただし、共同災害看護学専攻に係る学位にあっては、当該共同災害看護学専攻を構成する大学名を、国際連携専攻に係る学位にあっては国際連携大学名を付記するものとする。

(学位授与の取消)

第 18 条 学位を授与された者が次の各号の一に該当するときは、学長は関係の学部教授会又は研究科委員会等の意見を聴いて、学位の授与を取り消し、学位記を返還させ、かつ、その旨を公表するものとする。

(1) 不正の方法により学位の授与を受けた事実が判明したとき

(2) その名誉を汚す行為があったとき

2 学部教授会において前項の議決を行う場合は、教授会構成員（海外渡航中及び休職中の者を除く。）の3分の2以上の出席を必要とし、かつ無記名投票により出席者の3分の2以上の賛成を必要とする。

3 研究科委員会等において第1項の議決を行う場合は、第11条第2項及び第3項の規定を準用する。

(学位授与の報告)

第 19 条 本学において博士の学位を授与したときは、学長は、文部科学大臣に報告するものとする。

(その他)

第 20 条 本規則に定めるもののほか、修士及び博士の学位論文の審査及び試験に関し必要な事項は、各研究科委員会等が別に定める。ただし、国際連携専攻にあっては、国際連携大学と協議し別に定める。

附 則

1 この規則は、平成16年4月1日から施行する。

2 この規則の施行前に廃止前の東京医科歯科大学学位規則（昭和50年学規第33号）の規定によりなされた手続その他の行為は、この規則の相当規定によりなされた手続その他の行為とみなす。

附 則（平成19年3月6日規則第3号）抄

（施行期日）

1 この規則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則（平成22年12月22日規則第80号）

この規則は、平成22年12月22日から施行し、平成22年10月1日から適用する。

附 則（平成24年3月30日規則第43号）

1 この規則は、平成24年4月1日から施行する。

2 平成24年3月31日において現に本学大学院に在籍する者については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成25年5月30日規則第71号）

1 この規則は、平成25年5月30日から施行し、平成25年4月1日から適用する。

2 改正後の第15条の規定は、この規則の施行の日以降に博士の学位を授与した場合について適用し、同日前に博士の学位を授与した場合については、なお従前の例による。

3 改正後の第16条の規定は、この規則の施行の日以降に博士の学位を授与された者に

ついて適用し、同日前に博士の学位を授与された者については、なお従前の例による。

附 則（平成 26 年 3 月 31 日規則第 24 号）

- 1 この規則は、平成 26 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 平成 26 年 3 月 31 日において現に本学大学院に在籍する者については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成 26 年 10 月 30 日規則第 112 号）

この規則は、平成 26 年 10 月 30 日から施行する。

附 則（平成 27 年 3 月 10 日規則第 18 号）

この規則は、平成 27 年 3 月 10 日から施行する。

附則（平成 27 年 3 月 30 日規則第 53 号）

この規則は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。

附則（平成 28 年 3 月 28 日規則第 63 号）

この規則は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 30 年 9 月 28 日規則第 21 号）

- 1 この規則は、平成 30 年 9 月 28 日から施行し、平成 30 年 4 月 1 日から適用する。
- 2 平成 30 年 3 月 31 日において現に本学大学院に在籍する者については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成 31 年 3 月 31 日規則第 35 号）

この規則は、平成 31 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（令和 3 年 5 月 13 日規則第 64 号）

- 1 この規則は、令和 3 年 5 月 13 日から施行し、令和 3 年 4 月 1 日から適用する。
- 2 令和 3 年 3 月 31 日において現に本学大学院に在籍する者については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（令和 5 年 3 月 23 日規則第 41 号）

- 1 この規則は、令和 5 年 4 月 1 日から施行する。

様式第1 (学士の場合)

卒業証書
学位記

大学印

本籍 (都道府県名)

氏名

年 月 日生

本学の学則の定めるところにより

学部 学科

正規の試験に合格したことを認める

東京医科歯科大学 学部長 学部長印

右学部長の認定により本学を卒業したことを認め

学士 () の学位を授与する

年 月 日

東京医科歯科大学長

学長印

第 号

様式第2-1 (医歯学総合研究科修士課程修了による修士の場合)

第 号

学 位 記

氏 名

年 月 日生

本学大学院医歯学総合研究科医歯理工保健学専攻の修士課程において
所定の単位を修得し学位論文の審査及び最終試験に合格したので
修士 () の学位を授与する

年 月 日

東京医科歯科大学 印

様式第2－2（保健衛生学研究科看護先進科学専攻博士課程において修士課程修了に相当する要件を満たした修士の場合）

第 号

学 位 記

氏 名

年 月 日生

本学大学院生保健衛生学研究科
専攻において修士課程の修了に相当する要件を満たしたので
修士（看護学）の学位を授与する

年 月 日

東京医科歯科大学 印

様式第2－3（医歯学総合研究科医歯理工保健学専攻先制医療学コース修了による修士の場合）

第 号

学 位 記

氏 名

年 月 日生

本学大学院医歯学総合研究科医歯理工保健学専攻の修士課程において
所定の単位を修得し学位論文の審査及び最終試験に合格したので
修士（ ）の学位を授与する
先制医療学コースを修了したことを証する

年 月 日

東京医科歯科大学 印

様式第2－4（医歯学総合研究科医歯理工保健学専攻臨床疫学プログラム修了による修士の場合）

第 号

学 位 記

氏 名

年 月 日生

本学大学院医歯学総合研究科医歯理工保健学専攻の修士課程において
所定の単位を修得し学位論文の審査及び最終試験に合格したので
修士（ ）の学位を授与する

臨床疫学プログラムを修了したことを証する

年 月 日

東京医科歯科大学 印

第 号

年 月 日

本学大学院医歯学総合研究科
専攻の博士課程において所定の単位を修得し学位論文の審査及び最終試験に合格したので博士（ ）の学位を授与する

学 位 記

氏 名

年 月 日生

様式第3－1（医歯学総合研究科博士課程修了による博士の場合）

東京医科歯科大学 印

様式第3―2（保健衛生学研究科看護先進科学専攻博士課程修了
による博士の場合）

学 位 記

氏 名

年 月 日生

本学大学院保健衛生学研究科

専攻の博士課程において所定の単位を修得し学位論文の審査及
び最終試験に合格したので博士（看護学）の学位を授与する

年 月 日

東京医科歯科大学 印

第 号

様式第3―3（論文提出による博士の場合）

学 位 記

氏 名

年 月 日生

本学に学位論文を提出し所定の審査及び試験に合格し

たので博士（ ）の学位を授与する

年 月 日

東京医科歯科大学 印

第 号

様式第3―4（保健衛生学研究科災害看護グローバルリーダー養成コース修了による博士の場合）

学 位 記

氏 名
年 月 日生

本学大学院保健衛生学研究科看護先進科学専攻の博士課程において所定の単位を修得し学位論文の審査及び最終試験に合格したので博士（看護学）の学位を授与する
災害看護グローバルリーダー養成コース（Disaster Nursing Global Leader）を修了したことを証する

年 月 日

東京医科歯科大学 印

第 号

様式第3―5（医歯学総合研究科博士課程先制医歯理工学コース修了による博士の場合）

学 位 記

氏 名
年 月 日生

本学大学院医歯学総合研究科
専攻の博士課程において所定の単位を修得し学位論文の審査及び最終試験に合格したので博士（ ）の学位を授与する
先制医歯理工学コースを修了したことを証する

年 月 日

東京医科歯科大学 印

第 号

様式第3―6（医歯学総合研究科博士課程臨床疫学プログラム修了による博士の場合）

学 位 記

氏 名

年 月 日 生

氏 名

年 月 日 生

本学大学院医歯学総合研究科

専攻の博士課程において所定の単位を修得し学位論文の審査及び最終試験に合格したので博士（ ）の学位を授与する
臨床疫学プログラムを修了したことを証する

年 月 日

第 号

東京医科歯科大学 印

様式第3-7（医歯学総合研究科国際連携専攻課程修了による博士の場合）

学 位 記

東京医科歯科大学及び〇〇〇〇〇〇大学の間で〇〇〇〇年〇〇月〇〇日に締結された協定に基づく国際連携〇〇専攻の博士課程を修了したので博士（〇〇）の学位を以下の者に授与する

氏 名
生 年 月 日
学 位 授 与 日

東京医科歯科大学長
〇〇〇〇〇〇
（大学長印又は学長サイン）
学位記番号

〇〇〇〇〇〇大学長
〇〇〇〇〇〇
（大学長印又は学長サイン）
学位記番号

用紙の規格及び様式等については、国際連携大学との協議により定める。

東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科委員会修士 (医科学・歯科学・口腔保健学・理学・工学・保健学)に係る 学位論文審査及び試験内規

平成16年4月1日
研究科長制定

(趣旨)

第1条 この内規は、東京医科歯科大学学位規則第20条に基づき、東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科（以下「本研究科」という。）における修士（医科学・歯科学・口腔保健学・理学・工学・保健学）の学位審査に関し必要な事項を定める。

(学位論文提出の資格)

第2条 学位論文提出の資格を有する者は、次の各号の一つに該当することとする。

- (1) 本研究科に在学し、修士（医科学・歯科学・口腔保健学・理学・工学）を申請する学生で、東京医科歯科大学大学院学則（以下「大学院学則」という。）第2条第1項第2号に規定する修士課程に1年6月以上在学し、原則として、大学院学則第20条第1項に規定する所定の単位中26単位以上を修得した者
- (2) 本研究科に在学し、修士（保健学）を申請する学生で、大学院学則第2条第1項第2号に規定する修士課程に1年6月以上在学し、原則として、大学院学則第20条第1項に規定する所定の単位中23単位以上を修得した者

(学位論文)

第3条 学位論文は、「要旨、背景、材料と方法、結果、考察、文献」が記載された、課題研究の成果に基づく高度な学術的内容を含む単独の著作1編とし、参考論文の添付は認めない。

(学位論文に添付する書類)

第4条 学位論文に添付する書類は、次の各号に掲げるとおりとする。

- (1) 申請書（別紙様式1）
- (2) 履歴書（別紙様式2）
- (3) 学位論文要旨（1千字以内）（別紙様式3）
- (4) 審査委員候補者記入表（別紙様式4）

(学位論文の審議)

第5条 本研究科における学位論文の審議は、修士（医科学）に係る学位論文については医学系研究科運営委員会、修士（歯科学）に係る学位論文については歯学系研究科運営委員会、修士（理学・工学・保健学・口腔保健学）に係る学位論文については生命理工医療科学研究科運営委員会で行い、研究科委員会の承認を得るものとする。

(審査委員会)

第6条 審査委員会は、主査1名及び副査2名により構成する。

- 2 主査は、本研究科の教授の中から選出する。ただし、指導教員は主査となることができない。
- 3 副査は、本学の教授、准教授、講師及び連携大学院分野を構成する教員の中から選出するものとし、1名以上を本学の専任教員とする。ただし、原則として指導教員および指導教員の所属する分野の教員は副査となることができない。
- 4 必要があるときは、前項に定める者のほか、副査2名以内を加えることができる。

- 5 研究科運営委員会は、指導教員から推薦された審査委員候補者に基づき学位に関する委員会を選出された審査委員候補者について審議し、審査委員会を設置する。
- 6 審査委員会は、学位論文の審査を行う。
- 7 審査は、学位申請者と審査委員会委員が一堂に会して、原則、公開で行う。
- 8 審査委員会が必要と認めた場合には、学位論文の訳文及び標本等の提出を求めることができるほか、その他の者の出席を求め質疑を行うことができる。

（最終試験）

- 第7条 審査委員会は、学位論文の審査を終了した後、学位論文を中心として、これに関連ある科目について、本研究科のディプロマポリシーに鑑み、口頭又は筆答による最終試験を行う。
- 2 最終試験の期日、科目及び問題等最終試験の方法は、審査委員会が決定する。

（審査委員会の報告）

- 第8条 審査委員会は、第6条第5項により審査委員会が設置された後3月以内に、学位論文の審査並びに最終試験を行い、研究科運営委員会が定める日までに学位論文審査結果・最終試験結果報告書を研究科長に提出するものとする。
- 2 審査結果の報告は、次の各号に掲げる書類をもって行うものとする。
 - (1) 学位論文の内容の要旨（1千字以内）
 - (2) 学位論文審査結果・最終試験結果報告書（4百字以内）

（研究科運営委員会の審議）

- 第9条 研究科長は、前条の報告を受けた後、研究科運営委員会を開催し、学位授与の可否について審議するものとする。
- 2 研究科長は、研究科運営委員会開催日の7日以前に、次の各号に掲げる書類を研究科運営委員会委員に配付するものとする。
 - (1) 学位論文要旨
 - (2) 学位論文審査結果・最終試験結果報告書（担当者名を記載したもの）
 - (3) 履歴書
 - (4) 学位論文
 - 3 第1項の審議を行うには、研究科運営委員会委員（海外渡航中の委員及び休職中の委員を除く。）の3分の2以上の出席を必要とする。
 - 4 学位を授与できるものと議決するには、出席者の3分の2以上の賛成を必要とする。

（1年次修了）

- 第10条 大学院学則第20条第1項ただし書きについての取り扱いは、別に定める。

（学位論文提出の時期）

- 第11条 学位論文は、各年度において研究科運営委員会が定める日までに、所定の書類を添えて提出するものとする。

（適宜の処置）

- 第12条 学位の審査に関し、この内規を適用し得ない場合は、研究科委員会の議を経て、適宜の処置をとるものとする。

附 則

この内規は、平成16年4月1日から施行する。

附 則（平成19年3月6日制定）抄

この内規は、平成19年4月1日から施行する。

附 則（平成24年3月30日制定）

- 1 この内規は、平成24年4月1日から施行する。
- 2 平成24年3月31日において現に在学する者については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。
 - 附 則（平成26年5月20日制定）
この内規は、平成26年5月20日から施行する。
 - 附 則（平成26年9月5日制定）
この内規は、平成26年10月30日から施行する。
 - 附 則（平成26年11月27日制定）
この内規は、平成26年11月27日から施行する。
 - 附 則（平成28年9月26日制定）
この内規は、平成28年10月1日から施行する。
 - 附 則（平成28年12月15日制定）
この内規は、平成28年12月15日から施行する。
 - 附 則（令和元年11月8日制定）
この内規は、令和元年11月8日から施行し、平成30年4月1日から適用する。
 - 附 則（令和3年8月25日制定）
 - 1 この内規は、令和3年8月25日から施行し、令和3年4月1日から適用する。
 - 2 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科医歯理工保健学専攻修士課程総務委員会内規（平成24年3月5日修士課程総務委員会制定）は、廃止する。
 - 附 則（令和4年7月1日制定）
この内規は、令和4年7月1日から施行し、令和4年4月1日から適用する。
 - 附 則（令和5年3月9日制定）
この内規は、令和5年4月1日から施行する。

年 月 日

指導教員 印

大学院医歯学総合研究科長 殿

年度入学 大学院医歯学総合研究科医歯理工保健学専攻

氏 名 _____ 印(※)

(※)本人が自署しない場合は、記名押印してください。

学位論文審査申請書

わたくしは、このたび修士()に係る学位論文の審査を受けたいので、学位規則第4条第1項により、学位論文及び所定の書類を添えて提出いたします。

・学位論文題名

履 歴 書

氏 名 生年月日	ふりがな 年 月 日生	男 女
本 籍		
現 住 所		

学位論文要旨

論文題名：

氏 名 _____

※1,000 字以内とする。

審査委員候補者記入表

申請者氏名 _____

指導教員 _____ 印

	分 野 名	氏 名
主査		
副査		
副査		

修士学位論文の様式

〔修士課程総務委員会制定〕

【ファイル形式】

- ・MS-Word。

【使用言語】

- ・修士（医科学、歯科学、理学、工学、口腔保健学）は日本語、英語どちらでも可。
- ・修士（保健学）は英語を強く推奨。
- ・修士（グローバル健康医学）は英語。
- ・日本語で作成する場合はMS 明朝。英語で作成する場合はTimes New Roman、Century、またはCalibri とする。修士（グローバル健康医学、保健学）はTimes New Roman で作成すること。

【提出方法】

- ・pdf ファイルおよび印刷原稿を提出する。
- ・印刷原稿は左上をクリップで留める。

【表紙の作成方法（別添 1 を参照）】

- ・A4 判縦・横書き。
- ・「年度」、「題名」、「学籍番号」、「氏名」を記載する。
- ・文字の大きさは、全て 20 ポイント。
- ・修士（保健学）は和文のタイトルを併記し、分野名を「氏名」の後に記載すること。

【論文の作成方法（別添 2 を参照）】

- ・A4 判縦・横書き。
- ・フッター中央にページをふり、両面印刷。
- ・修士（医科学、歯科学、保健学、口腔保健学）は原則、8 ページ程度。修士（グローバル健康医学、理学、工学）は無制限。
- ・1 枚目にタイトル及び氏名を入れる。
- ・「要旨 (abstract)」、「背景 (introduction)」、「材料と方法 (materials and methods)」、「結果 (results)」、「考察 (discussion)」、「結論 (conclusion)」、「謝辞 (acknowledgement)」、「参考文献 (references)」を記載する。要旨は、400 字（日本語）または 250 単語（英語）以内。
- ・文字の大きさは、タイトルは 18 ポイント、氏名は 14 ポイント、本文は 11 ポイント、行間は single space または 14～20 ポイント。修士（グローバル健康医学）は 12 ポイント、double space。文献・図の説明文は 9 ポイント。
- ・図には番号を振り、説明を付すこと。
- ・遺伝子組み換え実験、動物実験およびヒトを対象とする研究（ヒト由来検体、臨床情報、アンケート調査など。）等を含む場合は、機関承認番号等を「材料と方法」の中に記載すること。

【文献の記載方法】

- ・本文中の引用文献には、引用箇所に一連の文献肩番号を付ける。
- ・引用文献リストは、本文での引用順序に並べて一連番号を付ける。
- ・著者 4 名以上の場合は、最初の 3 名だけを記し、あとは et al. あるいは・他と略してよい。
- ・雑誌の略名は、欧文雑誌は Index Medicus、和文誌は医学中央雑誌収録雑誌略名表に準拠する。

文献記載例（バンクーバー方式に準拠する）

- 1) Goodwin TW. Recent advances in biochemistry. 4th ed. London: Churchill, 2002:72-83.
- 2) McFarlane WD, Milne HI. Iron and copper metabolism in the developing chick embryo. J Biol Chem 2004;107:309-19.
- 3) Fukuta H, Rikimaru T, Fujinaga S, et al. Effects of anticoagulants upon the values of blood cells in the venous blood. (in Japanese, English abstract). Jpn J Clin Hematol 2003;8:445-54.
- 4) Link Gk. Bacteria in relation to plant diseases. In: Jordan EO, Falk IS, editors, The newer knowledge of bacteriology and immunology. Chicago: Univ. Chicago Press, 2005:590-606.
- 5) 大村一夫, 松尾賢二, 水落勝明・他 腹腔動脈撮影における転移性肝癌の診断上の意義について. 脈管学 2002;66:1-9.

20XX 年度 修士 (〇〇学) 学位申請論文

題名：〇〇を用いた〇〇に関する研究

学生番号：〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

氏名：〇〇 〇〇

20XX Thesis

Title : ○○○○○○○○○○○○○○○○○

Student ID number: ○○○○○○○○○

Name: Given name Family name

題名：〇〇を用いた〇〇に関する研究

氏名：○○ ○○

1. 要旨

A diagram consisting of two horizontal rows of circles. The top row is a single continuous line of 28 identical circles. Below it, there is another row starting with 16 identical circles, followed by three dots ($\cdot \cdot \cdot$) and a small open circle.

2. 背景

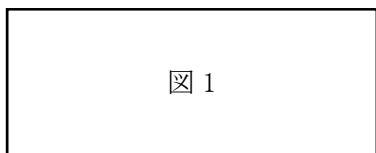


図 1 : ○○○○○○...

3. 材料と方法

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ • • • ◦
 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
 ○○○○○○○○ • • • ◦

4. 結果

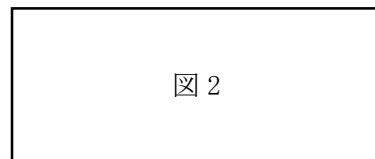
[illegible]

図 2 : $\bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc \cdots$

5. 考察

Diagram illustrating a 2D hexagonal lattice structure. The lattice is composed of two rows of circles. The top row contains 20 circles, with the 10th circle labeled $1)$ and the 19th circle labeled $2)$. The bottom row contains 15 circles, with the 10th circle labeled $3)$. Ellipses between the 10th and 11th circles in the bottom row indicate continuation.

6. 結論

A diagram consisting of two horizontal rows of circles. The top row contains 20 identical open circles. The bottom row contains 16 identical open circles, followed by three dots, and then a small circle containing a dot.

7. 謝辭

A diagram showing a sequence of circles. The top row contains 25 circles. The bottom row contains 15 circles, followed by an ellipsis (three dots) and a subscript 'n'.

8. 参考文献

- 1) ○○○○ · · ·
- 2) ○○○○ · · ·
- 3) ○○○○ · · ·

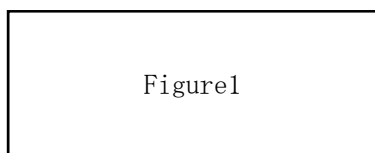
Title : ○○○○○○○○○○○○○○○

Name : Given name Family name

1. abstract

[illegible]

2. introduction

[illegible]

3. materials and methods

[illegible]

Figure1 : ○○○○○○...

4. results

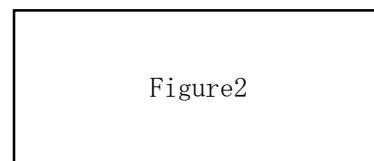


Figure 2 : ○○○○○○...

5 . discussion

Diagram illustrating a 1D lattice with 20 sites. Sites 1 and 2 are occupied by particles (circles). Site 3 is empty. Sites 4 through 19 are occupied by particles. Site 20 is empty. The diagram is labeled with 1) above site 1, 2) above site 2, and 3) below site 3.

6. conclusion

[illegible]

7. acknowledgement

[illegible]

8. references

- 1) ○○○○ · · ·
- 2) ○○○○ · · ·
- 3) ○○○○ · · ·

東京医科歯科大学大学院学位論文審査基準

平成27年2月17日
制 定

1. (趣旨)

東京医科歯科大学学位規則(平成16年規則第56号)第20条の規定に基づき、東京医科歯科大学(以下「本学」という。)大学院医歯学総合研究科並びに大学院保健衛生学研究科における修士および博士の学位論文審査基準について定める。

2. (修士課程)

修士課程における学位論文審査では、本学学位授与の方針(ディプロマポリシー)等を踏まえ、論文の内容が、以下の要件を満たし、当該領域において、十分な研究能力を修得しているかという観点で審査する。

1) 研究目的の適切性

当該研究領域に関する基礎的な知識を有し、先行研究を十分に検討した上で、意義のある研究目的が適切に設定されているか。

2) 研究方法・倫理観

研究計画、研究方法が適切な実証性を備えているか。また、高い倫理観を持ち研究や実験を行っているか。

3) 考察

得られた研究データ・結果を正しく評価し、適切な考察がなされたうえで、論理一貫性をもって記述できているか。

3. (博士課程)

博士課程における学位論文審査では、本学学位授与の方針(ディプロマポリシー)等を踏まえ、論文の内容が、以下の要件を満たし、当該領域において、自立した研究者として高度な研究能力およびその基礎となる豊かな学識を修得しているかという観点で審査する。

1) 研究目的の先駆性・独創性

当該研究領域に関する多面的かつ専門的な知識を有し、先行研究を十分に検討した上で、先駆的又は独創的な発想に基づき研究目的が設定されているか。

2) 社会的意義

当該研究領域の発展に寄与し、人類の健康と福祉への貢献に繋がる研究内容であるか。

3) 研究方法・倫理観

研究計画、研究方法が幅広い視野に基づき策定されたものであり、高い論証性を備えているか。また、高い倫理観を持ち研究や実験を行っているか。

4) 考察・今後の発展性

得られた研究データ・結果を正しく評価し、適切かつ十分な考察がなされたうえで、論理一貫性をもって記述できているか。また今後の学問的発展性があるか。

附 則

この基準は、平成27年2月17日から施行する。

附 則

1 この基準は、令和2年4月1日から施行する。

2 令和2年3月31日において現に本学大学院に在学するものについては、改正後の基準にかかわらず、なお従前の例による。

東京医科歯科大学大学院G P A制度に関する要項

平成24年3月12日
制 定

(目的)

第1条 この要項は、東京医科歯科大学大学院におけるG P A (Grade Point Average) 制度の運用について必要な事項を定める。

(定義および計算方法)

第2条 この要項において、G P Aとは、個々の学生の学修到達度をはかる数値で、大学院学則第19条に基づき次の計算式によって評価(0~100点の整数の評点)したうえで、履修した科目1単位あたりの成績平均点を求めたものをいう。

$$GP = (\text{科目の評価} - 55) \times 0.1$$

ただし、科目の評価が59点以下の場合は、GP = 0.0 とする

2 G P A対象授業科目は、次の各号を除く授業科目とする。

- (1) 0~100点の整数による学修の評価を行わない科目
- (2) 修了要件に算入しない科目
- (3) G P Aへの算入が適当でないと認められる科目

3 第1項の計算において、「単位数」には不合格(59点以下)となった科目の単位を含むが、履修取消とした科目の単位は含まない。

4 G P Aの計算値は四捨五入して小数第2位まで求めるものとする。

(学修の評価、G P 及び評価基準)

第3条 成績評価、Grade Point (G P) 及び評価基準は、次のとおりとする。

評点	G P	評価基準
90~100	3.5~4.5	当該科目の到達目標を期待された水準を超えて達成した
80~89	2.5~3.4	当該科目の到達目標を全て達成した
70~79	1.5~2.4	当該科目の到達目標を概ね達成した
60~69	0.5~1.4	当該科目の到達目標のうち最低限を達成した
0~59	0.0	当該科目の到達目標を達成していない

(GPAの種類及び計算方法)

第4条 GPAは、対象期間に応じて「学期GPA」、「年度GPA」及び「通算GPA」に区分して算出するものとする。

(GPA計算期日)

第5条 GPAの計算は、学期、学年ごとに所定の期日までに確定した成績に基づいて行う。

(成績証明書への記載)

第6条 成績証明書への記載は、通算GPAを使用する。

(その他)

第7条 この要項に定めるもののほか、GPA制度の実施に関して必要な事項は、各研究科において、別に定める。

附 則

- 1 この要項は、平成24年3月12日から施行し、平成23年4月1日から適用する。
- 2 東京医科歯科大学大学院に平成23年3月31日に在学し、引き続き本学大学院の在学者となったものについては、この内規の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則(平成27年6月11日制定)

この要項は、平成27年6月11日から施行し、平成27年4月1日から適用する。

附 則(平成30年9月6日制定)

- 1 この要項は、平成30年9月6日から施行し、平成30年4月1日から適用する。
- 2 平成29年度以前入学者で、平成30年4月1日時点で本学に在籍する者の成績評価については、秀をA⁺、優をA、良をB、可をC、不可をDとする。
- 3 平成29年度以前入学者で、平成30年4月1日時点で本学に在籍しない者のGPについては、秀を4.0、優を3.5、良を3.0、可を2.0、不可を1.0とみなす。

附 則

- 1 この要項は、令和6年4月1日から施行し、令和6年度入学者から適用する。
- 2 令和6年3月31日において、現に本学に在学する者(以下「在学者」という。)及び令和6年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、この要項にかかわらず、なお従前の例による。

東京医科歯科大学における学生の懲戒に関する申合せ

平成20年2月8日
申 合 せ

1. 目的

この申合せは、東京医科歯科大学学則（以下「学則」という。）第58条の規定に基づく学生の懲戒に関し、基本的な考え方、手続、標準その他の必要な事項を定めることにより、その適正及び公正を図ることを目的とする。

2. 基本的な考え方

- (1) 学生に対する懲戒は、大学の規律、秩序を維持し、教育目的を達成するため、一定の事由の発生を要件として、学生に対して制裁を課すものである。
- (2) 懲戒は、懲戒対象行為の態様、結果、影響等を総合的に検討し、教育的配慮を加えたうえで行うものとする。
- (3) 懲戒の取扱いについては、刑事訴追の有無を処分決定の絶対的な基準とはしないものとする。

3. 懲戒の種類

懲戒の種類は、退学、停学及び訓告とする。

(1) 退学

退学は、学生の身分を失わせることである。

(2) 停学

- ① 停学は、一定の期間登校を禁止することである。
- ② 停学は、無期停学及び有期停学とする。
- ③ 有期停学の期間は6か月未満とする。
- ④ 停学期間は、在学年限に含め、修業年限には含めないものとする。ただし、短期間（1か月以内）の場合には、在学年限及び修業年限に含めることができる。
- ⑤ 無期停学は、原則として6か月を経過した後でなければ解除することができない。
- ⑥ 停学期間には、学則第9条の「休業日」を含むものとする。

(3) 訓告

訓告は、懲戒対象行為について、注意を与え、将来にわたってそのようなことがないように戒めることである。

4. 謹慎

学生の当該行為が懲戒に該当することが明白であり、かつ、停学以上の懲戒がなされることが確実である場合は、部局長（医学部長、歯学部長又は教養部長をいう。以下同じ。）は、当該学生に懲戒決定前に謹慎を命ずることができる。この場合、謹慎の期間は特に定めないが、この間は当該学生の登校を禁止する。

なお、謹慎の期間はその全部又は一部を停学期間に通算することができる。

5. 停学期間中の措置

- (1) 停学期間中の学生に対して当該部局は、面談等により、更正に向けた指導を適宜行うものとする。
- (2) 前項に規定する面談等は、必要に応じカウンセラー等の専門家の協力を得て行うことができるものとする。
- (3) 停学期間中の休学の願い出は、受理しないものとする。

6. 懲戒の手続

(1) 調査委員会の設置

- ① 学部長は、懲戒に相当すると思われる学生の行為（以下「事案」という。）を知ったときは、直ちに学長に報告するとともに、当該学生が所属する学部教授会の議を経て、当該学部教授会の構成員で組織する調査委員会を設置するものとする。

なお、調査委員会には、事案により当該学部教授会の構成員以外の者を加えることができる。

- ② 調査委員会は、当該事案について、調査及び事実の確認を行い、懲戒に関する事実認定の報告書（様式1）を作成するものとする。

(2) 事情聴取等

- ① 調査委員会は、調査に当たり当該学生に対し事情聴取を行うものとする。ただし、学生が心身の故障、身柄の拘束、その他の事由により直接事情聴取を受けることができないときは、これに替えて文書による質問、照会等により事情聴取することができる。

- ② 調査委員会は、当該学生に口頭又は文書により弁明する機会を与えるものとする。

(3) 調査等の結果の報告

調査委員会は、懲戒に関する事実認定の報告書を学部長に提出するものとする。

(4) 教授会審議

学部長は、調査委員会の報告に基づき、当該学部教授会において、懲戒の要否及び種類・程度を審議し、その結果を学長に報告するものとする。

(5) 懲戒の決定

- ① 学長は、学部長の報告に基づき、懲戒の要否及び種類・程度を決定するものとする。
- ② 前号の決定に関し、特に必要と学長が認めた場合は懲戒委員会を設置し、事実の確認及び処分量定について諮問することができる。
- ③ 前号の懲戒委員会については、国立大学法人東京医科歯科大学懲戒委員会等規則第2条を準用する。

(6) 懲戒通知書の交付等

学部長は、学長の命により当該学生に対し懲戒通知書（様式2）を交付するものとする。

(7) 懲戒処分の告知及び告示

学長は、懲戒処分を決定したときは、通知書の交付をもって当該学生及び保証人に告知し、教育研究評議会に報告し、当該学生の所属、懲戒の種類及び事由を告示する。

(8) 懲戒に関する記録

懲戒処分を行ったときは、学籍簿の「特記事項」に記載するものとする。

(9) 退学願いの不受理

学部長は、懲戒の手続中の学生から自主退学の願い出があった場合は、これを受理しないものとする。

(10) その他

二つ以上の部局に関わる事案があるときは、当該部局長は相互に連絡協議するものとする。

7. 不服が申立てられた場合の手続

- (1) 懲戒を受けた学生は、その処分について、事実誤認、新事実の発見、処分の種類または内容等について異議がある場合には、懲戒通知書を受領した日の翌日から起算して14日以内に、学長に対し書面をもって不服申立てをすることができる。ただし、不服申立てにより懲戒の効力は停止しない。
- (2) 学長は懲戒を受けた学生から不服申立てがあった場合には、学部長に再審議を行わせることができる。
- (3) 学部長は、当該学部教授会に再審議をする旨を報告の上、新たな構成員で組織される調査委員会に再調査等を行わせるものとする。
- (4) 学長は、再調査等の結果に基づく処分内容を当該学生に通知しなければならない。

8. 無期停学の解除

- (1) 学部長は、無期停学処分を受けた学生について、指導教員等と協議し、その反省の程度及び学習意欲等を総合的に判断して、その処分を解除することが適当であると思われるときは、当該学部教授会の議を経て、学長に申出るものとする。
- (2) 学長は、学部長の申出に基づき、無期停学の解除を決定するものとする。
- (3) 学部長は、学長の命により当該学生に対し停学解除通知書（様式3）を交付するものとする。

9. 試験の無効等

(1) 試験の無効

試験における不正行為を行った学生が受験した当該科目の試験は無効とする。

(2) 停学期間中の受験及び履修手続

停学期間中の受験は認めない。ただし、履修手続きは可能とする。

10. 懲戒の標準は、別表のとおりとする。

11. 科目等履修生等の懲戒

この申合せの規定は、学則第10章及び第12章に規定する科目等履修生、聴講生及び特別聴講学生並びに大学院研究生の懲戒について準用する。

12. 大学院学生の懲戒

大学院学生の懲戒については、この申合せの規定を準用する。この場合において、以下のよう
に字句を読み替えるものとする。

- (1) 「学部教授会」を「研究科運営委員会等」
- (2) 「学部長」、「部局長（医学部長、歯学部長、教養部長をいう。以下同じ。）」及び部局長を「研究科長等」
- (3) 「試験」を「試験（単位認定を目的とした定期試験をいう。）」
- (4) 様式2 中、「東京医科歯科大学学則第58条」を「東京医科歯科大学大学院学則第60条の規定により準用する東京医科歯科大学学則第58条」

なお、この申合せにおける「大学院学生」には、大学院学則（平成16年4月1日規程第5号）第12章から第14章までに規定する聴講生、特別聴講学生及び特別研究学生、科目等履修生を含むものとする。」

13. 守秘義務

学生の懲戒等に関する事項に関わった職員は、事実上知りえた情報を漏らしてはならない。その職を退いた後も同様とする。

14. この申合せの改廃は、学生支援・保健管理機構運営委員会において行う。

附 則

この申合せは、平成20年2月8日から施行する。

附 則（平成24年2月24日制定）

- 1 この申合せは、平成24年4月1日から施行する。
- 2 この申合せの施行日において本学に専攻生として在籍する者の取扱いについては、平成24年9月30日まで、なお従前の例による。

附 則（平成28年10月21日制定）

この申合せは、平成28年10月21日から施行する。

附 則（平成30年2月20日制定）

この申合せは、平成30年4月1日から施行する。

附 則（平成30年12月13日制定）

この申合せは、平成30年12月13日から施行し、平成30年11月30日から適用する。

附 則（令和5年5月11日制定）

この申合せは、令和5年5月11日から施行する。

別表

懲戒の標準

・懲戒対象行為の標準的な例及び懲戒の種類は次の表のとおりとする。

懲戒対象行為の標準的な例	懲戒の種類
1. 試験における不正行為 (1) 代理（替玉）受験を行った場合又は行わせた場合 (2) 許可されていないノート及び参考書等を参照した場合 (3) 答案を交換した場合 (4) その他、試験において不正行為を行った場合 2. その他の懲戒対象行為 (1) 殺人、傷害、強盗、放火、誘拐、窃盗、痴漢等の犯罪 ① 殺人、傷害、強盗、強姦、放火、誘拐等の犯罪を行った場合 ② 窃盗、詐欺、恐喝等の犯罪を行った場合 ③ 痴漢（のぞき見、盗撮等を含む）を行った場合 (2) 交通事故・交通法規違反 ① 人身事故を伴う交通事故を起こした場合であって、次のいずれかに該当する場合であること （ア）ひき逃げ行為をしたとき （イ）その原因行為が飲酒運転、無免許運転、暴走運転等悪質なとき （ウ）被害者を死に至らしめたとき（過失がない場合を除く） ② 飲酒運転、無免許運転、暴走運転等の重大な交通法規違反を犯した場合 (3) ハラスメント等行為 性的関係の強要、飲酒の強要、いじめや嫌がらせ、ストーカー行為を行った場合 (4) 社会的モラルを問われる行為 ① 未成年者の飲酒 ② 未成年者に飲酒を勧めた場合・容認した場合 ③ 喧嘩、酩酊、喧騒等により、警察等に通報されるなど迷惑をかける行為 ④ その他本学の名誉・信用を失墜させる行為 (5) 薬物犯罪 違法薬物の売買又はその仲介、違法薬物の自己使用等を行った場合 (6) 個人情報の漏えい 授業又は実習・研修等で知り得た、教職員、学生及び患者の個人情報 leaked した場合 ① 情報の漏えいが故意の場合 ② 情報の漏えいが過失の場合 (7) コンピュータ等の不正行為コンピュータ及びコンピュータネットワークの不正使用等並びにこれらを利用した不正行為 (8) 本学の教育・研究活動を妨げる不正行為 ① 研究成果作成の際に論文やデータの捏造を行った場合 ② 剽窃を行った場合 ③ 知的財産を喪失させる行為又は妨げる行為を行った場合	退学 停学 停学 停学又は訓告 退学 退学又は停学 停学又は訓告 退学又は停学 退学、停学又は訓告 退学、停学又は訓告 停学又は訓告 停学又は訓告 停学又は訓告 停学又は訓告 退学又は停学 退学又は停学 退学又は停学 退学、停学又は訓告 停学又は訓告 退学、停学又は訓告 退学、停学又は訓告 停学又は訓告 停学又は訓告 退学、停学又は訓告 停学又は訓告 退学又は停学

④ 学生の学修、研究及び正当な活動並びに教職員の業務を暴力、威力等の不当な手段によって妨害した場合	退学又は停学
3. 再犯学生の懲戒 過去に懲戒を受けた学生が、再び懲戒対象行為を行った場合は、より「悪質性」が高いものとみなし、各標準を超える重い懲戒を行うことがある。	

備考

- ・「標準的な例」に掲げられていない行為についても、懲戒の対象となる場合がある。
- ・「懲戒の種類」に掲げられていない種類の懲戒が課せられる場合もある。

懲戒に関する事実認定の報告書

1. 対象学生 ・ 学部（研究科） 学科（専攻） 課程・コース・学籍番号
・ 氏名 年 月 日生
・ 入学年月 年 月
・ 現住所 電話番号
2. 事件の経緯・概要
3. 学生の弁明
4. 審議経緯
5. その他参考資料等

記載要領

- 2 は、事件の経緯，概要，大学側の対応，事実の確認等について年月日順に記載する。
- 3 は、当該学生が行った弁明について，日時，場所，証拠，証人，補佐人の有無，内容等を記載する。
- 5 は，その他の必要事項又は参考資料があれば記載又は添付する。

様式 2

懲戒通知書

学 部 名 _____ 学籍番号 _____ 氏 名 _____

東京医科歯科大学学則第 58 条の規定により、下記のとおり懲戒する。

記

1. 懲戒の種類
2. 停学の期間（停学の場合）
3. 処分理由

交付日付 年 月 日

東京医科歯科大学長

印

この処分についての不服申立ては、東京医科歯科大学における学生の懲戒に関する申合せ 6. により、この説明を受領した日の翌日から起算して 14 日以内に、学長に対し書面をもってすることができる。

様式 3

停学解除通知書

学 部 名 _____ 学籍番号 _____ 氏 名 _____

東京医科歯科大学における学生の懲戒に関する申合せ 7 の規定により、

年 月 日付けで停学を解除する。

年 月 日

東京医科歯科大学長

印

様式 4

告 示

東京医科歯科大学における学生の懲戒に関する申合せに基づき、次のとおり懲戒処分を行った。

1. 懲戒処分となった学生の学部等

(学部の場合は学科まで記載。大学院の場合は専攻まで記載。)

2. 処分内容

(退学の場合)

退 学

(停学の場合)

停 学

(有期停学の場合は期間)

(例： 年 月 日 ～ 年 月 日)

(訓告の場合)

訓 告

3. 処分理由

年 月 日

国立大学法人

東京医科歯科大学長

印

7. 学生周知事項

1) 連絡・通知

大学からの連絡・通知は掲示板への掲示又は大学のホームページ（トップページ → 「在学生の方」又は「学部・大学院」）により行います。

台風等の自然災害や交通機関運休に伴う授業の休講・試験の延長を決定した場合は、本学のホームページ（トップページ → 「学生生活」お知らせ欄）に掲載します。

掲示板は 6 号館前大学院掲示板、1 号館西 1 階学務企画課前及び 5 号館 3 階学生支援事務室前です。見落としがないように十分注意して下さい。

学生への個別連絡は電話、電子メール又は郵送にて行います。

大学から緊急に連絡する必要があるが生じて連絡が取れないことがないように入学時と連絡先が変更になった際は、忘れずに届出てください。

2) 学生証

学生証は、本学の学生である旨を証明し、学内で名札として使用するとともに、IC カードとして学内出入口の解錠、出席登録等としても在学中使用しますので、紛失・破損等のないよう大切に扱って下さい。

また、通学定期券の購入時等に提示を求められたときに提示できるよう、常に携帯するようにして下さい。

(1) 再交付

学生証を紛失又は破損等した場合は、速やかに学務企画課に申し出て、再交付の手続きをとって下さい。また、再交付を行う場合は、再交付にかかる費用を負担することとなりますので注意して下さい。

(2) 返却

修了、退学、除籍となった場合は、直ちに学生証を学務企画課に返却して下さい。なお、返却ができない場合は、再交付にかかる費用と同額を負担することとなりますので注意して下さい。

(3) 有効期限の更新

在学期間延長や長期履修により有効期間が経過した場合は、学生証の有効期限の更新が必要となりますので、学務企画課（TEL 5803-5074）に申し出てください。

3) 証明書等

証明書等は、学務企画課で発行するものと、自動発行機で発行するものがあります。

発行場所	種類	受付時間	問い合わせ先
自動発行機 5 号館 4 階 学生談話室	在学証明書（和文）	8:30-21:00 (発行には学生証が必要)	学務企画課企画調査係 TEL : 5803-5074
	学生旅客運賃割引証（学割）		
学務企画課※ 1 号館西 1 階	在学証明書（英文）	8:30-17:15	学務企画課大学院教務 第一係・第二係 TEL : 5803-4676・4534
	成績証明書（和文・英文）		
	修了見込証明書【修士・博士(前期)】 (和文・英文)		
	その他諸証明書（和文・英文）		
学務企画課※ 1 号館西 1 階	修了見込証明書【博士・博士（後期）】 (和文・英文)	8:30-17:15	学務企画課企画調査係 TEL : 5803-5074

※学務企画課発行の証明書の手続きについて

学務企画課発行の証明書を希望する場合は、「証明書交付願」を各窓口に提出して請求すること。なお、交付には和文で数日、英文で一週間程度を要する。

※修了生の証明書発行は、学務企画課で行っている。（発行している証明書：「修了証明書」「成績証明書」「単位修得証明書」「在学期間証明書」「学位授与証明書」等。）

郵送での申込みについて

自動発行機以外で発行している証明書に関しては、郵送で申込みことができる。その際は、「証明書交付願」と返信用封筒に切手貼付のうえ、請求すること。なお、郵送料が不足する場合は、郵便局からの請求に基づき支払うこと。

申込み先

〒113-8510 東京都文京区湯島 1-5-45
東京医科歯科大学 学務企画課

4) 学生旅客運賃割引証（学割証）

- (1) 学生が課外活動又は帰省などで JR 線を利用する場合、乗車区間が片道 100km を超えるときに旅客運賃の割引（2 割）を受けることができます。

この制度は、修学上の経済的負担を軽減し、学校教育の振興に寄与することを目的とするものなので、計画的に使用して下さい。（年間使用限度：10 枚／人、有効期間：発行日から 3 ヶ月間）

- (2) 次に掲げる行為があったときは、普通運賃の 2 倍の追徴金を取られるばかりでなく、本学の全学生に対する学割証の発行が停止されることがありますので、乱用又は不正に使用することのないよう注意して下さい。

- ① 他人名義の学割証を使って乗車券を購入したとき
- ② 名義人が乗車券を購入し、これを他人に使用させたとき
- ③ 使用有効期間を経過したものを使用したとき

- (3) 学割証は、学生談話室（5 号館 4 階）に設置されている「自動発行機」にて発行します。

（利用時間：平日 8:30～21:00）

（問い合わせ先）学務企画課（TEL 5803-5074）

5) 住所・氏名等の変更

本人又は保護者等の住所・本籍又は氏名等（電話番号を含む）に変更が生じた場合は、速やかに学務企画課大学院教務第一係・第二係に申し出て所定の手続きをとって下さい。

この手続きを怠った場合、大学から本人又は保護者等に緊急に連絡する必要があるが生じても連絡が取れないので注意して下さい。

提出・問い合わせ窓口

統合教育機構学務企画課大学院教務第一係・第二係（1 号館西 1 階）

届出用紙

	届出用紙	添付、提示書類
改姓した場合	改姓（名）届 学生証記載事項変更	改姓（名）を証明する書類を添付
本人・保護者等が住所・本籍地 を変更した場合	住所・本籍地変更届	住所・本籍地を変更したことを 証明する書類を添付
保護者等を変更した場合	保護者等変更届	なし

6) 研修・実習依頼

外部の研究機関等に研修・実習を希望する場合は、依頼希望日の2週間前まで（外国での場合には2ヶ月前まで）に学務企画課大学院教務第一係・第二係へ外部研修・実習届出書を提出してください。

7) 遺失物及び拾得物

学内での遺失物又は拾得物の届出は以下のとおりとなります。

- (1) 医学部内・・・・・・・・・・医学部事務部総務係（3号館6階：TEL 5803-5096）
- (2) 歯学部内・・・・・・・・・・歯学部事務部総務係（D棟南2階：TEL 5803-5404）
- (3) その他・・・・・・・・・・紛失及び拾得場所（建物）を管理する各事務部

8) 進路調査

大学院を修了（見込みを含む）する場合は、修了日（見込み日）1ヶ月前までに必ず進路届を学生支援事務室に提出して下さい。

（問い合わせ先）学生支援事務室（e-mail：shinro@ml.tmd.ac.jp）

9) 健康相談・メンタルヘルス相談

（保健管理センター）

保健管理センターは本学の学生・職員が心身共に健康な生活を送り、所期の目的を達成することができるよう、助言・助力することを目的としている施設です。必要に応じて医療機関への紹介状の発行も行っています。

(1) 健康相談

健康相談は午前10時～12時30分、午後13時30分～15時30分に受け付けます。

時間に変更になる場合があります。

来室前に保健管理センターホームページの「今週の健康相談」を確認のうえ来室ください。

今週の健康相談



(2) メンタルヘルス相談（要予約）

精神科医・臨床心理士へ相談をご希望の場合は、予約をお取りします。

03-5803-5081 までご連絡ください。

(3) 各種健康診断等

実施詳細等は、学内 Info メールで周知します。

見落としがないよう普段からよく確認するようにしてください。

※保健管理センターホームページにも健診に関する情報を掲載しています。

※定期健康診断の受診は学生の義務ですので、必ず受けてください。

- | | |
|---------------|----|
| ① 学生一般定期健康診断 | 5月 |
| ② B型肝炎抗原・抗体検査 | 4月 |

- | | |
|---------------------|-----------|
| ③ B型肝炎予防接種 | 6月、7月、12月 |
| ④ 有機溶剤・特定化学物質健康診断 | 4月、10月 |
| ⑤ 放射線業務従事者健康診断 | 4月、10月 |
| ⑥ その他 インフルエンザ予防接種 等 | |

(4) 健康診断証明書の発行

各種資格試験受験、病院研修申請、就職・進学などを目的として必要な健康診断証明書を発行しています。

※証明書の発行は定期健診を受診している方に限ります。

保健管理センターホームページ：<https://www.tmd.ac.jp/hsc/>

TEL：03-5803-5081

MAIL：hokencenter.hsc@tmd.ac.jp



10) 学生相談

(学生・女性支援センター：<http://www.tmd.ac.jp/labs/gakuseihokenkikou/scsfs/index.html>)

学生・女性支援センターは、本学の学生に対して、生活・修学・就職・メンタルヘルスやハラスメント、キャリアパスや学業（仕事）と家庭との両立に関することなど、キャンパスライフ全般に渡り、全学的に支援を行い、学生支援活動の充実を図ることを目的として設置されています。なお、本センターは男女問わずご利用いただけます。

下記のような問題、その他大学生活を送るうえで悩みや心配事が起きたときにご相談ください。

また、内容により担当が異なりますので、各ホームページをご参照ください。

＜学生生活全般に関すること＞ e-mail：scenter.stc@tmd.ac.jp

- ・生活に関する相談・・・家族の問題・経済的な問題・恋愛問題など
- ・修学に関する相談・・・勉強の進捗状況・進学・研究室の人間関係など
- ・就職に関する相談・・・卒業後の進路・就職活動など
- ・メンタルに関する相談・・・健康の問題・ストレス・心の問題・対人関係など
- ・ハラスメントに関する相談・・・アカデミックハラスメント・パワーハラスメント・

セクシャルハラスメントなど

- ・その他・・・セクシュアリティやジェンダーに関すること、障害や持病に関することなど

ホームページ <http://www.tmd.ac.jp/stdc/index.html>



＜キャリア支援や学業（仕事）と家庭との両立支援に関すること＞ e-mail：info.ang@tmd.ac.jp

- ・今後の進路や生き方に関する相談
- ・妊娠・出産・育児との両立や保育園入園・介護に関する相談

ホームページ <http://www.tmd.ac.jp/ang/counsel/index.html>

☆個別相談時間

事前予約制です。詳細はホームページをご参照ください。



11) 研究不正関連講習会の受講

本学では、「遺伝子組換え実験」「病原微生物等・特定病原体等を取扱う実験」及び「動物実験」を行う者は『「安全で適正な研究」に係る研修会』を、「ヒト（試料・データを含む）を対象とする研究」を行う者は『研究倫理講習会』を受講し、それぞれ基礎研究 ID（「安全で適正な研究」に係る研修会）、受講証番号（研究倫理講習会）を取得することとしておりますが、大学院生についてはいずれも受講必須となっております。実施詳細は学内 Info メールおよび HP で周知いたしますので確認のうえ必ず受講するようにしてください。

(HP) <https://www.tmd.ac.jp/tmd-research/safety/koushoukaiannai/>

(問い合わせ先) 統合研究機構事務部研究推進課 研究安全係 (e-mail : anzen.adm@tmd.ac.jp)

12) 院生ラウンジ

院生はM&Dタワー14階院生ラウンジを利用することができます。

<利用時間> 8:00~21:00

- <注意事項>
- ①利用後は整理整頓を行い、必ず原状復帰すること。
 - ②ゴミは各自の研究室に持ち帰り、責任を持って処分すること。同フロアに設置されている他の教室のゴミ箱に捨てないこと。
 - ③他の利用者に迷惑となる行為（大声で話す、長時間の睡眠をとる、遊具を持ち込む等）をしないこと。
 - ④私物を放置したままにしないこと。
 - ⑤手洗い、マスク着用等基本的な感染対策に留意してご利用ください。

13) その他

- (1) 個人宛の郵便物等には、必ず分野名の記載を相手方に周知してください。
- (2) 本学では、構内での交通規制が行われており、学生の車での通学は認められていませんので、注意して下さい。ただし、電車、バス等で通学することが困難な者については、申請に基づき許可することがあります。
- (3) 担当課
 - ① 教務事務・・・学務企画課大学院教務第一係・第二係
(1号館西1階: TEL 5803-4676、4679、4534)
 - ② 授業料の納入・・・財務企画課資金管理係
(1号館西3階: TEL 5803-5048)
 - ③ 奨学金・授業料免除・・・学生支援事務室
(5号館3階: TEL 5803-5077)

8. 諸手続きについて

各手続きに必要な本学指定の様式については、学務企画課大学院教務第一係・第二係（1号館西1階）もしくは本学ホームページより取得することができる。

本学ホームページ (<http://www.tmd.ac.jp/index.html>) → 「学部・大学院」 → 「大学院医歯学総合研究科」 → 「統合教育機構学務企画課」 → 「諸手続（休学・退学・住所変更等に必要な手続関係）」

URL : http://www.tmd.ac.jp/faculties/graduate_school/kyoumuka/index.html

1) 休学

病気その他の事由により、引き続き3ヶ月以上就学できない場合は下記の手続きにより休学もしくは休学延長することができる。なお、休学期間は通算して2年を超えることはできない。また、休学期間は在学期間に算入しないものとする。

提出・問い合わせ窓口

学務企画課大学院教務第一係・第二係（1号館西1階）

提出書類

・休学願または休学延長願（本学指定様式）

※開始日は原則として、月初めとする

※病気療養を理由とする場合は、医師の診断書を添付すること

提出期限

休学を希望する前々月の20日まで

2) 復学

休学している学生が、休学期間途中もしくは休学期間満了時に復学を希望する場合は、下記の手続きを行わなければならない。

提出・問い合わせ窓口

学務企画課大学院教務第一係・第二係（1号館西1階）

提出書類

・復学願（本学指定様式）

※病気療養を理由に休学した場合は、医師の診断書を添付すること。また、保健管理センターの受診が必要になるので、事前に申し出ること。

提出期限

復学を希望する前々月の20日まで

3) 退学

病気その他の事由により、学業を継続することが困難となり、退学しようとする場合は、下記の手続きを行わなければならない。

提出・問い合わせ窓口

学務企画課大学院教務第一係・第二係（1号館西1階）

提出書類

・退学願（本学指定様式）

提出期限

退学を希望する前月の20日まで

4) 研究指導委託

他の大学院、研究所又は高度の水準を有する病院（以下「他機関」という。）において研究指導を受けたい場合は、先方とあらかじめ協議したうえで下記の手続きを行わなければならない。なお、申請期間は年度を超えることができない。翌年度も引き続き研究指導を受ける場合は、1月末までに

再度申請をすること。

なお、修士課程在学者が研究指導委託できる期間は、最大1年間である。

提出・問い合わせ窓口

学務企画課大学院教務第一係・第二係（1号館西1階）

提出書類

・研究指導委託申請書（本学指定様式）

※開始日は原則として、月初めとする

提出期限

研究指導委託希望日の3ヶ月前の20日まで

※研究指導委託に伴う実習用定期の申請について

研究指導委託申請の承認後、他機関に通学することになった場合は、申請により実習用定期を購入することができる。

提出・問い合わせ窓口

学務企画課大学院教務第一係・第二係（1号館西1階）

提出書類

実習用通学定期乗車券申込書（本学指定様式）

提出期限

2ヶ月前まで（鉄道会社の許可を得るのに1ヶ月程度要する）

5) 留学

外国の大学院又はこれに相当する高等教育機関において修学する場合は、先方とあらかじめ協議のうえで下記の手続きを行わなければならない。

留学期間に制限があるので、必ず事前に問い合わせること。

提出・問い合わせ窓口

学務企画課大学院教務第一係・第二係（1号館西1階）

提出書類

- ・留学願（本学指定様式）
- ・指導教員の理由書（書式自由）
- ・相手先の受入承諾書等の書類（写し）
- ・相手先の受入承諾書等の書類の和訳

提出期限

留学希望日の前々月の20日まで

【留学期間を変更したい場合】

提出・問い合わせ窓口

学務企画課大学院教務第一係・第二係（1号館西1階）

提出書類

- ・留学期間変更願（本学指定様式）
- ・留学期間変更に係る文書（写し）
- ・留学期間変更に係る文書の和訳
- ・留学許可書（写し）

提出期限

留学期間変更希望日の3ヶ月前の20日まで

6) 在学期間延長

標準修業年限を超えて在学（休学期間を除く）しようとする者は、下記の手続きを行わなければならない。なお、在学期間は標準修業年限の2倍（下表参照）まで延長することができる。

研究科	課程	専攻	年数
医歯学総合研究科	修士課程	医歯理工保健学専攻（医療管理学コースを除く）	4年
		医療管理学コース	2年
	博士課程	医歯学専攻	8年
		生命理工医療科学専攻	6年
保健衛生学研究科	一貫制博士課程	看護先進科学専攻 共同災害看護学専攻	10年

なお、在学期間に休学期間は含めない。

提出・問い合わせ窓口

学務企画課大学院教務第一係・第二係（1号館西1階）

提出書類

・在学期間延長願（本学指定様式）

提出期限

・在学期間満了日の前々月の20日まで

7) 専攻分野変更

在学中に研究内容に変更が生じた等の理由で、所属研究分野の変更を希望する場合は、下記の手続きを行わなければならない。

提出・問い合わせ窓口

学務企画課大学院教務第一係・第二係（1号館西1階）

提出書類

・専攻分野変更願（本学指定様式）

提出期限

変更希望日の前々月の20日まで

8) 在学コース変更

在学中に職に就いた場合、もしくは社会人コースで入学したがその事由が消滅した場合は下記の手続きを行わなければならない。

提出・問い合わせ窓口

学務企画課大学院教務第一係・第二係（1号館西1階）

提出書類

・在学コース変更願（本学指定様式）

※「一般コース」から「社会人コース」への変更を希望する場合は下記も添付すること

・勤務先の承諾書（本学指定様式）

・指導教員の承諾理由書（書式自由）

提出期限

変更希望日の前々月の20日まで

9) 転学

他大学への転学するための転入学試験を受験する場合は下記の手続きを行わなければならない。

提出・問い合わせ窓口

学務企画課大学院教務第一係・第二係（１号館西１階）

提出書類

- ・転入学試験受験承諾書請求願（本学指定様式）

提出期限

受験日の３ヶ月前の２０日まで

転入学試験受験の結果、合格した場合は下記の手続きを行わなければならない。

提出書類

- ・転学願（本学指定様式）
- ・合格通知書の写し

提出期限

転入学日の３ヶ月前の２０日まで

１０）死亡

学生本人が死亡した場合、保証人は速やかに下記手続きを行わなければならない。

提出・問い合わせ窓口

学務企画課大学院教務第一係・第二係（１号館西１階）

提出書類

- ・死亡届（本学指定様式）

提出期限

速やかに提出

１１）履修取消

登録済みの科目のうち、履修を継続しない科目の取消しを行う場合は、下記の手続きを行わなければならない。

提出・問い合わせ窓口

学務企画課大学院教務第一係・第二係（１号館西１階）

提出書類

- ・履修登録科目取消願（本学指定様式）

提出期限

- ・専攻により異なるため問い合わせ窓口を確認すること。

１２）成績評価

異議申し立て

成績評価について異議がある場合は、所定の期日までに下記の手続きを行わなければならない。

提出・問い合わせ窓口

学務企画課大学院教務第一係・第二係（１号館西１階）

提出書類

- ・成績評価異議申し立て書（本学指定様式）

提出期限

- ・専攻により異なるため問い合わせ窓口を確認すること。

【注意】

上記の諸手続きは「履修取消」を除き全て研究科運営委員会付議事項であるため、**提出期限は厳守**のこと。期限を過ぎての提出は、希望日以降の許可となる。

８月は研究科運営委員会が開催されないため、９月から希望する学生は、上記の提出期限の更に１ヵ月前までに届け出ること。

研究科長	副研究科長	事務部長	課長	副課長	専門職員	係長	係員
専	専	専	専	専	専		

履修登録科目取消願

Request for Cancelling Registered Subject

年 月 日
Year Month Date

大学院 _____ 研究科長 殿

Dean, Graduate School of _____

Year of Admission

School Year

_____ 年度入学 第 _____ 学年

☐ 修士課程 Master's Program

☐ 博士課程 Doctoral Program

Department (_____ 分野)

学籍番号 Student ID No. 第 _____ 号

氏名 (Name) _____ (※)

(※) 本人が自署しない場合は、記名押印してください。

When a person submitting this form does not sign the above space (※), you must type/write his/her name and affix his/her seal in the space(※) on behalf of him/her.

携帯電話番号 (Mobile) _____

E-mail _____ @ _____

下記のとおり、履修登録を取り消したいのでお届けいたします。

I would like to request cancellation of my registered subject as below.

記

1. 科目コード Subject Code	
2. 科目名 Subject	
3. 担当教員名 Teacher in Charge	

受付日・印
年 月 日受付

研究科長	副研究科長	事務部長	課長	副課長	専門職員	係長	係員
専	専	専	専	専	専		

授 業 欠 席 届

年 月 日

大学院

研究科長 殿

_____ 年度入学 第 _____ 学年

☐ 修士課程 ☐ 博士課程
(_____ 分野)

学籍番号 第 _____ 号

氏 名 _____ (※)

(※)本人が自署しない場合は、記名押印してください

携帯電話番号 _____

E-mail _____ @ _____

下記のとおり、授業を _____ 欠席します
_____ 欠席しました
_____ のでお届けいたします。

記

1. 欠席期間 自 _____ 年 _____ 月 _____ 日 (_____ 限)
至 _____ 年 _____ 月 _____ 日 (_____ 限)

2. 欠席科目

3. 欠席理由

(別紙)

年 月 日

成績評価異議申し立て書

研究科 _____

課程・専攻 _____

学籍番号 _____

氏名 _____

授 業 科 目 名		担 当 教 員	
(問い合わせ内容)			
担 当 教 員 へ の 連 絡	年 月 日に	にて連絡	
(教員の回答)	年 月 日		
学 生 へ の 連 絡	年 月 日に連絡		
担 当 教 員 か ら 教 務 係 へ の 連 絡	成績訂正：有（訂正後の成績）・無 年 月 日 氏名		
教 務 係 確 認 欄	年 月 日		

9. 学内主要施設

施設名	所在地	内線番号
学 生 支 援 事 務 室	5号館3階	5077
学 務 企 画 課	1号館西1階	5074(企画調査係) 4676,4679,4534(大学院教務)
入 試 課	1号館西1階	4924
財 務 企 画 課 資 金 管 理 係	1号館西3階	5048
図 書 館	M&Dタワー3階	5596
保 健 管 理 セ ン タ ー	5号館2階	5081
談話室（証明書自動発行機）	5号館4階	—
生活協同組合 食堂・売店	5号館1階・地下1階	—
リサーチコアセンター	8号館南	5788

10. 校内案内図

